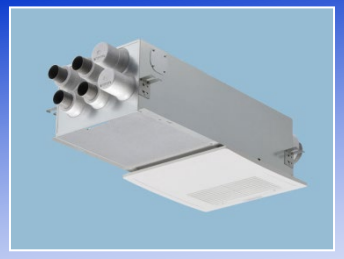
Panasonic



V-upIII　操作マニュアル

Ver.4.15.0

パナソニック HVAC & CC株式会社

V-upⅢをご利用になる前に

著作権・免責事項

１．本ソフトウェアの著作権は、パナソニック HVAC & CC株式会社に帰属します。
２．本ソフトウェアおよびマニュアルの内容の一部または全部を無断で使用・複写することはできません。
３．本ソフトウェアで作成した資料は、お客様の責任においてご利用ください。
４．本ソフトウェアを運用した結果の影響については、いっさい責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
５．本ソフトウェアの仕様は、将来予告なしに変更することがあります。
６．本ソフトウェアのご使用にあたっては、ソフトウェア使用許諾契約書の条件が適用されます。

V-upⅢ いい換気プラン　© 2013-2026 Panasonic HVAC & CC Co., Ltd.

ComponentOne Studio　© 2004 GrapeCity inc.

参考文献

①公共建築協会編（2015）『建築設備設計基準』（平成27年版）国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修，公共建築協会.

②日本建築行政会議ほか編（2013）『建築設備設計・施工上の運用指針』（2013年版）日本建築設備・昇降機センター.

③空気調和・衛生工学会編（1986）『空気調和設備の実務の知識』オーム社.

本操作マニュアルにおける用語解説

全般換気（常時換気）
住宅内の空気の汚れを許容限度以下に保つ換気方法です。
※全体換気・希釈換気と呼ばれることもあります。

- **共用換気**
  住宅全体で給気と排気を計画する方法です。
  各居室に新鮮な空気を取り入れ、トイレ・洗面所等から汚れた空気を排気します。
  ※居室の建具にはアンダーカット等の通気措置が必要です。
- **個別換気**
  各部屋ごとで給気と排気を完結させる方法です。
  各居室に給気機器と排気機器の両方を設置します。

局所換気
局所的に汚れた空気を集中的に換気する方法です。
台所での調理時の換気や浴室の湿気の排出等は必要な時だけ目的に応じた風量で換気をおこないます。
※シックハウス対策以外の換気判定も、「局所換気判定」と呼称します。

お問い合わせ

V-upⅢの操作方法等でご不明な点がございましたら、まず、本操作マニュアルをご参照ください。
その上でのV-upⅢに関するお問い合わせは、Eメールにて受け付けております。

メールアドレス：kanki119@gg.jp.panasonic.com

お問い合わせ時、以下の事項をお知らせください。

- ■会社名（部署名）
- ■氏名
- ■連絡先（メールアドレス・電話番号）
- ■問い合わせ内容

※エラーメッセージ等が表示された場合は、画面のスクリーンキャプチャを添付してください。

目次

第１章　はじめに

１．　環境条件　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1
２．　インストール　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2
３．　アンインストール　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　9
４．　アップデート　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　10
５．　機能概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　11
６．　基本操作　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　12
　６－１．　起動　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　12
　６－２．　換気プラン作成メニュー　・・・・・・・・・・・・　13
　　（１）　各種マニュアル　・・・・・・・・・・・・・・・・　13
　　（２）　プラン作成　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　13
　　（３）　プラン修正　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　14
　　（４）　プラン削除　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　15
　　（５）　印刷　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　17
　　（６）　補助機能　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　18
　６－３．　保存　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　19
　６－４．　終了　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　20

第２章　補助機能

１．　会社名登録　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　22
２．　見積表紙登録　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　24
３．　換気計算書印刷設定　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　27
４．　プラン図用コメント登録　・・・・・・・・・・・・・・・・　30
５．　環境設定　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　32
６．　各種ユーザー設定値変更　・・・・・・・・・・・・・・・・　33
　６－１．　系統（階数）名称設定　・・・・・・・・・・・・・・　34
　６－２．　面積・気積のまるめ方法の設定　・・・・・・・・・・　35
　６－３．　ダクト長取得時の余裕率設定　・・・・・・・・・・・　36
　６－４．　電気代、消費税率の設定　・・・・・・・・・・・・・　37
　６－５．　物件階高の設定　・・・・・・・・・・・・・・・・・　38
　６－６．　シンボル表示色設定　・・・・・・・・・・・・・・・　39
　６－７．　回復用データ　保存間隔設定　・・・・・・・・・・・　40
　６－８．　プラン図のダクト色設定　・・・・・・・・・・・・・　41
　６－９．　「参考資料」記載設定　・・・・・・・・・・・・・・　42
７．　システムアップデート　・・・・・・・・・・・・・・・・・　43
８．　件名管理表出力　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　47
９．　物件データ入出力　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　50
　９－１．　物件データ出力　・・・・・・・・・・・・・・・・・　50
　９－２．　物件データ入力　・・・・・・・・・・・・・・・・・　52

第３章　プラン作成

１．　用意するもの　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　54
２．　プラン作成の流れ　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　54
　　［自由設計］と［簡易設計］について　・・・・・・・・・・　55
３．　プラン作成をはじめる　・・・・・・・・・・・・・・・・・　56
４．　物件情報　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　57
　４－１．　物件基本情報　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　57
　４－２．　設計方法選択　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　65
５．　図面設定　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　66
　５－１．　図面読込　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　66
　５－２．　読み込んだ画像を編集する　・・・・・・・・・・・・　75
　５－３．　縮尺設定　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　80
　５－４．　図面名称　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　82
　５－５．　２枚目以降の図面読込　・・・・・・・・・・・・・・　83
　５－６．　図面の差し替え　・・・・・・・・・・・・・・・・・　84
　５－７．　図面削除　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　97
　５－８．　図面の再編種　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　98
６．　　部屋設定　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　99
　６－１．　部屋パターン選択　・・・・・・・・・・・・・・・・　100

６－２．部屋名称を追加する　・・・・・・・・・・ 101
６－３．部屋を削除する　・・・・・・・・・・・・ 103
（１）１部屋ずつ削除する場合　・・・・・・・・ 103
（２）全ての部屋を削除する場合　・・・・・・・ 104
６－４．床面積と天井高を入力する　・・・・・・・ 105
６－５．設定項目１（適用区分）　・・・・・・・・ 111
６－６．設定項目２（常時換気／局所換気）　・・・ 114
６－７．設定項目３（機器種類）　・・・・・・・・ 115
６－８．設定項目４（換気回数）　・・・・・・・・ 116
６－９．設定項目５（表示図面）　・・・・・・・・ 117
６－１０.設定項目６（機器の色）　・・・・・・・・ 118
６－１１.その他の機能　・・・・・・・・・・・・・ 119
（１）天井高さによる換気回数緩和措置の設定　・ 119
（２）気積などの小数点以下の端数処理の設定　・ 120
（３）部屋パターン再読込　・・・・・・・・・・ 122
（４）部屋パターン登録　・・・・・・・・・・・ 123
（５）系統（階数）名称変更　・・・・・・・・・ 124
（６）部屋設定一覧表印刷　・・・・・・・・・・ 125
（７）部屋データのコピー＆ペースト機能　・・・ 126
（８）部屋名称の末尾に連番付与する機能　・・・ 129
７．［簡易設計］　機器設定　・・・・・・・・・・ 132
７－１．換気システムの選択　・・・・・・・・・・ 132
７－２．自動選定結果の確認　・・・・・・・・・・ 134
（１）個別換気の機器と判定　・・・・・・・・・ 134
（２）共用換気の機器と判定　・・・・・・・・・ 135
（３）局所換気の機器　・・・・・・・・・・・・ 135
７－３．機器の追加・変更　・・・・・・・・・・・ 136
７－４．機器の削除　・・・・・・・・・・・・・・ 139
７－５．屋外フード／スイッチの品番変更　・・・・ 140
７－６．ダクト計算をおこなう　・・・・・・・・・ 142
７－７．ダクト品番組合せの確認・設定　・・・・・ 148
７－８．その他の設定　・・・・・・・・・・・・・ 150
（１）天埋形Q-hiファンの部材選定　・・・・・・ 150
（２）自然給気口（天井形）のダクト種類　・・・ 152
（３）自然給気口（壁付）のダクト延長設定　・・ 153
７－９．その他の機能　・・・・・・・・・・・・・ 155
（１）再自動選定　・・・・・・・・・・・・・・ 155
（２）プラン変更　・・・・・・・・・・・・・・ 155
（３）選定条件設定　・・・・・・・・・・・・・ 158
（４）一括変更　・・・・・・・・・・・・・・・ 159
（５）機器風量切替（第一種換気限定）　・・・・ 161
（６）判定内容の表示切り替え　・・・・・・・・ 162
８．［自由設計］　プランニング　・・・・・・・・・ 165
８－１．図面の表示サイズを調整する　・・・・・・ 165
８－２．プラン図を作成する前に　・・・・・・・・ 166
（１）リングプレートあり／なし の設定　・・・・ 166
（２）ＦＤあり／なし の設定　・・・・・・・・・ 166
（３）必要換機量表示　・・・・・・・・・・・・ 167
８－３．本体機器を配置する　・・・・・・・・・・ 168
８－４．室内端末を配置する　・・・・・・・・・・ 170
８－５．VHSや厨房フードを配置する　・・・・・・ 172
８－６．室外端末を配置する　・・・・・・・・・・ 176
８－７．分岐部材を配置する　・・・・・・・・・・ 178
（１）Y管およびチャンバーの配置　・・・・・・ 178
（２）T管・Y管の配置　・・・・・・・・・・・・ 179
８－８．接続部材を配置する　・・・・・・・・・・ 182
８－９．機器シンボルを削除する　・・・・・・・・ 183
８－１０.ダクトを作図する　・・・・・・・・・・ 184
８－１１.品番情報ウィンドウの設定をする　・・・・ 186
（１）部屋名設定　・・・・・・・・・・・・・・ 187
（２）ダクトの接続／未接続の設定　・・・・・・ 189
（３）品番変更　・・・・・・・・・・・・・・・ 191
（４）屋外フードの選択／変更　・・・・・・・・ 192
（５）ノッチ変更　・・・・・・・・・・・・・・ 192
（６）給気／排気の切り替え　・・・・・・・・・ 193
（７）バス換気乾燥機の換気ボックス組替え　・・ 194

（８）　オプションフィルターの設定　・・・・・・　194
（９）　リングプレートあり／なしの設定　・・・・　195
（１０）　断熱エルボの設定　・・・・・・・・・・・　195
（１１）　グリルの設置場所を変更する　・・・・・・　196
（１２）　他図面にシンボルを移動させる　・・・・・　197
（１３）　階をまたいでグリルを設置する　・・・・・　198
（１４）　室外端末（屋外フード）の分離機能　・・・　202
（１５）　Q-hiファン（天埋形）の部材設定　・・・・　203
（１６）　立上り／立下りの設定　・・・・・・・・・　204
（１７）　シンボルの色設定　・・・・・・・・・・・　205
（１８）　換気対応区分の設定　・・・・・・・・・・　206
（１９）　ζ値の手入力機能　・・・・・・・・・・・　208
８－１２.シンボル記号　・・・・・・・・・・・・・　211
（１）　シンボル記号の仮表示　・・・・・・・・・　211
（２）　シンボル横の凡例記号の表示倍率
設定する機能　・・・　212
（３）　シンボル記号の位置調整　・・・・・・・・　213
８－１３.その他の機能　・・・・・・・・・・・・・　214
（１）　一括設定・天井　・・・・・・・・・・・・　214
（２）　一括設定・壁　・・・・・・・・・・・・・　218
（３）　判定　・・・・・・・・・・・・・・・・・　219
（４）　図面表示モード　・・・・・・・・・・・・　220
（５）　シンボル（ダクトや端末シンボル含む）の
一括コピー機能　・・・　221
（６）　シンボルの一括コピー解除機能　・・・・・　226
（７）　シンボル一覧の表示領域変更　・・・・・・　227
（８）　シンボルサイズの倍率（1～10倍）
設定機能　・・・　227
（９）　シンボル整列用の基準線表示機能　・・・・　229
（１０）　品名一覧の［詳細表示］機能　・・・・・・　231
（１１）　シンボル一覧　・・・・・・・・・・・・・　233
（１２）　ダクト種類一覧　・・・・・・・・・・・・　235
９．　［自由設計］　換気計算詳細　・・・・・・・・・　236
９－１．　ダクト長再取得の確認　・・・・・・・・・・　236
９－２．　風量を確認する　・・・・・・・・・・・・・　237
９－３．　その他の機能　・・・・・・・・・・・・・・　237
（１）　ダクト長さ・曲りの修正　・・・・・・・・・　237
（２）　ダクト長・曲り再取得　・・・・・・・・・・　238
（３）　ダクト長取得計算時の余裕率　・・・・・・・　238
（４）　最終風量分配率入　・・・・・・・・・・・・　240
１０．［自由設計］　換気計算判定　・・・・・・・・・　242
１０－１.シックハウス対策の判定確認　・・・・・・　242
（１）　個別換気の判定　・・・・・・・・・・・・・　243
（２）　共用換気（個別以外の部分）の判定　・・・　244
（３）　風量ノッチの変更　・・・・・・・・・・・・　244
（４）　判定内容の表示切り替え　・・・・・・・・・　245
（５）　局所換気機器の表示　・・・・・・・・・・・　247
１０－２.ダクト品番の組合せを設定する　・・・・・　248
１１．［自由設計］局所計算書の作成　・・・・・・・・　250
１１－１.局所の必要換気量を求める　・・・・・・・　250
（１）　換気回数による換気　・・・・・・・・・・・　251
（２）　人員密度による換気　・・・・・・・・・・・　252
（３）　占有面積による換気（無窓居室も含む）　・　252
（４）　火を使用する部屋の換気　・・・・・・・・・　253
（５）　駐車場の換気　・・・・・・・・・・・・・・　255
（６）　喫煙室の換気
（受動喫煙防止対策に基づく計算）　・・・　255
１１－２.局所機器を配置する　・・・・・・・・・・　256
１１－３.局所の換気計算詳細　・・・・・・・・・・　258
１１－４.局所の換気計算判定　・・・・・・・・・・　259
１１－５.局所の帳票印刷　・・・・・・・・・・・・　266
１２.申請用プラン図　・・・・・・・・・・・・・・・　269
１２－１.凡例ラベルを貼り付ける　・・・・・・・・　270
１２－２.平面図の大きさを変更する　・・・・・・・　274
１２－３.プラン図を作成する（簡易設計）　・・・・　275
（１）　本体・部材を配置する　・・・・・・・・・・　276

（２）　ダクトを作図する　・・・・・・・・・・・・・ 277
１２－４.換気対象外エリアの表示をする　・・・・・ 279
１２－５.通気可／不可の表示をする　・・・・・・・ 280
１２－６.コメントを表示する　・・・・・・・・・・ 282
（１）　コメント一覧から選択する場合　・・・・・ 282
（２）　テキストを貼り付けて記載する場合　・・・ 286
１２－７.コメントを整列させる　・・・・・・・・・ 288
１２－８.その他の機能　・・・・・・・・・・・・・ 289
（１）　ダクトの色設定　・・・・・・・・・・・・ 289
（２）　記号文字の大きさ変更　・・・・・・・・・ 291
（３）　ラベル（吹出しラベル）　・・・・・・・・ 292
（４）　画像を読込（写真、イメージ）　・・・・・ 294
（５）　客先用プラン図の固定領域を一時表示する　295
（６）　図面表示モード　・・・・・・・・・・・・ 295
（７）　共用エリア枠　・・・・・・・・・・・・・ 296
（８）　シンボル位置調整　・・・・・・・・・・・ 298
（９）　シンボル全削除　・・・・・・・・・・・・ 299
１３.客先用プラン図　・・・・・・・・・・・・・・ 300
１３－１.写真付凡例ラベルを貼り付ける　・・・・・ 300
１３－２.申請用プラン図のシンボルをコピーする　・ 302
１３－３.その他の機能　・・・・・・・・・・・・・ 303
（１）　商品写真を貼り付ける　・・・・・・・・・ 303
１４. 帳票印刷　・・・・・・・・・・・・・・・・・ 304
１４－１. 印刷＆ファイル出力の仕方　・・・・・・・ 305
（１）　プレビュー　・・・・・・・・・・・・・・ 305
（２）　印刷　・・・・・・・・・・・・・・・・・ 305
（３）　プレビュー＆印刷　・・・・・・・・・・・ 305
（４）　Excel出力／JPEG出力／物件データ出力　・ 306
１４－２.見積書に関する機能　・・・・・・・・・・ 307
（１）　見積明細編集　・・・・・・・・・・・・・ 307
（２）　印刷指定（印刷出力指定）　・・・・・・・ 316
（３）　表紙指定　・・・・・・・・・・・・・・・ 319
（４）　品番取得＆ダクト品番設定　・・・・・・・ 320
１４－３.　換気計算書に関する機能　・・・・・・・ 321
１４－４.　プラン図に関する機能　・・・・・・・・ 327
（１）　プレビュー／印刷／JPEG出力　・・・・・ 327
（２）　プラン図をA4横で印刷　・・・・・・・・ 327
（３）　客先用プラン図を削除する　・・・・・・ 327
１４－５.　機器一覧表の印刷　・・・・・・・・・・ 328
１４－６.　部屋設定一覧表の印刷　・・・・・・・・ 329
１４－７.　不燃ダクト経路別組合せ表の印刷　・・・ 330
１４－８.　一次エネルギー消費量入力値一覧表　・・ 331
１４－９.　一括印刷・Excel出力に関する機能刷　・・332
１４－１０.その他の機能　・・・・・・・・・・・・ 333
（１）　参考資料を記載する　・・・・・・・・・ 333
（２）　物件データ出力　・・・・・・・・・・・ 334
１４－１１.プラン完了　・・・・・・・・・・・・・ 336

付録

１．　V-upⅢ　同梱品一覧　・・・・・・・・・・・・・・・ 337
２．　部屋パターン　・・・・・・・・・・・・・・・・・ 339
２－１．　標準集合住宅（面積：全体）　・・・・・・ 339
２－２．　標準戸建住宅（面積：全体）　・・・・・・ 339
２－３．　標準戸建住宅（面積：個別）　・・・・・・ 340
２－４．　標準戸建住宅（Ｑ－ｈｉファン用）　・・・ 340
３．　アイコン・キーボードの機能一覧　・・・・・・・ 341
４．　申請用／客先用プラン図　シンボルの表示色
変更について　・・・ 343

Ver.4.2.0に追加された機能について

3．　矩形ダクトに対応　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　344
4．　基準線に補助線を表示する機能　・・・・・・・・・・　358
5．　凡例記号の位置調整ウィンドウの改善　・・・・・・　360
6．　【一括設定・壁】で、産業用有圧換気扇などの
　　設定を修正する機能　・・・　362

Ver.4.3.0に追加された機能について

3．　［自由設計］プランニング
　3－1．　消音ボックスのシンボル追加　・・・・・・・・　366
　3－2．　ダクト種類を追加　・・・・・・・・・・・・・・　370
4．　換気計算判定－局所判定　複数判定対応　・・・・　371

Ver.4.4.0に追加された機能について

2．　［自由設計］プランニング
　2－1．　屋上換気扇のシンボルを追加　・・・・・・・・　375
　2－2．　立上り／立下り(矩形用)シンボルを追加　・　377
　2－3．　立上り／立下り(同一図面)シンボルを追加　　378
　2－4．　シンボル記号位置仮表示で表示させる
　　種類を任意選択できる機能を追加　・・・　380

Ver.4.4.9に追加された機能について

2．　［簡易設計］機器設定
　2－1．　局所機器の［一括変更］機能追加　・・・・　381
　2－2．　局所機器の選択ダクト種類増加　・・・・・　382
　2－3．　局所機器のダクト長さ入力機能追加　・・・　383
　2－4．　局所機器でダクト選択中表示機能追加　・・　384
3．　申請用プラン図　屋外フード非表示機能追加　・・　385
4．　その他　作業状況を色分け表示　・・・・・・・・・　386

Ver.4.5.0に追加された機能について

3．　［簡易設計］機器設定
　3－1．　“防風板ﾌﾗｯﾄ（覆い付）”を追加　・・・・・　387
　3－2．　屋外フード一括変更に色指定機能追加　・・　388
　3－3．　プラン変更時、局所機器を残す機能追加　・　389
4．　［自由設計］プランニング
　4－1．　シンボル一括移動する機能追加　・・・・・　390
　4－2．　自然給気口の一括変更機能追加　・・・・・　393
　4－3．　自然換気口（排気）のシンボル追加　・・・　396

Ver.4.6.0に追加された機能について

1．　［自由設計］プランニング
　　熱交カセットDCタイプの付属コントローラ
　　のダミー品番を登録　・・・　397

Ver.4.7.0に追加された機能について

1．　［簡易設計］機器設定　・・・・・・・・・・・・・・　398
2．　［自由設計］換気計算詳細　・・・・・・・・・・・　399
3．　［自由設計］換気計算判定　・・・・・・・・・・・　400

Ver.4.9.0に追加された機能について

1．　［簡易設計］自動選定機能の更新（壁掛け熱交）・　401
2．　［簡易設計］Q-hiファン系一括品番変更機能追加・　404
3．　［簡易設計、自由設計］Q-hiファン（天井形）の
　　部材選定の更新［自由設計］換気計算判　・・　406

4．［自由設計］プランニンググリルの分離
（壁用/同図面）の行き先を選択式に拡張　・・　408
5．［自由設計］プランニング（排気）自然換気口
（有圧フード）のシンボルを追加　・・・　409
6．［自由設計］申請用／客先用プラン図凡例を
別紙に表示する機能を追加　・・・　410

Ver.4.9.11に追加された機能について

1．通気矢印コピー＆ペースト機能を追加　・・・・・　415

Ver.4.11.0に追加された機能について

1．［自由設計］プランニング　Q-hiファン（天埋形）
シンボルに常時局所兼用設定の機能追加　・・　418
2．［簡易設計、自由設計］申請用／客先用プラン図
凡例の並び順の任意設定する機能を追加　・・　419
3．［簡易設計、自由設計］申請用／客先用プラン図
屋外フードの色別に凡例を分ける機能追加　・　420
4．［簡易設計、自由設計］申請用／客先用プラン図
壁設置機器の屋外フードの凡例記号を
追加表示する機能追加　・・・　423

Ver.4.12.0に追加された機能について

1．［簡易設計］機器設定　選定条件設定ウィンドウ
のリニューアル追加　・・・　426
2．申請用／客先用プラン図
循環機器のシンボル色を変更（薄紫色）　・・・　428
3．客先用プラン図　イニシャルコスト、
ランニングコストの注記コメント変更　・・・　429

Ver.4.13.0に追加された機能について

1．［簡易設計］機器設定　スイッチの設定機能を
リニューアル　・・・　430
2．帳票印刷－見積書　ダクト組合せ前に価格改定
設定ウィンドウを表示するように改善　・・・　432
3．帳票印刷－付属資料
（一次エネルギー消費量入力値一覧表）
住宅の仕様基準（省エネ基準）資料追加　・・・　433

Ver.4.14.0に追加された機能について

1．［自由設計］換気計算判定　仕様基準(省エネ基準)
の比消費電力を確認する機能を追加　・・・　435
2．［簡易設計］機器設定　機器の選定条件設定に
新製品に対応する為の設定追加　・・・　437

第１章　はじめに

V-upⅢのインストール、基本的な操作方法などについて説明します。

１．環境条件

◆対応OS

Microsoft Windows 10
Microsoft Windows 8.1
Microsoft Windows 7（ServicePack1 以降）

各日本語OSの64ビット版(x64)、32ビット版(x86) に対応しています。
その他のOS、仮想環境などは動作保証外となります。

◆動作環境

CPU　：1.6GHz以上のプロセッサ、もしくは上記OSが推奨する環境以上
メモリ　：2GB以上（4GB以上推奨）
グラフィック　：DirectX 9 互換のグラフィックシステム（解像度：1024×768以上）
ハードディスク　：必須空き容量100MB以上
※　追加データをインストールする場合、別途空き容量が必要となります。
※　商品画像を表示する場合、別途空き容量が必要となります。
必要なソフトウェア：Microsoft Office Excel2007以降
マニュアルを見るためにはAdobe Acrobat Readerが必要です。
その他　：Microsoft .NET Framework 4.0 以上
商品画像を表示する場合、インターネット接続環境が必要です。

ご使用されているパソコンのシステム構成によっては、正常に動作しなかったり、まったく動作しない場合があります。

あらかじめご了承ください。

Microsoft、Windows、Excelは、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Adobe、Acrobat Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標です。
その他、記載されている会社名および商品名等は各社の商標または登録商標です。

なお、本文中では™、®マークは基本的に明記していません。

2．インストール

インストールをはじめる前に、以下のことを確認します。

●既に『V-upⅢ　いい換気プラン』がインストールされていませんか？
再インストールを行う場合は、必ず旧バージョンの「V-upⅢ いい換気プラン」をアンインストールします。

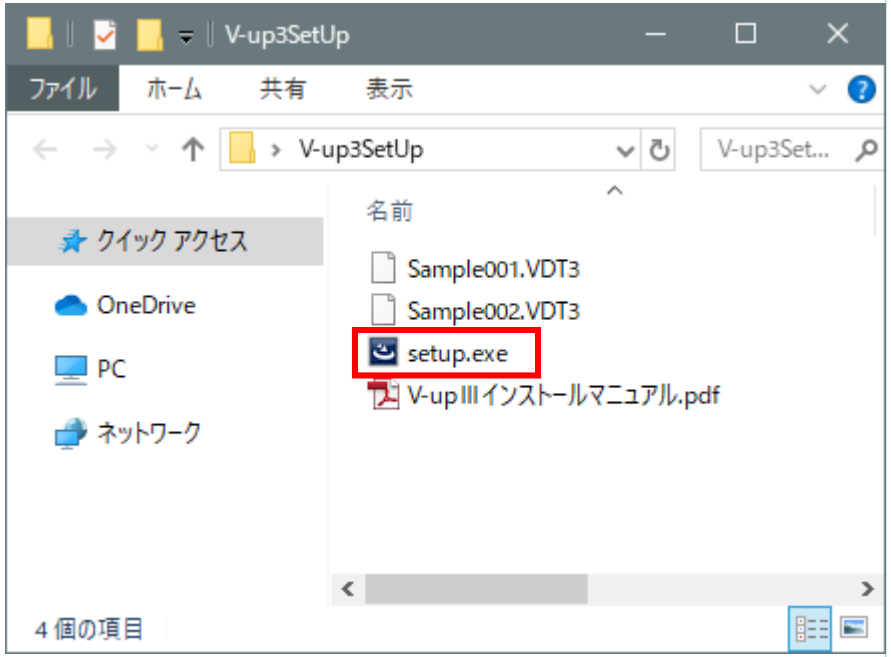
●インストールしようとしているのは、アップデートファイルではありませんか？
アップデート方法は「第２章 ７．システムアップデート」をご参照ください。

※Administrator 権限を有するユーザーアカウントでログインしてから、セットアップ作業をおこないます。

1. ダウンロードした「V-up3SetUp.zip」を展開（解凍）します。

2. 展開（解凍）したフォルダ内にある「setup.exe」ファイルを
ダブルクリックして実行します。

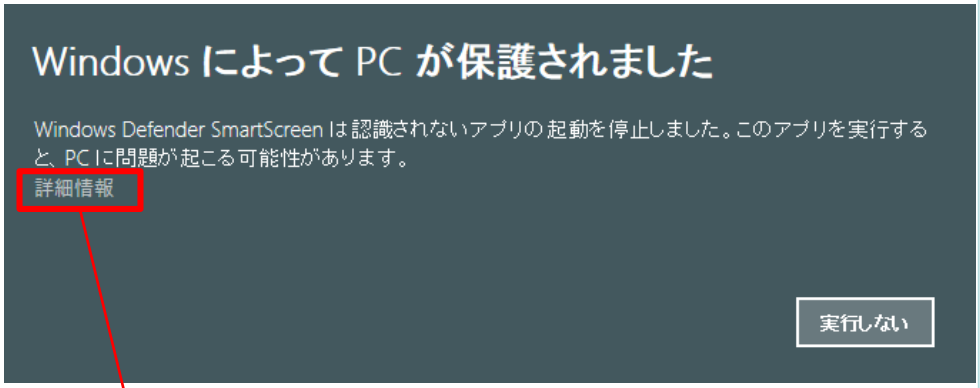
（次ページに注意事項あり）

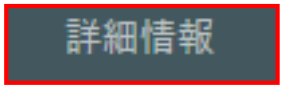


※注意※

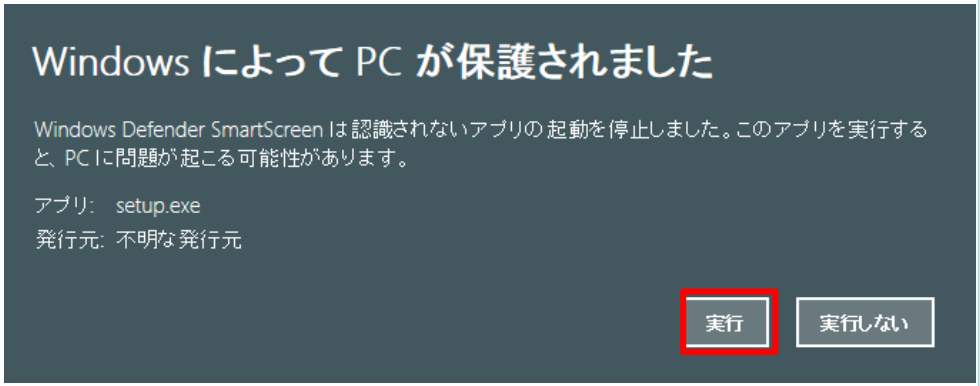
Windows8 以降の場合、右図のようなメッセージが出ることがあります。

その場合、「詳細情報」（赤枠部分）をクリックして
実行 ボタンを押します。





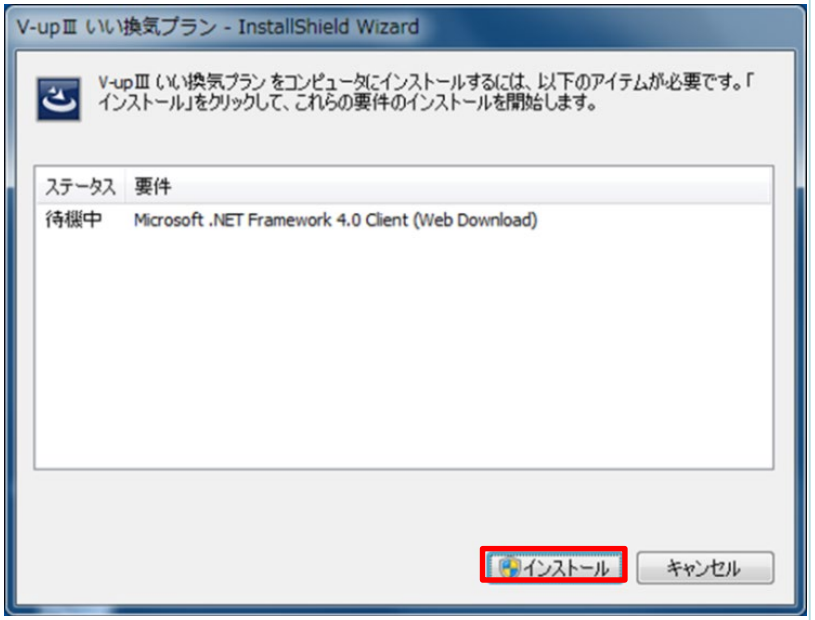
詳細情報をクリックすると
実行ボタンが表示される。



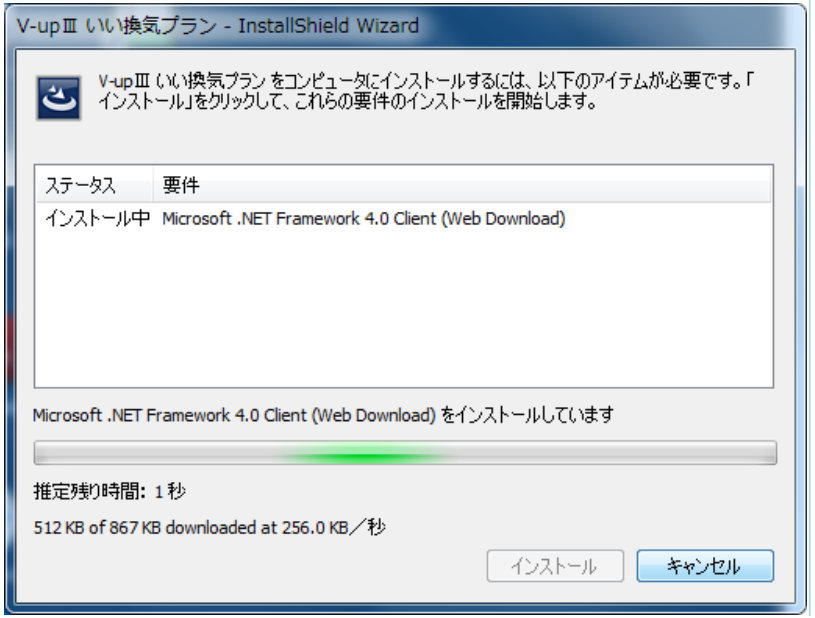
3. お使いのPCに「Microsoft .Net Framework 4.0」以上が
インストールされているか自動的にチェックされます。

「Microsoft .Net Framework 4.0」以上がインストール されていない場合、
インストールを促すウィンドウが表示されますので、 **インストール** を
クリックします。

「Microsoft .Net Framework 4.0」以上がインストール済みの場合は、
直ぐに、V-upⅢのインストール（**手順５**）が始まります。

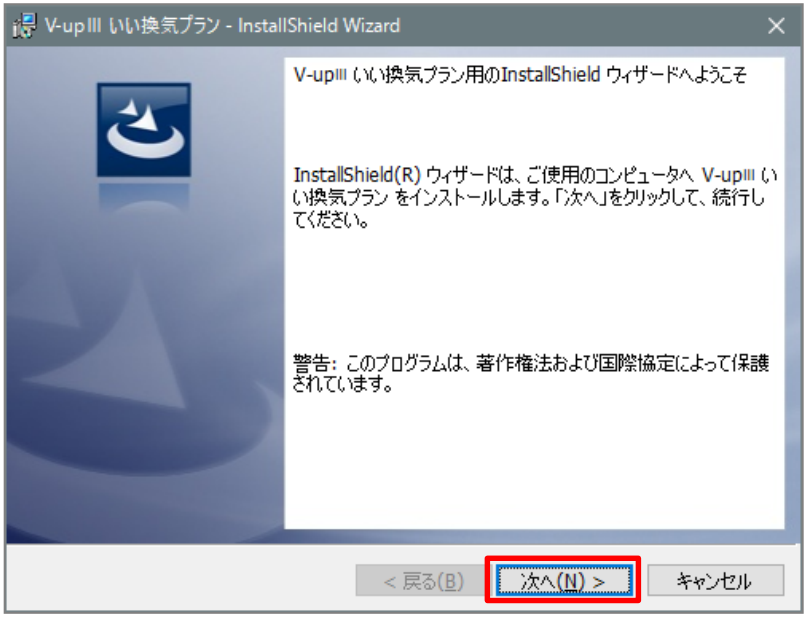


4. 「Microsoft .Net Framework 4.0」がインストールされます。



5. V-upⅢのインストールが始まります。

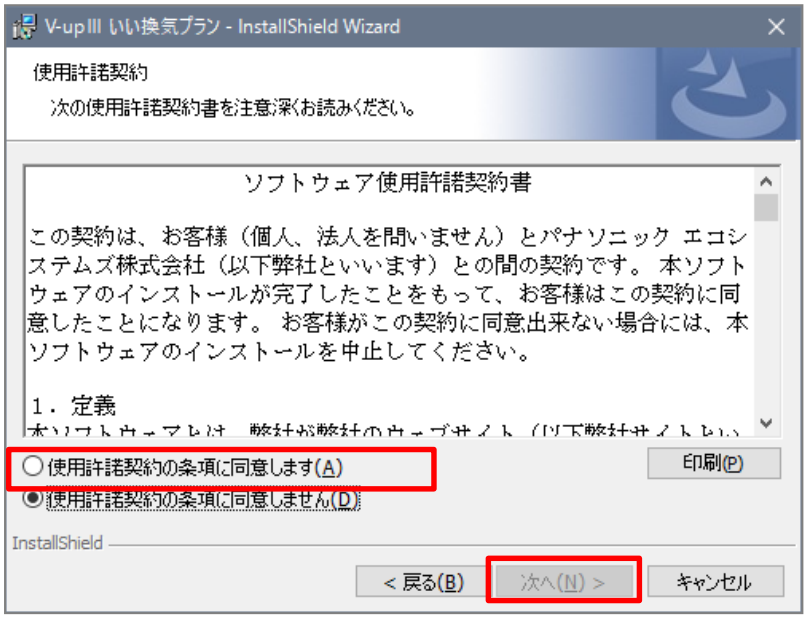
次へ をクリックします。



6. 使用許諾契約が表示されます。

内容を確認し宜しければ、「◉使用許諾契約の条項に同意します」を選択後、 **次へ** をクリックします。

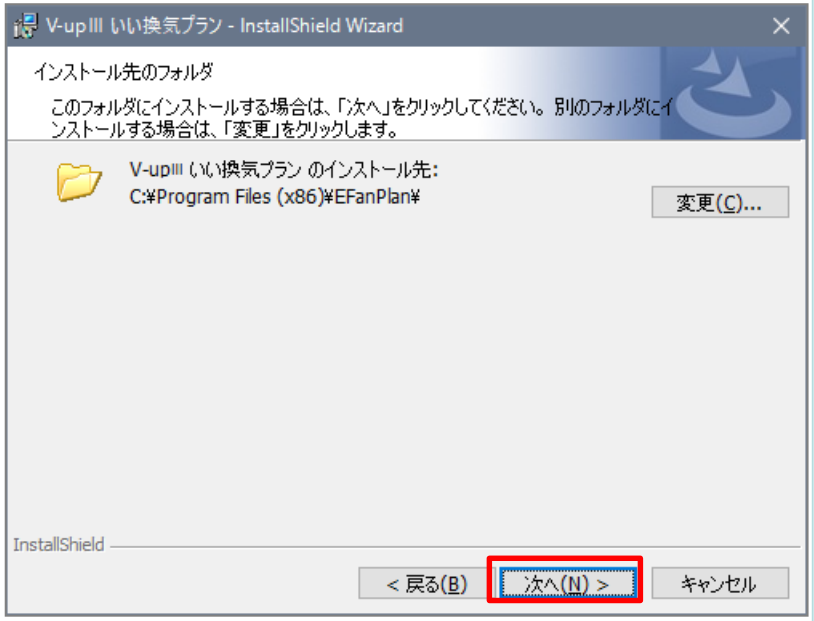
※同意がない場合は、［次へ］ボタンが押せません。



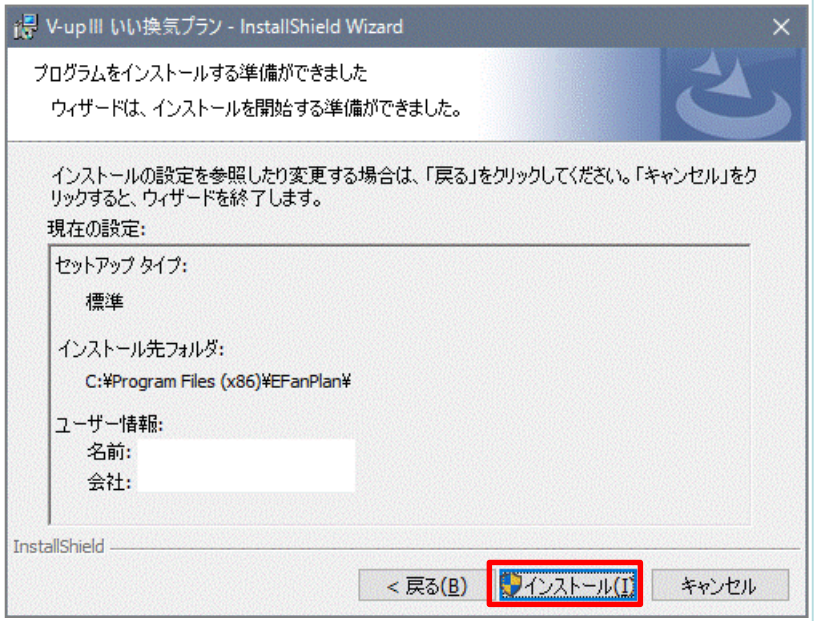
7. インストール先のフォルダを確認します。

基本的に変更せず、 **次へ** をクリックします。

※変更する場合は、 **変更** をクリックしてフォルダを指定します。

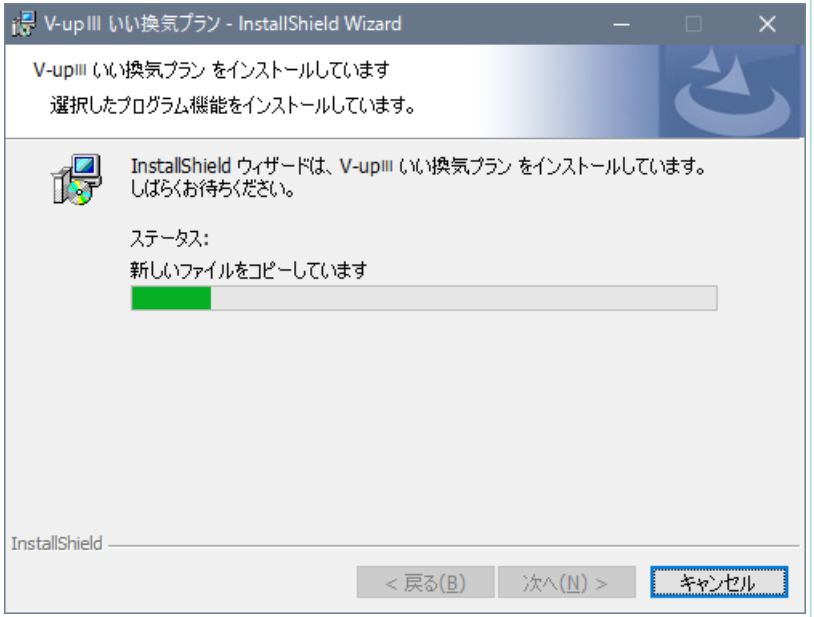


8. **インストール** をクリックします。



9. ユーザーアカウント制御の確認ウィンドウが表示された場合は、
はい をクリックします。

10. インストールが始まります。



11. インストールが完了したら、 **完了** をクリックします。

デスクトップに、V-upⅢ いい換気プランのアイコンが作成されます。

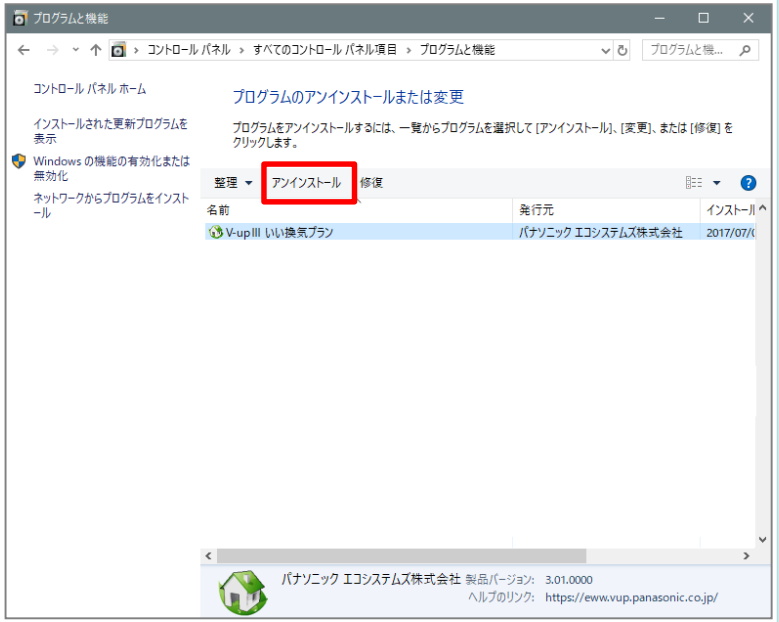
スタートメニューに
「パナソニック HVAC & CC株式会社」として各種ショートカットが作成されます。

※右のサンプル画像は、Windows11の場合です。

３．アンインストール

「V-upⅢ いい換気プラン」が使用中でないことを確認し、以下の手順で行います。

1.　「コントロールパネル」より「プログラムと機能」を表示します。

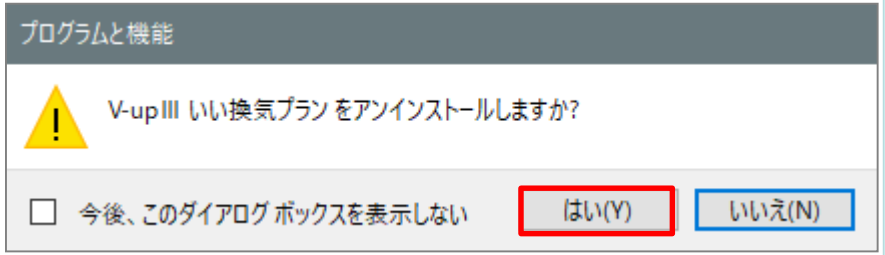


2.　「V-upⅢ いい換気プラン」を選択し、 **アンインストール** をクリックします。

※プログラムと機能の表示方法については、ご使用のPCの取扱説明書をご参照ください。

（Windows10の場合）
コントロールパネルは、スタートボタンのWindows システム ツールの中にあります。

3.　アンインストールするかの確認ウィンドウが表示されるので **はい** をクリックします。

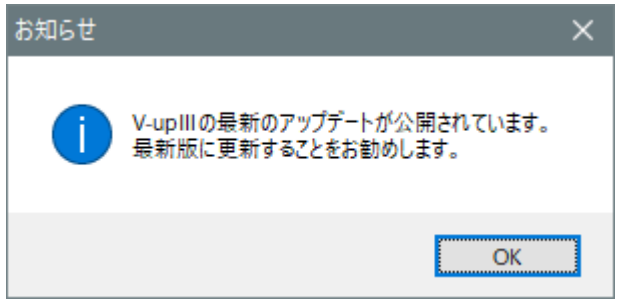


アンインストールしても、作成したプランデータは削除されませんが、不安がある場合は
プランデータのバックアップをとってからアンインストールされることをおすすめします。

４．アップデートについて

「V-upⅢ いい換気プラン」は常に最新の製品情報でご利用いただくため、定期的なアップデートをお願いしております。

最新のアップデートがある場合は、V-upⅢ起動時にメッセージウィンドウが表示されます。



アップデートの操作方法については、「**第２章 補助機能 ７．システムアップデート**」を参照ください。

アップデートファイルをダウンロードする際に、ご登録いただいたメールアドレスおよびパスワードが必要です。

５．機能概要

「V-upⅢ いい換気プラン」は、改正建築基準法に対応したシックハウス対策の換気プランを作成することが出来ます。
換気計算結果は確認申請用書類に転記し、確認申請用プラン図は添付資料としてご活用ください。
本ソフトウェアには主に以下の機能がついています。

（１）作成できる換気システム
ダクトを使用するシステム
熱交気調システム（熱交換タイプ）、集中気調システム（非熱交換タイプ）
Q-hiセントラル換気システム、バス乾、多室換気扇システム、天井埋込形換気扇システム
ダクトを使用しないシステム
Q-hiファンシステム、パイプファンシステム、Q-hiファン＋パイプファンシステム

（２）選べるプラン方法
自由設計　主にダクトを使用するシステムのプラン作成用
作成したプランニング図面にもとづき、換気計算をおこないます。
簡易設計　主にダクトを使用しないシステムのプラン作成用
部屋面積と部屋の用途を設定する事で、自動的に機種を選定します。

（３）換気計算・機種選定・判定
「各部屋毎の機種選定」、「風量確認（必要換気量）・判定」、「換気回数の判定」、「給排バランスの確認・判定」

（４）出力
「換気計算書」、「確認申請用プラン図」、「お客様用プラン図（ご提案書）」、「お客様用見積書」、「機器表」
「一次エネルギー消費量入力値一覧表」、「不燃ダクト経路別組合せ表」

V-upⅢで作成できないプランは、パナソニック　建基法 換気扇ター へご相談ください。

URL　: https://sumai.panasonic.jp/air/kanki/119/

TEL　: 0120-078-119

メールアドレス : kanki119@gg.jp.panasonic.com

受付時間　平日9時～12時、13時～17時30分（土日・祝日・GW・お盆・年末年始はお休み）

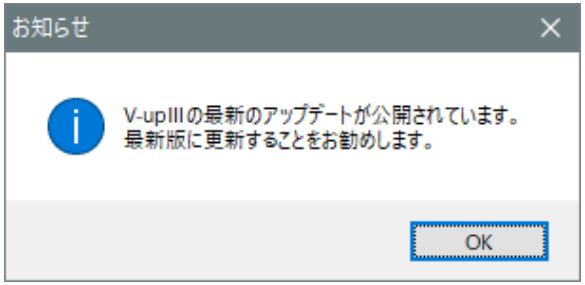
６．基本操作

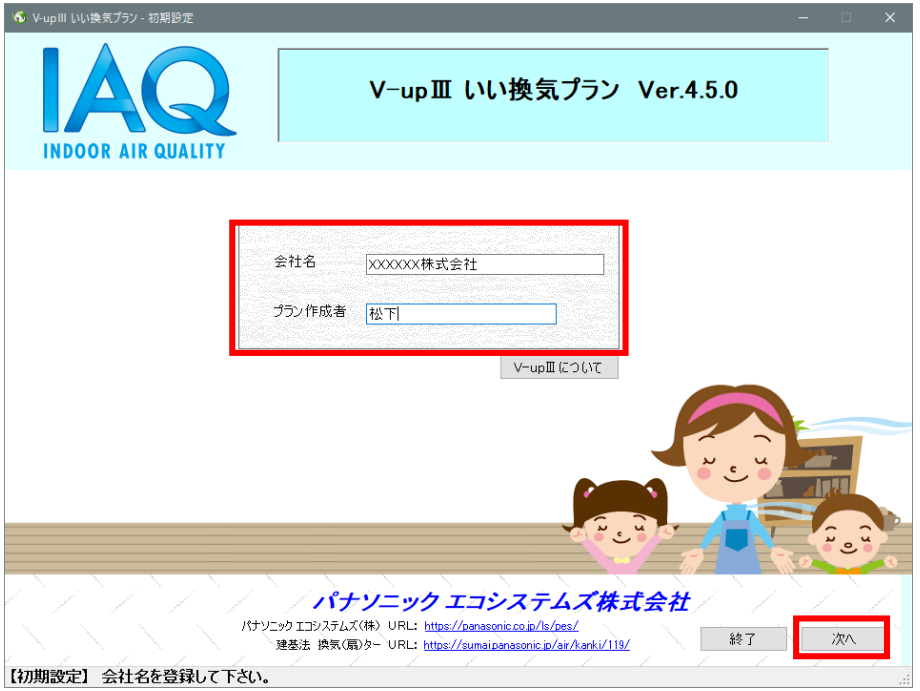
６－１．起動

1. デスクトップのショートカットアイコンをダブルクリックします。
または、スタートメニューの「V-upⅢ いい換気プラン」を選択します。

2. 「V-upⅢ いい換気プラン」が起動します。
会社名とプラン作成者を入力して、 次へ をクリックします。

※「最新のアップデートが公開されています。」 という
メッセージが表示された場合は、アップデートをしてください。





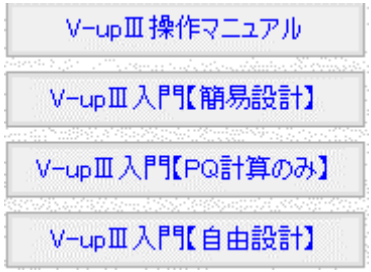
アップデートの操作方法については、
「**第２章 補助機能 ７．システムアップデート**」を参照ください。

６－２．換気プラン作成メニュー

プラン作成作業項目を選択します。

（１）各種マニュアル

本マニュアルおよび、各種の簡易操作入門を表示します。



※マニュアルを見るためには　Adobe Acrobat Reader が必要です。

（２）プラン作成

新しく換気プランを作成します。

プランの作成方法については、「**第３章 プラン作成**」を参照ください。

（３）プラン修正

作成済みの換気プランを修正します。

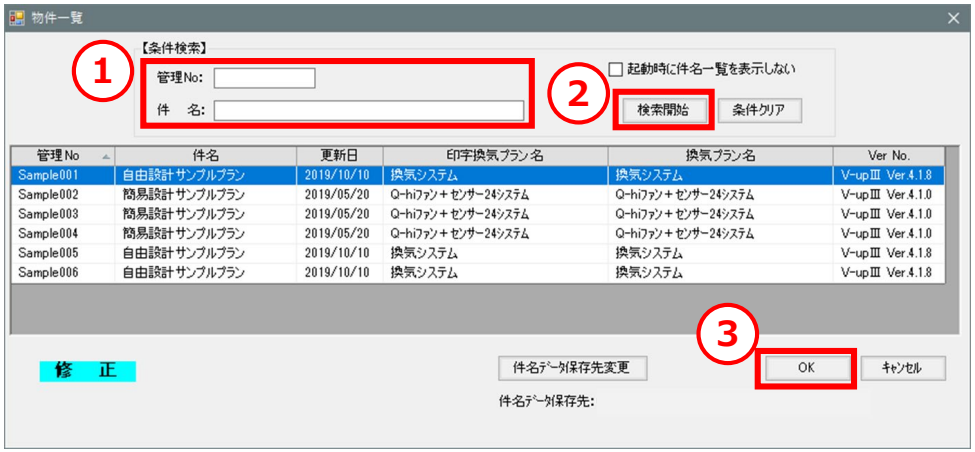
① 修正する換気プランの管理No.または、件名を入力します。

※一部分のみの入力でも検索できます。

② **検索開始** をクリックします。

③ 修正するプランを選択して、 **OK** をクリックします。

※「☑起動時に件名一覧を表示しない」にチェックが入っていると、プラン修正を選択した際に物件一覧が表示されません。
初期設定はチェックが入った状態です。



（４）プラン削除

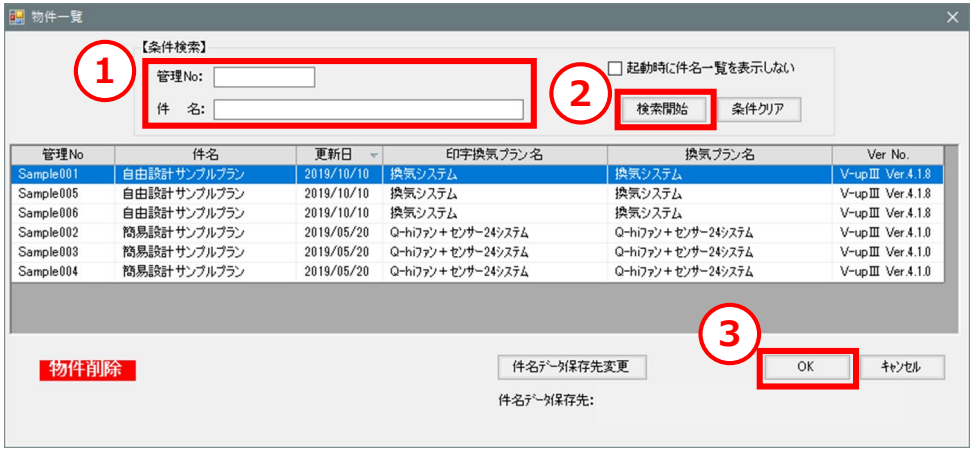
作成済みの換気プランを削除します。

① 削除する換気プランの管理No.または、件名を入力します。

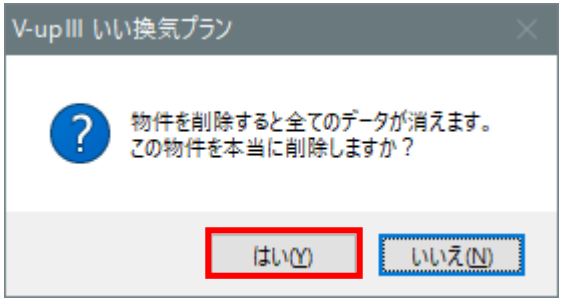
※一部分のみの入力でも検索できます。

② **検索開始** をクリックします。

③ 削除するプランを選択して、 **OK** をクリックします。



④ 確認ウィンドウが表示されるので、 **はい** をクリックします。



※誤って物件を削除してしまった場合、“ごみ箱”より戻すことは可能です。

※ごみ箱を空にしてしまった場合はその限りではありません。

（５）印刷

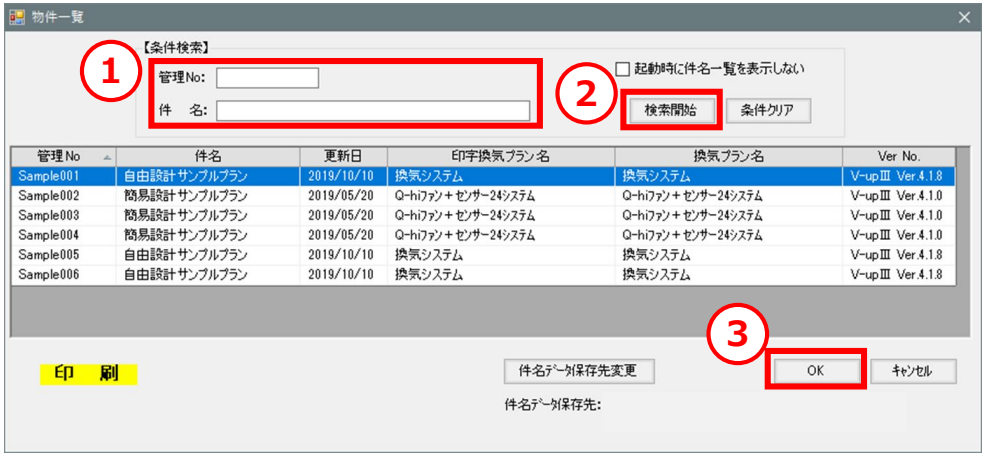
作成済みの換気プランを印刷・Excel出力します。

① 印刷する換気プランの管理No.または、件名を入力します。

※一部分のみの入力でも検索できます。

② **検索開始** をクリックします。

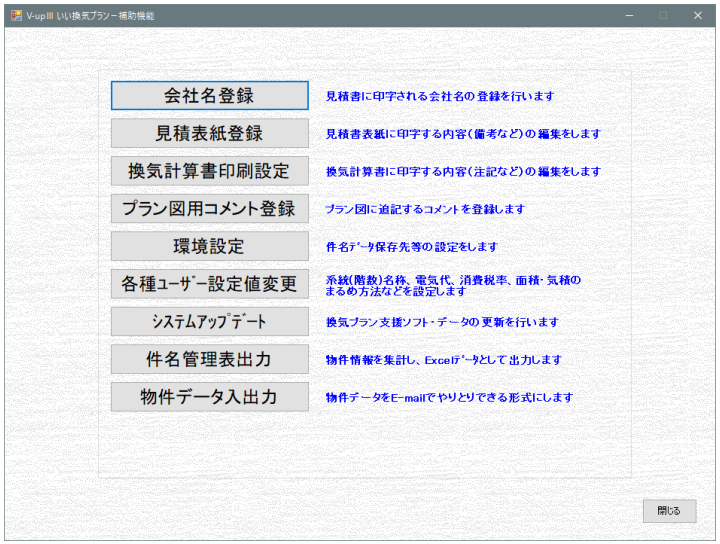
③ 印刷するプランを選択して、 **OK** をクリックします。



印刷方法については、
「**第３章 プラン作成 １４．帳票印刷**」を参照ください。

（６）補助機能

アップデート、各種環境設定などをおこないます。



補助機能の詳細内容については、
「**第２章 補助機能**」を参照ください。

６－３．保存

1. 画面右下の **保存** をクリックします。

※［保存］ボタンは基本的に各画面の右下にあります。

※右のサンプル画像は「部屋設定」画面です。

2. 物件ファイル保存の確認ウィンドウが表示されます。
任意の項目を選んで、 **OK** をクリックします。

⦿ 現在の管理Noで保存：上書き保存します。
⦿ 別管理Noとして保存：現在の管理Noとは別の管理Noで保存します。

「☑ 以降の処理を 新管理Noで実行する。」にチェックが入っていると、保存後に新管理Noでプラン作成を継続します。

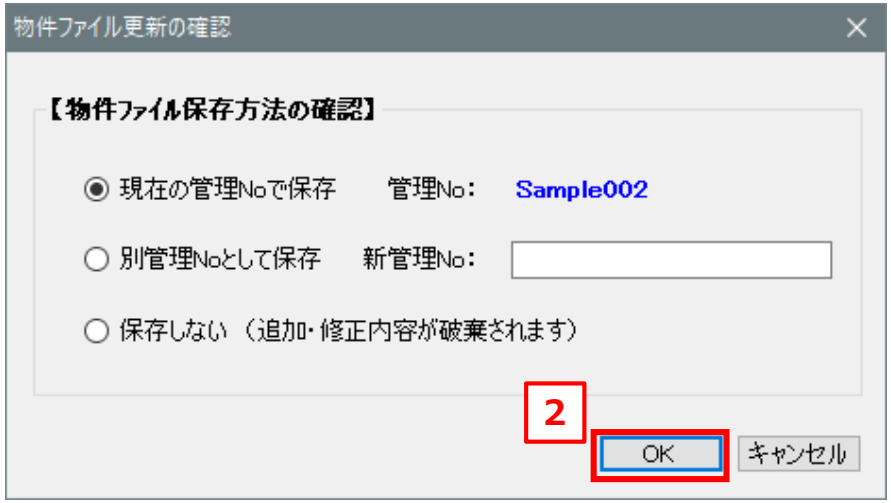
６－４．終了

1. 画面右上の　×　をクリックします。

※右のサンプル画像は「部屋設定」画面です。

2. 物件ファイル更新の確認ウィンドウが表示されます。

任意の項目を選んで、　OK　をクリックします。



⊙ 現在の管理Noで保存：上書き保存します。
⊙ 別管理Noとして保存：現在の管理Noとは別の管理Noで保存します。
⊙ 保存しない　　：変更を保存せずに終了します。

3. V-upⅢが終了します。

第２章　補助機能

プラン作成を始める前の各種設定やアップデートをおこないます。
「換気プラン作成メニュー」画面で［補助機能］を選択します。

【プラン作成前に設定しておく機能】

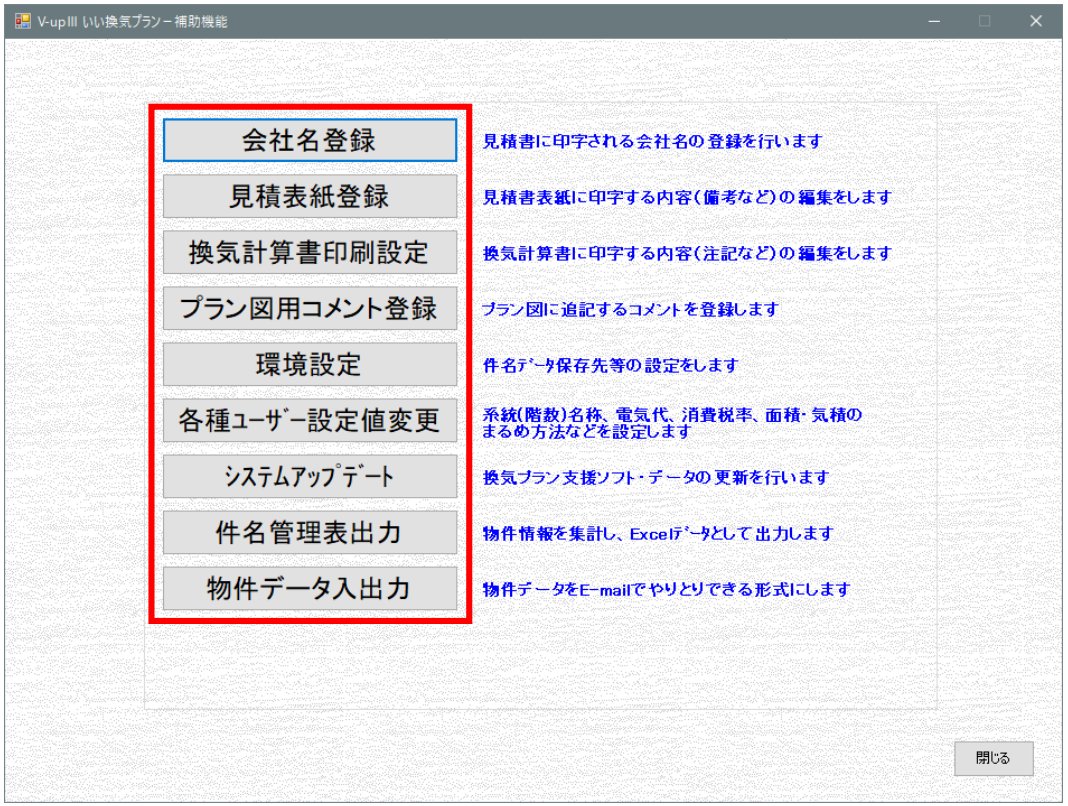
- 会社名登録
- 見積表紙登録
- 換気計算書印刷設定
- プラン図用コメント登録
- 環境設定
- 各種ユーザー設定値変更

【定期的に使う機能】

- システムアップデート

【プラン作成後に使う機能】

- 件名管理表出力
- 物件データ入出力

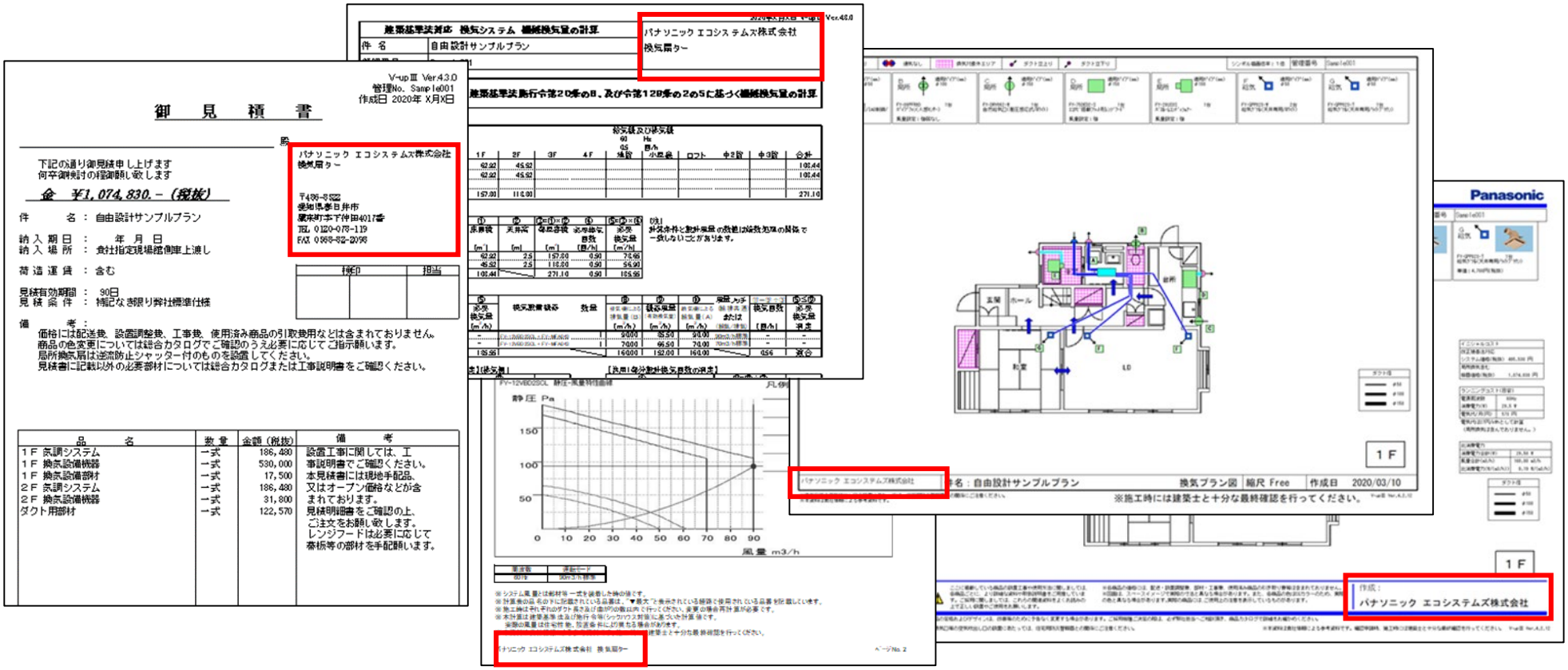


各ボタンからそれぞれの機能を設定します。

１．会社名登録

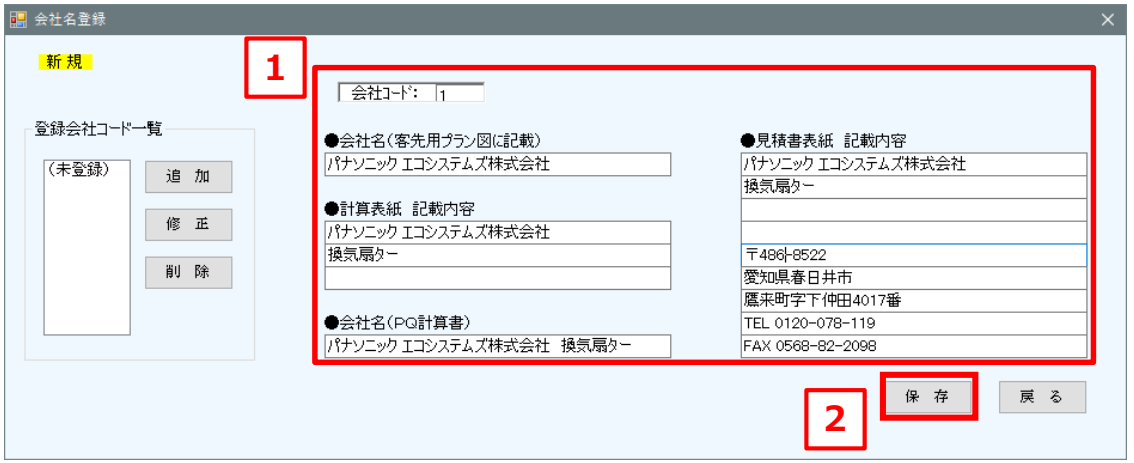
見積書表紙、計算表紙、PQ計算書、申請用プラン図、および客先用プラン図に印字される会社名を登録します。

「会社名登録」だけでは各帳票には反映されません。
登録した会社名を各帳票に反映させるには、「見積表紙登録」をおこないます。



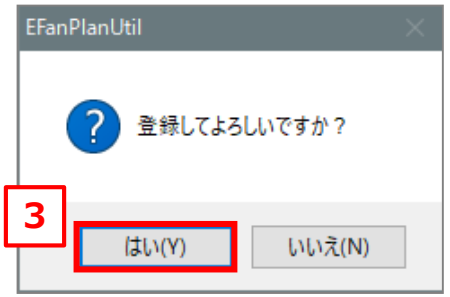
1. 会社コードと会社名を入力します。

会社コード：任意の半角5文字以内。
会社名　　：会社名・住所など。
　　１行につき全角20文字以内。



2. **保存** をクリックします。

登録するかどうかの確認ウィンドウが表示されます。



3. **はい** をクリックします。

登録会社コード一覧に会社コードが表示されます。

4. 登録完了を確認した後、**戻る** をクリックします。

【その他ボタンの説明】

追加　右側の入力欄が空白になり、新規入力状態になります。

修正　登録済みの会社名を修正します。

削除　登録済みの会社名を削除します。

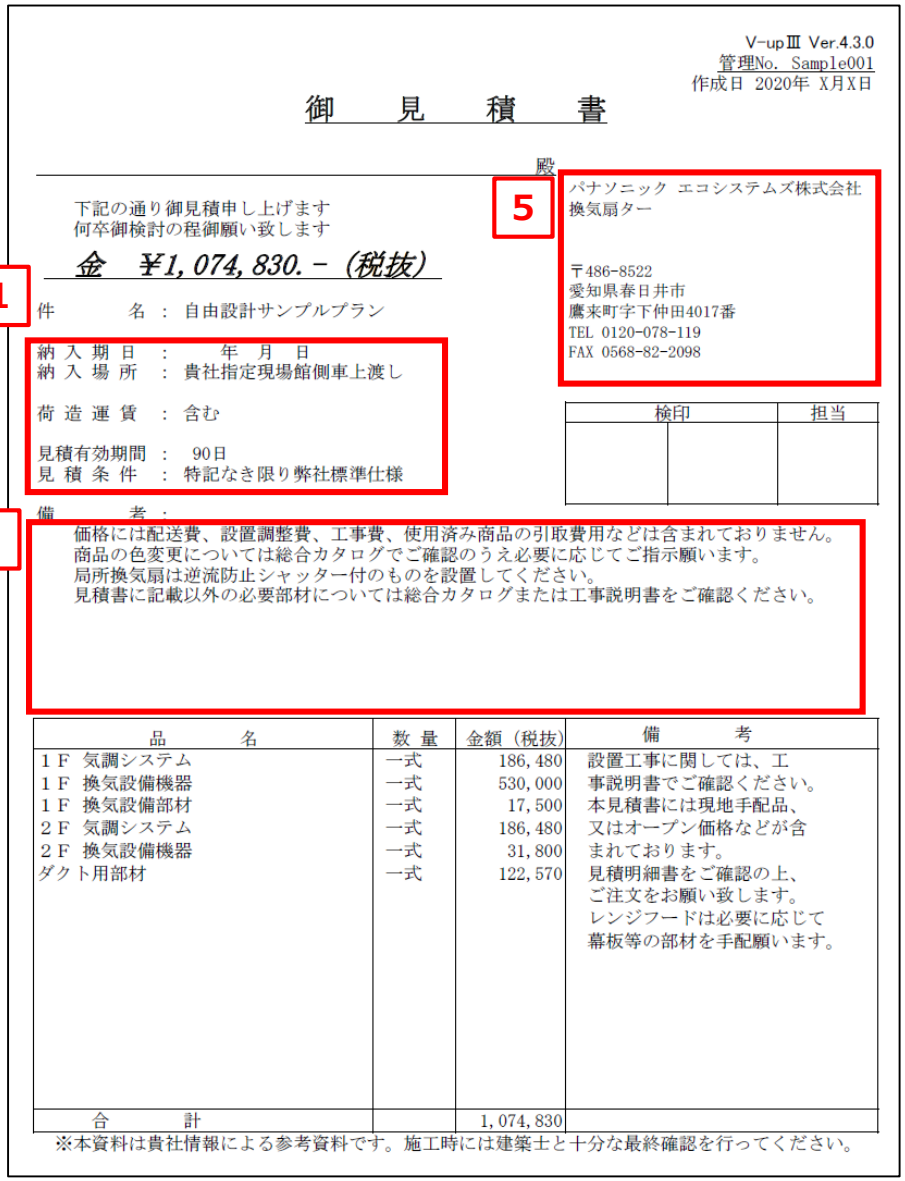
２．見積表紙登録

見積書表紙に印字する情報の登録をおこないます。

登録可能内容は以下の項目となります。

・納入場所
・荷造運賃
・見積有効期限
・見積条件
・備考
・会社名など

※右図の番号は、次ページ以降の各登録方法の番号となります。



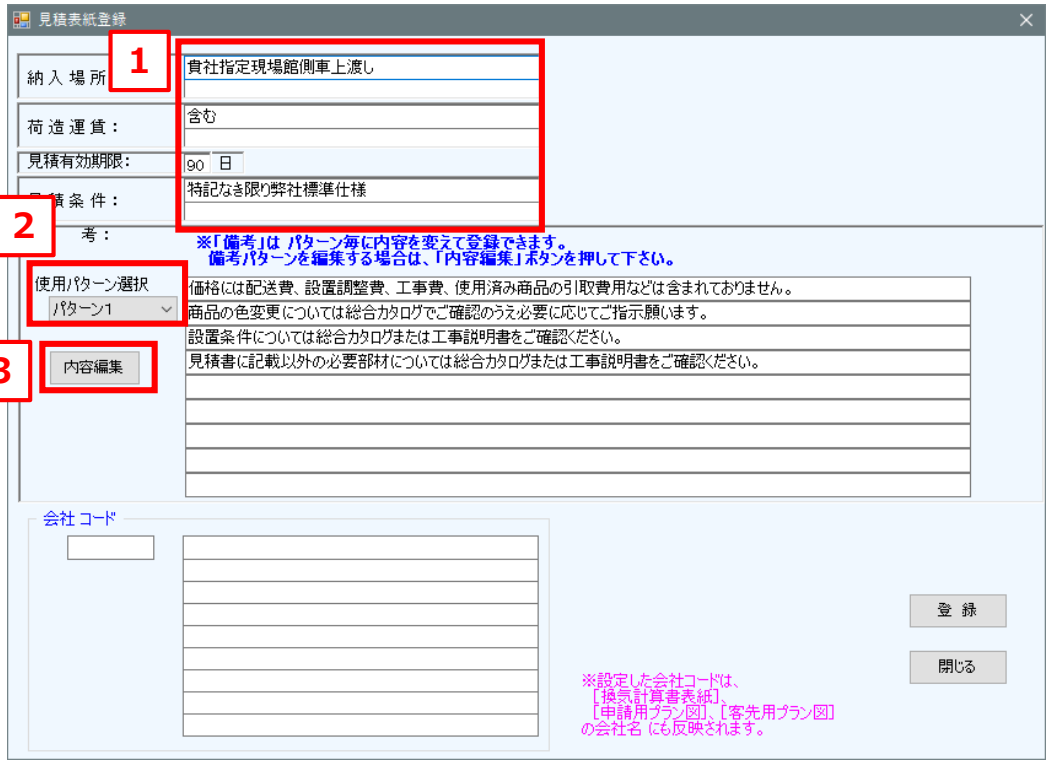
1. 納入場所・荷造運賃・見積有効期限・見積条件を入力します。

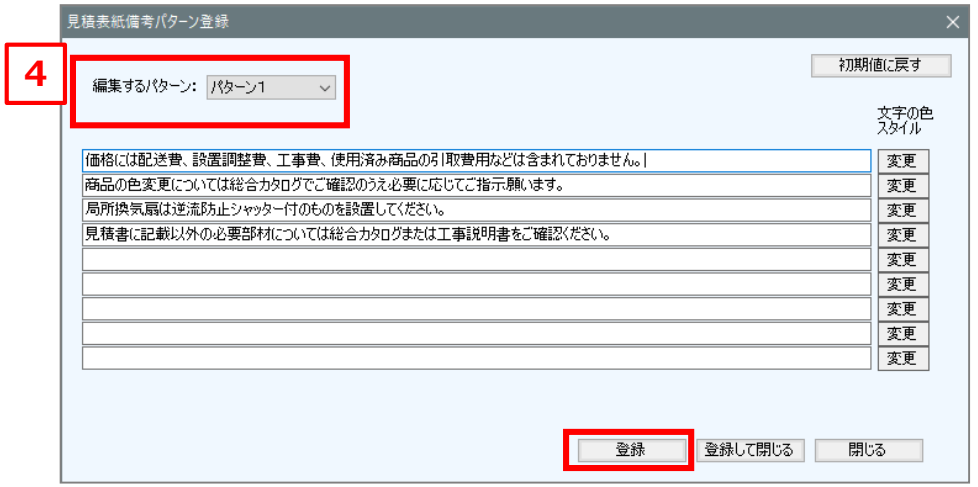
2. 見積書に表示する備考パターンを選択します。

3. 備考内容を変更する場合は、 **内容編集** をクリックします。

※備考パターンは９個まで登録が可能です。

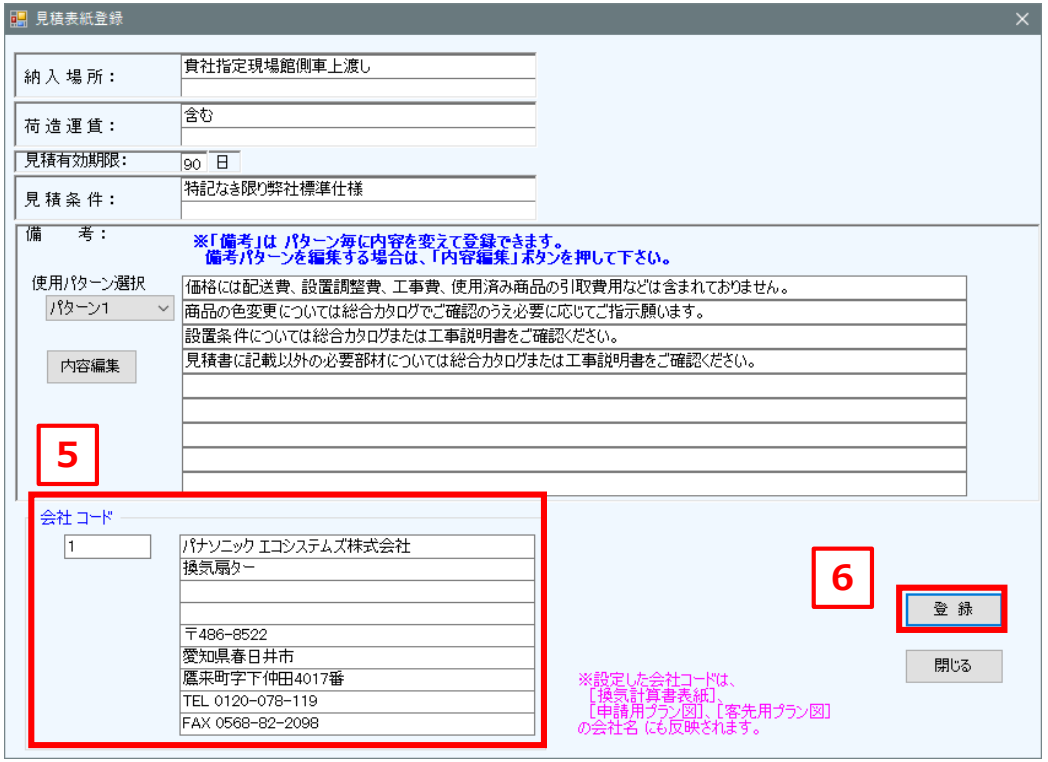
4. 編集するパターンを選択し、備考の内容を編集して **登録** をクリックします。





5. 会社コードを入力して「Enter」キーを押すと、
会社名登録で登録済の情報が表示されます。

6. 全ての設定をした後、 **登録** をクリックします。



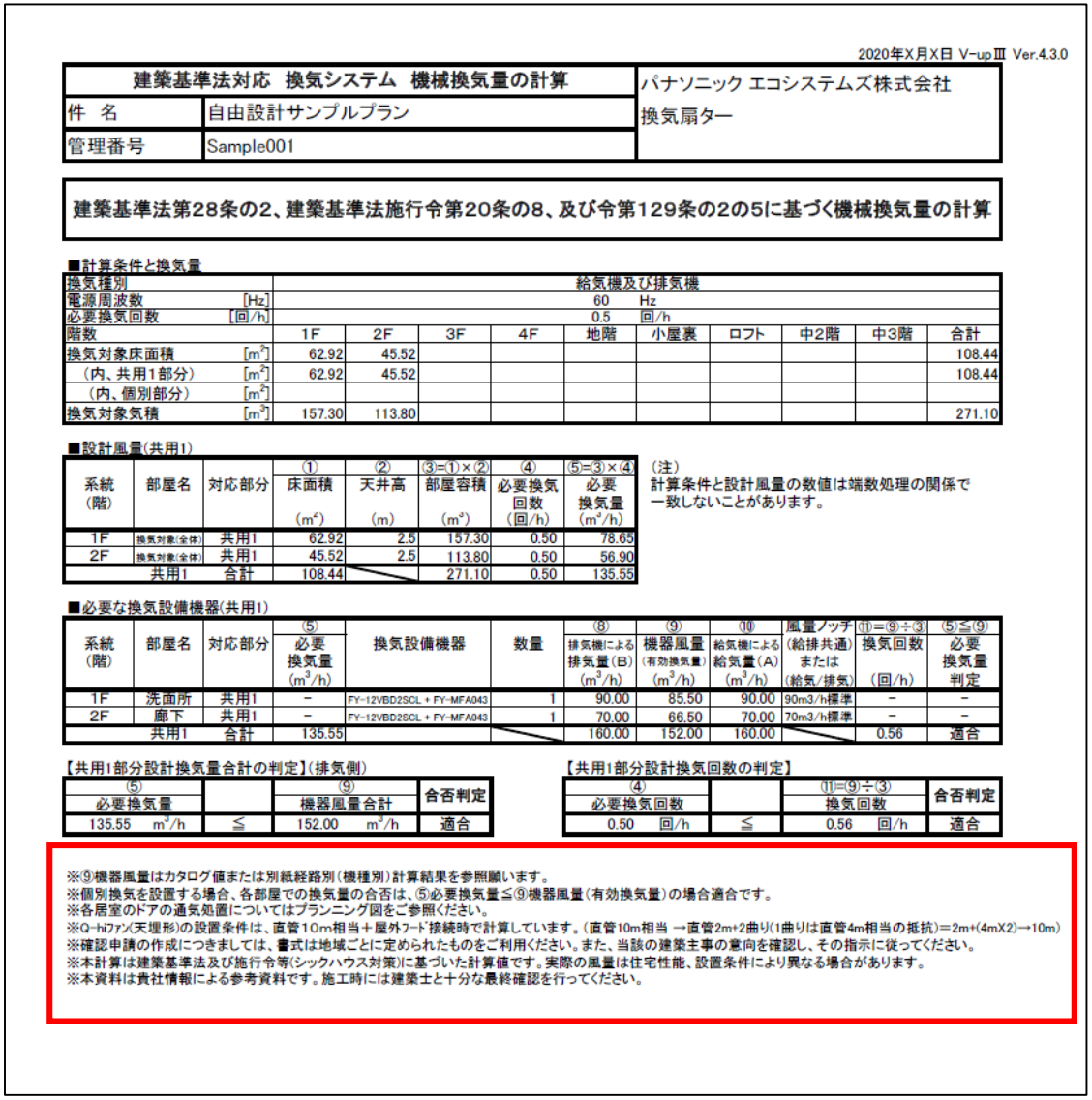
登録した内容は、登録後に新規作成したプランより反映されます。

見積表紙の設定は、「帳票印刷」画面の［表紙設定］ボタンからも変更することができます。

操作方法については、
「**第３章 プラン作成 １４．帳票印刷**」を参照ください。

３．換気計算書印刷設定

計算表紙に印字する備考欄の登録をおこないます。



2020年X月X日 V-upⅢ Ver.4.3.0

建築基準法対応　換気システム　機械換気量の計算		パナソニック エコシステムズ株式会社
件　名	自由設計サンプルプラン	換気扇ター
管理番号	Sample001	

建築基準法第28条の2、建築基準法施行令第20条の8、及び令第129条の2の5に基づく機械換気量の計算

■計算条件と換気量

換気種別		給気機及び排気機									
電源周波数	[Hz]	60　Hz									
必要換気回数	[回/h]	0.5　回/h									
階数		1F	2F	3F	4F	地階	小屋裏	ロフト	中2階	中3階	合計
換気対象床面積	[m²]	62.92	45.52								108.44
（内、共用1部分）	[m²]	62.92	45.52								108.44
（内、個別部分）	[m²]										
換気対象気積	[m³]	157.30	113.80								271.10

■設計風量(共用1)

系統（階）	部屋名	対応部分	①床面積 (m²)	②天井高 (m)	③=①×②部屋容積 (m³)	④必要換気回数 (回/h)	⑤=③×④必要換気量 (m³/h)
1F	換気対象(全体)	共用1	62.92	2.5	157.30	0.50	78.65
2F	換気対象(全体)	共用1	45.52	2.5	113.80	0.50	56.90
共用1	合計		108.44		271.10	0.50	135.55

（注）
計算条件と設計風量の数値は端数処理の関係で一致しないことがあります。

■必要な換気設備機器(共用1)

系統（階）	部屋名	対応部分	⑤必要換気量 (m³/h)	換気設備機器	数量	⑧排気機による排気量(B) (m³/h)	⑨機器風量 (有効換気量) (m³/h)	⑩給気機による給気量(A) (m³/h)	風量ノッチ (給排共通) または (給気/排気)	⑪=⑨÷③換気回数 (回/h)	⑤≦⑨必要換気量判定
1F	洗面所	共用1	－	FY-12VBD2SCL + FY-MFA043	1	90.00	85.50	90.00	90m3/h標準	－	－
2F	廊下	共用1	－	FY-12VBD2SCL + FY-MFA043	1	70.00	66.50	70.00	70m3/h標準	－	－
共用1	合計		135.55			160.00	152.00	160.00		0.56	適合

【共用1部分設計換気量合計の判定】(排気側)

⑤必要換気量		⑨機器風量合計	合否判定
135.55 m³/h	≦	152.00 m³/h	適合

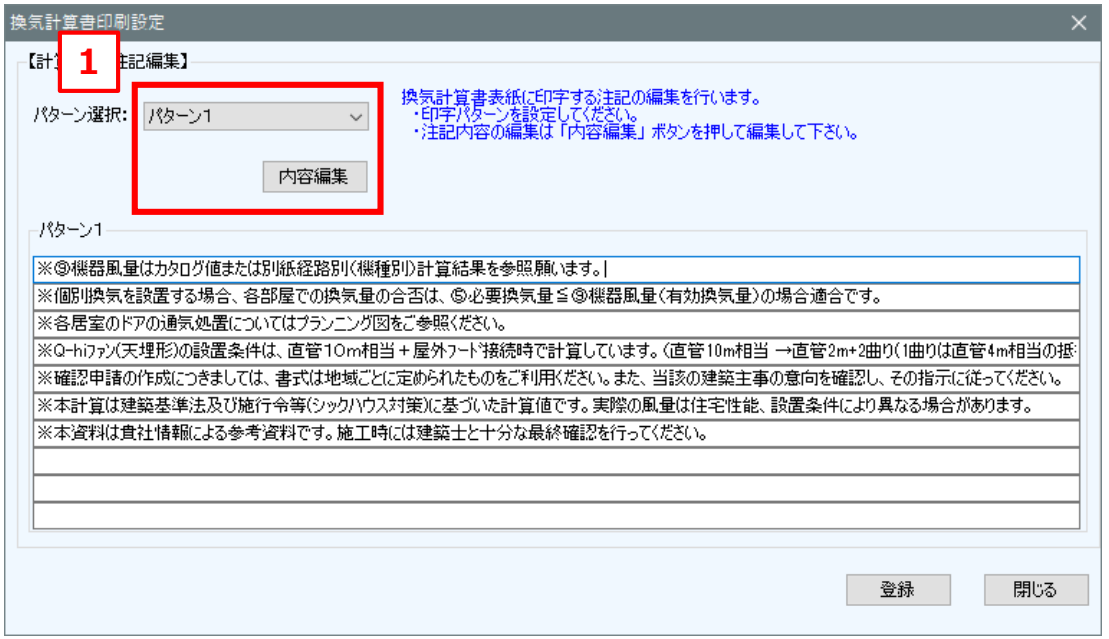
【共用1部分設計換気回数の判定】

④必要換気回数		⑪=⑨÷③換気回数	合否判定
0.50 回/h	≦	0.56 回/h	適合

※⑨機器風量はカタログ値または別紙経路別(機種別)計算結果を参照願います。
※個別換気を設置する場合、各部屋での換気量の合否は、⑤必要換気量≦⑨機器風量(有効換気量)の場合適合です。
※各居室のドアの通気処置についてはプランニング図をご参照ください。
※Q-hiファン(天埋形)の設置条件は、直管10m相当＋屋外フード接続時で計算しています。(直管10m相当 →直管2m+2曲り(1曲りは直管4m相当の抵抗)=2m+(4mX2)→10m)
※確認申請の作成につきましては、書式は地域ごとに定められたものをご利用ください。また、当該の建築主事の意向を確認し、その指示に従ってください。
※本計算は建築基準法及び施行令等(シックハウス対策)に基づいた計算値です。実際の風量は住宅性能、設置条件により異なる場合があります。
※本資料は責社情報による参考資料です。施工時には建築士と十分な最終確認を行ってください。

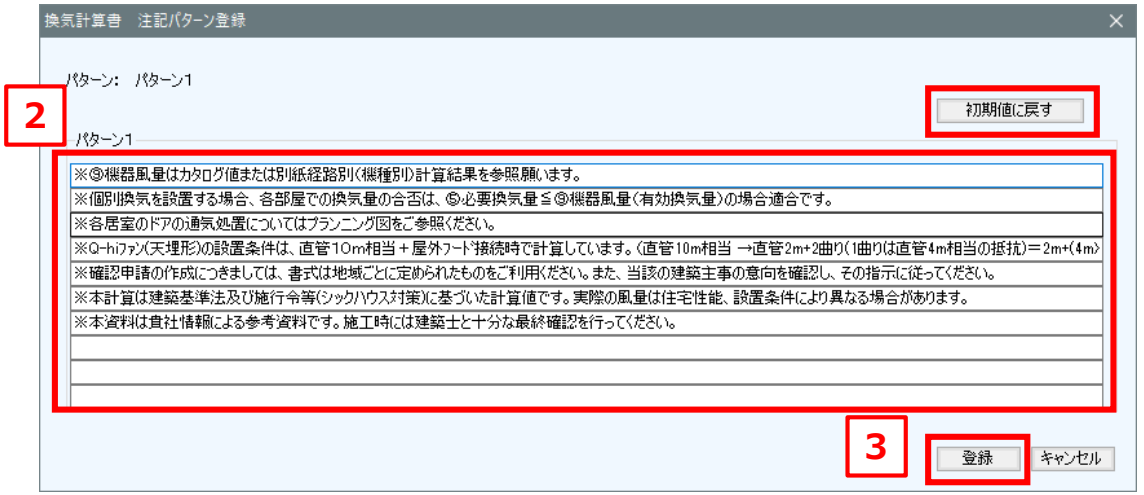
1. 編集する注記パターンを選択して **内容編集** をクリックします。

※注記パターンは３個まで登録が可能です。



2. 注記の内容を編集します。

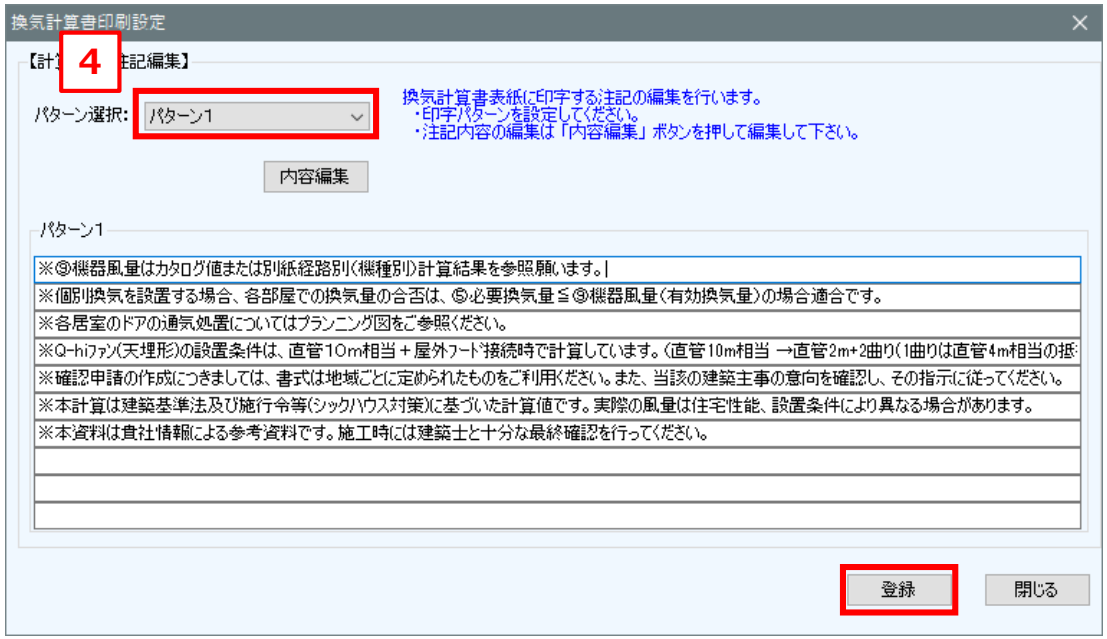
※［初期値に戻す］ボタンを押すと、注記内容が初期状態に戻ります。



3. 編集後、 **登録** をクリックします。

4. 計算表紙に印字したい注記パターンを選択した後、

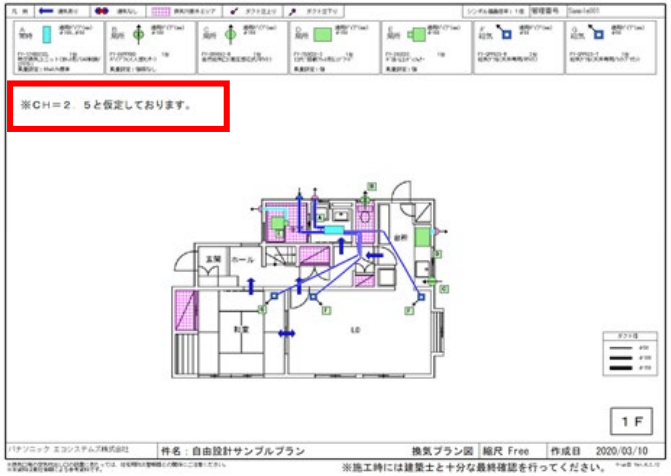
登録 をクリックします。



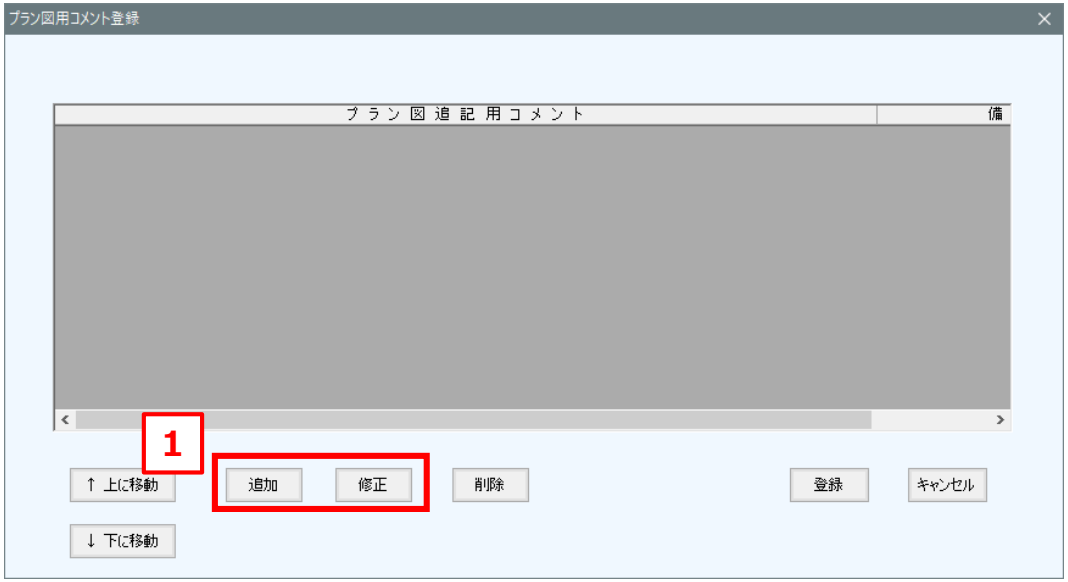
登録した内容は、登録後に新規作成したプランより反映されます。

４．プラン図用コメント登録

計算表紙に印字する備考欄の登録をおこないます。
プラン図に印字する頻度の高いコメントを、あらかじめ登録しておくことで、簡単な操作で印字することができます。

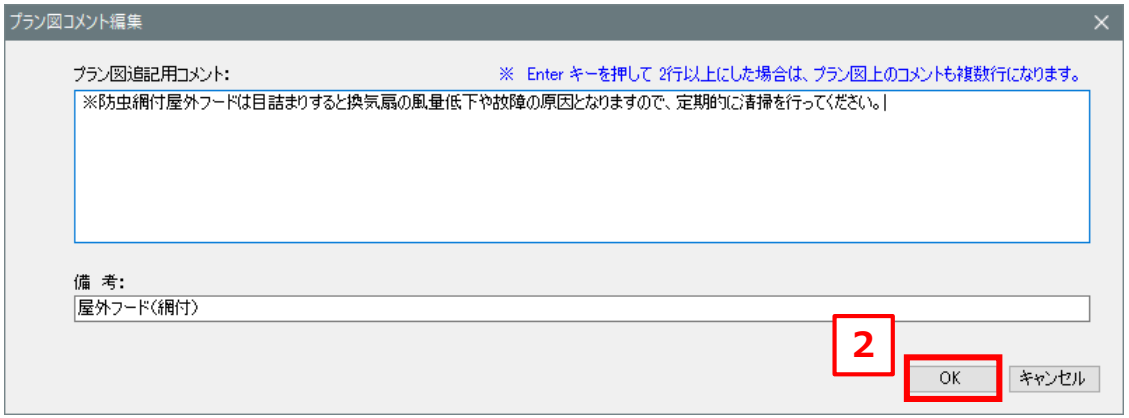


1. 新規にコメントを登録する場合は **追加** を、
登録済のコメントを編集する場合はコメントを選択してから **修正** をクリックします。

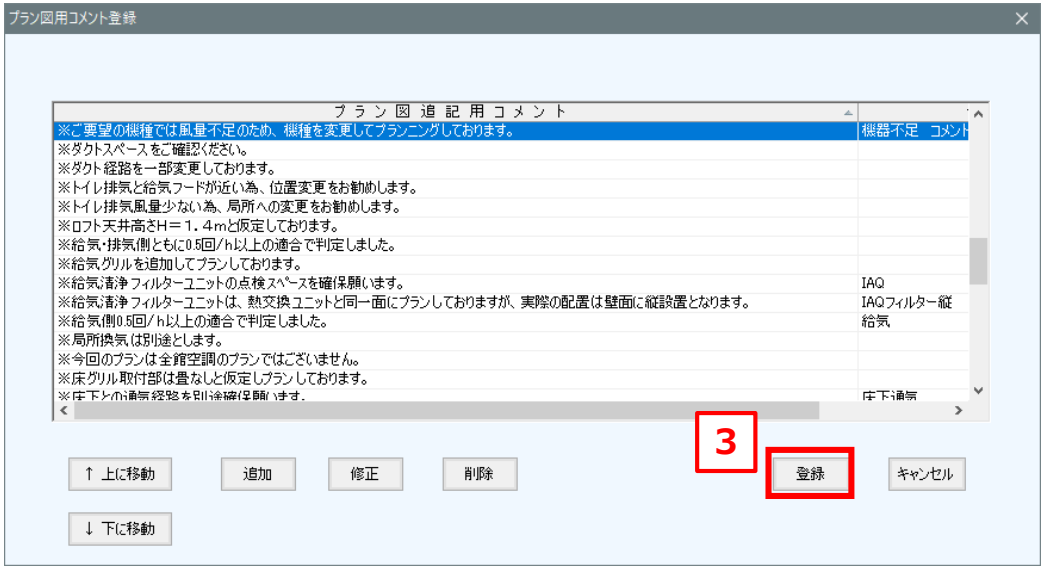


2. プラン図追記用コメントと備考（任意）を入力して **OK** をクリックします。

※備考はコメントとして印字されません。



3. コメントの追加修正後、 **登録** をクリックします。



【その他ボタンの説明】

上に移動　選択したコメントの順序を一つ上に移動します。

下に移動　選択したコメントの順序を一つ下に移動します。

削除　選択したコメントを削除します。

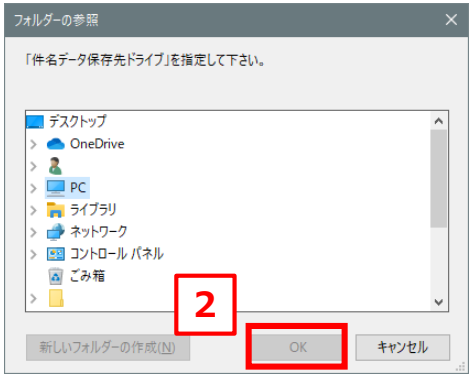
５．環境設定

プランデータ等の保存先を変更することができます。

1. 変更する保存先の **参照** をクリックします。

2. フォルダ指定ウィンドウが表示されるので、フォルダを指定して **OK** をクリックします。

3. 変更後、 **OK** をクリックします。

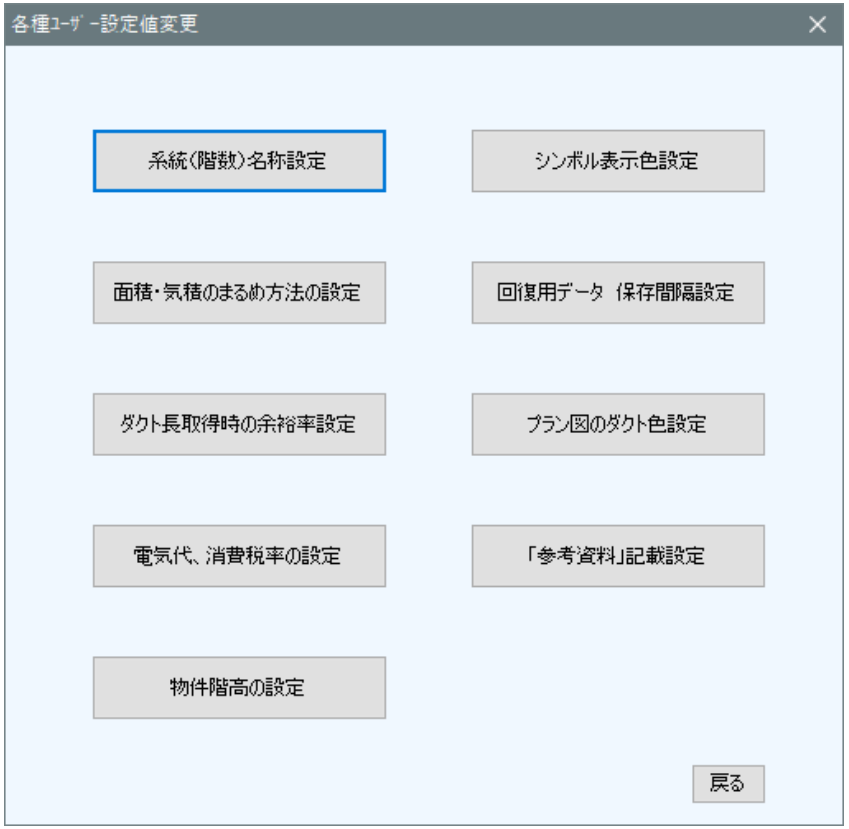


６．各種ユーザー設定値変更

系統（階数）名称、電気代、消費税率、面積・気積のまるめ方法等の初期値を設定します。

補助機能で変更した設定は、変更後に新規作成する全てのプランに対して適用されます。
作成中のプランにのみ適用する場合はプラン作成中に設定をおこなってください。

「回復用データ 保存間隔設定」以外は、プラン作成中に設定を変更することが可能です。



６－１．系統（階数）名称設定

系統（階数）名称の初期値を設定します。

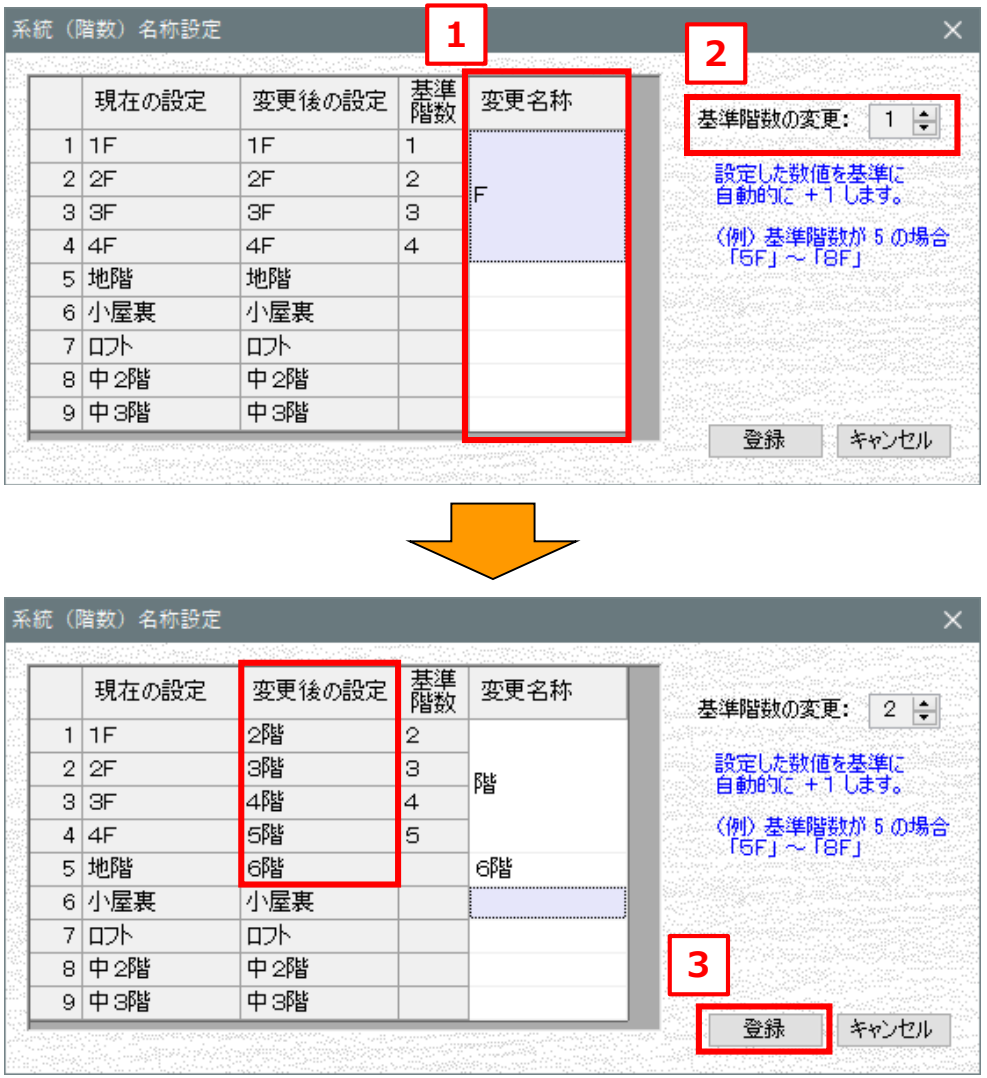
1. 「変更名称」欄に変更したい名称を入力します。
「変更後の設定」の表示が変わります。

※１～４枠目については、階数表現（Ｆ、階など）のみ変更できます。

2. 基準階数（1枠目の数字）を変更する場合は、右上の［スピンボタン］で増減させます。

※右図では、
１～４枠の階数表現を：「Ｆ」→「階」に変更。
基準階数を　　：「１」→「２」に変更。
５枠目の名称を　　：「地階」→「６階」に変更。
結果、「２階～６階」に変更されている。

3. 変更後、 **登録** をクリックします。



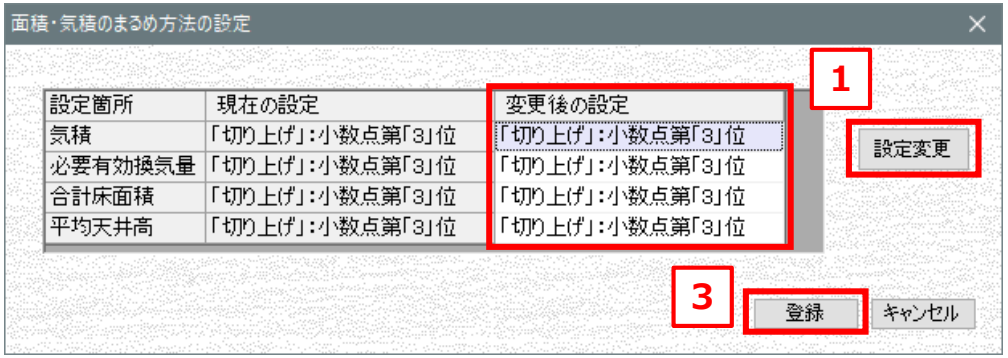
1～9の名称を重複して登録することはできません。

６－２．面積・気積のまるめ方法の設定

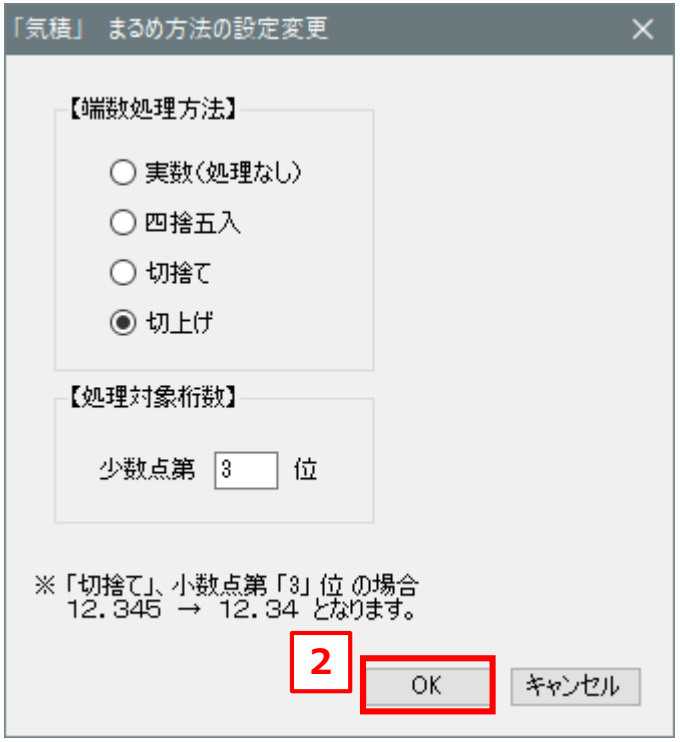
気積・必要有効換気量・合計床面積・平均天井高について、小数点以下の端数が発生した場合のまるめ方法を設定します。

1. 変更する項目を選択して **設定変更** をクリックします。

※設定ウィンドウが表示されます。



2. 端数の処理方法を選択して **OK** をクリックします。



【端数処理方法】

- ⦿ 実数（処理なし）：端数処理をおこないません。
- ⦿ 四捨五入　　：処理対象桁数を四捨五入します。
- ⦿ 切捨て　　：処理対象桁数を切り捨てます。
- ⦿ 切上げ　　：処理対象桁数を切り上げます。

【例】実数123.456の場合

- 小数点第２位で四捨五入→　123.5
- 小数点第２位で切捨て　→　123.4
- 小数点第２位で切上げ　→　123.5

3. 変更後、 **登録** をクリックします。

６－３．ダクト長取得時の余裕率設定

V-upⅢでは図面の縮尺にあわせてダクト長を自動で取得します。その時のダクト長の余裕率を設定します。

1. 変更する項目の「端数処理」を選択変更し、加算長さを入力します。

2. 変更後、 **登録** をクリックします。

【例】ダクト長　2.3mの場合

- 0.5m単位切り上げ　加算長さ1mの場合

  2.3m　→　2.5m　→　2.5m+1.0m　⇒　3.5m

- 1m単位切り上げ　　加算長さ1.5mの場合

  2.3m　→　3.0m　→　3.0m+1.5m　⇒　4.5m

【その他ボタンの説明】

初期値に戻す をクリックすると初期値に戻ります。

初期値：

- 0.5m単位切上げ

  （不燃チューブ、消音ダクトのみ「1m単位切上げ」）

- 加算長さ1m

  （消音ダクトのみ加算なし）

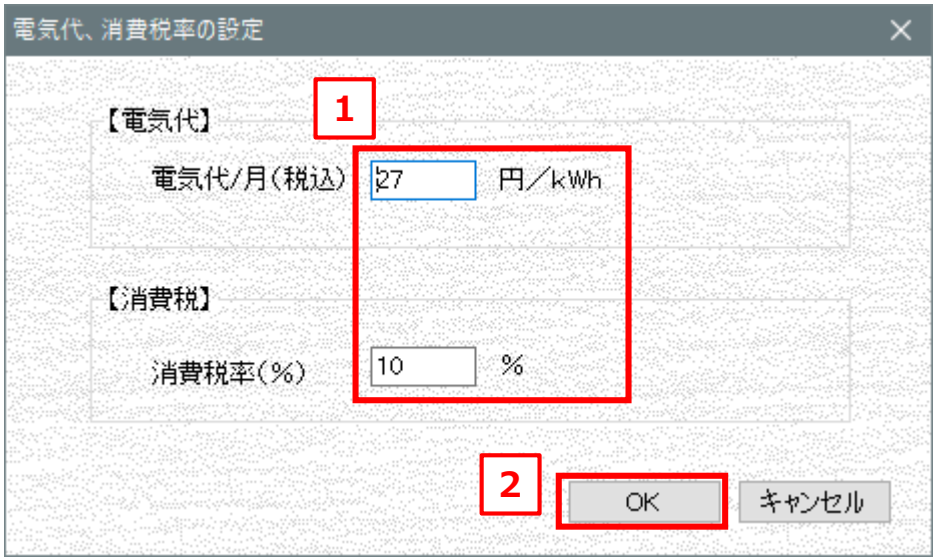
６－４．電気代、消費税率の設定

ランニングコストの計算に使用する電気代および、消費税率を設定します。

1. 変更する項目の数値を入力します。

2. 変更後、 OK をクリックします。

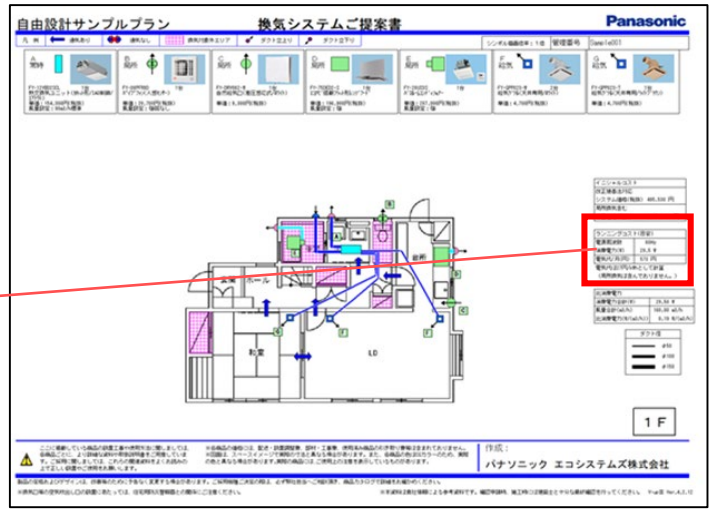
※消費税率は、「帳票印刷」画面でも設定することができます。



※ランニングコストは、
客先用プラン図に表示する事ができます。

ランニングコスト(目安)	
電源周波数	60Hz
消費電力(W)	66.0 W
電気代/月(円)	1,284 円

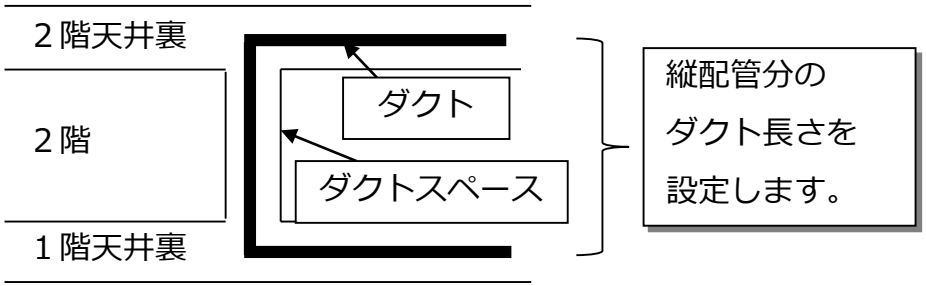
電気代は27円/kWhとして計算
（局所換気は含んでおりません。）

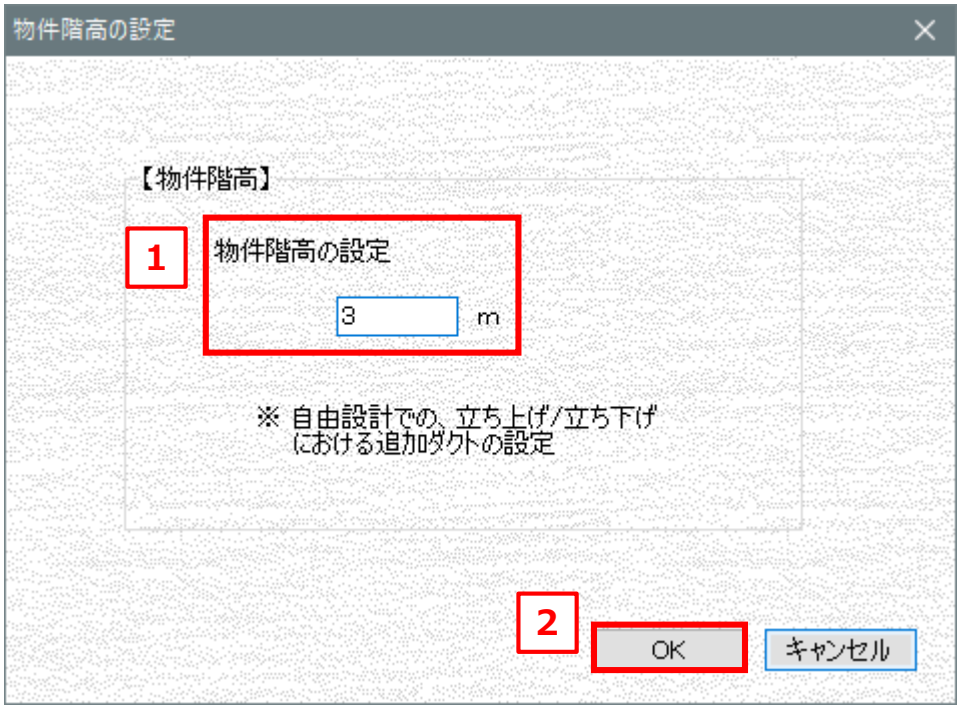


６－５．物件階高の設定

プラン作成時のダクト配管において、階を貫通して配管する場合に何メートル分のダクトを見込むかを設定します。

1. 変更する数値を入力します。





2. 変更後、 OK をクリックします。

※プラン作成時に個別に設定することができます。

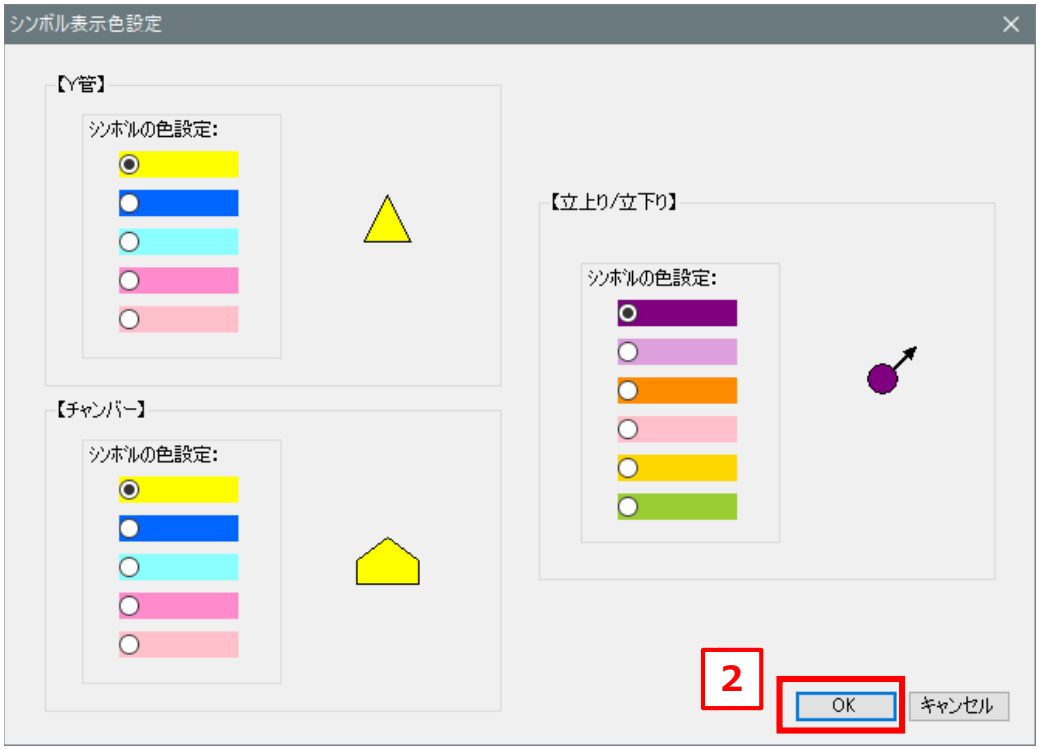
６－６．シンボル表示色設定

プラン図における「Y管」、「チャンバー」、「立上り／立下り」のシンボル色を設定します。

1. 各シンボルの色を選択します。

2. 変更後、 OK をクリックします。

※プラン作成時にシンボル１個ずつ設定することができます。

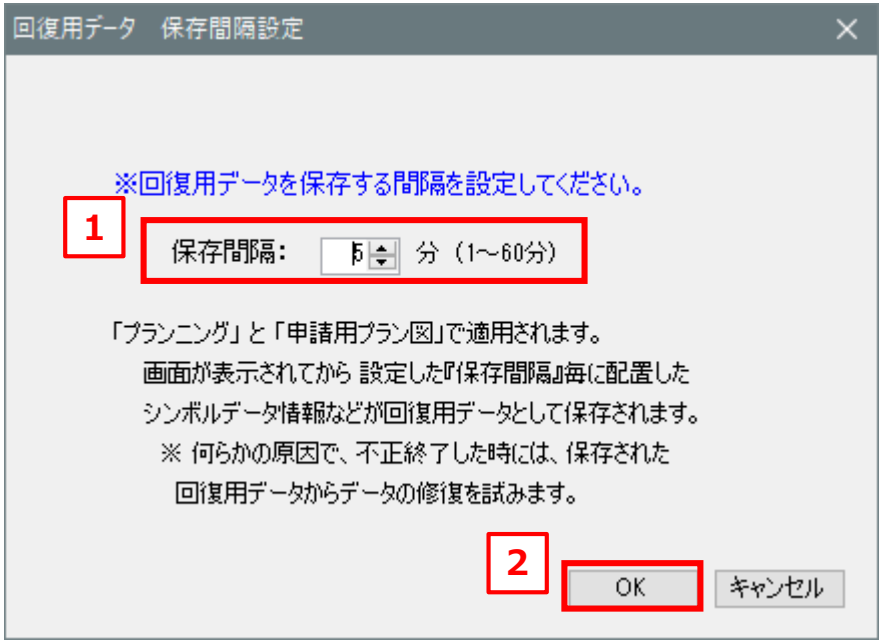


６－７．回復用データ　保存間隔設定

万一、予期せぬエラーで強制終了した場合にプランデータを復旧できるように、バックアップをする間隔を設定します。

1. 保存間隔（1分～60分）を設定します。

2. 変更後、 OK をクリックします。



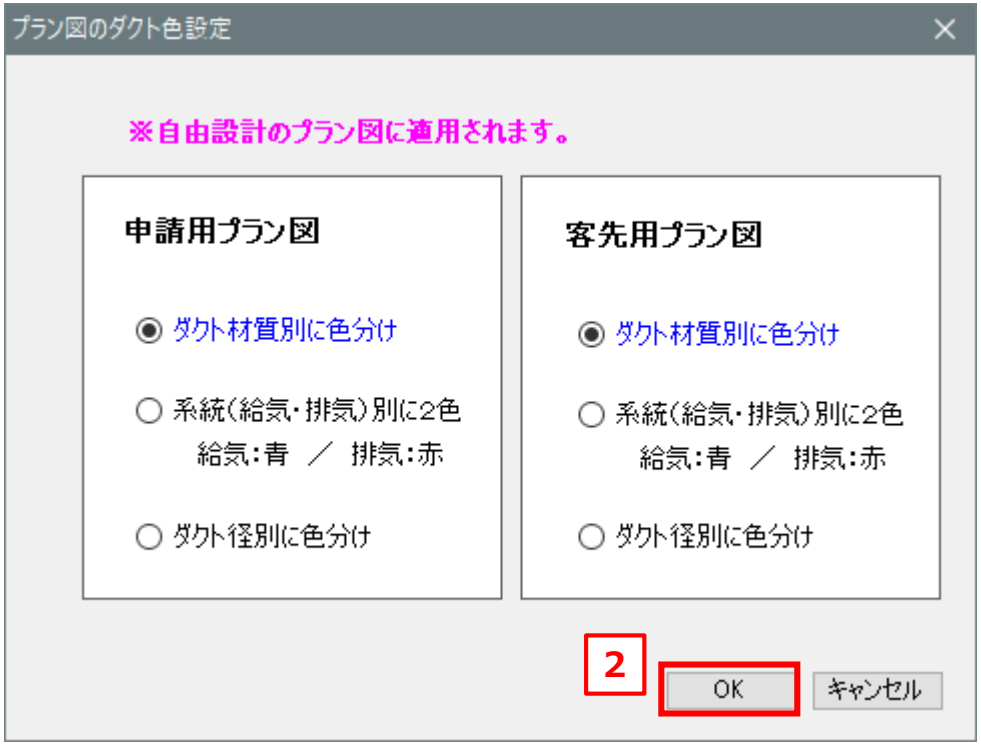
６－８．プラン図のダクト色設定

申請用プラン図と客先用プラン図で表示するダクトの配色を設定します。

1. ダクトの表示方法を選択します。

2. 変更後、 OK をクリックします。

※それぞれの「プラン図」画面でも設定することができます。



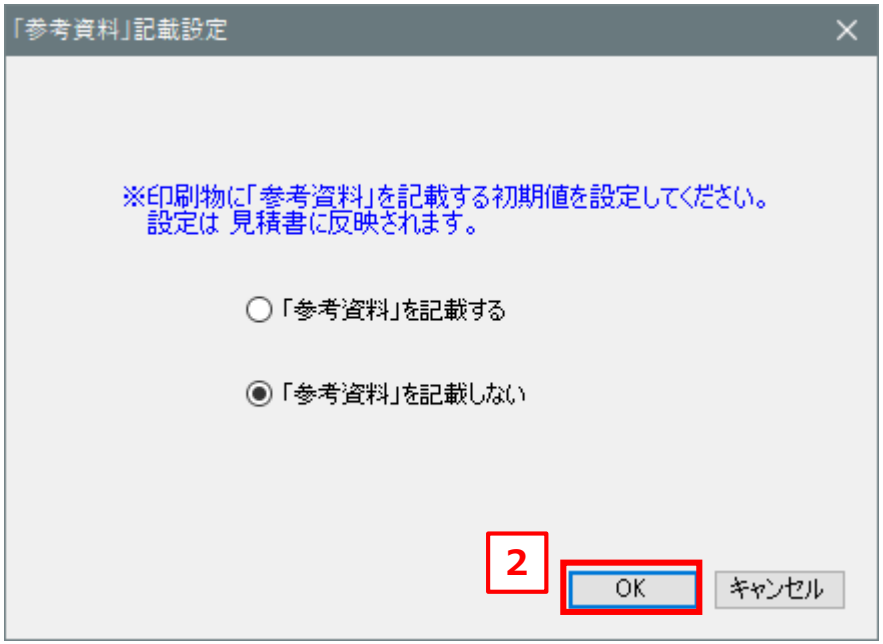
６－９．「参考資料」記載設定

見積書に、「参考資料」のスタンプを表示するかの設定をします。

1. 「参考資料」を表示する／しないを選択します。

2. 変更後、 OK をクリックします。

※「帳票印刷」画面でも設定することができます。



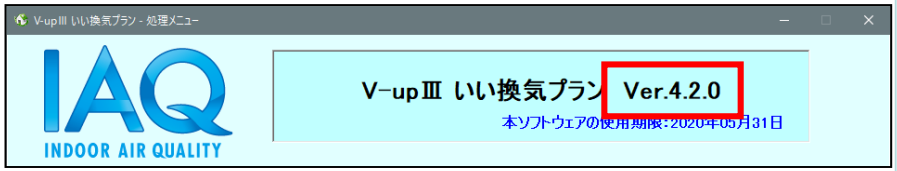
7．システムアップデート

V-upⅢのアップデートを行います。

1. 事前にV-upⅢのダウンロードサイトにアクセスして、
アップデートファイルをダウンロードします。

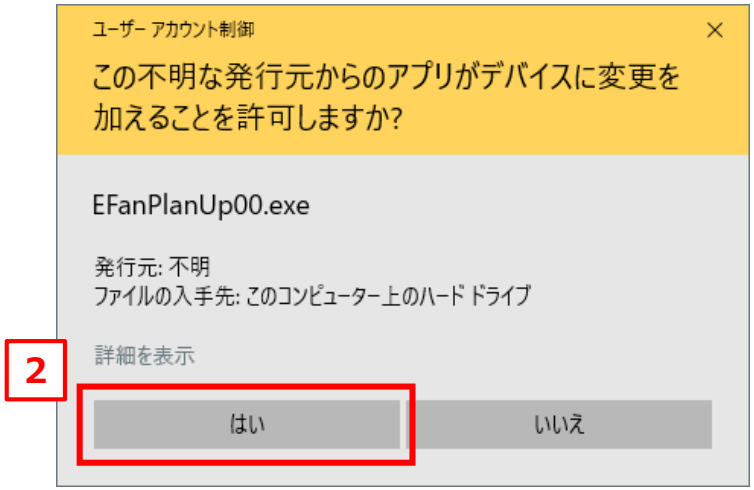
【現在のバージョンの確認】

V-upⅢを起動して、最初の画面の上部に
「Ver.○.○○.○」と表示されています。



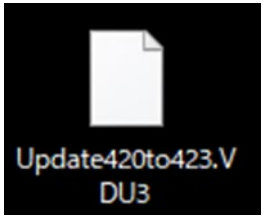
2. 補助機能の［システムアップデート］を選択した後、
ユーザーアカウント制御の確認ウィンドウが表示された場合は、
はい をクリックします。

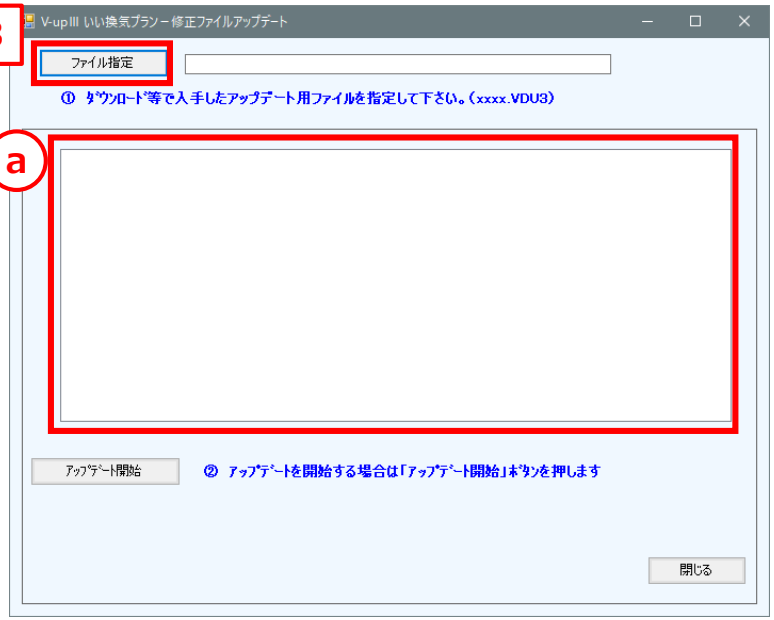
（右図はWindows10の場合）



3. アップデートウィンドウが表示されるので、 **ファイル指定** を
クリックしてアップデートファイルを選択します。

※アップデートファイル名は「Update420to423.VDU3」のように
「Update」の文字を含みます。

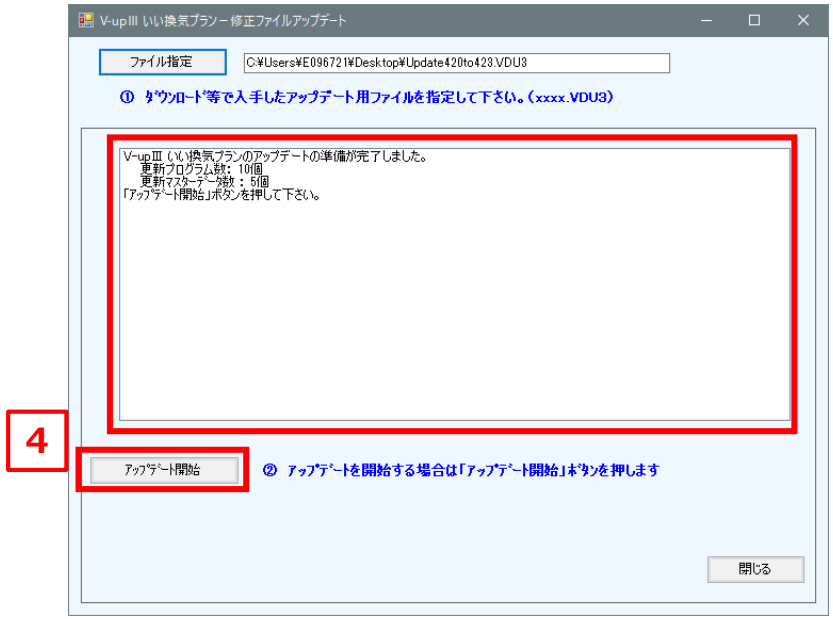




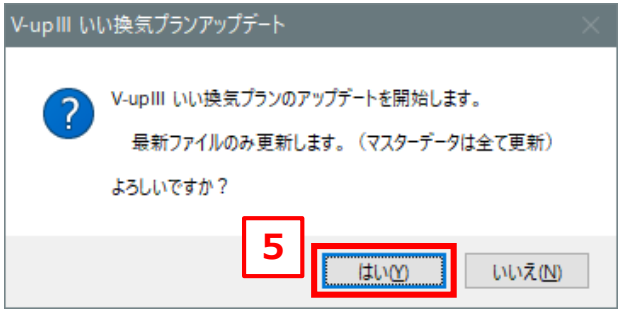
【アップデートファイルのドラッグ＆ドロップ機能】

a. 中央白色部分にアップデートファイルをドラッグ＆ドロップ
します。

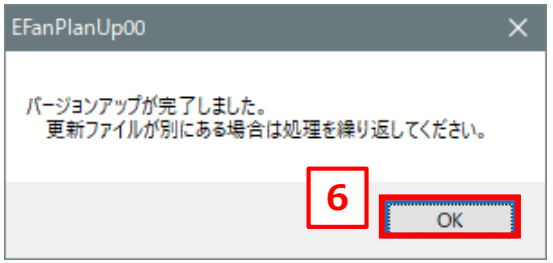
4. 中央部分に「アップデートの準備が完了しました。」の
文字が表示されたら **アップデート開始** をクリックします。



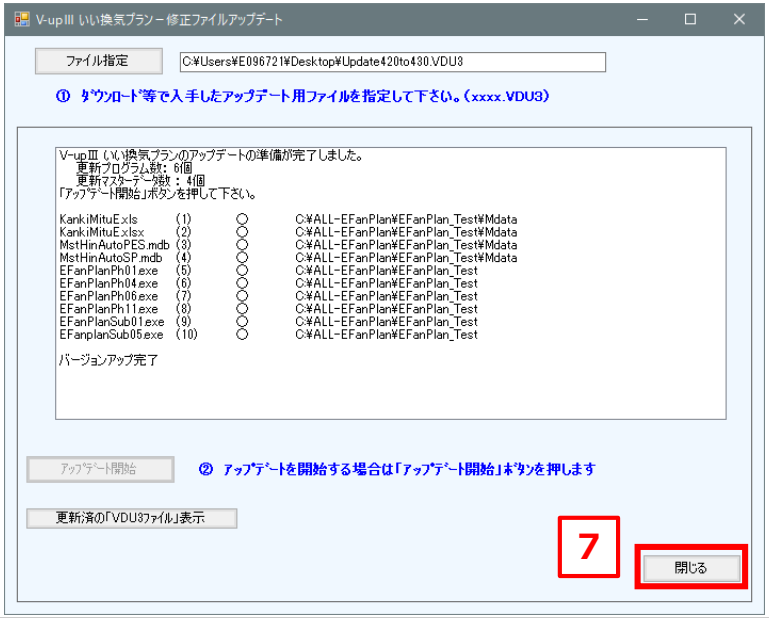
5. アップデート開始の確認メッセージが表示されるので、 **はい** を クリックすると、アップデートが開始されます。



6. アップデート完了の確認メッセージが表示されるので、 **OK** を クリックします。

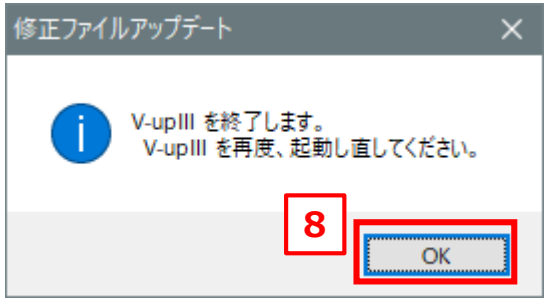


7. アップデート完了の確認後、 **閉じる** をクリックします。



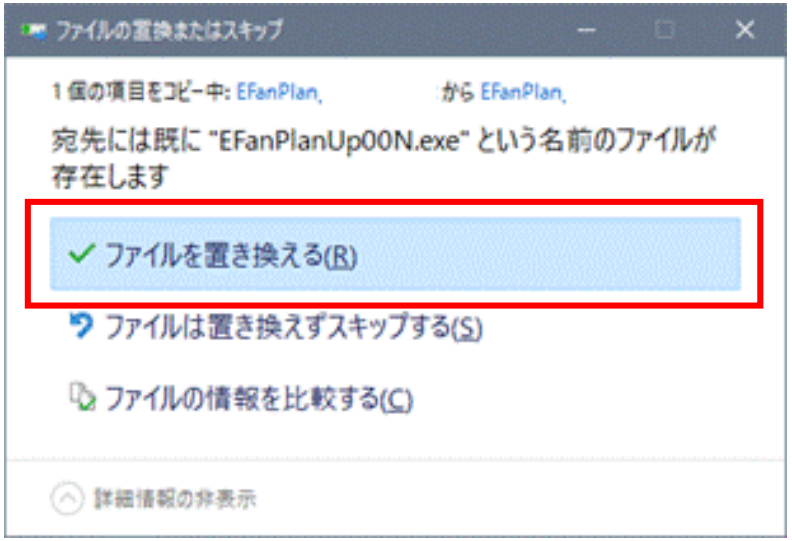
8. 確認メッセージが表示されるので、 **OK** をクリックします。

※V-upⅢが終了します。



以上で、アップデート作業は完了です。

システムアップデート後、再度V-upⅢを起動した時、
右図のように「ファイルの置換またはスキップ」の確認ウィンドウが
表示された場合は「ファイルを置き換える」を選択してください。



（サンプル画像はWindows10の場合）

８．件名管理表出力

作成済みのプランを一覧として、印刷またはExcel出力します。

件　名　管　理　表

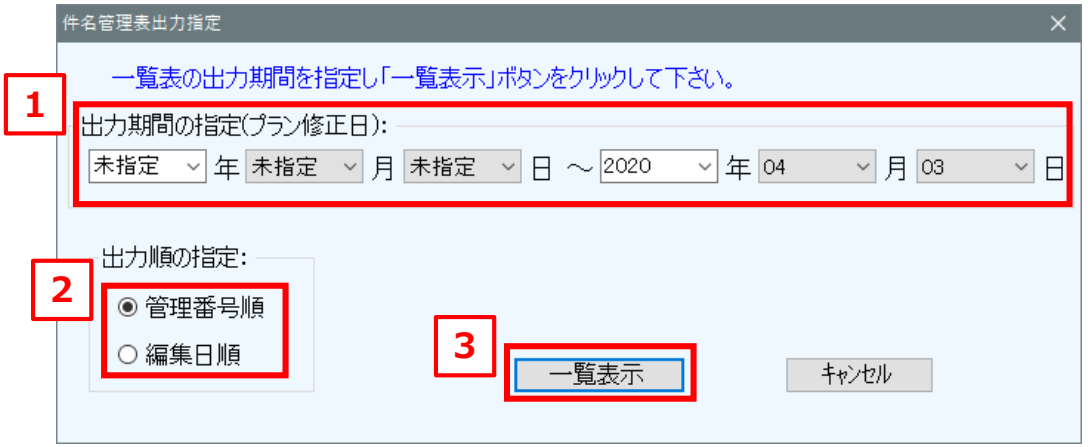
作成日：2020年3月18日

管理No.	編集日	資料作成依頼会社							物件名	換気方式	金　額(税抜)	作成者	備考1（工務店等）	備考2（ハウスメーカ等）
		見積書の宛先	見積のご依頼先会社	支　店　名	担当者名	電話	FAX	住　所						
Sample001	2019/10/10								自由設計サンプルプラン	換気システム	1,074,930			
Sample002	2019/12/13								省エネ設計サンプルプラン	ロータンク＋センサー24ヶ所	278,400			
Sample003	2020/03/18	いろは	A　株式会社	○○支店	松下				省エネ設計サンプルプラン	ロータンク＋センサー24ヶ所	278,400			
Sample004	2020/03/18	株式会社　にほへ	B　株式会社	△△△支店					省エネ設計サンプルプラン	ロータンク＋センサー24ヶ所	278,400			
Sample005	2020/03/18	とちり　株式会社	C　株式会社						自由設計サンプルプラン	換気システム	1,074,930			
Sample006	2020/03/18	D　設計事務所	D　設計事務所						自由設計サンプルプラン	換気システム	1,074,930			

管理番号・編集日・物件名・換気方式などが一覧表になります。

1. 一覧を出力する期間を指定します。

※全件表示する場合は期間の指定を変更しないで、
一覧表示 をクリックします。



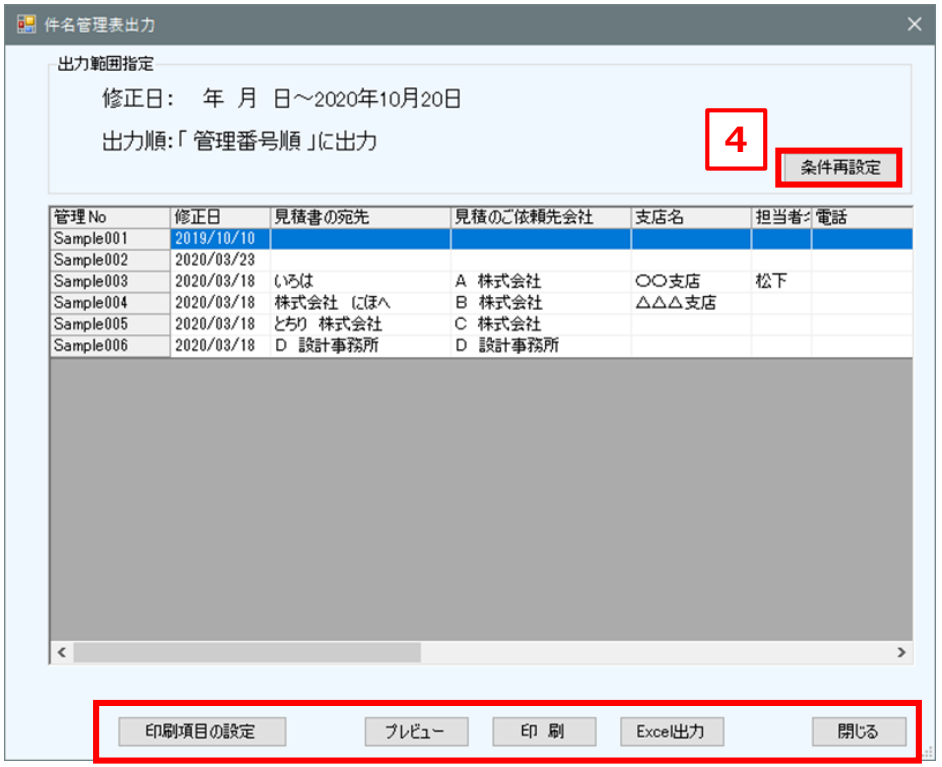
2. 出力順の指定をします。

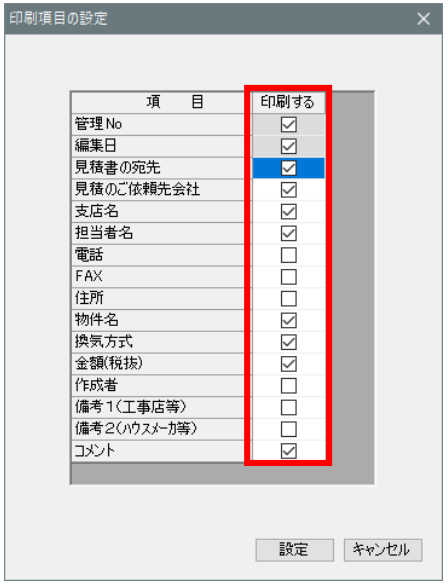
・管理番号順
　管理番号の早いものが上に来ます。
・編集日順
　編集日の早いものが上に来ます。

3. 設定が完了したら、 **一覧表示** をクリックします。

4. 一覧が表示されますので、処理を選択します。

条件再設定	出力条件を変更します。（手順１～３）
プレビュー	印刷プレビューを表示します。
印刷	一覧表を印刷します。
Excel出力	一覧表をExcel出力します。
閉じる	一覧表のウィンドウを閉じます。
印刷項目の設定	印刷する項目を変更します。（下図）





※「管理No」と「編集日」は
非表示にはできません。

９．物件データ入出力

V-upⅢのプランデータの入出力をおこないます。

９－１．物件データ出力

作成済みのプランデータをEメール等で渡すことができるファイル形式で出力します。

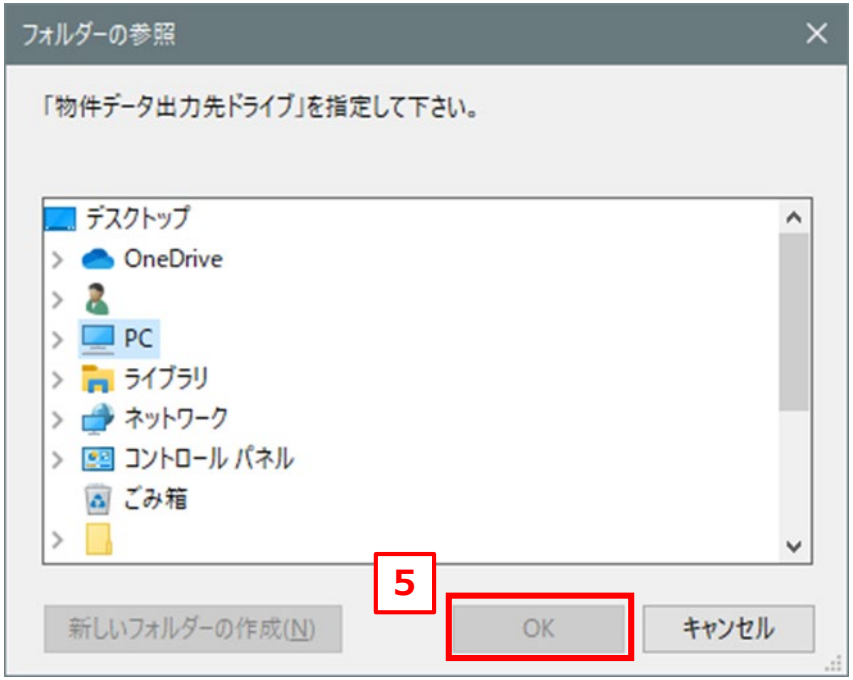
1. 「物件データ出力」を選択します。

2. 出力するプランデータを選択します。（複数選択できます）

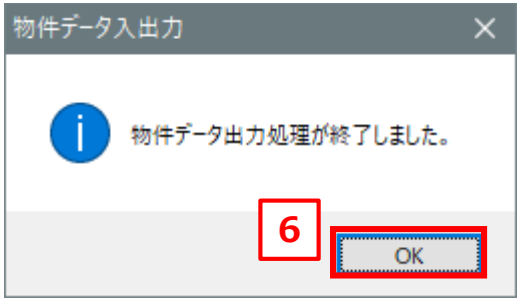
3. 出力パスワードを入力します。（半角英数字10文字まで）

4. **物件データ出力開始** をクリックします。

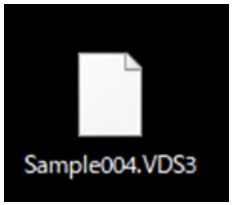
5. フォルダ指定ウィンドウが表示されるので、フォルダを指定して
OK をクリックします。



6. データ出力終了の確認メッセージが表示されるので、
OK をクリックします。



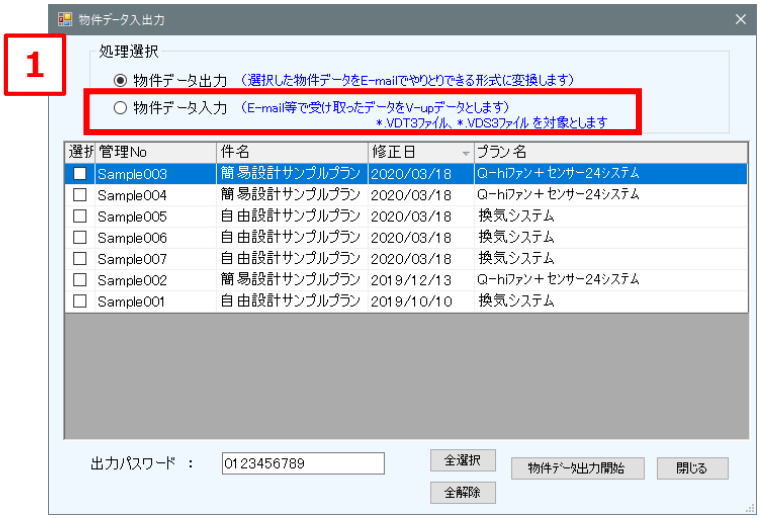
※選択したプランデータ毎にファイルが保存されます。
※ファイル名は「（管理No）.VDS3」となります。



９－２．物件データ入力

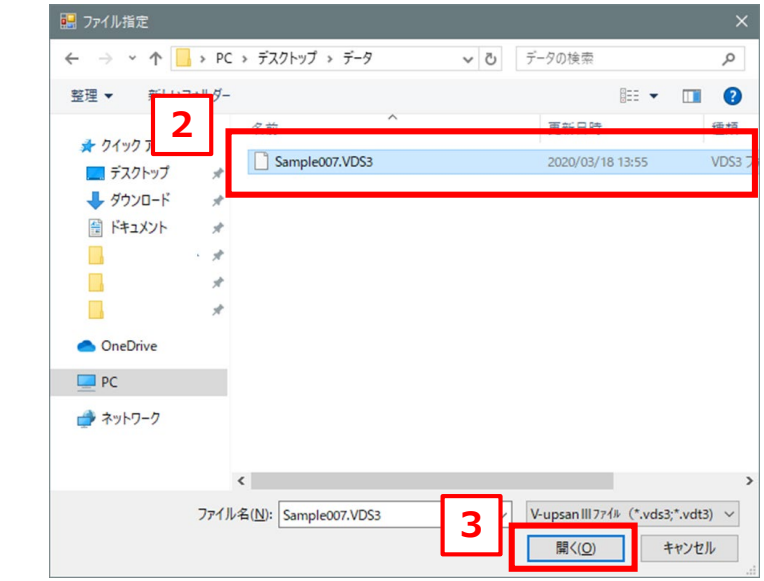
Eメール等で受け取ったプランデータをV-upⅢに取り込みます。

1. 「物件データ入力」を選択します。



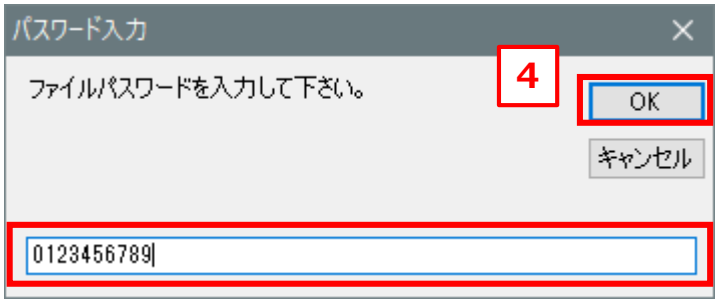
2. ファイル指定ウィンドウが表示されるので、取り込むプランデータファイルを指定します。

【例】：「Sample007.VDS3」を指定



3. 指定後、 **開く** をクリックします。

4. パスワードでロックされている場合、パスワード入力ウィンドウが表示されるのでパスワードを入力して、 **OK** をクリックします。



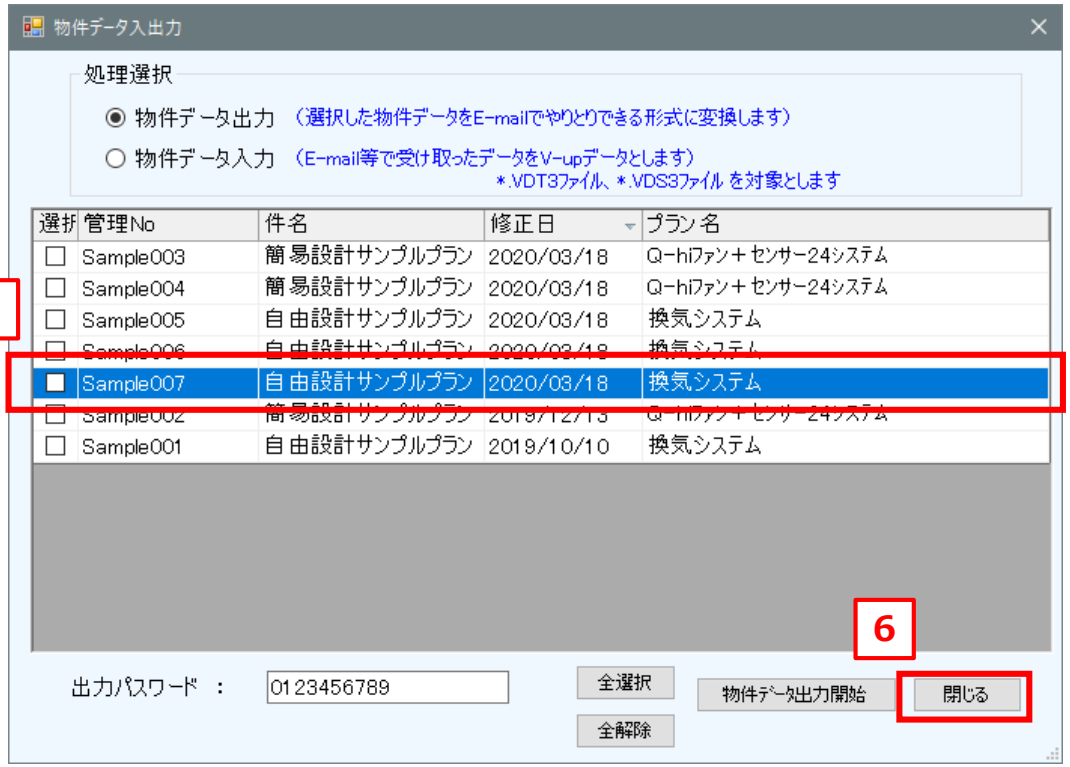
【V-upⅢのプランデータの種類】

- ■「XXXXX.VDS3」：パスワードによるロックあり
- ■「XXXXX.VDT3」：パスワードによるロックなし

5. 正常にプランデータが取り込みできていると、一覧に追加表示されます。

【例】：「Sample007」が追加表示されている。

6. 確認した後、 **閉じる** をクリックします。



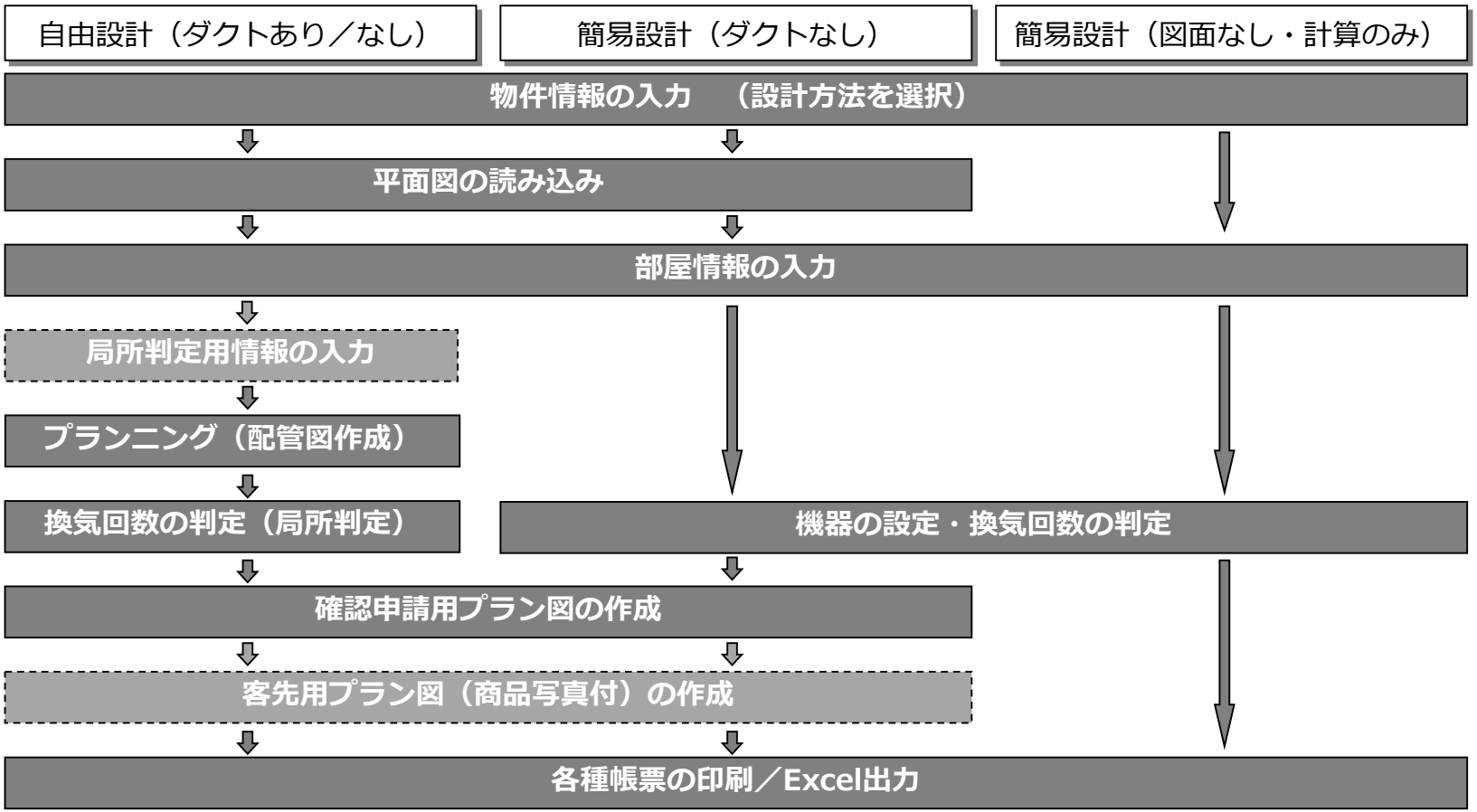
第３章　プラン作成

換気プランを作成します。

１．用意するもの

- 平面図
- 換気対象面積と天井高が分かる資料
- 建物の情報（建設地域・防火区分・天井裏の使用建材）

２．プラン作成の流れ



「自由設計」と「簡易設計」について

V-upⅢには、「自由設計」と「簡易設計」の２種類の設計方法があります。

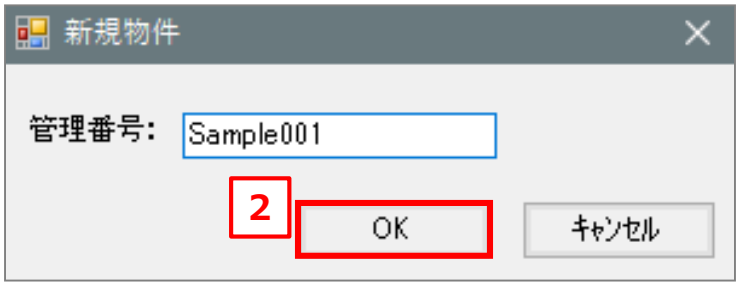
	自由設計	簡易設計
作成できるプランの種類	【V-upⅢで作成できるすべてのシステムに対応】 ■熱交気調システム（熱交換タイプ） ■集中気調システム（非熱交換タイプ） ■Q-hiセントラル換気システム ■バス乾、多室換気扇システム ■天井埋込形換気扇システム ■Q-hiファンシステム ■パイプファンシステム ■Q-hiファン＋パイプファンシステム ■業務用熱交、キャビネットファン ■一般扇・産業有圧換気扇　　等	【ダクトを使用しないシステムおよびサニタリー換気システム】 ■Q-hiファンシステム ■パイプファンシステム ■Q-hiファン＋パイプファンシステム ■バス乾、多室換気扇システム ■天井埋込形換気扇システム
特徴	作成したプランニング図面に基づき、換気計算をおこないます。	部屋面積と部屋の用途を設定することで、自動的に機種を選定します。
使い分け	◆ダクトを使ったプランを作りたい場合 ◆自由にダクト設計したい場合 ◆局所判定をしたい場合	◆どの部屋にどんな換気扇を設置したらよいかよく分からない場合 ◆ダクト条件が分かっている場合（サニタリー換気システムのみ） ◆換気計算のみをしたい場合（プラン図不要）

※「**局所判定**」とは、本マニュアル内で「シックハウス対策以外の換気判定」の総称です。
　火気使用室の判定、人員密度での判定など、V-upⅢでは６種類の局所判定が可能です。

３．プラン作成をはじめる

1. 「換気プラン作成メニュー」で、 **プラン作成** をクリックします。

2. 管理番号を入力して、 **OK** をクリックします。



※管理番号は
- 他プランとの重複不可
- 半角20文字（全角10文字）まで入力可
- ¥/:;'?"<>|　は使用不可（全角であれば使用可）

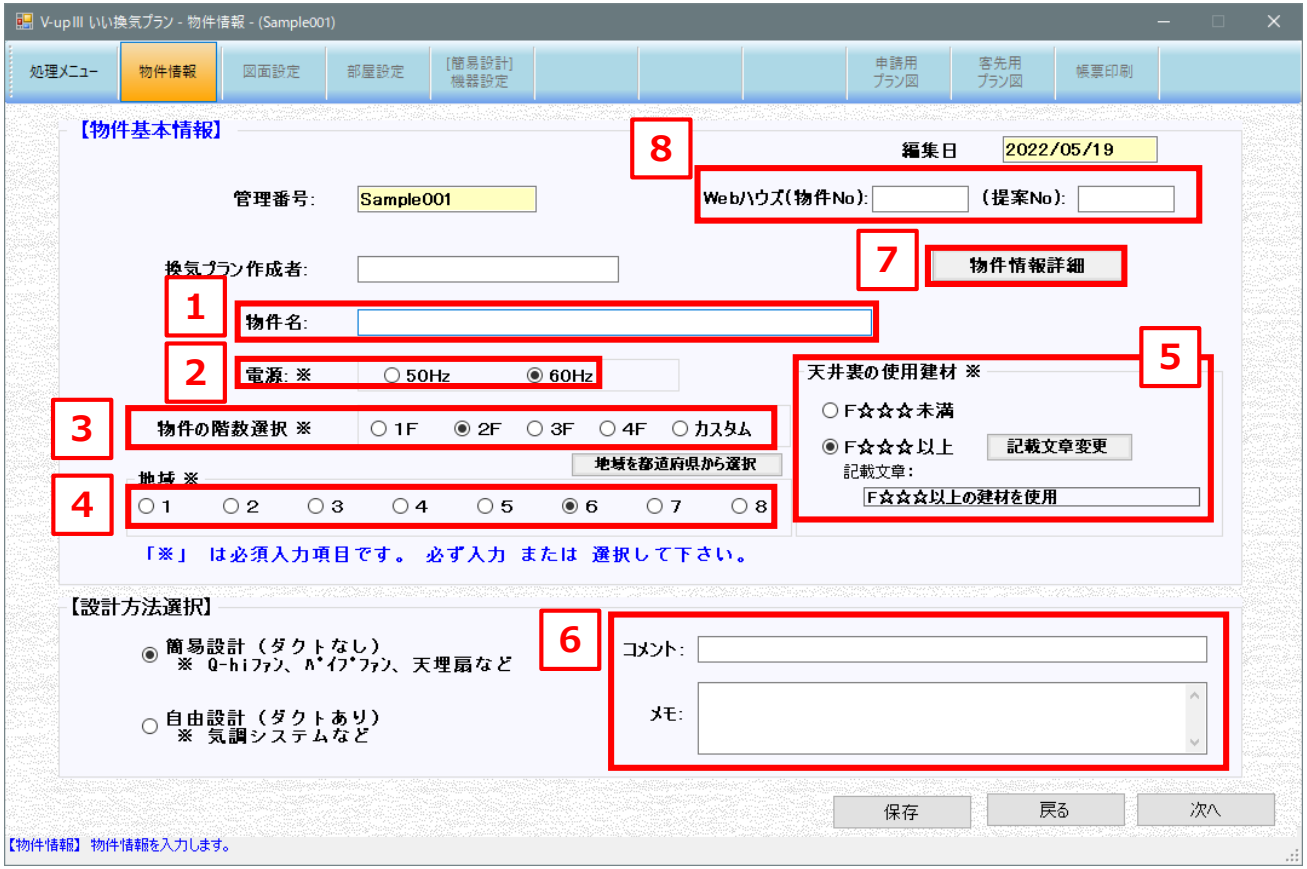
４．物件情報

物件情報を入力します。

４－１．物件基本情報

1. 物件名を入力します。
※空欄でも可

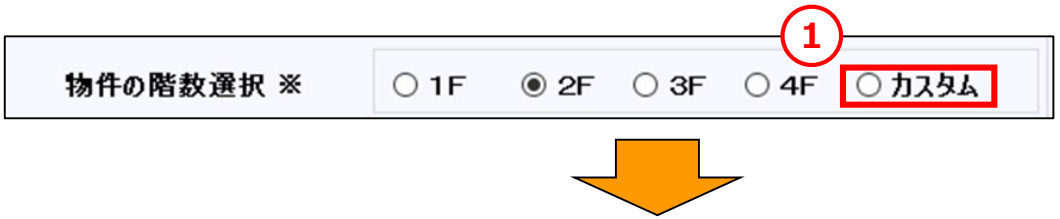
2. 電源周波数を選択します。



「※」が付いている項目は必須です。

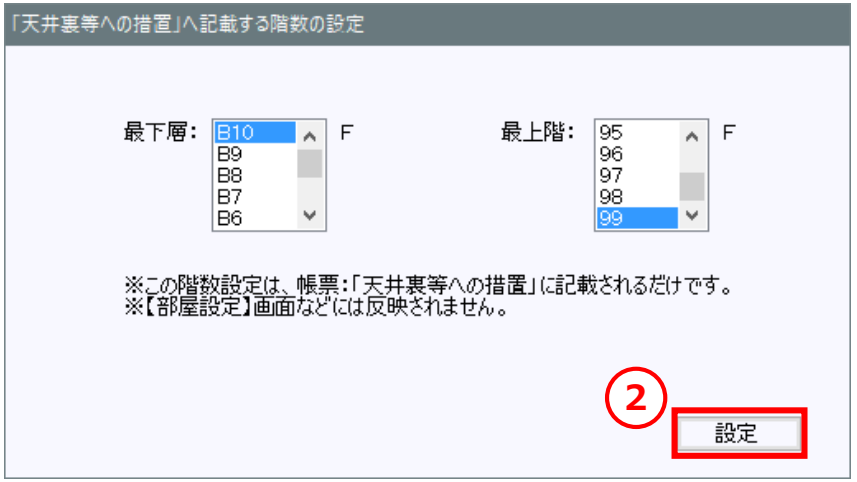
3. 物件の階数を選択します。

※地階がある物件や5F建て以上の場合は、「カスタム」を選択して、以下の手順で設定します。



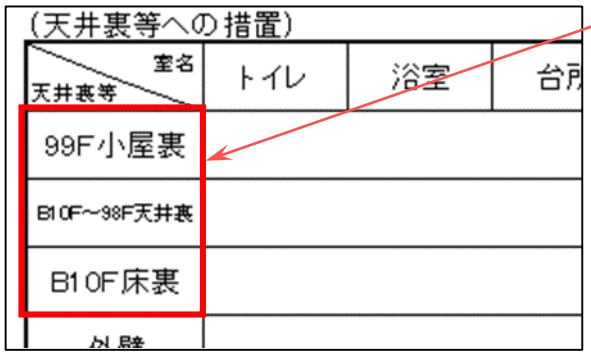
① 「カスタム」を選択すると、設定ウィンドウが表示されます。

※B10階～99階まで設定することができます。



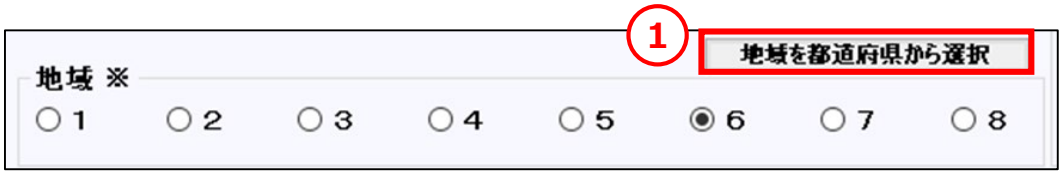
② 設定後、 **設定** をクリックします。

※設定した階数は、帳票「天井裏等への措置」にのみ反映されます。



4. 改正省エネ基準の地域区分を選択します。

※地域区分が不明の場合は、以下の手順で検索します。



① **地域を都道府県から選択** をクリックします。

② 物件がある地域のボタンをクリックします。

※登録されている地域区分は、平成24年12月4日における行政区画となっています。

実際の地域区分と異なる場合があります。

③ 都道府県を選択して、**市町村選択へ進む**　をクリックします。

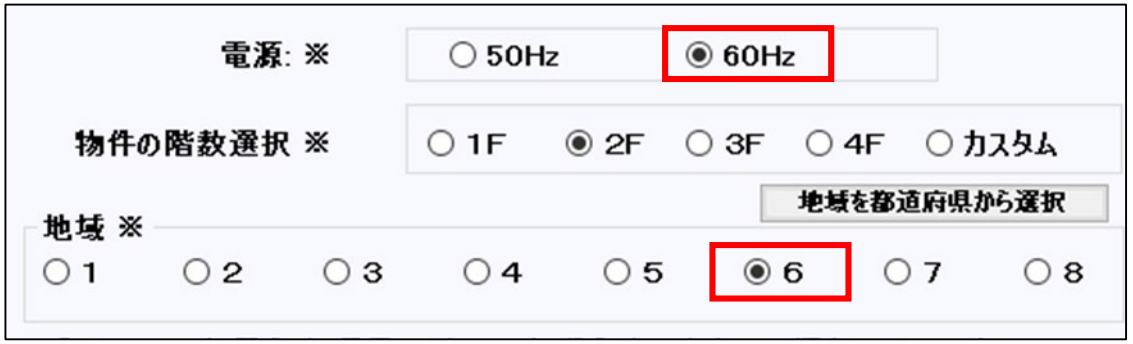
※ア行～ワ行のボタンを押す事で、都道府県名を絞り込みできます。

④ 市町村を選択して、**次へ進む**　をクリックします。

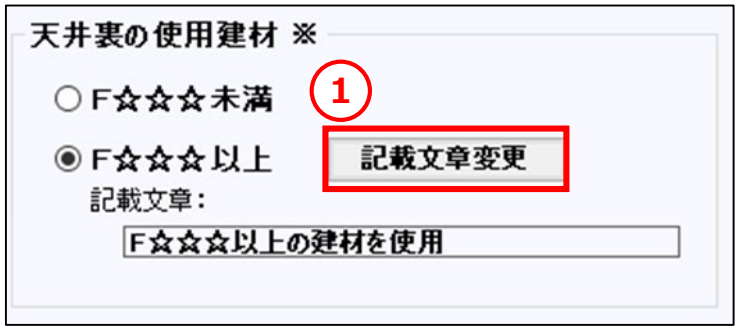
※ア行～ワ行のボタンを押す事で、市町村名を絞り込みできます。

⑤ 地域区分の内容を確認して、 **適用して物件入力へ** を クリックします。

電源周波数と地域区分が、変更されます。



5. 帳票「天井裏等への措置」に記載される、天井裏の使用建材を選択します。

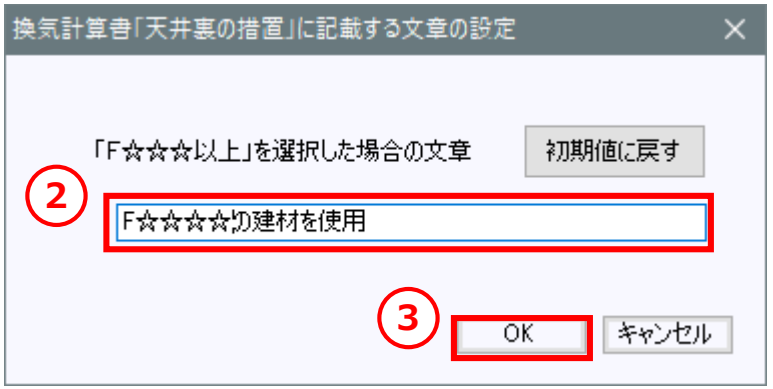


※記載文章を変更したい場合は、以下の手順で変更します。

① **記載文章変更** をクリックします。

② 記載する文章を入力します。

※右図では、「 F☆☆☆☆の建材を使用」と変更。



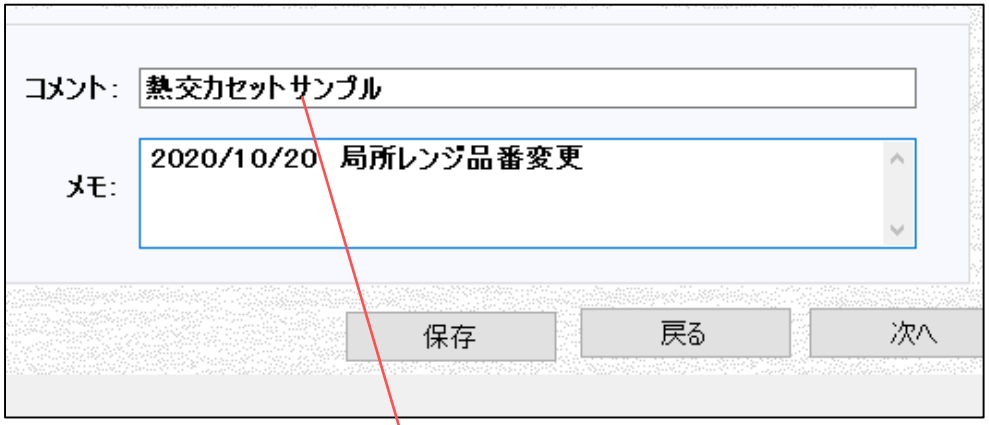
③ 入力後、 **OK** をクリックします。

【初期値に戻す】

記載文章の初期値は

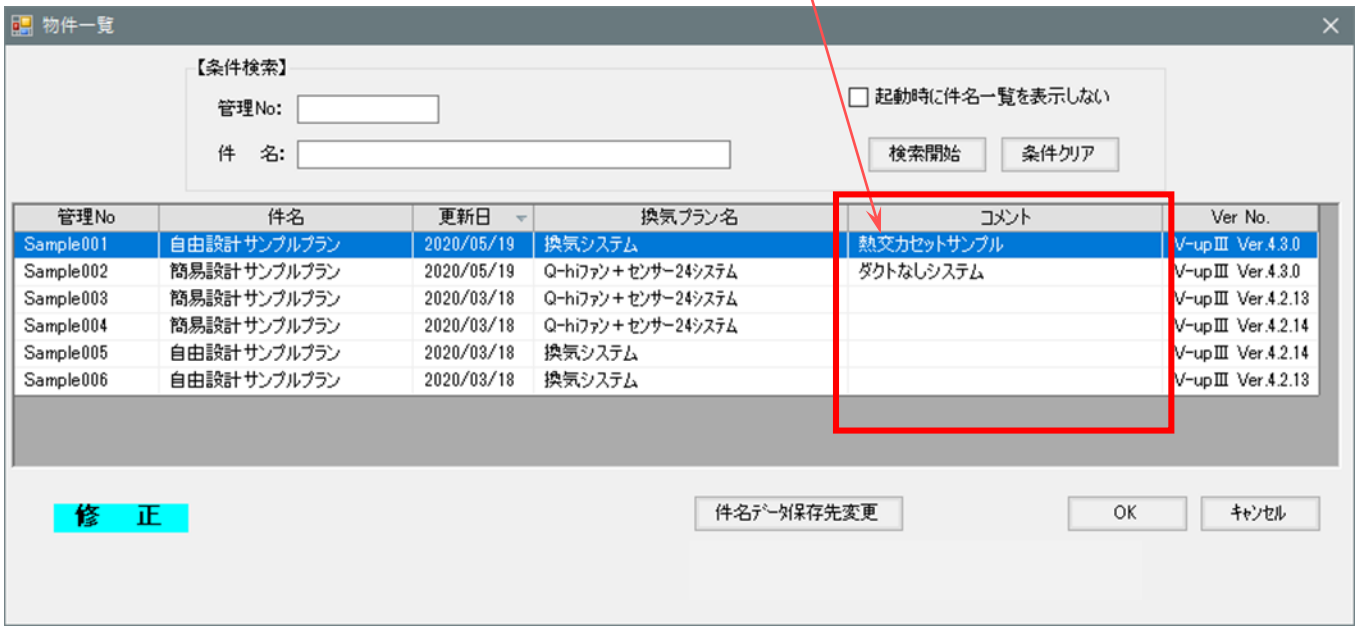
「 F☆☆☆以上の建材を使用」

6. 「コメント」、「メモ」を入力する事ができます。



「コメント」：全角３０文字、改行不可。
「メモ」　　：全角１２７文字、改行可。

※「プラン修正」、「プラン削除」、「印刷」メニューで
**　表示される物件一覧に、「コメント」が表示されます。**



7.　［物件情報詳細］ボタンを押すと、画面下部が
見積書の宛先等の入力欄に切り替わります。

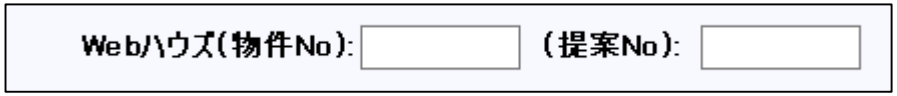
①　見積書の宛先や、依頼者情報を入力します。

※未入力（空欄）でもプラン作成には影響しません。

②　入力後、 **戻る** をクリックします。

※物件基本情報の画面に戻ります。

8.　Webハウズの番号がある場合は入力します。
※見積書にWebハウズの番号が表示されます。



<u>見積書の宛先は、「帳票印刷」画面の見積書［印刷指定］ボタンからも変更することができます。</u>

操作方法については、
「**第３章 プラン作成 １４．帳票印刷**」を参照ください。

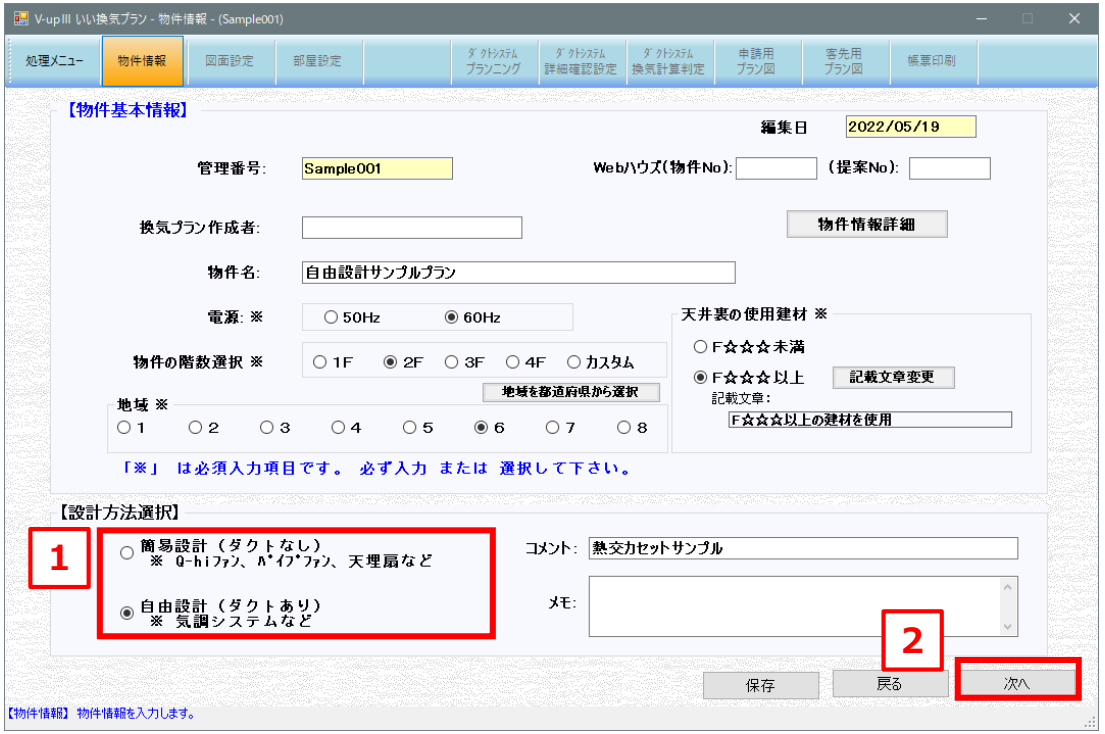
４－２．設計方法選択

1. 設計方法を選択します。

<u>「物件情報」以降の手順まで進んだ後も設計方法の変更はできますが、プラン作成内容の一部データが削除されます。</u>

2. 選択した後、 次へ をクリックします。

「**５．図面設定**」へ進みます。



「自由設計」と「簡易設計」の違いについては、
「**第３章 プラン作成 ２．プラン作成の流れ**」を参照ください。

５．図面設定

図面を取込み、縮尺を設定します。

設計方法選択で「⊙ 簡易設計」を選択し、なお且つプラン図を作成しない場合は本項目を設定する必要はありません。

画面右下の、 次へ をクリックして、

「６．部屋設定」へ進みます。

５－１．図面読込

1. 図面読込 をクリックします。

【上部（画面左上）アイコンの説明】

実際の大きさ：読み込んだ画像サイズで表示します。

全体表示　　：図面全体を表示します。

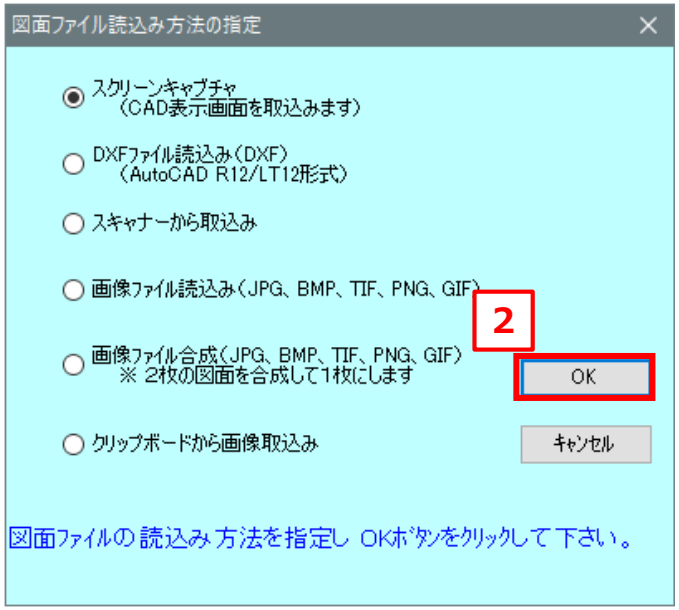
選択　　：通常の選択状態に戻します。

ズーム　　：表示図面を拡大／縮小します。

左クリック＝拡大

右クリック＝縮小

2. 図面ファイル読込方法を選択して、 **OK** をクリックします 。

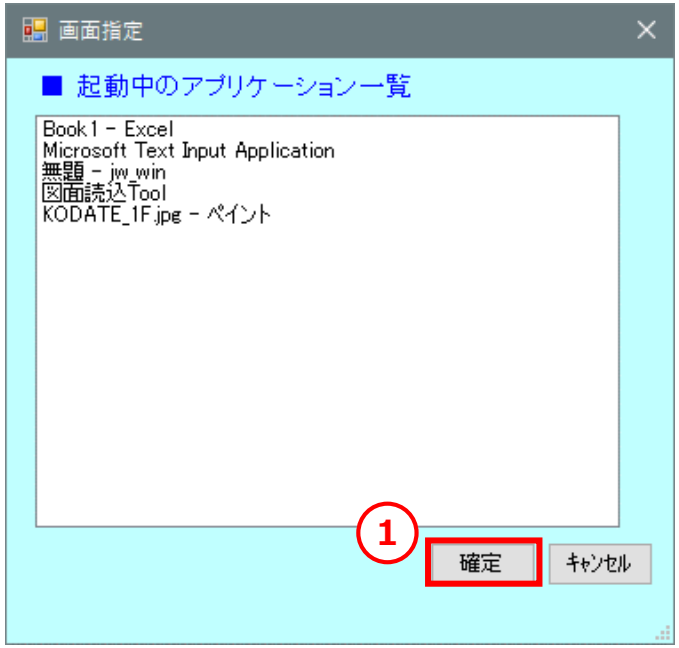


読み込む画像がＡ４サイズより大きい場合、Ａ４サイズに縮小されます。

【図面の読込み方法】

（１）スクリーンキャプチャ

ディスプレイに表示されている状態そのままを読み込みます。



① 起動中のアプリケーション一覧からキャプチャするアプリを選択して、

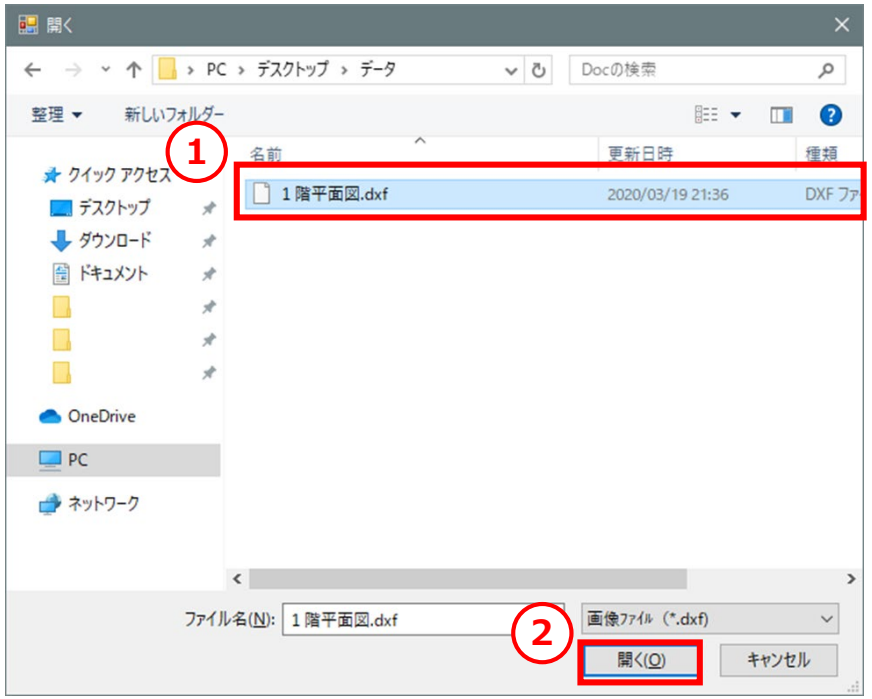
確定 をクリックします。

※キャプチャを取るアプリケーションはあらかじめ最大化しディスプレイに、図面全体を表示した状態にしておきます。

（２）DXFファイル読込み

DXFファイルを指定して図面を読み込みます。

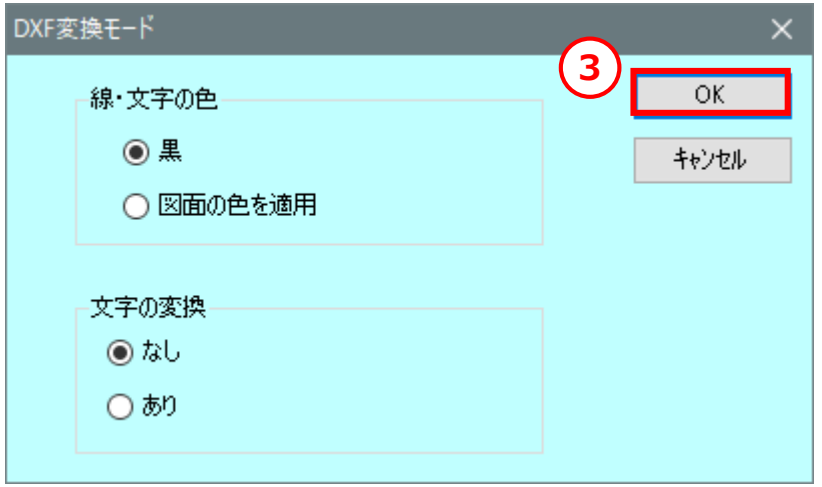
※AutoCAD R12/LT12形式のファイルが読み込めます。



① 読み込むDXFファイルを選択します。

② ファイルを選択後、 **開く** をクリックします。

③ DXFファイルの読み込み方法を選択した後、 **OK** をクリックします。



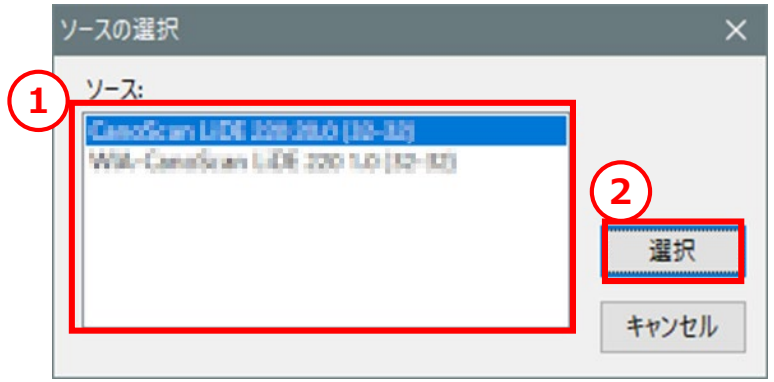
・線・文字の色　　黒　：黒色単色に変換します。
・文字の変換　　なし：文字は読み込みません。
　　あり：文字も画像として読み込みます。

背景色は自動的に白色になります。

DXFの種類によっては、一部正常に読み込まれない場合があります。

（３）スキャナーから取込み

お手持ちのスキャナーで図面を取り込みます。



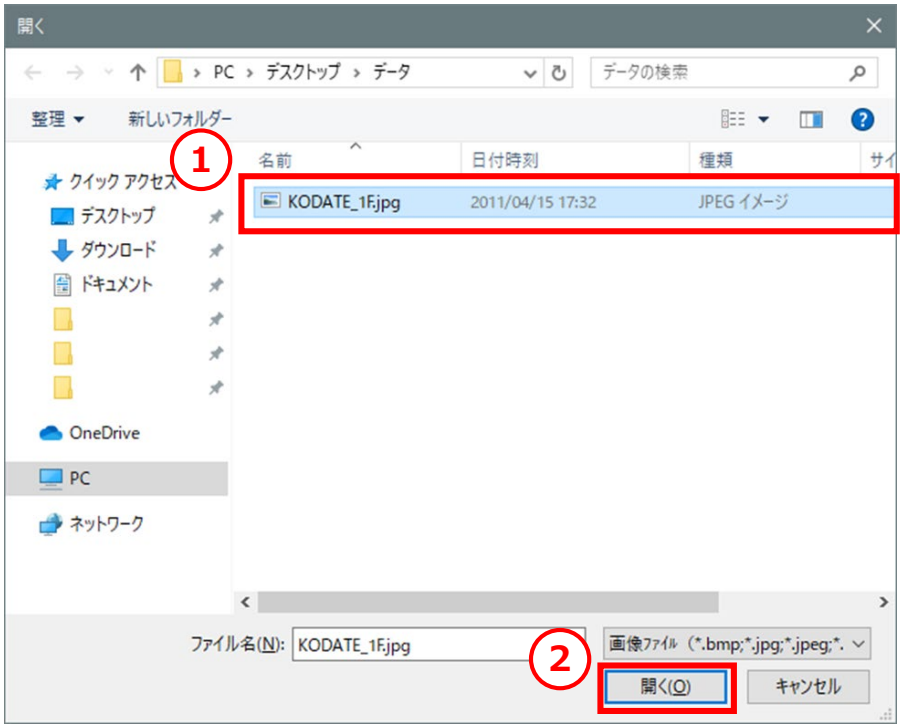
① 使用可能なスキャナー一覧が表示されるので、
使用するスキャナーを選択します。

② 選択後、 **選択** をクリックします。

③ TWAIN操作画面が表示されるので、使用するスキャナーの操作手順に従って、
図面をスキャンします。

（４）画像ファイル読込み

画像ファイルを指定して図面を読み込みます。



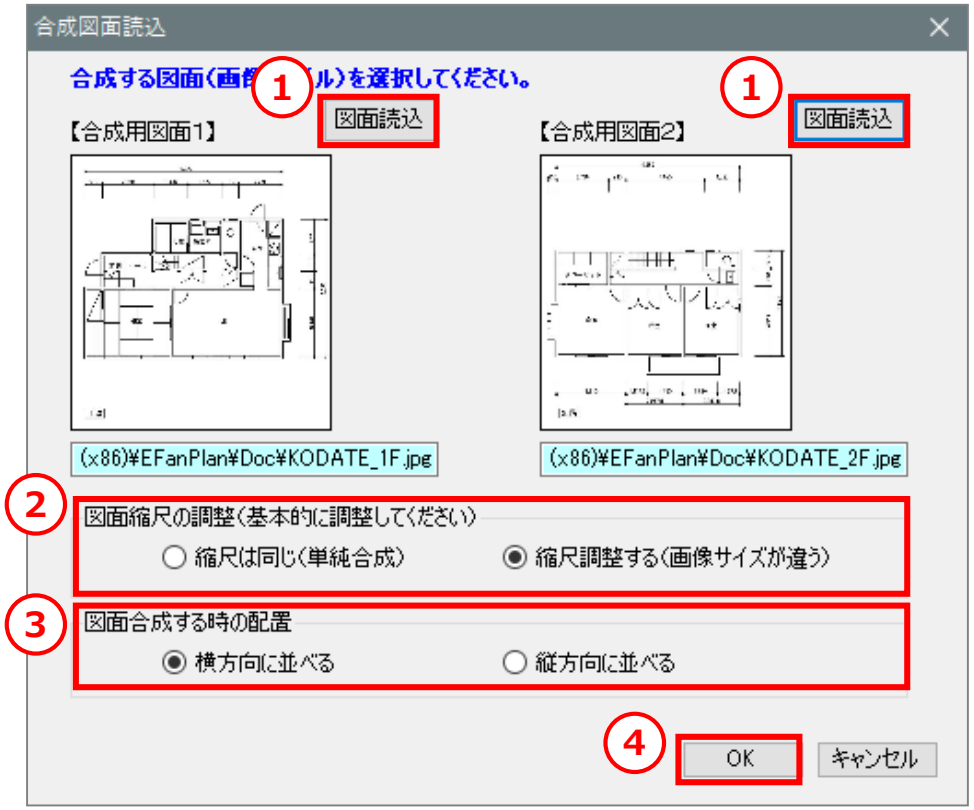
① 読み込む画像ファイルを選択します。

※JPG、BMP、TIF、PNG、GIF形式の画像が読み込めます。

② ファイルを選択後、 **開く** をクリックします。

（５）画像ファイル合成

２つの画像ファイルを１つの画像に合成します。



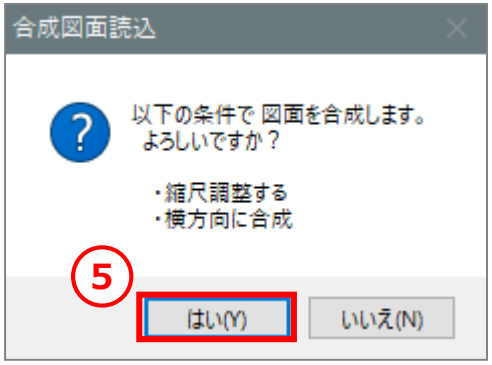
① **図面読込** をクリックして、合成する画像ファイルをそれぞれ選択します。

② 「図面縮尺の調整」をするかを選択します。

※基本的に「縮尺調整する」を選択します。

③ 「図面合成する時の配置」を選択します。

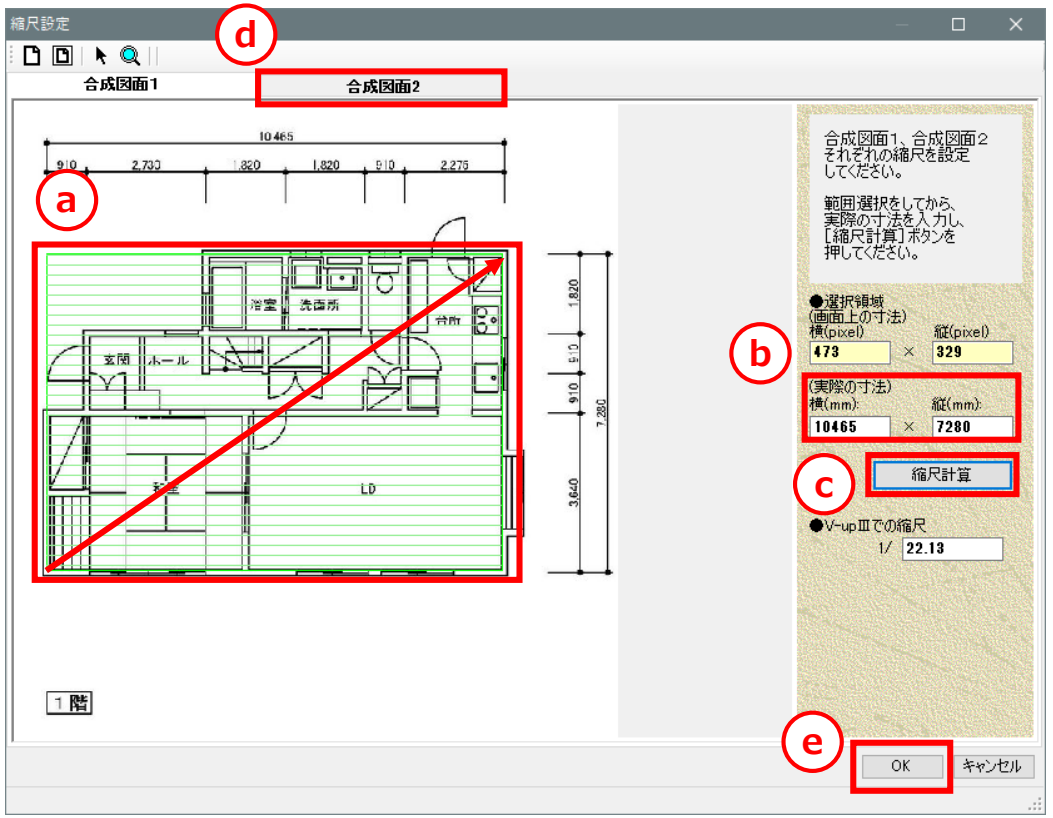
④ ファイルを選択後、 **OK** をクリックします。



⑤ 確認メッセージが表示されるので、 **はい** をクリックします。

⑥ 合成する２つの図面の縮尺を設定します。

手順②で、「縮尺は同じ」を選択した場合は、
この手順⑥は表示されません。手順⑦へ進みます。



a. 「合成図面１」の図面寸法が分かる範囲をマウスでドラッグして選択します。

※ドラッグした範囲に緑色の横線がかかります。

b. マウスで範囲指定した図面寸法を入力します。
（単位は、mm）

c. **縮尺計算** をクリックします。

d. 「合成図面２」についても、ａ～ｃの操作を行います。

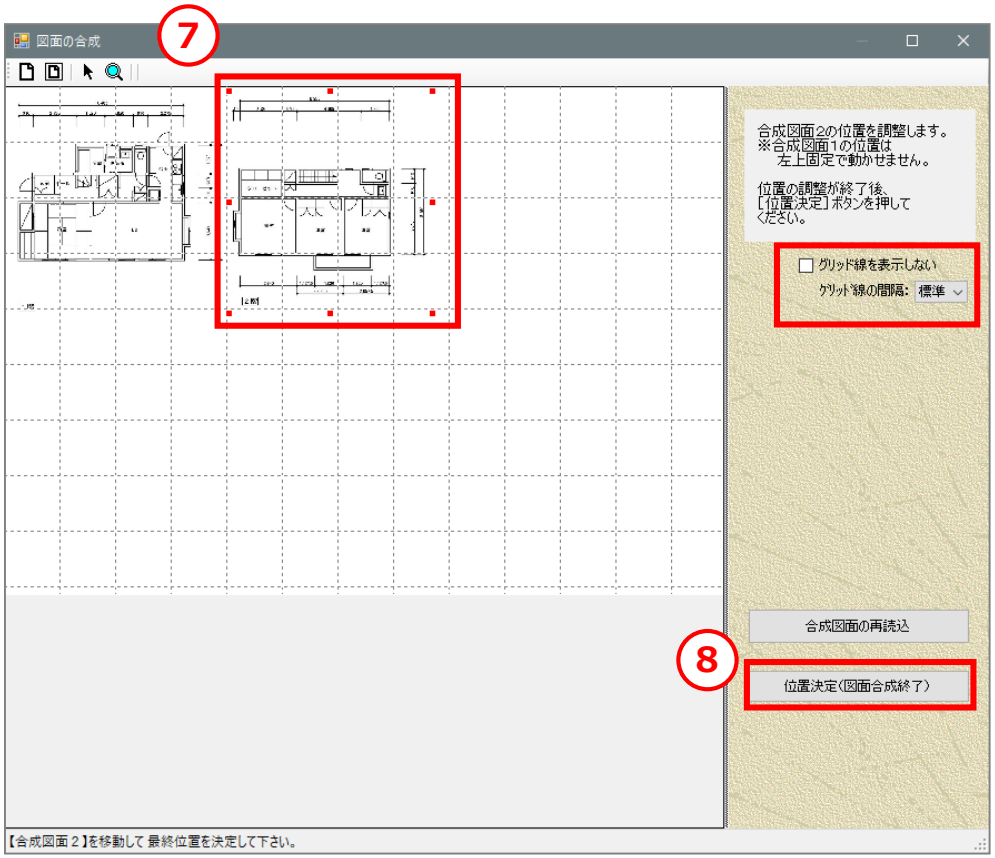
※ 図面の切り替えは画面上部のタブで行います。

e. 設定がおわったら、**OK** をクリックします。

⑦ 「合成用図面２」の位置を調整します。

「合成用図面１」が画面左上に表示されているので、
「合成用図面２」の位置を調整します。

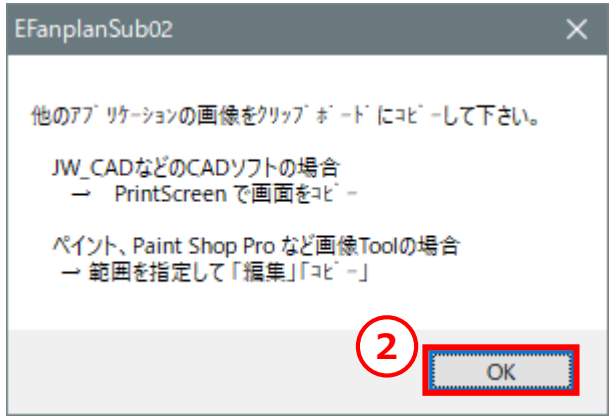
※ウィンドウ右上の設定で、位置の目安となるグリッド線の間隔（狭い、標準、広い）を変更したり非表示にすることができます。



⑧ 図面の位置調整後、 **位置決定(図面合成終了)** をクリックします。

（６）クリップボードから画像取込み

クリップボードにコピーした図面を読み込みます。

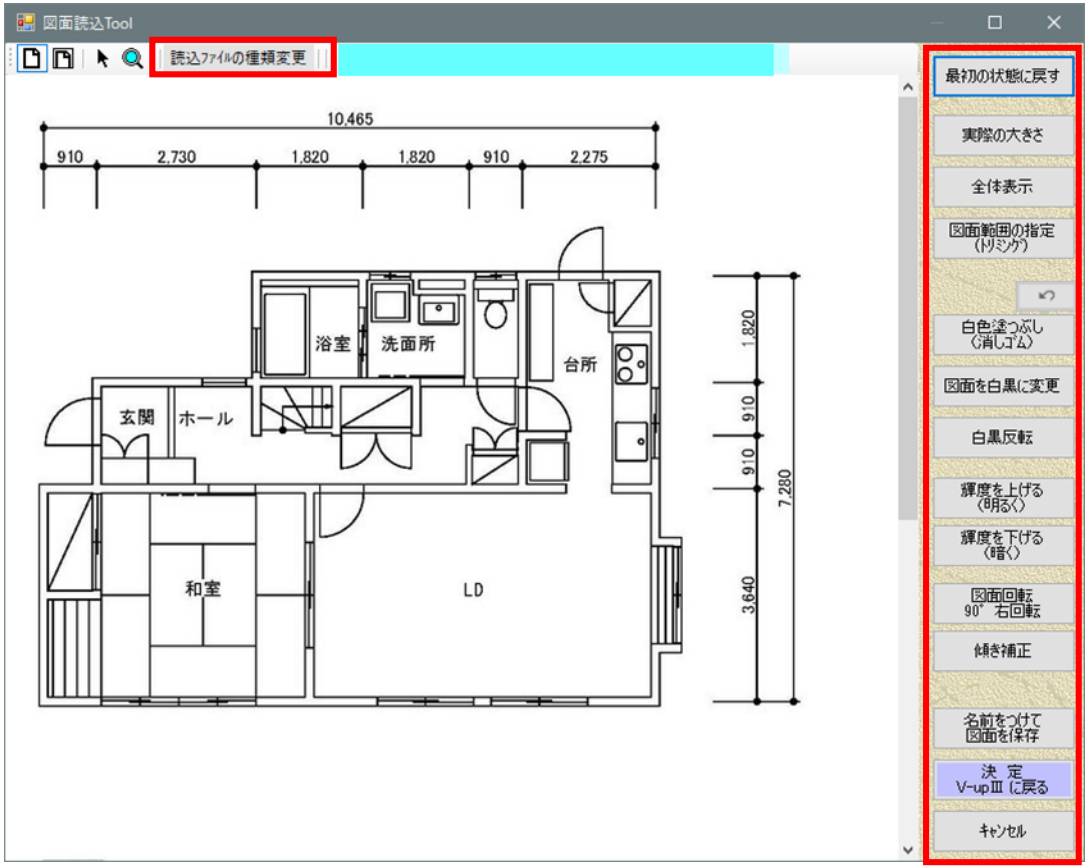


① あらかじめ、読み込む図面をコピーしておきます。

② 確認メッセージが表示されるので、 **OK** をクリックします。

５－２．読み込んだ画像を編集する

読み込んだ図面を編集します。



【図面の編集方法（各ボタンの説明）】

読込ファイルの種類変更

図面を読み込み直します。

最初の状態に戻す

図面を編集前の最初の状態に戻します。

実際の大きさ

図面表示サイズを読込画像サイズで表示します。

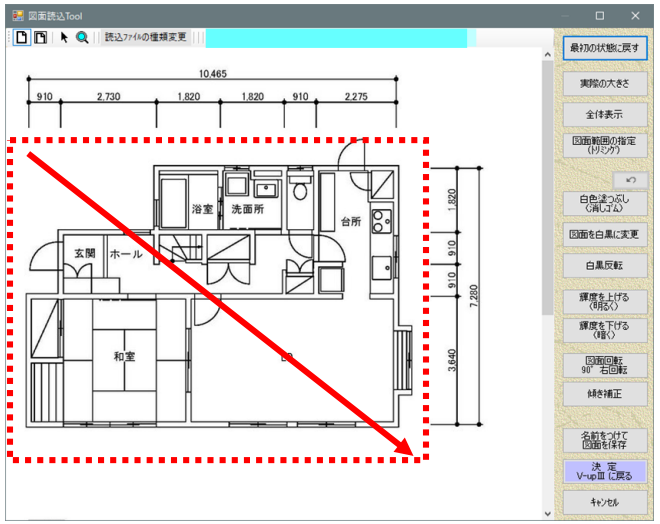
全体表示

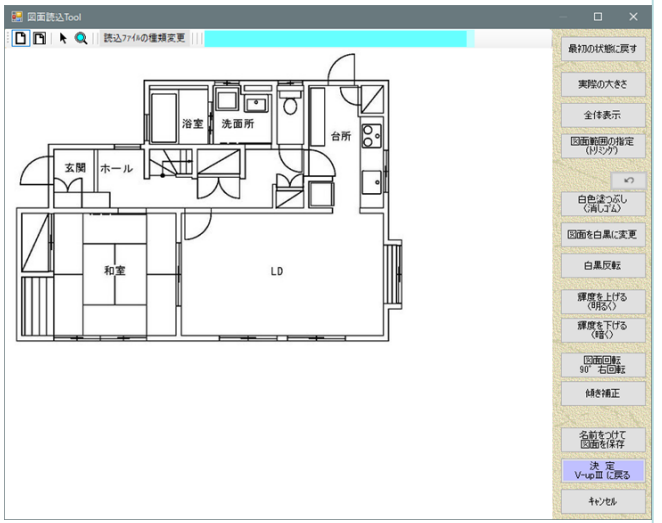
ウィンドウ内に図面全体が収まるように表示します。

図面範囲の指定（ﾄﾘﾐﾝｸﾞ）

不要な部分を削除します。

トリミング範囲をドラッグで選択します。



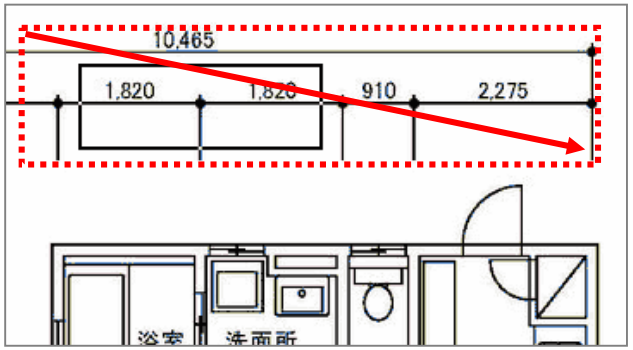


Ando機能。
［矢印］ボタンをクリックすると、一つ前の状態に戻ります。

白色塗りつぶし（消しゴム）

選択した範囲を白く塗りつぶします。

白く塗りつぶしたい範囲をドラッグで選択します。

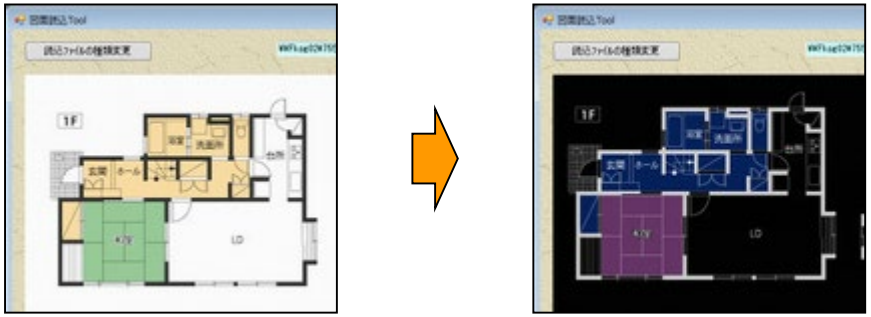


図面を白黒に変更

カラー図面をグレースケール（白黒）に変換します。

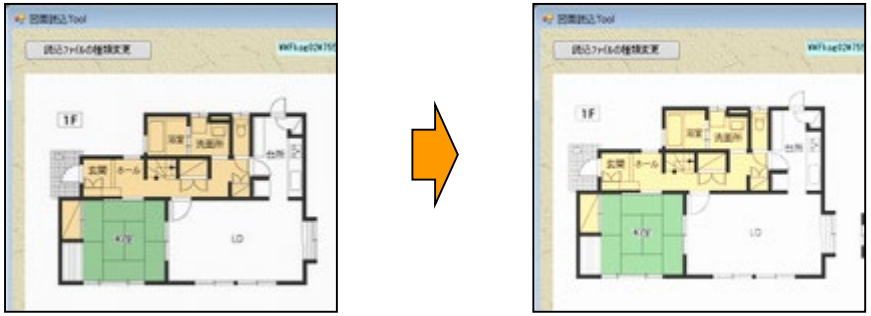
白黒反転

図面の色調を反転します。



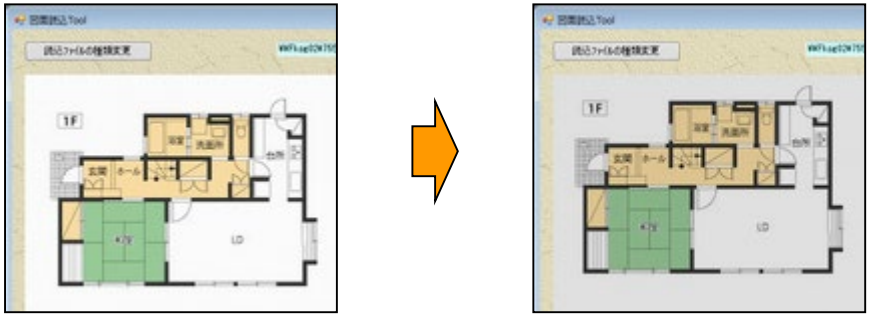
輝度を上げる（明るく）

ボタンをクリックするごとに図面が明るくなります。



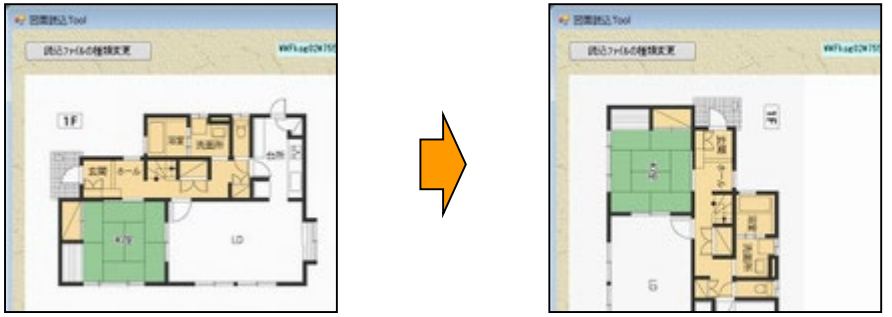
輝度を下げる（暗く）

ボタンをクリックするごとに図面が暗くなります。



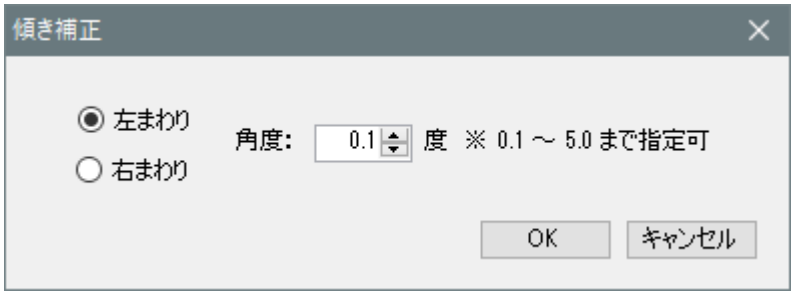
図面回転
90°右回転

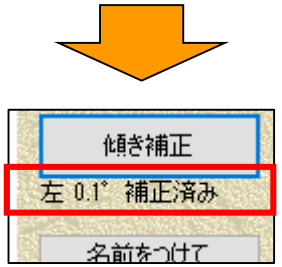
ボタンをクリックするごとに図面が90°右へ回転します。



傾き補正

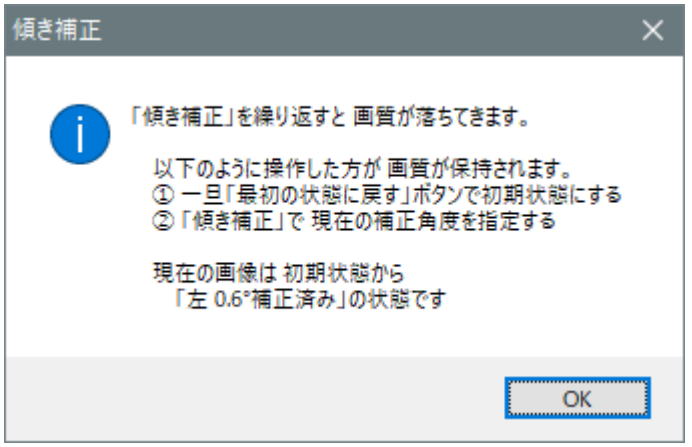
図面の傾き補正値を設定します。
設定可能な範囲は、（0.1～5.0度）の範囲となります。
※角度は直接入力する事もできます。





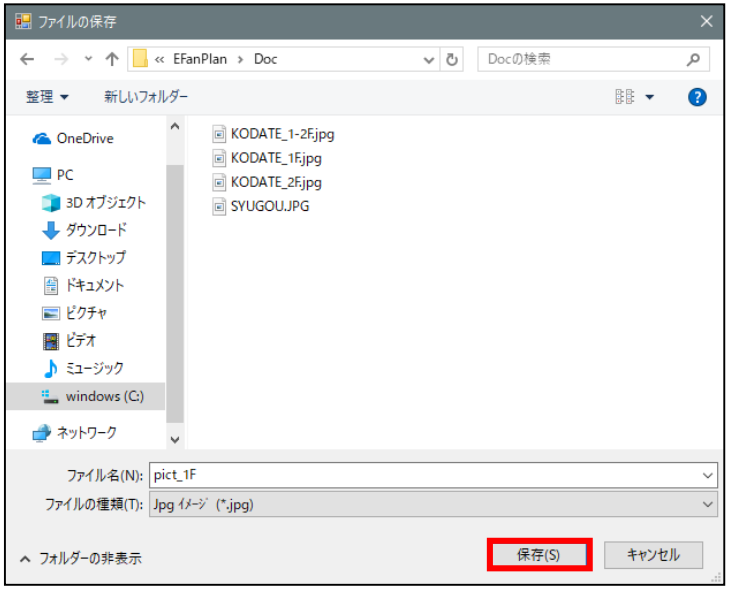
※傾き補正を実行するとボタン下に現在の補正状態が表示されます。

傾き補正を連続で６回以上実行した場合、右図のメッセージが表示されます。
図面の画質が落ちてしまった場合は、メッセージに記載されている手順を
実行してください。



名前をつけて
図面を保存

読み込んだ図面に名前をつけて保存します。
保存場所を選択して、任意の名前を付けて保存します。

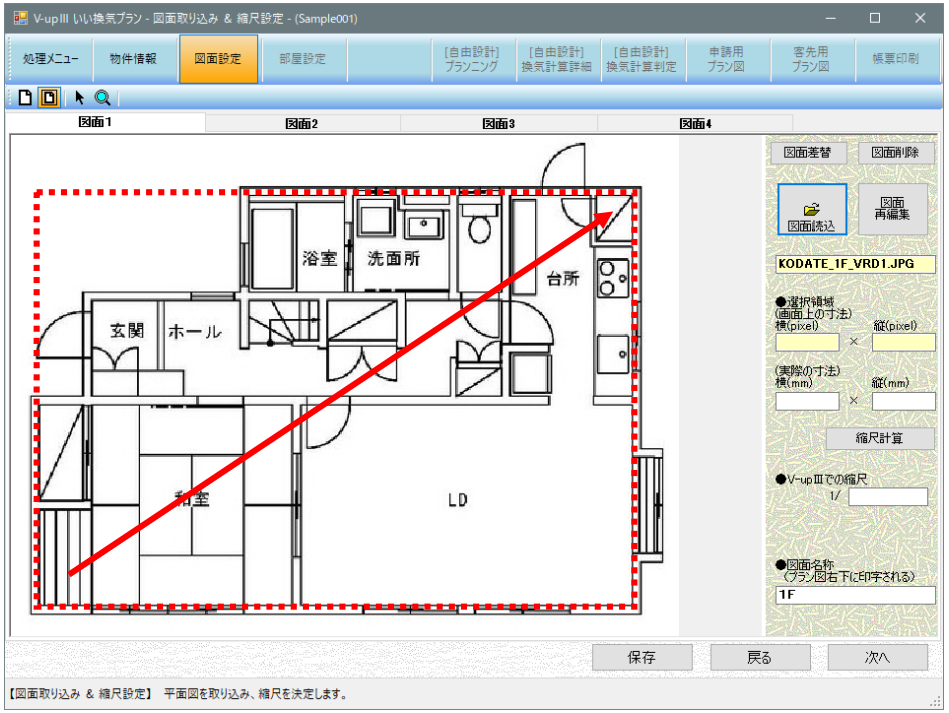


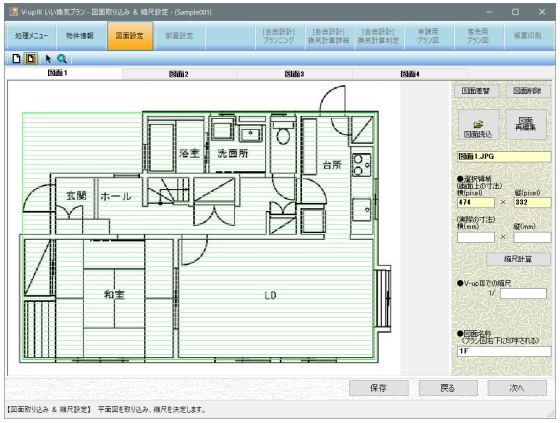
編集が完了したら、 **決定**
V-upⅢに戻る をクリックします。

５－３．縮尺設定

1. 読み込んだ図面寸法が分かる範囲をマウスでドラッグして選択します。

※ドラッグした範囲に緑色の横線がかかります。





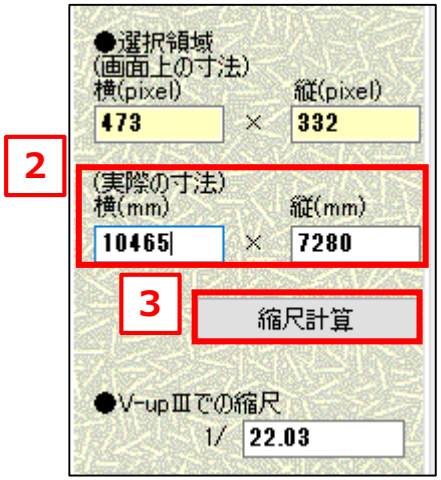
設定した縮尺は、プランニング画面において機器シンボルのサイズに反映されます。

「自由設計」では、縮尺設定にあわせてダクト長さを取得します。

2. マウスで範囲指定した図面寸法を入力します。

実際の寸法は、ミリメートル（mm）で入力します。

3. 図面寸法を入力後、 **縮尺計算** をクリックします 。



５－４．図面名称

必要に応じて図面名称を編集します。

図面名称は必ず入力します。空欄にはできません。

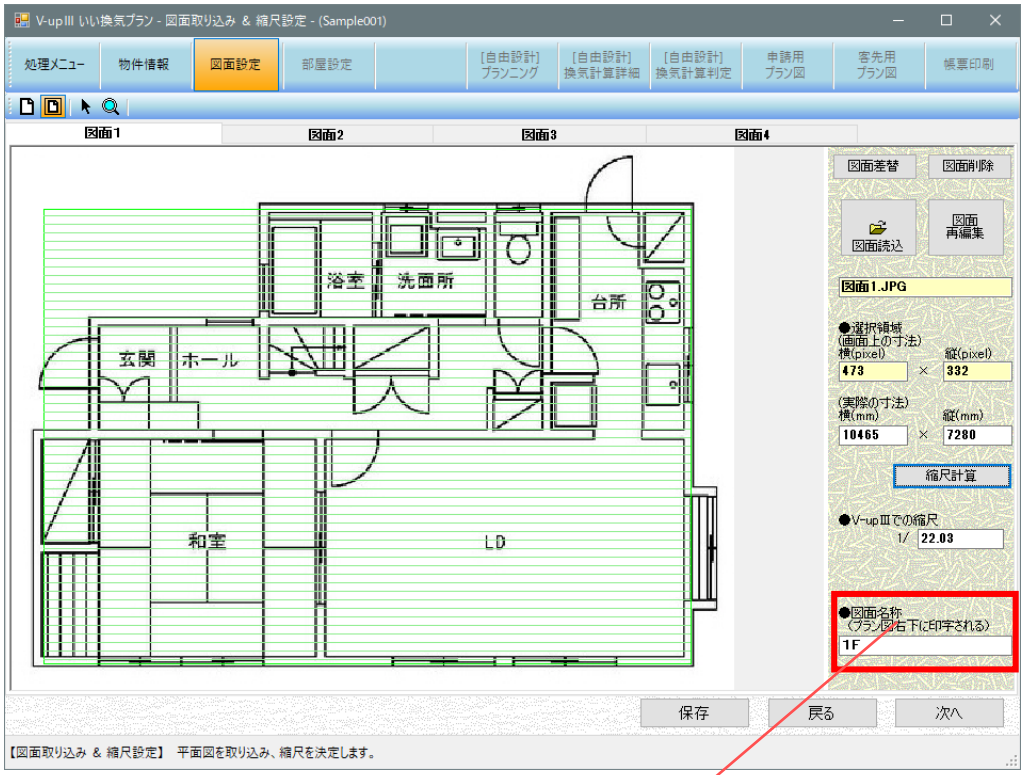
【図面名称の初期値】

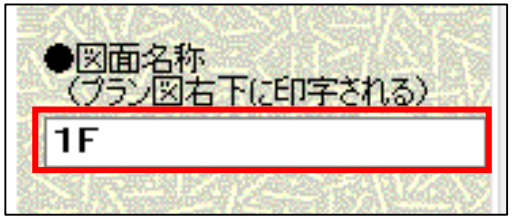
図面１：１Ｆ

図面２：２Ｆ

図面３：３Ｆ

図面４：４Ｆ





５－５．２枚目以降の図面読込

1. 2枚目以降の図面を読み込む場合は、
タブをクリックして図面編集エリアを切り替えます。

その後、**手順５－１～５－４**を繰り返します。

図面は最大４枚まで読み込むことができます。

2. 図面の読み込み及び、設定をした後、 次へ をクリックします。

「**６．部屋設定**」へ進みます。

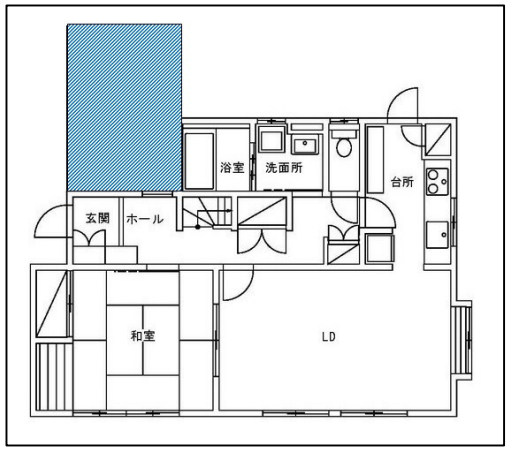
５－６．図面の差し替え

間取り変更などの理由で図面を差し替える必要がある時、プラン済みの内容を変える事なく図面のみを差し替える事が出来ます。

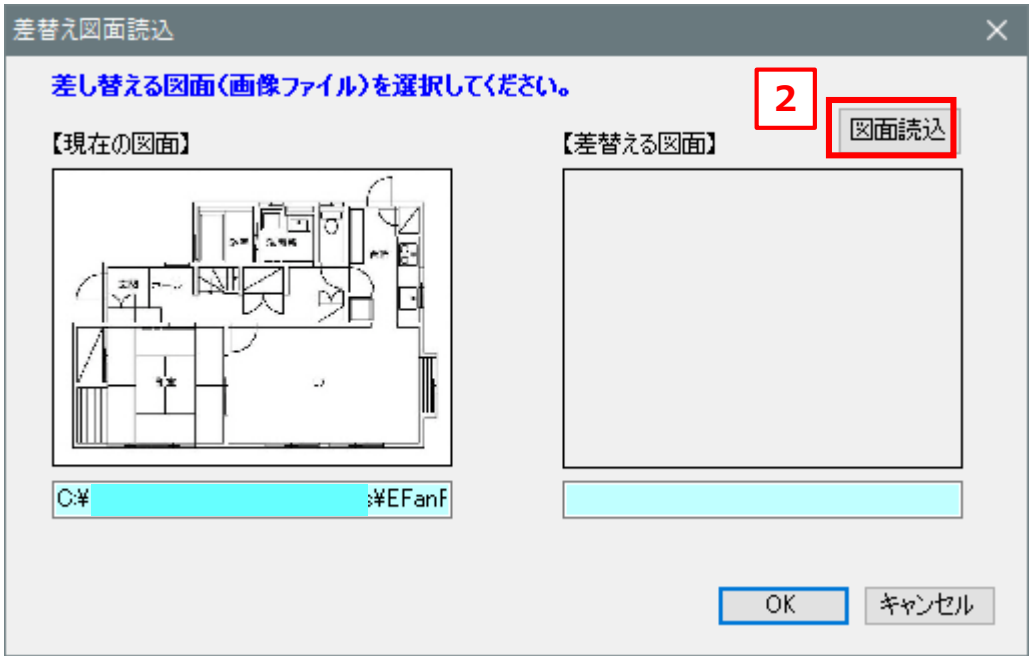
1. 差し替えたい図面を表示した後、 **図面差替** をクリックします。

【説明内で差し替える図面】

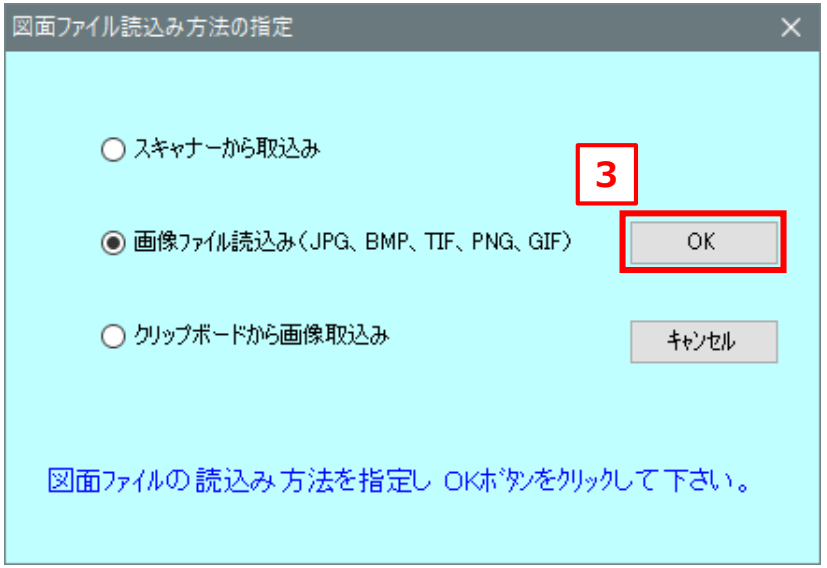
サンプル図面の左上に部屋を追加したと仮定。（青色部分）



2. 差替え図面読込ウィンドウが表示されるので、
図面読込 をクリックします。



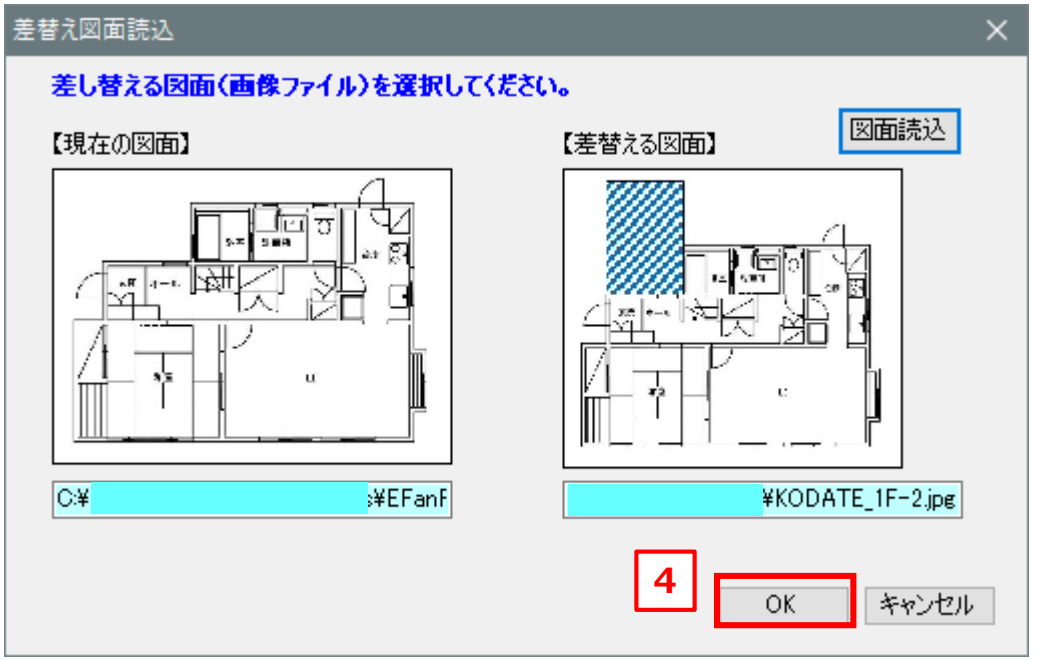
3. 差替え図面の読み込み方法を選択して、 **OK** を
クリックします。



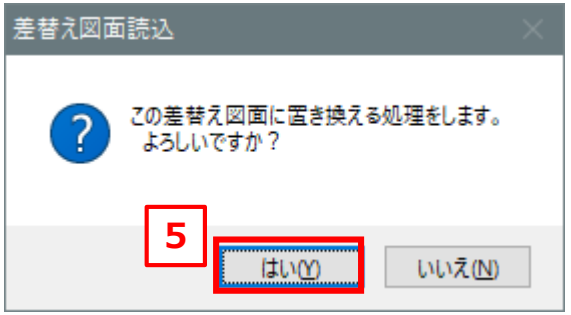
※図面の読込方法については、
「**５－１．図面読込**」の**２**を参照ください。

※読み込んだ図面の編集方法については、
「**５－２．読み込んだ画像を編集する**」を参照ください。

4. 差し替える図面を読み込んだら、 **OK** を
クリックします。



5. 確認メッセージが表示されるので、 **はい** を
クリックします。



6. 差し替える図面の縮尺を設定します。

① 読み込んだ図面寸法が分かる範囲をマウスで
ドラッグして選択します。

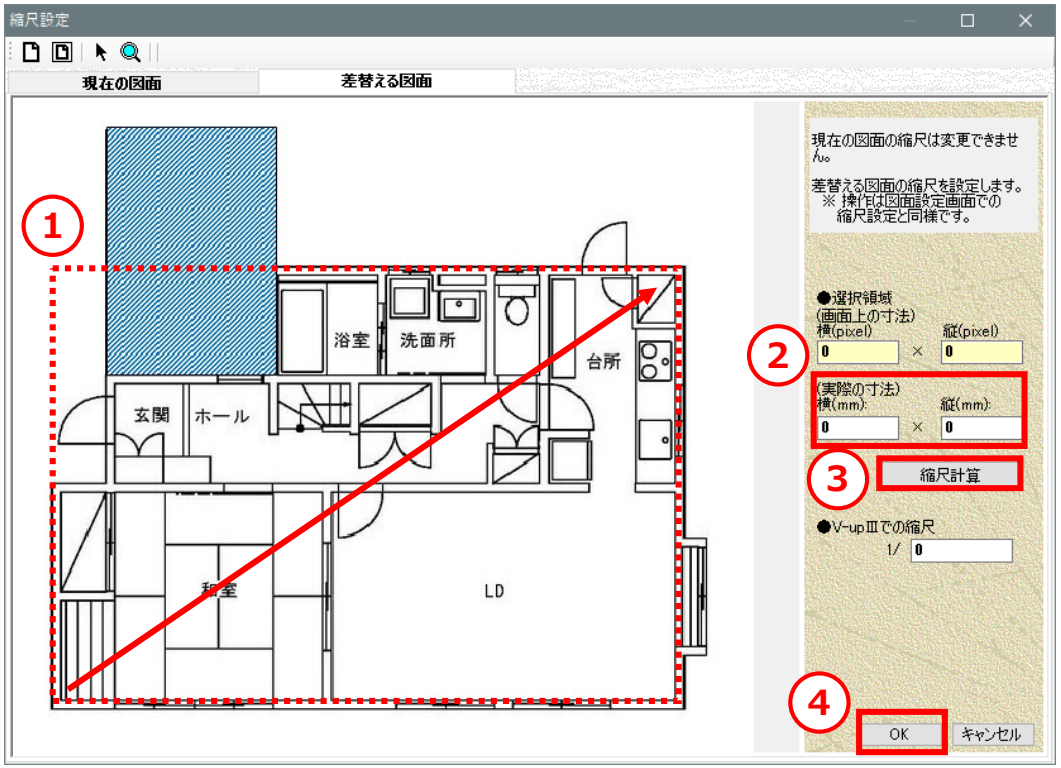
※ドラッグした範囲に緑色の横線がかかります。

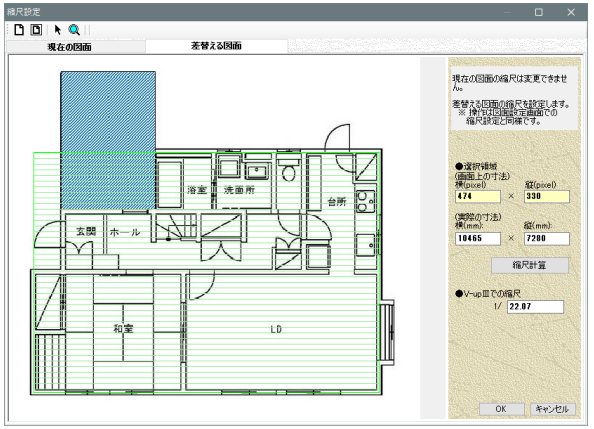
② マウスで範囲指定した図面寸法を入力します。

実際の寸法は、ミリメートル（mm）で入力します。

③ 図面寸法を入力後、 **縮尺計算** をクリック
します。

④ 縮尺設定をした後、 **OK** をクリックします。



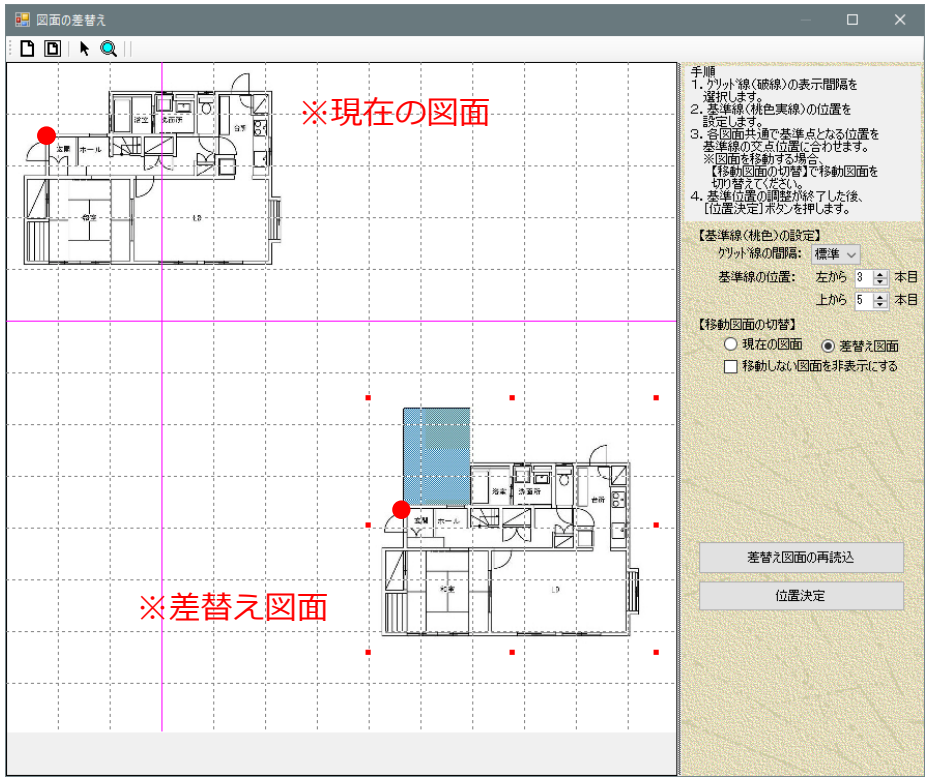


7. 現在の図面と、差替え図面の位置が同じになるように調整します。

次ページ以降で操作手順を説明します。

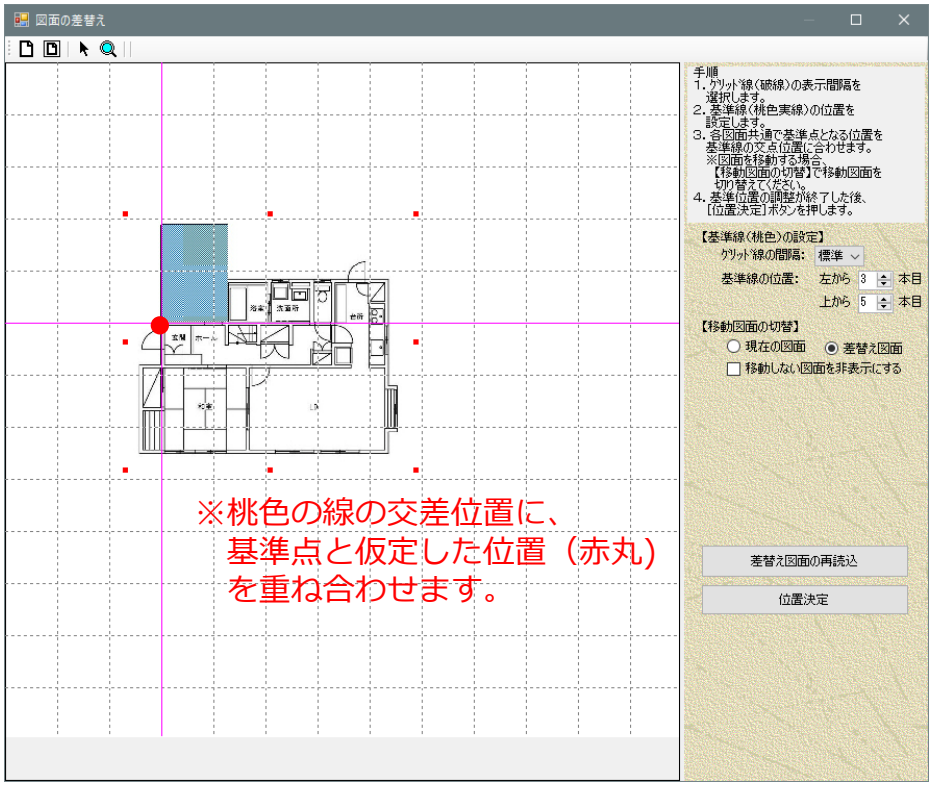
＜初期位置＞

- 赤丸位置は、
各図面共通の基準点と仮定した位置（任意）



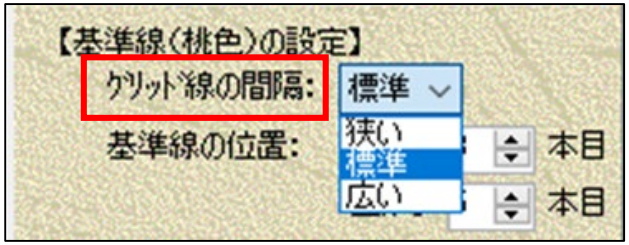
＜図面の位置を調整後＞

現在の図面と差替え図面が重なった状態
(各図面の赤い点が重なっている)

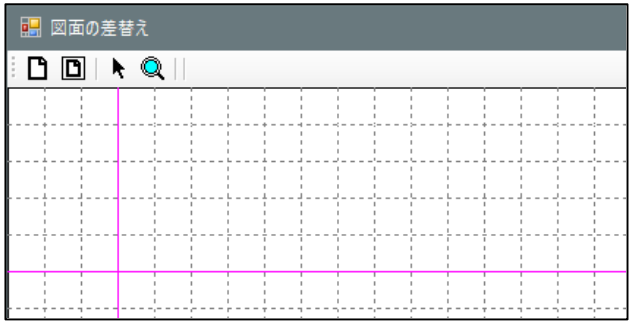


① グリッド線（破線）の間隔を選択します。

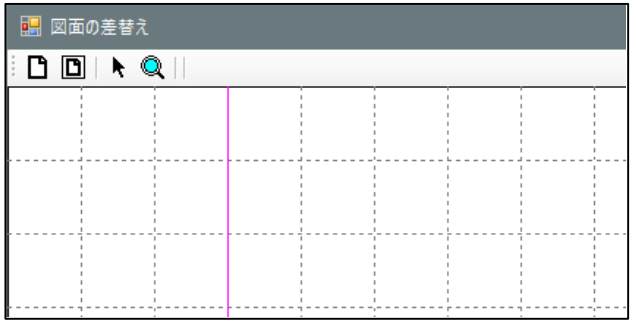
「狭い」、「標準」、「広い」 の３種類があります。



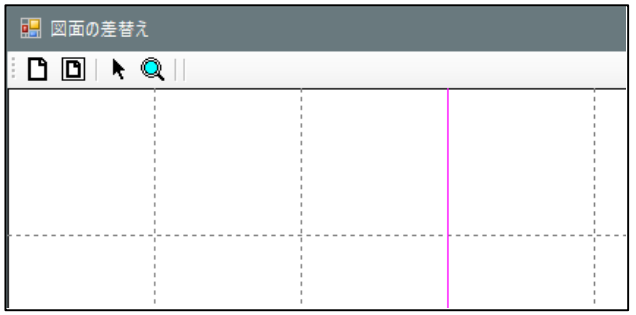
グリッド線の間隔：「狭い」



グリッド線の間隔：「標準」



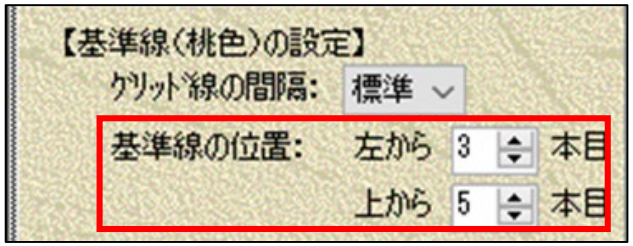
グリッド線の間隔：「広い」

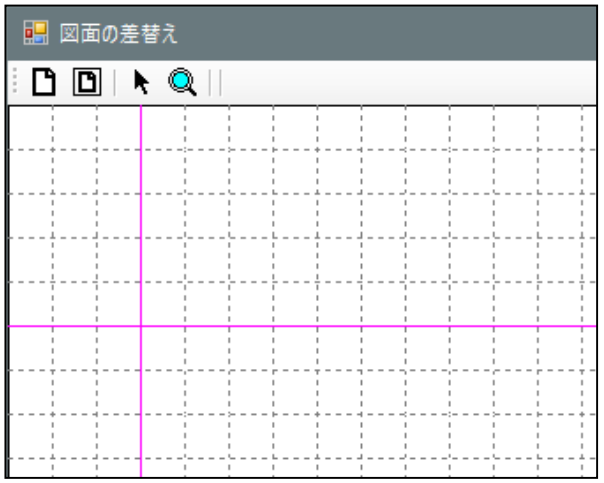


② 基準線（桃色実線）の位置を設定します。

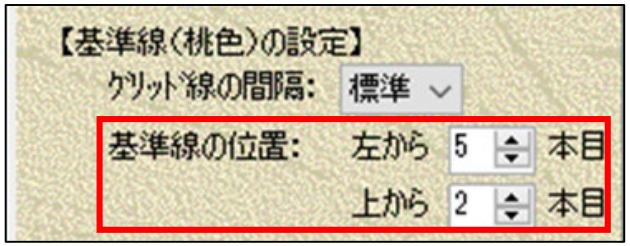
図面の位置を調節しやすい位置に設定します。

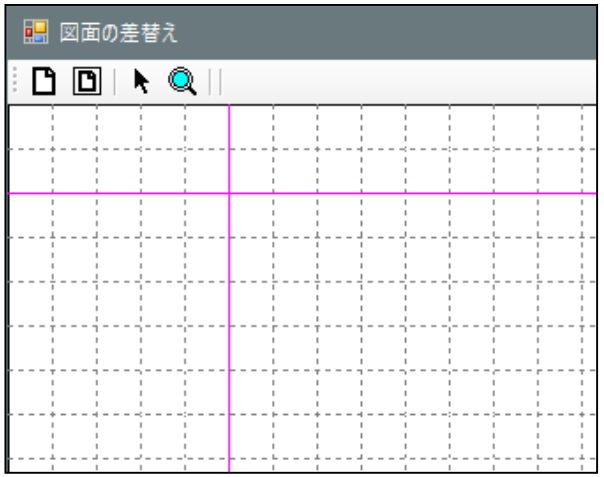
＜初期位置＞





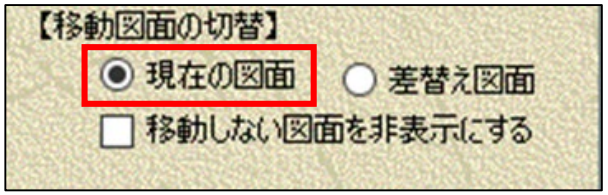
＜変更後の例＞

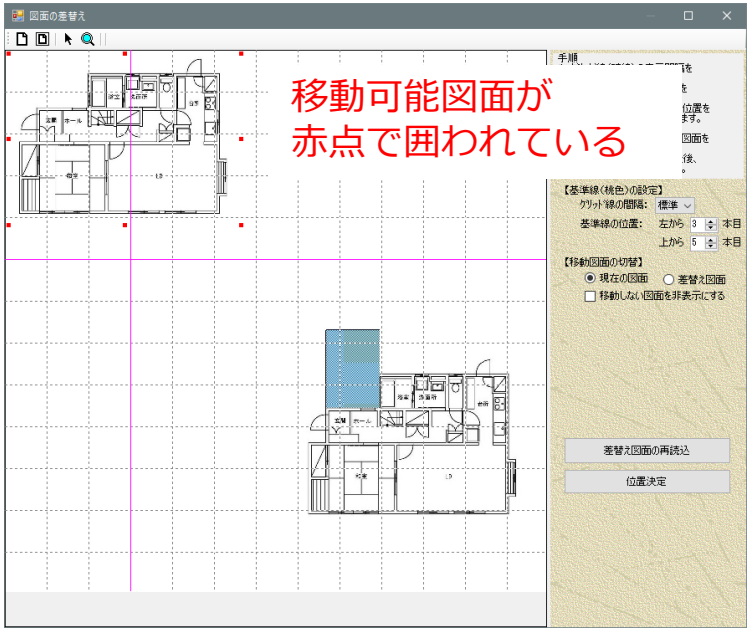




③ 移動図面を「現在の図面」に切り替えて、マウスのドラッグで
図面位置を調整します。

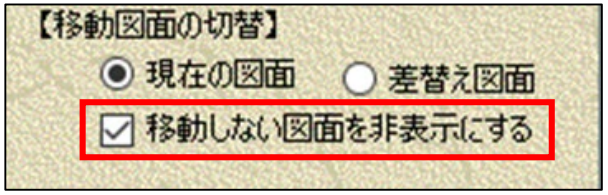
※赤点で囲われている図面が移動可能な図面です。

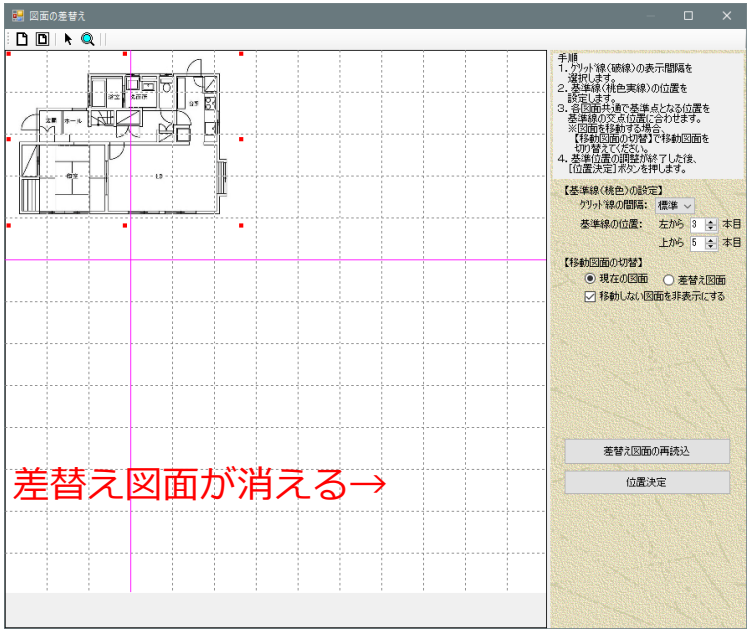




※「移動しない図面を非表示にする」にチェックを入れると、
一時的に移動しない図面を非表示にできます。

（動作が少し軽くなります）

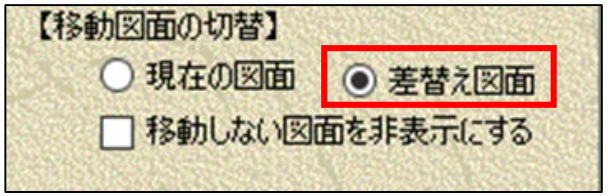


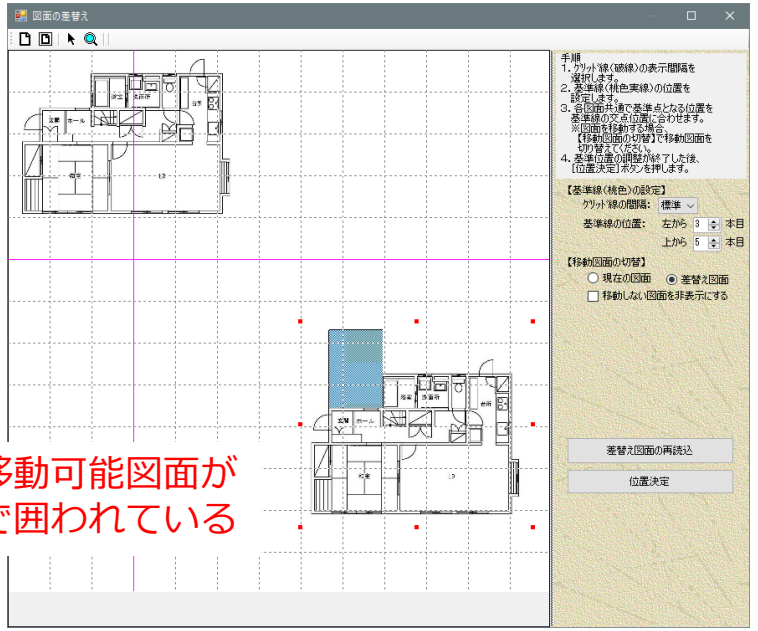


図面の移動は、マウスのドラッグの他に、
キーボードのテンキー「２」、「４」、「６」、「８」でも移動できます。

④ 移動図面を「差替え図面」に切り替えて、マウスのドラッグで
図面位置を調整します。

※赤点で囲われている図面が移動可能な図面です。

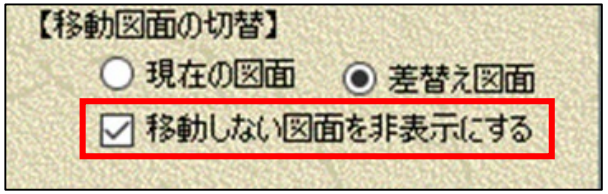


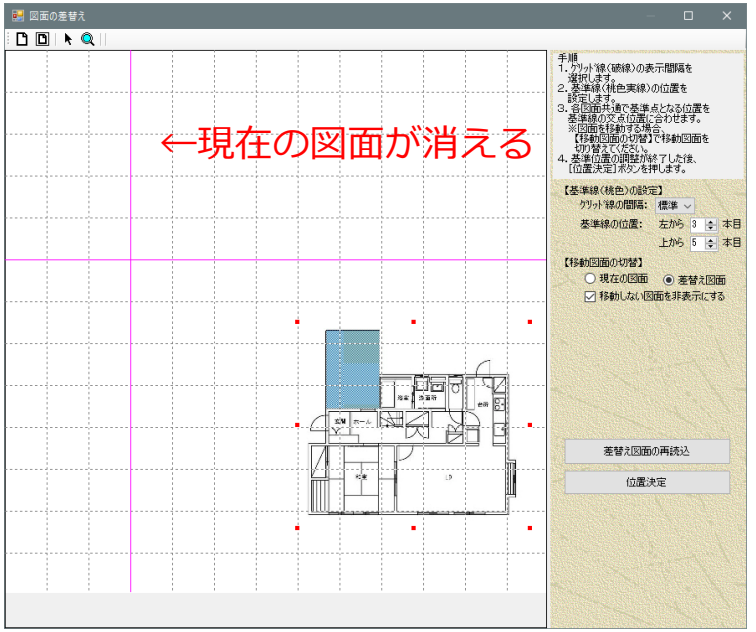


移動可能図面が
赤点で囲われている

※「移動しない図面を非表示にする」にチェックを入れると、
一時的に移動しない図面を非表示にできます。

（動作が少し軽くなります）

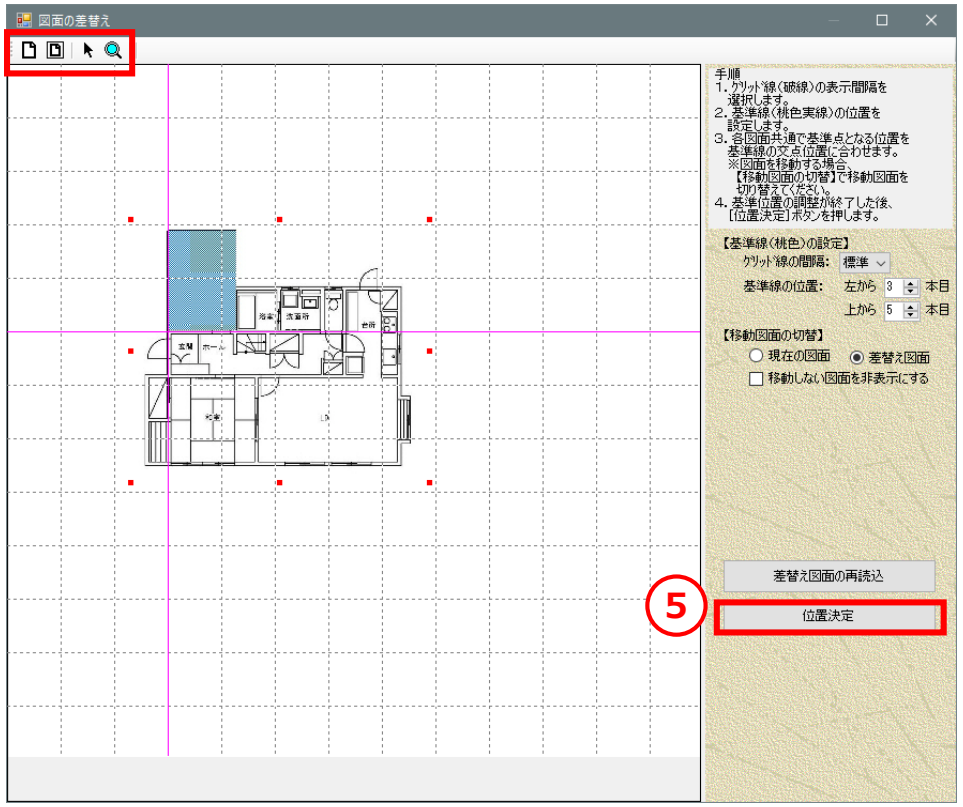




←現在の図面が消える

図面の移動は、マウスのドラッグの他に、
キーボードのテンキー「２」、「４」、「６」、「８」でも移動できます。

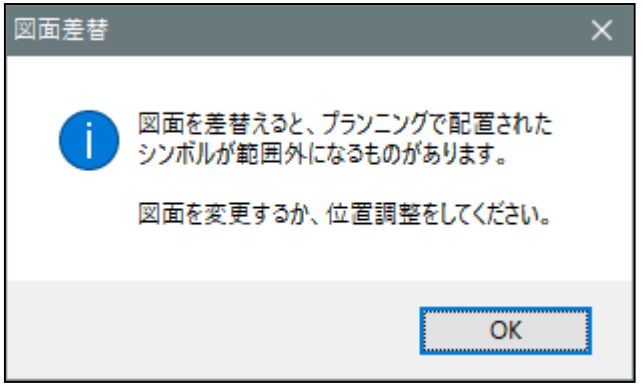
⑤ 位置調整が終わったら、 **位置決定** をクリックします。



<u>位置調整は、拡大機能を使用して細かく調整した方が、</u>
<u>その後のシンボル位置などのズレが少なくなります。</u>

【図面の差し替えに失敗した場合】

右図のメッセージが表示されます。以下の対応をしてください。



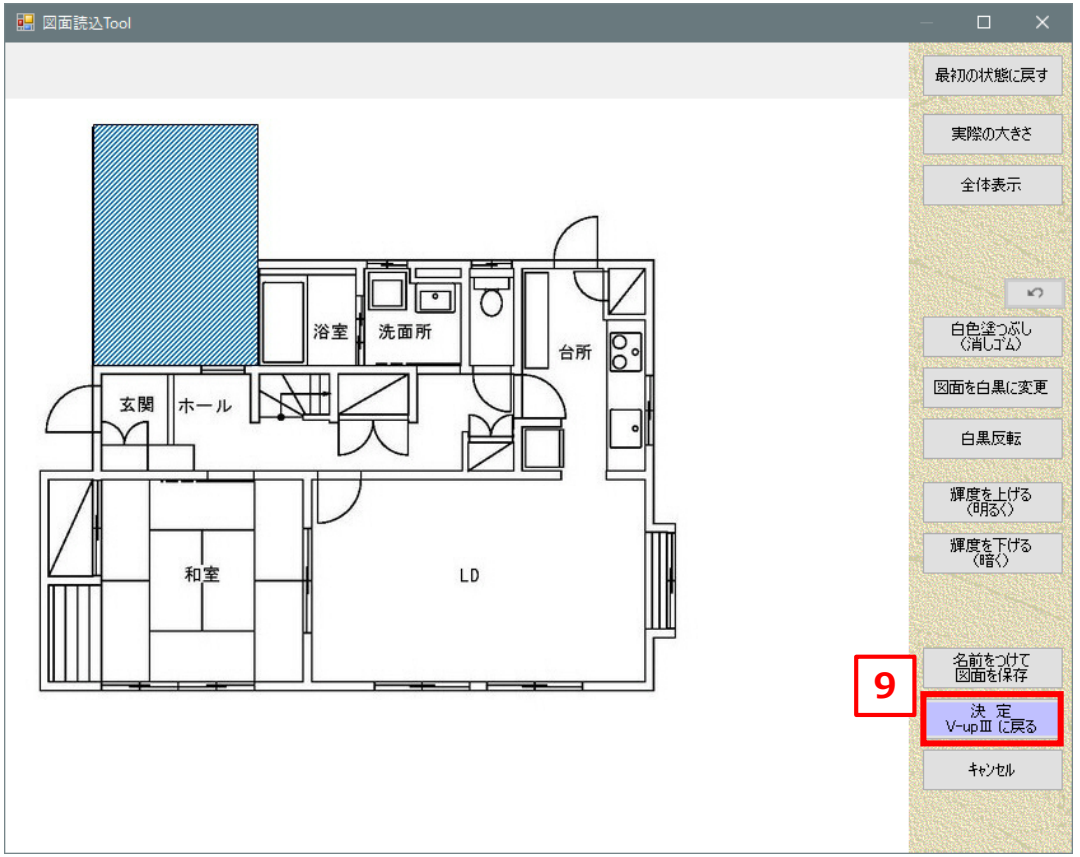
〇原因
　壁設置機器や屋外フード等は外壁にシンボルを配置するので、
　差し替える図面の余白が少ないと、配置済みのシンボルが
　差し替え後に図面外になる場合に、このメッセージが表示されます。

〇対応
　図面を差し替える前に図面外となるシンボルを削除するか、
　一時的に図面内に移動させてから、図面の差し替えを実行します。

8. 図面の差替えに成功すると図面編集ウィンドウになるので、必要に応じて図面を編集します。

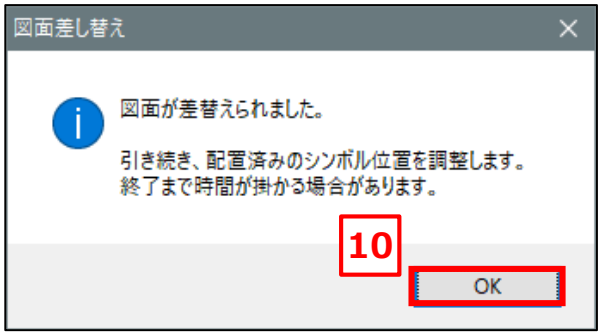
<u>図面差替え時は、「トリミング」と「図面回転」機能は使えません。</u>

※差し替えた図面の編集方法については、「**５－２．読み込んだ画像を編集する**」を参照ください。

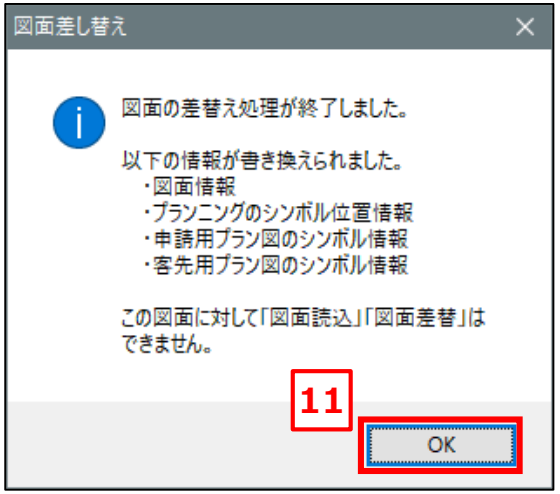


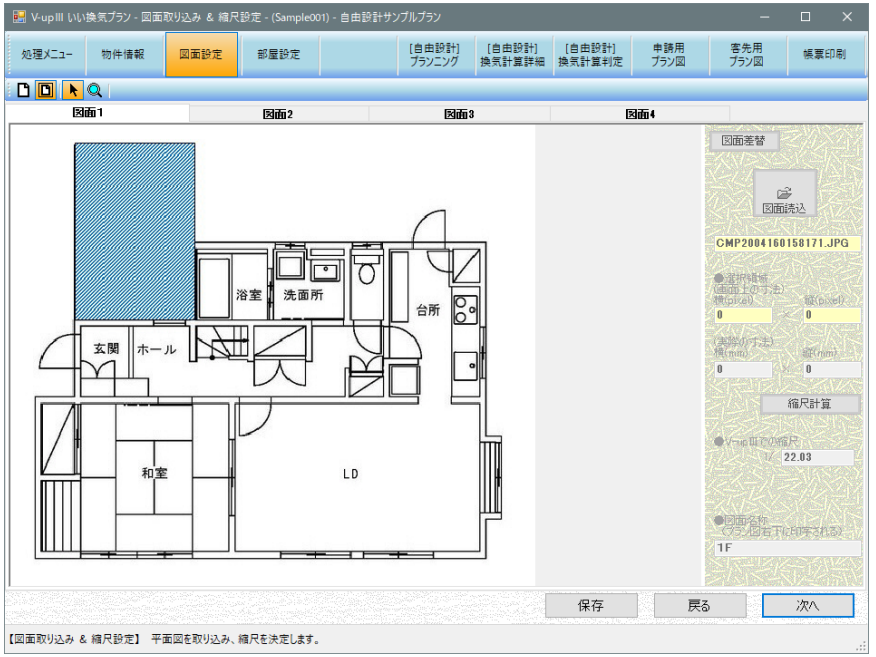
9. 編集が完了したら、 **決定 V-upⅢに戻る** を クリックします。

10. 確認メッセージが表示されるので、 **OK** を クリックします。



11. 再度、確認メッセージが表示されるので、 **OK** を
クリックします。



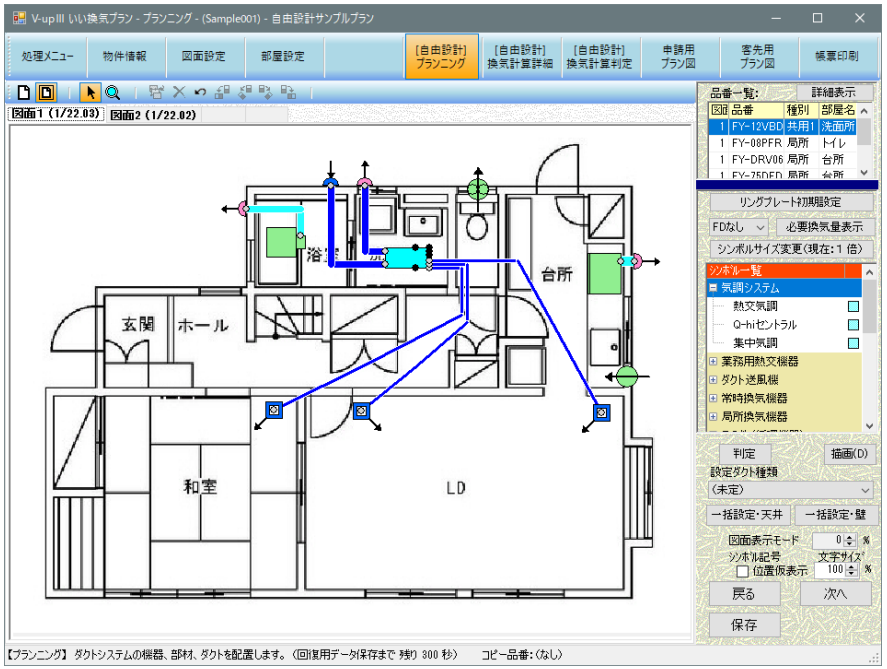


<u>図面差し替えした直後は、該当図面を操作する事は出来ません。</u>
<u>「図面名称」などの変更をしたい場合は、「図面設定」画面から</u>
<u>移動して、再度「図面設定」画面に戻ってください。</u>

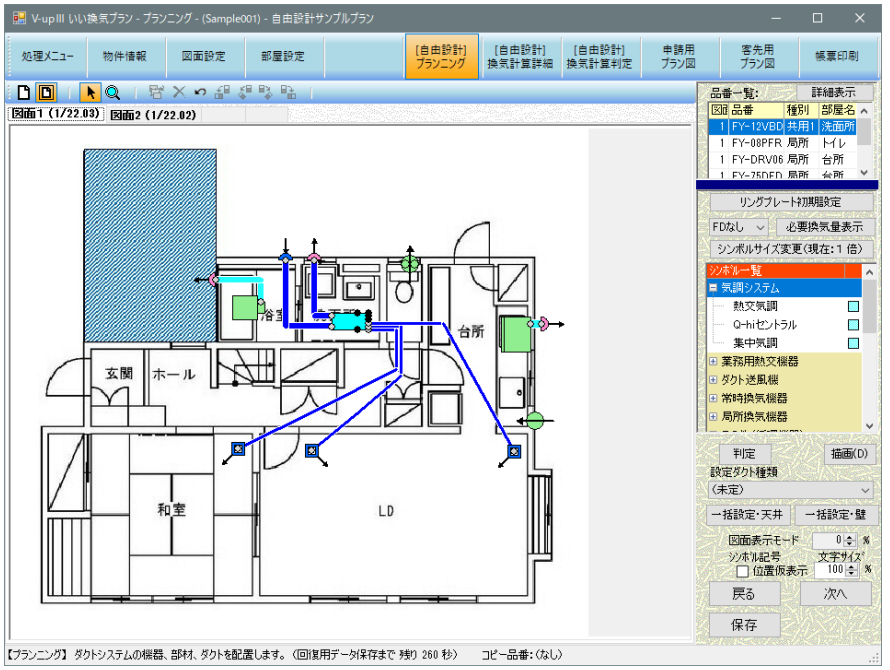
【図面の差し替え前後の比較（参考）】

配置済みのシンボルが、差し替え後の図面に合わせて自動で位置調整されています。

<差し替え前のプランニング画面>



<差し替え後のプランニング画面>

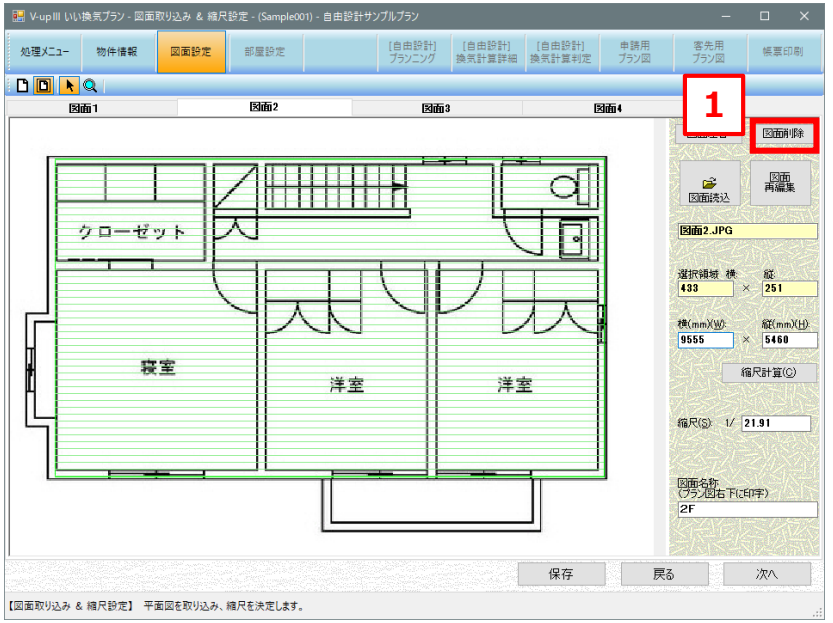


以上で、「図面の差替え」機能の説明は終了です。

５－７．図面の削除

登録済みの図面を削除します。

1. 図面削除 をクリックします。

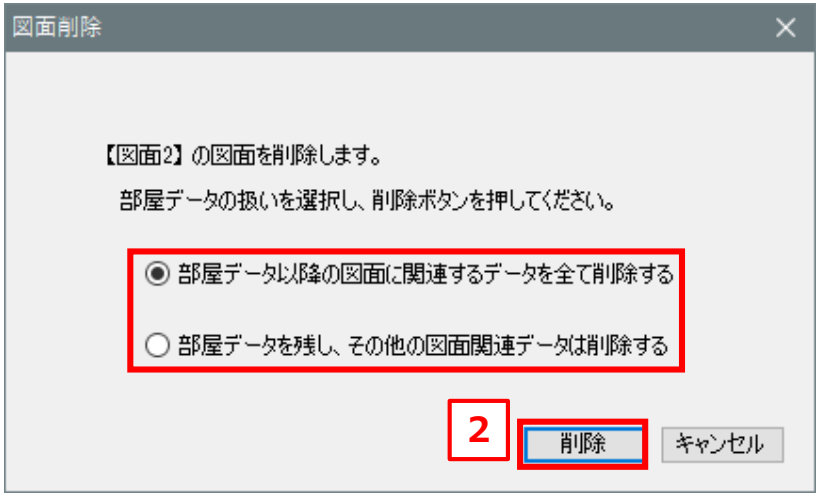


複数の図面が登録されている場合、最後の図面のみ削除できます。
その他の図面には、［図面削除］ボタンが表示されません。

【例】：図面１～図面３まで登録されている場合

図面３ → 図面２ → 図面１の順番でしか削除出来ません。

2. 確認メッセージが表示されるので、「削除方法」を選択して
削除 をクリックします。

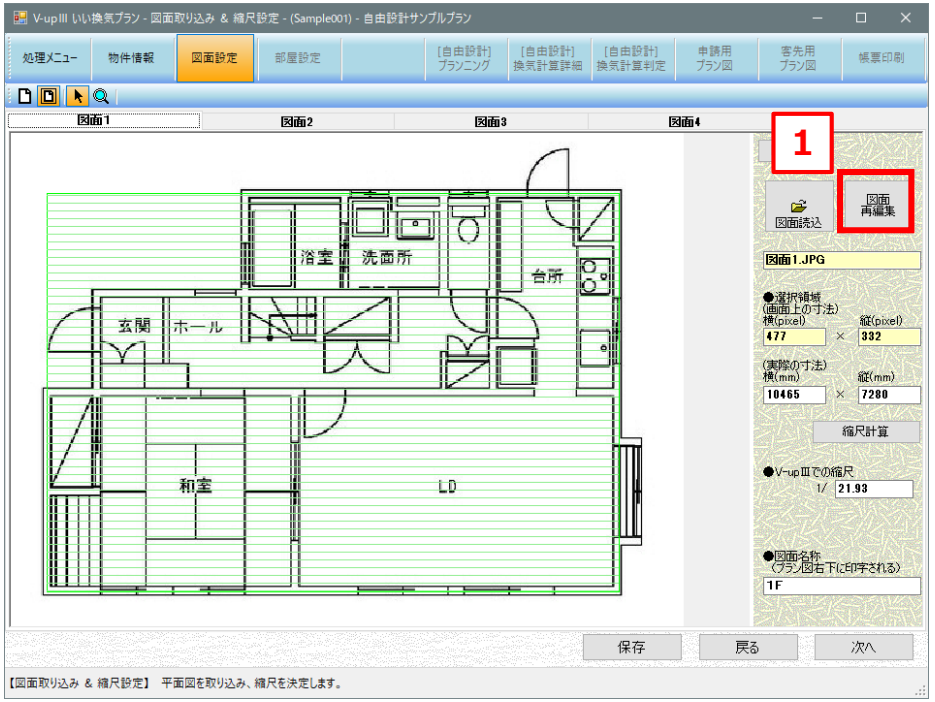


５－８．図面の再編集

登録済みの図面を再編集します。

1. 図面再編集 をクリックします。

編集ウィンドウが表示されます。



※図面の縮尺が変わる編集（トリミング、図面回転、傾き補正）は出来ません。

「図面の編集方法」の詳しい操作方法については、

「**５－２．読み込んだ画像を編集する**」を参照ください。

６．部屋設定

換気対象面積および部屋の設定をします。

いくつかの換気システムに対する部屋設定の入力例を「部屋設定事例集」にて、ご覧いただけます。

表示するには、「部屋設定」画面右上の［事例集（pdf）表示］ボタンをクリックしてください。

「自由設計」では、「局所判定用情報」を設定する事ができます。

「局所判定用情報」の詳しい設定方法については、

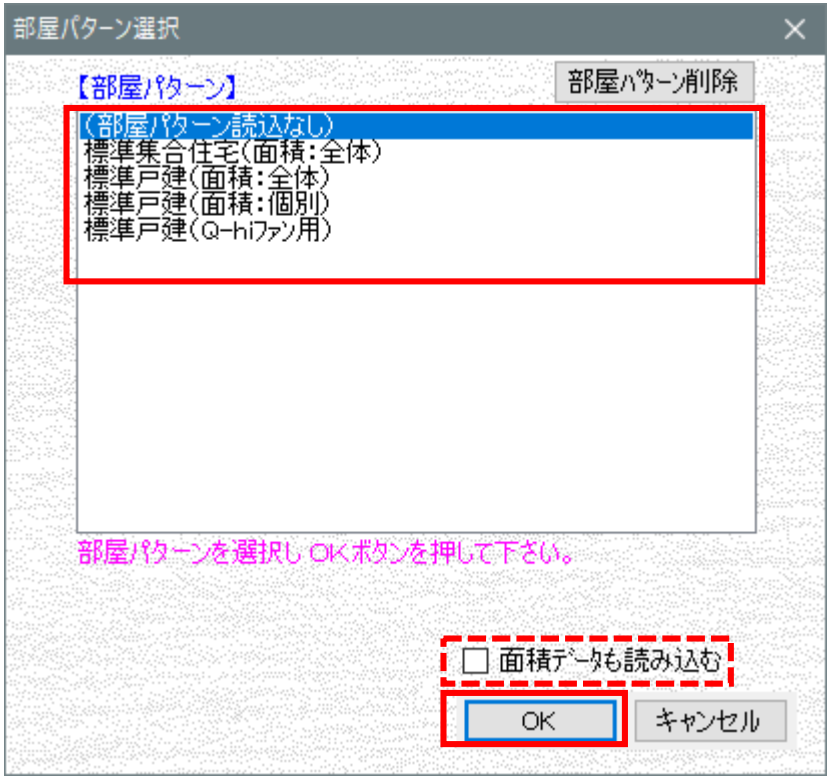
「**１１．［自由設計］局所計算書の作成**」を参照ください。

６－１．部屋パターン選択

・部屋パターンを選択して　OK　をクリックします。

※「面積データも読み込む」にチェックを入れると、
　部屋パターンに登録された床面積なども読み込まれます。

「部屋パターン」とは、部屋の組合せパターンのことです。



V-upⅢには、あらかじめ部屋パターン4つ
（集合住宅、戸建住宅×３）が登録されています。
各パターンの内容は本マニュアルの「付録」を
ご参照ください。

６－２．部屋を追加する

1. **部屋追加** をクリックします。

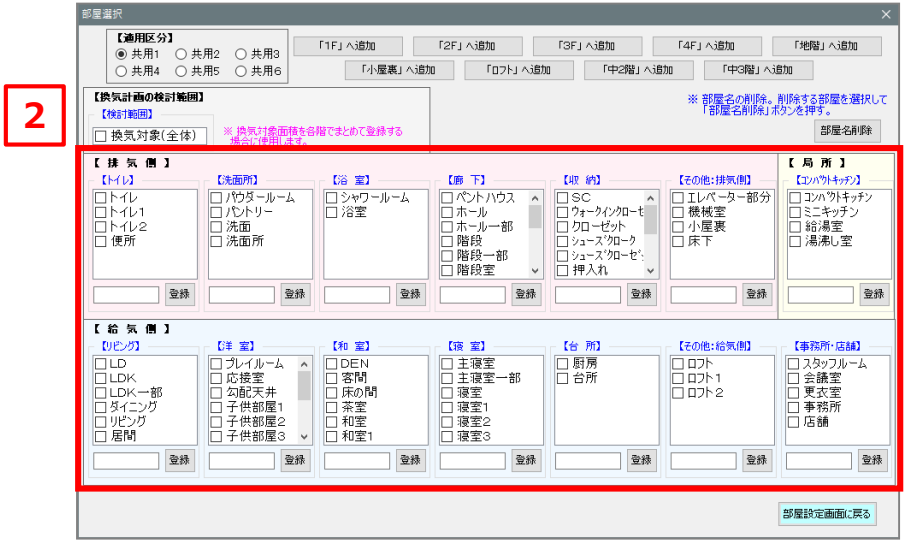
※右の画像は、部屋パターン選択で「（部屋パターン読込なし）」を選択した場合の表示です。

【部屋パターンを読み込んだ場合】

部屋名称が入力された状態で表示されます。
入力済み部屋名称を直接編集したり、足りない部屋名称を追加して調整してください。

2. 部屋選択ウィンドウで、追加する部屋を選択します。

※部屋は複数同時に選択することができます。



<u>換気対象外かつ、何も機器を設置しない部屋は追加する必要ありません。</u>

【部屋選択ウィンドウにおける部屋名追加／削除】

追加したい分類のボックスに部屋名を入力して、
登録 をクリックします。
部屋名を削除したい場合は、部屋名を選択して、
部屋名削除 をクリックします。

3. 判定する共用換気エリアが複数に分かれている場合は「適用区分」を変更します。

4. **「OF」へ追加** をクリックします。

【該当する階数名称がない場合】

階数名称は変更できます。

「**６－１０．その他の機能（５）系統（階数）名称変更**」を参照ください。

5. すべての階の部屋を追加したら **部屋設定画面に戻る** をクリックします。

６－３．部屋を削除する

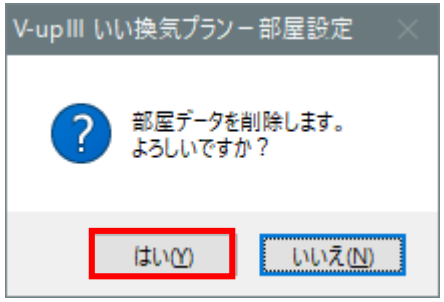
（１）１部屋ずつ削除する場合

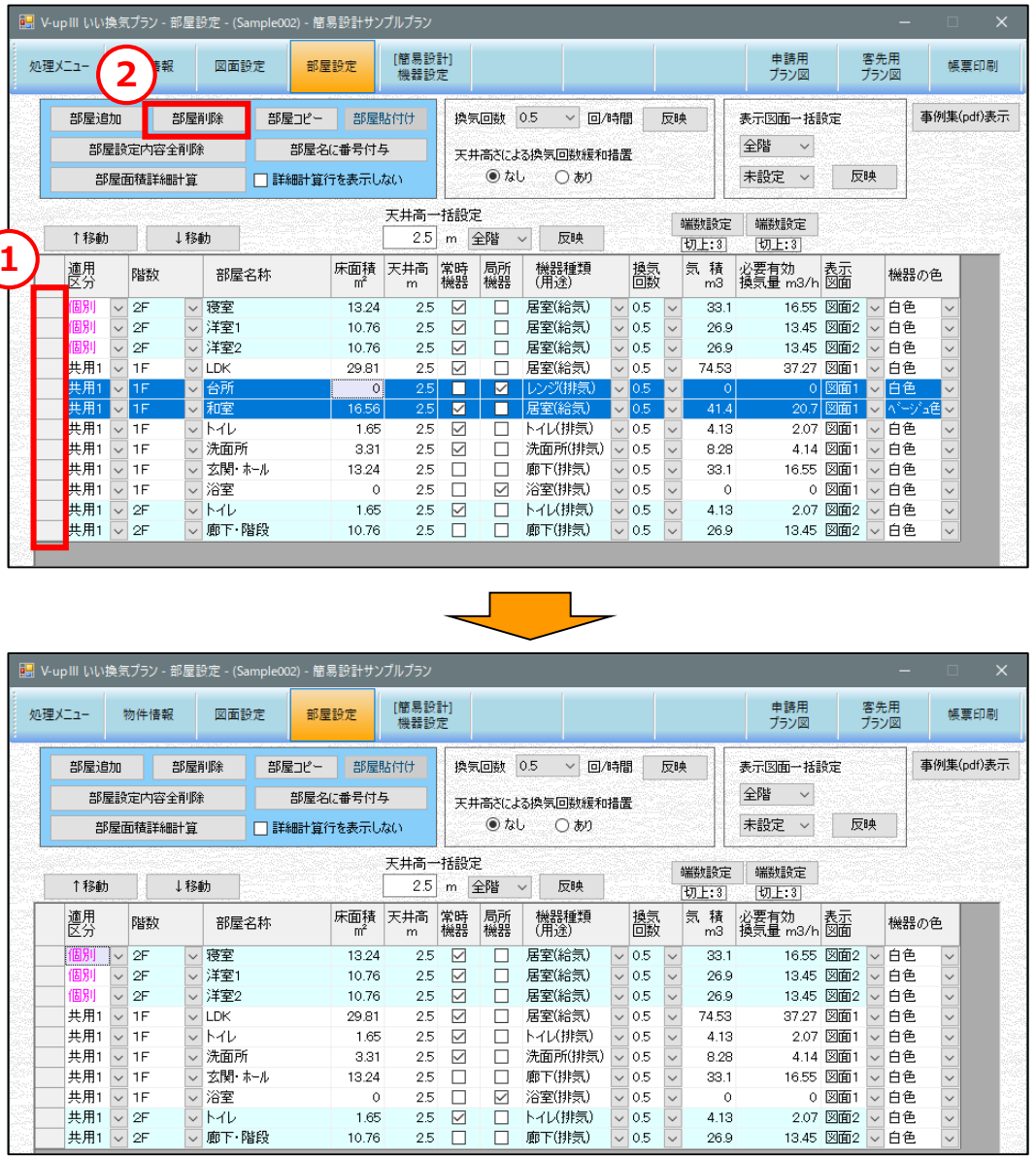
① 赤枠内をマウスでクリックして部屋を選択します。

マウスをドラッグする事で複数の部屋を選択できます。
※選択した行は青色になります。

② 削除する部屋を選択した後、 **部屋削除** をクリックします。

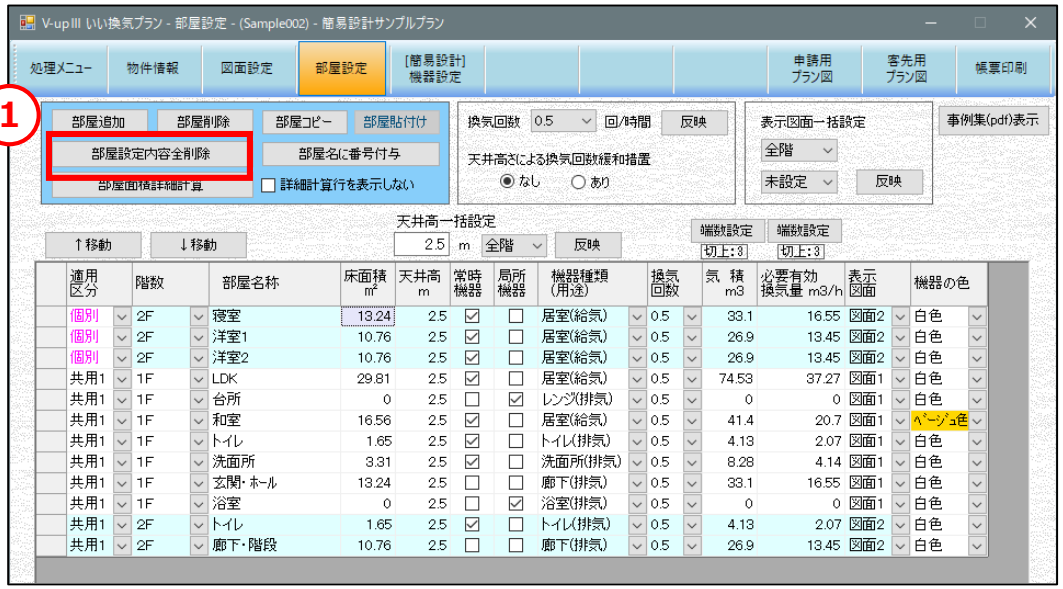
確認メッセージが表示されるので、 **はい** をクリックします。



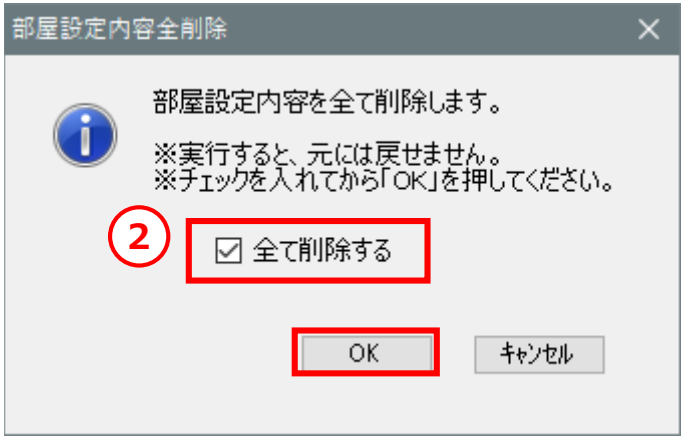


（２）全ての部屋を削除する場合

① **部屋設定内容全削除** をクリックします。



② 確認メッセージが表示されるので、「□全て削除する」に
チェックを入れてから、 **OK** をクリックします。



６－４．床面積と天井高を入力する

1. 床面積（㎡）と天井高（m）を入力します。

床面積、天井高は下記の方法で入力可能です。

<u>天井高は初期値で、「2.5」が入力されています。</u>

【床面積、天井高の入力方法】

① 部屋毎に床面積、天井高を入力する場合

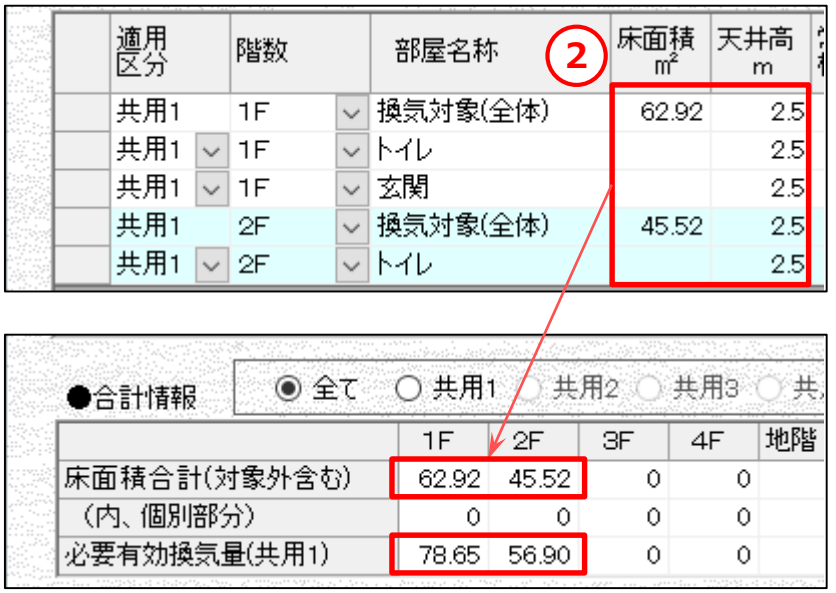
換気対象エリアとなる部屋名称の床面積と天井高を入力します。

【例】右図では、LDKに床面積が入力されているので、
台所の床面積は入力していません。

適用区分	階数	部屋名称 ①	床面積 ㎡	天井高 m
個別	2F	寝室	13.24	2.5
個別	2F	洋室1	10.76	2.5
個別	2F	洋室2	10.76	2.5
共用1	1F	LDK	29.81	2.5
共用1	1F	台所	0	2.5
共用1	1F	和室	16.56	2.5

② 換気対象エリア全体の床面積、天井高を入力する場合

「換気対象（全体）」および機器を設置する部屋名称を
追加しておき、換気対象全体の床面積と天井高を入力します。



	適用区分	階数	部屋名称 ②	床面積 m²	天井高 m
	共用1	1F	換気対象(全体)	62.92	2.5
	共用1	1F	トイレ		2.5
	共用1	1F	玄関		2.5
	共用1	2F	換気対象(全体)	45.52	2.5
	共用1	2F	トイレ		2.5

●合計情報　◉全て　○共用1　共用2　共用3　共

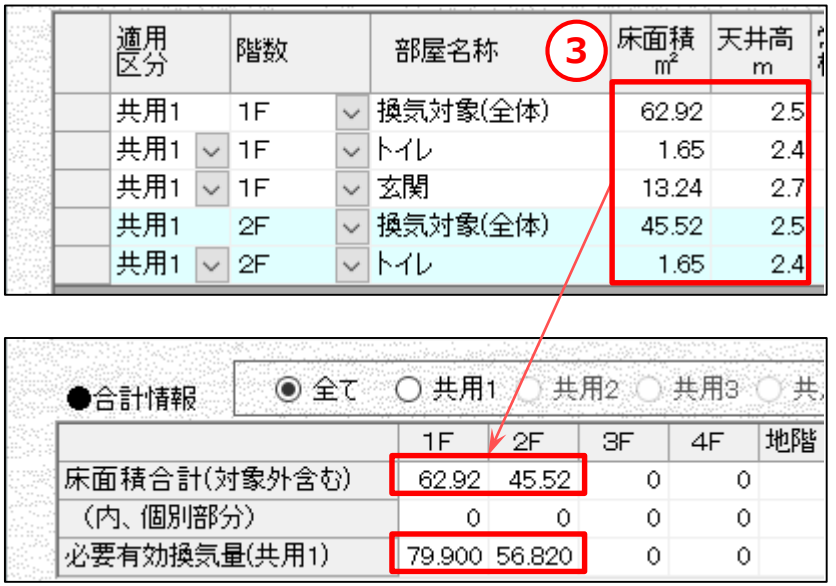
	1F	2F	3F	4F	地階
床面積合計(対象外含む)	62.92	45.52	0	0	
（内、個別部分）	0	0	0	0	
必要有効換気量(共用1)	78.65	56.90	0	0	

③ 一部の部屋の天井高が違う場合

「換気対象（全体）」の床面積と天井高を入力後、
天井高が違う部屋名称の床面積と天井高を追加入力します。

「換気対象（全体）」の床面積には、

天井高が違う部屋名称の床面積も含む数値を入力します。



	適用区分	階数	部屋名称 ③	床面積 m²	天井高 m
	共用1	1F	換気対象(全体)	62.92	2.5
	共用1	1F	トイレ	1.65	2.4
	共用1	1F	玄関	13.24	2.7
	共用1	2F	換気対象(全体)	45.52	2.5
	共用1	2F	トイレ	1.65	2.4

●合計情報　◉全て　○共用1　共用2　共用3　共

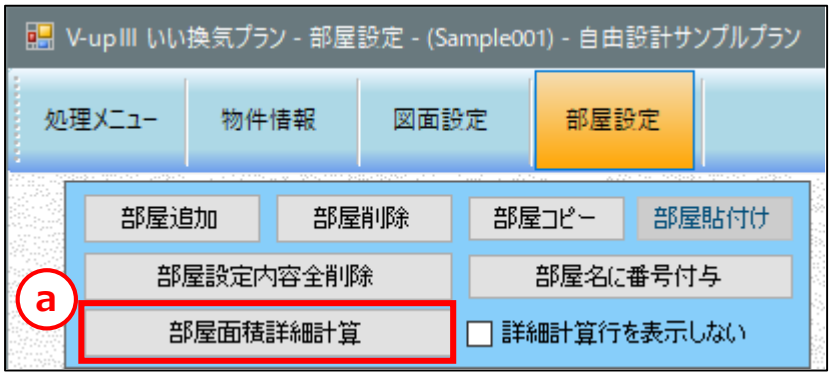
	1F	2F	3F	4F	地階
床面積合計(対象外含む)	62.92	45.52	0	0	
（内、個別部分）	0	0	0	0	
必要有効換気量(共用1)	79.900	56.820	0	0	

【例】右図では、②の床面積合計と比べて、

床面積合計の数値は変化していないが、
必要有効換気量の数値は変化している。

④ 部屋面積の詳細計算をする場合

換気対象外面積を除外する場合や吹抜などの天井高が違うときに使用します。



a. 詳細計算をする部屋を選択して、

部屋面積詳細計算 をクリックします。

部屋面積詳細計算ウィンドウが表示されます。

b. 詳細計算に必要なだけ **行追加** を クリックします。

c. 部屋名称・床面積・天井高を入力します。
換気対象外の場合は、「対象外」にチェックを入れます。

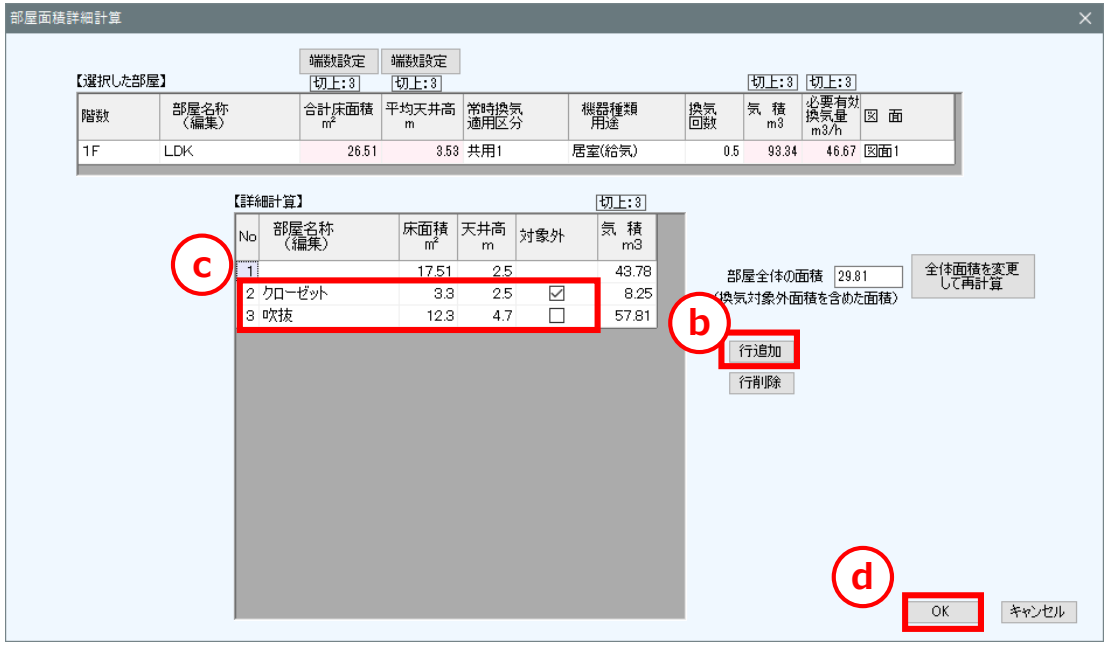
【例】右図では、1F LDK＝29.81㎡・2.5m

クローゼット（対象外）＝3.3㎡
吹抜（天井高違い）＝12.3㎡・4.7m

計算結果：

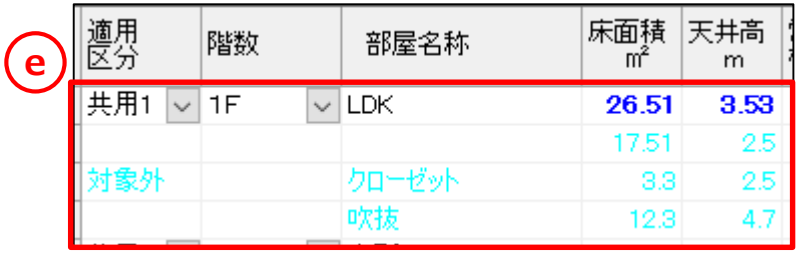
床面積＝26.51㎡・平均天井高＝3.53m

d. 入力後、 **OK** をクリックします。



e. 部屋面積詳細計算をした部屋の床面積・天井高は青色になり、詳細計算部分は水色で表示されます。

詳細計算をした部屋の数値は直接編集できません。
「部屋面積詳細計算」ウィンドウでおこないます。



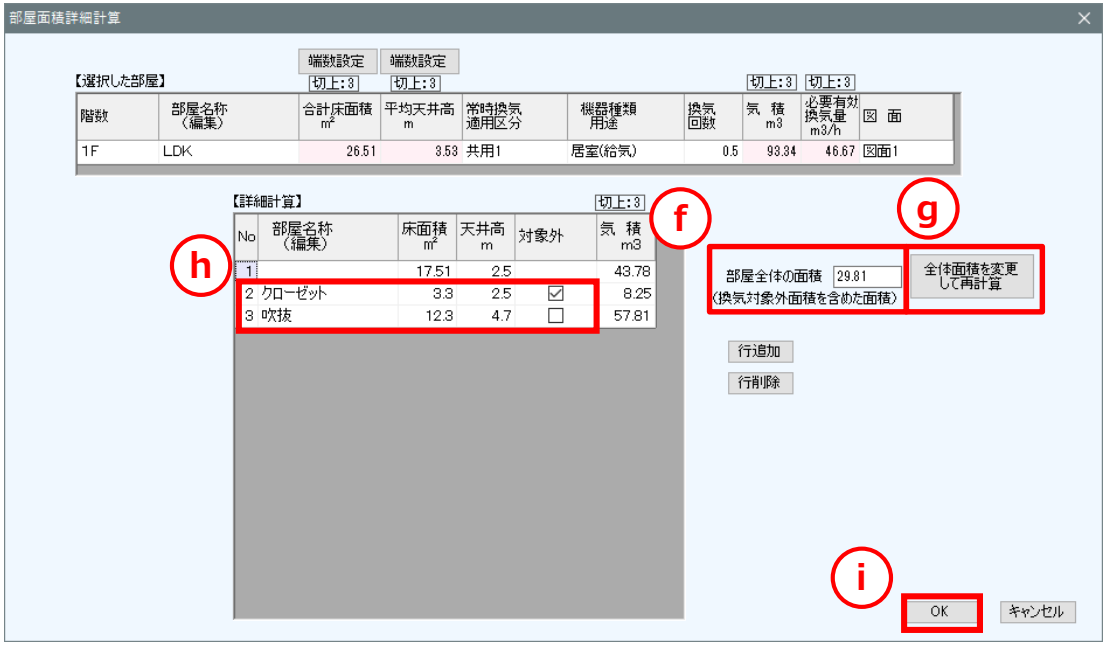
【部屋面積詳細計算をした部屋の床面積を修正する場合】

f. 「部屋全体の面積」の数値を修正します。

g. **全体面積を変更して再計算** をクリックします。

h. 必要があれば詳細計算の床面積を修正します。

i. 修正後、 **OK** をクリックします。

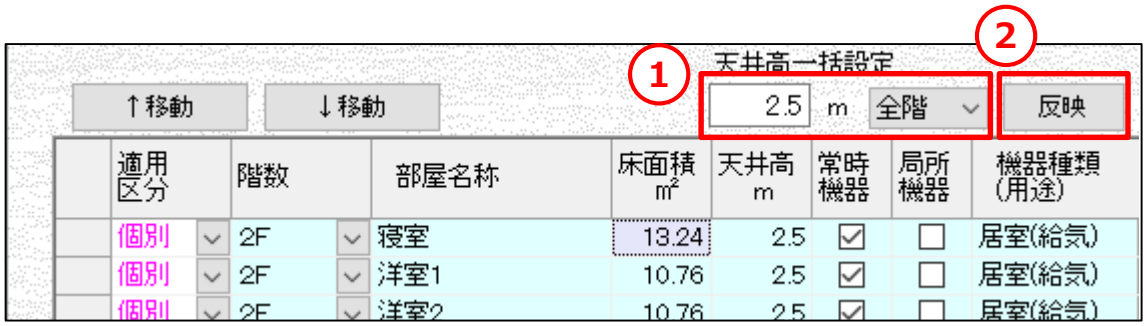


【その他：天井高の一括設定】

階数毎に天井高を一括で変更する事ができます。

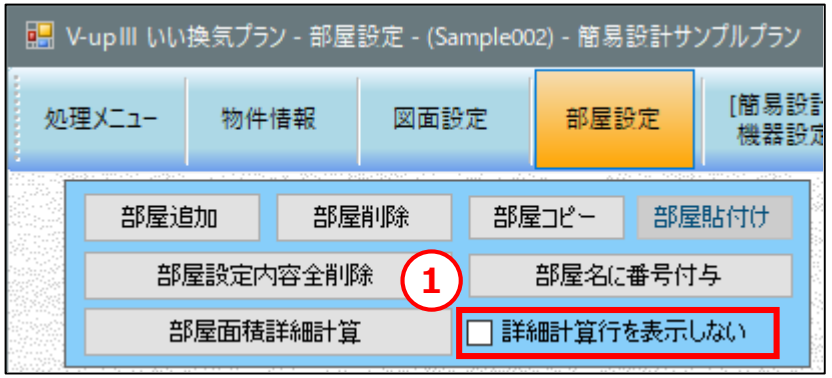
① 変更する天井高を入力し階数を選択します。

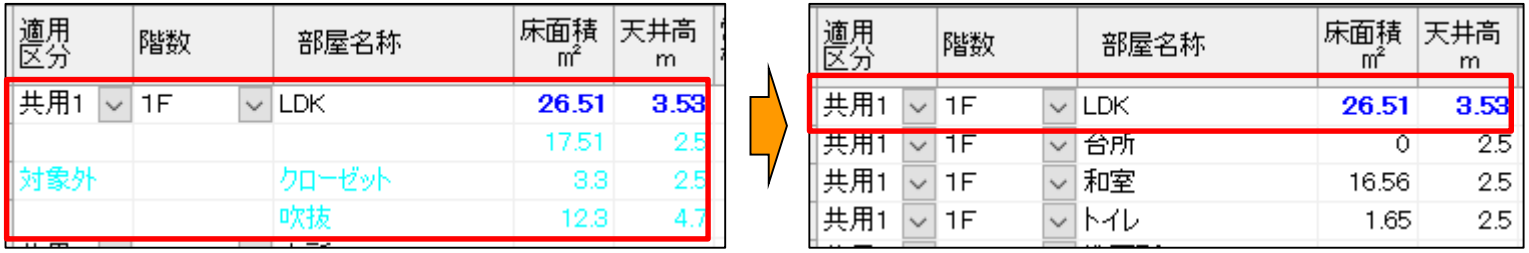
② 反映 をクリックします。



【その他：詳細計算行を表示しない】

① 「詳細計算行を表示しない」にチェックを入れると
一時的に詳細行が非表示になります。





2. 入力した内容に間違いがないか合計情報を確認します。

６－５．設定項目１（適用区分）

換気エリアの適用区分（判定範囲）を設定します。
個別換気をおこなう部屋は、適用区分を「個別」とします。
共用換気エリアが複数ある場合（店舗付き住宅、２世帯住宅等）は「共用２」以降を使用します。

【適用区分の種類】

個別	・個別換気（Q-hiファン等） ・建具にアンダーカット等の通気措置がない
共用1	・共用換気 ・建具に通気措置がある
共用2	・共用換気のエリアが複数時使用 ・共用エリア２つ目用。
共用3	・共用換気のエリアが複数時使用 ・共用エリア３つ目用。
共用4	・共用換気のエリアが複数時使用 ・共用エリア４つ目用。
共用5	・共用換気のエリアが複数時使用 ・共用エリア５つ目用。
共用6	・共用換気のエリアが複数時使用 ・共用エリア６つ目用。

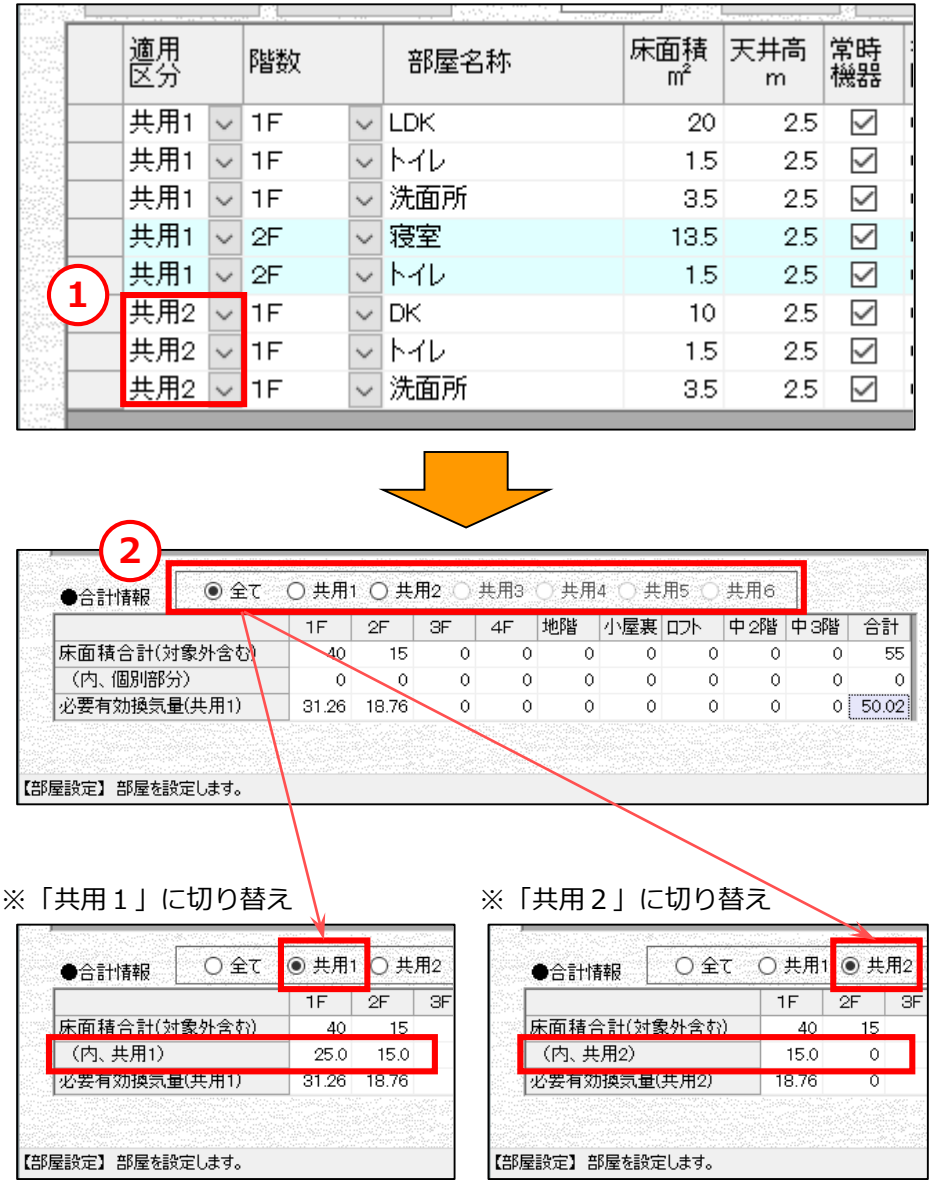
適用区分	階数	部屋名称	床面積 ㎡	天井高 m
個別	2F	寝室	13.24	2.5
個別	2F	洋室1	10.76	2.5
個別	2F	洋室2	10.76	2.5
共用1	1F	LDK	29.81	2.5
共用1	1F	台所	0	2.5
共用1	1F	和室	16.56	2.5
共用1	1F	トイレ	1.65	2.5
共用1	1F	洗面所	3.31	2.5
共用1	1F	玄関・ホール	13.24	2.5
共用1	1F	浴室	0	2.5
共用1	2F	トイレ	1.65	2.5
共用1	2F	廊下・階段	10.76	2.5

（１）共用換気エリアが複数あるプランをする場合

① 適用区分を「共用２」に変更します。

共用換気エリアが３カ所以上ある場合は、「共用３」以降を順次設定します。

② 床面積等の合計は、適用区分毎で切り替えて確認できます。



（２）個別換気の床面積に関する注意事項

共用換気のエリアが複数ある場合、個別換気の床面積は「換気対象（全体）」の床面積に含まれません。

<サンプル条件>

１Ｆ 床面積合計＝５０㎡
２Ｆ 床面積合計＝５０㎡、　２Ｆ 寝室 床面積＝１０㎡

●共用１のみの場合

	適用区分	階数	部屋名称	床面積 ㎡	天井高 m
	個別	2F	寝室	10	2.5
	共用1	1F	換気対象(全体)	50	2.5
	共用1	2F	換気対象(全体)	50	2.5

<床面積の合計欄>

	1F	2F	3F	4F	地階
床面積合計(対象外含む)	50	50	0	0	
（内、個別部分）	0	10	0	0	
必要有効換気量(共用1)	62.5	50.0	0	0	

2F 床面積合計＝**５０**㎡、　2F 寝室＝**１０**㎡

「2F 寝室」の床面積は「2F 換気対象（全体）」に、**含まれる。**

●共用１と共用２の複数エリアの場合

1F 床面積を、（共用１）３０と（共用２）２０に分けて入力

	適用区分	階数	部屋名称	床面積 ㎡	天井高 m
	個別	2F	寝室	10	2.5
	共用1	1F	換気対象(全体)	30	2.5
	共用1	2F	換気対象(全体)	50	2.5
	共用2	1F	換気対象(全体)	20	2.5

<床面積の合計欄>

	1F	2F	3F	4F	地階
床面積合計(対象外含む)	50	60	0	0	
（内、個別部分）	0	10	0	0	
必要有効換気量(共用1)	37.5	62.5	0	0	

2F 床面積合計＝**６０**㎡、　2F 寝室＝**１０**㎡

「2F 寝室」の床面積は「2F 換気対象（全体）」に、**含まれない。**

※「2F 寝室」の床面積１０㎡ 分が増えている。

６－６．設定項目２（常時機器／局所機器）

換気機器を設置する部屋にチェックを入れます。

【簡易設計の場合】

常時機器：常時換気機器を設置する部屋にチェックを入れます。

局所機器：局所換気機器を設置する部屋にチェックを入れます。

※簡易設計の場合、チェックを入れた部屋に自動で機器が選定されます。

【自由設計の場合】

「常時機器」欄のみ表示されます。（局所機器は表示されません）

常時機器にチェックを入れると、「帳票印刷」画面で印刷できる換気計算書「天井裏等の措置」に部屋名称が印字されます。

適用区分	階数	部屋名称	床面積 m²	天井高 m	常時機器	局所機器
個別	2F	寝室	13.24	2.5	☑	☐
個別	2F	洋室1	10.76	2.5	☑	☐
個別	2F	洋室2	10.76	2.5	☑	☐
共用1	1F	LDK	29.81	2.5	☑	☐
共用1	1F	台所	0	2.5	☐	☑
共用1	1F	和室	16.56	2.5	☑	☐
共用1	1F	トイレ	1.65	2.5	☑	☐
共用1	1F	洗面所	3.31	2.5	☑	☐
共用1	1F	玄関・ホール	13.24	2.5	☐	☐
共用1	1F	浴室	0	2.5	☐	☑
共用1	2F	トイレ	1.65	2.5	☑	☐
共用1	2F	廊下・階段	10.76	2.5	☐	☐

６－７．設定項目３（機器種類）

本項目は、簡易設計の場合のみ設定が必要です。自由設計では表示されません。

機器種類（用途）を選択します。

※ここで設定した機器種類（用途）に基づき、次画面（「機器設定」画面）で、
　自動的に機種を選定します。

※１部屋に複数種類の機器を設置する場合
　機器種類（用途）は代表１つを設定しておきます。
　設定しなかった機器については、後で手動で機種選定をします。

【機器種類（用途）の選択内容】

・居室（給気）　：給気機器を設置します。
・トイレ（排気）：トイレ用の排気機器を設置します。
・洗面所（排気）：洗面所用の排気機器を設置します。
・浴室（排気）　：浴室用の排気機器を設置します。
・廊下（排気）　：廊下用の排気機器を設置します。
・レンジ（排気）：レンジフードを設置します。
・その他（排気）：居室用の排気機器を設置します。

階数	部屋名称	床面積 ㎡	天井高 m	常時機器	局所機器	機器種類（用途）
2F	寝室	13.24	2.5	☑	☐	居室(給気)
2F	洋室1	10.76	2.5	☑	☐	居室(給気)
2F	洋室2	10.76	2.5	☑	☐	居室(給気)
1F	LDK	29.81	2.5	☑	☐	居室(給気)
1F	台所	0	2.5	☐	☑	レンジ(排気)
1F	和室	16.56	2.5	☑	☐	居室(給気)
1F	トイレ	1.65	2.5	☑	☐	トイレ(排気)
1F	洗面所	3.31	2.5	☑	☐	洗面所(排気)
1F	玄関・ホール	13.24	2.5	☐	☐	廊下(排気)
1F	浴室	0	2.5	☐	☑	浴室(排気)
2F	トイレ	1.65	2.5	☑	☐	トイレ(排気)
2F	廊下・階段	10.76	2.5	☐	☐	廊下(排気)

６－８．設定項目４（換気回数）

必要に応じて換気回数を変更します。（0.3回/h、0.5回/h、0.7回/h から選択可能）

換気回数の設定に際しては、関連法規にしたがってください。

1. 各部屋毎に換気回数を設定します。

【換気回数の一括変更の方法】

2. 全ての部屋に設定する換気回数を選択します。

3. 反映 をクリックします。

全ての部屋の換気回数が変更されます。

６－９．設定項目５（表示図面）

各部屋が「図面設定」で読み込んだどの図面に対応しているかを設定します。

設定した図面の枚数と階数によって自動的に設定されますが、変更があれば修正します。

1. 各部屋毎に表示図面を設定します。

【表示図面の一括変更の方法】

2. 変更する階数を選択します。

3. 変更する表示図面を選択します。

4. 反映 をクリックします。

指定した部屋の表示図面が変更されます。

６－１０．設定項目６（機器の色）

本項目は、簡易設計の場合のみ設定が必要です。自由設計では表示されません。

自動的に選定される機器の色を設定します。

「白色」と「ベージュ色」から選択できます。

※白色のみの機器の場合は、「ベージュ色」を設定してもベージュ系の
　品番は選定されません。

機器種類(用途)	換気回数	気　積 m3	必要有効換気量 m3/h	表示図面	機器の色
居室(給気)	0.5	33.1	16.55	図面2	白色
居室(給気)	0.5	26.9	13.45	図面2	白色
居室(給気)	0.5	26.9	13.45	図面2	白色
居室(給気)	0.5	74.53	37.27	図面1	白色
レンジ(排気)	0.5	0	0	図面1	白色
居室(給気)	0.5	41.4	20.7	図面1	ベージュ色
トイレ(排気)	0.5	4.13	2.07	図面1	白色
洗面所(排気)	0.5	8.28	4.14	図面1	白色
廊下(排気)	0.5	33.1	16.55	図面1	白色
浴室(排気)	0.5	0	0	図面1	白色
トイレ(排気)	0.5	4.13	2.07	図面2	白色
廊下(排気)	0.5	26.9	13.45	図面2	白色

６－１１．その他の機能

（１）天井高さによる換気回数緩和措置の設定

① 「天井高さによる換気回数緩和措置」を設定する場合は、「あり」を選択します。

② 天井高さによる緩和後の換気回数が表示され、必要有効換気量が再計算されます。

【例】右図では、工場の天井高が9mの為、
換気回数：0.3回/h → 0.1回/h
必要有効換気量：1350m3/h → 450m3/h
に緩和されます。

天井高さによる換気回数の緩和措置の詳細は、国土交通省告示をご確認の上、ご利用ください。

部屋名称	床面積 ㎡	天井高 m	常時機器	局所機器	機器種類(用途)	換気回数	気積 m3	必要有効換気量 m3/h
工場	500	9	☑	☐	居室(給気)	0.3	4500	1350
事務室	120	2.5	☑	☐	居室(給気)	0.3	300	90
会議室	16.5	2.5	☑	☐	居室(給気)	0.3	41.25	12.38
トイレ	1.65	2.5	☑	☐	トイレ(排気)	0.3	4.13	1.24
給湯室	3.2	2.5	☐	☑	レンジ(排気)	0.3	8	2.4

2

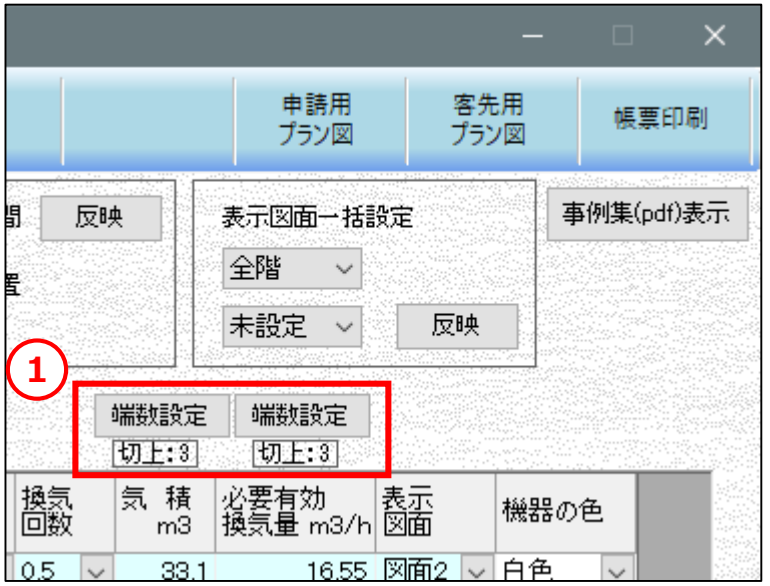
部屋名称	床面積 ㎡	天井高 m	常時機器	局所機器	機器種類(用途)	換気回数	天井高さによる緩和後の換気回数	気積 m3	必要有効換気量 m3/h
工場	500	9	☑	☐	居室(給気)	0.3	0.1	4500	450
事務室	120	2.5	☑	☐	居室(給気)	0.3	0.3	300	90
会議室	16.5	2.5	☑	☐	居室(給気)	0.3	0.3	41.25	12.38
トイレ	1.65	2.5	☑	☐	トイレ(排気)	0.3	0.3	4.13	1.24
給湯室	3.2	2.5	☐	☑	レンジ(排気)	0.3	0.3	8	2.4

（２）気積などの小数点以下の端数処理の設定

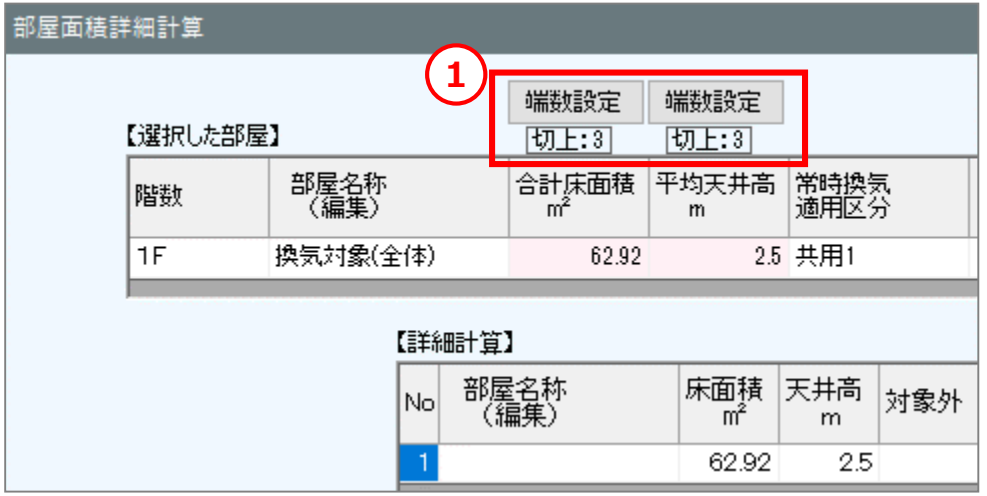
気積・必要有効換気量・合計床面積・平均天井高の各数値について、
小数点以下の端数処理方法を設定できます。

① 各所にある、 **端数設定** をクリックします。

端数処理の設定ウィンドウが表示されます。

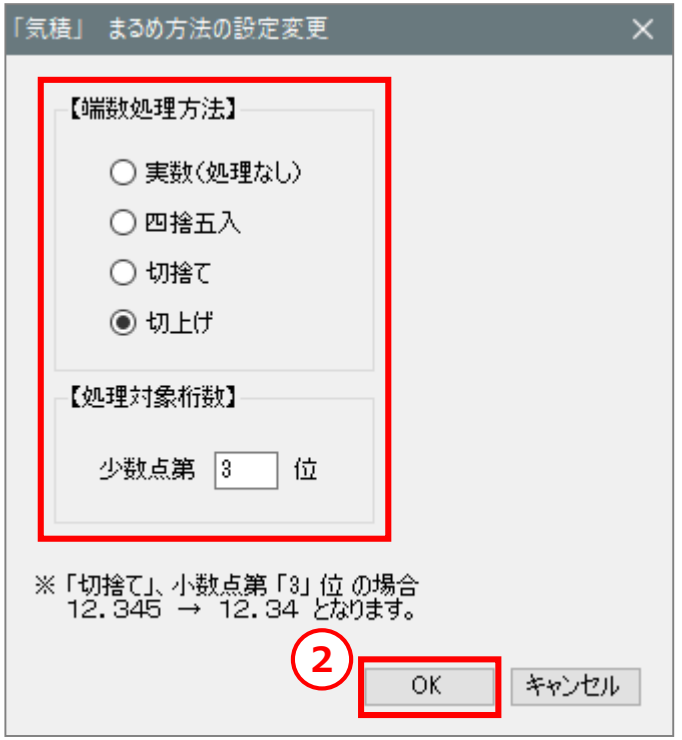


※［部屋設定］画面



※［部屋面積詳細計算］ボタンをクリックした時に表示されるウィンドウ

② 小数点以下の端数処理の方法を選択して、 OK をクリックします。



【初期設定】

「小数点第３位で切り上げ、小数点第２位まで表示」となっています。

【端数処理方法】

実数（処理なし）・・・端数処理をおこないません。
※処理対象桁数は考慮しません。
四捨五入　・・・処理対象桁数を四捨五入します。
切捨て　・・・処理対桁数を切り捨てます。
切上げ　・・・処理対象桁数を切り上げます。

【例】　実数123.456の場合
・小数点第２位で四捨五入 → 123.5
・小数点第3位で切捨て　→ 123.45
・小数点第１位で切上げ　→　124

※「実数（処理なし）」を選択した場合、桁数によっては画面におさまりきらない可能性があります。

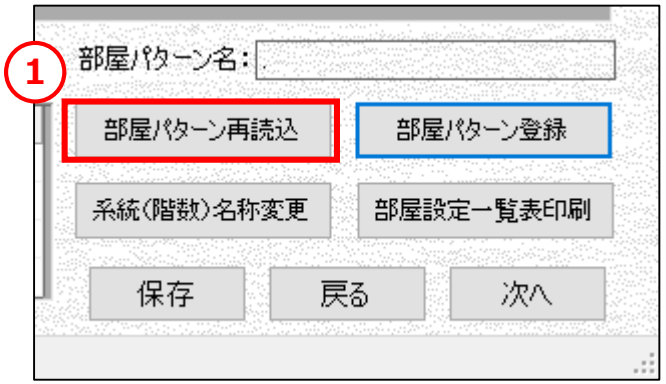
「部屋設定」で変更した端数処理は、変更した物件にのみ適用されます。

今後新規に作成する物件すべてに対して適用する場合は、

「補助機能」＞「各種ユーザー設定値変更」より変更してください。

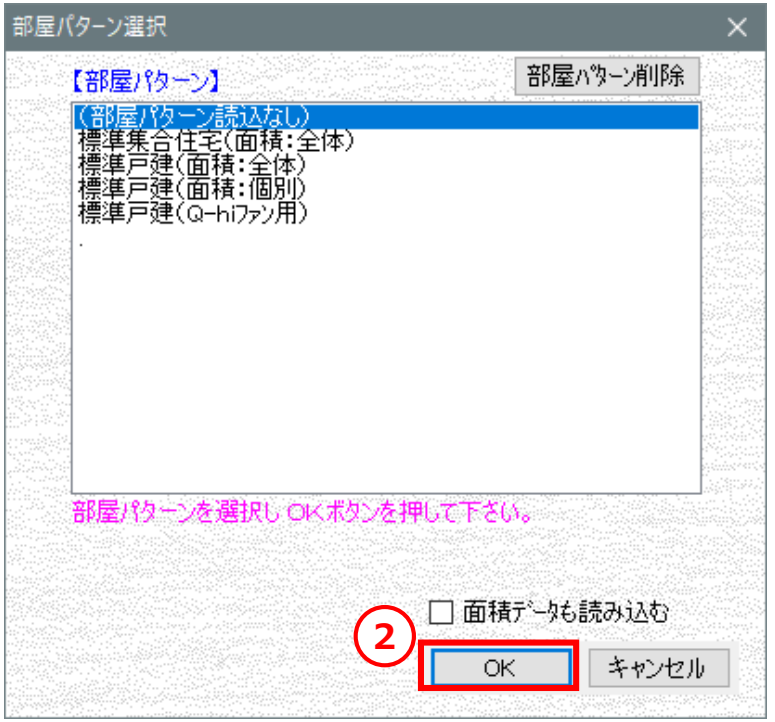
（３）部屋パターン再読込

現在の部屋設定内容を破棄して、部屋パターンを再度読み込みます。



① 画面右下の　**部屋パターン再読込**　をクリックします。

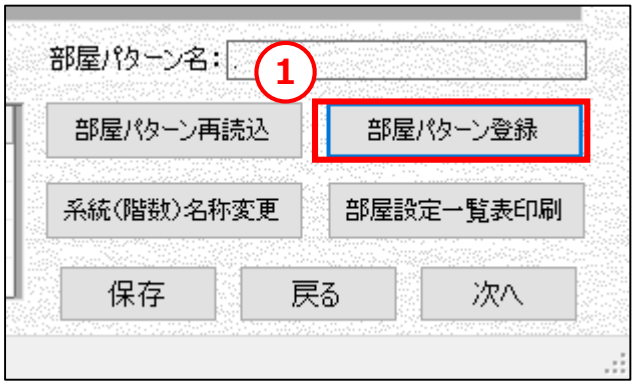
② 部屋パターンを選択して、　**OK**　をクリックします。



※「面積データも読み込む」にチェックを入れると、
**　部屋パターン登録時の面積も読み込まれます。**

（４）部屋パターン登録

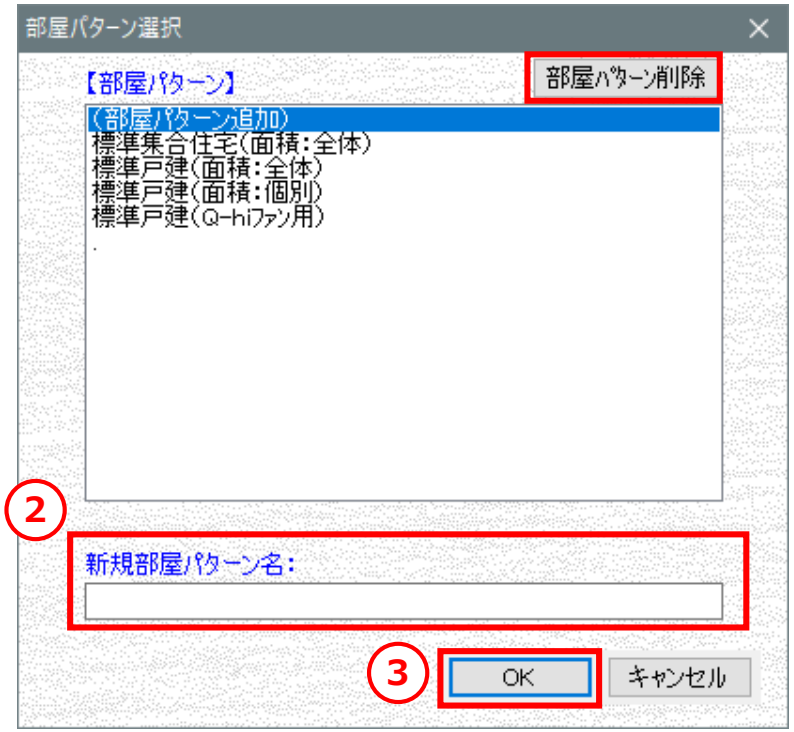
現在の部屋設定内容を、部屋パターンとして登録します。



① 画面右下の　**部屋パターン登録**　をクリックします。

② 「新規部屋パターン名」に登録名称を入力します。

既存の部屋パターンに上書きする場合は、リストから選択します。



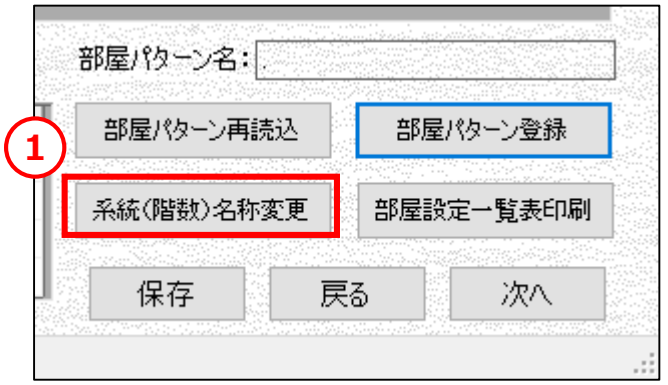
③ 入力もしくは選択したら、　**OK**　をクリックします。

【部屋パターンの削除】

登録済みの部屋パターンを削除する場合は、削除する部屋パターンをリストから選択して、　**部屋パターン削除**　をクリックします。

（５）系統（階数）名称変更

系統（階数）の表示内容を変更します。



① 画面右下の　**系統(階数)名称変更**　をクリックします。

② 「変更名称」欄に変更したい名称を入力します。
「変更後の設定」の表示が変わります。

※１～４枠目については、階数表現（Ｆ、階など）のみ変更できます。

③ 基準階数（1枠目の数字）を変更する場合は、右上の［スピンボタン］で増減させます。

④ 変更後、　**登録**　をクリックします。

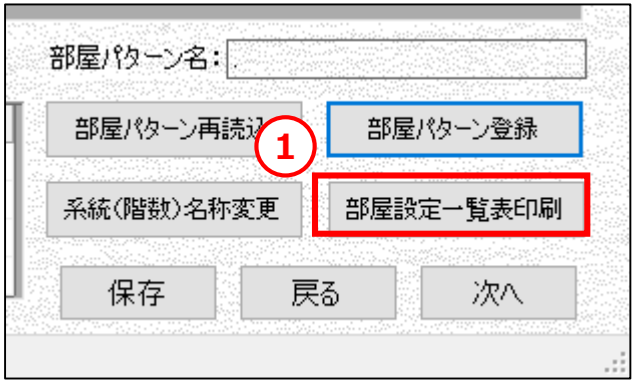
1～9の名称を重複して登録することはできません。

※ここで変更した名称は、プラン中の物件にのみ適用されます。
新規に作成する物件すべてに適用させる場合は、「換気プラン作成メニュー」画面の［補助機能］で変更します。

操作方法については、「**第２章 補助機能 ６－１．系統（階数）名称設定**」を参照ください。

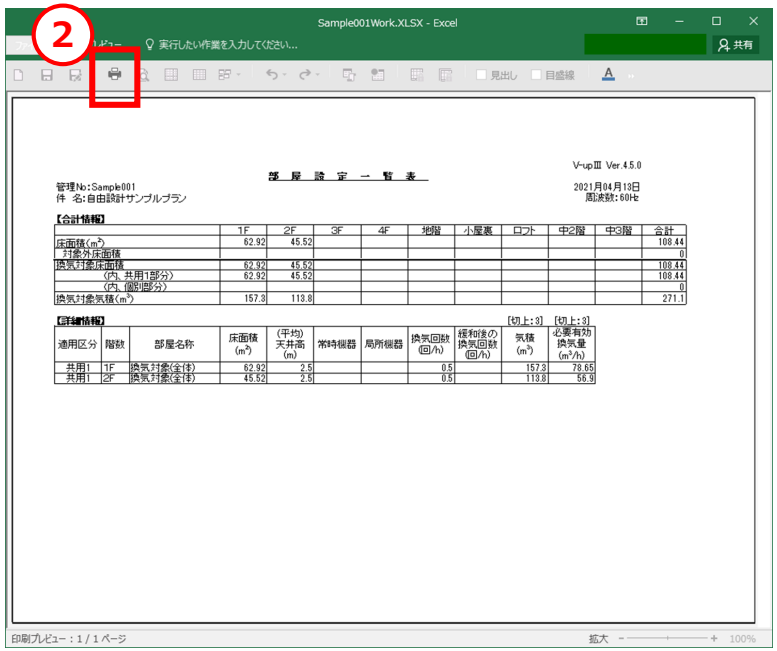
（６）部屋設定一覧表印刷

現在の部屋設定内容を、一覧表にして印刷します。



① 画面右下の　**部屋設定一覧表印刷**　をクリックします。

② 印刷プレビューが開くので、［印刷］アイコンをクリックして印刷します。



部屋設定一覧表は、「帳票印刷」画面でも印刷できます。

操作方法については、
「**第３章 プラン作成 １４．帳票印刷**」を参照ください。

（７）部屋データのコピー＆ペースト機能

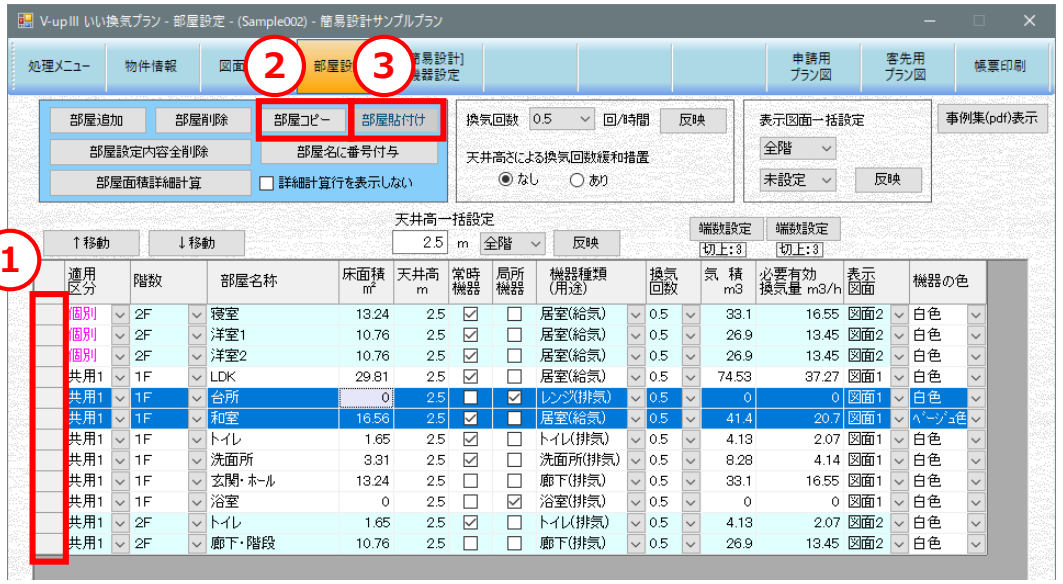
部屋データをコピー＆ペーストすることができます。

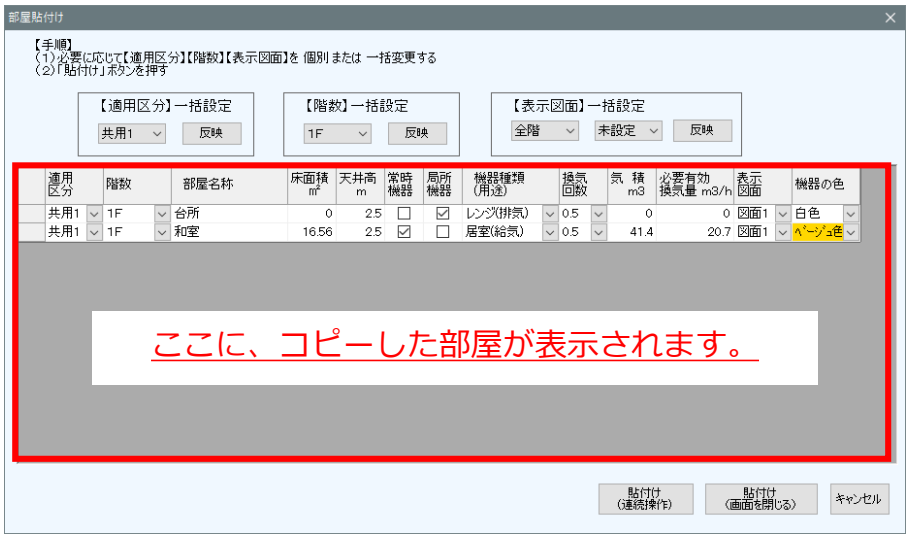
① 赤枠内をマウスでクリックしてコピーしたい部屋を選択します。

マウスをドラッグする事で複数の部屋を選択できます。
※選択した行は青色になります。

② コピーする部屋を選択した後、 **部屋コピー** をクリックします。

③ **部屋貼付け** をクリックします。
部屋貼付けウィンドウが表示されます。





④ ペーストする前にコピーした部屋の内容を変更します。

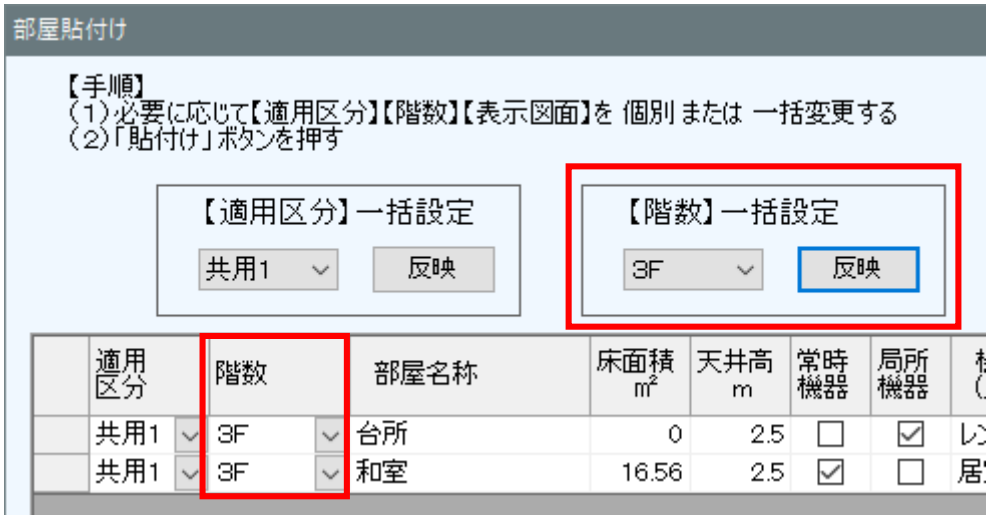
⑤ 適用区分、階数、表示図面は一括設定もできます。

変更する内容を選択して、 **反映** をクリックします。

【例】　階数の一括設定

「3F」を選択して［反映］ボタンをクリックします。

全ての部屋の階数が「3F」に変更されます。



⑥ コピーした部屋の内容を変更したら、各ボタンをクリックして
ペーストします。

貼付け
（連続操作）

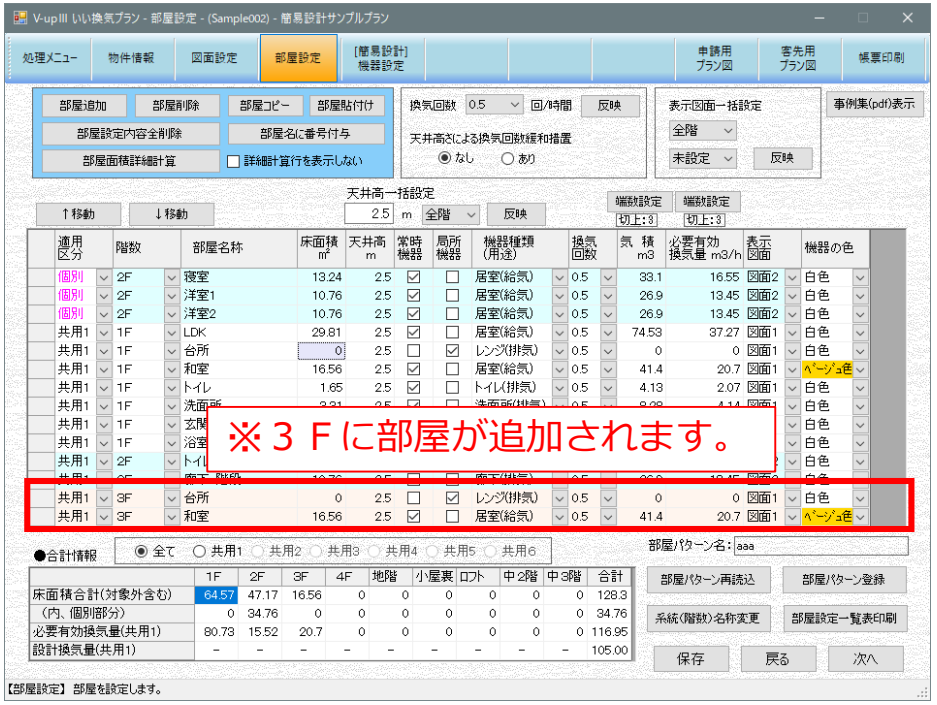
ボタンをクリックするごとにペーストを実行します。
（ウィンドウは閉じません）

貼付け
（画面を閉じる）

ペーストを実行した後、ウィンドウを閉じます。
（１回のみペーストを実行します）

キャンセル

ペースト操作をキャンセルします。（ウィンドウが閉じます）



（８）部屋名称の末尾に連番付与する機能

部屋が複数ある場合に部屋名称の末尾に連番を付与することができます。

【例】適用区分「個別」４部屋の「応接室」の末尾に１～４の番号を付与します。

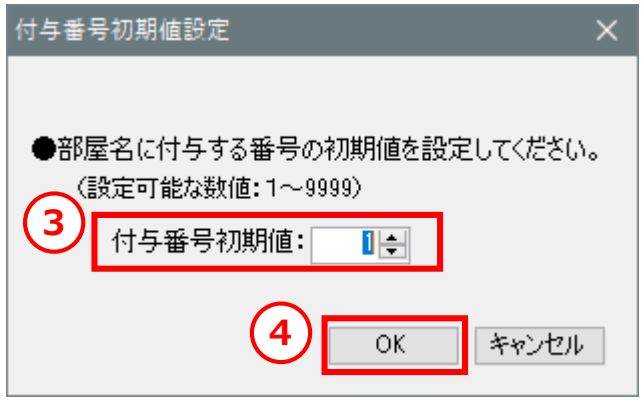
① 赤枠内をマウスでクリックして連番を付与したい部屋を選択します。

マウスをドラッグする事で複数の部屋を選択できます。
※選択した行は青色になります。

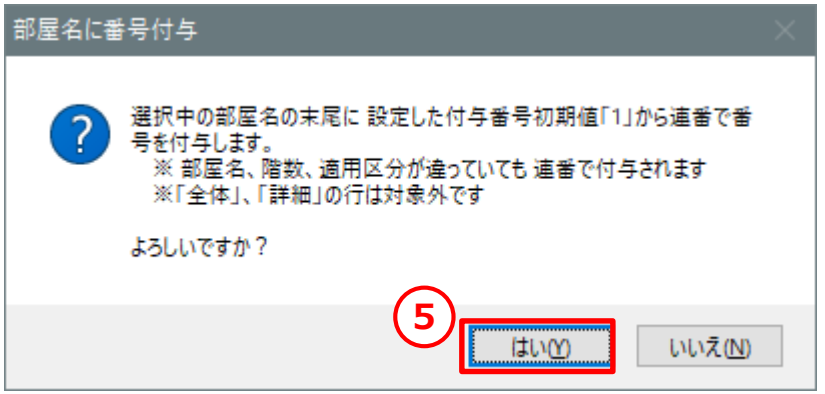
② 部屋を選択した後、 **部屋名に番号付与** をクリックします。

③ 「付与番号初期値設定」ウィンドウが表示されるので、付与する最初の数値を設定します。

④ 設定した後、 **OK** をクリックします。



⑤ 確認メッセージが表示されるので、 **はい** をクリックします。



⑥ 部屋名称の末尾に連番が付与されているのを確認します。

※選択された部屋名称が違う場合でも番号が付与されます。

※上から連番を付与するので、先に部屋の並び順を変更してください。

つづいて、簡易設計は、「**第３章 プラン作成 ７．［簡易設計］機器設定**」　へ進みます。

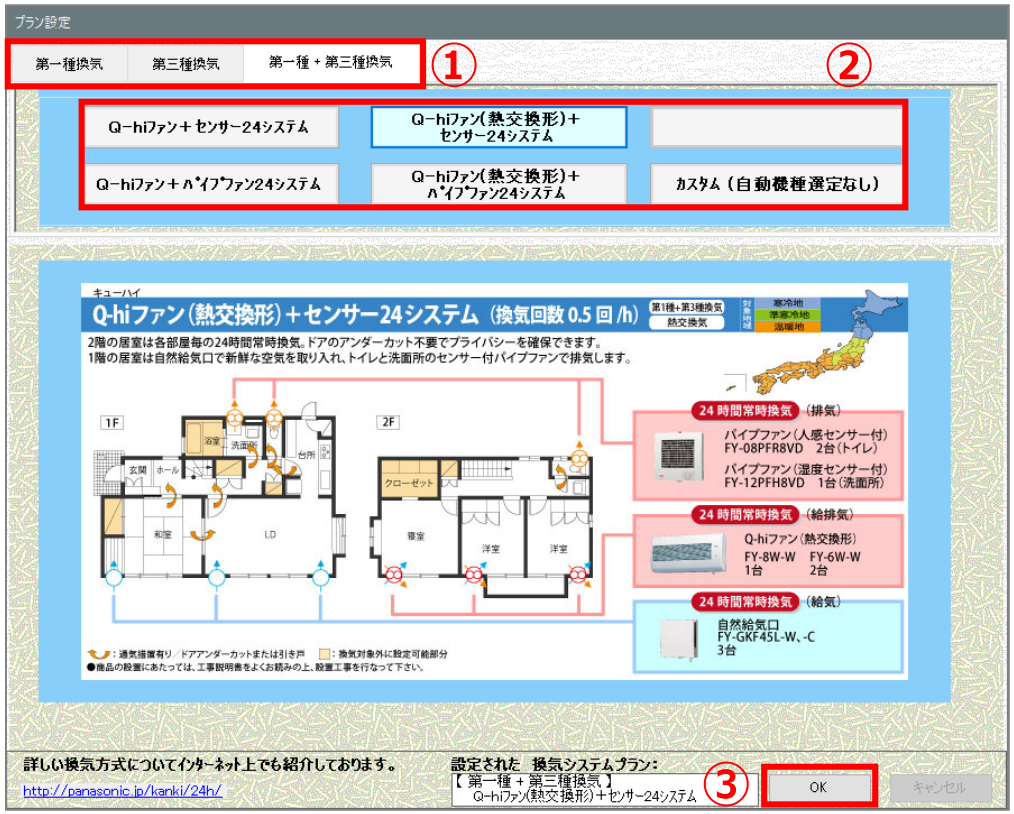
自由設計は、「**第３章 プラン作成 ８．［自由設計］プランニング**」へ進みます。

７．［簡易設計］機器設定

換気機器の設定をします。

７－１．換気システムの選択

1. 上部のタブで換気種別を選択します。
2. 換気システムのボタンをクリックします。
3. OK をクリックします。



4. 屋外フード・スイッチなどの選定条件を設定します。

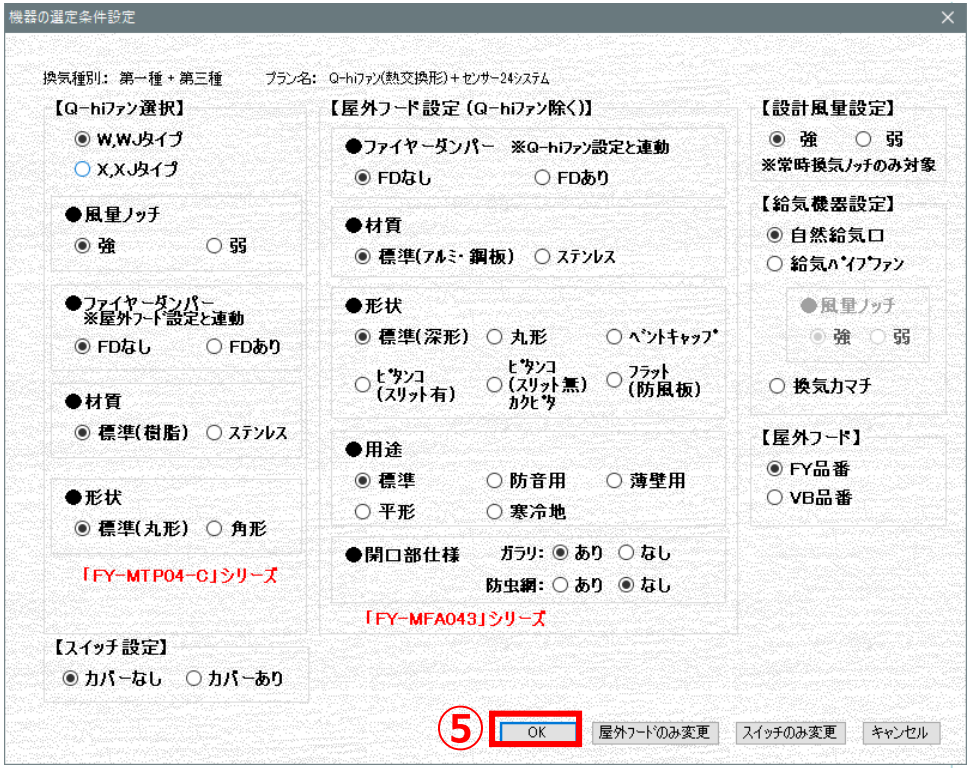
※選択した換気システムによって、表示される内容は異なります。

【Q-hiファンのタイプ選択】

A2タイプ　　壁掛・薄形　熱交換なし
Vタイプ　　壁掛形　熱交換なし
W,WJタイプ　壁掛・熱交換形
　Wは温暖地仕様、WJは寒冷地仕様
X,XJタイプ　　壁掛・熱交換形　0.7回/h換気用
　Xは温暖地仕様、 XJは寒冷地仕様

5. OK をクリックします。

選定条件は、自動選定用の設定です。
自動選定後に手動で品番を変更することもできます。



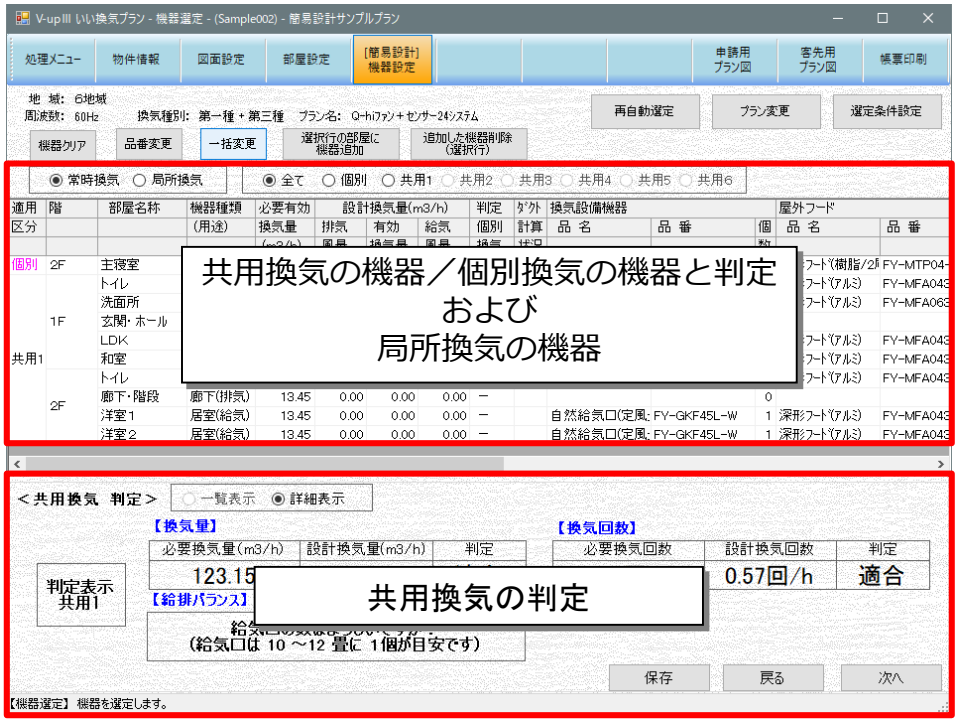
７－２．自動選定結果の確認

機種が自動選定されます。

次へ進む前に選定結果を確認の上、必要に応じて機器を追加・変更します。

なお、換気システムについて「カスタム（自動機種選定なし）」を選択すると、機種欄は空白です。手動で機器を追加します。

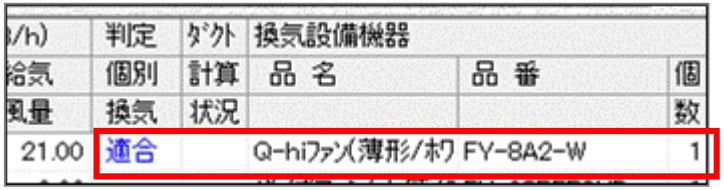
機器の追加・変更については、「７－３．機器の追加・変更」をご参照ください。



（１）個別換気の機器と判定

「部屋設定」において「適用区分」を「個別」とし
Q-hiファンを含む換気システムを選択した場合に限り
機種が自動選定されます。

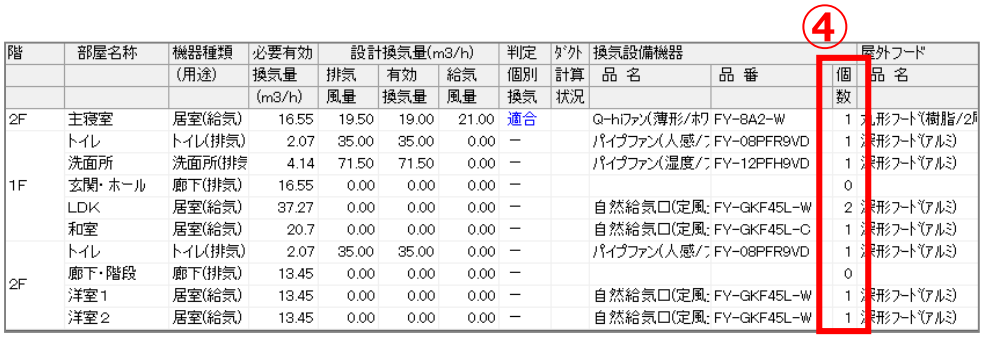
1. 機器を確認します。
2. 「設計換気量」の右側に個別判定があります。
   「適合」と表示されていることを確認します。



（２）共用換気の機器と判定

1. 機器を確認します。

※排気機器について、「部屋設定」において「常時機器」にチェックを入れたにもかかわらず、機器が自動選定されないことがあります。これは、他の機器によって必要換気回数を満たしているためです。



2. 設計換気量が必要換気量より多く、判定が「適合」となっていることを確認します。

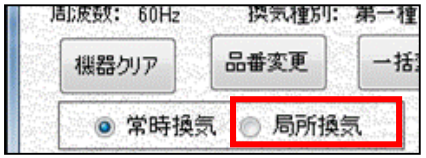
3. 設計換気回数が必要換気回数より大きく、判定が「適合」となっていることを確認します。

4. 自然給気口を選定している場合は、排気機器に対して給気口の個数が十分であるかを確認します。

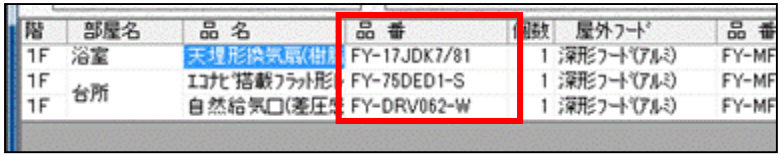
※共用エリアが複数の場合は、全ての共用エリアが判定「適合」となっていることを確認します。

（３）局所換気の機器

1. 局所換気に表示を切り替えます。



2. 局所機器の品番を確認します。
必要に応じて機器を追加・変更します。



７－３．機器の追加・変更

1. 追加／変更する機器の品名欄をダブルクリックします。
（または品名を選択して **品番変更** をクリック）

【一部屋に２機種以上設置する】

機器を設定するための、行の追加が必要です。部屋を選択して **選択行の部屋に機器追加** をクリックします。

追加した行は **追加した機器削除（選択行）** をクリックすると削除できます。

2. 「機器種類：」を選択します。

※必要に応じて「本体色指定：」も選択します。

3. **本体品番変更** をクリックします。

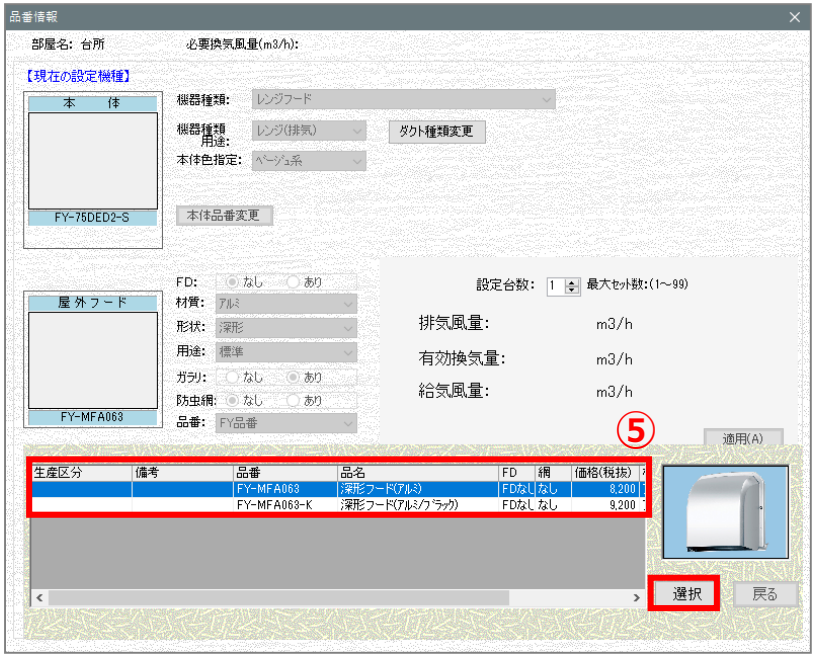
【一部屋に同じ機種を２台以上設置する】

「設定台数：」を変更して **適用** をクリックします。

4. 本体品番を選択して **選択** をクリックします。

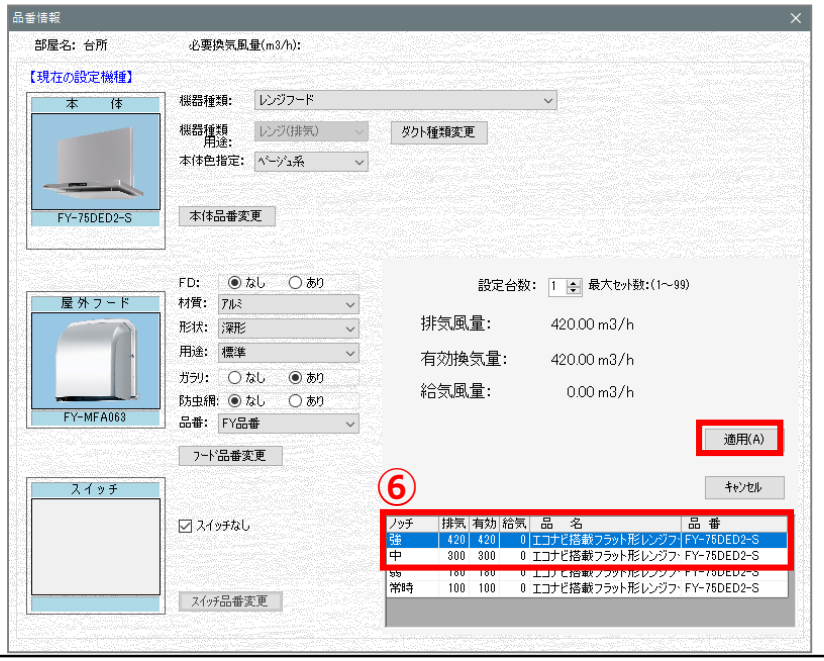
5. 屋外フード品番を選択して **選択** をクリックします。

※機器の変更の場合、屋外フード選定の画面は表示されないことがあります。



6. 風量ノッチを選択して **適用** をクリックします。

機器設定画面に戻ります。



7－4．機器の削除

1. 削除する機器の品名欄を選択します。

2. 機器ｸﾘｱ をクリックします。

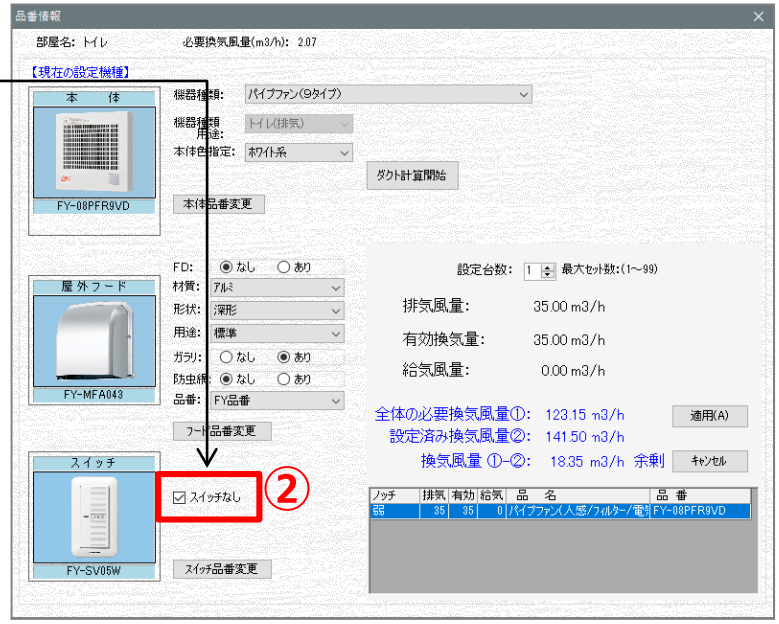
機器を削除すると、関連する屋外フードとスイッチも削除されます。

屋外フードのみの削除はできません。

【スイッチのみ削除】

① スイッチを削除する機器の品名欄をダブルクリック
（または品名を選択して **品番変更** をクリック）
すると品番情報のウィンドウが表れます。

② ☑ スイッチなし にチェックを入れます。
機器設定画面のスイッチの個数が「0」になります。
元に戻すときは ☑ スイッチなし のチェックを
外します。

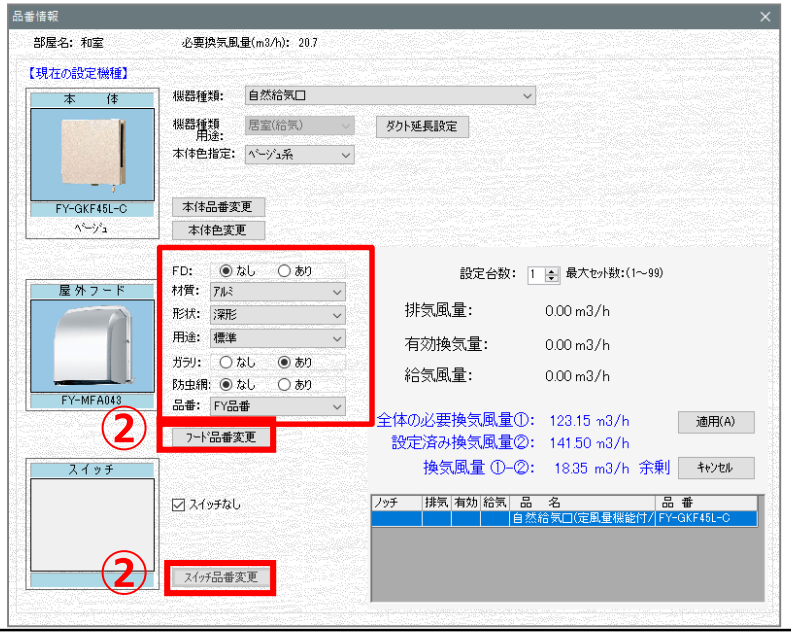


		スイッチ		
品番	個数	品名	品番	個数
FY-MFA043	2			
FY-MFA043	1			
FY-MFA043	1			
FY-MFA043	1	スイッチ(入切)	FY-SV05W	0
FY-MFA043	1	スイッチ(入切)	FY-SV05W	1

7－5．屋外フード／スイッチの品番変更

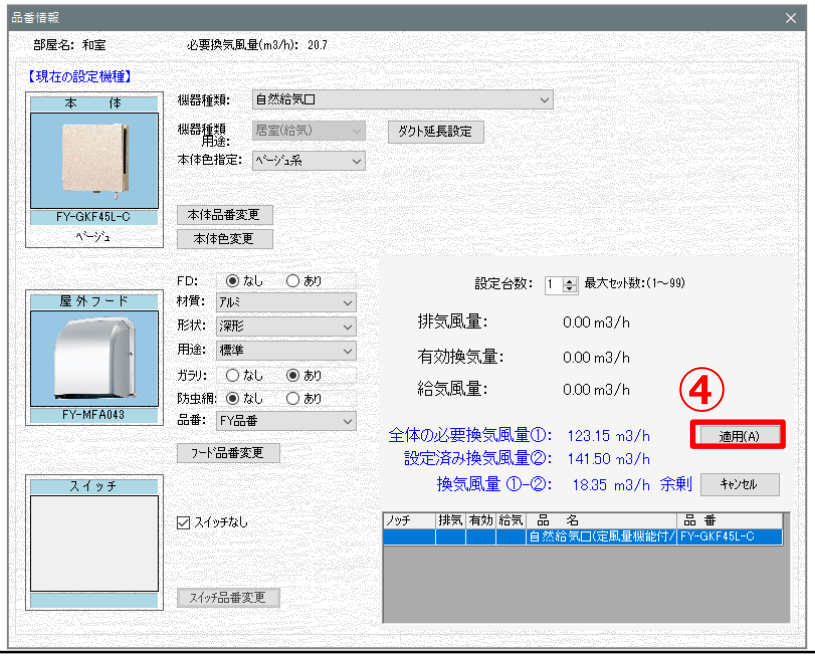
1. 屋外フード／スイッチを変更する機器の品名欄を
ダブルクリックします。
（または品名を選択して **品番変更** をクリック）

2. 屋外フードは条件を設定して **ﾌｰﾄﾞ品番変更** を
クリックします。
スイッチの場合は **ｽｲｯﾁ品番変更** をクリックします。



3. 品番を選択して **選択** をクリックします。

4. **適用** をクリックします。



7－6．ダクト計算をおこなう

ダクト計算は、全般換気機器のみの機能です。
なお、ダクト計算できる機種について、ダクト計算未実施の場合、20m（一部30m）相当長での風量が表示されます。

1. ダクト計算をおこなう機器の品名欄をダブルクリックします。

（または品名を選択して **品番変更** をクリック）

2. **ﾀﾞｸﾄ計算開始** をクリックします。

3. ダクト種類を選択します。

4. ダクトの長さを入力します。

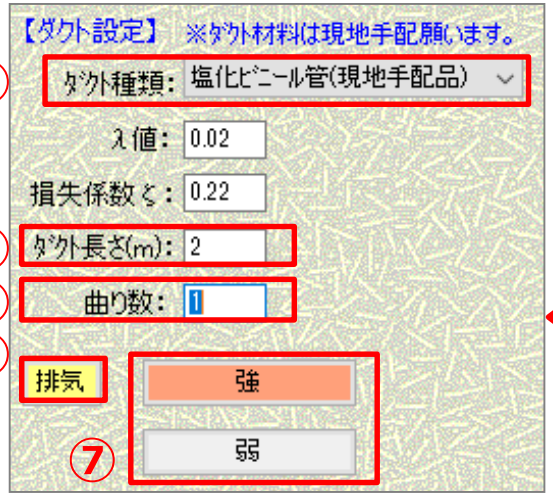
5. ダクトの曲り数を入力します。

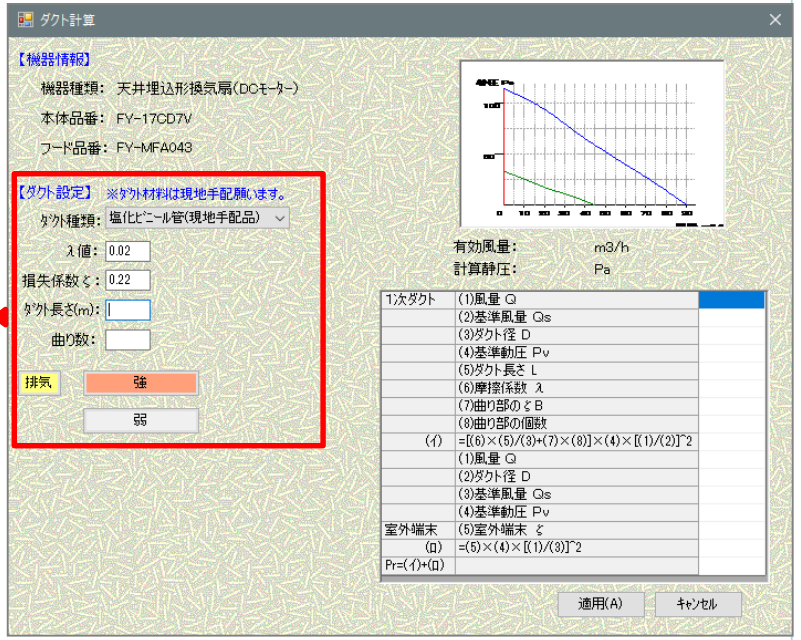
6. 風向を選択します。

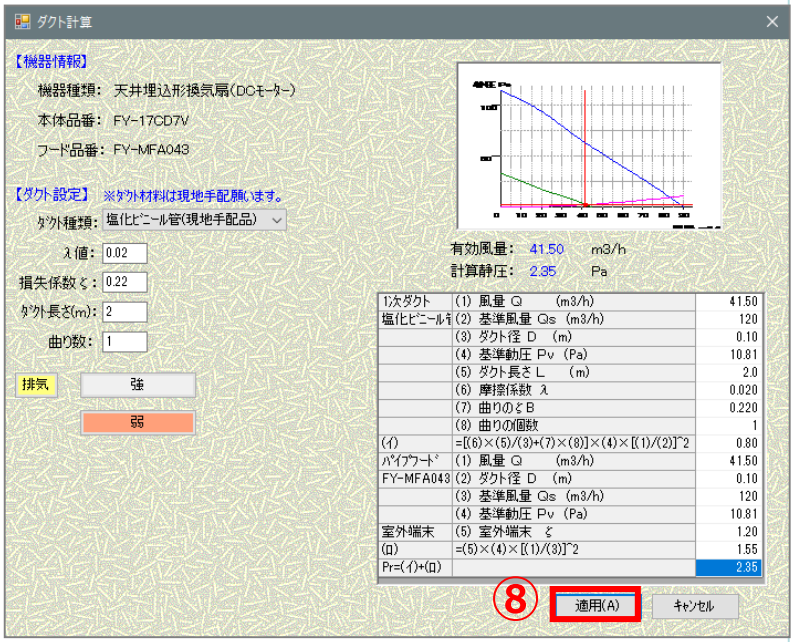
※風向を選択できる機種のみ。

7. 風量ノッチボタンをクリックします。

※局所換気用のノッチは選択不可。







8. **適用** をクリックします。

<u>※ダクト計算の画面は機種によって異なります。</u>
<u>２～３室換気機器については次ページをご参照ください。</u>

２～３室換気機器のダクト計算

1. 【ダクト計算開始】をクリックします。
※画面が変わるのに数秒かかる場合があります。

2. 室内端末（子機）を１個だけ使用する場合は「室内端末（２）未使用」にチェックを入れます。
※３室固定の機器の場合、このチェックボックスは表示されません。

3. 室内端末を設置する部屋名を入力します。

4. 室内端末の品番を選択します。
※吸込みグリル（子機）が本体付属の場合は、本体付属の品番が選定された状態で表示されるため 基本的に変更する必要はありません。
（品番を変更すると、子機が別途見積に追加されます。）

5. 室内端末～本体のダクト種類を選択します。

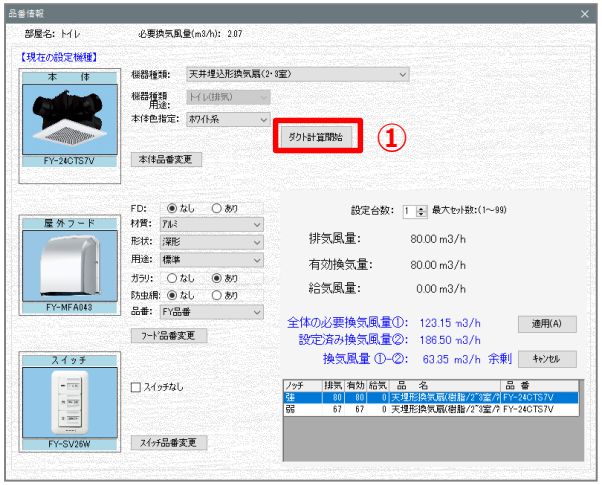
6. 室内端末～本体のダクトの長さと曲り数を入力します。

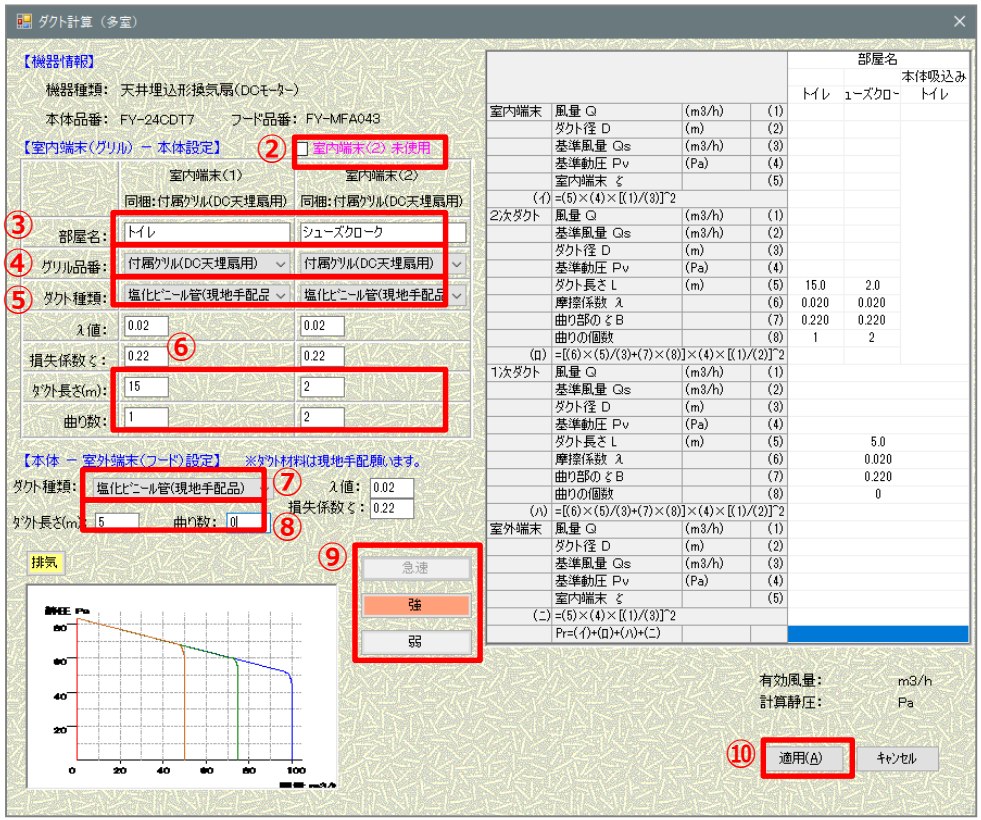
7. 本体～室外端末のダクト種類を選択します。

8. 本体～室外端末のダクトの長さと曲り数を入力します。

9. 風量ボタンをクリックします。

10. 有効風量を確認して 適用 をクリックします。





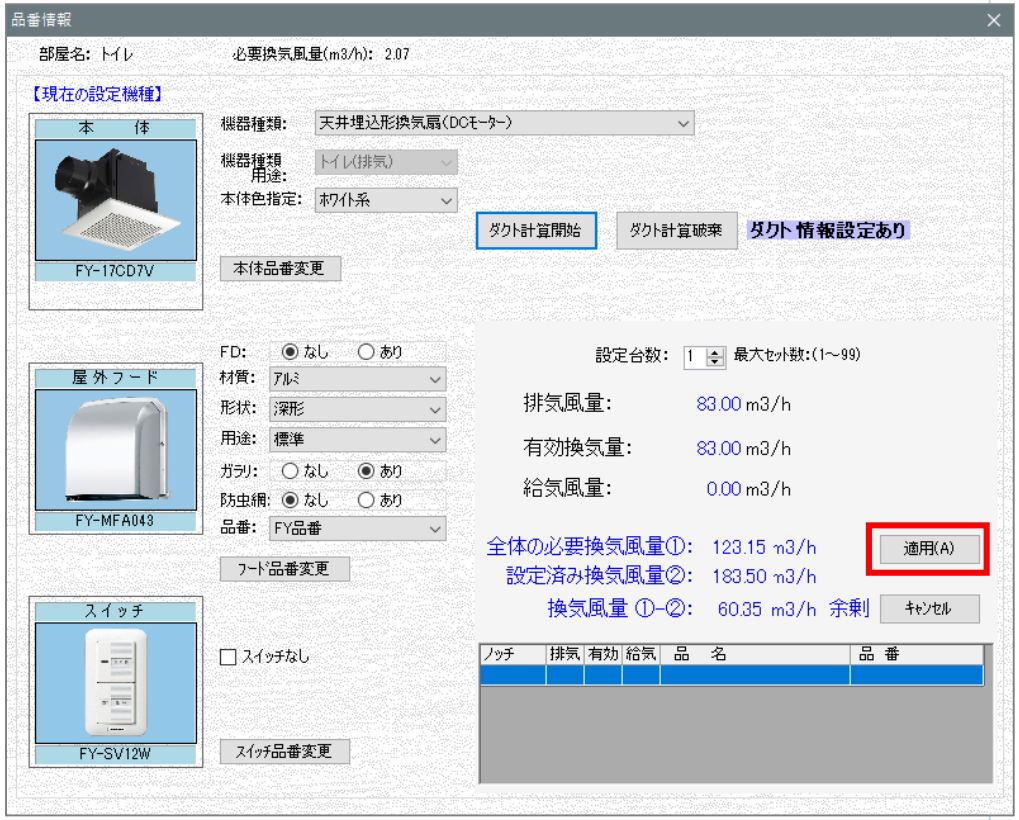
9. 適用 をクリックします。

【ダクト計算をとりやめる場合】

ﾀﾞｸﾄ計算破棄 をクリックします。

ダクト計算をおこなった機種は「ダクト計算状況」に「○」がつきます。

ﾀﾞｸﾄ計算状況	換気設備機器 品名	品番
	自然給気口(定風:	FY-GKF45L-W
	自然給気口(定風:	FY-GKF45L-W
	自然給気口(定風:	FY-GKF45L-C
○	天埋形換気扇(樹	FY-17CD7V
	ﾊﾟｲﾌﾟﾌｧﾝ(ﾀｰﾎﾞﾌｧ	FY-08PF8D



10. ζ値手入力（屋外フード、グリル）機能

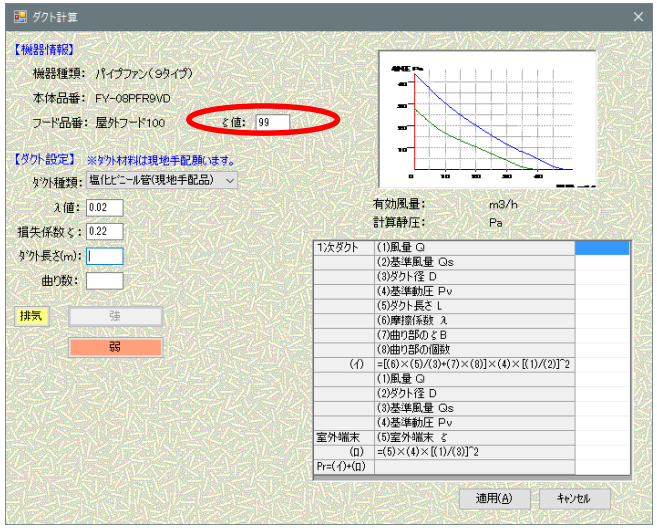
① 品番情報ウィンドウで屋外フードを下記の設定で変更すると、ダミー品番が出てきます。

ＦＤ　：　なし
材質　：　その他
形状　：　その他
用途　：　標準
ガラリ　：　なし
防虫網：　なし
品番　：　任意（なにを選択しても出てきます。）

ダミー品番
　屋外フード100、 屋外フード150、 屋外フード200

② ダミー品番を選択した状態で **ﾀﾞｸﾄ計算開始** ボタンを押すと屋外フードのζ値を手入力する事ができるようになります。

※右図は１室用（次ページに2・3室用あり）



※右図は2・3室用

（1室と同様にダミー品番を選択した状態で

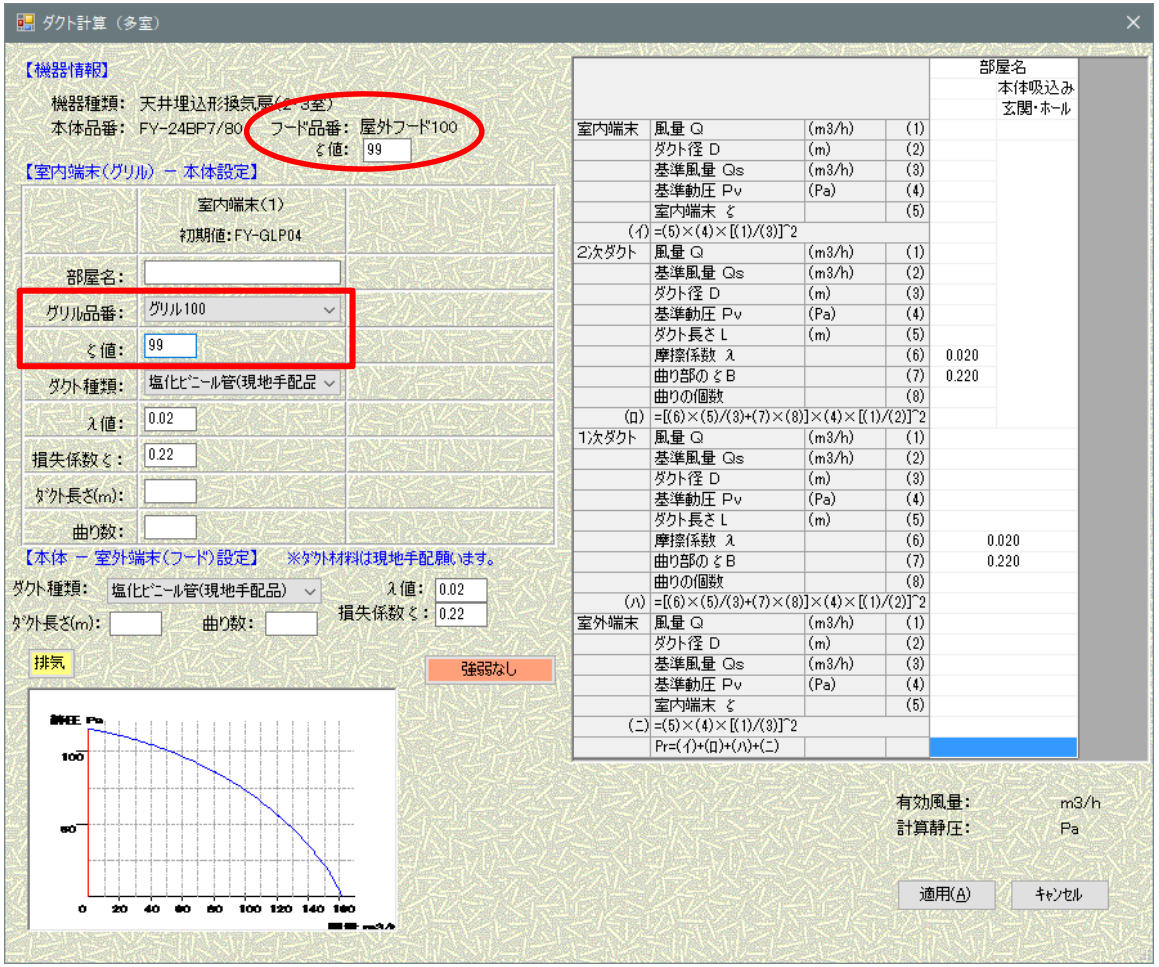
ﾀﾞｸﾄ計算開始 ボタンを押すと屋外フードの

ζ値を手入力する事ができるようになります。）

【グリルのζ値を手入力したい場合】

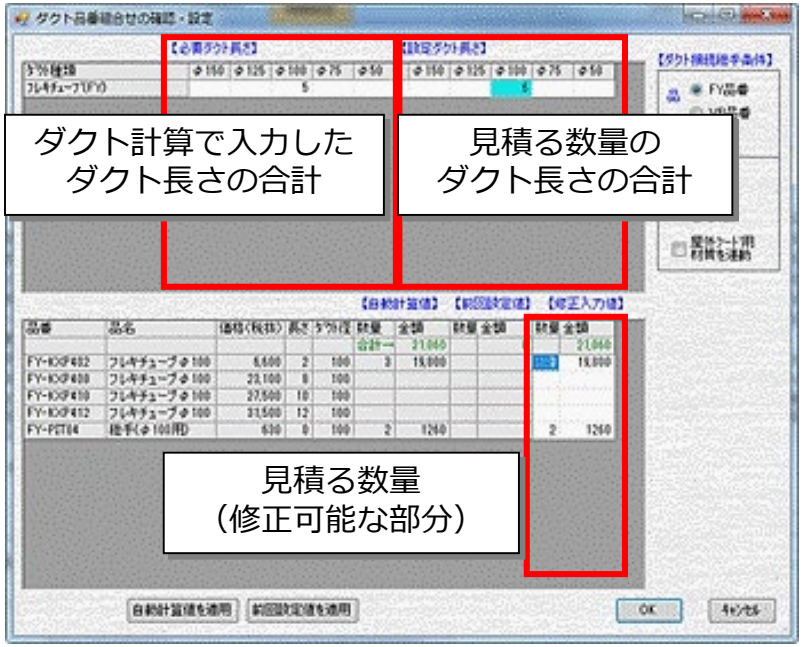
グリル品番の項目で、ダミー品番

「グリル１００」を選択します。



7－7．ダクト品番組合せの確認・設定

1. ダクト計算において、ダクト種類をFYもしくはVBとした場合、 次の画面へ進む際に見積もるダクトの数量を確認するウィンドウが表示されます。



2. 見積もるダクト長さを確認し、必要に応じて【修正入力値】の数量を修正します。

※画面の詳細は次ページをご参照ください。

【表の見方】

①必要ダクト長さ　ダクト計算において入力した必要なダクト長さの合計です。

②設定ダクト長さ　見積るダクト長さの合計です。

※必要長さを満たしている場合＝水色
※必要長さを満たしていない場合＝桃色

③ダクト接続継手条件（除く：屋外フード部）　ダクト継手の選定条件です。
- FY品番　◉パナソニック HVAC & CC（株）製
- VB品番　◉パナソニック エコシステムズ ベンテック（株）製
- 自動　◉不燃・消音ダクト→鋼板、その他ダクト→樹脂を見積もります。
- 樹脂　◉樹脂製継手を見積もります。
- 鋼板　◉ 鋼板製継手を見積もります。
- 屋外フード用材質を連動　☑設定した材質を屋外フード用の継手にも適用。
  チェックが無い状態＝樹脂製

※FY／VBを指定しても、該当品番がない場合は指定と異なる品番を見積もります。
※FY・VBともに該当品番がない場合は、見積りません。
※現地手配のダクトには継手を見積もりません。

④ダクト製品情報　ダクトの品番、価格情報です。

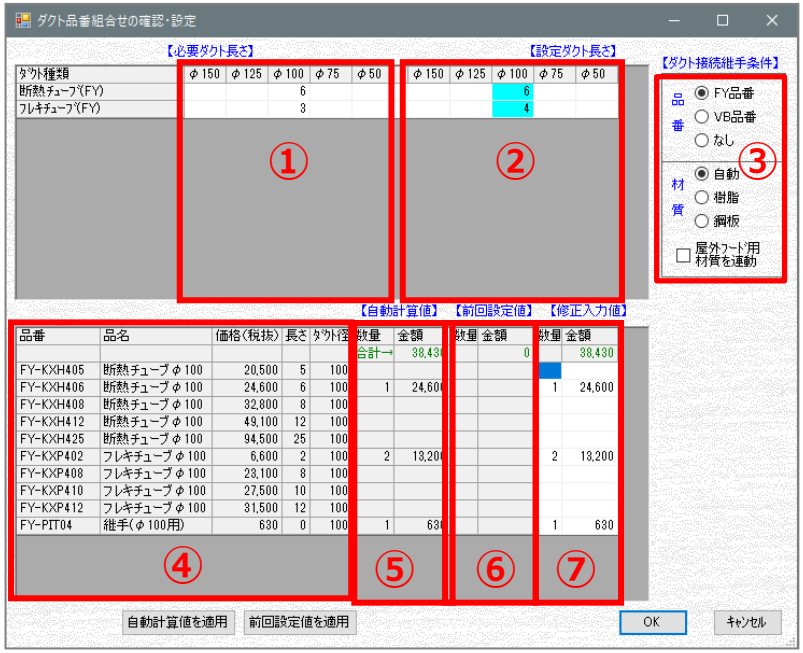
⑤自動計算値　必要ダクト長さから選定したダクトの数量です。

⑥前回設定値　前回設定した値が表示されます。
（既にプラン作成済みの場合に表示。）

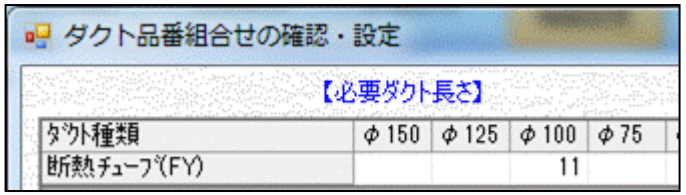
⑦修正入力値　見積るダクトの数量です。
修正する場合は、この数値を書き換えます。

［自動計算値を適用］「自動計算値」を「修正入力値」に転記します。

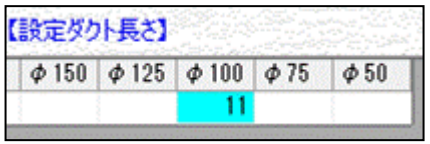
［前回設定値を適用］「前回設定値」を「修正入力値」に転記します。



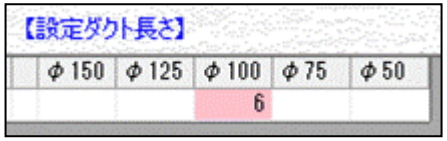
（例）必要ダクト長さが11mの場合



・必要長さを満たしている場合（水色）



・必要長さを満たしていない場合（桃色）



7－8．その他の設定

（1）天埋形Q-hiファンの部材選定

1. 天埋形Q-hiファンの品名欄をダブルクリックします。
（または品名を選択して **品番変更** をクリック）

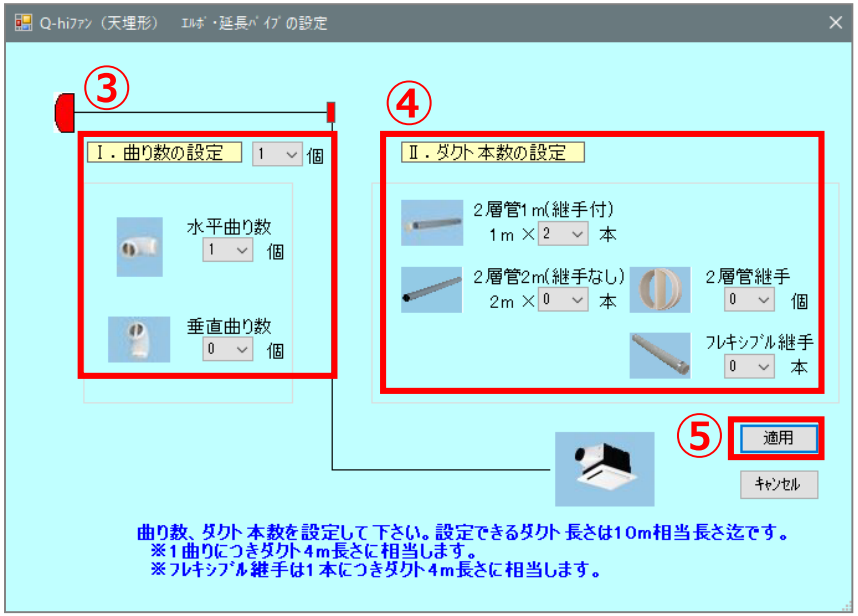
2. **部材選定（ｴﾙﾎﾞ、延長ﾊﾟｲﾌﾟ）** をクリックします。

3. 曲り数を設定します。

4. ダクト本数を設定します。

※曲り数とダクト本数の合計が10m相当長を超えない仕様に なっています。

5. **適用** をクリックします。



6. **適用** をクリックします。

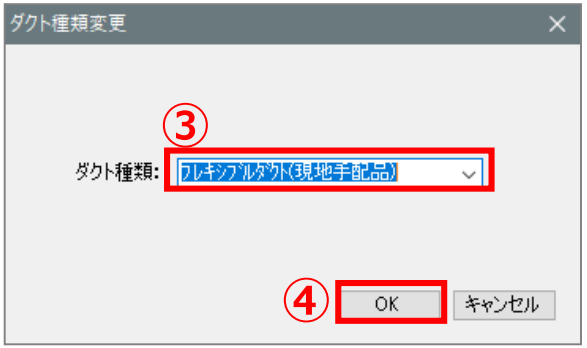
（２）自然給気口（天井形）のダクト種類

1. 天埋形自然給気口の品名欄をダブルクリックします。
（または品名を選択して **品番変更** をクリック）

2. **ﾀﾞｸﾄ種類変更** をクリックします。

3. ダクト種類を選択します。

4. OK をクリックします。



5. 適用 をクリックします。

（３）自然給気口（壁付）のダクト延長設定

1. 自然給気口の品名欄をダブルクリックします。

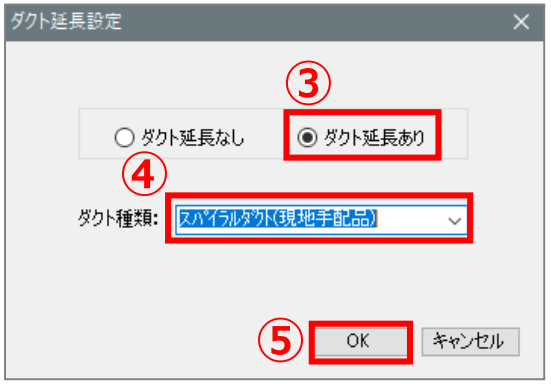
（または品名を選択して 品番変更 をクリック）

2. **ﾀﾞｸﾄ延長設定** をクリックします。

3. ◉ ダクト延長ありを選択します。

4. ダクト種類: を選択します。

5. **OK** をクリックします。



6. **適用** をクリックします。

※ダクト延長設定をおこなうと、機器設定画面において
ダクト計算状況に「○」が付きます。

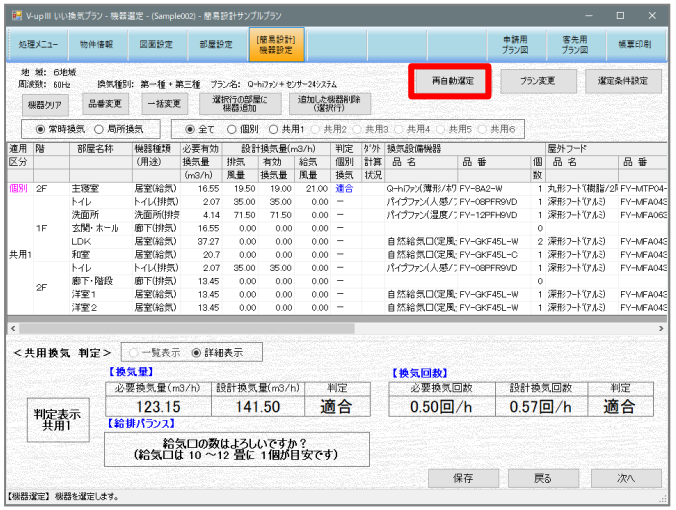
判定	ﾀﾞｸﾄ	換気設備機器		
個別	計算	品 名	品 番	個
換気	状況			数
ー	○	自然給気口(ﾍﾟｰｼ	FY-GKF42G-C	1

７－９．その他の機能

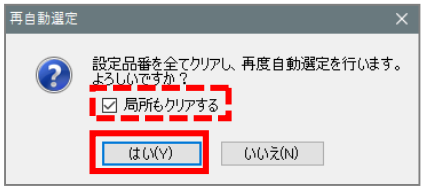
（１）再自動選定

選択中の換気システムで再度自動選定をします。

再自動選定をおこなうと、追加・変更した機器はすべてリセットされます。



1. 再自動選定 をクリックします。



2. はい をクリックします。

※局所も再自動選定する場合は ☑ 局所もクリアするに
　チェックを入れます。

（２）プラン変更

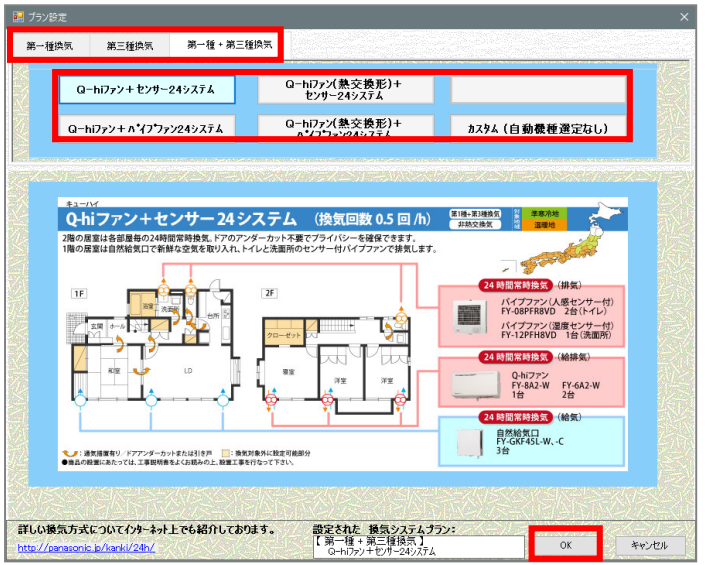
換気システムを変更して再度自動選定をします。

プラン変更をおこなうと、追加・変更した機器がすべてリセットされます。

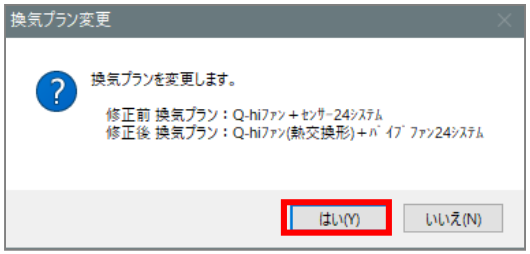
1. プラン変更 をクリックします。

2. 換気システムを選択します。

3. OK をクリックします。

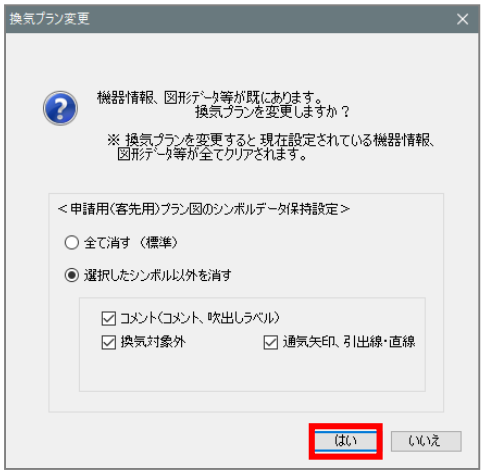


4. 変更後のシステムを確認して、合っていれば はい をクリックします。



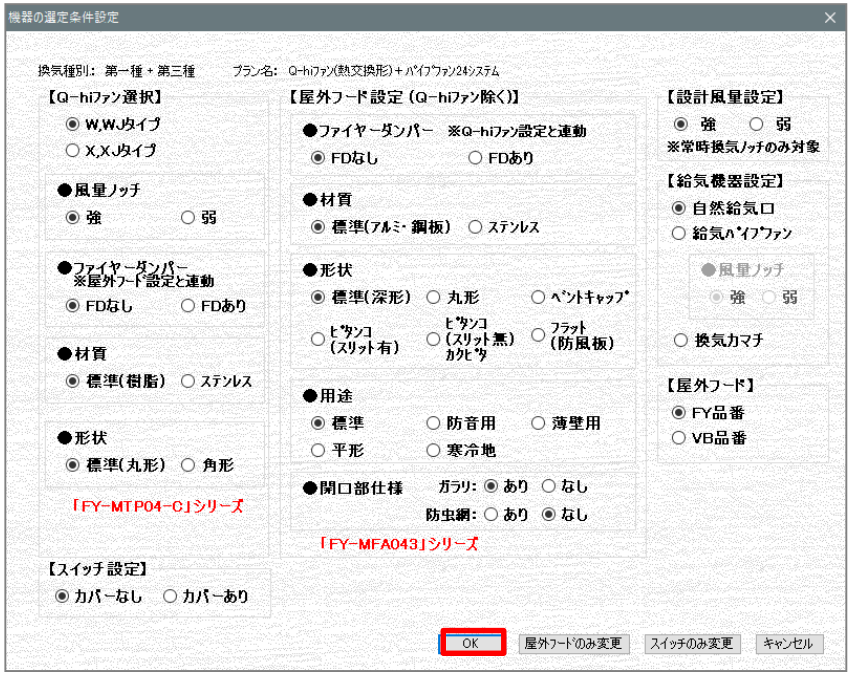
申請用プラン図を作成済みの場合、シンボルデータを保持するかどうかの確認ウィンドウが表示されます。

保持設定を選択して はい をクリックしてください。



5. 屋外フード・スイッチなどの選定条件を設定します。

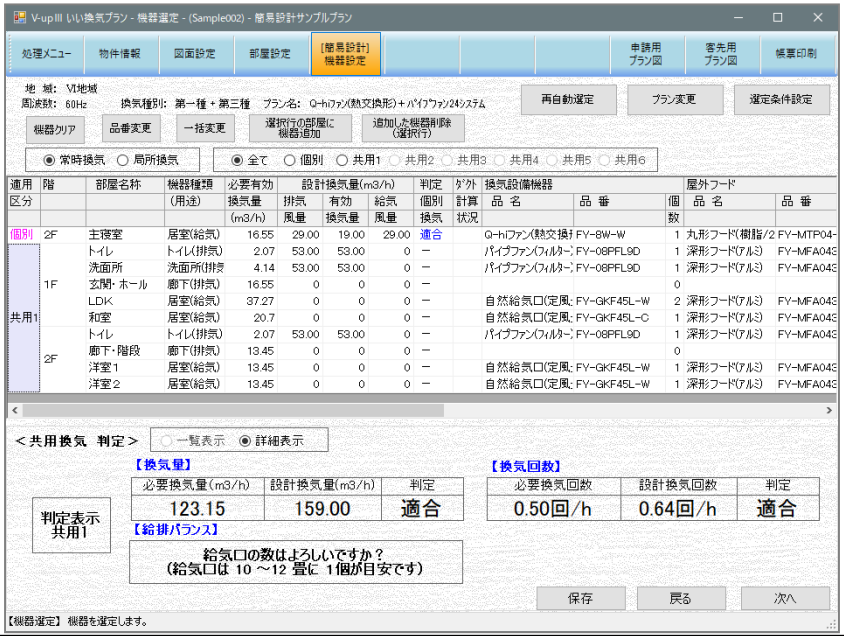
※選択した換気システムによって、表示される内容は異なります。



6. OK をクリックします。

7. 自動選定がおこなわれます。

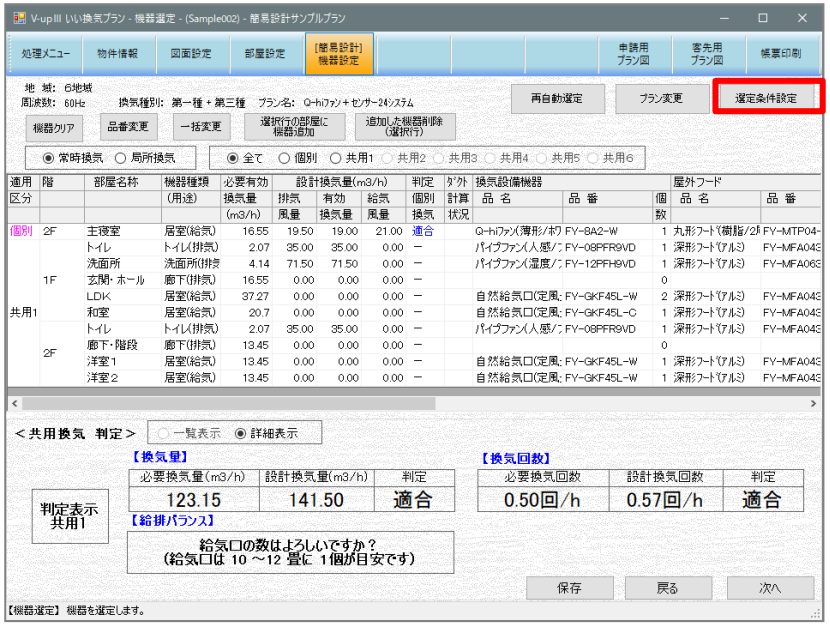
※手動で設定した部分はリセットされるため、再度設定します。



（３）選定条件設定

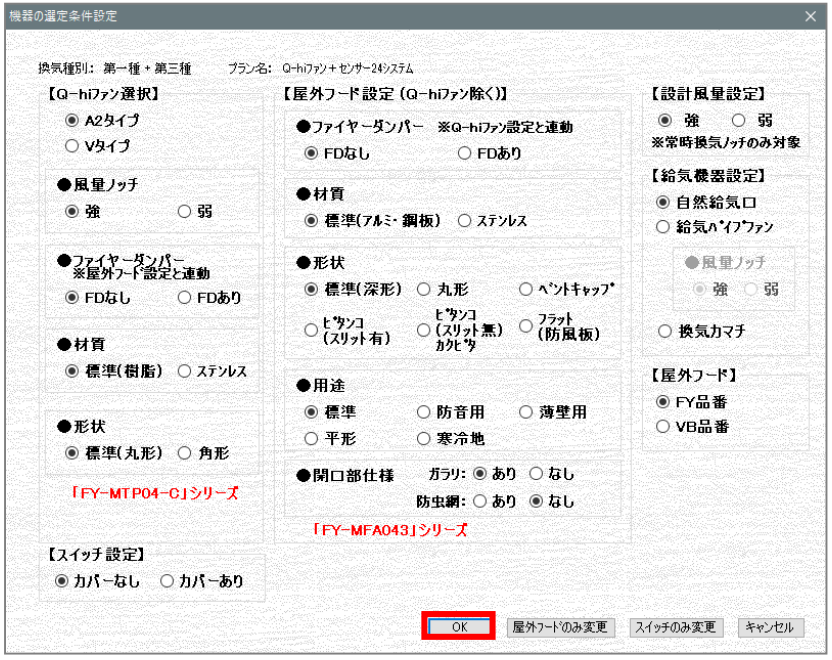
屋外フード・スイッチなどの選定条件を変更し
再度自動選定します。

1. 選定条件設定 をクリックします。



2. 屋外フード・スイッチなどの選定条件を設定します。

3. OK をクリックします。

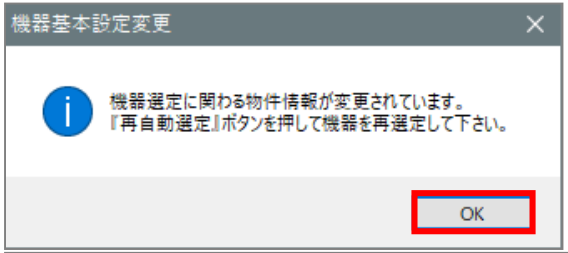


屋外ﾌｰﾄﾞのみ変更　屋外フードの設定のみ変更されます。

ｽｲｯﾁのみ変更　スイッチの設定のみ変更されます。

4. 再自動選定をおこなうよう、メッセージが表示されます。

OK をクリックしてください。



5. **再自動選定** をクリックします。

選定条件の変更内容に応じて、屋外フード・スイッチが再選定されます。

行を追加して入力した機器の部材は、変更されません。

（４）一括変更

同一品番の本体機器を一括で品番変更します。

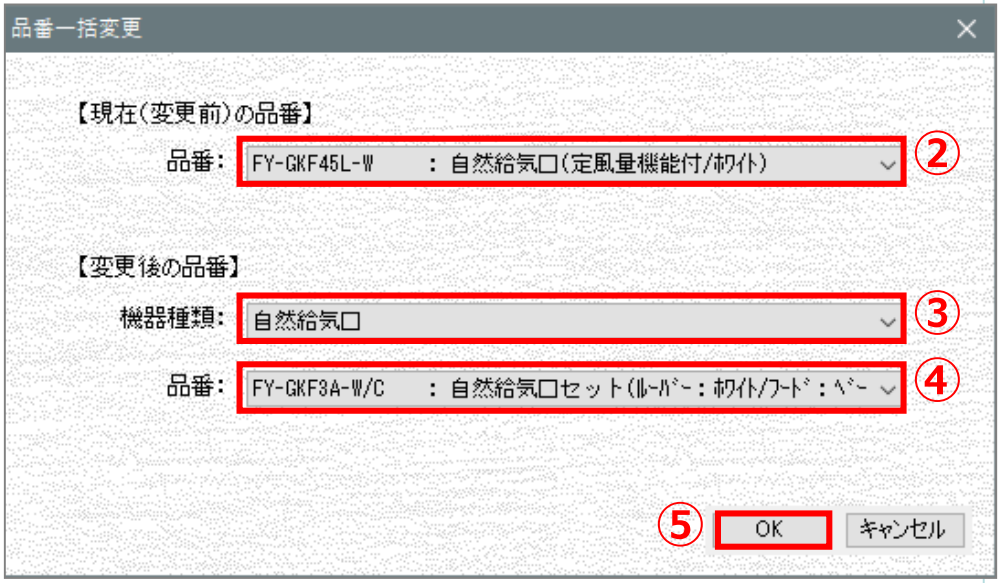
1. **一括変更** をクリックします。

2. 変更する品番を選択します。

3. 変更後の機器種類を選択します。

4. 変更後の品番を選択します。

5. OK をクリックします。



6. 変更内容を確認して OK をクリックします。

（５）機器風量切替（第一種換気限定）

第一種換気システムを選択した場合に限り、共用換気の

判定を給気風量でおこなうように切り替えることができます。

・機器風量切替の給気側・排気側を選択して判定に使用する
　風量を切り替えます。

※機器風量切替は、プラン設定時に第一種換気を選択した場合のみ
　表示されます。

適用区分	階	部屋名称	機器種類（用途）	必要有効換気量 (m3/h)	設計換気量(m3/h) 排気風量	有効換気量	給気風量
		トイレ	トイレ(排気)	2.07	35.00	35.00	0
		洗面所	洗面所(排気	4.14	71.50	71.50	0
	1F	玄関・ホール	廊下(排気)	16.55	0	0	0
		LDK	居室(給気)	37.27	0	0	64.00
共用1		和室	居室(給気)	20.7	0	0	32.00
		トイレ	トイレ(排気)	2.07	35.00	35.00	0
	2F	廊下・階段	廊下(排気)	13.45	0	0	0
		洋室１	居室(給気)	13.45	0	0	32.00
		洋室２	居室(給気)	13.45	0	0	32.00
個別	2F	主寝室	居室(給気)	16.55	19.50	19.00	21.00

排気側から給気側へ

→

適用区分	階	部屋名称	機器種類（用途）	必要有効換気量 (m3/h)	設計換気量(m3/h) 排気風量	有効換気量	給気風量
		トイレ	トイレ(排気)	2.07	35.00	0	0
		洗面所	洗面所(排気	4.14	71.50	0	0
	1F	玄関・ホール	廊下(排気)	16.55	0	0	0
		LDK	居室(給気)	37.27	0	64.00	64.00
共用1		和室	居室(給気)	20.7	0	32.00	32.00
		トイレ	トイレ(排気)	2.07	35.00	0	0
	2F	廊下・階段	廊下(排気)	13.45	0	0	0
		洋室１	居室(給気)	13.45	0	32.00	32.00
		洋室２	居室(給気)	13.45	0	32.00	32.00
個別	2F	主寝室	居室(給気)	16.55	19.50	19.00	21.00

【換気量】

必要換気量(m3/h)	設計換気量(m3/h)	判定
123.15	141.50	適合

【給排バランス】

排気風量(m3/h)	給気風量(m3/h)
141.50	160.00

排気側から給気側へ

→

【換気量】

必要換気量(m3/h)	設計換気量(m3/h)	判定
123.15	160.00	適合

【給排バランス】

排気風量(m3/h)	給気風量(m3/h)
141.50	160.00

（６）判定内容の表示切り替え

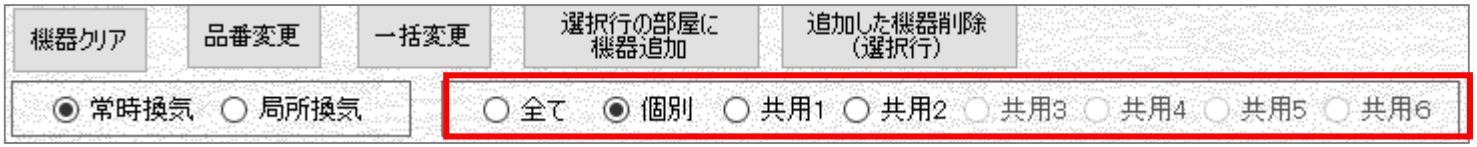
設定した機器や共用換気判定の表示を切り替えることが出来ます。

1.「常時換気機器」と「局所換気機器」の表示を切り替えます。

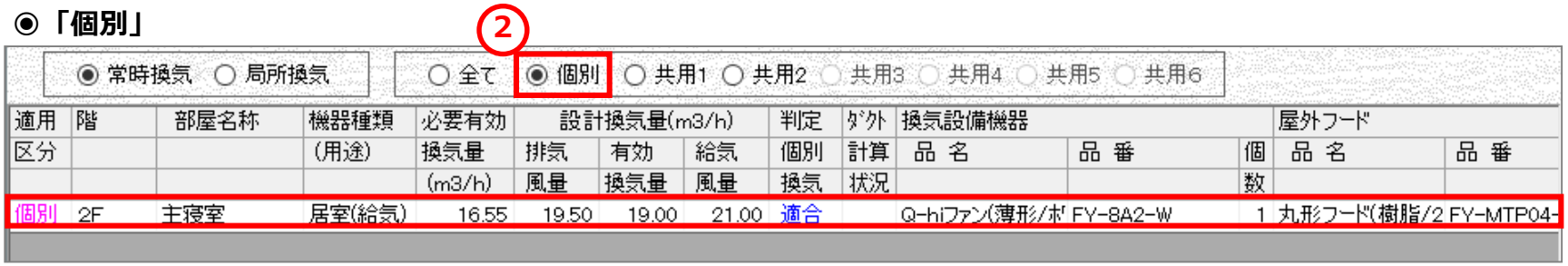
◉常時換気

◉局所換気

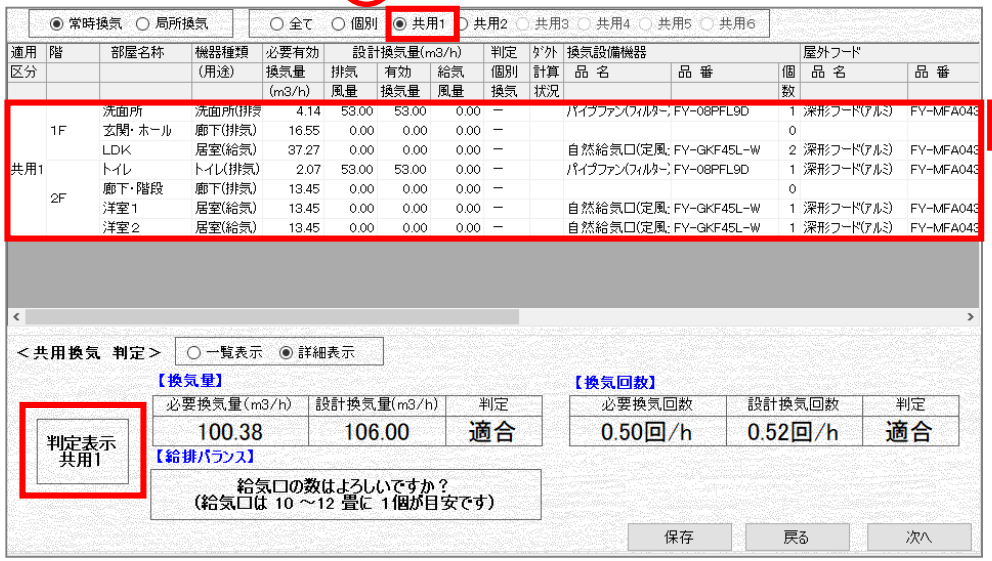
2. 表示されている機器一覧の絞込み、及び「共用換気の判定」表示が切り替わります。



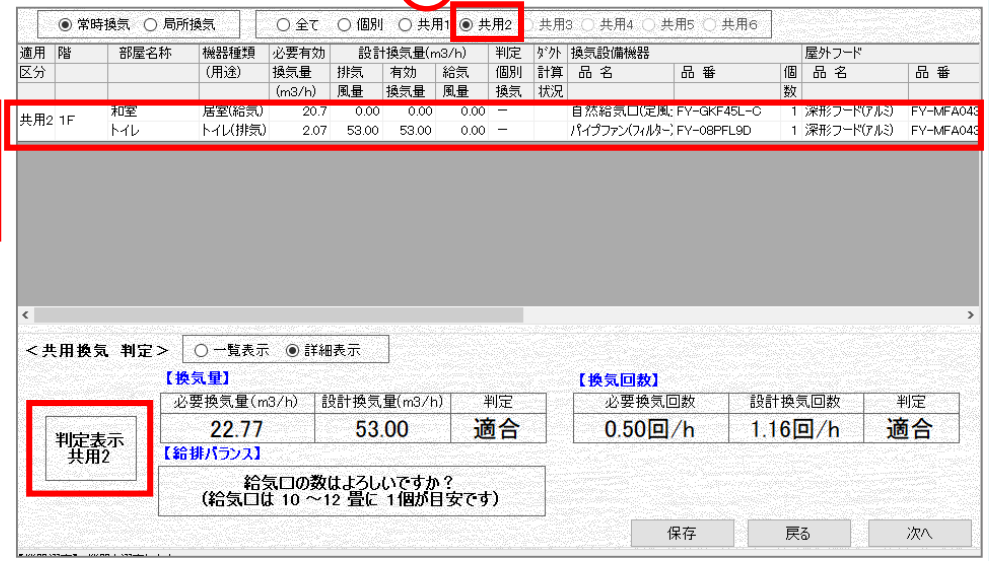
◉「個別」



◉「共用１」



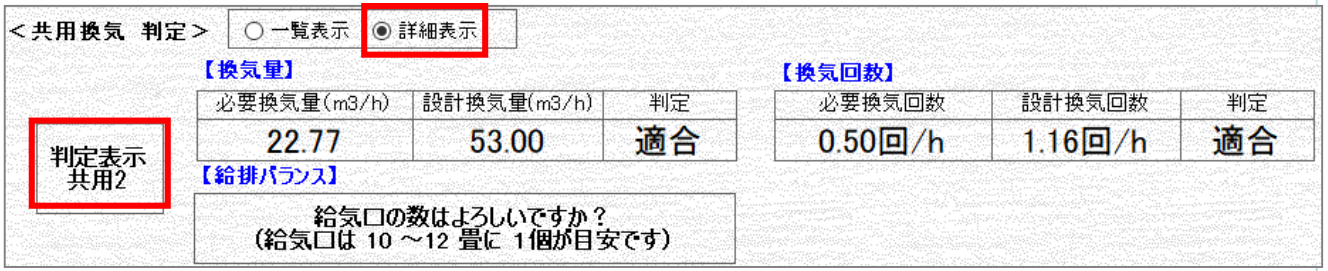
◉「共用２」



3.「共用換気の判定」の表示が「一覧表示」と「詳細表示」で切り替わります。

◉「一覧表示」

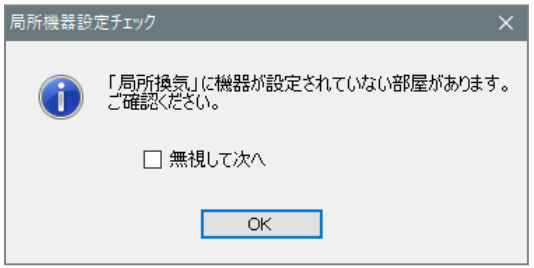
◉「詳細表示」



4.　その他の機能

・機器設定画面でウィンドウ最大化が可能になりました。

・「局所換気」に機器が設定されていない場合メッセージがでます。



※局所機器が必要ない場合は、部屋設定画面の局所機器のチェックを外します。

つづいて、「１１．申請用プラン図」へ進みます。 図面設定していない場合は「１３．帳票印刷」へ進みます。

８．［自由設計］　プランニング

プランニング図面を作成します。

本項目は「自由設計」の機能です。
プランニングの際は、こまめに保存をおこなうことをおすすめします。

８－１．図面の表示サイズを調整する

・アイコンをクリックして図面の表示サイズを調整します。

実際の大きさで表示する

全体を表示する

図面を拡大／縮小する

アイコンクリック後、図面上でクリックします。

左クリック＝拡大
右クリック＝縮小

※マウスのホイールでの操作も可能です。

奥方向＝拡大
手前方向＝縮小

【図面の切り替え】

上部の図面１、図面２等のタブをクリックします。

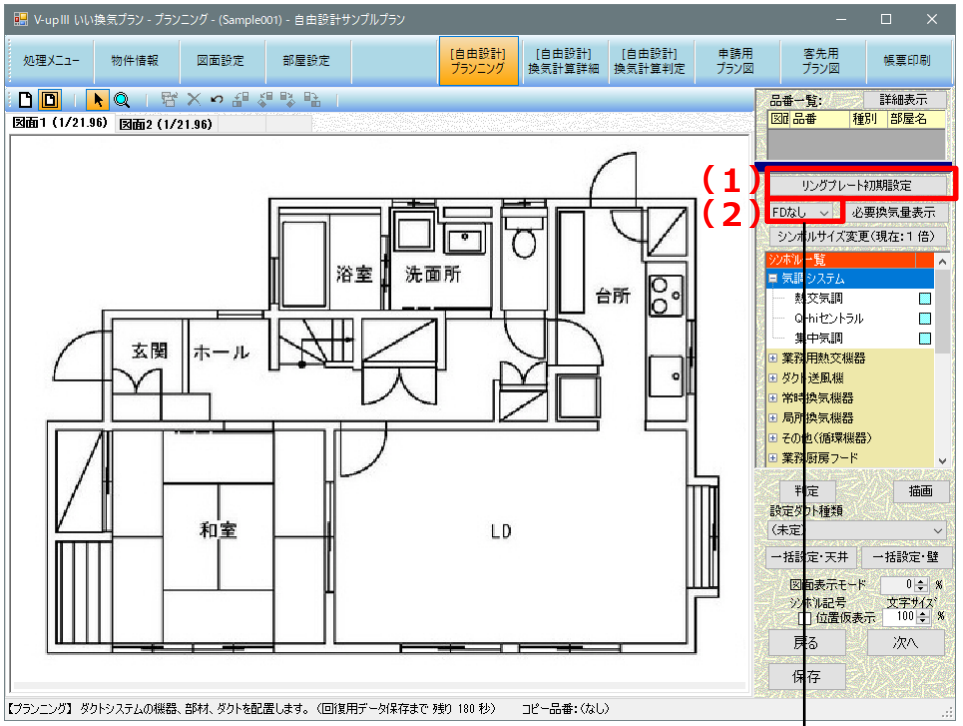
８－２．プラン図を作成する前に

（１）リングプレートあり／なし　の設定

プラン図に配置したグリルに応じて、リングプレートを見積もるかどうかを設定します。

・ リﾝｸﾞﾌﾟﾚｰﾄ初期設定 ボタンを押して
系統（階数）毎にあり／なしの設定をします。

※リングプレートの有無を個別に設定することもできます。
（「８－１３．その他の機能　（１）一括設定・天井」を
ご参照ください。）

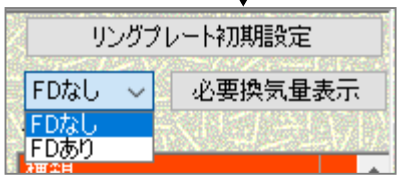


リングプレートとは
グリルの取り付けで気密シートを破る場合に使用します。
気密シートを押さえます。

（２）ＦＤあり／なし　の設定

屋外フードにFD（防火ダンパー）が必要な物件をプランする場合、「FDあり」を選択します。

・見積書で見積られる一部の付属部材が、「FDあり／なし」で品番が変わります。
（例）一般扇の取付枠　FDなし＝取付枠（樹脂）、FDあり＝不燃枠（鋼板）
・壁設置機器（パイプファン等）のシンボル配置時、屋外フードの品番がFD付の品番となります。
※「ＦＤなし」を選択中でも、ＦＤ付品番を選定することは可能です。

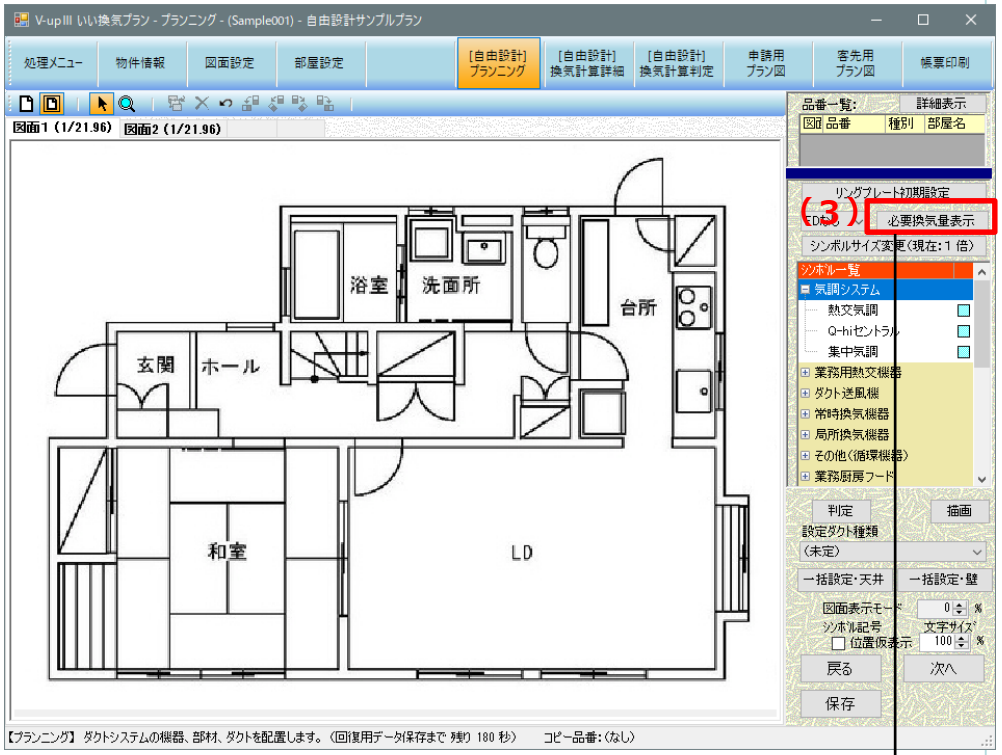


（３）必要換気量表示

機器選定の参考として、必要換気量を表示します。

1. **必要換気量表示** をクリックします。
2. **キャンセル** をクリックして表示を閉じます。

本体を選定する際、機器の最大風量が表示されます。
必要有効換気量に対して余裕のある風量の機器を選定します。
（ダクトの接続や 部材の組み合わせによって、機器の風量は変動します。）

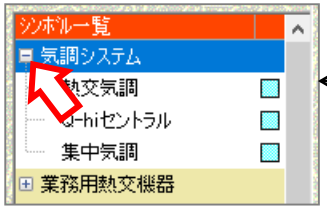


※必要換気量のウィンドウを表示させたまま
プランニングすることができます。

８－３．本体機器を配置する

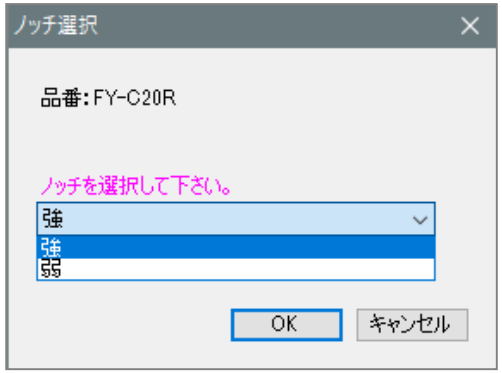
1. シンボル一覧 より、配置する機種を図面上へドラッグ＆ドロップします。
（あるいは機種を選択して 描画 をクリック。）

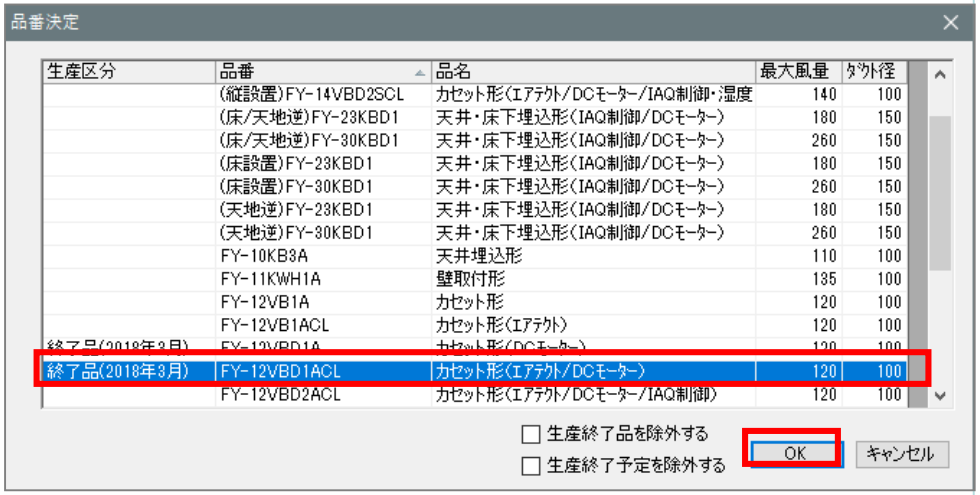
※シンボル一覧の大分類（左側に「＋」「－」表示のある項目）をクリックすると小分類が展開されます。



2. 品番を選択して OK をクリックします。

※風量ノッチ選択ウィンドウが表示されたら、選択して OK をクリックします。（機種によって表示されない場合あり）





3. 機器の位置を調整します。

アイコン・キーボード	機能
	90度回転
	45度回転
R（L）キー	右（左）へ90度回転
Ctrlキー＋R（L）キー	右（左）へ45度回転
W、Z、A、S　キー	上、下、左、右へ移動
8、2、4、6（テンキー）	上、下、左、右へ移動
	Undo（元に戻る）
Bキー	Undo（元に戻る）
	機器シンボルを削除
Deleteキー	機器シンボルを削除

８－４．室内端末を配置する

給排気グリル、換気ボックスを配置します。

ダクトの先にグリルを接続しない、いわゆる「切りっぱなし」の場合も室内端末の配置は必要です。

２～３室換気用のバス換気乾燥機・天井埋込形換気扇は、本体の配置と同時に室内端末も配置されます。

1. シンボル一覧 より、配置する機種を図面上へドラッグ＆ドロップします。

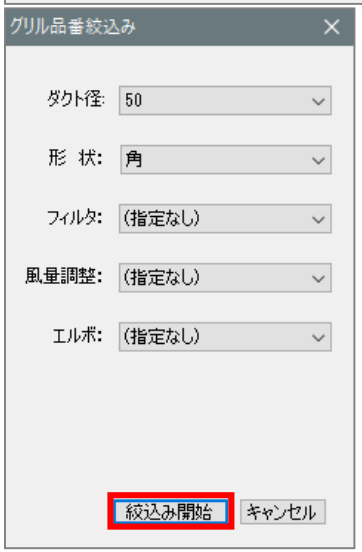
（あるいは機種を選択して **描画** をクリック）

2. **品番絞込み** をクリックします。

※初回は自動的に品番絞込みウィンドウが表示されます。

3. 条件を設定して **絞込み開始** をクリックします。

※「グリルなし」を選択する場合は、形状を「角」にして フィルタ・風量調整・エルボを「なし」または「指定なし」としします。



【室内端末の絞込み条件】

ダクト径	φ50～φ350
形状	丸／角／長方形／換気BOX／ライン形
フィルタ	なし／あり
風量調節	なし／あり
エルボ	なし／あり／断熱エルボ必要

4. 品番を選択します。

5. 設定台数を設定します。

※一度に２０台までシンボルを配置できます。

6. OK をクリックします。

7. 図面上に配置されたシンボルを、本体機器同様に位置調整します。

<u>グリルは天井（床）設置を想定した形状になっています。</u>

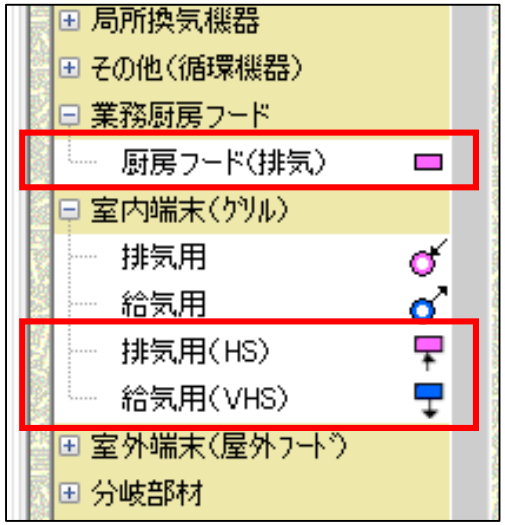
<u>グリルを壁付に変更する場合は、情報ウィンドウより 設定変更します。</u>

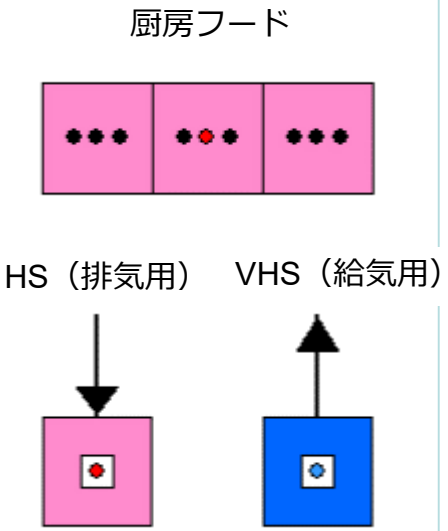
<u>（「８－１１．品番情報ウィンドウの設定をするの（１１）グリルの設置場所を変更する」をご参照ください。）</u>

８－５．VHSや厨房フードを配置する

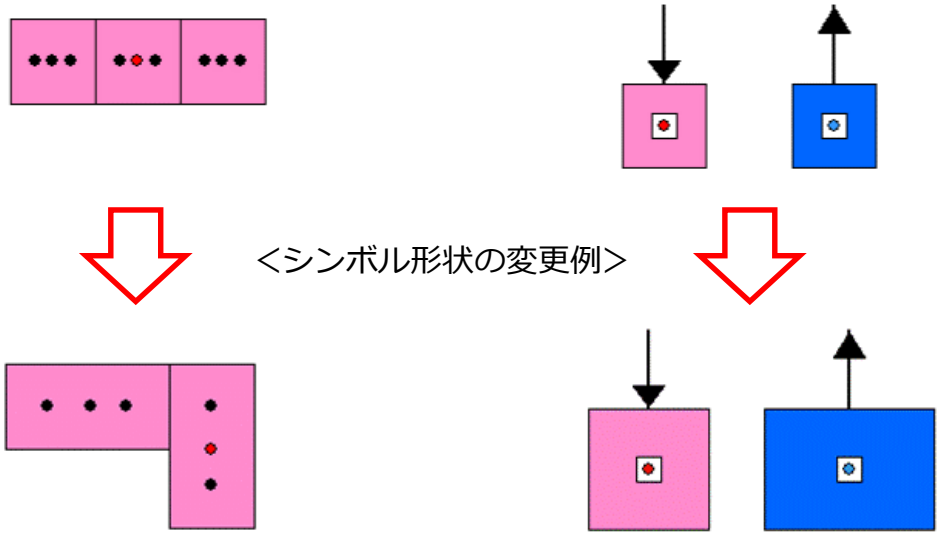
厨房フードを配置します。

1.「室内端末（ｸﾞﾘﾙ）」からVHS・HSを「業務用厨房フード」から厨房フードを選択します。



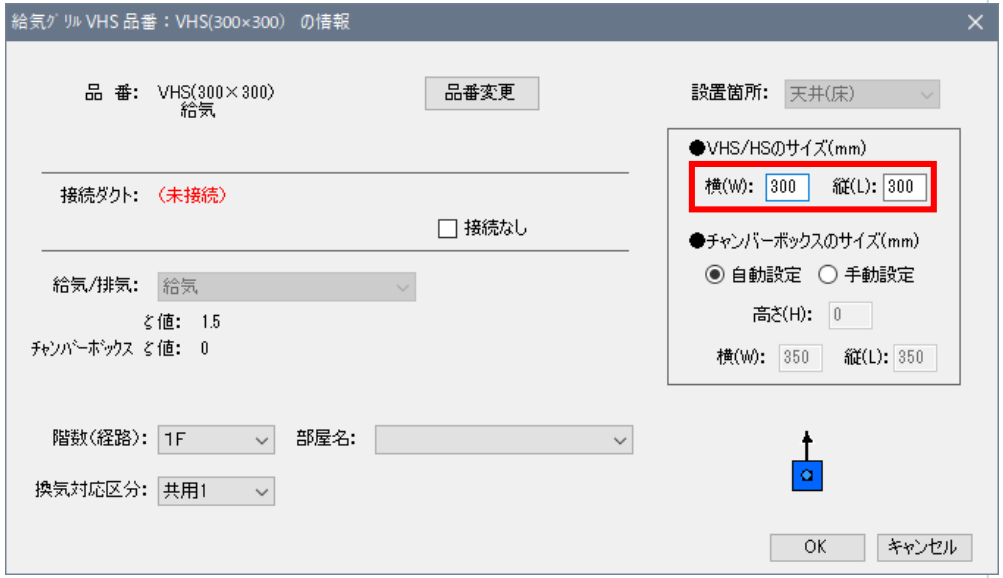


2. VHS・HS、厨房フードのシンボルは、寸法を設定する事によりシンボル形状の変更が可能です。



3.　VHS・HSの設定について

・情報表示ウィンドウで、VHS・HSのサイズを
設定します。



・情報表示ウィンドウで、チャンバーボックスのサイズを
設定します。

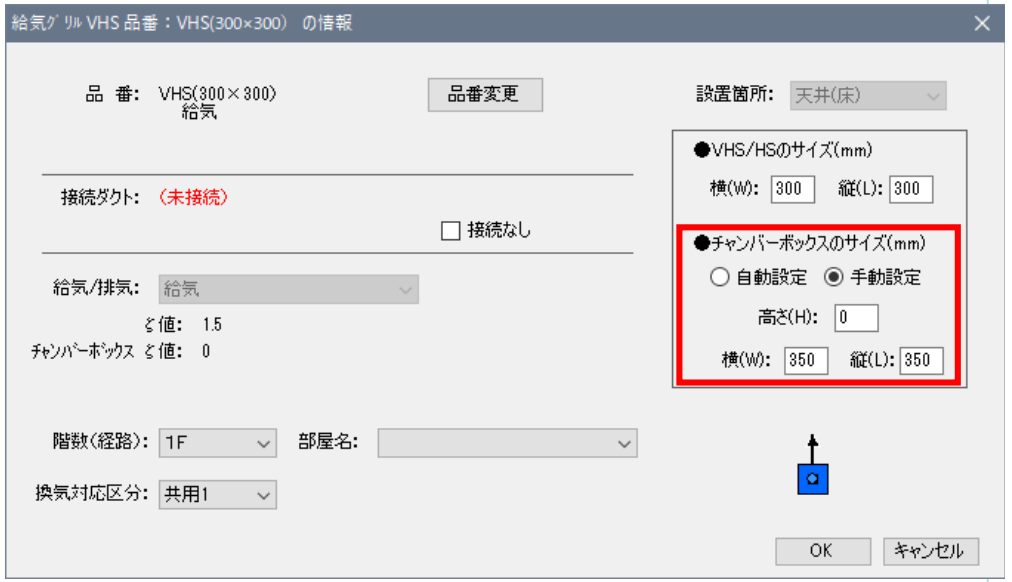
自動設定／手動設定を選択します。

◉自動設定の場合

チャンバーボックスのサイズは、VHS・HSのサイズ＋50mm
高さについては、接続したダクト径+50mm

◉手動設定の場合

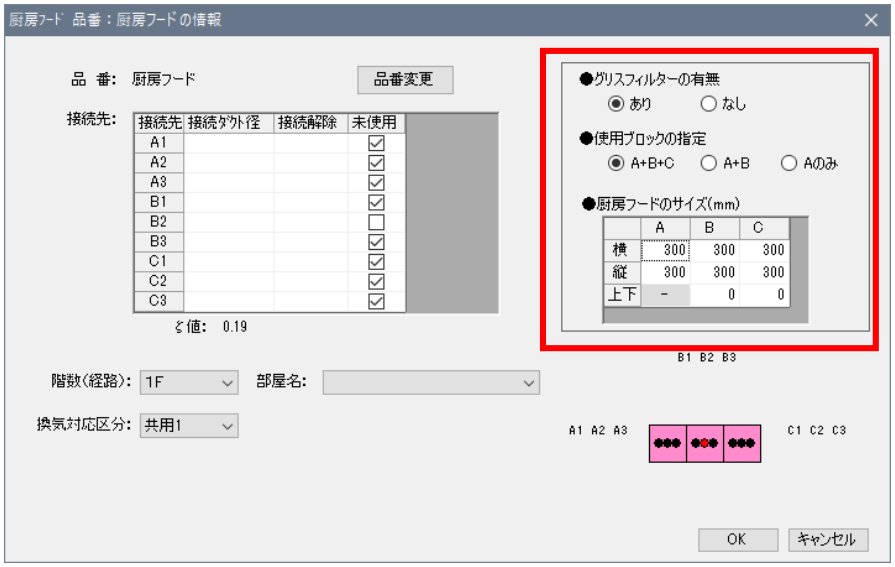
任意にサイズを入力します。



※VHS・HSのサイズ、接続ダクト径より、小さいサイズには
出来ません。

4. 厨房フードの設定について

情報表示ウィンドウで、厨房フードのサイズを設定します。

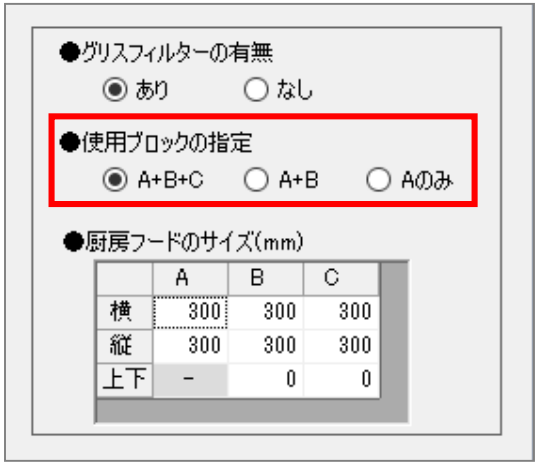


①　使用ブロックの指定

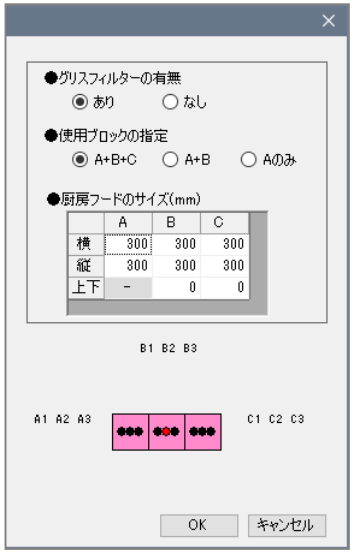
厨房フードは最大３つのブロック（A、B、C）を
組み合わせる事が出来ます。

【例】（次ページ参照）

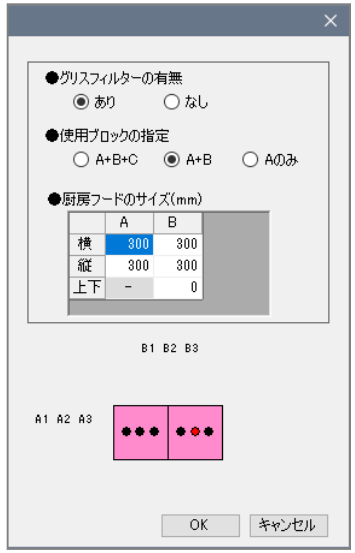
◉ 矩形の場合、“Ａのみ”の１ブロックを選択します。
◉ Ｌ字形の場合、“Ａ＋Ｂ“の２ブロックを選択します。
◉ コの字形の場合、“Ａ＋Ｂ＋Ｃ”の３ブロックを選択します。



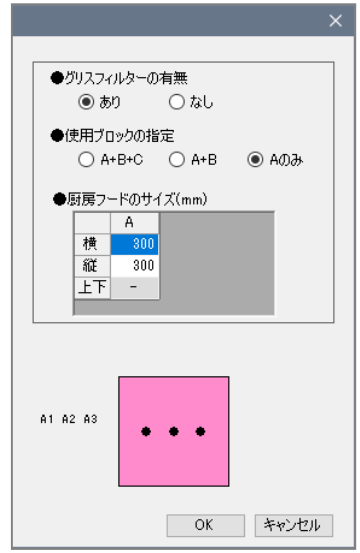
＜A＋B＋C＞



＜A＋B＞



＜Aのみ＞

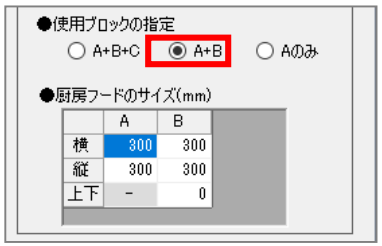


② 厨房フードのサイズ（mm）

各ブロック毎に、サイズを設定します。

必要に応じて、ブロック（A）と他ブロックの上下位置を調整します。

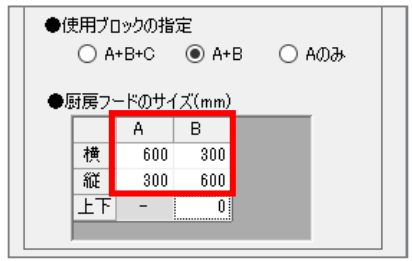
【例】使用ブロックの設定A+Bの場合



<各ブロックのサイズを変更>

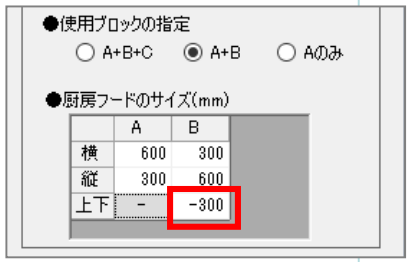
ブロック（A）　600×300

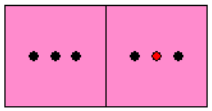
ブロック（B）　300×600

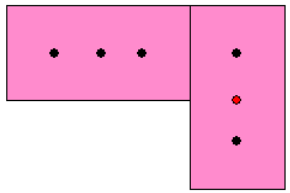


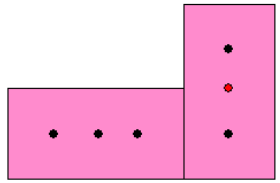
<ブロック（B）の上下位置を変更>

ブロック（B）の上下・・・ -300mm









８－６．室外端末を配置する

屋外フードを配置します。

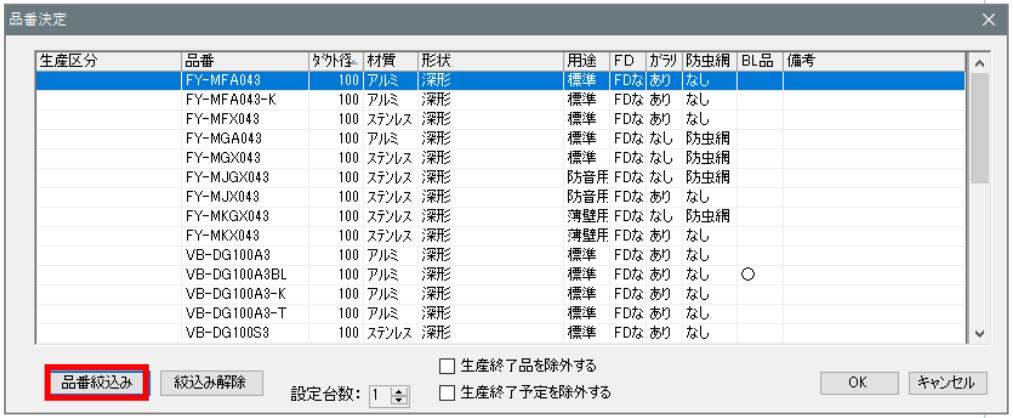
壁設置タイプ（パイプファン、Q-hiファン等）の屋外フードは、室外端末からは選択しません。
これらの屋外フードの品番変更については、「８－１０．品番情報ウィンドウの設定をする」をご参照ください。

天井埋込形のＱ－ｈｉファンは、本体の配置と同時に室外端末も配置されます。

1. シンボル一覧 より、配置する機種を図面上へドラッグ＆ドロップします。
（あるいは機種を選択して 描画 をクリック。）

2. 品番絞込み をクリックします。

※初回は自動的に品番絞込みウィンドウが表示されます。



3. 条件を設定して 絞込み開始 をクリックします。

【室外端末の絞込み条件】

ダクト径	φ75～φ300
材質	アルミ／ステンレス／鋼板／樹脂／その他
形状	深形／丸形／ピタンコ／フラット／角形／ベントキャップ／その他
用途	標準／防音用／薄壁用／軒天用／風圧シャッター付／その他
ＦＤ	なし／ＦＤ70℃／ＦＤ120℃
ガラリ	なし／あり
防虫網	なし／防虫網／防鳥網

4. 品番を選択します。

5. 設定台数を設定します。

※一度に７台までシンボルを配置できます。

6. OK をクリックします。

7. 図面上に配置されたシンボルを、本体機器同様に位置調整します。

８－７．分岐部材を配置する

（１）Y管およびチャンバーの配置

Y管（FY/VB品番）およびチャンバーのシンボルを配置します。

1. シンボル一覧 より、配置する機種を図面上へドラッグ＆ドロップします。
   （あるいは機種を選択して 描画 をクリック。）

2. 品番を選択します。

3. OK をクリックします。

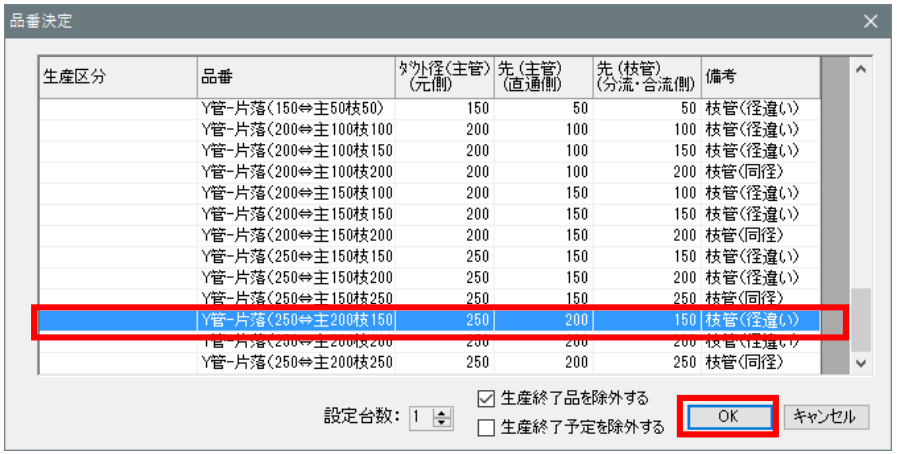
4. 図面上に配置されたシンボルを、本体機器同様に位置調整します。

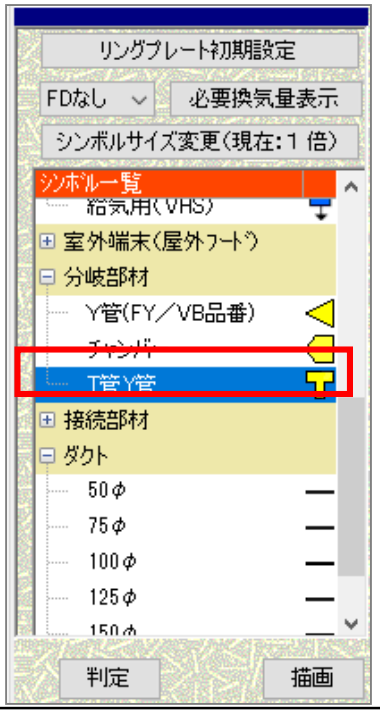
（２）T管・Y管の配置

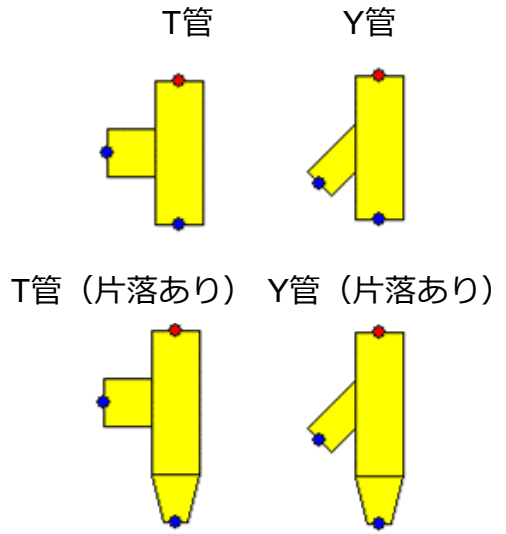
T管・Ｙ管のシンボルを配置します。

1. シンボル一覧 より、配置する機種を図面上へドラッグ＆ドロップします。
（あるいは機種を選択して 描画 をクリック）
2. 品番を選択します。
3. OK をクリックします。
4. 図面上に配置されたシンボルを、本体機器同様に位置調整します。

※T管・Y管のシンボルは４種類のシンボルが使用可能です。



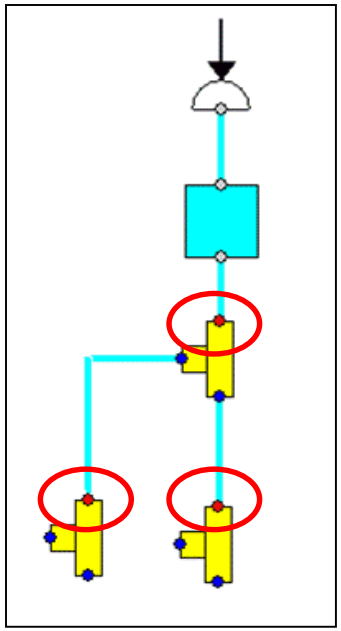




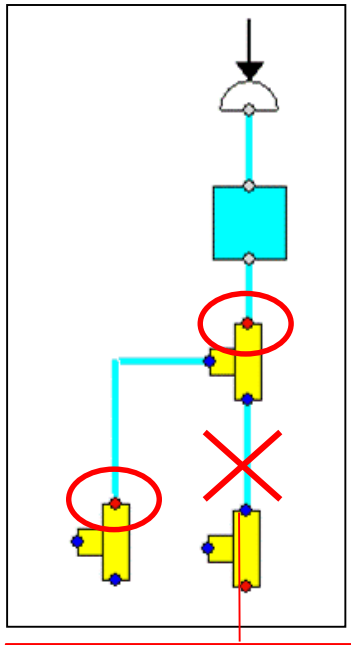
※ダクトを接続する場合、

必ず本体側（赤色の接続点）を機器がある方向に接続します。

<正しいダクト接続の例>

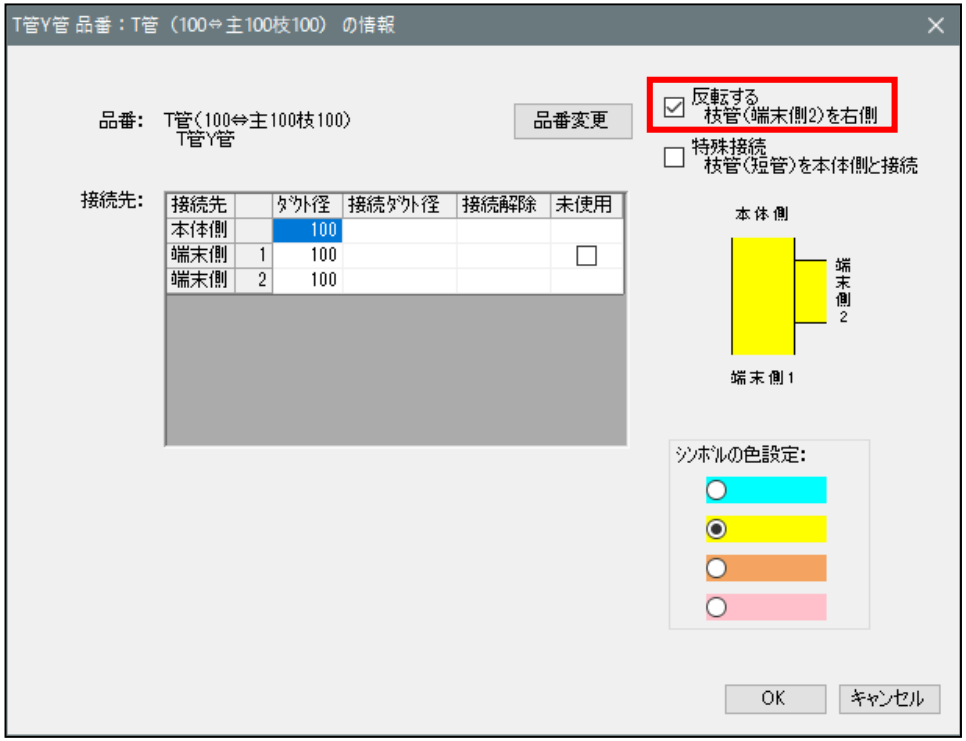


<間違ったダクト接続の例>

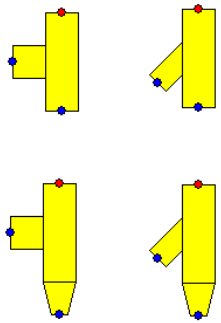


本体側（赤色の接続点）が
機器がある方向になっていない。

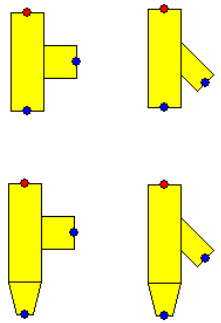
※枝管（端末側２）の方向を逆にする場合は「反転する」に
チェックをいれます。（下図赤枠）



「反転する」にチェックなしの場合

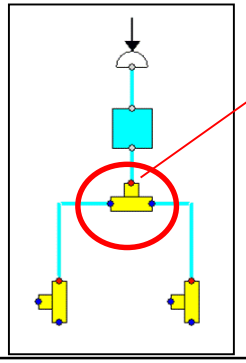


「反転する」にチェックありの場合



※T管を左右分岐として使用する場合は「特殊接続」に
チェックをいれます。（下図赤枠）
（特殊接続が可能なシンボルは「T管」のみ）

＜特殊接続の使用例＞



Ｔ管を左右分岐として使用。

８－８．接続部材を配置する

フィルターユニット、片落管、ダクト継手、ダンパーおよび立上り／立下りのシンボルを配置します。

立上り／立下りは、階をまたいで配管する場合に使用します。

1. シンボル一覧 より、配置する機種を図面上へドラッグ＆ドロップします。

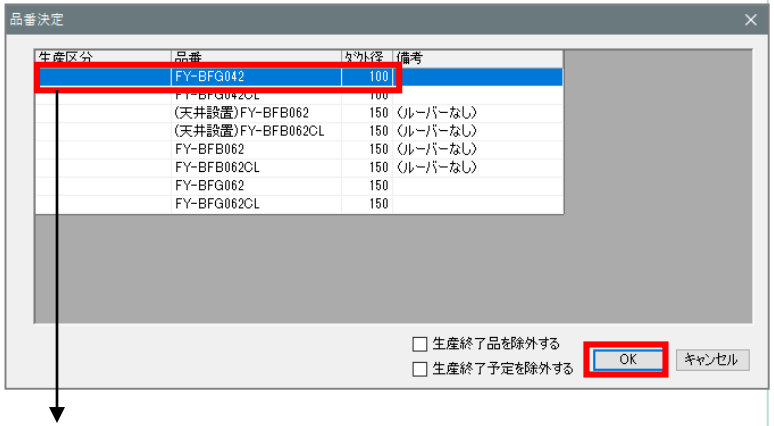
   （あるいは機種を選択して 描画 をクリック。）

2. 品番を選択します。

   ※立上り／立下りは品番選択はありません。

3. OK をクリックします。

4. 図面上に配置されたシンボルを位置調整します。



※フィルターユニット

※立上り／立下りを選択すると、立上りのシンボルと立下りのシンボルの２個が配置されます。

立上り／立下りが複数の図面にまたがる場合は、品番情報ウィンドウより図面を移動します。

操作方法は「８－１１．品番情報ウィンドウの設定をする（１６）立上り／立下りの設定」をご参照ください。

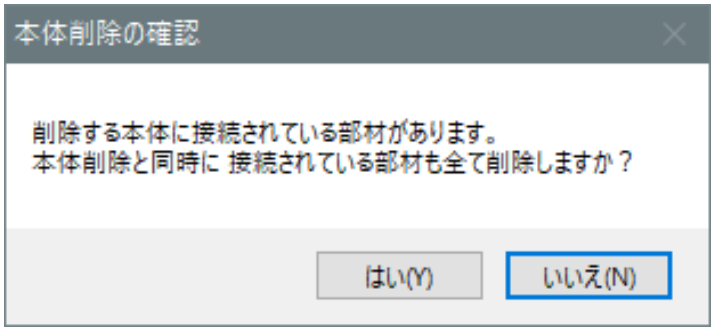
８－９．機器シンボルを削除する

誤って配置したシンボルを削除します。
プラン作成に必要のないシンボルは必ず削除します。

1. 削除する機器を選択します。

2. アイコンをクリック、または
Deleteキーを押します。

ダクトが接続された本体機器の場合、
接続されている部材も削除するかどうかを
確認するウィンドウが表示されます。
すべて削除する場合は **はい** をクリックします。



８－１０．ダクトを作図する

配置した機器にダクトを接続します。

1.　設定ダクト種類を選択します。

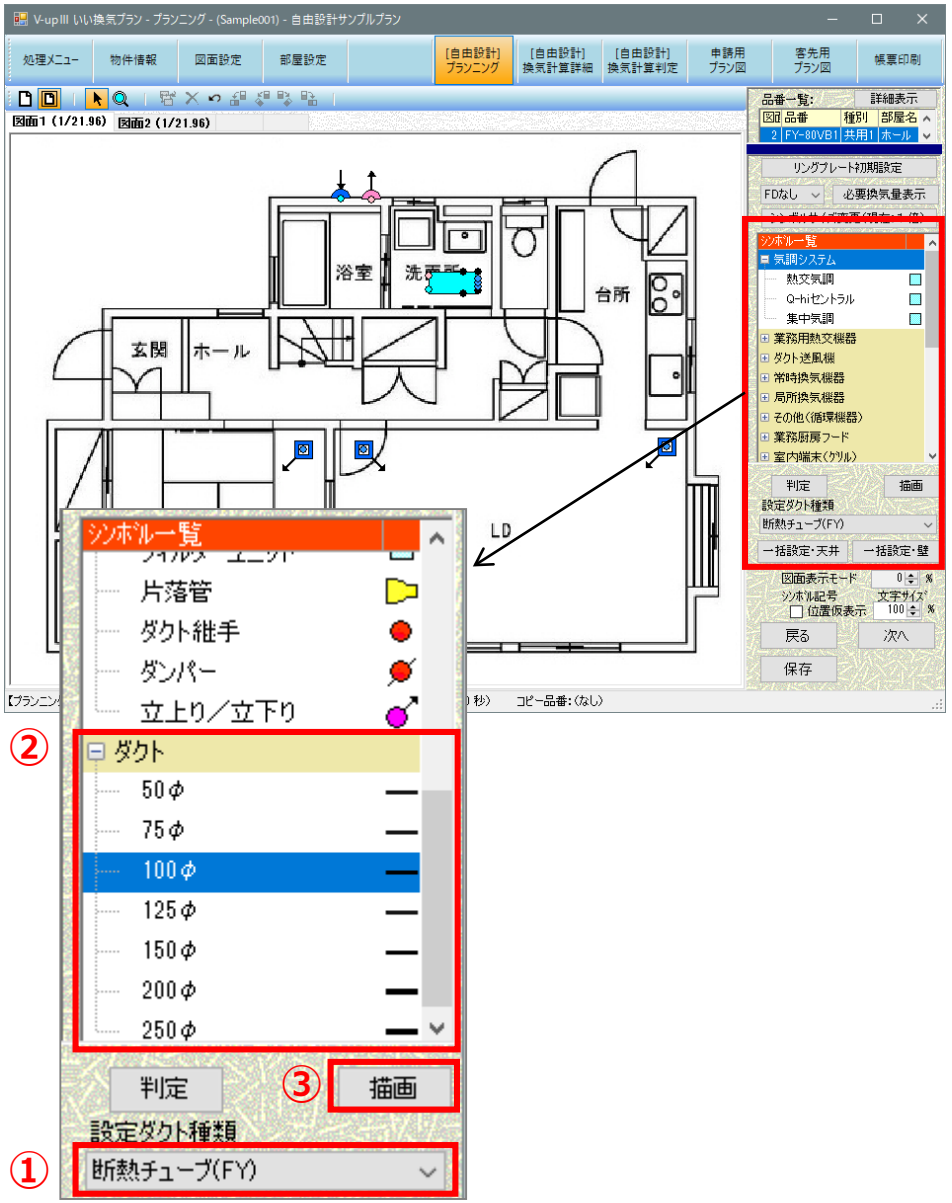
【設定ダクト種類のFYとVB】

（FY）パナソニック エコシステムズ（株）製
（VB）パナソニック エコシステムズ ベンテック（株）製

2.　シンボル一覧より、ダクト径を選択します。

3.　**描画**　をクリックします。

※選択したダクト径のダブルクリックも可。



８－１０．ダクトを作図する

配置した機器にダクトを接続します。

1.　設定ダクト種類を選択します。

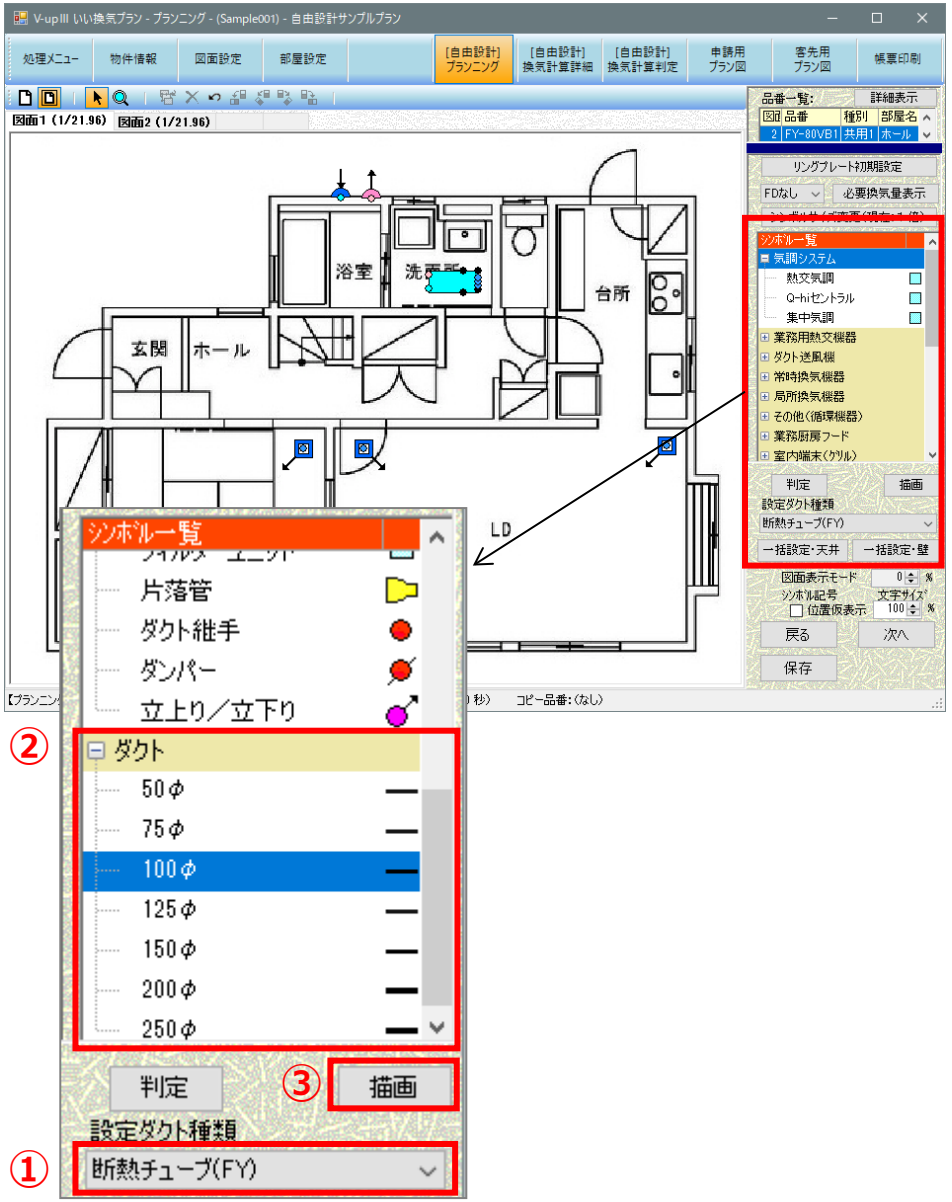
【設定ダクト種類のFYとVB】

（FY）パナソニック HVAC & CC（株）製
（VB）パナソニック エコシステムズ ベンテック（株）製

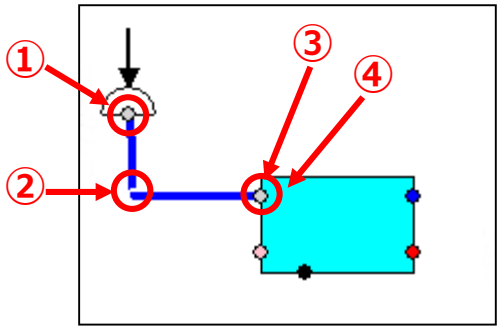
2.　シンボル一覧より、ダクト径を選択します。

3.　**描画**　をクリックします。

※選択したダクト径のダブルクリックも可。



4. ダクトを描画します。



① 機器の接続点上で左クリック

② 曲がり部分で左クリック

③ 機器の接続点上で左クリック

④ ③と同じ点上で**右クリック**（点が灰色に変わります。）

黒色の接続点には接続できません。情報ウィンドウで「未接続」のチェックを外します。

（「８－１１．品番情報ウィンドウの設定をする（２）ダクトの接続／未接続の設定」をご参照ください。）

※Shiftキーを押している間、ダクトの水平、垂直、４５°直線が 引けます。

Shiftキーを押していないのに、直線引き機能がＯＮになっている場合は、再度Shiftキーを押します。

機器や部材に接続する最初と最後の直線は自動接続機能がある為、微妙にズレる場合があります。

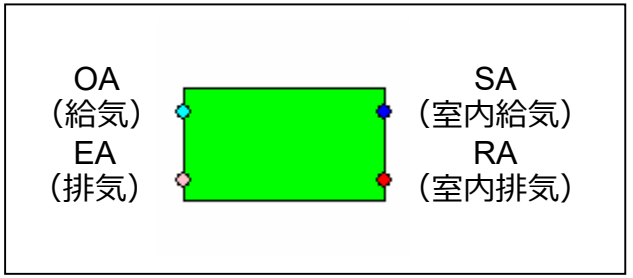
【ダクト接続点の色】

本体ユニット・給排気グリル・屋外フードは風向きによって

ダクト接続点を色分けしています。

青色・水色：給気系統

赤色・桃色：排気系統



※分岐部材・片落管は風向きと色が必ずしも一致しません。

８－１１．品番情報ウィンドウの設定をする

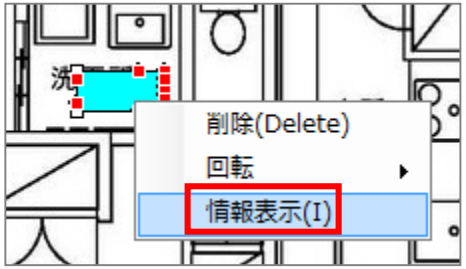
品番情報ウィンドウとは、図面上に配置した機器・部材に関する、品番・ダクト接続点・設置部屋名等の情報を表示するウィンドウです。機器・部材に関するさまざまな設定をおこないます。

品番情報ウィンドウの機能	内容
（１）部屋名設定	機器の情報として、設置した部屋を登録します。 **個別換気をおこなう機器は必ず部屋名を設定してください。**
（２）ダクトの接続／未接続の設定	ダクトを接続しない接続点の設定をします。（該当機種のみ）
（３）品番変更	品番を変更します。
（４）屋外フードの選択／変更	ダクトを接続しない機器について、屋外フードの品番を変更します。
（５）ノッチ変更	風量ノッチを変更します。
（６）給気／排気の切り替え	給気／排気の風向を切り替えます。（該当機種のみ）
（７）バス換気乾燥機の換気ボックス組替え	バス換／バスコンの換気ボックスを組替えます。（該当機種のみ）
（８）オプションフィルターの設定	オプションフィルターを設定します。（該当機種のみ）
（９）リングプレートあり／なしの設定	グリルにリングプレートを使用するかを設定します。（該当機種のみ）
（１０）断熱エルボの設定	グリルに断熱エルボを使用するかを設定します。（該当機種のみ）
（１１）グリルの設置場所を変更する	グリルの設置場所を変更します。
（１２）他図面にシンボルを移動させる	配置済みのグリルを、他図面に移動させたい場合の設定です。
（１３）階をまたいでグリルを設置する	グリルを上階または床下に配置する場合の設定です。
（１４）室外端末（屋外ﾌｰﾄﾞ）の分離機能	グリルの操作と基本的に同じです。
（１５）Ｑ－ｈｉファン（天埋形）の部材設定	Ｑ－ｈｉファン（天埋形）の部材を設定します。
（１６）立上り／立下りの設定	立上り／立下りの設定をします。
（１７）シンボルの色設定	シンボルの色を変更します。（分岐部材および立上り／立下りのみ）
（１８）換気対応区分の設定	計算判定を最大６区分までわけて判定する事ができます。
（１９）ζ値の手入力機能	グリル、屋外フード、Y管で、ζ値の手入力ができます。

【品番情報ウィンドウを表示する】

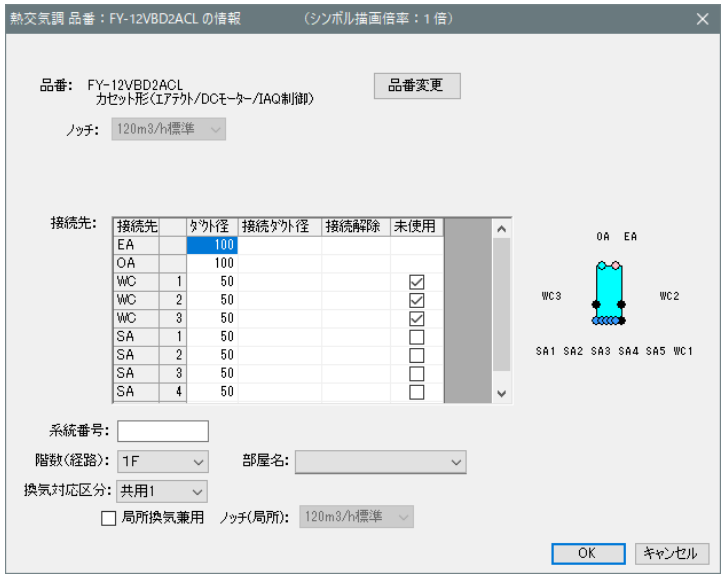
1. 図面上のシンボルを選択して右クリックします。

2. ［情報表示］をクリックします。
（またはシンボルを選択した状態で、Ｉキーを押します。）



品番情報ウィンドウが表示されます。

※表示内容はシンボルによって異なります。



（１）部屋名設定

機器の情報として、設置した部屋を登録します。
個別換気をおこなう機器は必ず部屋名を設定してください。

1. 「階数（経路）」を選択します。

2. 「換気対応区分」を選択します。

個別換気をおこなう機器は「個別」、共用換気をおこなう機器は「共用1」～「共用6」を設定してください。

3. 部屋名を選択します。

※「共用」の部屋は直接入力も可能です。直接入力する場合は、リストの一番上の「（直接入力）」を選択してください。

個別換気の場合、部屋設定において、該当する部屋の「適用区分」を「個別」にしておく必要があります。

4. 系統番号が入力できます。

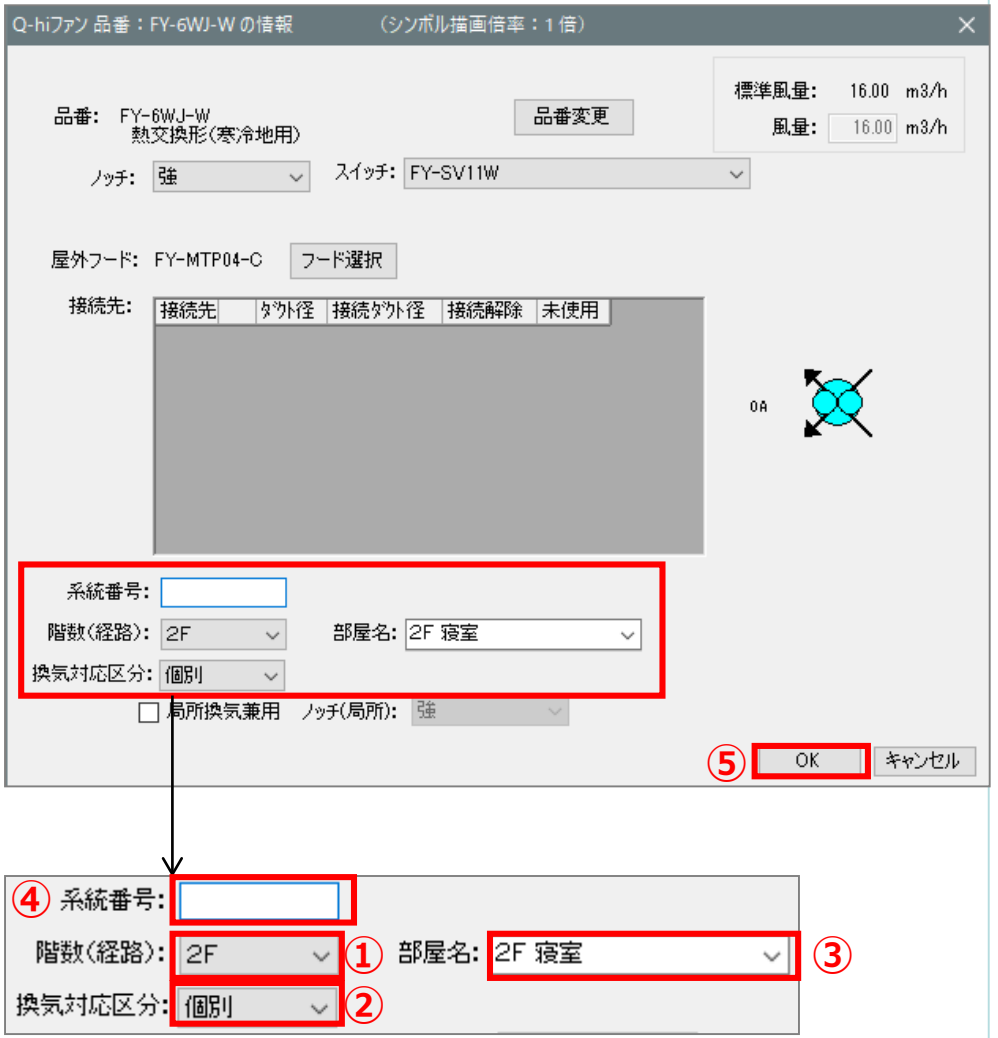
PQ計算書と局所の判定書に記載されます。

（主に非住宅で使用。）

5. OK をクリックしてウィンドウを閉じます。

「一括設定」でも部屋名設定が可能です。

（「８－１３．その他の機能」をご参照ください。）



（２）ダクトの接続／未接続の設定

ダクトを接続する／接続しない　を設定します。

【設定が必要な例】

・住宅用熱交気調システムでトイレ排気を使用する場合

・２～３室換気用の天埋扇で、２室換気をおこなう等、使用しない接続口がある場合

・通気口としてグリルを設置する場合

・複数に分岐する部材で、使用しない接続点がある

・ダクトの接続を解除したい　等

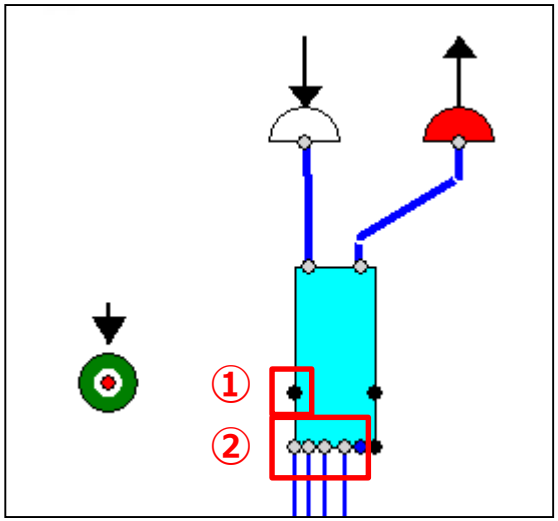
例：カセット形熱交気調

①　トイレ用排気を使用したい
　＞ダクトを接続できるように設定します

接続点が黒い部分は、ダクト接続ができないようになっています。

②　給気は５口まで接続できるが、実際に使用するのは４口
　＞ダクト未接続の設定をします

黒色以外の点は、ダクトの接続、あるいは未接続の設定のいずれかが必要です。



1. 情報ウィンドウを開きます。

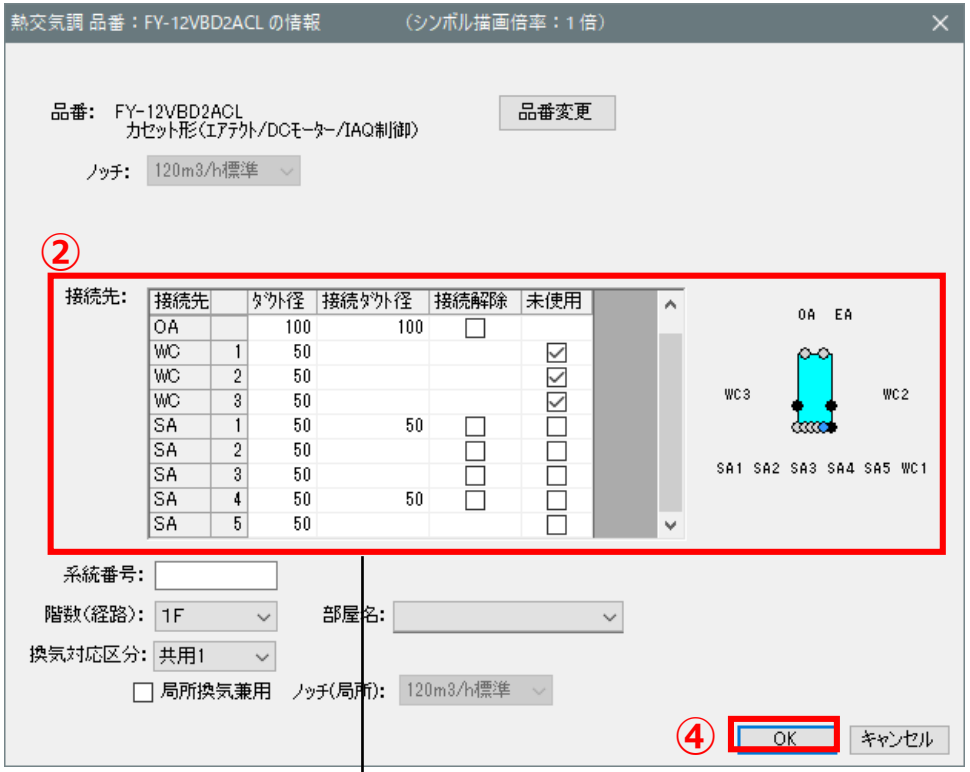
2. 接続先の表と右側の図を見て、設定を変更する接続点を確認します。

3. 「未使用」欄をクリックして、設定を変更します。

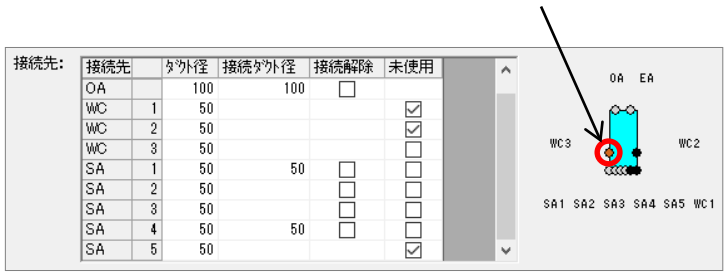
※ダクトを接続する箇所はチェック☑を外し、ダクトを接続しない箇所はチェック☑を入れます。
※ダクトの接続を解除する場合は、該当する「接続解除」の欄にチェック☑を入れます。

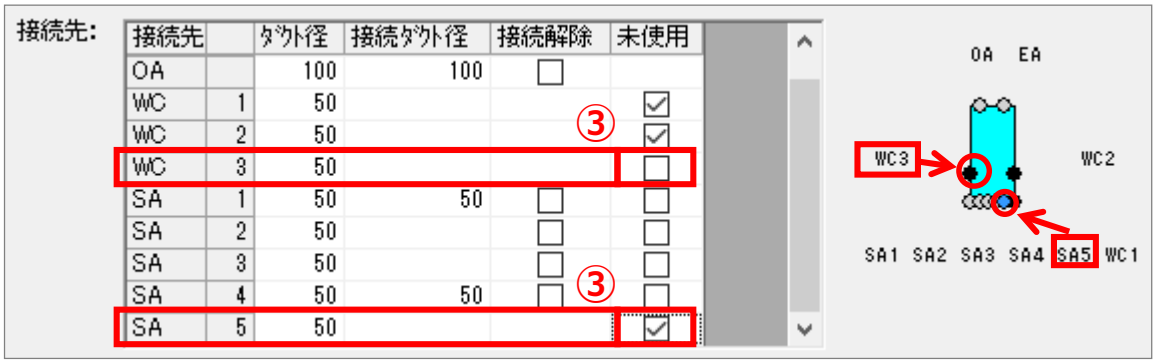
4. OK をクリックしてウィンドウを閉じます。

5. 「未使用」のチェック☑を外した接続点に、ダクトを接続します。



※黒色がオレンジ色に変わり接続可能になった。

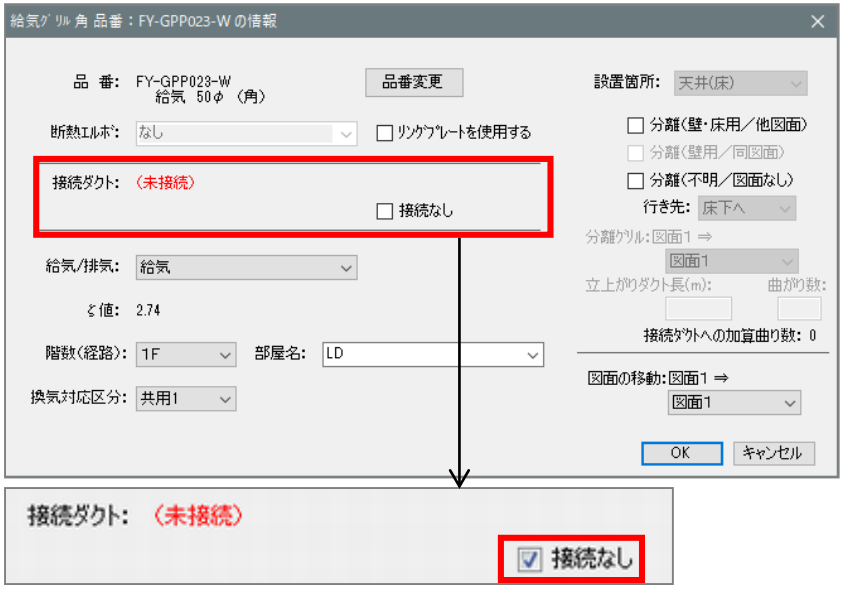




【グリルを通気口として設置する場合】

グリルの情報ウィンドウにおいて「接続なし」に
チェック☑を入れます。

※屋外フードについても「接続なし」の設定をすることが
できます。



（３）品番変更（ルーバー品番変更）

設置した機器の品番を変更します。

1. 品番変更 または ルーバー品番変更 をクリックします。

（このボタンは、変更可能機種のみ表示されます。）

2. 品番を選択します。

3. OK をクリックしてウィンドウを閉じます。

<u>ダクトを接続済みの機器は、接続したダクトを削除（または接続解除）してから品番変更します。</u>

<u>室外端末が本体と同時に配置される、壁設置タイプ（パイプファン、Q-hiファン等）の機器は、本体品番を変更すると室外端末の品番も変更されます。</u>

（４）屋外フードの選択／変更

Q-hiファン等、ダクトを接続しない機器の屋外フードを選択／変更します。

1. フード選択 をクリックします。

※現在選択されている屋外フードは、ボタンの左に記載されています。

2. 屋外フードを選択します。

3. OK をクリックします。

（５）ノッチ変更

ノッチを選択できる機器について、ノッチを変更します。

1. 「ノッチ」を選択します。

2. OK をクリックしてウィンドウを閉じます。

（６）給気／排気の切り替え

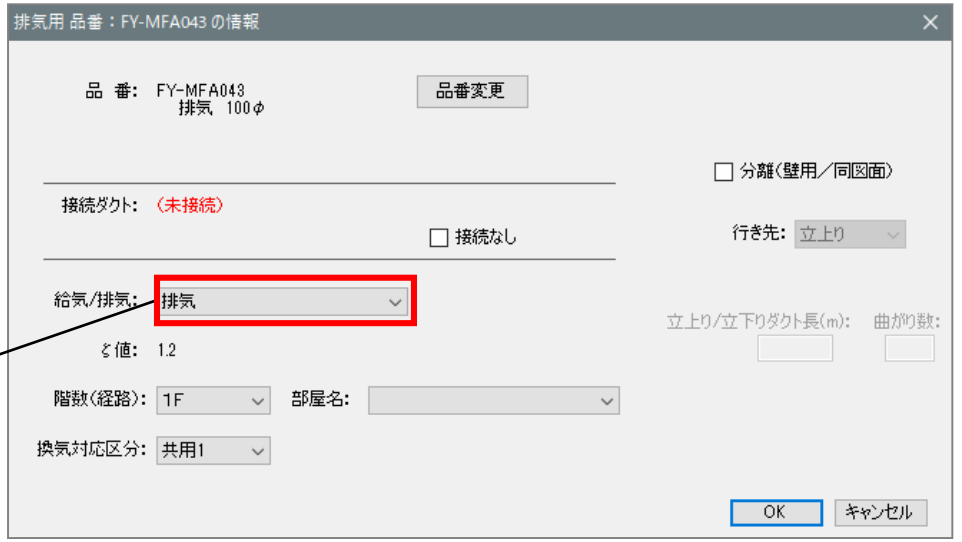
中間ダクトファン、キャビネットファンおよび屋外フードの給気／排気の風向を切り替えます。

1. 給気／排気を切り替えます。

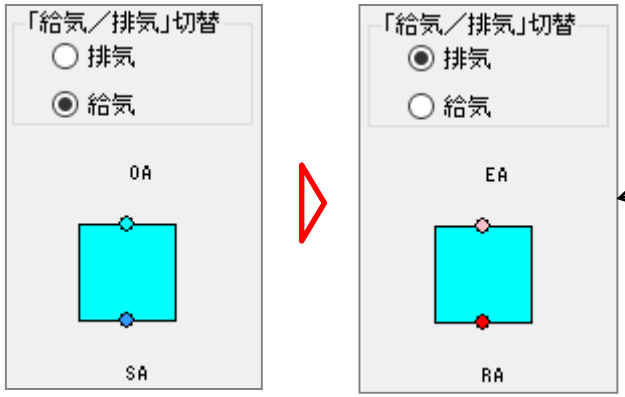
※屋外フードではリストから選択、中間ダクトファンおよびキャビネットファンではラジオボタンで選択する形式になっています。

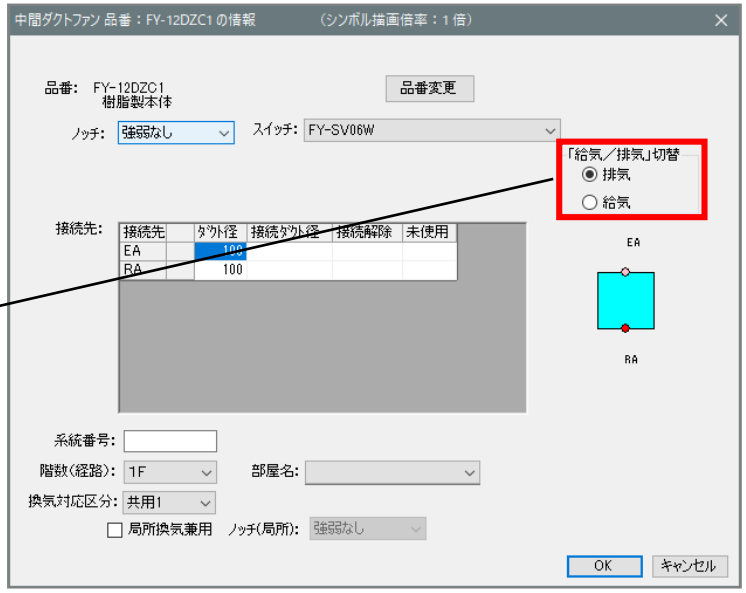
2. OK をクリックしてウィンドウを閉じます。

屋外フード等の表示



中間ダクトファン等の表示

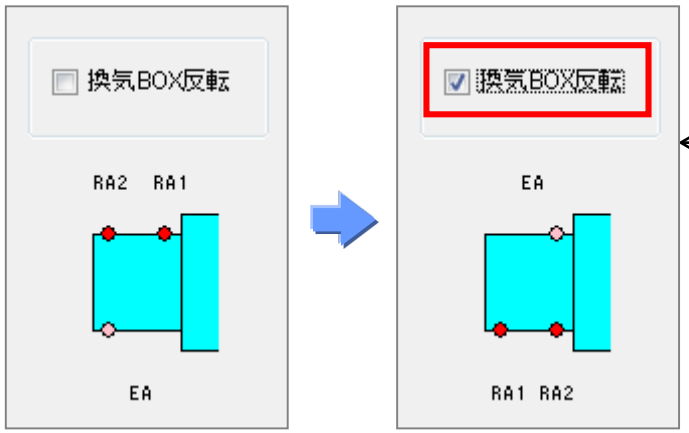


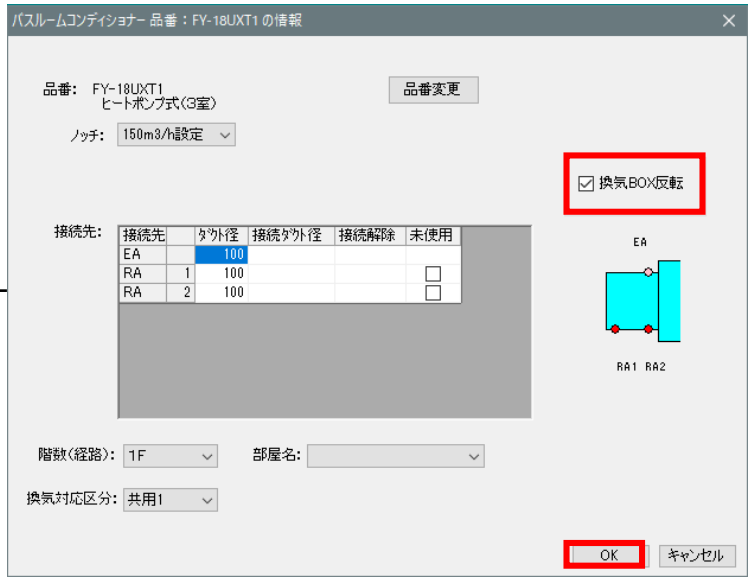


（７）バス換気乾燥機の換気ボックス組替え

バス換気乾燥機・バスコンディショナーの換気ボックスを組替え、吸気口と排気口の方向を変更します。

1. ☑「換気BOX反転」にチェックを入れます。
2. OK をクリックしてウィンドウを閉じます。

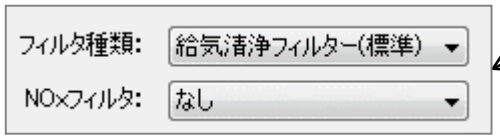


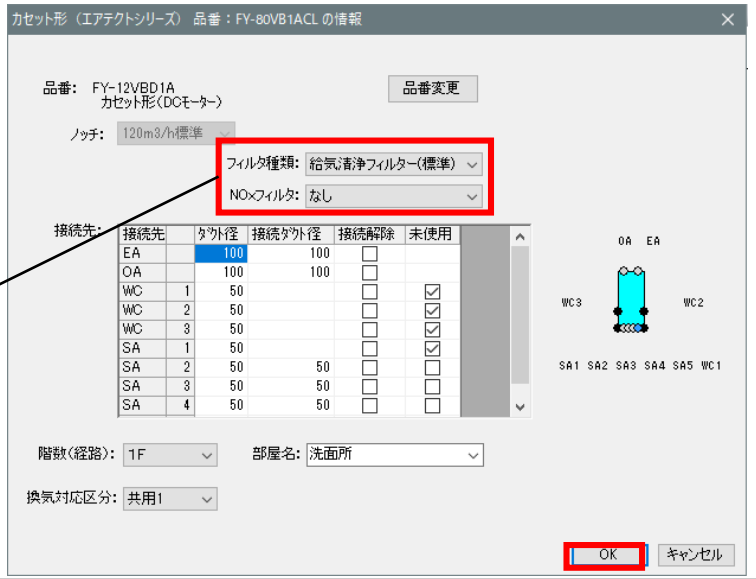


（８）オプションフィルターの設定

オプションフィルターを設定します。（一部機種のみ）

1. フィルタ種類を選択します。
   NOxフィルタを使用する場合は、NOxフィルタを「あり」に設定します。
2. OK をクリックしてウィンドウを閉じます。

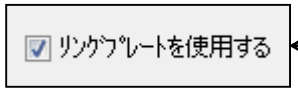


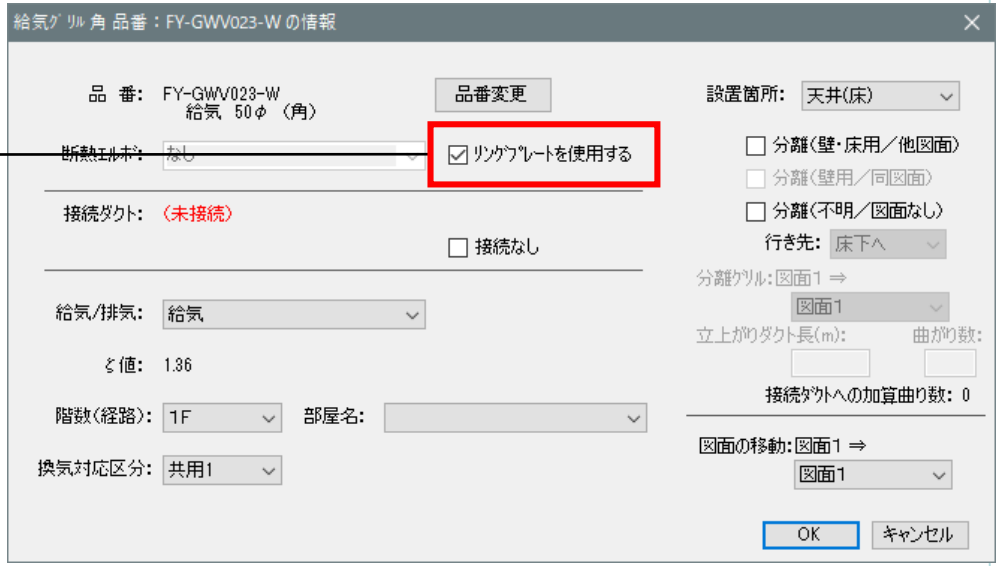


（9）リングプレートあり／なしの設定

リングプレートの取付けが可能なグリルに対して、リングプレートを見積もるかどうかを設定します。

・リングプレートを使用する場合はチェックを入れます。
　使用しない場合はチェックを外します。





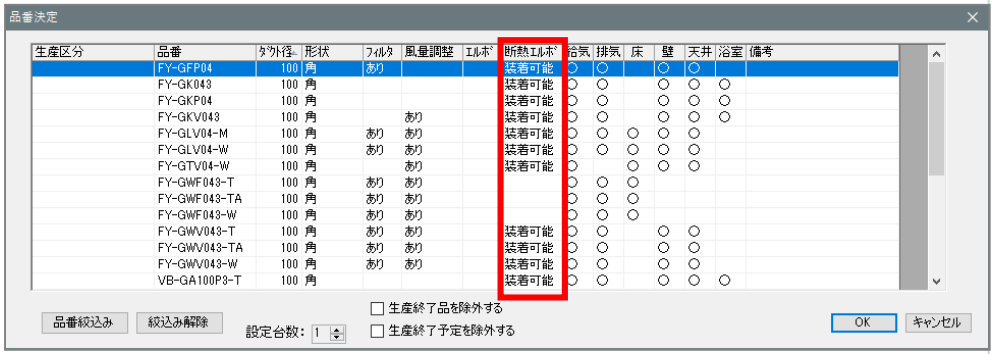
※本設定は［一括設定］からも変更することができます。
（「８－13.その他の機能」をご参照ください。）

（１０）断熱エルボの設定

断熱エルボが装着可能なグリルに対して、断熱エルボを使用するかどうかを設定します。

断熱エルボの設定が可能なグリルは、品番リストの

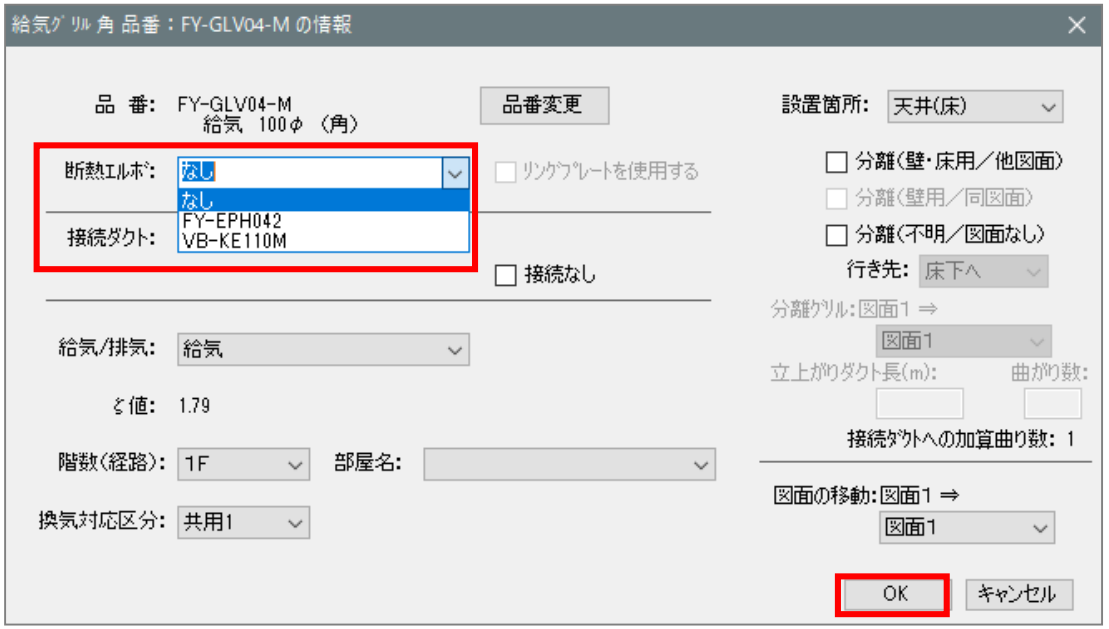
「断熱エルボ」欄において「装着可能」となっている品番です。



1. 断熱エルボの品番を選択します。

※断熱エルボの品番が選択できないグリルは
断熱エルボの装着が不可か、断熱エルボと
一体の商品です。

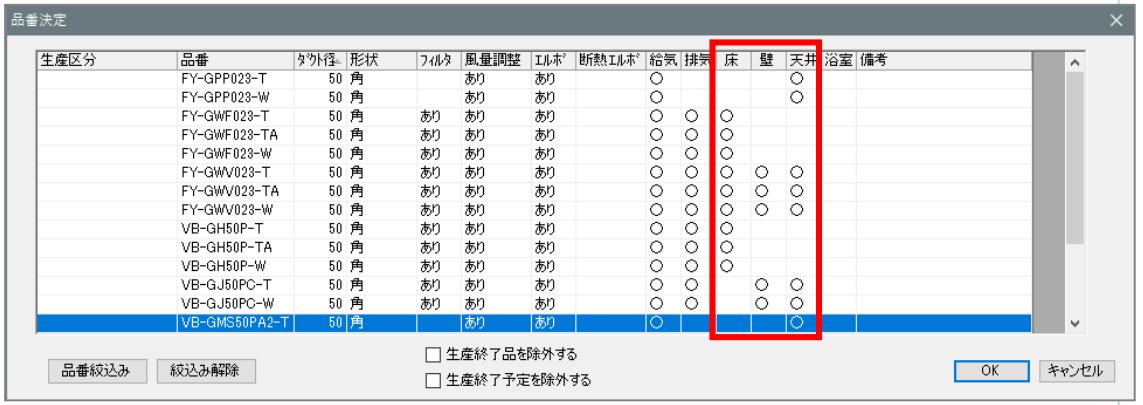
2. OK をクリックしてウィンドウを閉じます。



（１１）グリルの設置場所を変更する

グリルの設置場所を変更します。

設置できる箇所は、品番リストで確認します。
「○」が付いている箇所に設置可能です。



1. 設置箇所を選択します。

※設置不可の場所は選択できません。

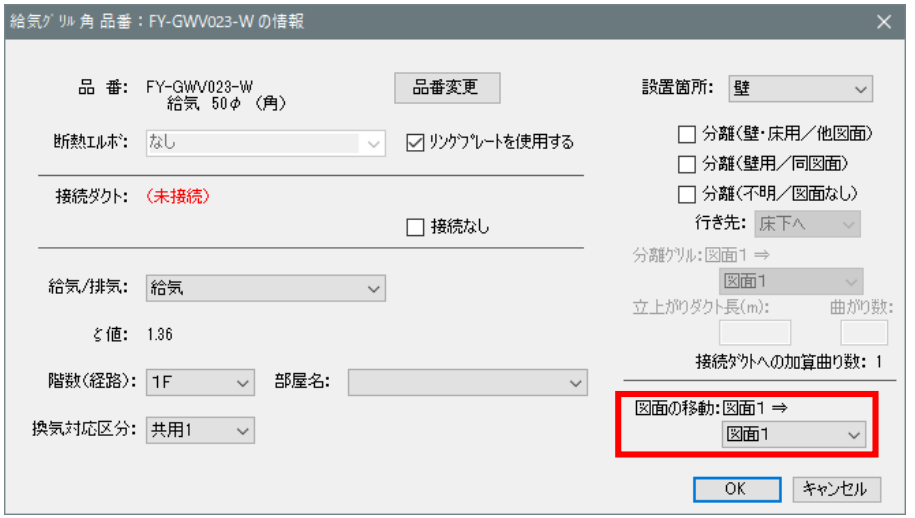
2. OK をクリックしてウィンドウを閉じます。

（１２）他図面にシンボルを移動させる

配置済みのグリルを、他図面に移動させたい場合の設定です。

1. 移動させたい図面番号を選択します。

2. OK をクリックして、ウィンドウを閉じます。
シンボルが他の図面に移動します。

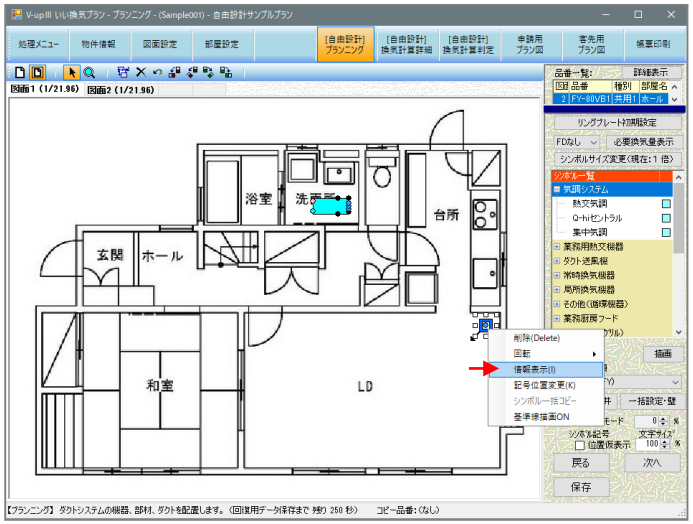


（１３）階をまたいでグリルを設置する

１階天井裏に本体を設置し、２階床（壁）にグリルを配置する場合、あるいは図面が無い床下等にグリルを配置する場合の設定です。※床下等の図面も作図する場合は立上り／立下りをご利用ください。

1. 室内端末を、接続先の本体・部材と同じ図面に配置します。

2. グリルの情報ウィンドウを表示します。



3. グリルを設置する箇所に応じて、
分離（壁・床用／他図面）
分離（壁用／同図面）
分離（不明／図面なし）
いずれかにチェックを入れます。

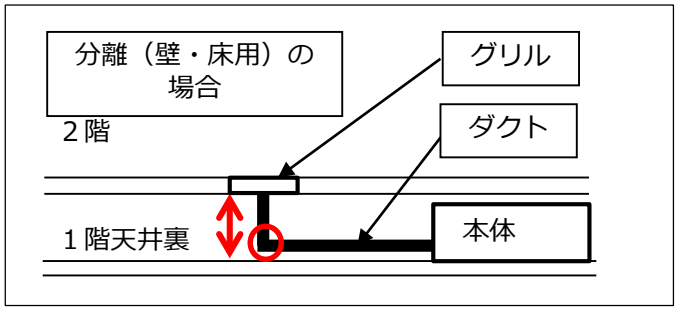
※分離（壁用／同図面）にチェックを入れる場合は
まず設置箇所を「壁」に変更します。

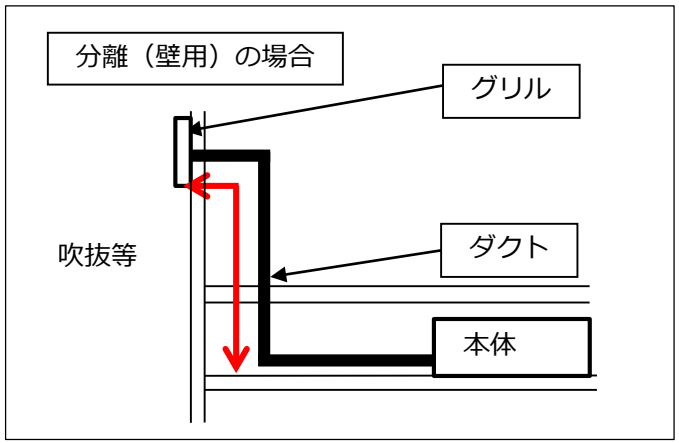
4. 行き先を選択します。
※分離（不明／図面なし）のみ。

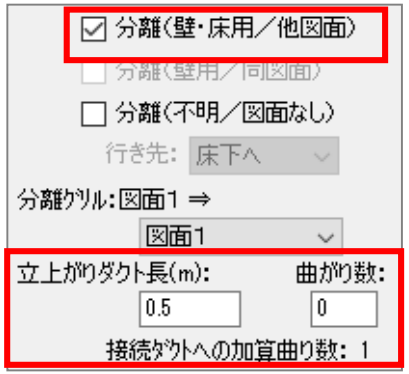
5. 実際にグリルを配置する図面を設定します。
※分離（壁・床用／他図面）のみ。

6. 立上がりダクト長を入力します。

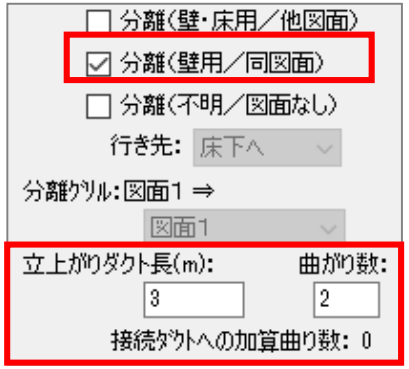
7. OK をクリックして、ウィンドウを閉じます。



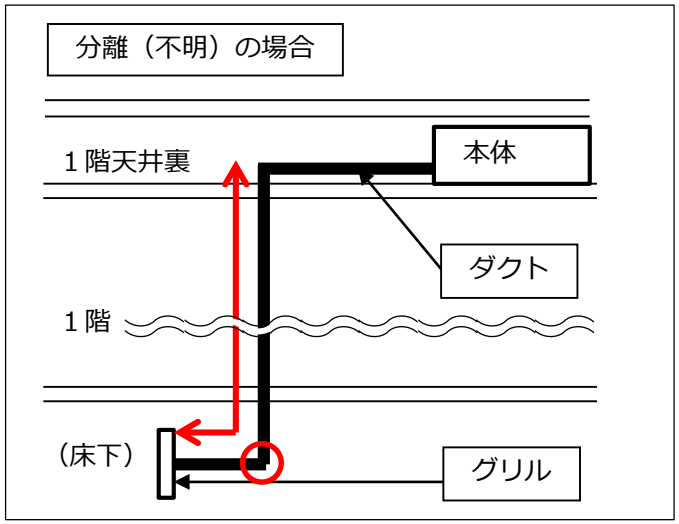


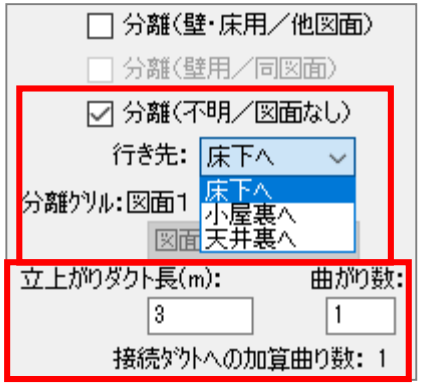


※FY-GWF043-TA使用例



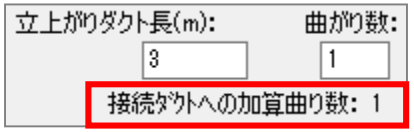
※FY-GBP02-W使用例





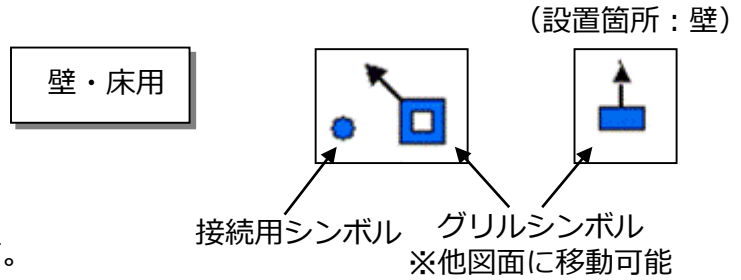
※FY-GBP02-W使用例

「接続ダクトへの加算曲り数」とは
室内端末の形状やエルボ有無により最低限必要な曲がり数。
PQ計算時に強制的に追加されます。（赤丸位置の曲がり）
この曲がり数以上に曲がりが必要な場合に、曲がり数の
入力欄にて調整してください。



8. シンボルの形状が変わります。

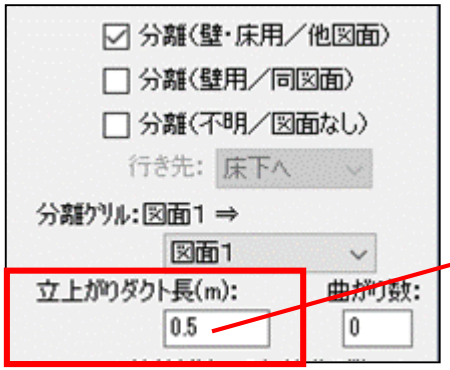
壁・床用：　床に設置するグリルのシンボルと、本体との
接続用シンボルに分離します。グリルは実際に
配置する場所に配置します。
壁用：　壁設置用の形になります。
不明：　グリルが消え、接続用のシンボルのみ表示されます。

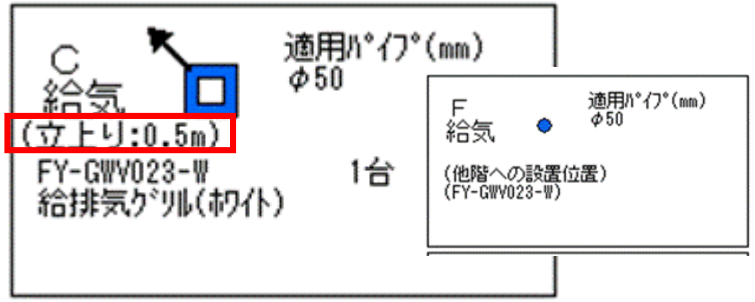


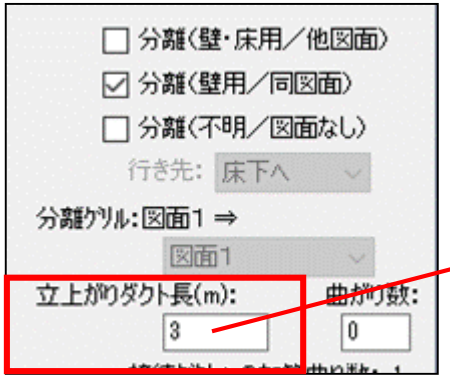
9. 接続用のシンボルにダクトを接続します。

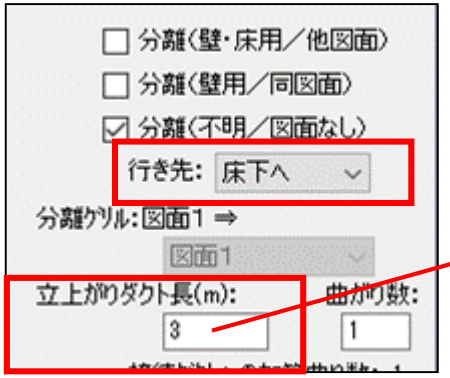
10. 申請用/客先用プラン図の凡例内に記載されます。
室内端末の凡例を表示した場合、縦ダクトとして
設定した長さが表示されます。

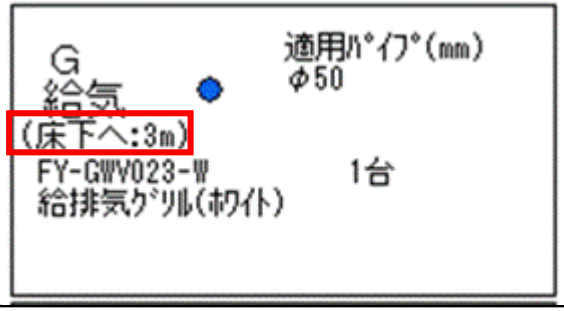
<申請用／客先用プラン図>









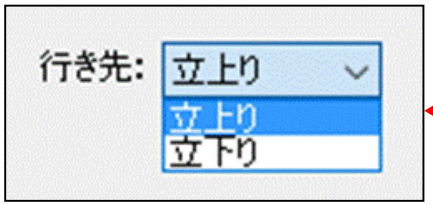


（１４）室外端末（屋外フード）の分離機能

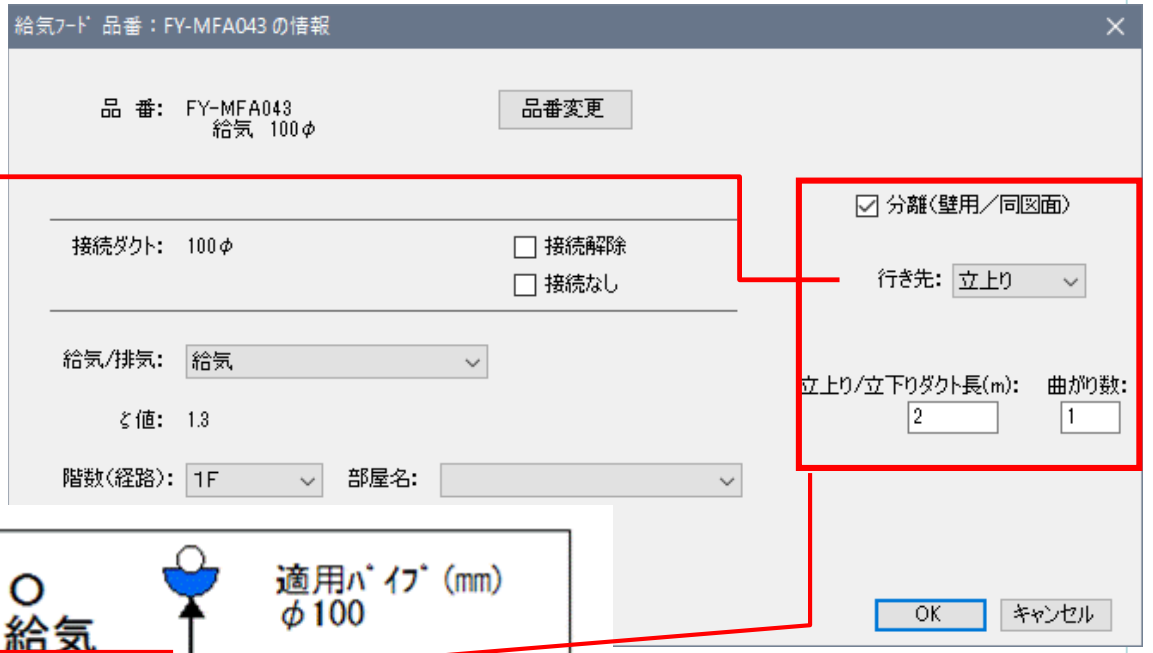
室外端末（屋外フード）にも、室内端末（グリル）の分離機能の一部を設定できます。

【例】ダクトを床下配管して、数m立ち上げてから室外端末を設置する場合等の表現時に活用

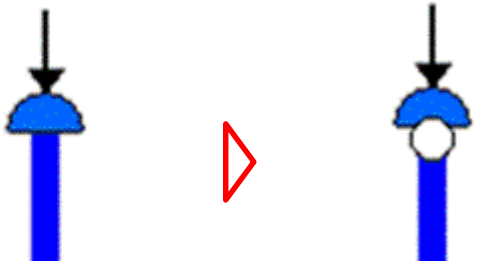
<プランニング－室外端末の情報表示ウィンドウ>

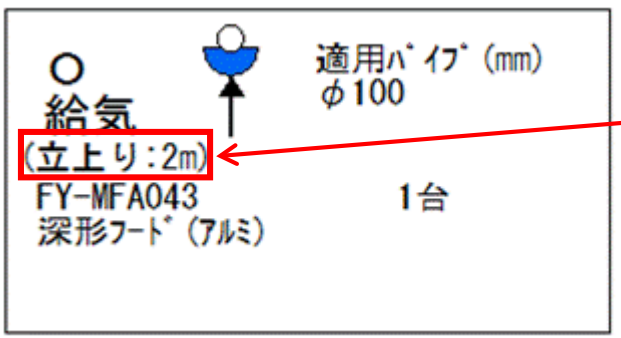


※凡例に記載される“立上り／立下り”を
選択できます。



<申請用／客先用プラン図>





※「分離（壁用/同図面）」の機能を使用すると
シンボル形状が変わります。
（室内端末と同様）

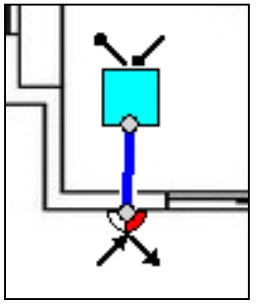
※室外端末の凡例を表示した場合、
縦ダクトとして設定した長さが表示されます。

（１５）Q-hiファン（天埋形）の部材設定

Q-hiファン（天埋形）の部材を設定します。
ダクトを作図した時点で自動的に設定されますので、通常は設定不要です。
必要な場合のみ変更します。

1. ダクトを作図します。

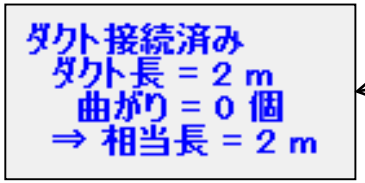
※作図する際、ダクトの材質はなんでもOKです。



2. 品番情報ウィンドウを表示します。

3. 部材の個数を確認して、必要があれば変更します。

選択中の部材の直管相当長が表示されます。
10m相当長を超えないようにご注意ください。

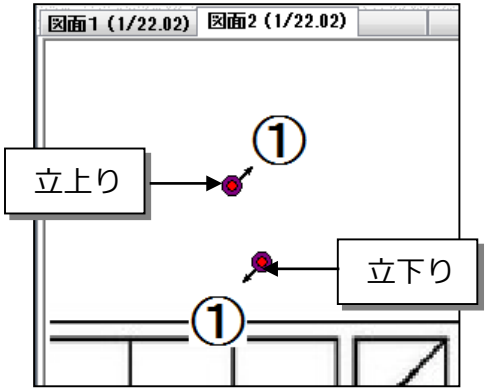


4. OK をクリックしてウィンドウを閉じます。

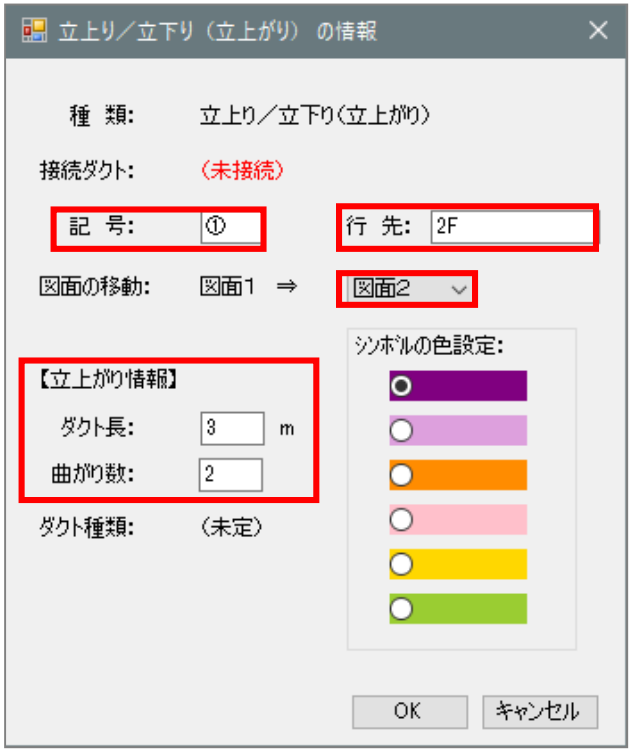
（１６）立上り／立下りの設定

立上り／立下りの設定をします。

1. 立上り／立下りのシンボルを図面に配置します。
※右上に矢印が伸びているのが「立上り」
左下に矢印が伸びているのが「立下り」です。

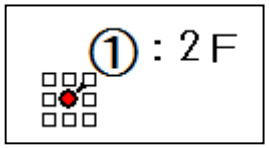


2. 情報ウィンドウを表示します。



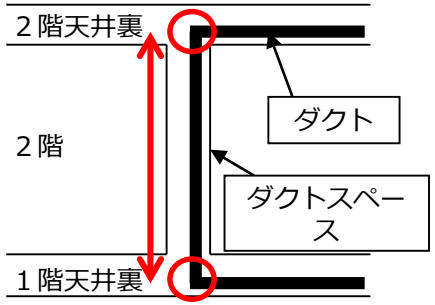
3. 必要に応じて、記号を変更します。

4. 必要に応じて、立上り／立下りの行先を入力します。
※行先を入力すると、シンボルの横に行先が表示されます。



5. 立上りと立下りを異なる図面に配置する場合は、図面の移動を設定します。
※図面の移動を設定すると、選択中のシンボルが他の図面に移動します。

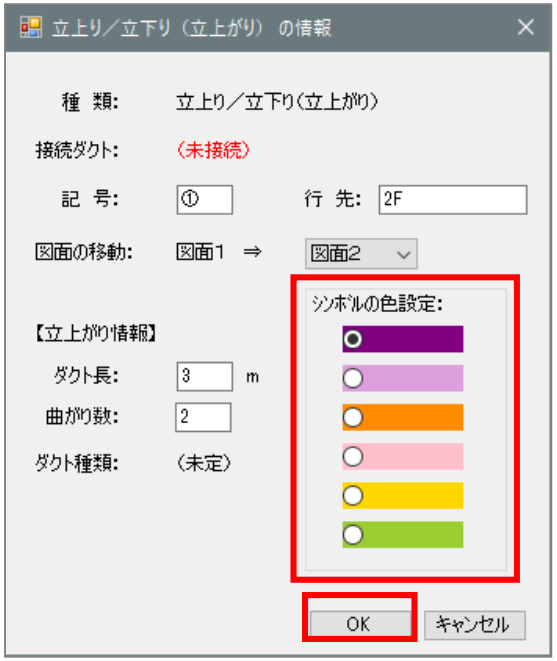
6. 立上り／立下り部分のダクト長さと曲り数を入力します。



7. 必要に応じて、シンボルの色を設定します。
（複数の立上り／立下りを配置する等。）

8. OK をクリックしてウィンドウを閉じます。

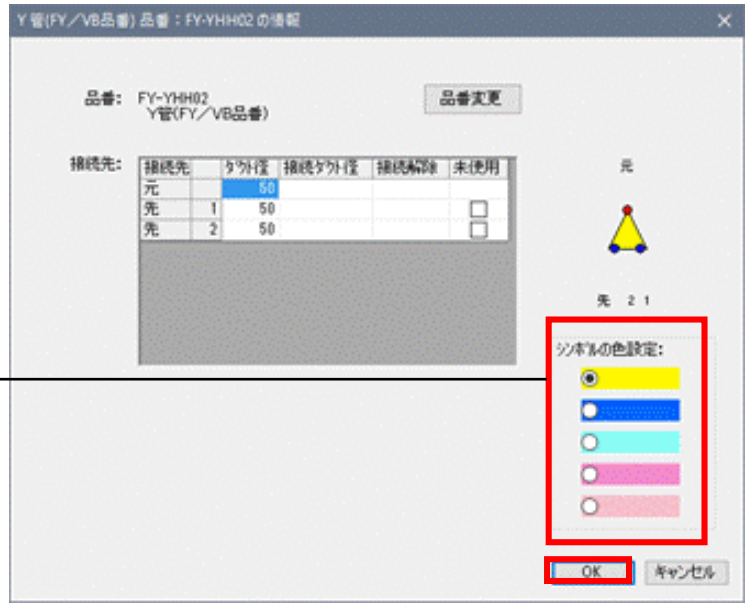
※立上がり情報は補助機能でも設定できます。
（「第２章　６－５．物件階高の設定」をご参照ください。）



（１７）シンボルの色設定

分岐部材および立上り／立下りのシンボルの色を変更します。

1. シンボルの色を選択します。



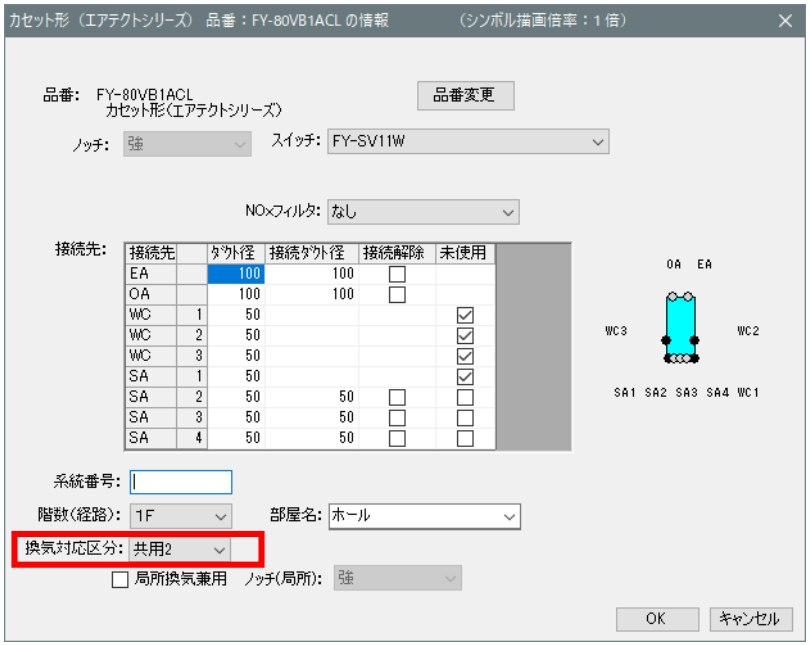
2. OK をクリックします。

（１８）換気対応区分の設定

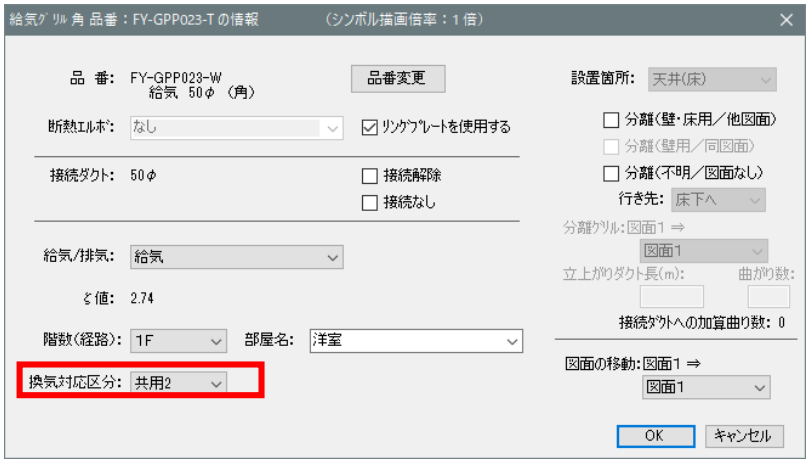
換気対応区分の設定内容を、本体機種、室内端末、室外端末の３種類を同じ設定にします。

1. 本体機種の「換気対応区分」を「共用２」に変更します。

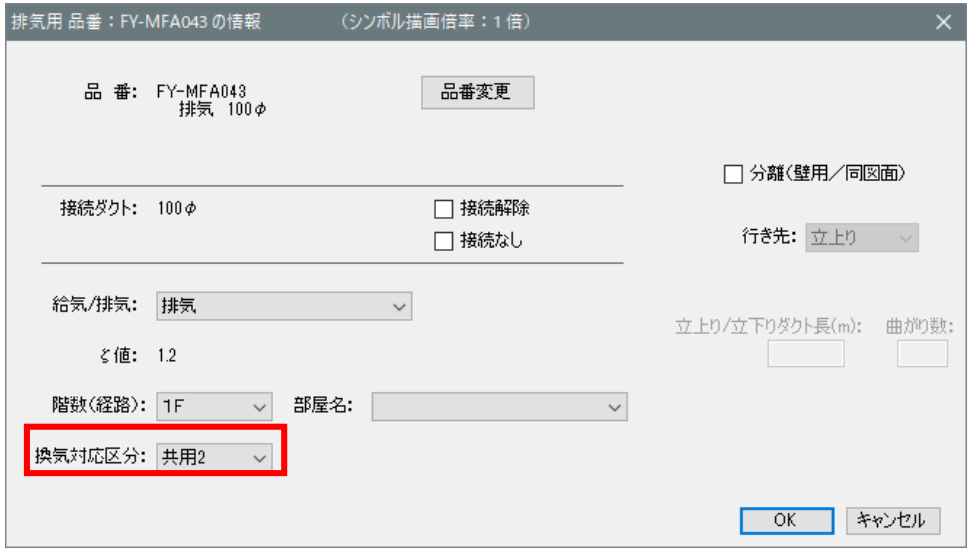
※共用換気エリアが３箇所以上ある場合は「共用３」以降を順次設定します。



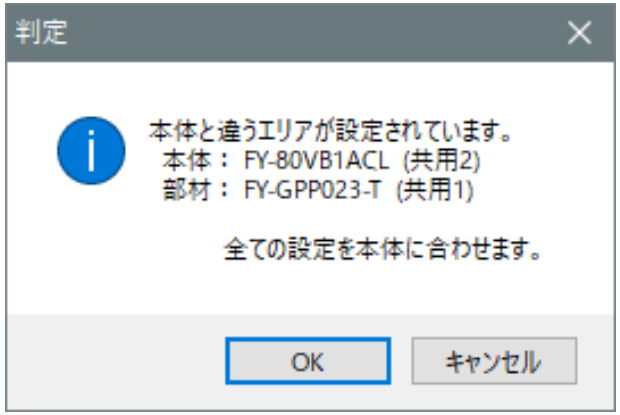
2. 室内端末の「換気対応区分」をダクト接続する本体機種の設定に合わせます。



3. 室外端末の「換気対応区分」をダクト接続する本体機種の設定に合わせます。



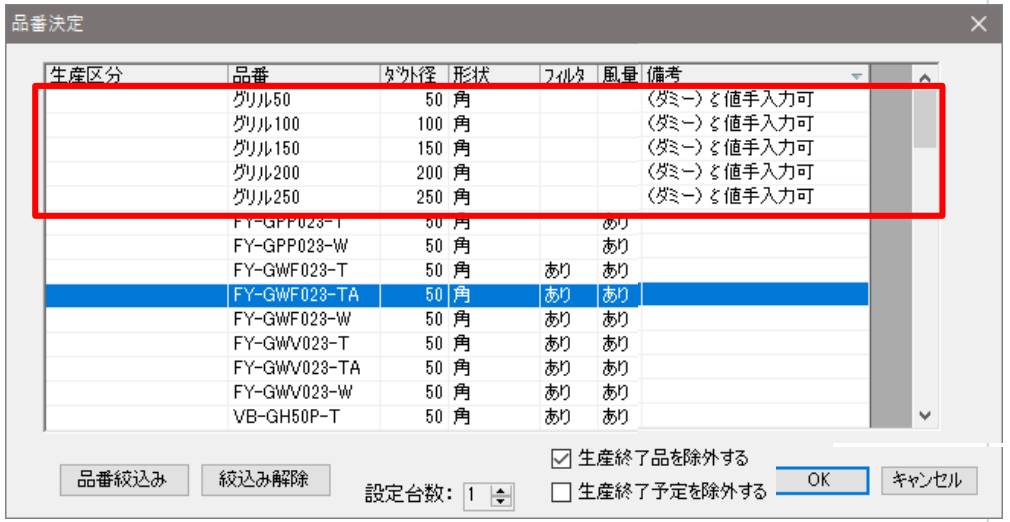
※本体機種、室内端末、室外端末の全てが同じ「換気対応区分」になっていないとメッセージが出ます。



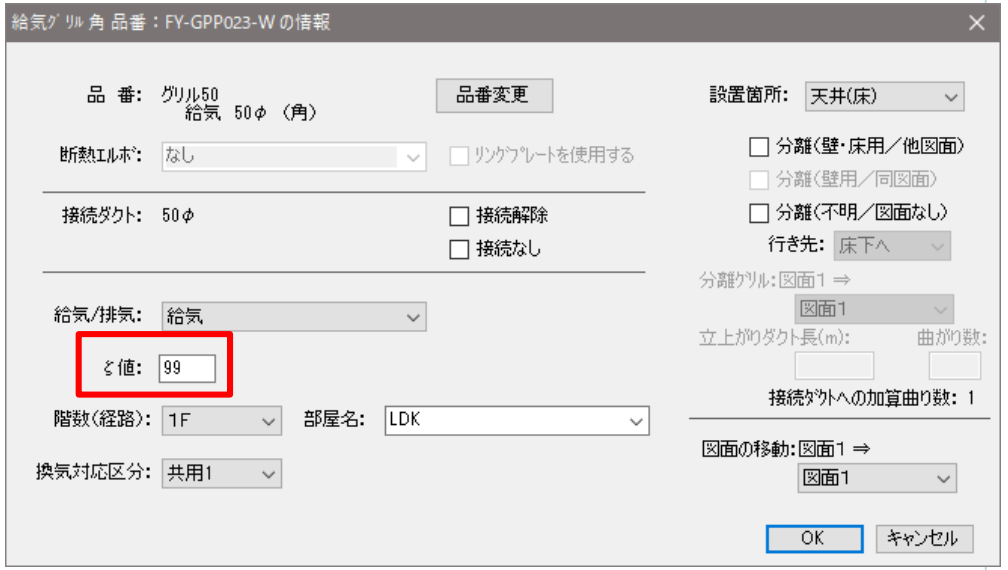
（１９）ζ値の手入力機能

グリル（給気／排気）

1. 品番一覧表からζ値手入力可のダミー品番を選択します。

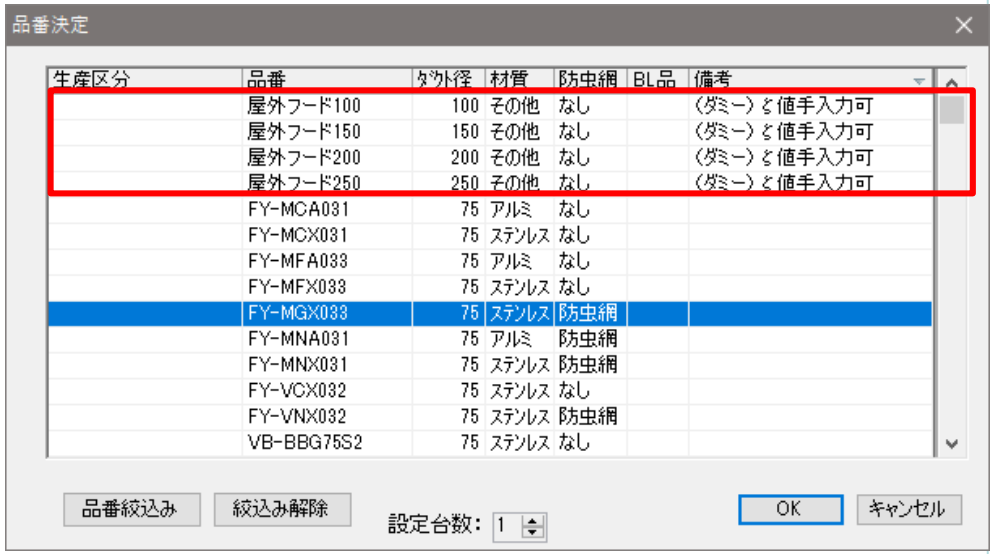


2. ζ値を入力します。

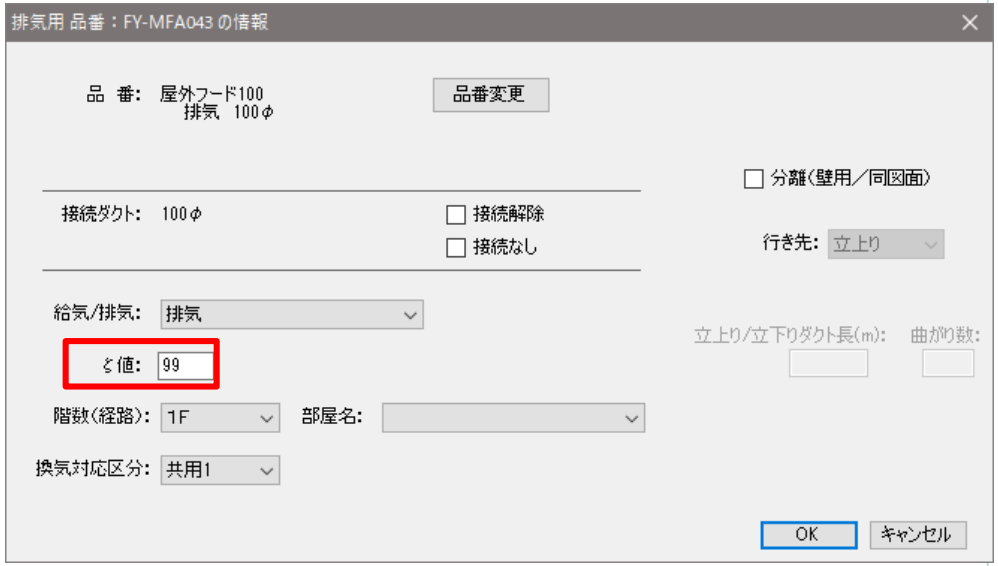


屋外フード（給気／排気）

1. 品番一覧表からζ値手入力可のダミー品番を選択します。

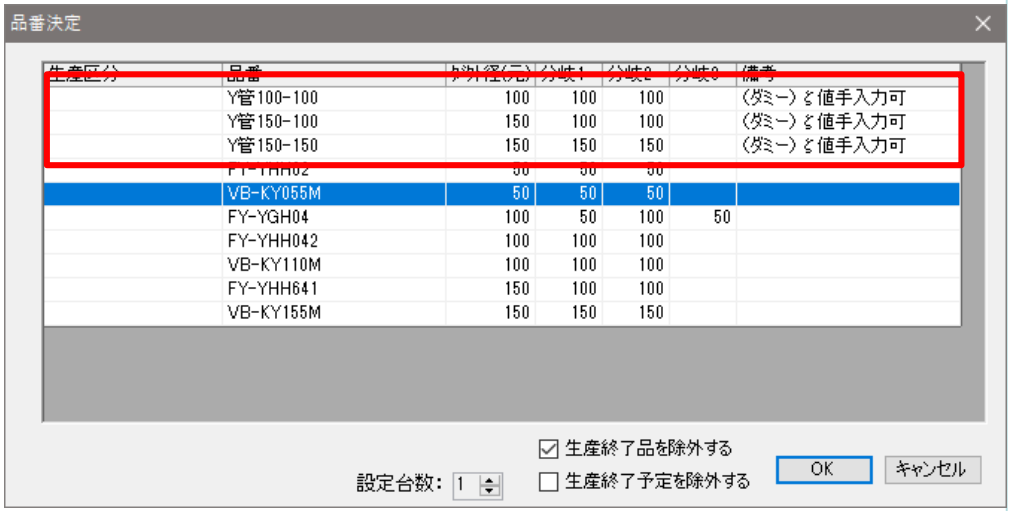


2. ζ値を入力します。

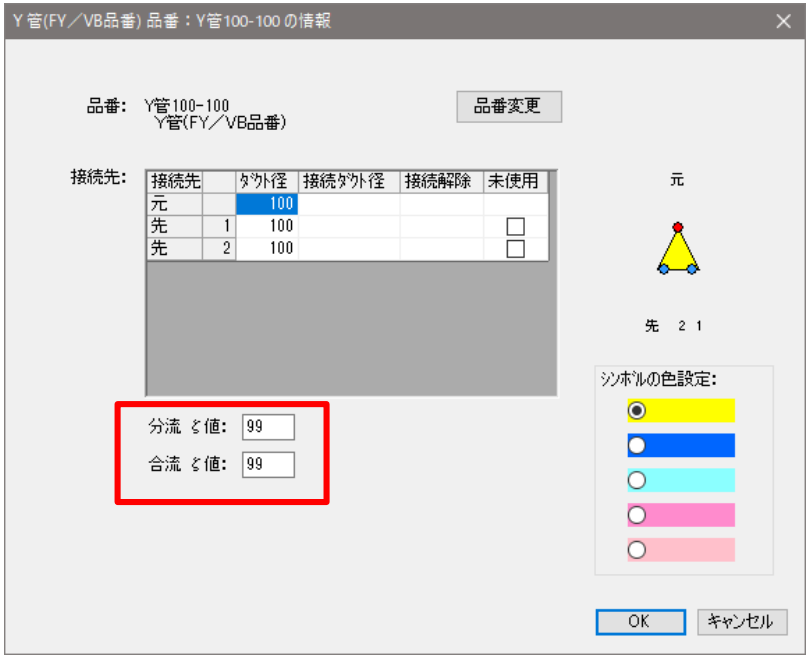


Y管（FY／VB品番）

1. 品番一覧表からζ値手入力可のダミー品番を選択します。



2. ζ値を入力します。



８－１２．シンボル記号

申請用プラン図・客先用プラン図で表示される機器の シンボル記号位置を変更したい場合に使用します。（記号が重なって見えない等）

（１）シンボル記号の仮表示

申請用プラン図・客先用プラン図において、機器の凡例を作成します。その際、機器のシンボル記号がどのように表示されるかを確認します。

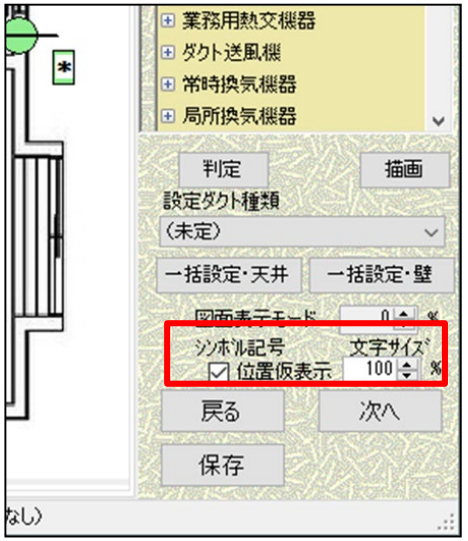
・「シンボル記号の仮表示」にチェックを入れます。

※仮表示なので、記号はすべて「＊」で表示されます。
　実際のシンボル記号はアルファベットです。

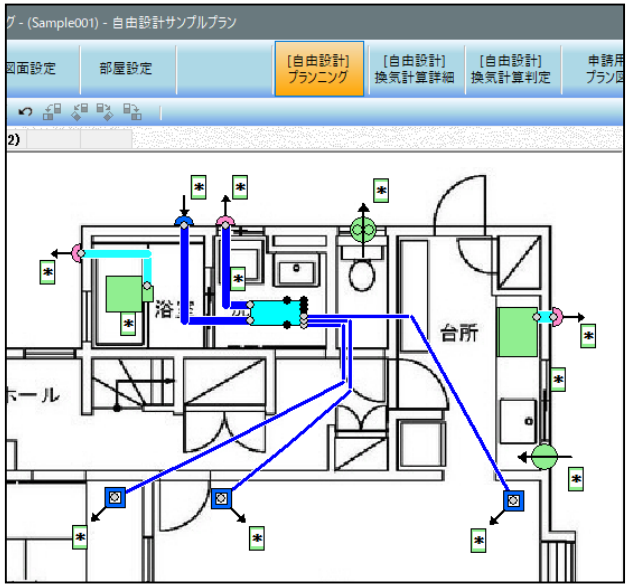
（２）シンボル横の凡例記号の表示倍率設定する機能

画面右下の、凡例記号の文字サイズの倍率を変更します。

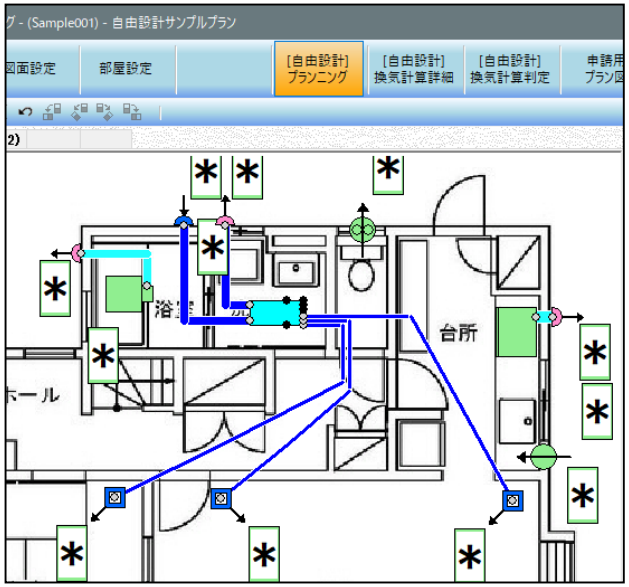
※ここで変更したサイズは、申請用／客先用プラン図に反映されます。



＜凡例記号サイズ：100%＞



＜凡例記号サイズ：300%＞



（３）シンボル記号の位置調整

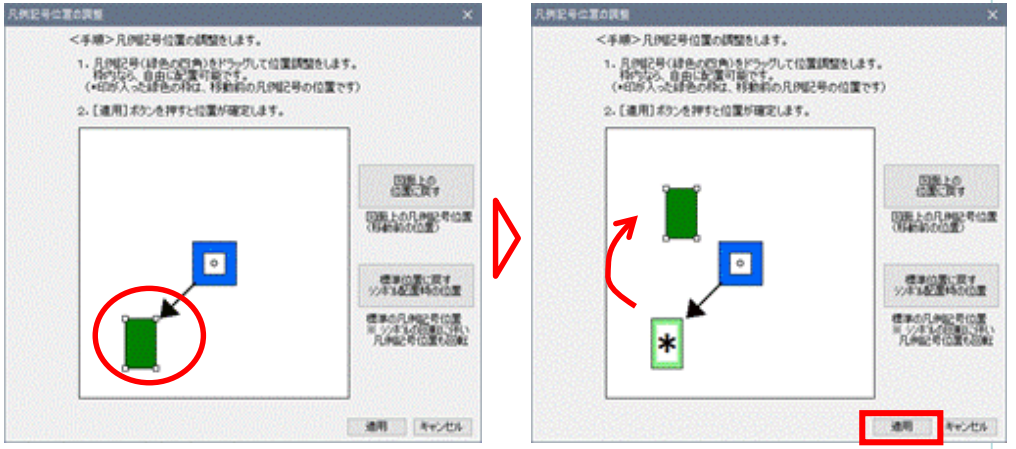
1. 記号位置を調整したいシンボルを選択して右クリックします。

2. ［記号位置の変更］をクリックします。
（または機器を選択した状態で、Ｋキーを押します。）

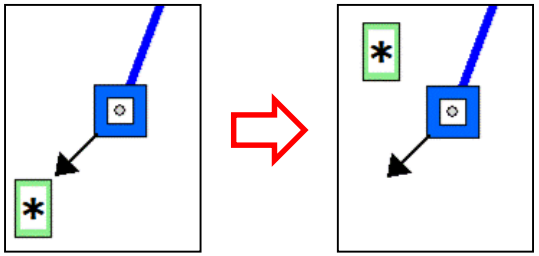
3. 緑色の四角が現在の凡例記号位置になります。（赤丸）
これをドラッグして任意の位置に移動させ **適用** をクリックします。

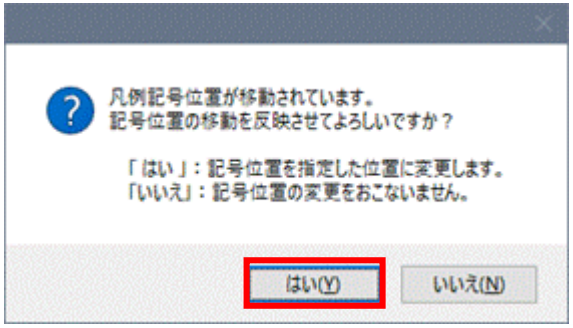
※白枠が移動可能な範囲です。

※位置を戻す場合は **図面上の位置に戻す** または **標準位置に戻す シンボル配置時の位置** をクリックします。



4. 確認のメッセージが出ますので **はい** クリックします。





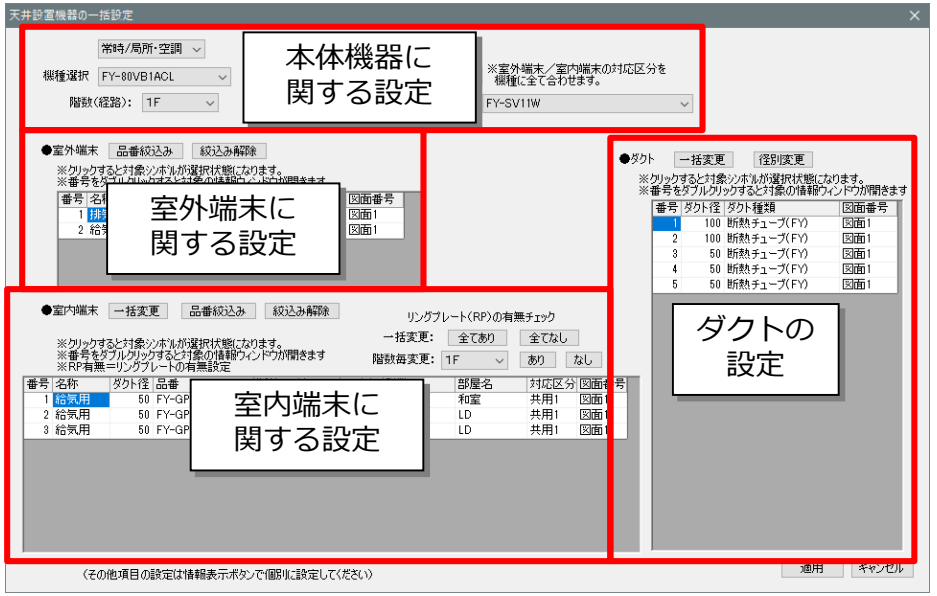
８－１３．その他の機能

（１）一括設定・天井

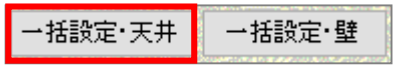
天井に設置する機器について、室内端末の設置部屋名を設定したり、ダクト種類を変更したりします。

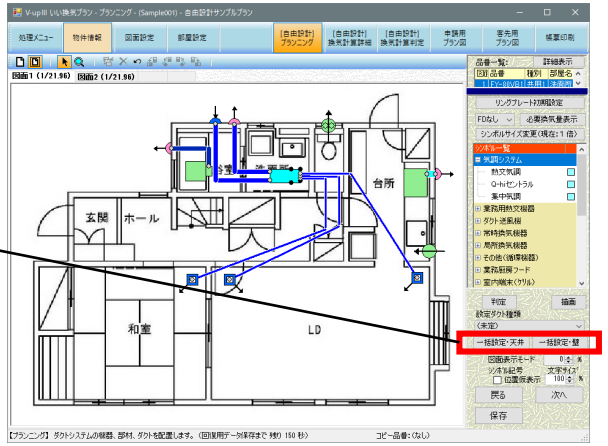
【一括設定・天井の機能】

・本体機器に対して、部屋名を設定する
・室内端末に対して、部屋名を設定する
・室外端末の品番を変更する
・室内端末の品番を変更する
・室内端末のリングプレートの有無を設定する
・接続済みのダクトの径および材質を変更する



1. **一括設定・天井** をクリックします。





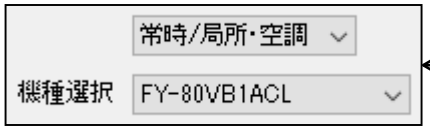
［天井設置機器の一括設定］のウィンドウが開きます。

2. 常時または局所いずれかの機器を選択します。

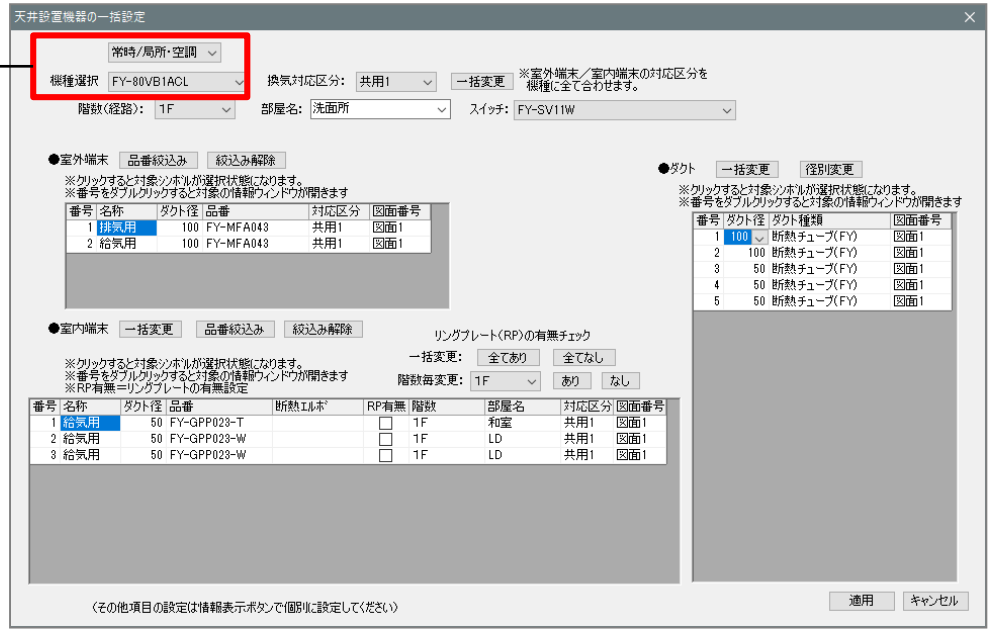
※選択することで機器の絞り込みができます。

3. 設定をおこなう機種を選択します。

※プランニング画面には、選択した機種を配置した図面が表示されます。



※データが表示されるまで、少し時間が掛かる場合があります。



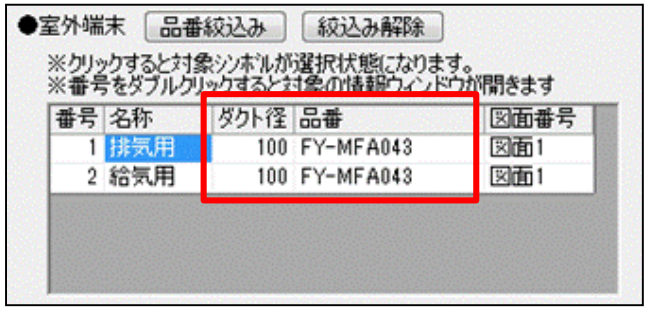
【本体機器に関する設定】

① 階数を修正します。
② 換気対応区分を変更します。
③ 部屋名を設定します。

<u>個別換気をおこなう場合は、必ず換気対応区分を「個別」に変更し、部屋名を選択します。</u>

【室外端末に関する設定】

品番を個別に変更します。
プルダウンリストより選択します。



※ダクト径の異なる品番に変更する場合は先にダクト径を選択します。

【室内端末に関する設定】

① 品番を個別に変更します。
プルダウンリストより選択します。

※ダクト径の異なる品番に変更する場合は、先に
ダクト径を選択します。

② 品番を一括変更します。（変更例は下記）

※操作方法は次ページ◉をご参照ください。

③ 断熱エルボの品番を選択します。
プルダウンリストより選択します。

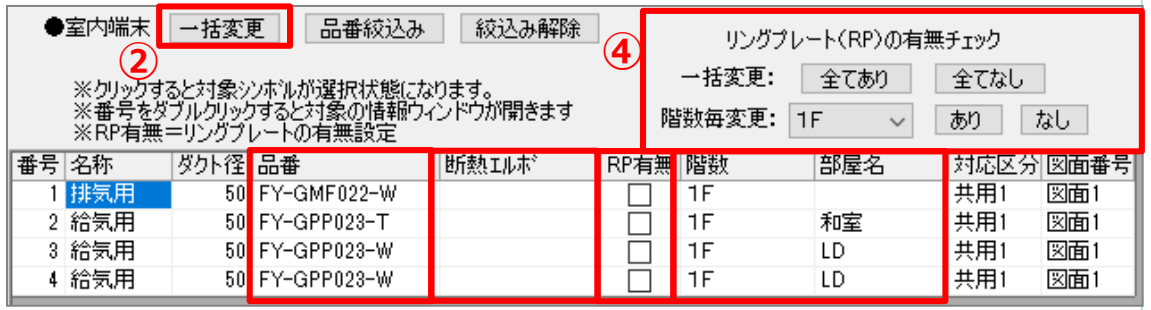
※断熱エルボの有無を選択できる品番のみです。

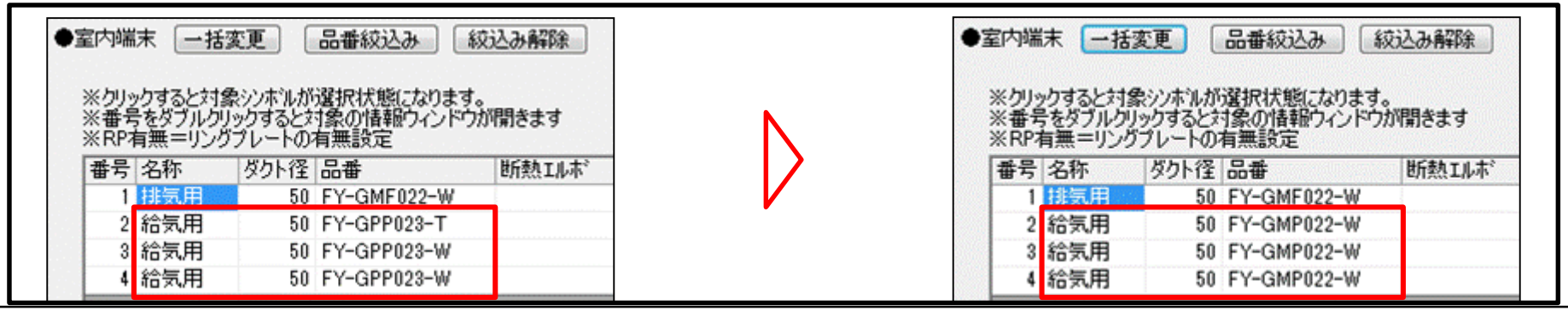
④ リングプレート（RP）の有無を設定します。
有の場合は、チェックを入れます。

※ **全てあり** **全てなし** をクリックすることで
一括設定が可能です。

※階数毎での変更も可能です。

⑤ 室内端末を設置した階数・部屋名を設定します。





◉品番を一括変更する方法

① 一括変更 をクリックします。
品番一括変更ウィンドウが表示されます。

② 名称を選択します。

③ ダクト径を選択します。

※②で選択した名称で、かつ、③で選択したダクト径の品番が変更されます。

④ 変更後の品番を選択します。

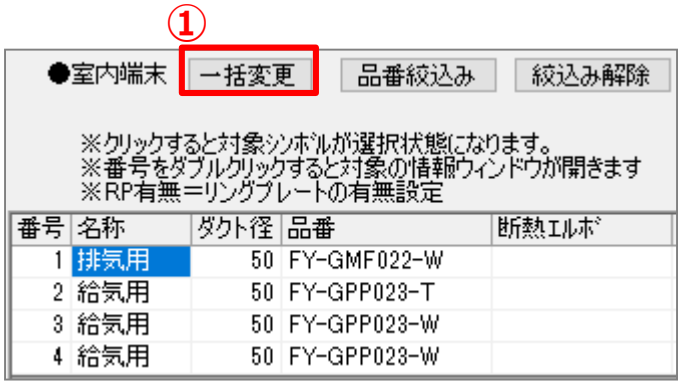
⑤ 断熱エルボの品番を選択します。

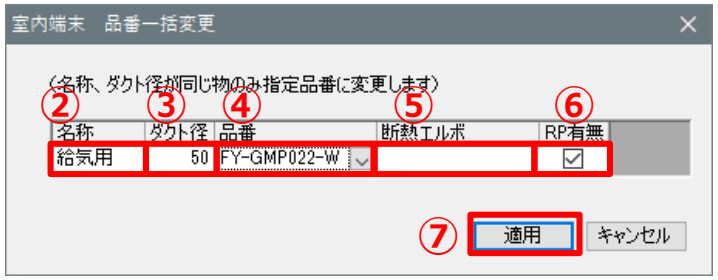
※断熱エルボを装着可能な品番のみ。

⑥ リングプレートの有無を選択します。
有の場合は、チェックを入れます。

※リングプレートの使用が可能な品番のみ。

⑦ 適用 をクリックします。





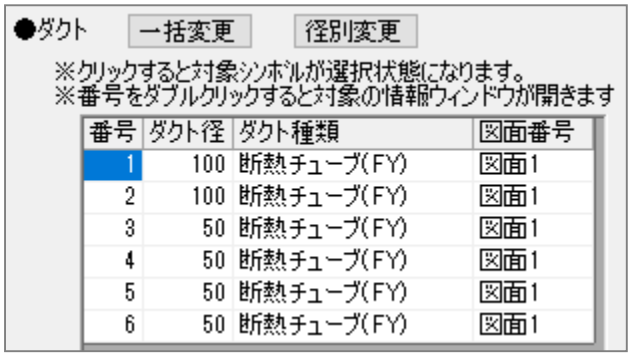
【ダクトの設定】

① ダクトの径を変更します。

② ダクトの種類を変更します。

※ 一括変更 を使用すると、すべてのダクトを一度に変更できます。

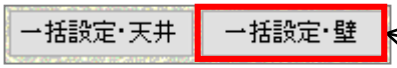
※ 径別変更 を使用すると、同じ径のダクトを一度に変更できます。



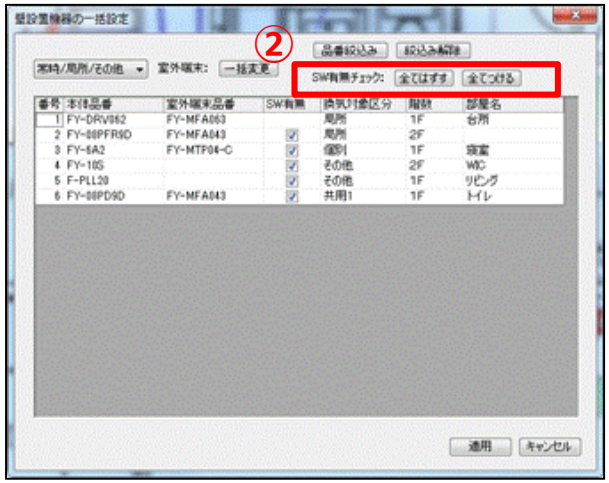
（２）一括設定・壁

壁に設置する機器について、室外端末の品番変更や部屋名の設定をします。

・ **一括設定・壁** をクリックします。



［壁設置機器の一括設定］のウィンドウが開きます。



【一括設定・壁の機能】

① 室外端末品番を変更します。

② スイッチ必要／不要を変更します。

③ 換気対象区分を変更します。

（共用⇔個別の切り替えのみ可能）

④ 機器を設置する階数・部屋名を設定します。

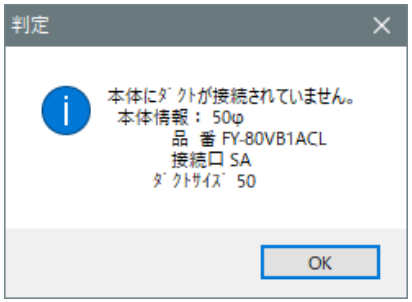
個別換気をおこなう機器は、必ず換気対象区分を「個別」に変更し、部屋名を選択します。

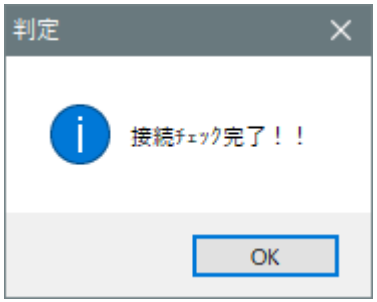
（3）判定

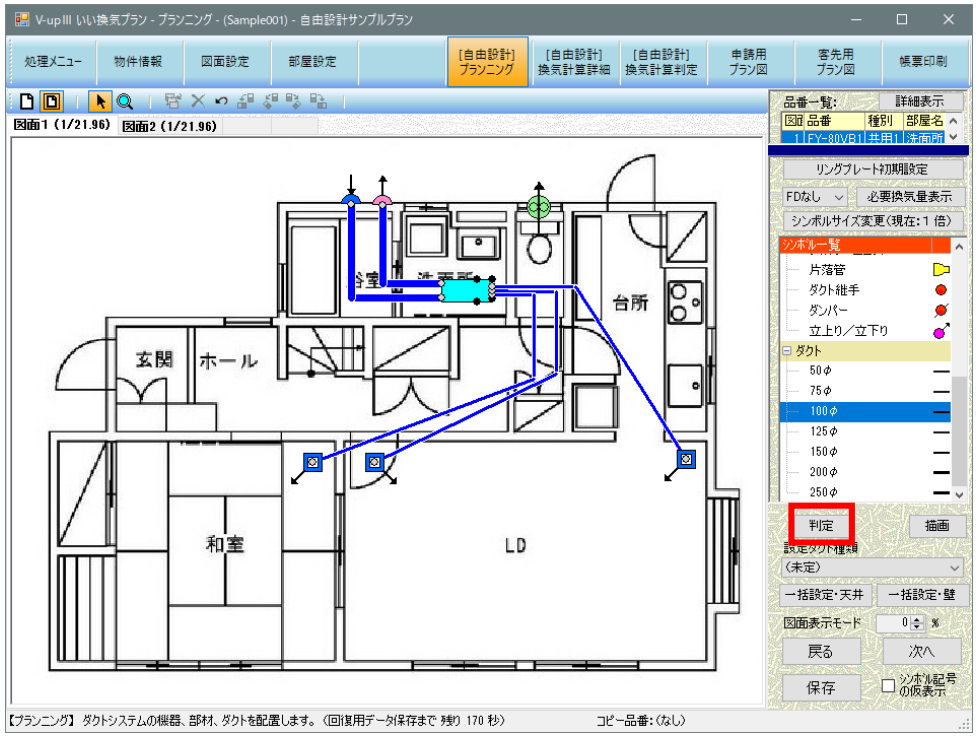
ダクトが正しく接続されているかを判定します。

1. 判定 をクリックします。
2. 「接続チェック完了！！」の文字が表示されたら正しく接続されています。
   不備があれば、その内容が表示されます。
3. OK をクリックしてメッセージを閉じます。

※不備がある場合は、メッセージを閉じた後、該当箇所 が選択された状態になります。







不備がある場合のメッセージ例と対処法のヒント

メッセージ	対処法のヒント
本体にダクトが接続されていません。	ダクトを接続していない接続点はありませんか？ ダクトを接続しない接続点に未接続設定はされていますか？ ダクトを接続した点は灰色に変わっていますか？ （正しく接続できていないと、接続点が灰色に変わりません。）
ダクトサイズが違います。	メッセージを閉じたときに選択されているダクトのサイズを変更してみましょう。
OA系統にEA用の部材が接続されています	メッセージに本体の風向と、部材の風向が表示されますので、参考にしてください。
チャンバーの配置が逆になっている箇所があり計算できません。	分岐管の使用風向には制限を設けています。 例えば室内へ給気する経路で、風を収束させるような使い方はできません。

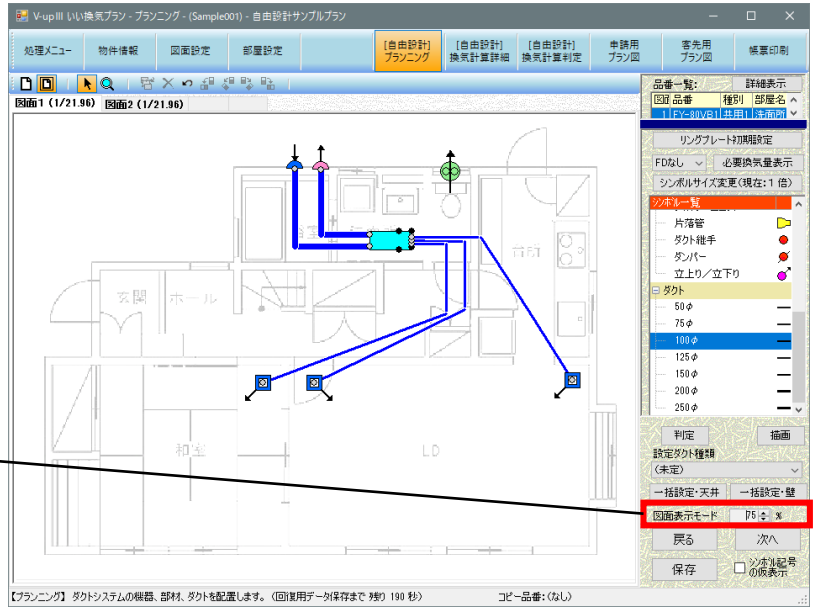
（４）図面表示モード

平面図を薄く表示、または非表示にします。

1. 図面表示モードで「0%、25%、50%、75%、100%」を選択します。

   （0%=通常表示、100%＝透明）

2. 元に戻すには「0%」を選択します。

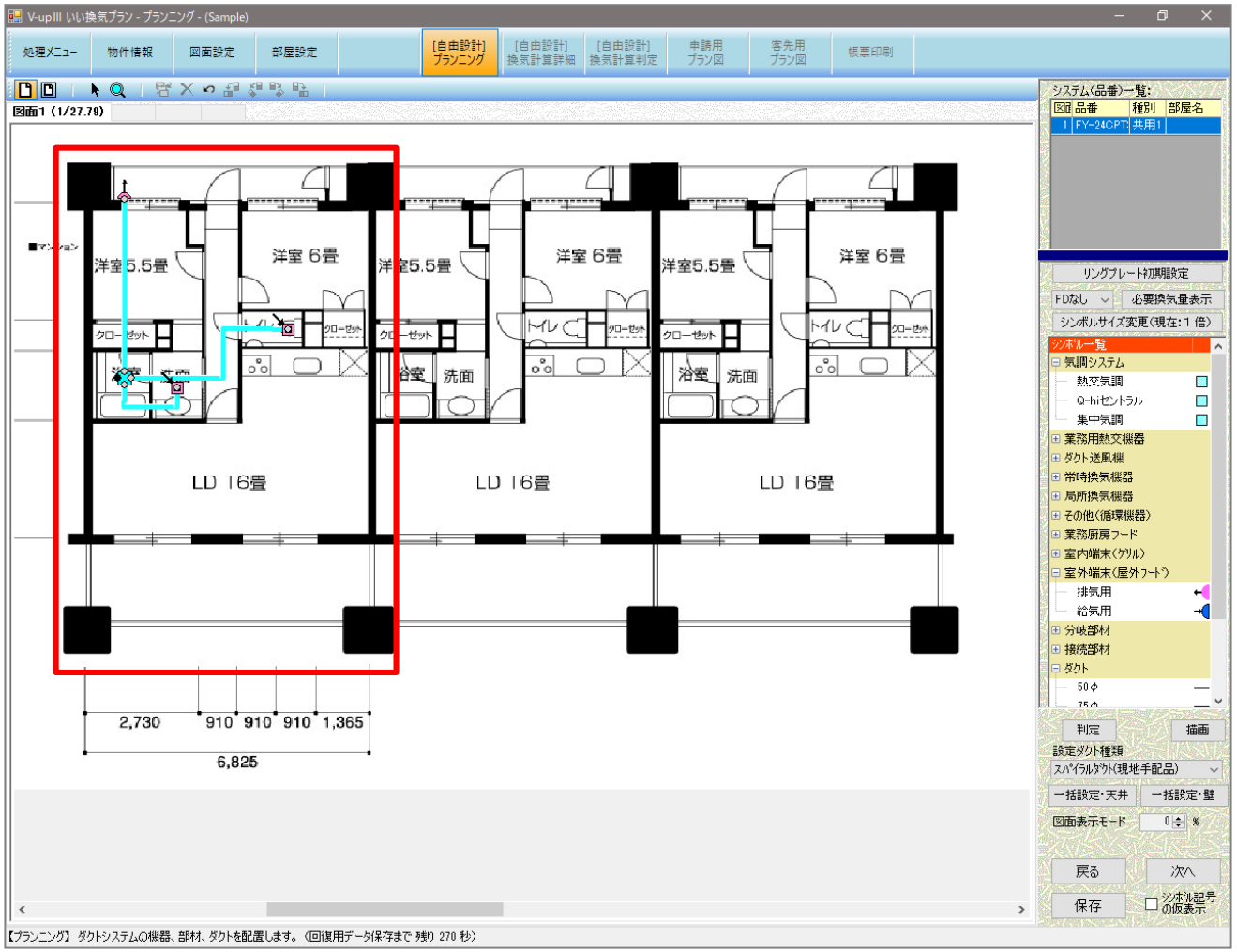


（５）シンボル（ダクトや端末シンボル含む）の一括コピー機能

限定的なシンボル（ダクトや端末シンボル含む）の一括コピー機能です。

下図のサンプルのように集合住宅等で、同じ間取りで、同じ機種を配置する場合に使用します。

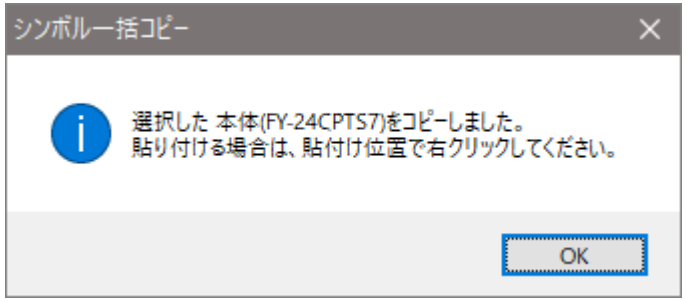
【例】赤枠の部屋の機器を、右２部屋にも配置したい。



1. 一括コピーしたい本体シンボルを右クリックします。

2. 表示メニューから「シンボル一括コピー」を選択します。

※コピーができると、コピー完了メッセージが表示されます。

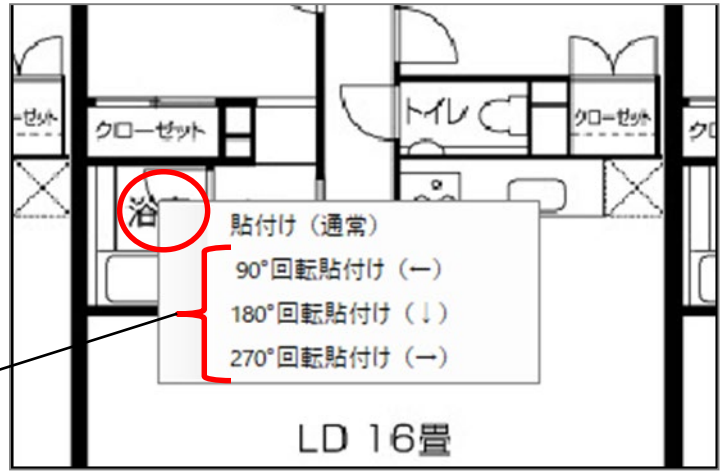


・「シンボル一括コピー」が
灰色で選択できない場合（右図）

該当シンボルは一括コピー対象外です。

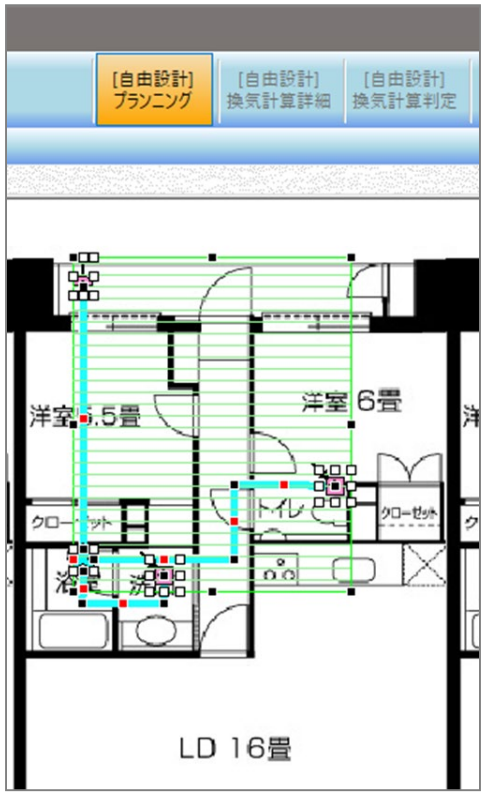
3. シンボルをコピーしたい位置で、右クリックをします。

※機器シンボルを配置する位置。
（サンプルは、浴室で右クリック。赤丸の位置。）



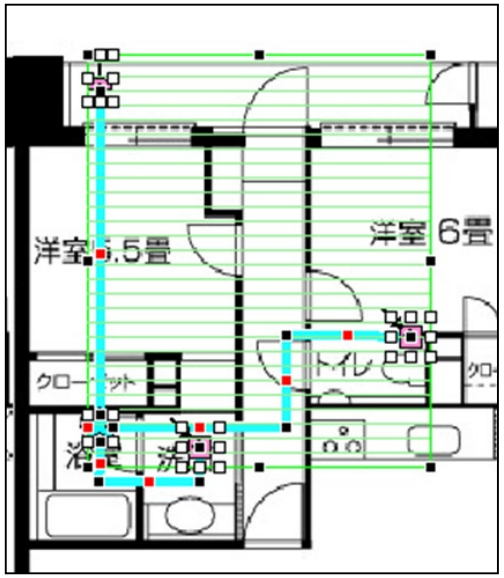
4. 貼付け方法のメニューが表示されるので、貼り付けたい方法を選択します。

※サンプルは「貼付け（通常）」を選択したものです。

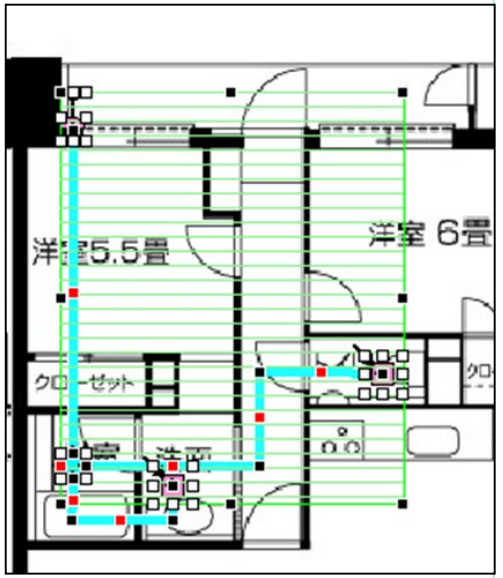


5. 貼り付けたシンボルの位置を調整します。

シンボルの移動方法は、通常操作と同じです。
（マウスでのドラッグや、キーボードでの操作）



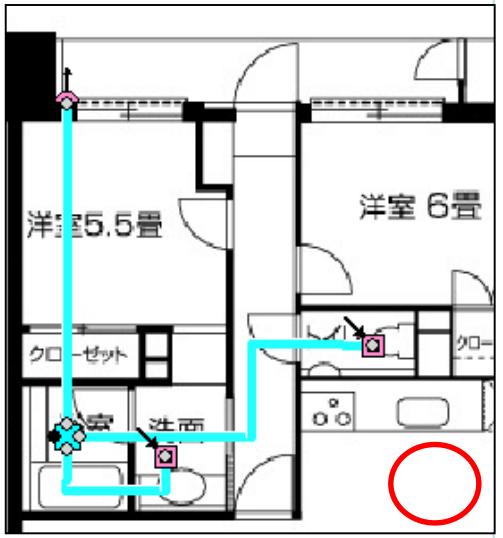
位置を左下へ
少し移動



6. シンボルがなにも配置していない図面を左クリックします。（赤丸位置など）

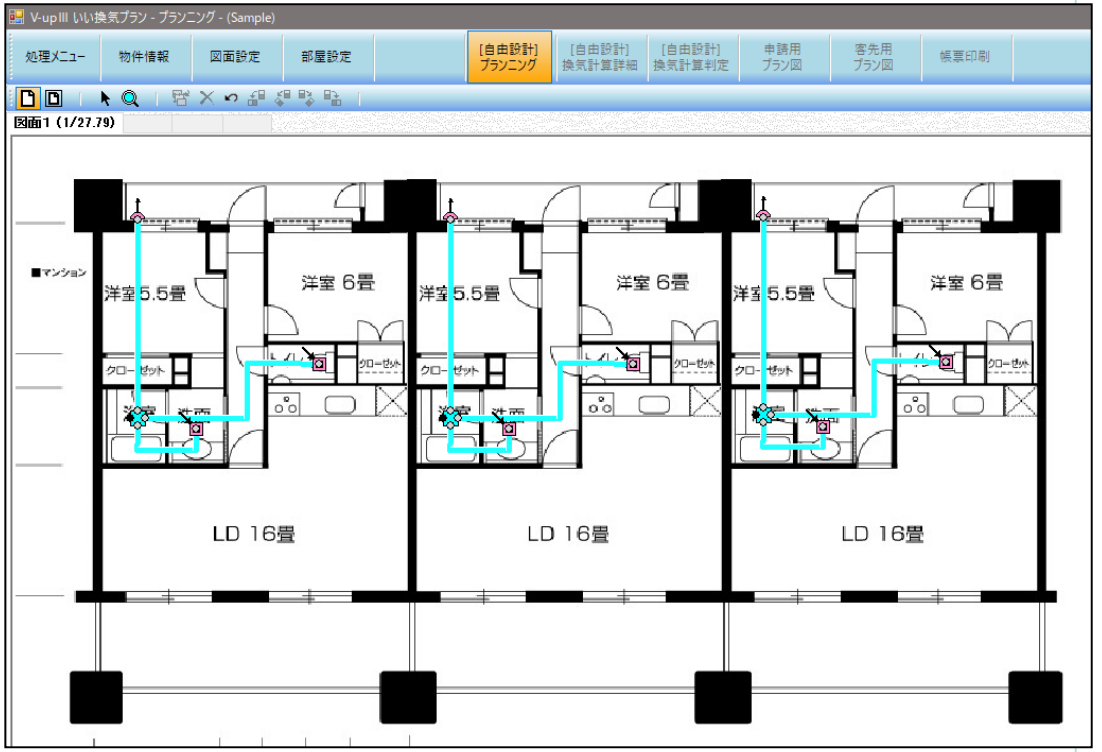
選択枠（緑色の格子）が消えて、貼り付けたシンボルが確定します。

※確定後は通常の操作と同様に、シンボルの位置やダクトの引き直しなどが出来ます。



7. コピーしたい数だけ、手順３～６を繰り返します。

機器を一括コピーして、２回貼り付ける事により
３部屋とも同じ機器を配置できました。



◉一括コピーが可能シンボル

壁設置シンボル（パイプファン、自然給気口など）、天井埋込形換気扇
レンジフード、バス換気乾燥機、バスルームコンディショナー

◉一括コピー可能条件

標準的な配管をしている事。

※本体からグリルの途中で分岐管を使用していない。

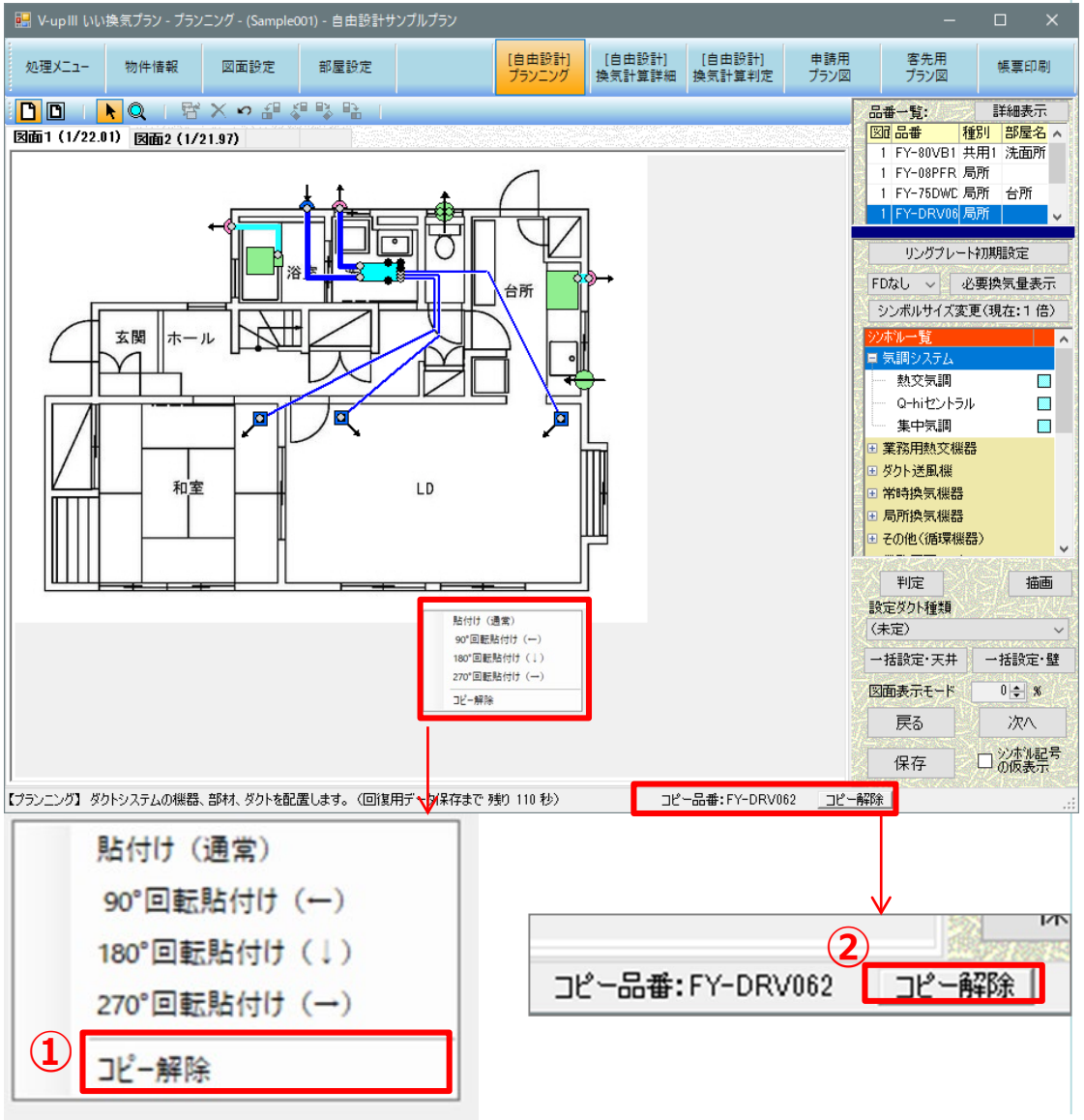
※立上り／立下りシンボルを使用していない。など

（６）シンボルの一括コピー解除機能

シンボル（ダクトや端末シンボル含む）の一括コピー解除機能です。

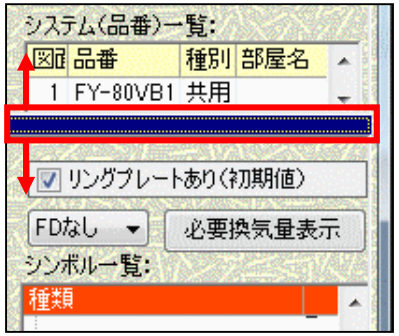
1. シンボル一括コピー機能を使用した後、
図面上で右クリックをするとメニューの
下部に「コピー解除」の項目が表示される
のでクリックします。

2. シンボル一括コピー機能を使用するとウィンドウ
下部に、現在コピー対象の品番と「コピー解除」
ボタンが表示されます。

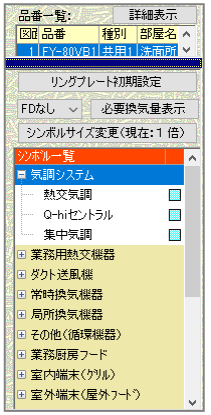


（７）シンボル一覧の表示領域変更

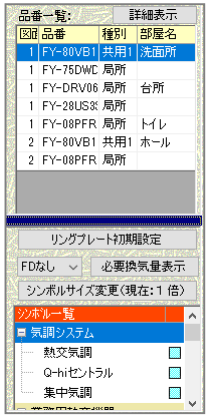
シンボル一覧の上にある青い線を上下にドラッグするとシンボル一覧の領域を変更することができます。



紺色バーを最上位置へ →



紺色バーを下へ移動 →

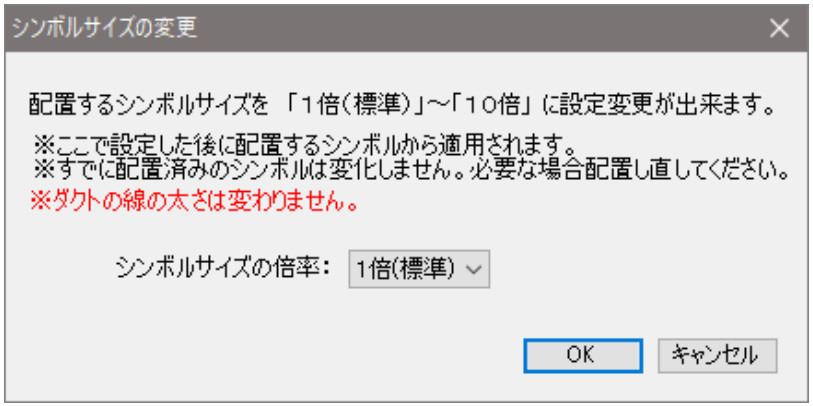


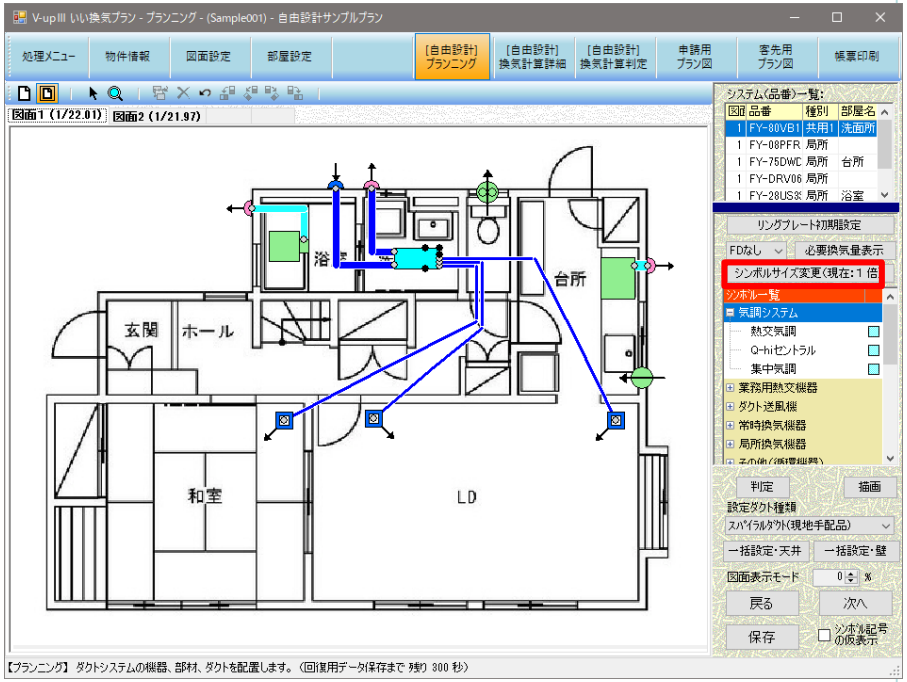
（８）シンボルサイズの倍率（1～10倍）設定機能

シンボルサイズの倍率（1～10倍）設定機能です。

非住宅図面等でシンボルを配置すると、小さくて見えない場合に使用します。

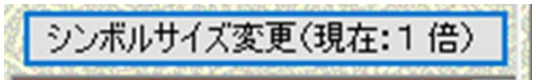
1. ［自由設計］プランニング画面 **シンボルサイズ変更(現在:1倍)** ボタンを押します。
2. シンボルサイズ変更ウィンドウが表示されるのでシンボルサイズ（１～１０倍）を変更します。

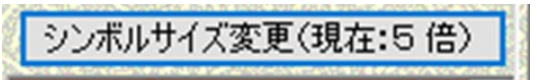




・シンボルのサイズは、設定後に配置するシンボルから適用されます。
　既に配置済みのシンボルのサイズは変わりません。

・ダクトの線の太さについては変更されません。

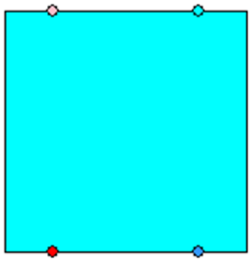


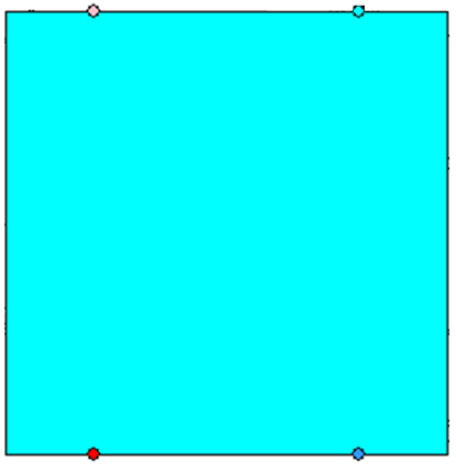


※ボタンに現在設定している倍率が
　表示されます。

１倍…前バージョンまでのサイズです。

　　実際のサイズに近い大きさと
　　なっています。



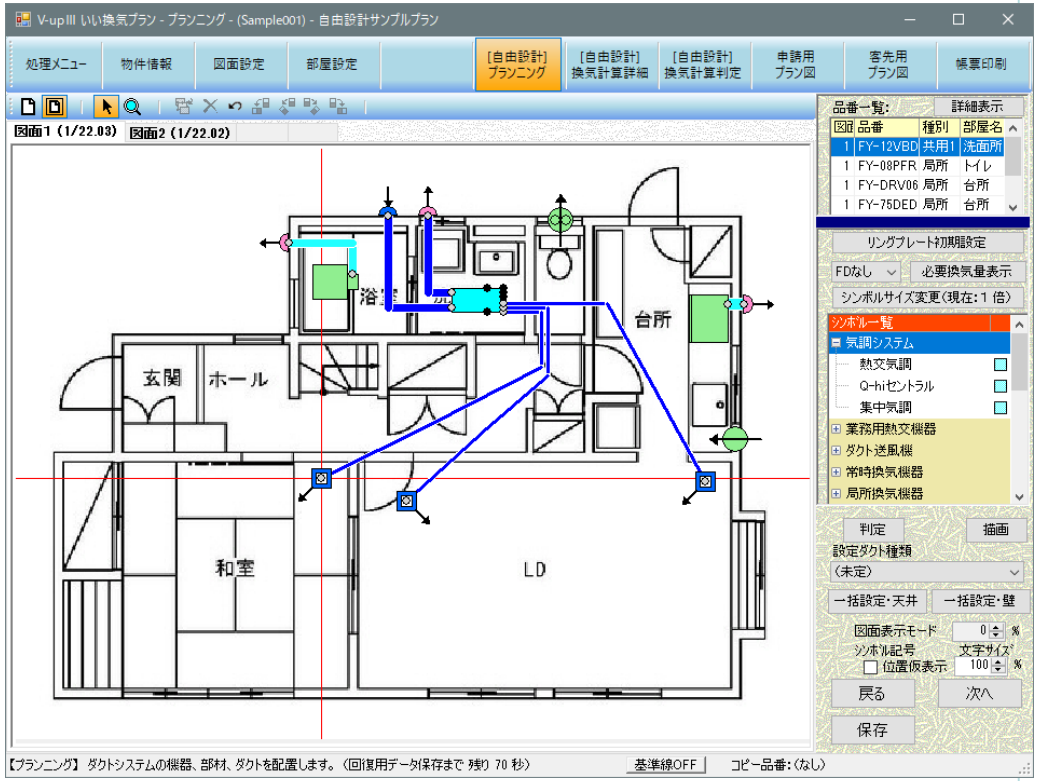


（９）シンボル整列用の基準線表示機能

1. 基準位置とするシンボルを右クリックして、
メニューから「基準線描画ON」を選択します。

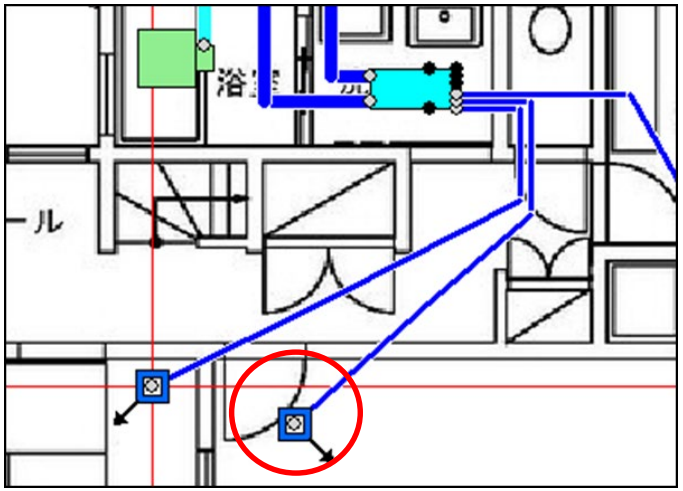
※基準位置に出来るシンボルはダクトを除く全ての機器、
部材シンボルとなります。

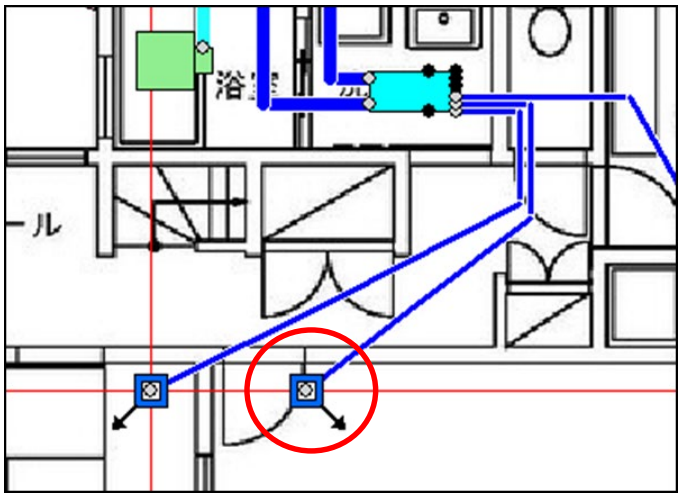
「基準線描画ON」にすると、シンボルの中心から
縦と横に赤線が表示されます。



2. 表示された基準線上に位置を揃えたいシンボルを
配置すると、位置が微調整されます。

グリルのシンボル（赤丸）を、基準線の位置にドラッグして
移動させる。

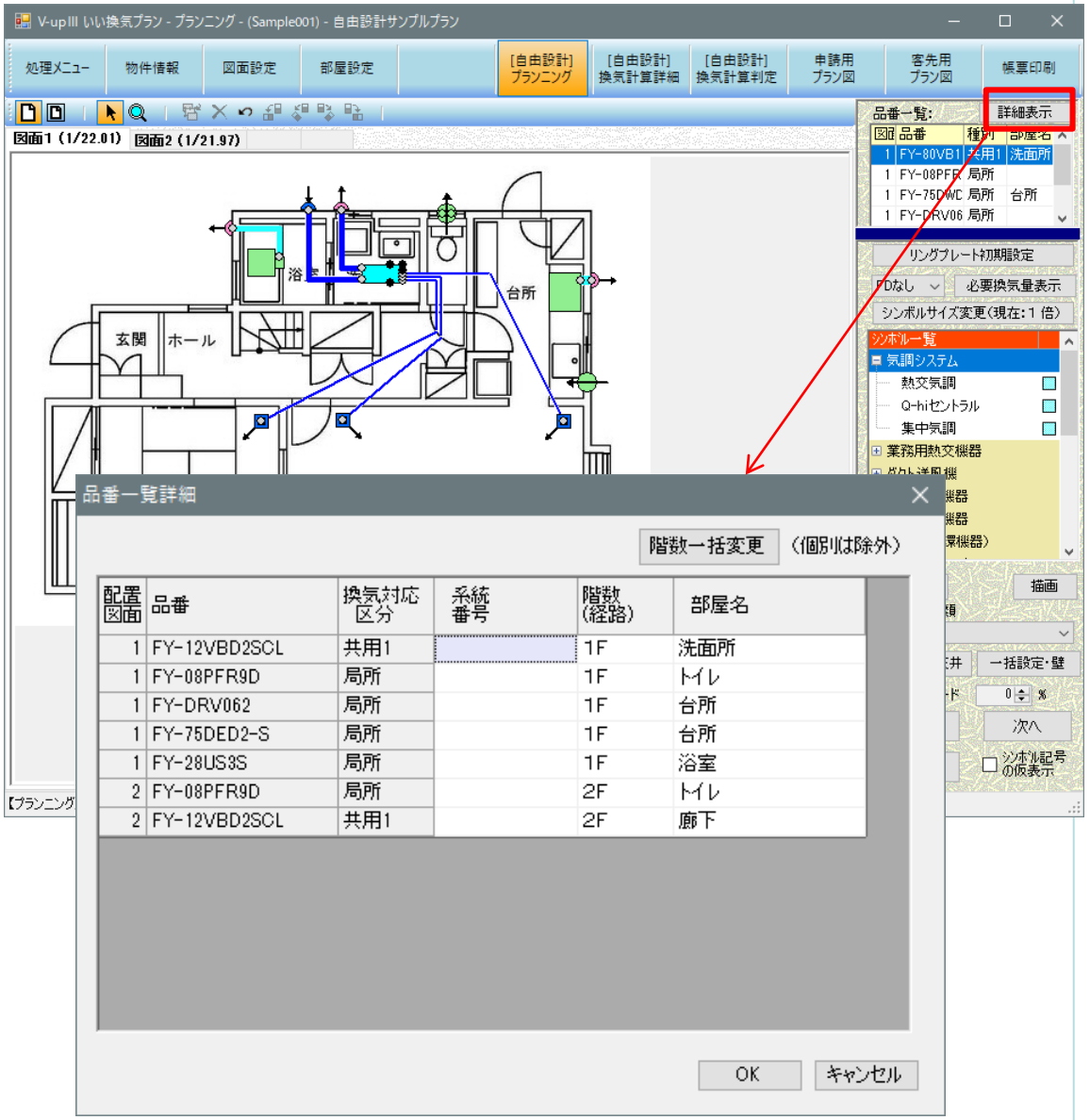




位置が微調整されて、基準線上にシンボルが整列します。

（１０）品名一覧の［詳細表示］機能

下図赤枠のボタンを押すとウィンドウが表示され、
系統番号、階数、部屋名を入力する事ができます。

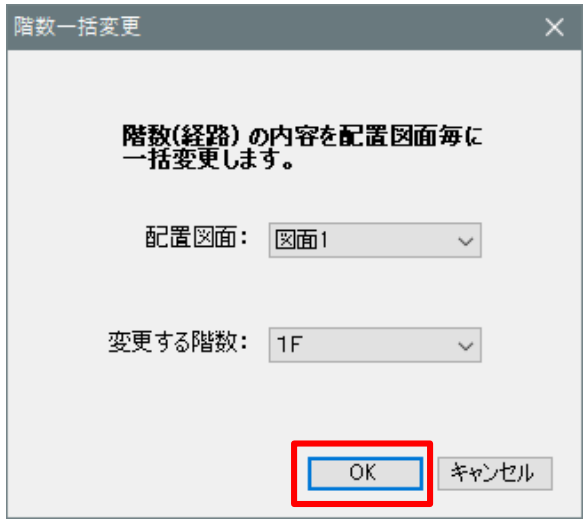


配置図面	品番	換気対応区分	系統番号	階数(経路)	部屋名
1	FY-12VBD2SCL	共用1		1F	洗面所
1	FY-08PFR9D	局所		1F	トイレ
1	FY-DRV062	局所		1F	台所
1	FY-75DED2-S	局所		1F	台所
1	FY-28US3S	局所		1F	浴室
2	FY-08PFR9D	局所		2F	トイレ
2	FY-12VBD2SCL	共用1		2F	廊下

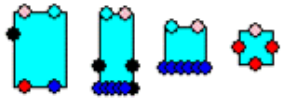
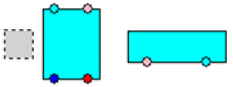
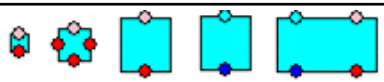
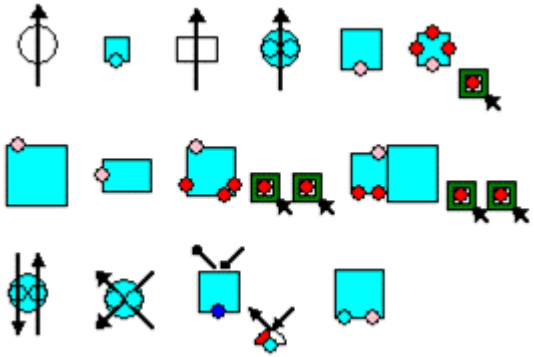
【階数を一括変換する機能】

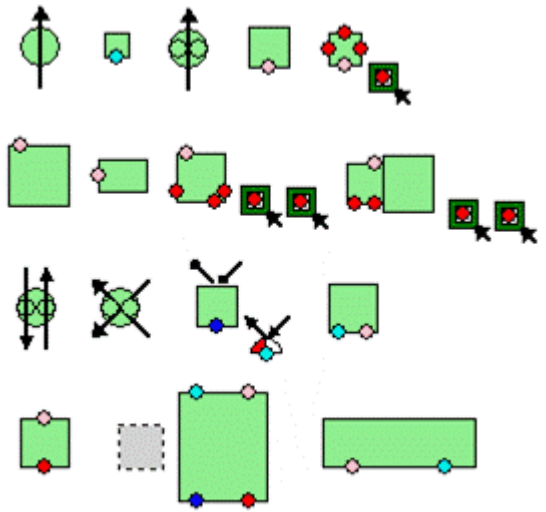
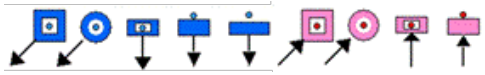
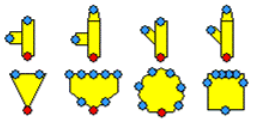
1. プランニング画面の右上の **詳細表示** ボタンを押します。
部屋名入力ウィンドウが表示されるので **階数一括変更** ボタンを押します。

2. 階数一括変更ウィンドウが表示されるので、図面毎に変更する階数を選択して **OK** ボタンで変更します。



（１１）シンボル一覧

気調システム	熱交気調 Q-hiセントラル 集中気調	
業務用熱交機器	業務用熱交ユニット ※灰色の四角は点検口位置 （印刷時は白色の四角）	
ダクト送風機	中間ダクトファン キャビネットファン	
常時換気機器	自然給気口 自然給気口（天井形） 換気框 パイプファン 天井埋込形換気扇 レンジフード バス換気乾燥機 バスルームコンディショナー Q-hiファン Q-hiファン（天埋形） 気調・熱交換形換気扇（壁掛・壁埋） 気調・熱交換形換気扇（天埋） 産業用有圧換気扇 ｼｽﾃﾑｷｯﾁﾝ用ﾚﾝｼﾞﾌｰﾄﾞ ｼｽﾃﾑﾊﾞｽ用ﾊﾞｽ換・天埋扇	

局所換気機器	自然給気口 自然給気口（天井形） パイプファン 天井埋込形換気扇 レンジフード バス換気乾燥機 バスルームコンディショナー バス換気乾燥機（壁付） 気調・熱交換形換気扇（壁掛・壁埋） 気調・熱交換形換気扇（天埋） 中間ダクトファン キャビネットファン 業務用熱交ユニット 一般換気扇 インテリア形有圧換気扇 産業用有圧換気扇 ｼｽﾃﾑｷｯﾁﾝ用ﾚﾝｼﾞﾌｰﾄﾞ ｼｽﾃﾑﾊﾞｽ用ﾊﾞｽ換・天埋扇	
その他	天井埋込形ナノイー発生機 部屋干しファン 天井埋込形空気清浄機	
室内端末	給気用、排気用	
室外端末	給気用、排気用、（2層管用）	
分岐部材	Y管（FY/VB品番） チャンバー Ｔ管Y管	
接続部材	フィルターユニット 片落管 ダクト継手 ダンパー 立上り／立下り	
ダクト	50φ～250φ	

（１２）ダクト種類一覧

断熱チューブ（FY） 断熱チューブ（VB） 抗菌・消臭断熱チューブ（VB）	
不燃チューブ（FY） 不燃チューブ（VB） 不燃チューブ・径小タイプ（VB）	
高断熱チューブ	
フレキチューブ（FY） フレキチューブ（VB）	
消音ダクト（FY） 消音ダクト（VB）	
硬質ダクト（現地手配品） 亜鉛メッキ鋼管（現地手配品） スパイラルダクト（現地手配品）	
塩化ビニール管（現地手配品）	
フレキシブルダクト（現地手配品）	

つづいて、「９．［自由設計］　換気計算詳細」へ進みます。

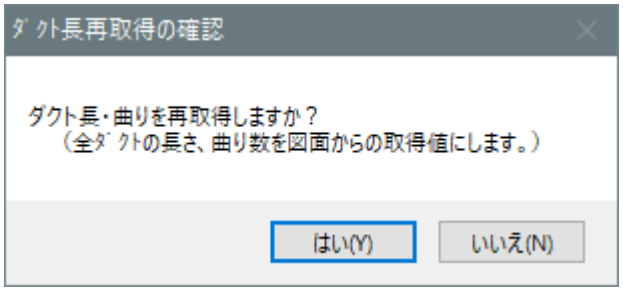
９．［自由設計］　換気計算詳細

ダクトシステムの換気計算書を作成します。

９－１．ダクト長再取得の確認

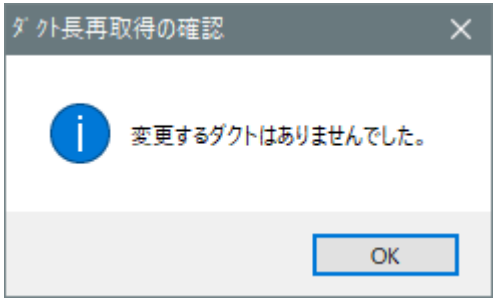
ダクト長さ・曲がりを図面から取得するかどうかを確認します。

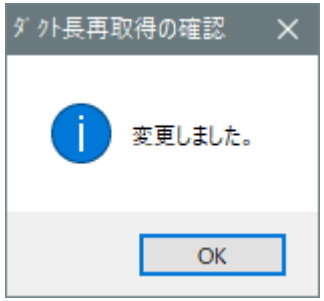
1. 図面からダクト長さ・曲がりを取得する場合は　**はい**　をクリックします。



2. 「変更するダクトはありませんでした。」または「変更しました。」というメッセージが表示されたら　OK　をクリックします。

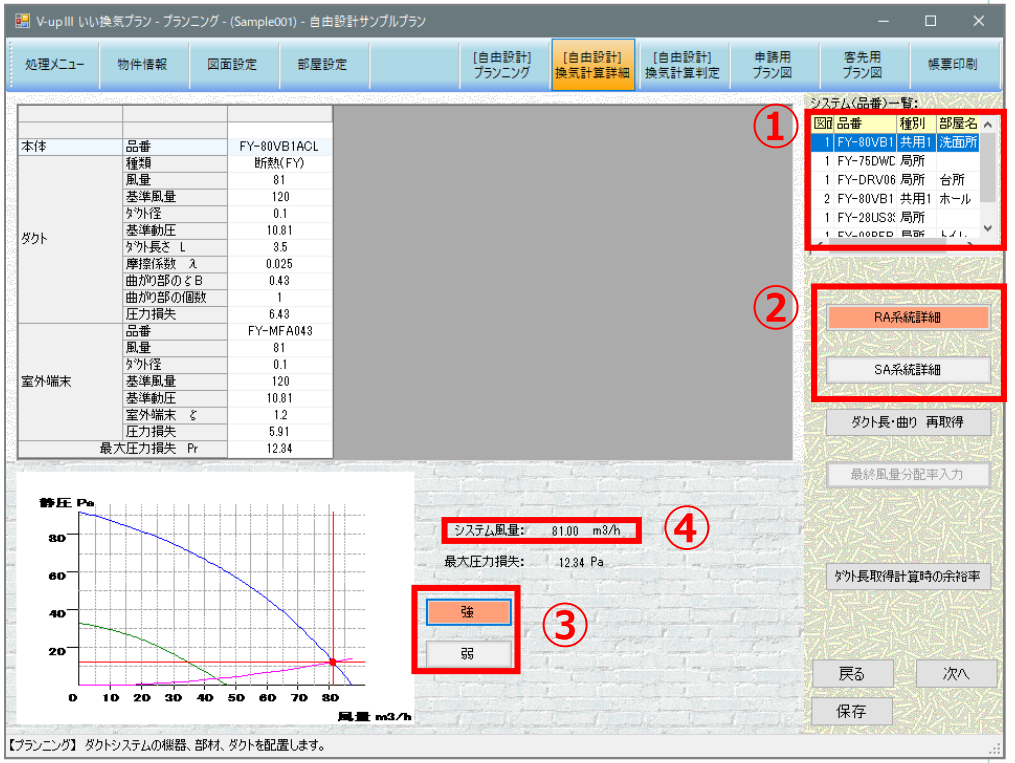
※ 軽微な変更の場合、「変更するダクトはありませんでした」と表示されることがあります。





９－２．風量を確認する

1. 換気計算書を表示する機種を選択します。
2. 換気計算書を表示する系統を選択します。
3. ノッチを選択します。
4. システム風量を確認します。



９－３．その他の機能

（１）ダクト長さ・曲りの修正

ダクトの長さ・曲りを修正します。

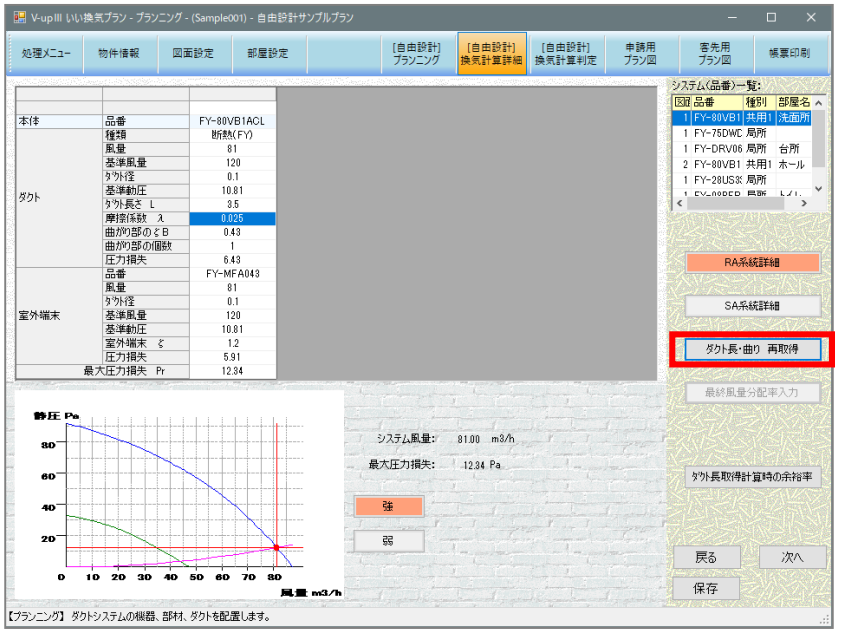
・修正する箇所を選択して、数値を入力します。

施工は、換気計算に使用したダクトの長さ・曲りの数以内でおこないます。

（2）ダクト長・曲り再取得

ダクトの長さ・曲りを図面から再取得します。

- ﾀﾞｸﾄ長･曲り　再取得 をクリックします。



（3）ダクト長取得計算時の余裕率

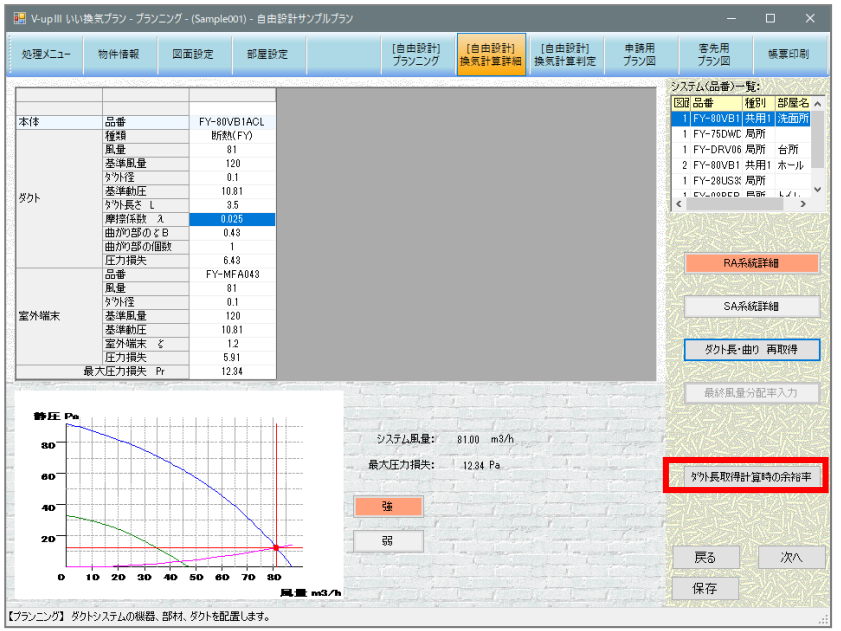
ダクトの長さを図面から取得するときの、余裕率を変更します。

ここで変更した余裕率は、変更した物件にのみ適用されます。

今後新規に作成する物件すべてに対して適用する場合は

補助機能 **の** **各種ユーザー設定値変更** **より変更します。**

1. ﾀﾞｸﾄ長取得計算時の余裕率 をクリックします。



2. 変更したい部分の端数処理を選択し、加算長さを直接入力します。

3. 登録 をクリックします。

変更を計算書に反映するには、［ダクト長・曲り再取得］をクリックします。

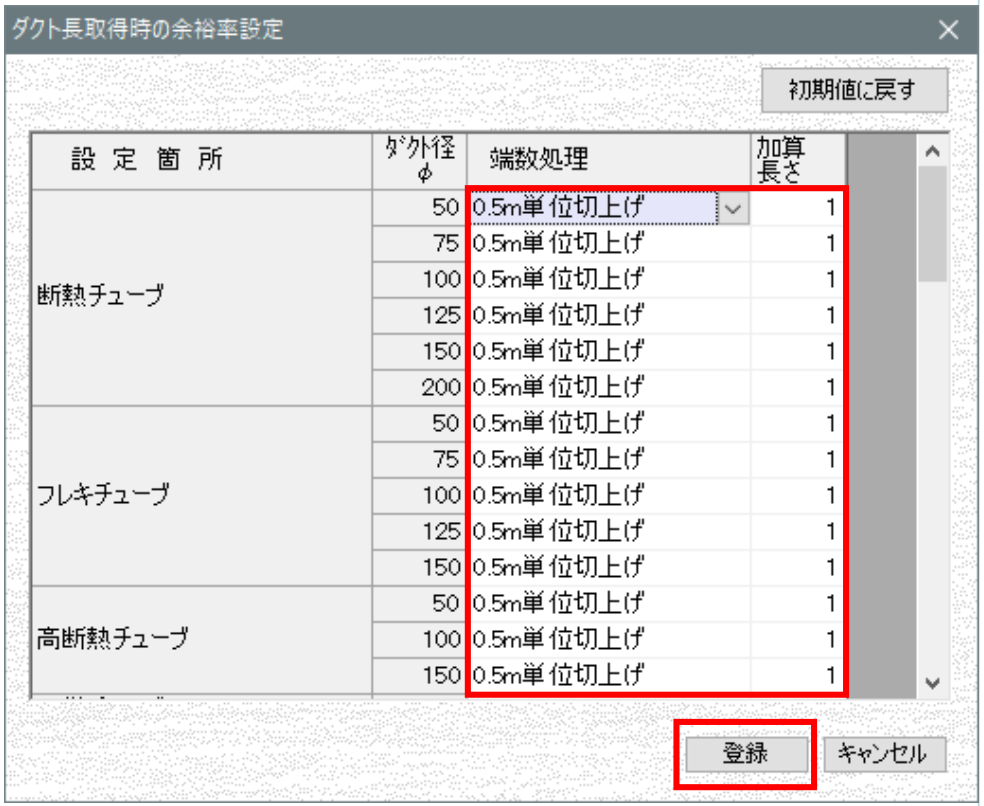
【例】ダクト長　2.3mの場合

・0.5m単位切り上げ　加算長さ1mの場合
2.3m　→　2.5m　→　2.5m+1.0m　＝　3.5m

・1m単位切り上げ　加算長さ1.5mの場合
2.3m　→　3.0m　→　3.0m+1.5m　＝　4.5m

初期値に戻す をクリックすると、初期設定に戻ります。

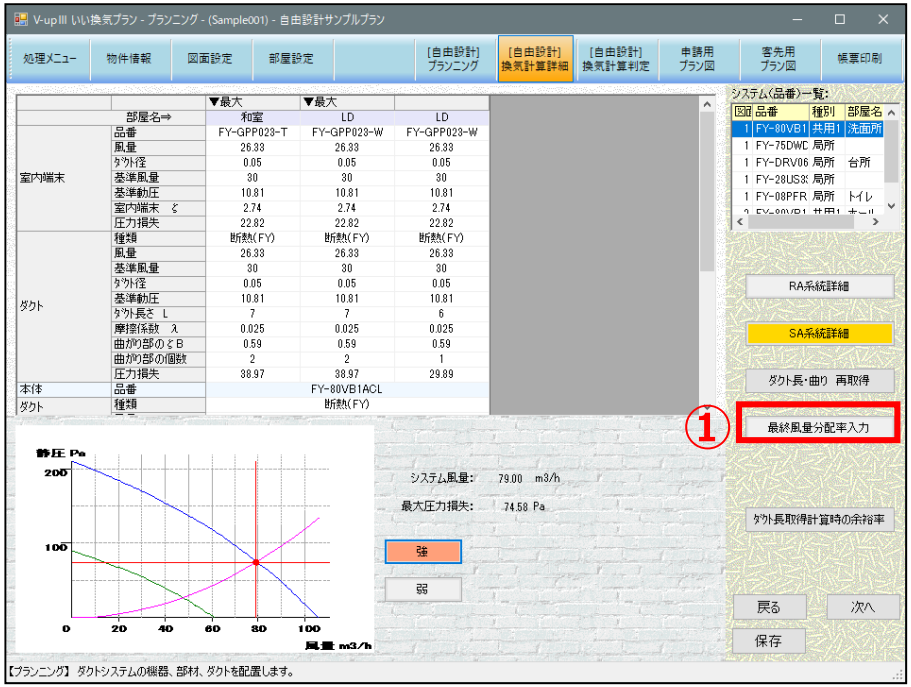
※初期設定は、0.5m単位切上げ
（不燃チューブ、消音ダクトのみ1m単位切上げ）
加算長さ1mです。
（消音ダクトのみ加算なし）



（４）最終風量分配率入力

室内端末の風量分配率を変更します。

通常は変更する必要はありません。



1. **最終風量分配率入力** をクリックします。

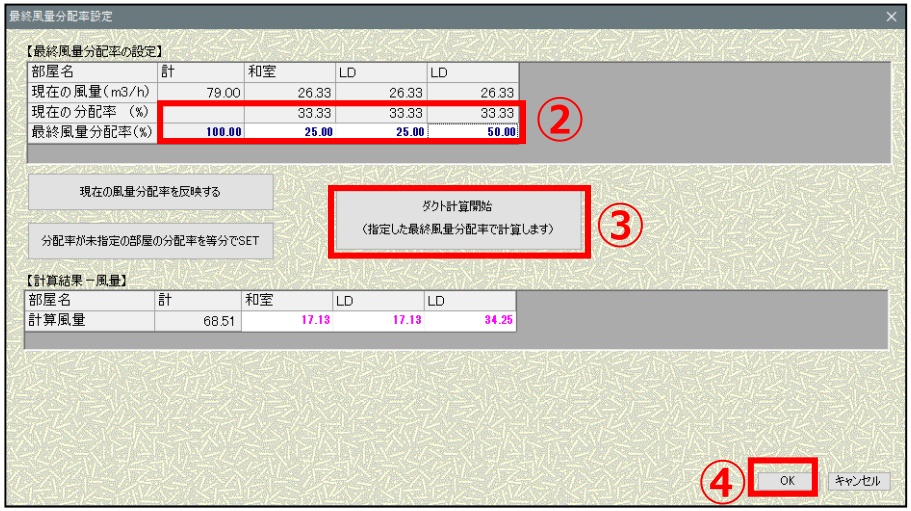
2. 最終風量分配率（%）を入力します。

現在の風量分配率を反映する は

「現在値」に表示されている数値が反映されます。
（風量分配率を設定済みの場合に有効です。）

分配率が未指定の部屋の分配率を等分でSET は

すべての室内端末の内、いくつかの分配率を手入力で設定して、残りの室内端末の分配率を等分配します。



3. **ﾀﾞｸﾄ計算開始（指定した最終風量分配率で計算します）** をクリックします。

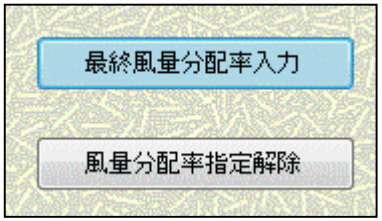
4. 計算結果を確認して **OK** をクリックします。

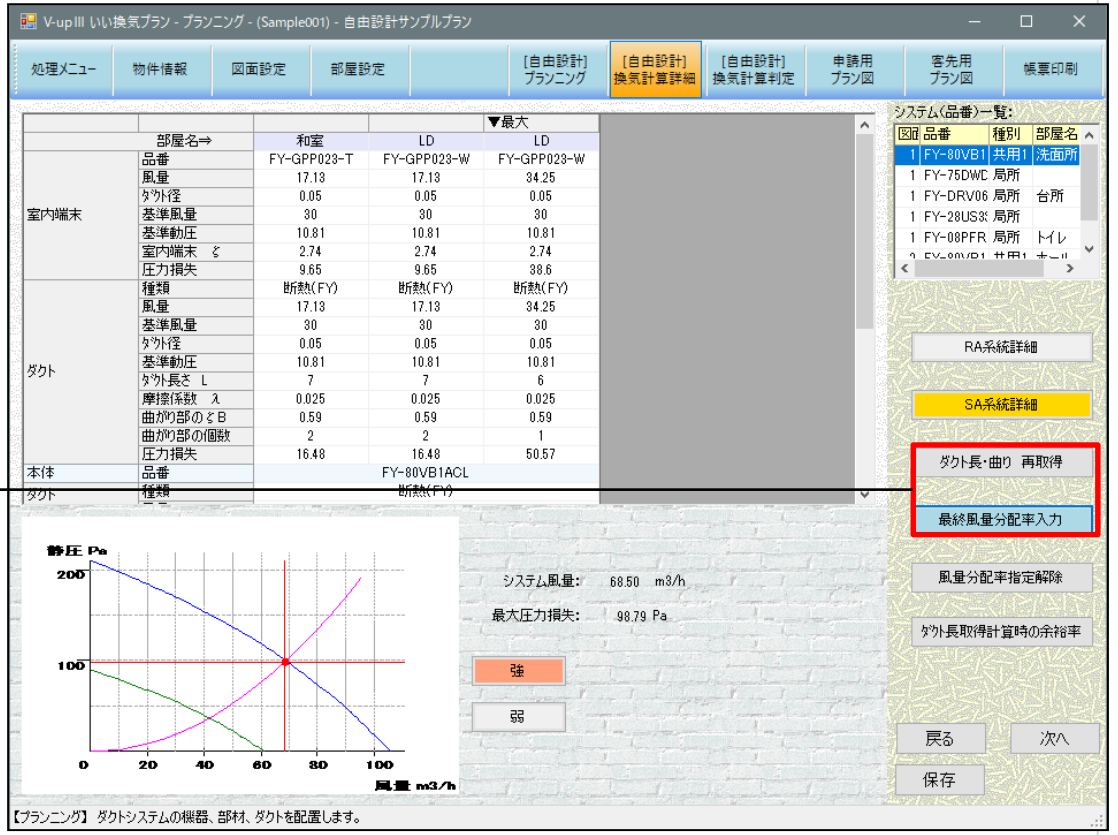
5. 計算書の室内端末の分配率が変更されます。

※［最終分配率入力］ボタンが青色になります。

風量分配率指定解除　は

風量分配率の指定を解除し、等分配にします。



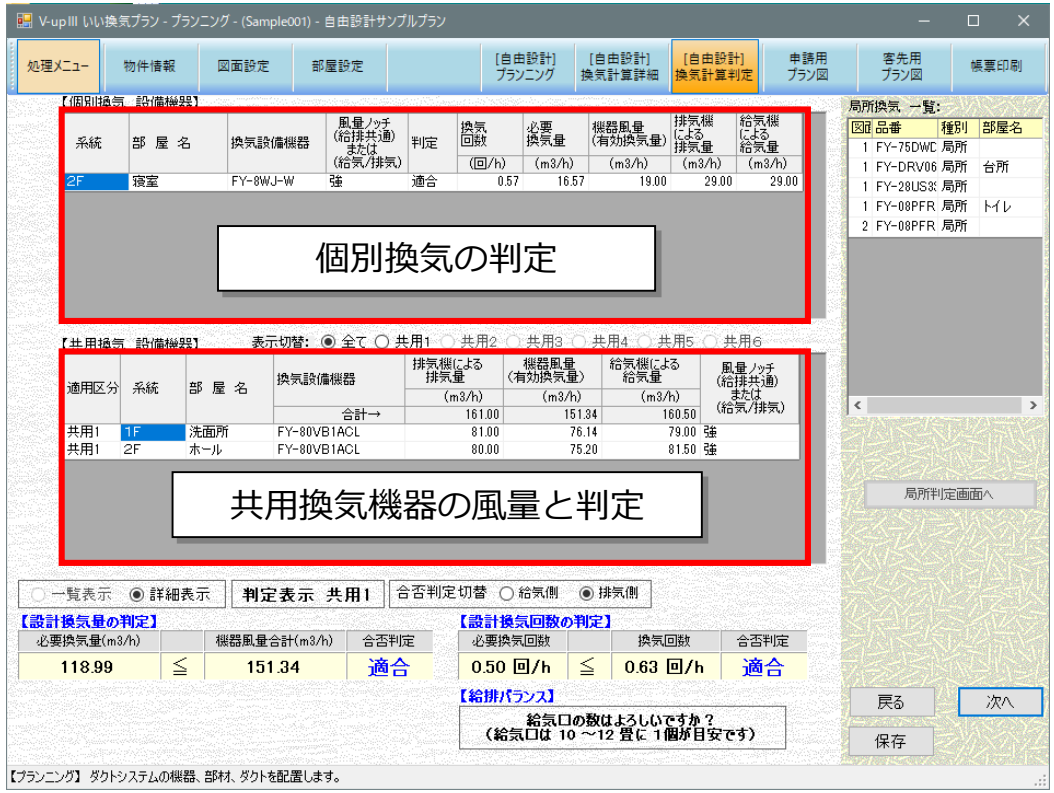


１０．［自由設計］　換気計算判定

換気計算の結果を確認します。

１０－１．シックハウス対策の判定確認

選定した機器が必要換気量を満たしているかを確認します。



（１）個別換気の判定

個別換気の判定を確認します。

系統	部屋名	換気設備機器	風量ノッチ	判定	換気回数 (回/h)	必要換気量 (m3/h)	機器風量(有効換気量) (m3/h)	排気機による排気量 (m3/h)	給気機による給気量 (m3/h)
2F	寝室	FY-8WJ-W	強	適合	0.57	16.55	19.00	29.00	29.00

系統	部屋名	換気設備機器	風量ノッチ	判定	換気回数 (回/h)	必要換気量 (m3/h)	機器風量(有効換気量) (m3/h)	排気機による排気量 (m3/h)	給気機による給気量 (m3/h)
2F	寝室	FY-6WJ-W	強	適合	0.64	25	16.00	23.50	23.50
2F		FY-6WJ-W	強	－	－	－	16.00	23.50	23.50

・「判定」が「適合」となっていることを確認します。

※１部屋に複数台設置した場合、判定は１行目に表示されます。

【個別換気に必要な設定】

①「部屋設定」画面において、個別換気をおこなう部屋の「適用区分」を「個別」に設定する。

②「プランニング」画面において、個別換気をおこなう機器の情報表示を開き
「換気対応区分」を「個別」に設定し「部屋名」より個別換気機器を設置する部屋を
選択してクリックする。

（２）共用換気（個別以外の部分）の判定

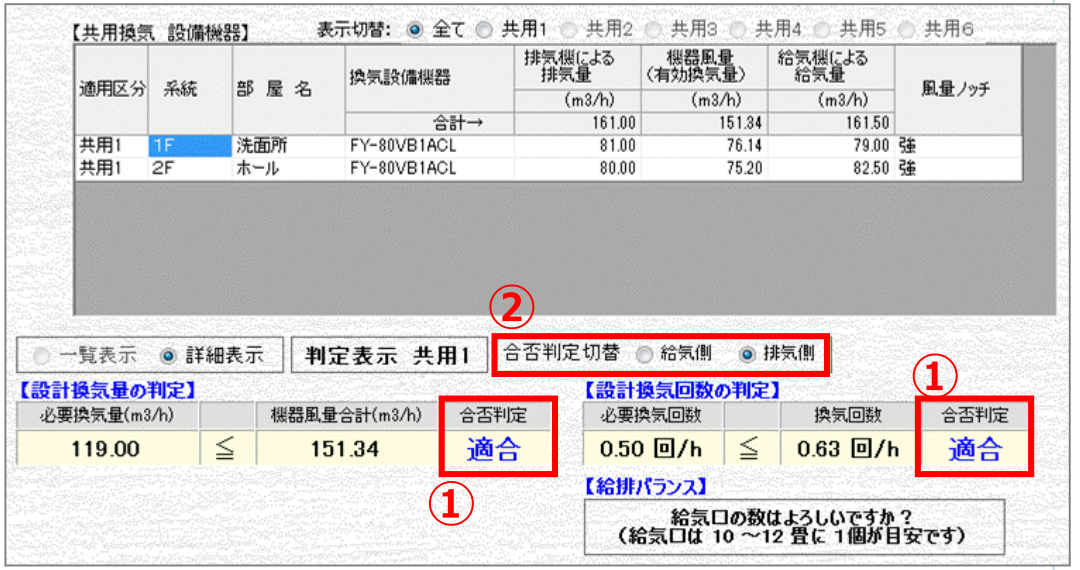
共用換気の判定を確認します。

1. 「判定」が「適合」となっていることを確認します。

※このとき、必要換気量に対して設計換気量が
上回っていることをご確認ください。
（初期選択は排気側になっています。）

2. 「合否判定切替」で「給気側」を選択します。

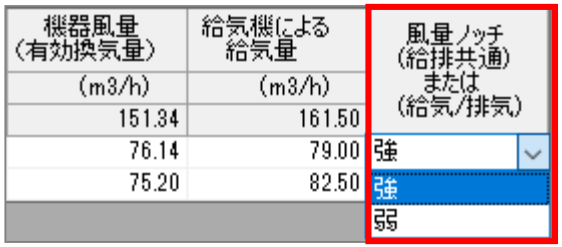
3. 給気側も「判定」が「適合」となっていることを確認します。



（３）風量ノッチの変更

風量ノッチを変更することができます。

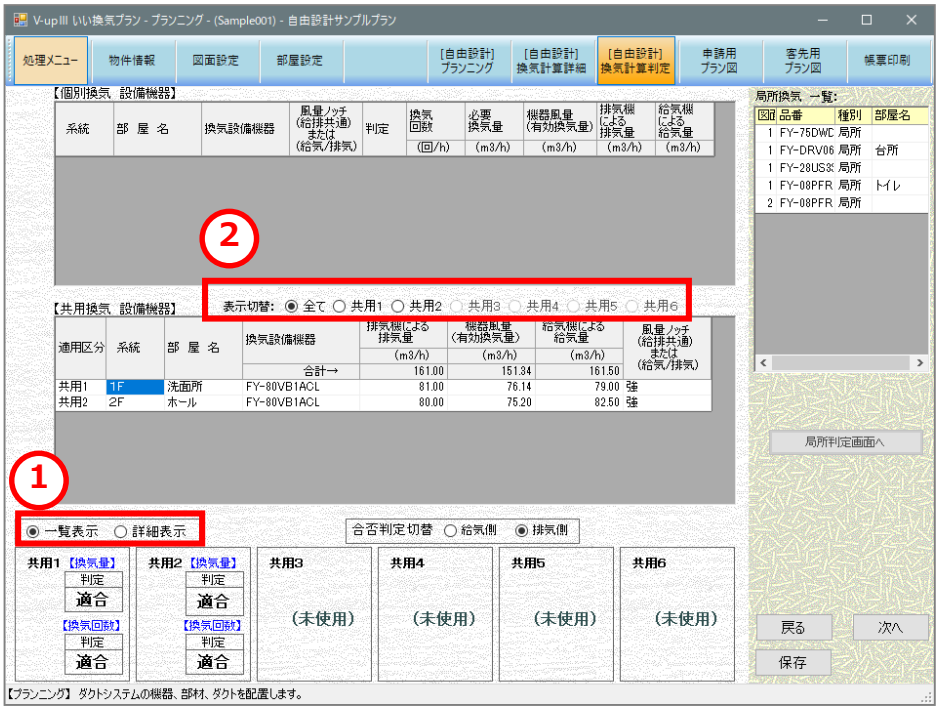
・風量ノッチの欄で、リストからノッチを選択します。



換気機器は、換気回数が適合となる風量ノッチで使用します。

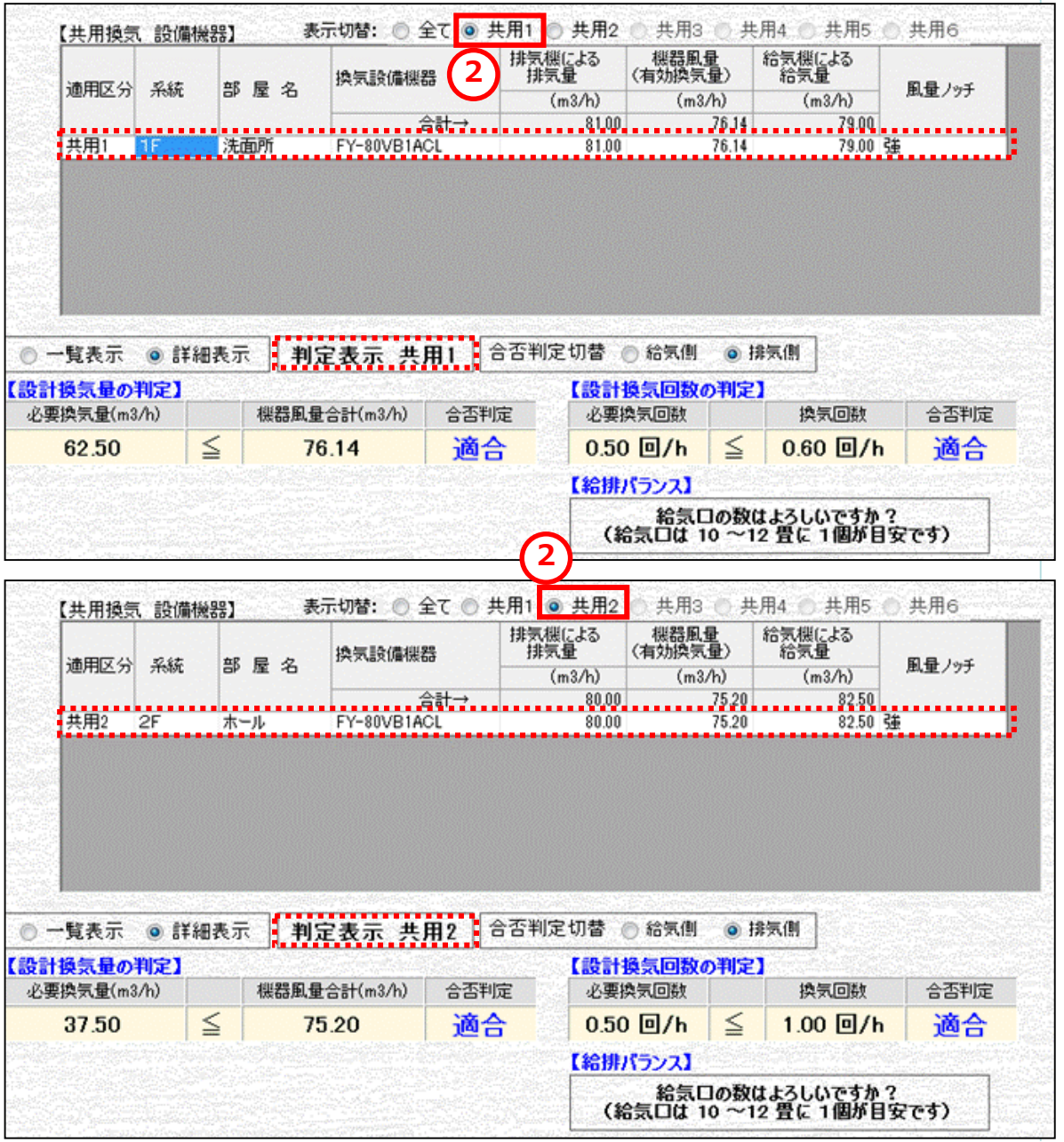
（４）判定内容の表示切り替え

共用換気に設定した機器や共用換気判定の表示を
切り替えることが出来ます。



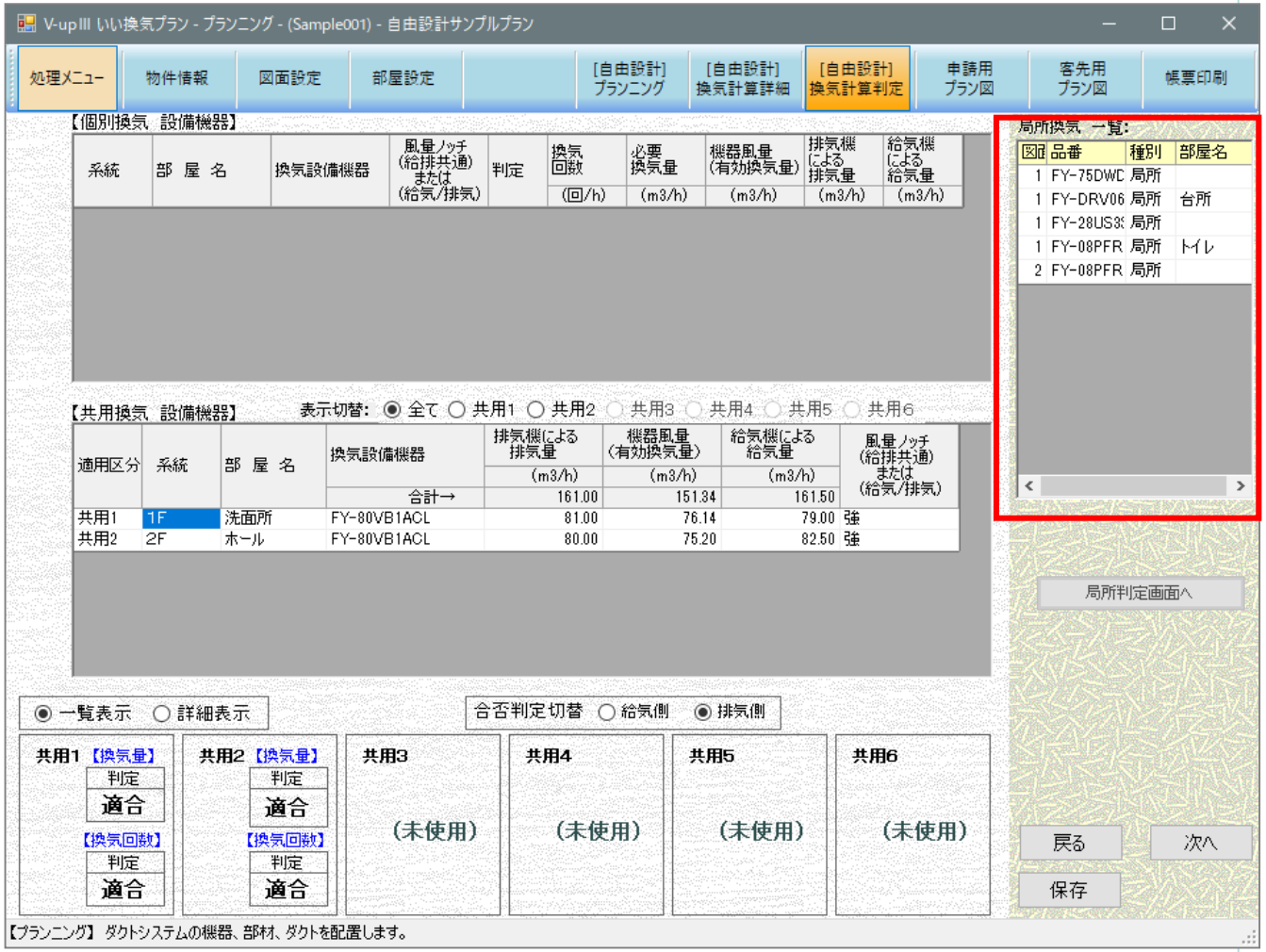
1. 「共用換気の判定」の表示が「一覧表示」と
「詳細表示」で切り替わります。

2. 表示されている機器一覧の絞込み、及び「共用換気の判定」表示が切り替わります。



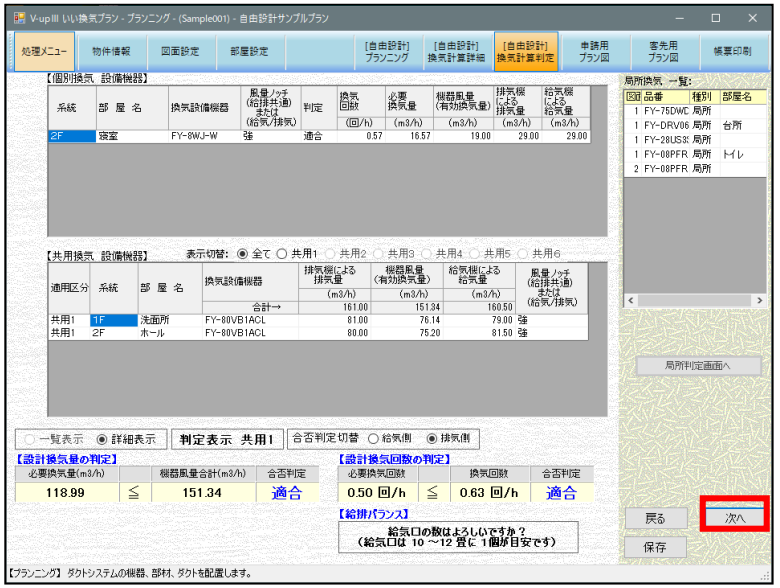
（５）局所換気機器の表示

画面右側に、局所換気として設定した機器の一覧が表示されます。



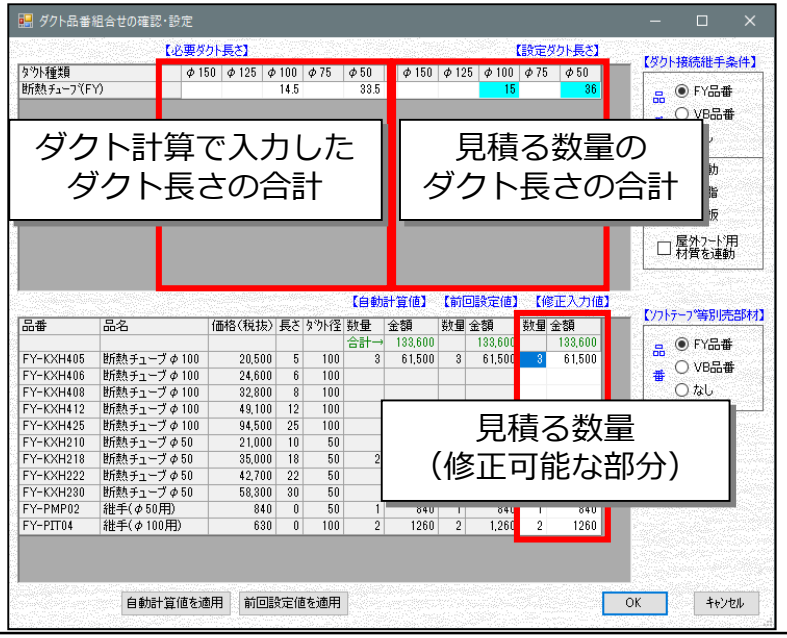
１０－２．ダクト品番の組合せを設定する

1. 次へ をクリックします。



2. 見積もるダクト長さを確認し、必要に応じて【修正入力値】の数量を修正します。

3. OK をクリックします。



【表の見方】

①必要ダクト長さ
プランニング図面より取得したダクト長さです。
（換気計算詳細でダクト長さを変更した場合は、変更後の数値が適用されます。）

②設定ダクト長さ
見積るダクト長さの合計です。　※必要長さを満たしている場合＝水色
※必要長さを満たしていない場合＝桃色

③ダクト接続継手条件
ダクト継手の選定条件です。
・FY品番　　パナソニック HVAC & CC（株）製
・VB品番　　パナソニック エコシステムズ ベンテック（株）製
・なし　　ダクト継手を見積もりません。
・自動　　不燃・消音ダクト→鋼板、その他ダクト→樹脂を見積もります。
・樹脂　　樹脂製継手を見積もります。
・鋼板　　鋼板製継手を見積もります。
・屋外フード用材質を連動　　屋外フード用の継手材質にも設定を適用します。
※チェックが無い状態＝樹脂製
※FY／VBを指定しても該当品番がない場合は指定と異なる品番を見積もります。
※FY・VBともに該当品番がない場合は、見積りません。
※現地手配のダクトには継手を見積もりません。

④ダクト製品情報
ダクトの品番、価格情報です。

⑤自動計算値
必要ダクト長さから選定したダクトの数量です。

⑥前回設定値
前回設定した値が表示されます。（既にプラン作成済みの場合に表示。）

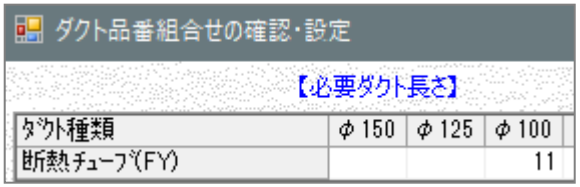
⑦修正入力値
見積るダクトの数量です。修正する場合は、この数値を書き換えます。

⑧ソフトテープ等別売部材見積り条件
ダクト継手と同様に見積る種類を設定します。

［自動計算値を適用］
「自動計算値」を「修正入力値」に転記します。

［前回設定値を適用］
「前回設定値」を「修正入力値」に転記します

② の（例）必要ダクト長さが11mの場合



・必要長さを満たしている場合（水色）

・必要長さを満たしていない場合（桃色）

つづいて「局所換気判定」が必要なければ
「１２．申請用プラン図」へ進みます。

１１．［自由設計］局所計算書の作成

シックハウス対策以外の換気計算書（合否判定）を作成します。

【作成可能な判定書の一覧】

① 換気回数による換気

② 人員密度による換気

③ 占有面積による換気（無窓居室の計算も含む）

④ 火を使用する部屋の換気

⑤ 駐車場の換気

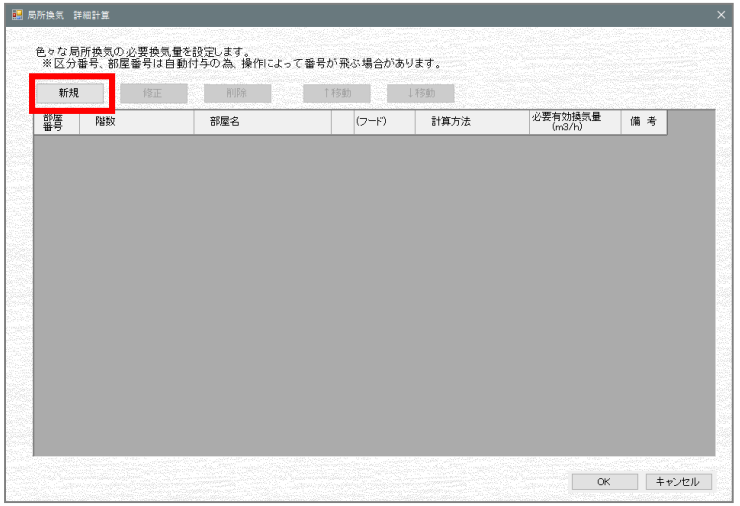
⑥ 喫煙室の換気（受動喫煙防止対策に基づく計算）

１１－１．局所の必要換気量を求める

1. **局所換気　詳細計算** のボタンを押します。

2. 局所換気のウィンドウが表示されるので、

新規 ボタンを押します。



新規 ：必要風量の計算を新規・追加します。

修正 ：選択した項目の内容を変更します。

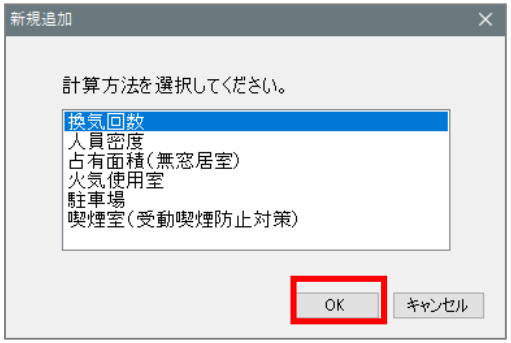
削除 ：選択した項目を削除します。

↑移動 ：選択した項目を１段上に移動します。

↓移動 ：選択した項目を１段下に移動します。

（この表示順で印刷されます）

3. 計算方法一覧が表示されるので、計算方法を選択します。



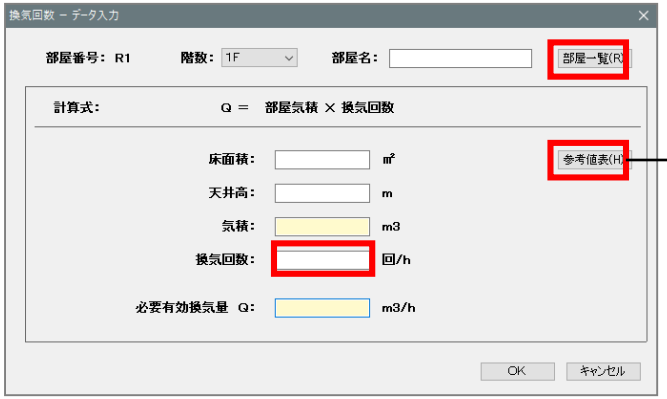
（１）換気回数による換気

各入力項目に数値など入力します。

部屋番号　　：自動採番

部屋一覧(R) ボタン　：部屋設定画面で登録されている部屋名の一覧を表示します。

参考値表(H) ボタン　：部屋用途別の換気回数（参考値）を表示します。



（２）人員密度による換気

各入力項目に数値など入力します。

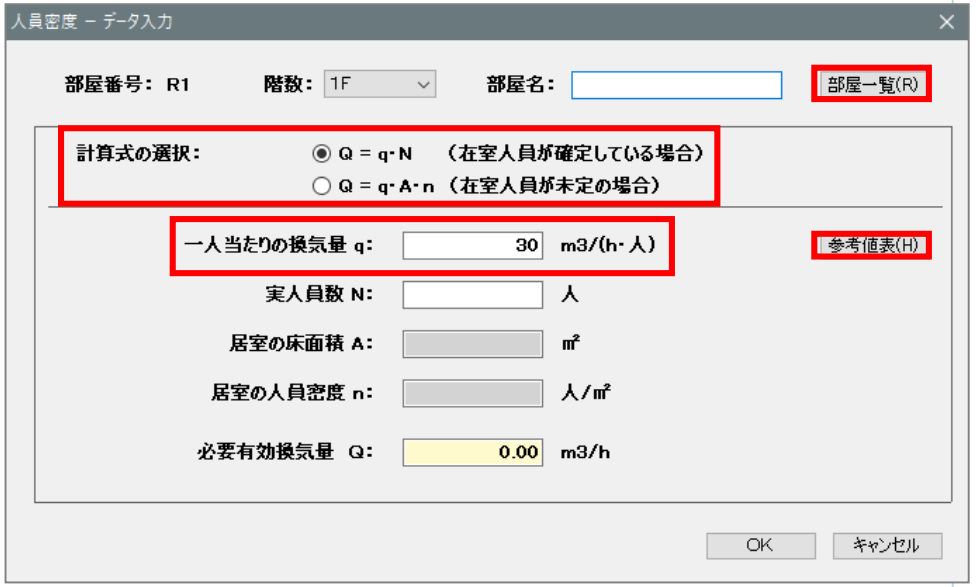
部屋番号　　：自動採番

部屋一覧(R)　ボタン　：部屋設定画面で登録されている部屋名の一覧を表示します。

参考値表(H)　ボタン　：部屋用途別の居室の人員密度(参考値）を表示します。

計算式の選択　　：２種類の計算方法から選択します。

一人当たりの換気量q　　：初期値30が入力されています。必要であれば数値を変更します。



（３）占有面積による換気（無窓居室の計算も含む）

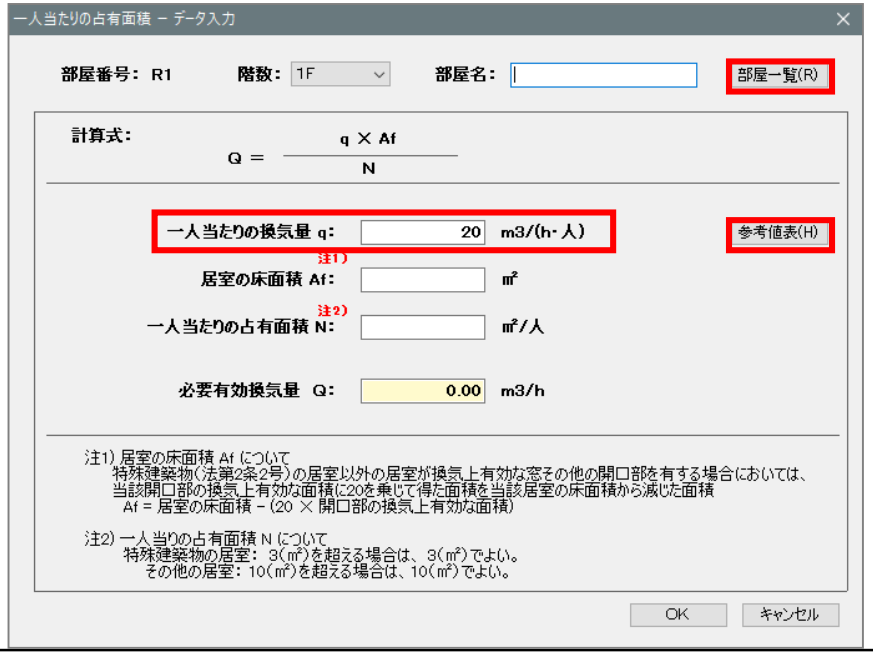
各入力項目に数値など入力します。

部屋番号　　：自動採番

部屋一覧(R)　ボタン　：部屋設定画面で登録されている部屋名の一覧を表示します。

参考値表(H)　ボタン　：部屋用途別の居室の人員密度(参考値）を表示します。

一人当たりの換気量q　　：初期値20が入力されています。必要であれば数値を変更します。



（４）火を使用する部屋の換気

①フード登録ウィンドウ

各入力項目に数値など入力します。

部屋番号　　：自動採番

部屋一覧(R)　ボタン　：部屋設定画面で登録されている部屋名の一覧を表示します。

フード追加　：新規に厨房フードを追加します。

器具追加　：選択した厨房フードに器具を追加します。

選択行修正　：選択した項目を修正します。

フード削除　：選択したフードを削除します。
（関連する器具も削除されます）

器具削除　：選択した器具を削除します。

②器具登録ウィンドウ：ガス器具

各入力項目に数値など入力します。

部屋番号　　：自動採番

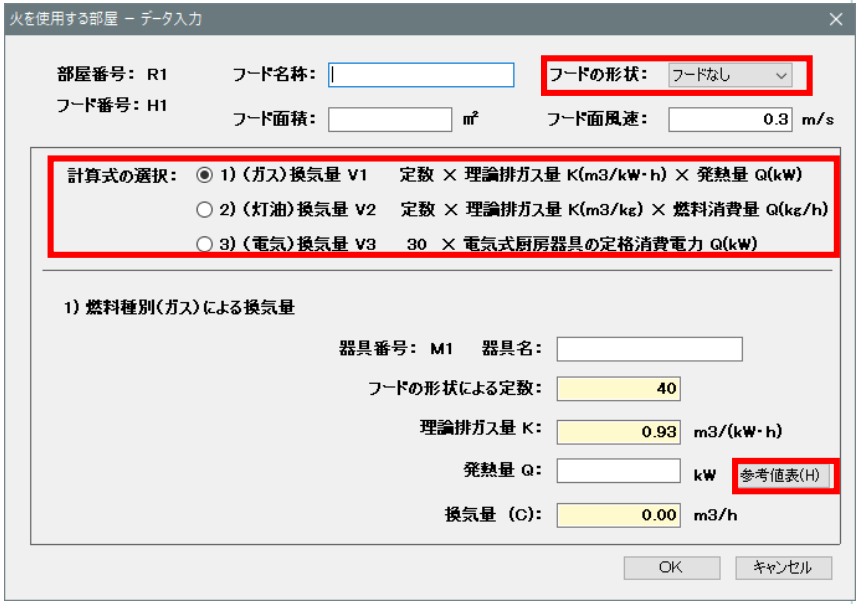
フード番号　　：自動採番

フードの形状　　：フードの形状を選択します。

※ **フード追加** ボタンの時のみ選択可能です。

※ **器具追加** ボタンの時は選択不可です。

※ フードの形状を変更したい場合は、
1行目の器具で修正可能です。



参考値表(H)　ボタン　：発熱量（参考値）を表示します。

計算式の選択　　：３種類の計算方法から選択します。
（画像はガス）

③フード登録ウィンドウ

各入力項目に数値など入力します。

部屋番号　　：自動採番

フード番号　　：自動採番

フードの形状　　：フードの形状を選択します。

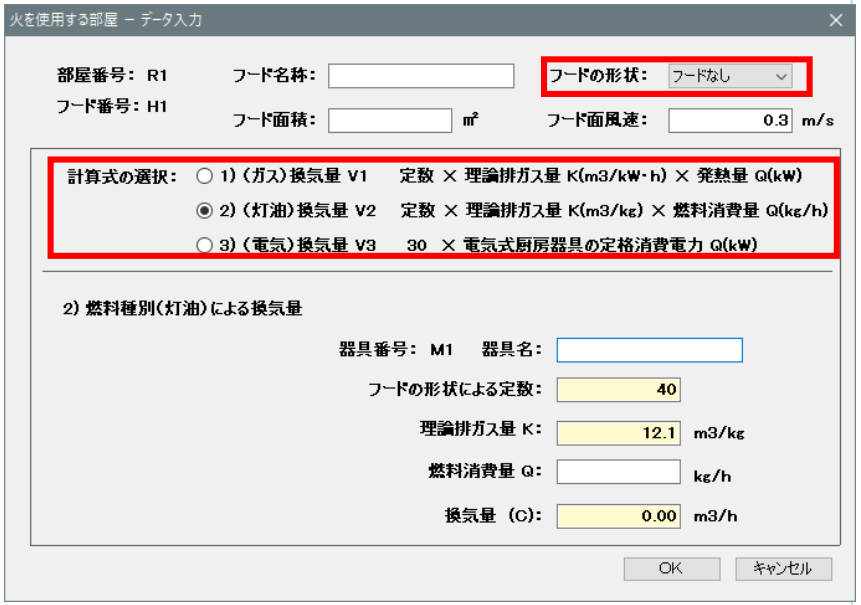
参考値表(H) ボタン

※ **フード追加** ボタンの時のみ選択可能です。

※ **器具追加** ボタンの時は選択不可です。

※ フードの形状を変更したい場合は、
1行目の器具で修正可能です。

計算式の選択　　：３種類の計算方法から選択します。
（画像は灯油）



④器具登録ウィンドウ：灯油器具

各入力項目に数値など入力します。

部屋番号　　：自動採番

フード番号　　：自動採番

フードの形状　　：フードの形状を選択します。

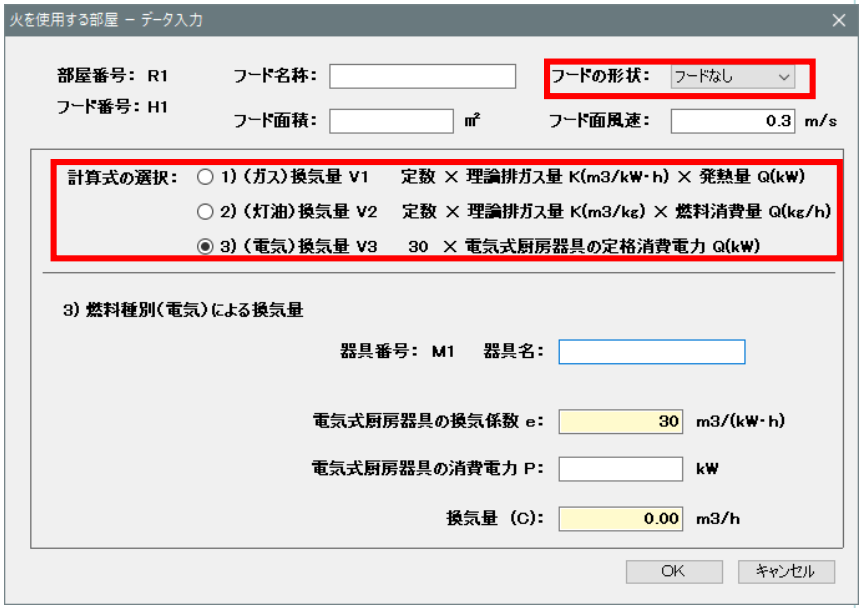
参考値表(H) ボタン

※ **フード追加** ボタンの時のみ選択可能です。

※ **器具追加** ボタンの時は選択不可です。

※ フードの形状を変更したい場合は、
1行目の器具で修正可能です。

計算式の選択　　：３種類の計算方法から選択します。
（画像は電気）

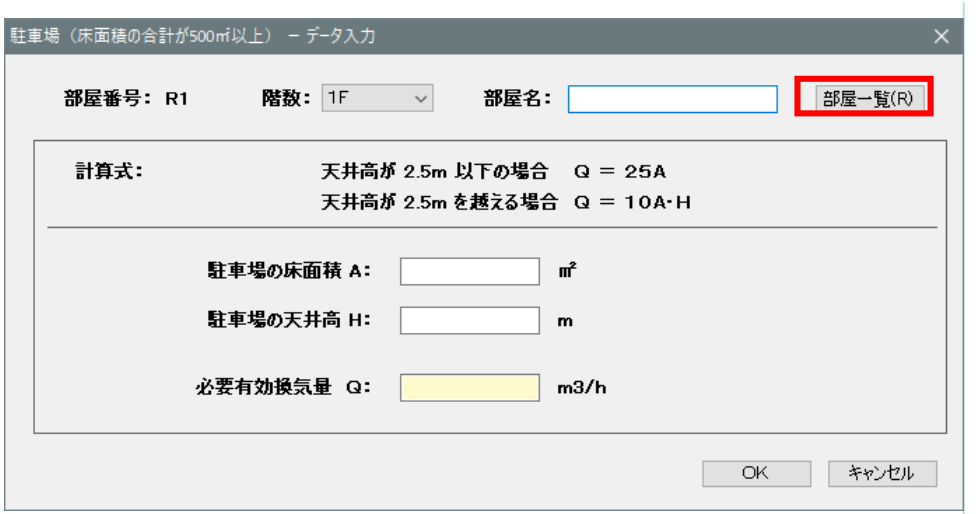


（５）駐車場の換気

各入力項目に数値など入力します。

部屋番号　　：自動採番

部屋一覧(R)　ボタン　：部屋設定画面で登録されている部屋名の一覧を表示します。



（６）喫煙室の換気（受動喫煙防止対策に基づく計算）

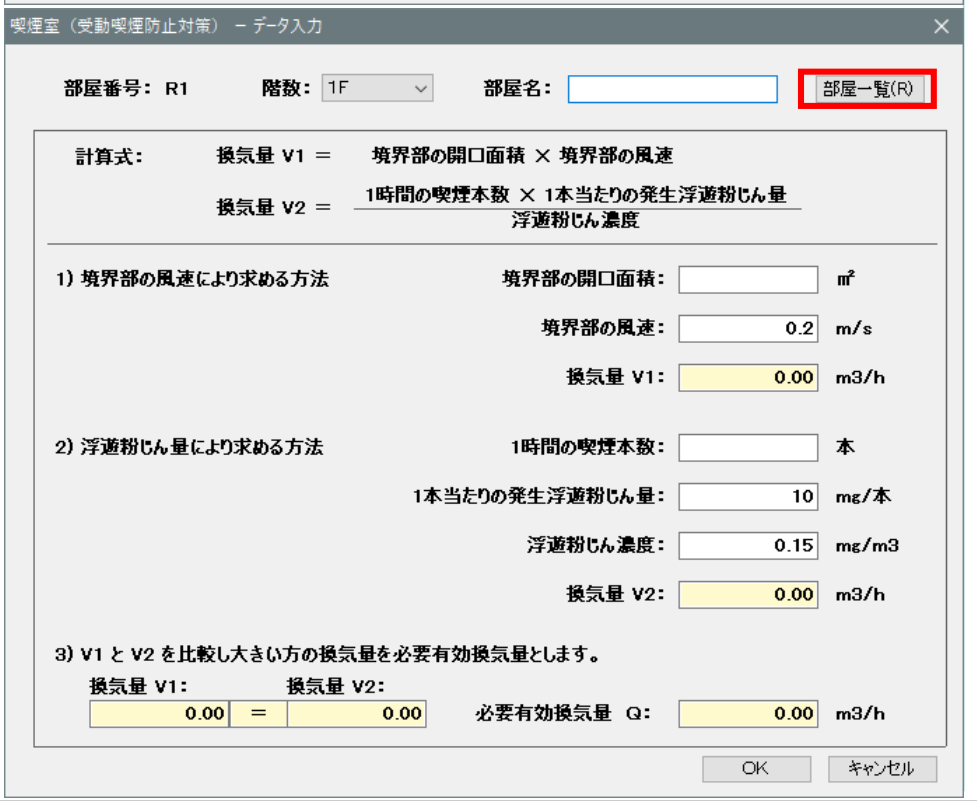
部屋番号　　：自動採番

部屋一覧(R)　ボタン　：部屋設定画面で登録されている部屋名の一覧を表示します。

境界部の風速　　：初期値0.2が入力されています。必要であれば数値を変更してください。

一本当たりの発生浮遊粉じん量　　：初期値10が入力されています。必要であれば数値を変更してください。

浮遊粉じん濃度　　：初期値0.15が入力されています。必要であれば数値を変更してください。



１１－２．局所機器を配置する

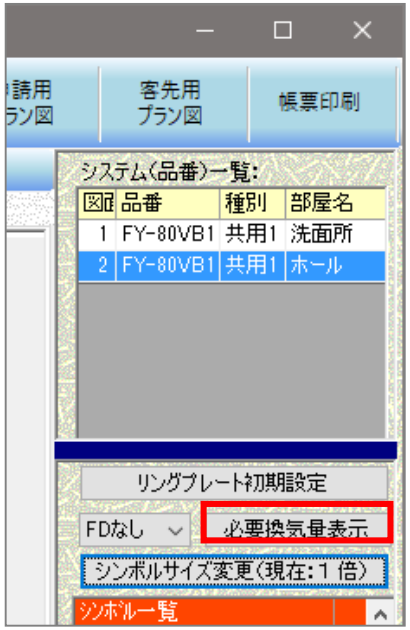
1. 局所換気の必要換気量表示

必要換気量表示 ボタンを押すと

ウィンドウが開きます。

2. 局所換気に切り替える事で局所換気の

必要風量が表示されます。



3. 必要換気量に応じて機器を配置します。

※８．［自由設計］　プランニングをご参照ください。

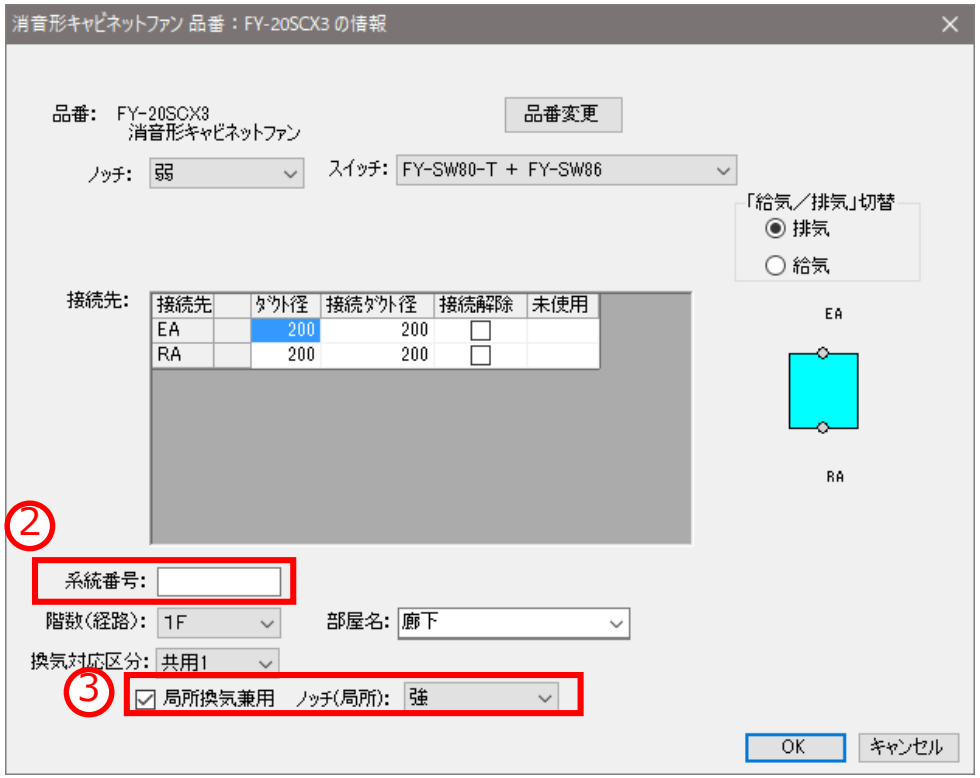
【常時換気と同じ機器を兼用して使用する場合】

① シンボルの情報ウィンドウを開きます。

② 必要な場合は系統番号を入力します。

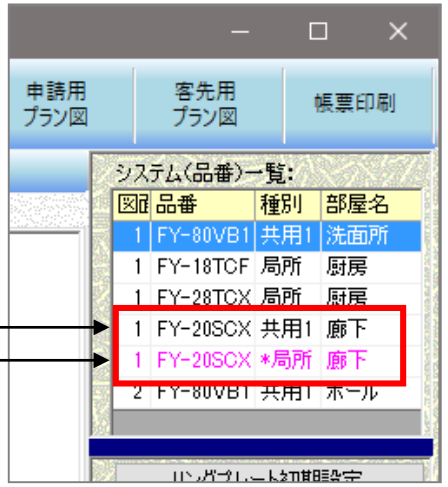
③ 局所換気兼用にチェックを入れて、
局所使用時のノッチを設定します。

※この場合のノッチは常時換気の場合と異なっても
OKです。



※局所換気兼用にチェックを入れた場合、
画面右上の配置済み機器一覧の表示が
２行に分かれます。

（兼用機器の局所側は紫色で表示）

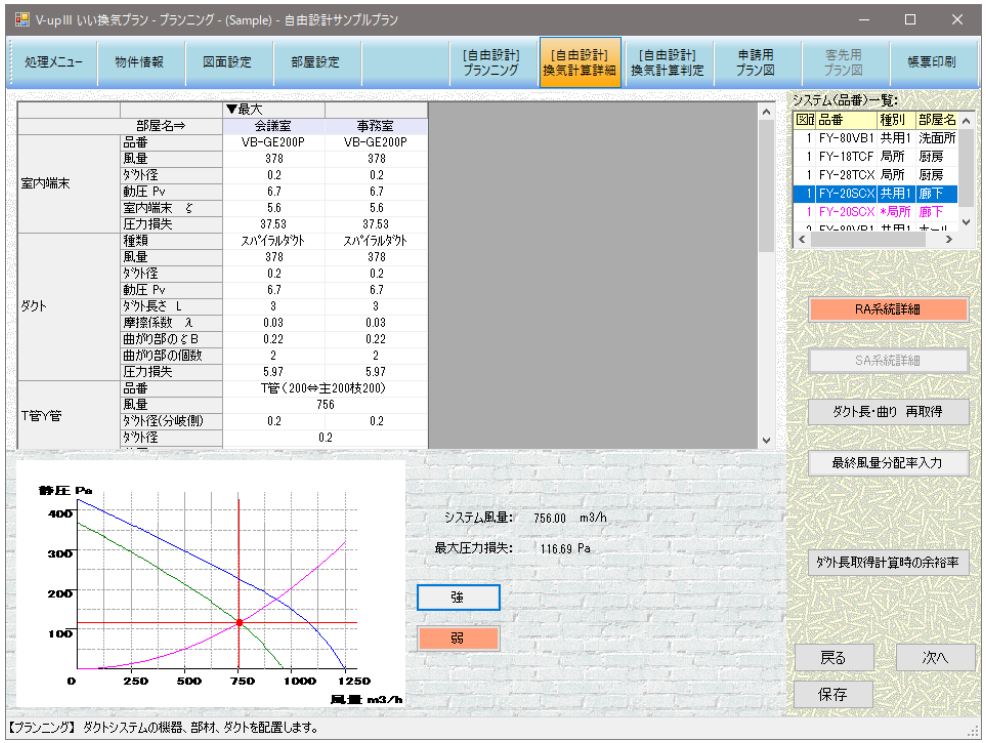


１１－３．局所の換気計算詳細

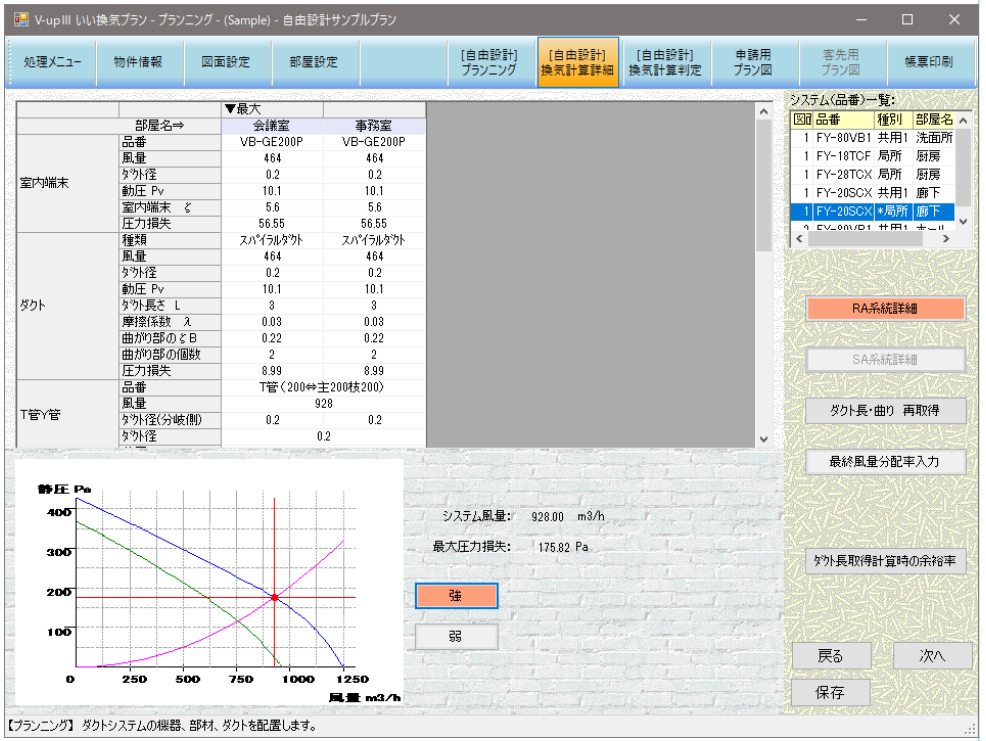
常時換気／局所換気のそれぞれで換気計算詳細が表示されます。

・システム（品番）一覧でクリックした方を表示します。

【常時換気の場合】



【局所換気の場合】　種別が「*局所」になっている機種を選択する。

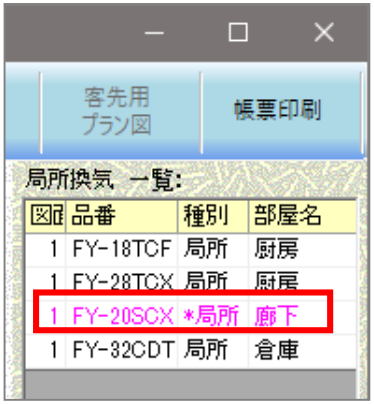


１１－４．局所の換気計算判定

・ **局所判定画面へ** ボタンを押すことで
局所換気の判定画面に移動します。

※局所換気兼用にチェックを入れた機種の場合、
常時機器として判定欄に表示されるのと同時に、
局所機器として画面右上にも品番が表示されます。

（兼用機器は紫色で表示）



【局所換気判定画面】

① 局所換気　設備機器　：局所機器の一覧（局所兼用機器含む）

② 部屋設定・解除　：換気量判定の為に機器毎に該当する部屋を割り当てます。

③ 換気量計算判定一覧　：部屋設定で登録した必要換気量の一覧

④ 判定経路　：合否判定する経路（給気ｏｒ排気）を部屋毎で切り替えます。

⑤ 合否判定切替　：合否判定する経路（給気ｏｒ排気）を一括切り替えします。

①　局所換気　設備機器

系統番号	階数	部屋名	換気設備機器	風量ノッチ	端末番号	室内端末部屋名	有効換気量(給気)(m3/h)	有効換気量(排気)(m3/h)	設定部屋名
FE-1	1F	厨房	FY-18TCF3	強弱なし	---			697.50	
					RA1	フード2		697.50	
FE-2	1F	厨房	FY-28TCX3	強弱なし	---			2041.00	
					RA1	フード1		2041.00	
	1F	廊下	FY-20SCX3	強	---			928.00	
					RA1	会議室		464.00	
					RA2	事務室		464.00	
	1F	倉庫	FY-32CDT7	強	---			140.00	
					RA1	倉庫		46.67	
					RA2	倉庫		46.67	
					RA3	本体吸込		46.67	

系統番号、階数、部屋名　：【プランニング画面】機器の情報ウィンドウで設定した部屋名。
※設定していなければ空欄。

換気設備機器　：局所機器の品番。

風量ノッチ　：局所兼用機器の場合は、局所側の風量ノッチを表示。

端末番号（－－－）　：合計風量を表示する為の行。

端末番号（RA1～）　：排気側の室内端末がある場合に表示。（本体吸込も含む）

端末番号（SA1～）　：給気側の室内端末がある場合に表示。

室内端末部屋名　：【プランニング画面】グリルの情報ウィンドウで設定した部屋名。
※設定していなければ空欄。

有効換気量（給気／排気）：機器の換気量に有効換気量率を乗算した数値。
※同時給排形以外は有効換気量率＝1

設定部屋名称　：局所換気判定をする為に割り当てた部屋名。

② 部屋設定

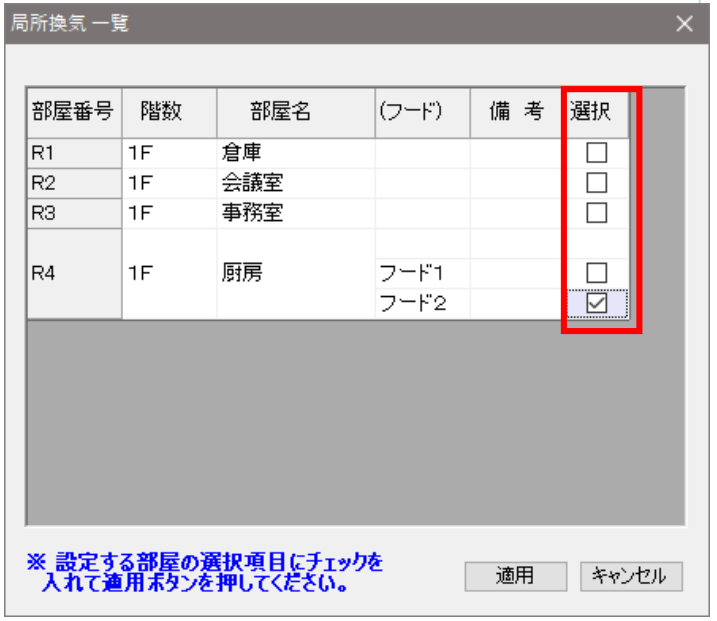
1. 局所機器に部屋を割り当てていきます。（室内端末毎に設定する方法）

室内端末毎に部屋を割り当てるには 各機器の２行目以降（風量の数値が青色）を選択して、ダブルクリックもしくは **部屋設定** ボタンを押します。

※右図では、２行目の「フード２」を選択

2. 部屋一覧から部屋を割り当てます。

割り当てる部屋の「選択」にチェック☑を入れて **適用** ボタンを押します。



※右図では、厨房のフード２にチェックを入れる。

3. 手順１～２を繰り返して、局所換気判定が必要な部屋を全て割り当てます。

   部屋を割り当てた機器の品番には色が付きます。

※下図は全ての室内端末に部屋を割り当てた状態

系統番号	階数	部屋名	換気設備機器	風量ノッチ	端末番号	室内端末部屋名	有効換気量(給気)(m3/h)	有効換気量(排気)(m3/h)	設定部屋名
FE-1	1F	厨房	FY-18TCF3	強弱なし	---			697.50	
					RA1	フード2		697.50	(R4)厨房 - フード2
FE-2	1F	厨房	FY-28TCX3	強弱なし	---			2041.00	
					RA1	フード1		2041.00	(R4)厨房 - フード1
	1F	廊下	FY-20SCX3	強	---			928.00	
					RA1	会議室		464.00	(R2)会議室
					RA2	事務室		464.00	(R3)事務室
	1F	倉庫	FY-32CDT7	強	---			140.00	
					RA1	倉庫		46.67	(R1)倉庫
					RA2	倉庫		46.67	(R1)倉庫
					RA3	本体吸込		46.67	(R1)倉庫

4. 局所機器に部屋を割り当てていきます。（機器毎に設定する方法）

ある機種の室内端末が全て同じ部屋に設置されている場合、
室内端末毎に部屋を割り当てていると時間がかかるので、このような場合は、
機器毎に部屋を割り当てる事によって手間を減らすことが出来ます。

機器毎に部屋を割り当てるには、各機器の１行目（風量の数値が黒色）を選択して、そこに部屋を割り当てます。

＜室内端末毎に割り当てた場合＞

効換気量(排気) m3/h)	設定部屋名
697.50	
697.50	(R4)厨房 - フード2
2041.00	
2041.00	(R4)厨房 - フード1
928.00	
464.00	(R2)会議室
464.00	(R3)事務室
140.00	
46.67	(R1)倉庫
46.67	(R1)倉庫
46.67	(R1)倉庫

＜機器毎に割り当てた場合＞

有効換気量(排気) (m3/h)	設定部屋名
697.50	(R4)厨房 - フード2
697.50	
2041.00	(R4)厨房 - フード1
2041.00	
928.00	
464.00	(R2)会議室
464.00	(R3)事務室
140.00	(R1)倉庫
46.67	
46.67	
46.67	

※どちらの設定でも、判定結果は同じになります。

③ 換気量計算判定一覧

部屋設定で登録した必要換気量の一覧。

判定が全て「適合」になっているか確認してください。

④ 判定経路

合否判定する経路（給気ｏｒ排気）を部屋毎で切り替えます。

⑤ 合否判定切替

合否判定する経路（給気ｏｒ排気）を一括切り替えします。

１１－５．局所の帳票印刷

シックハウス対策以外の判定（局所換気判定）の帳票を印刷します。

1.「印刷する」にチェック☑を入れると 出力内容　詳細 で設定してある帳票が印刷されます。

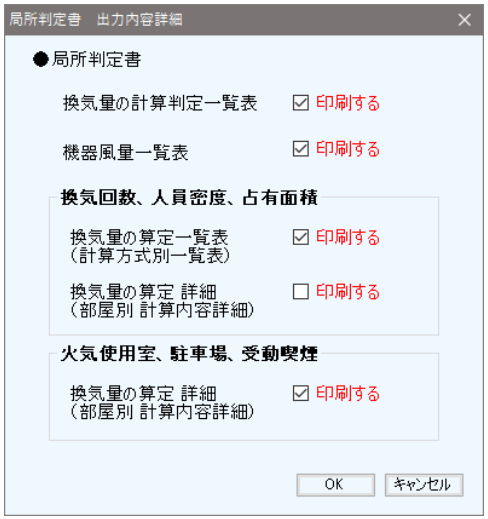
※詳細は次ページをご参照ください。

2. 印刷方法　詳細 ボタンで、PQ計算書の印刷枚数を減らすことが可能になります。

※詳細は次ページをご参照ください。

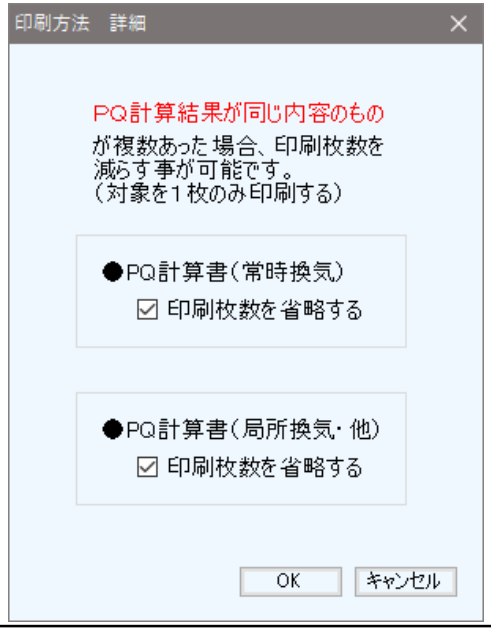
帳票印刷の詳細手順は１４．帳票印刷をご覧ください。

出力内容　詳細



- 換気量の計算判定一覧表　：判定結果をまとめた一覧表を印刷
- 機器風量一覧表　：機器毎の風量の一覧表を印刷
- 換気量の算定一覧表　：計算方式別に必要換気量をまとめた一覧表を印刷
- 換気量の算定　詳細　：部屋毎に必要換気量の算出過程及び結果を印刷

印刷方法　詳細



印刷枚数の省略している表示がされ、印刷枚数が減少している。（赤枠部分）

3. 印刷される帳票のサンプル

建築設備設計基準に準拠した帳票が印刷されます。

V-up Ⅲ Ver.3.3.10
管理No.111

換気量の算定　　ページNo. 1

火を使用する部屋の換気

部屋No.	階数	部屋名
R1	1F	厨房

計算式

1）換気量(A)を求めます。(任意)
Q = V × n

Q：換気量(A)[m³/h]
V：居室の気積 [m³]
n：換気回数 [回/h]

2）面風速による換気量(B)を求めます。(任意)
Q = A × v × 3600

Q：換気量(B)[m³/h]
A：境界部の開口面積 [m²]
v：境界部の風速 [m/s]

3）器具熱量による換気量(C)を求めます。(任意)

V = 定数 × k × Q

V：換気量(C) [m³/h]
k：理論廃ガス量 [m³/(kW･h)]
Q：発熱量 [kW]

V = 定数 × k × Q

V：換気量(C) [m³/h]
k：理論廃ガス量 [m³/kg]
Q：燃料消費量 [kg/h]

V = e × P

V：換気量(C) [m³/h]
e：電気式厨房器具の換気係数 [m³/(kW･h)]
P：電気式厨房器具の消費電力 [kW]

4）換気量(B)と換気量(C)の合計を比較し
大きい方を換気量(D)とします。(任意)

5）換気量(A)と換気量(D)の合計を比較し
大きい方の換気量を必要有効換気量とします。

計算

1）換気量(A)
計算なし　0.00

●フード１
2）換気量(B)
計算なし　0.00

3）換気量(C)

フライヤー	30 × 0.93 × 3.3 =	259.47
コンロ	30 × 0.93 × 3.1 =	86.49
		345.96

4）換気量(D)
0 < 345.96　345.96

換気量(D)の合計　345.96

5）換気量(A)と換気量(D)の合計を比較
0 < 345.96　345.96

※本資料は貴社情報による参考資料です。施工時には建築士
※確認申請の作成につきましては書式は地域ごとに定められ
また当該の建築主事の意向を確認し、その指示に従ってく

V-upⅢ Ver.3.3.10
管理No.161031-01

換気量の算定　　ページNo. 2

機器風量一覧表

※ =「換気量の計算判定一覧表」に記載されている代表品番以外の品番

系統No.	階数	設置位置（部屋名）	機器品番	風量 ノッチ	PQ計算書 ページ 給気	PQ計算書 ページ 排気	端末番号	端末位置（部屋名）	換気量（給気）[m³/h]	換気量（排気）[m³/h]	判定経路	有効換気量 [m³/h]	部屋No.	設定部屋名	備考
EEF-1	1F	売場	FY-23SCS3	強		6	—			1099.00	排気	1099.00	R1	売場	
							RA1			549.50					
							RA2			549.50					
EF-3	1F	売場	FY-25SCF3	強		7	—			1578.00	排気	1578.00	R1	売場	※
							RA1			526.00					
							RA2			526.00					
							RA3			526.00					
EF-2	1F	売場	FY-25SCF3	強		8	—			1631.00	排				
							RA1			543.67					
							RA2			543.67					
							RA3			543.67					
EF-1	1F	売場	FY-25SCF3	強		9	—			1574.50	排				
							RA1			524.83					
							RA2			524.83					
							RA3			524.83					
	1F	WC	FY-27C7	強弱なし		10	—			248.00					
	1F	WC	FY-27C7	強弱なし		11	—			253.00					
	1F	WC	FY-27C7	強弱なし		12	—			244.50					
EF-4	1F	機械室	FY-25SCF3	強		13	—			1629.50	排				
							RA1			814.75					
							RA2			814.75					
	1F	休憩室	FY-27BMS7	強		14	—			200.00	排				
	1F	店長室	FY-24CK8	強弱なし		15	—			140.00	排				
	1F		FY-38S7	強弱なし		16	—			488.00					

※本資料は貴社情報による参考資料です。施工時には建築士と十分な最終確認を行ってください。
※確認申請の作成につきましては書式は地域ごとに定められたものをご利用ください。

V-upⅢ Ver.3.3.10
管理No.181031-01

換気量の算定　　ページNo. 3

機器風量一覧表

※ =「換気量の計算判定一覧表」に記載されている代表品番以外の品番

系統No.	階数	設置位置（部屋名）	機器品番	風量 ノッチ	PQ計算書 ページ 給気	PQ計算書 ページ 排気	端末番号	端末位置（部屋名）	換気量（給気）[m³/h]	換気量（排気）[m³/h]	判定経路	有効換気量 [m³/h]	部屋No.	設定部屋名	備考
	1F		FY-38S7	強弱なし		17	—			488.00					
	1F		FY-38S7	強弱なし		18	—			488.00					
	1F		FY-38S7	強弱なし		19	—			488.00					
	1F		FY-38S7	強弱なし		20	—			488.00					
	1F		FY-38S7	強弱なし		21	—			488.00					

※本資料は貴社情報による参考資料です。施工時には建築士と十分な最終確認を行ってください。
※確認申請の作成につきましては書式は地域ごとに定められたものをご利用ください。
また当該の建築主事の意向を確認し、その指示に従ってください。

V-upⅢ Ver.3.3.10
管理No.181031-01

換気量の算定　　ページNo. 4

換気回数による換気(一覧)

計算式

Q = V × n

Q：必要有効換気量 [m³/h]
V：居室の気積 [m³]
n：換気回数 [回/h]

計算

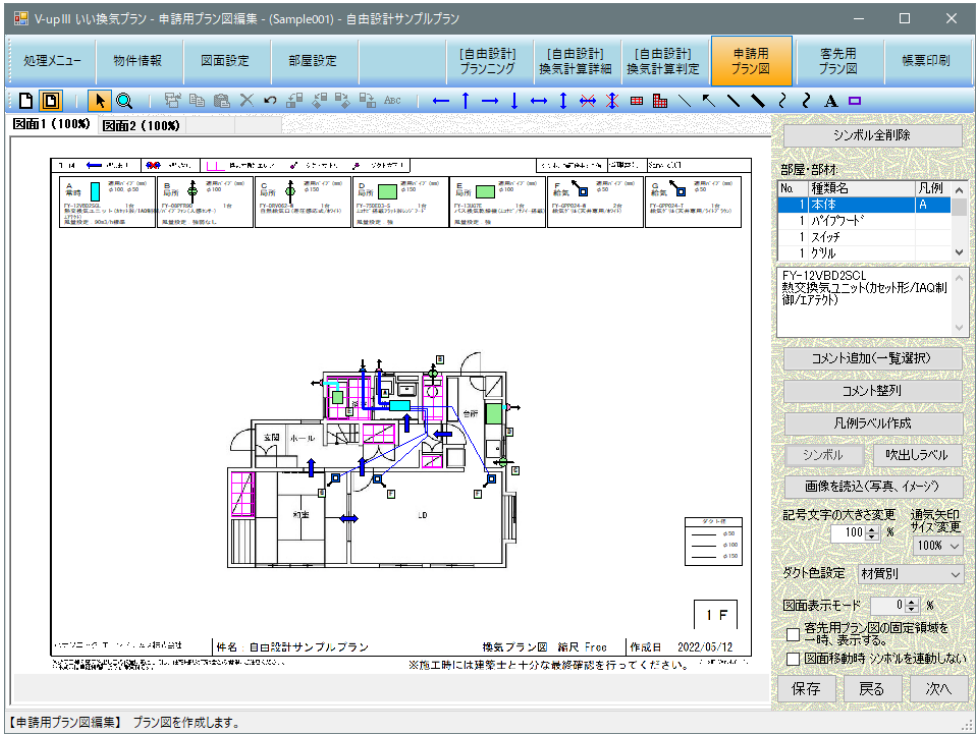
部屋No.	階数	部屋名	床面積 [m²]	天井高 [m]	気積 V [m³]	換気回数 n	必要有効換気量 [m³/h]
R2	1F	機械室	15.6	4	62.40	20	1248.00
R3	1F	休憩室	12.6	3	37.80	5	189.00
R4	1F	店長室	7.91	3	23.73	5	118.65

※本資料は貴社情報による参考資料です。施工時には建築士と十分な最終確認を行ってください。
※確認申請の作成につきましては書式は地域ごとに定められたものをご利用ください。
また当該の建築主事の意向を確認し、その指示に従ってください。

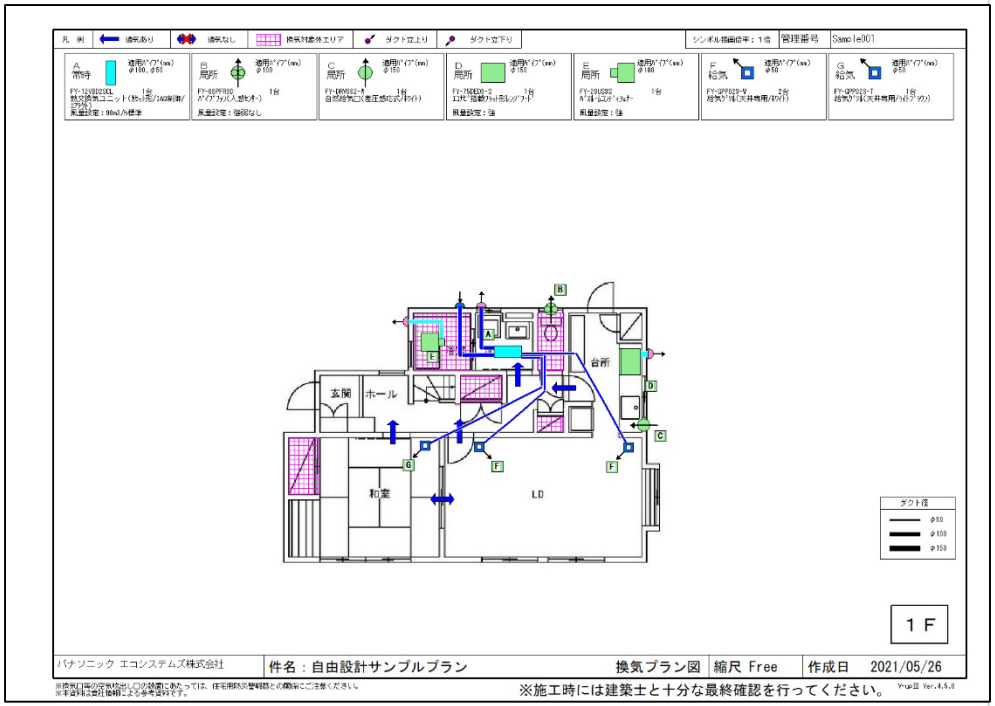
１２．申請用プラン図

申請用プラン図を作成します。（凡例ラベル、シンボル配置（簡易設計時のみ）、換気対象外の網掛け、通気矢印など）

＜操作画面＞



＜印刷サンプル＞



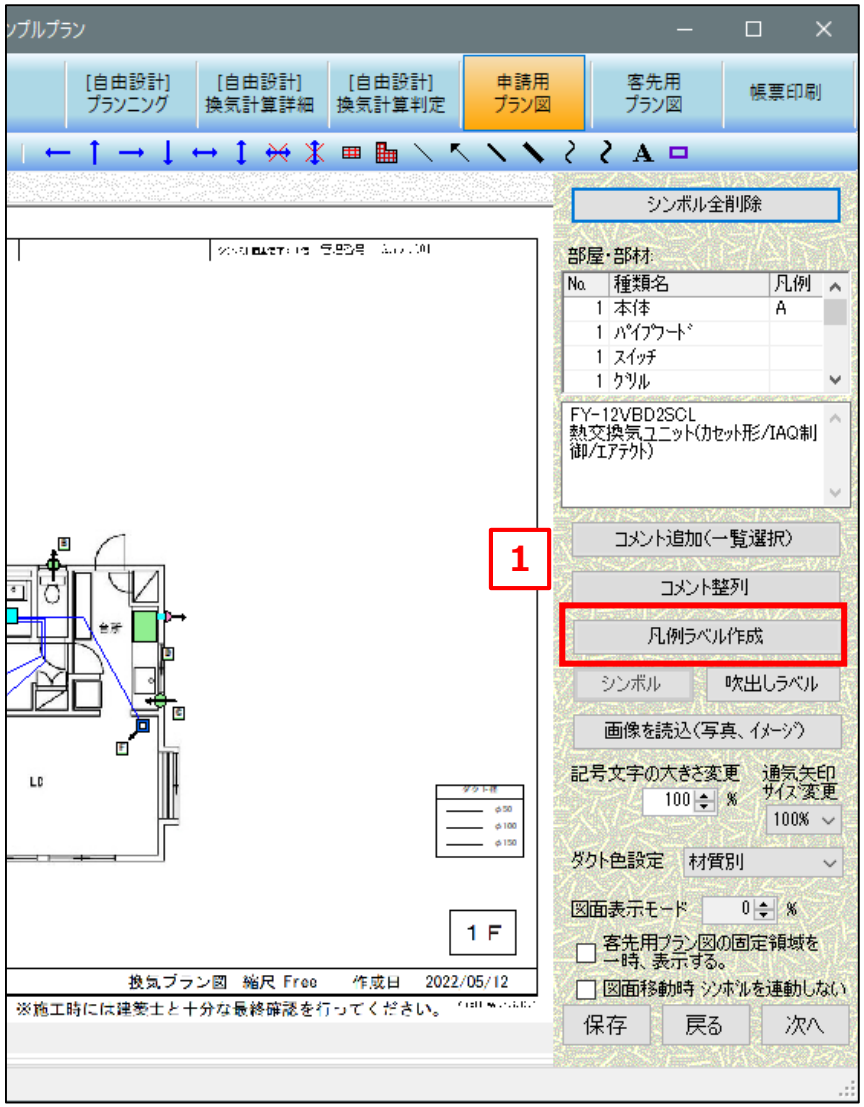
１２－１．凡例ラベルを貼り付ける

凡例ラベルを作成します。

1. **凡例ラベル作成** をクリックします。

凡例ラベル作成ウィンドウが表示されます。

※新規プラン作成時は、自動でウィンドウが表示されます。



2. 凡例ラベルを作成する品番の【選択】に、チェックを入れます。

※初期状態では、本体、グリルにはチェックが入っています。

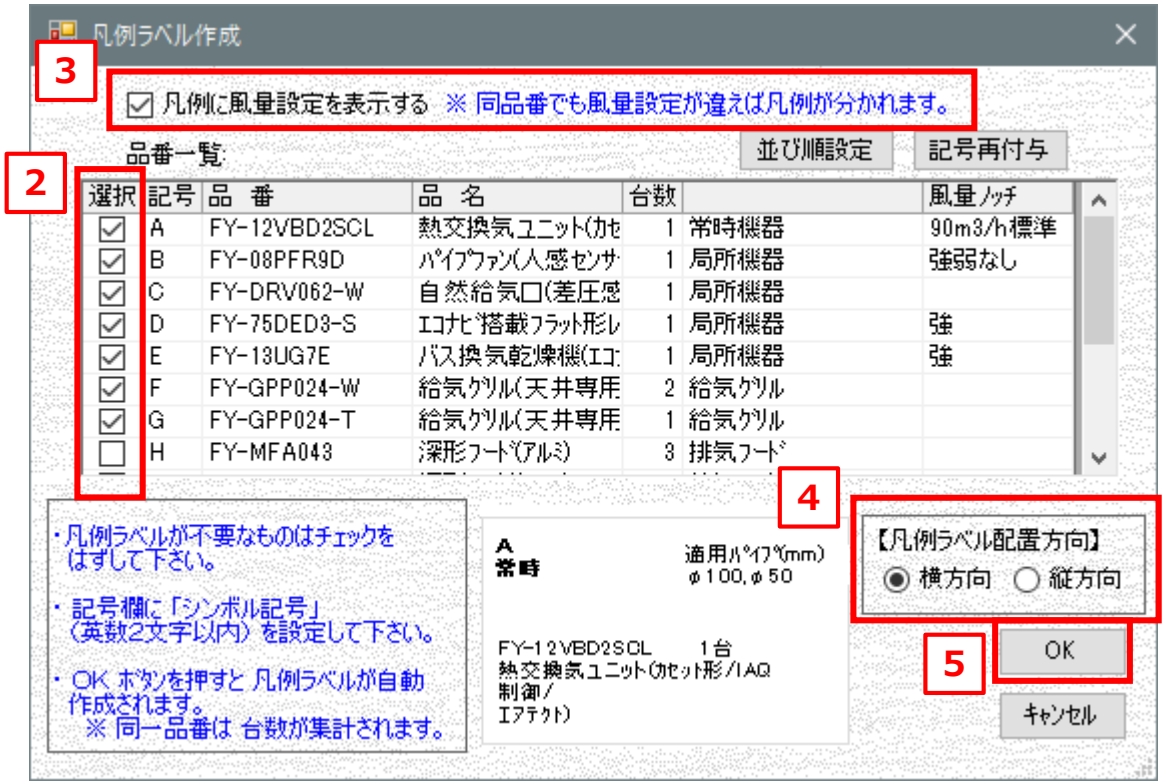
3. 凡例に風量設定も表示するかの設定をします。

※初期設定はチェックありとなっています。必要ない場合はチェックを外します。

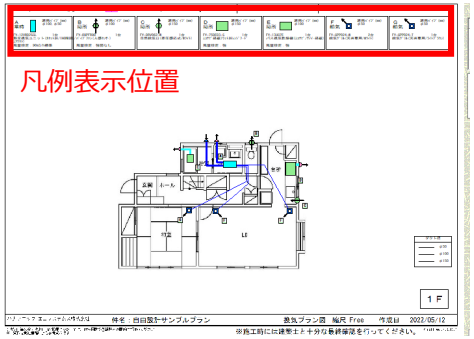
4. 凡例ラベルの配置方向を選択します。

5. **OK** をクリックします。

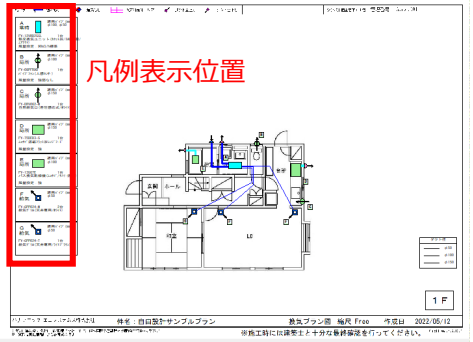
凡例ラベルが作成されます。



<横方向の場合>



<縦方向の場合>



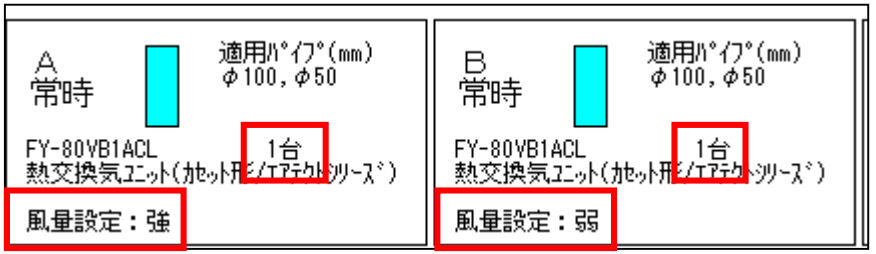
【凡例に風量設定を表示した場合のサンプル】

複数機種で、風量設定が同じ場合

※凡例は１つにまとまる。

複数機種で、風量設定が違う場合

※凡例が２つに分かれる。



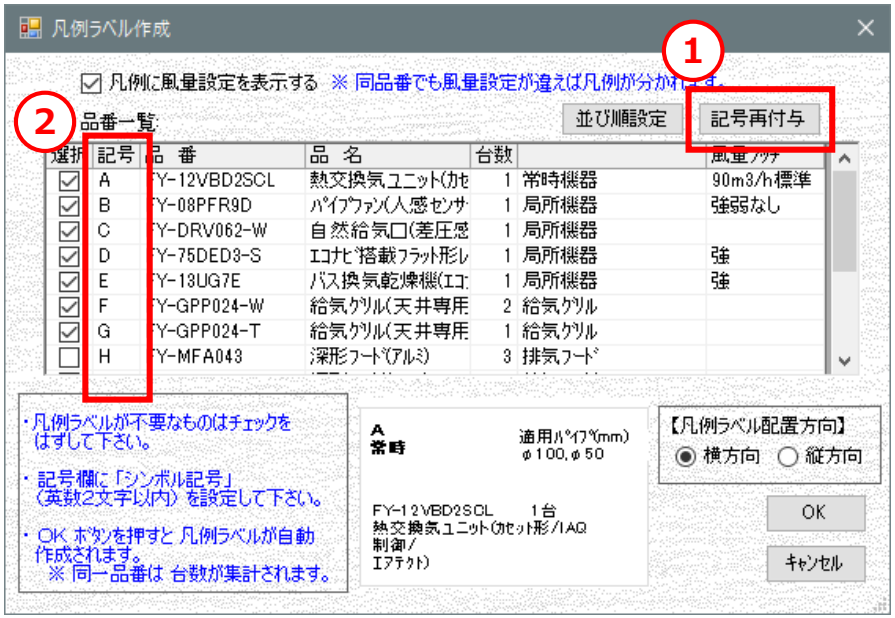
【その他機能：記号再付与】

① 凡例ラベルの記号を付け直します。

※上からアルファベット順（A～Z）になります。
※申請用プラン図作成後に、機器を変更した場合などに使用します。

② 各品番の記号を直接変更する事ができます。

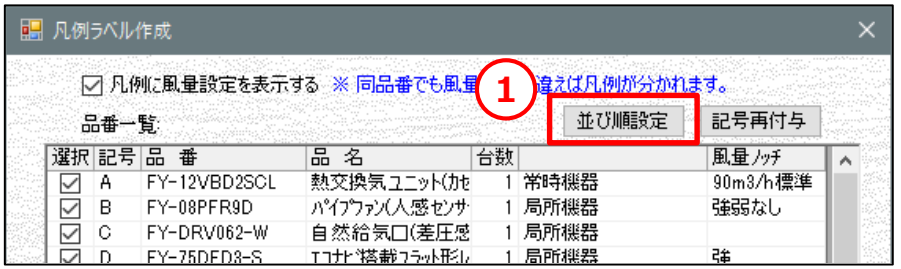
※変更したい記号をダブルクリックするとテキスト入力可能となります。



【その他機能：並び順設定】

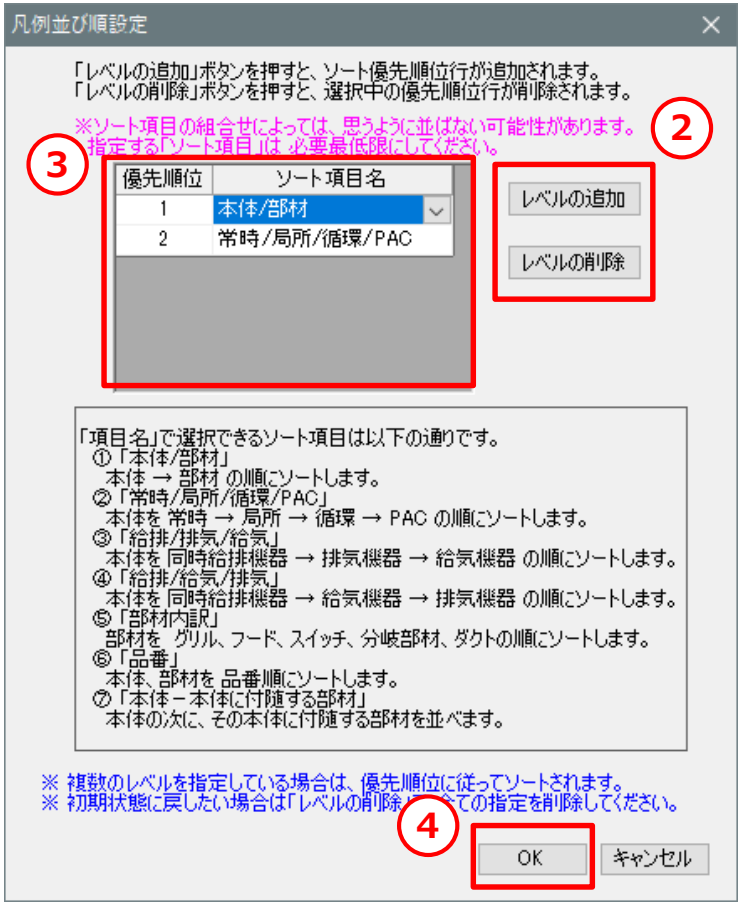
① 凡例ラベルの並び順を変更します。
凡例並び順設定ウィンドウが表示されます。

※設定条件によっては、並び変わらない事があります。



② **レベルの追加** ボタン、 **レベルの削除** ボタンで条件設定枠を増減できます。

※条件は最大５個まで設定できます。



③ ソート項目名を、優先順位に従って設定します。

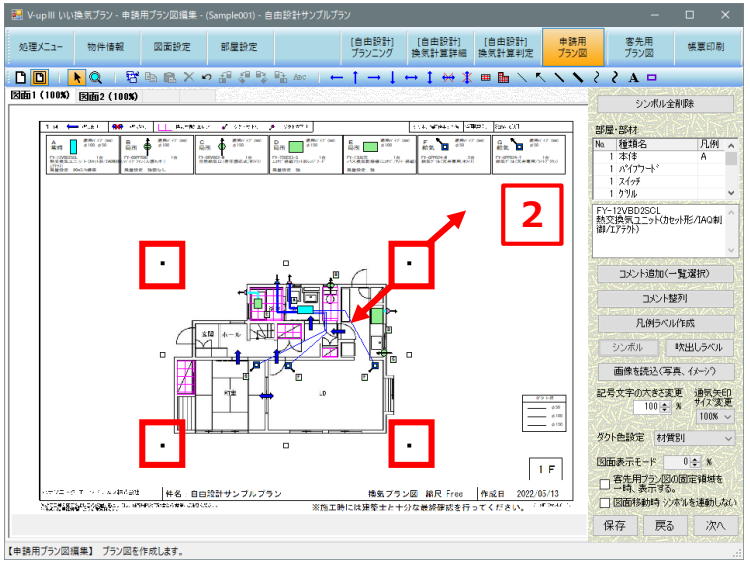
④ **OK** をクリックします。

設定に従って、凡例ラベルが並び変えられます。

１２－２．平面図の大きさを変更する

申請用プラン図の平面図の大きさを変更する事ができます。

右の図は自由設計のため、プラン図が表示されていますが 簡易設計では、平面図のみが表示されます。

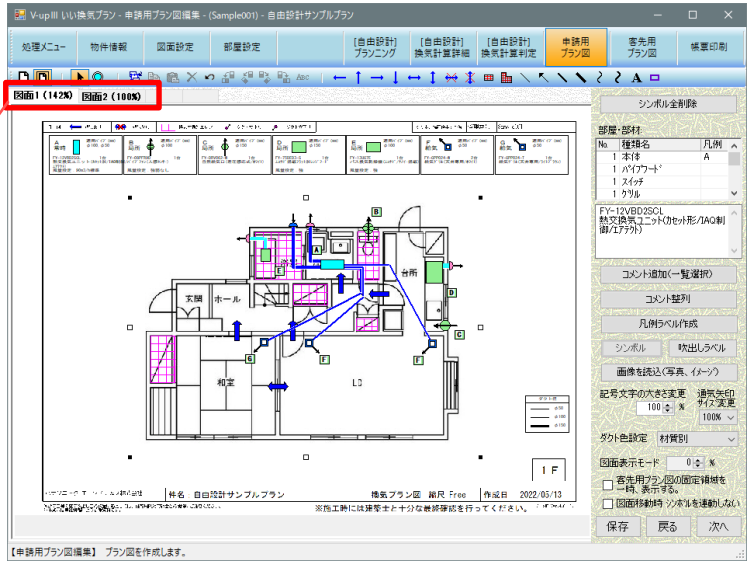


1. 平面図をクリックして選択します。

※四隅に黒いポイントが表示されます。（右図赤枠部分）

2. 四隅の黒いポイントをドラッグします。

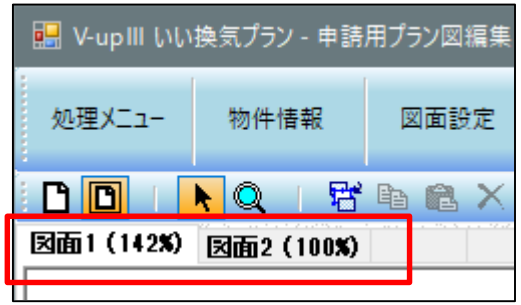
外側にドラッグ　→　拡大
内側にドラッグ　→　縮小



【図面の表示倍率を合わせるには】

上部のタブで各図面の表示倍率を確認できます。（下図）

この数値がすべての図面で同じになるように平面図の大きさを調整します。



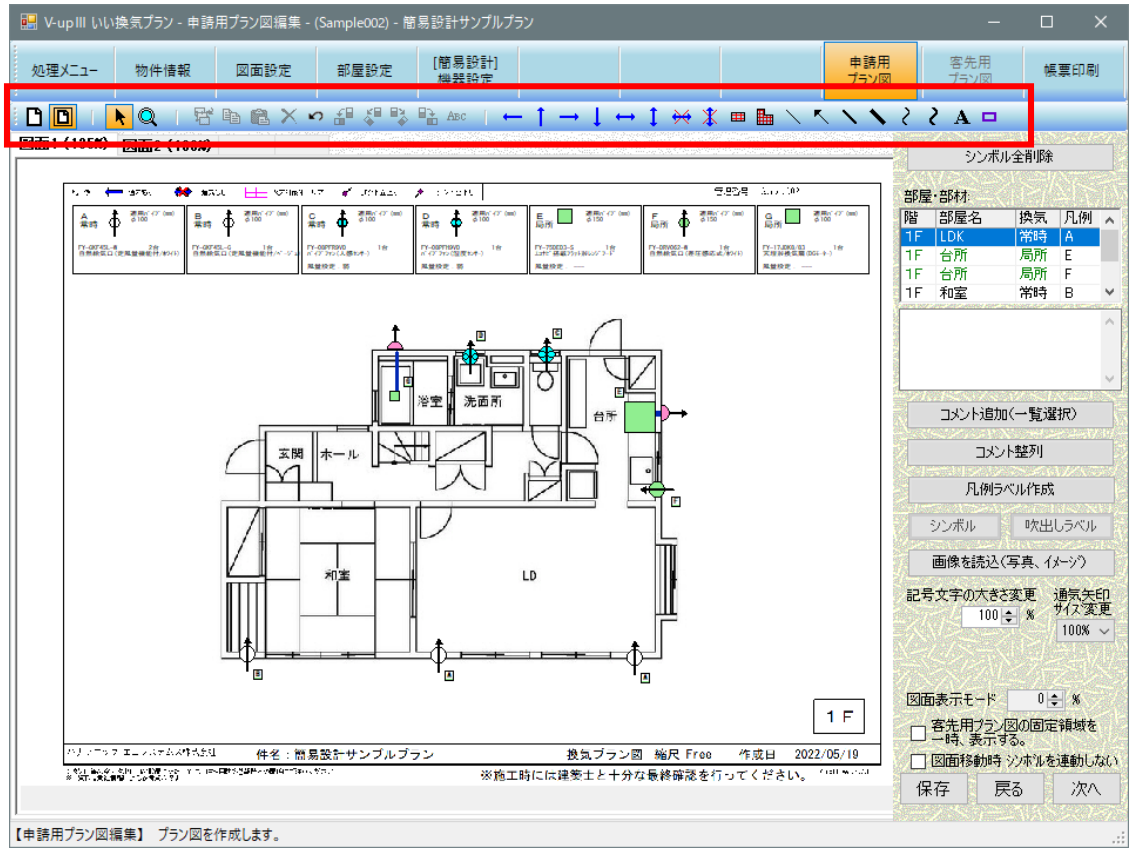
１２－３．プラン図を作成する（簡易設計）

シンボルを配置して、申請用プラン図を作成します。

本項目は「簡易設計」において必要な手順です。

自由設計の場合は、「**１２－４．換気対象外エリアの表示をする**」に進みます。

上部アイコン（赤枠）の使用方法については、「**付録　３．アイコン・キーボードの機能一覧**」を参照ください。

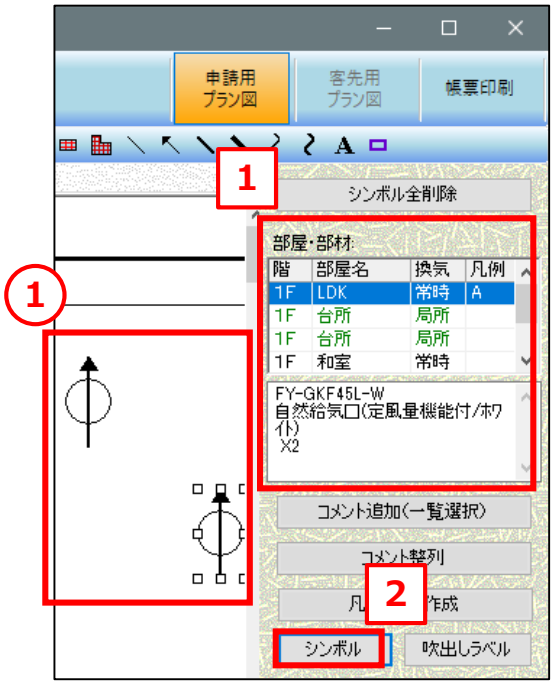


（１）本体・部材を配置する

1.　「部屋・部材」欄より、部屋名をクリックします。

部屋名を選択すると、その部屋に設置してある機器の情報が下段に表示されます。

右図）１Ｆ　LDKを選択すると、自然給気口（FY-GKF45L-W×２台）と表示。



2.　**シンボル**　をクリックします。

図面上（赤枠①）に、シンボルが配置されます。

配置されるシンボルは、台数分同時に配置されます。
屋外フード、グリルなどの部材も同時に配置されます。

右図）自然給気口（FY-GKF45L-W×２台）なので、シンボルが２個配置される。

3.　配置されたシンボルを選択して、設置する位置に移動させます。

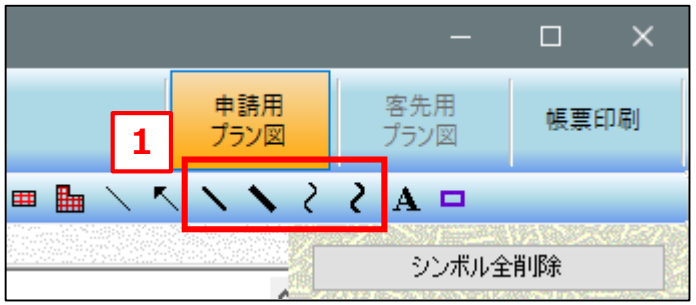
4.　全ての部屋の機器を配置するまで、手順１～３を繰り返します。

（２）ダクトを作図する

ダクトの配管が必要な場合は、ダクトを作図します。

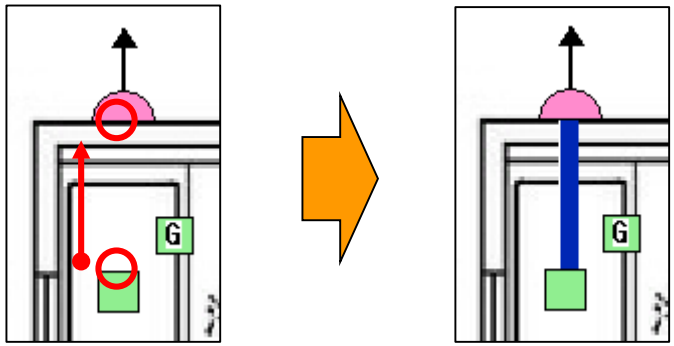
1. ダクトのアイコンをクリックします。

直線（φ100）
直線（φ150）
折線（φ100）
折線（φ150）



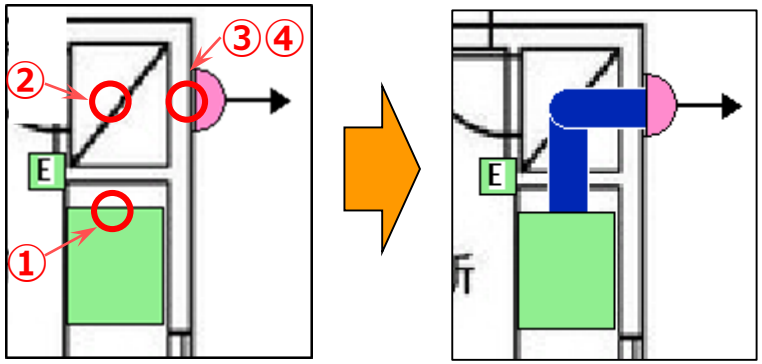
2. ダクトを作図します。

＜直線の場合＞



開始位置で左クリックしたまま、終了位置まで
マウスをドラッグします。
左クリックを放すとダクトが描画されます。

＜折線の場合＞



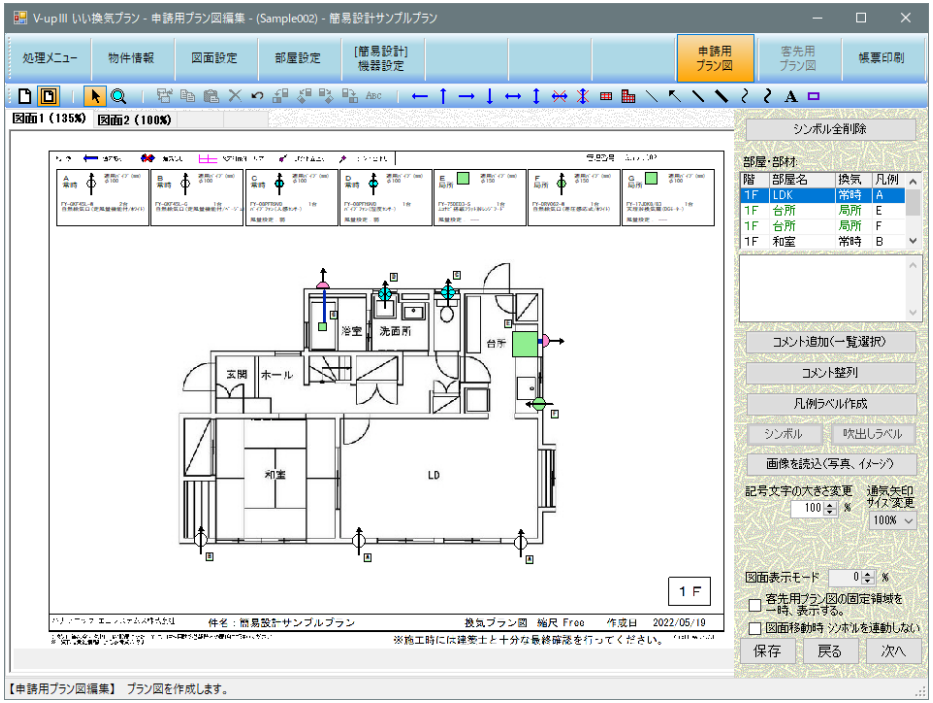
① 開始位置で左クリック
② 曲がり部分で左クリック
③ 終了位置で左クリック
④ 最後に右クリックするとダクトが描画されます。

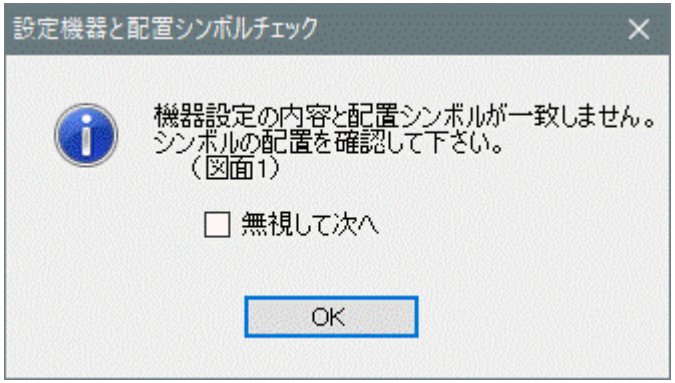
【設定機器と配置シンボルの数量チェック】

機器設定画面において設定した機器の台数と、
申請用プラン図で配置したシンボルの個数が、
一致しない場合は、右下図のメッセージボックスが
表示されます。

修正する場合は、そもまま　**OK**　をクリックします。

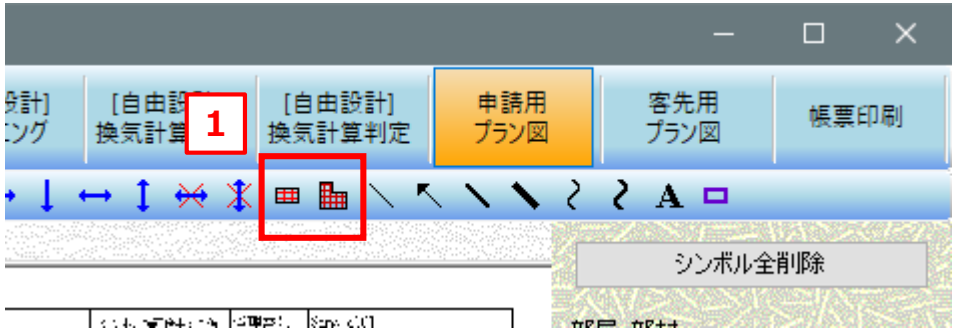
そのまま次の画面へ進む場合は、「無視して次へ」に
チェックを入れてから、**OK**　をクリックします。





１２－４．換気対象外エリアの表示をする

1. 換気対象外のアイコンをクリックします。

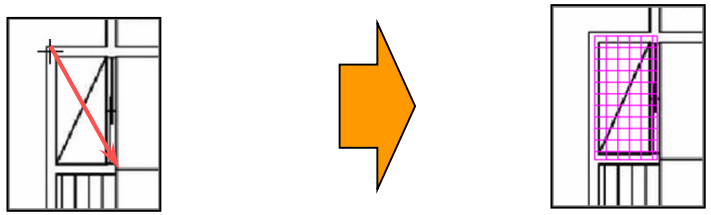


長方形のエリアを作図します。

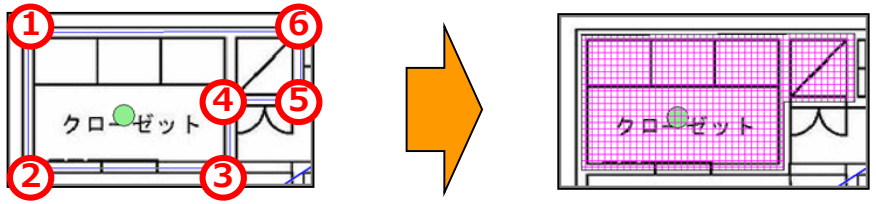
多角形のエリアを作図します。

2. 換気対象外エリアを作図します。

換気対象外エリアの対角線上をドラッグします。



①　始点で左クリック
②～⑥　曲がる点で左クリック
⑦　もう一度、①で左クリック
⑧　右クリックで終了



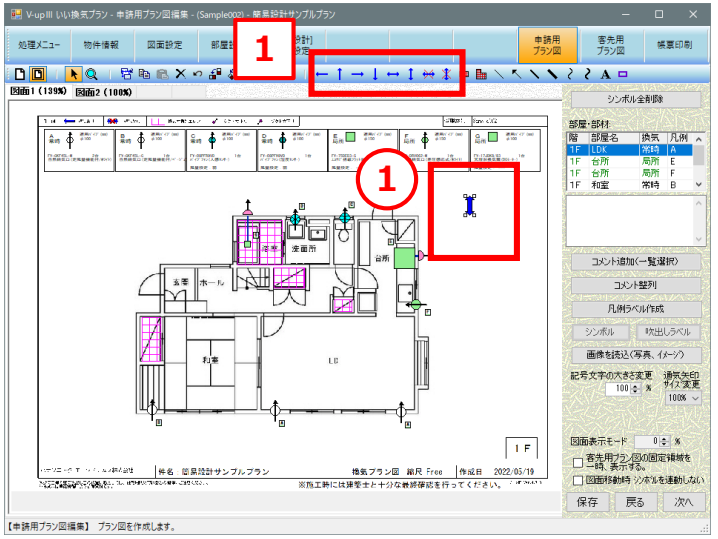
【換気対象外エリアの表示を削除する方法】

アイコンをクリックすると、1つ前の作業状態に戻ります。
（UnDo機能）

換気対象外エリアの輪郭を選択して　アイコンをクリック、
または、Deleteキーを押すと図形が削除されます。
※多角形の場合は、一辺ずつ削除する必要があります。

１２－５．通気可／不可の表示をする

通気可／不可（ドアのアンダーカット等の有無）のシンボルを配置します。

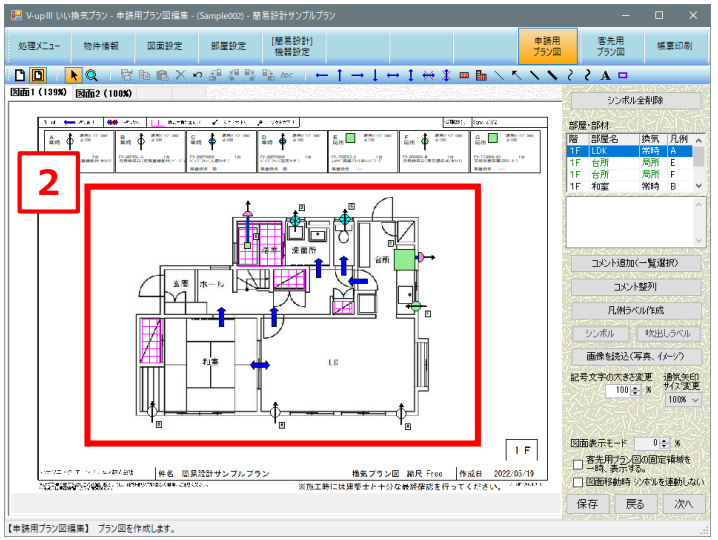


1. 通気可／不可のアイコンをクリックします。

図面上（赤枠①）に、シンボルが配置されます。

：通気可

：通気不可



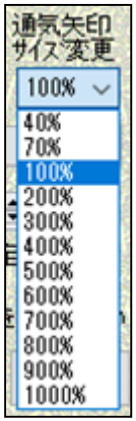
2. 配置されたシンボルを選択して、設置する位置に移動させます。

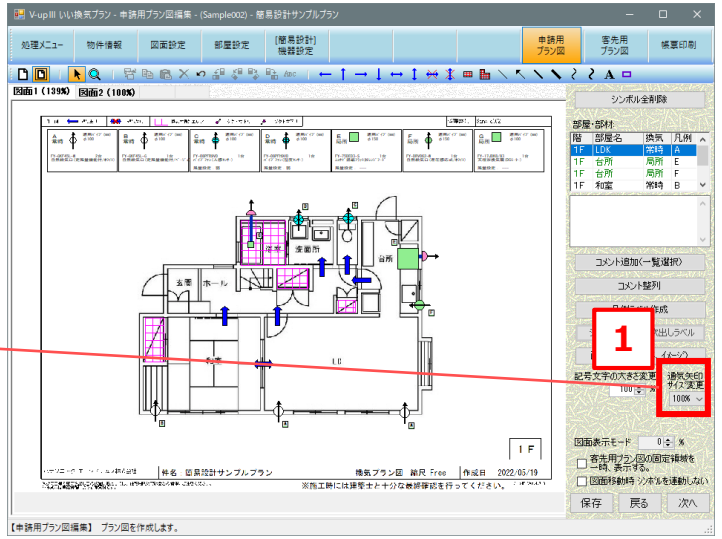
3. 全ての通気シンボルを配置するまで、手順１～２を繰り返します。

【通気シンボルの表示サイズの変更】

通気シンボルの表示サイズを変更する事ができます。

1. 通気矢印サイズ変更から、「40%～1000%」を選択します。





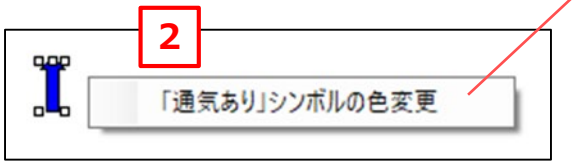
【通気シンボルの表示色の変更】

通気シンボルの表示色（デフォルト：青）を変更する事ができます。

1. 通気シンボルを右クリックします。

2. 「通気ありシンボルの色変更」をクリックします。
色選択ウィンドウが表示されます。

3. 任意の色を選択して、 **OK** をクリックします。



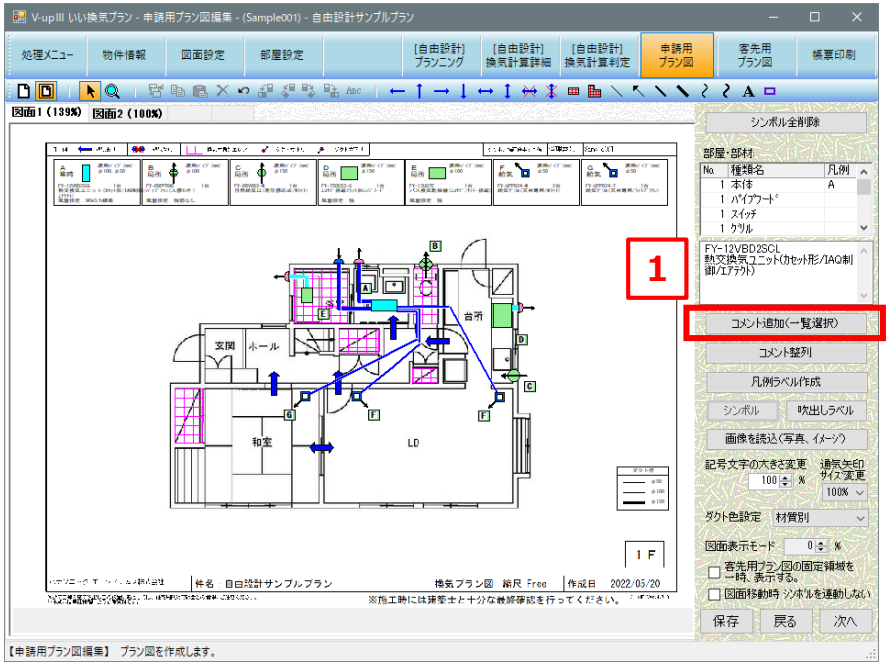
１２－６．コメントを表示する

図面上に注意書き等のコメントを貼り付けます。

（１）コメント一覧から選択する場合

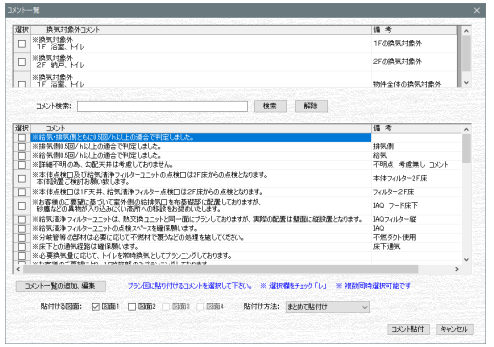
コメントは事前に登録する必要があります。
初期状態では、登録コメントはありません。

コメントの登録方法については、
「**第２章　４．プラン図用コメント登録**」を参照ください。



1. **コメント追加（一覧選択）**　をクリックします。

コメント一覧ウィンドウが表示されます。



2. 換気対象外の部屋名を表示する場合に、該当コメントにチェックを入れます。

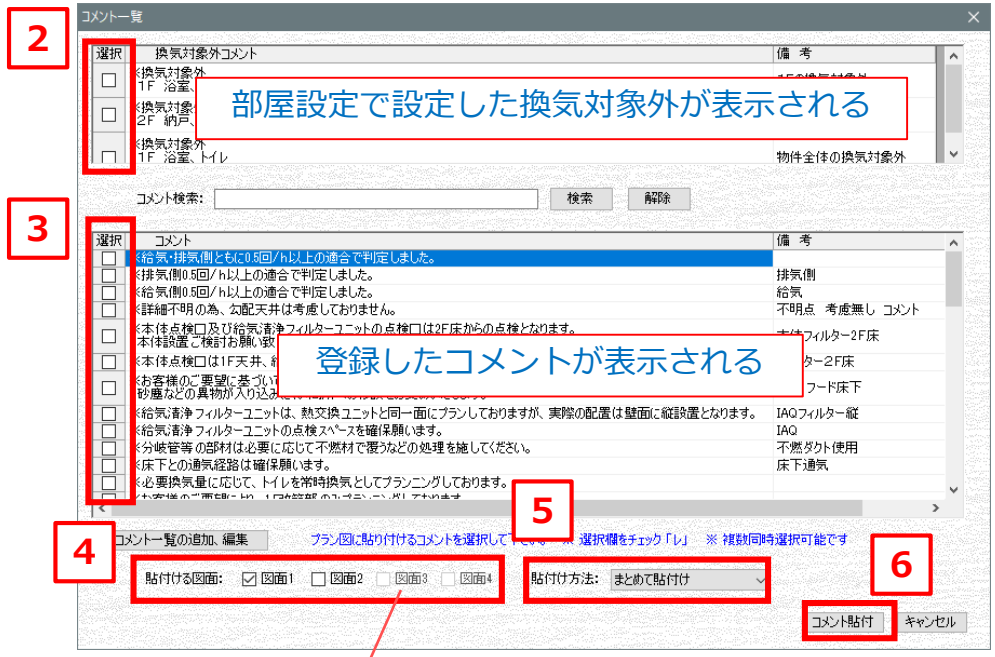
3. 表示したいコメントにチェックを入れます。
（複数選択可）

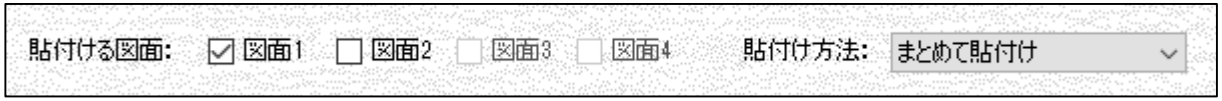
4. 貼付ける図面を選択します。

5. 貼付け方法を選択します。

・まとめて貼付け
選択したコメントを１つの文章として貼り付けます。

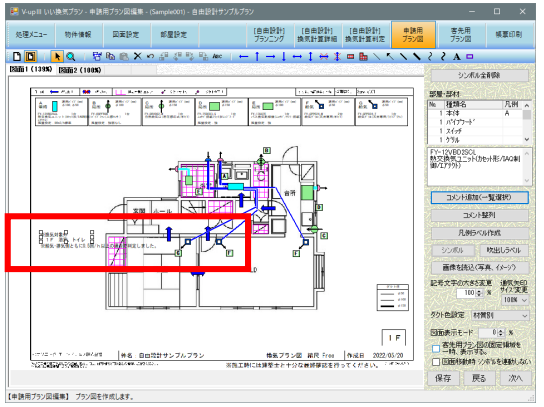
・分けて貼付け
選択したコメントをそれぞれ別に貼り付けます。





6. コメント貼付　をクリックします。

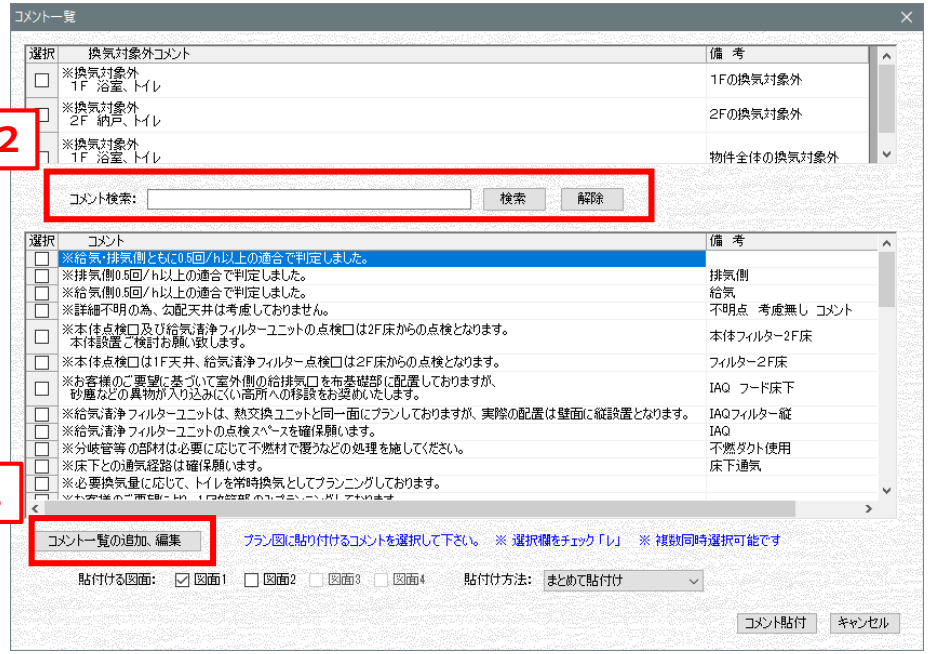
選択したコメントが図面（赤枠位置）に表示されます。



【コメントを追加、編集する】

1. **コメント一覧の追加、編集** をクリックします。

プラン図用コメント登録ウィンドウが表示されます。



コメントの登録方法については、

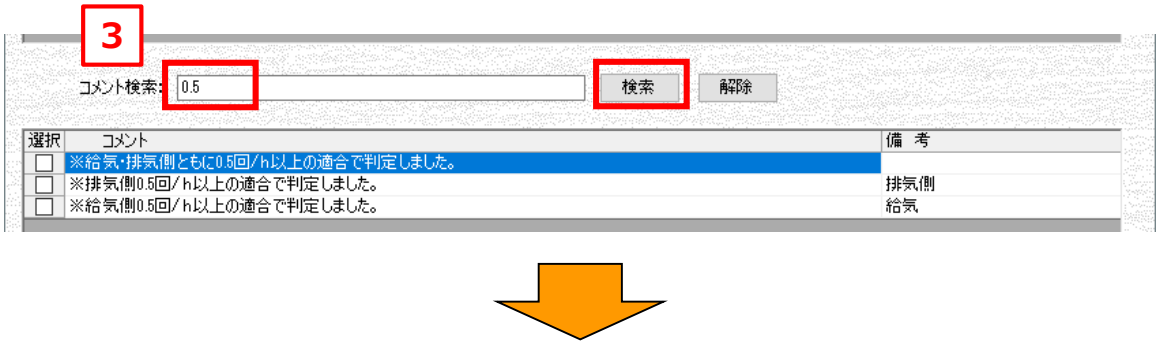
「**第２章　４．プラン図用コメント登録**」を参照ください。

【コメントを一覧から検索する】

2. コメント検索欄に、任意文字を入力して、 **検索** ボタンを押します。

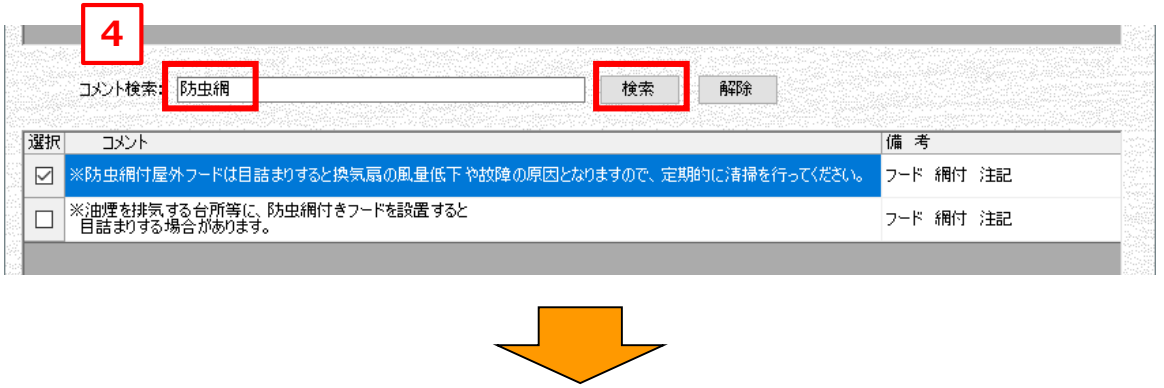
リストの絞り込みを解除する場合は、 **解除** ボタンを押します。

3. 検索結果が表示されるので、コメント表示する場合は、選択にチェックを入れます。



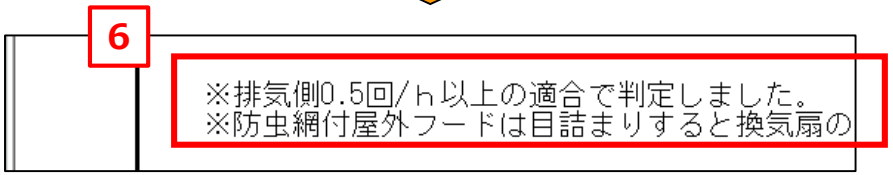
4. 続けて、別の検索文字を入力し検索後、表示するコメントにチェックを入れます。

※手順３でチェックを入れたコメントは保持されています。

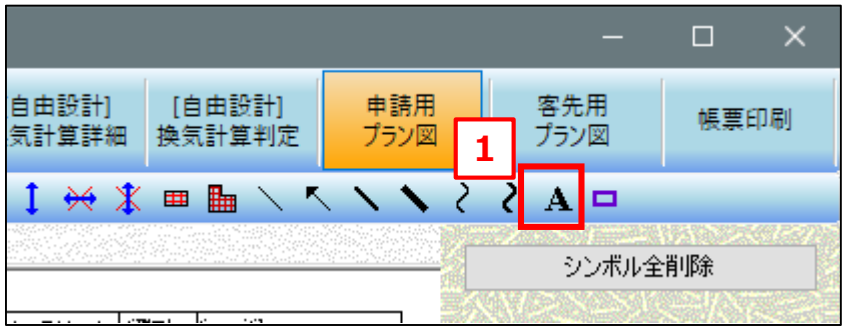


5. 手順２～４を繰り返し、表示する全てのコメントにチェックを入れた後、 **コメント貼付** ボタンを押します。

6. 選択したコメントが表示されます。



（２）テキストを貼り付けて記載する場合

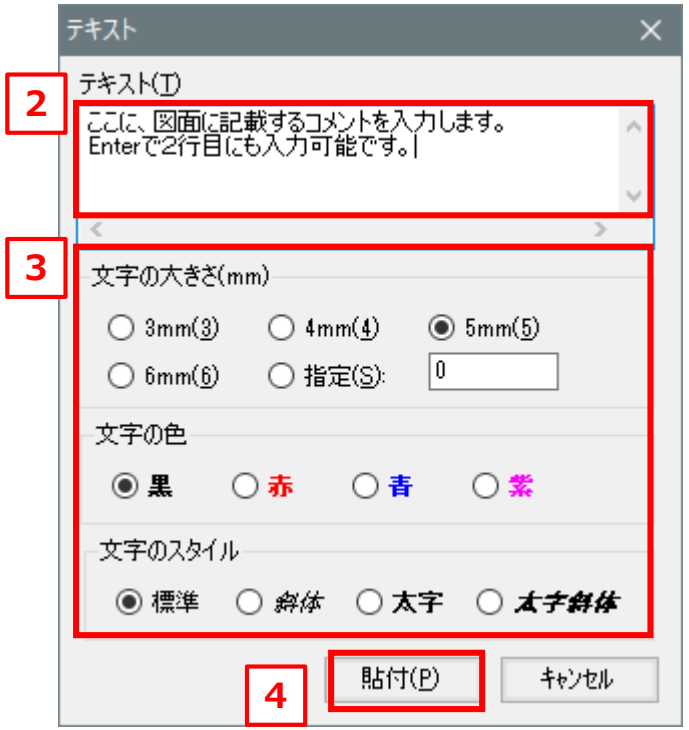


1. A テキストのアイコンをクリックします。
テキスト入力ウィンドウが表示されます。

2. テキストを入力します。

3. 文字の大きさ、色、スタイルを選択します。

4. 入力・設定後、 貼付 をクリックします。



【貼り付けたテキストを編集する】

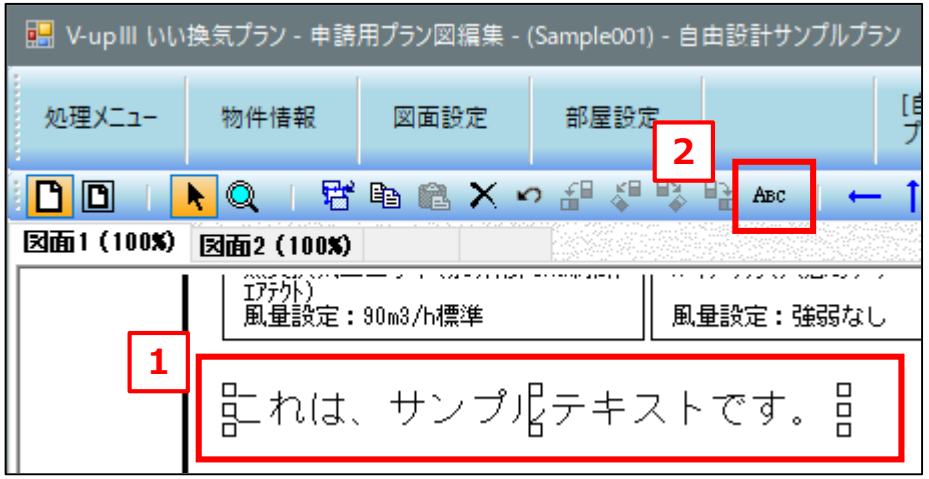
1. 編集するテキストを選択します。

2. Abc テキスト編集のアイコンをクリックします。
テキスト入力ウィンドウが表示されます。

3. テキストを編集します。

4. 文字の大きさ、色、スタイルを変更します。

5. 変更後、 **貼付** をクリックします。

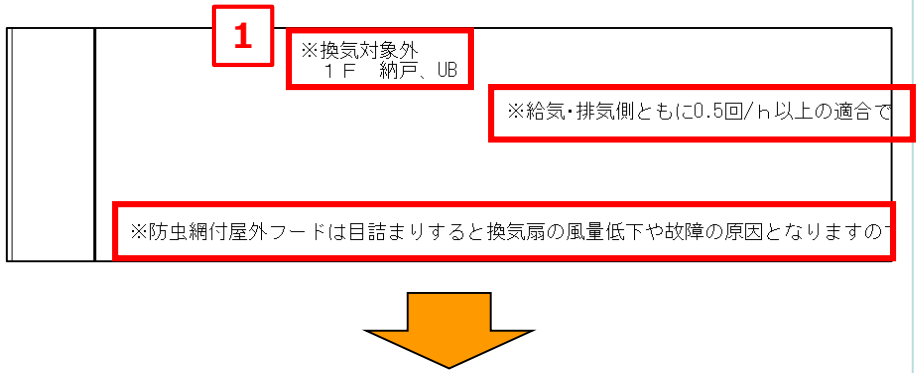


１２－7. コメントを整列させる

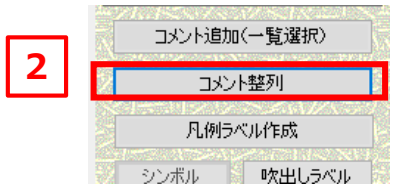
プラン図に配置したコメントを整列します。

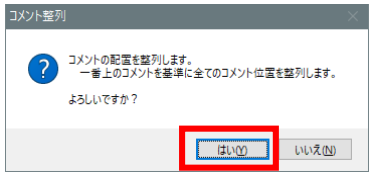
1. 一番上に表示されているコメントを基準にして、
全てのコメントが整列します。

例）右図の場合、
一番上にある「換気対象外のコメント」の位置に
整列します。

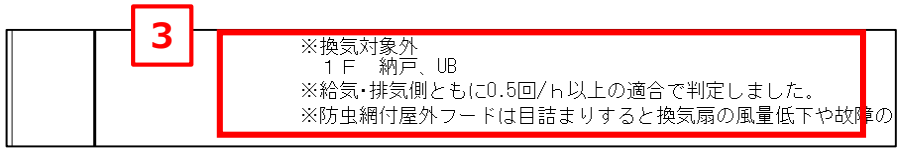


2. **コメント整列** ボタンを押します。
メッセージボックスが表示されるので、**はい** を押します。





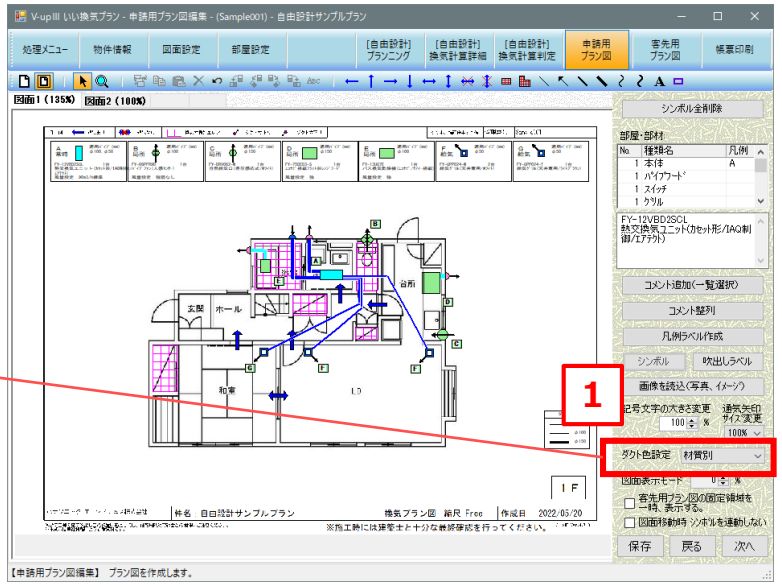
3. コメントが整列します。



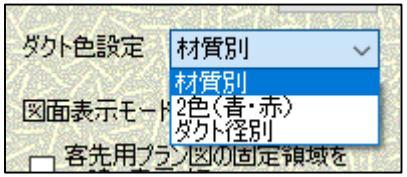
１２－８．その他の機能

（１）ダクトの色設定

申請用／客先用プラン図上でダクトの表示色の変更が出来ます。

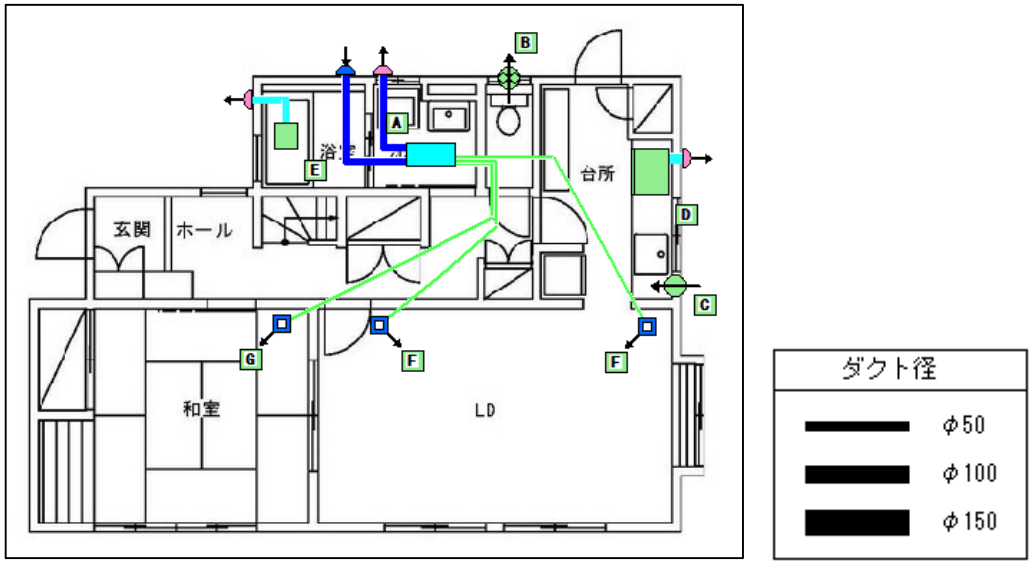


1. ダクト色設定で、配色を選択します。

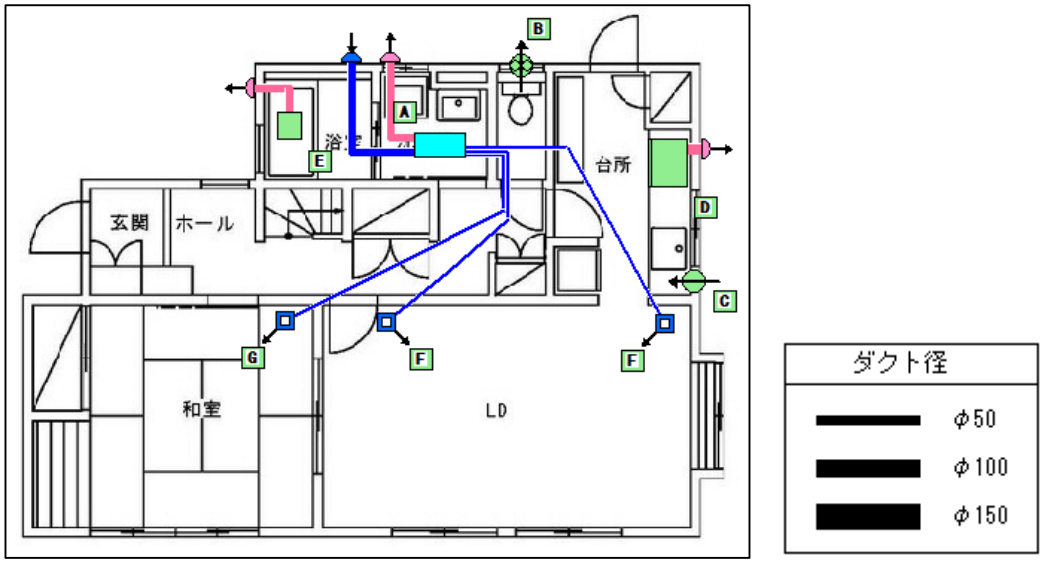


●ダクトの材質別に色分け

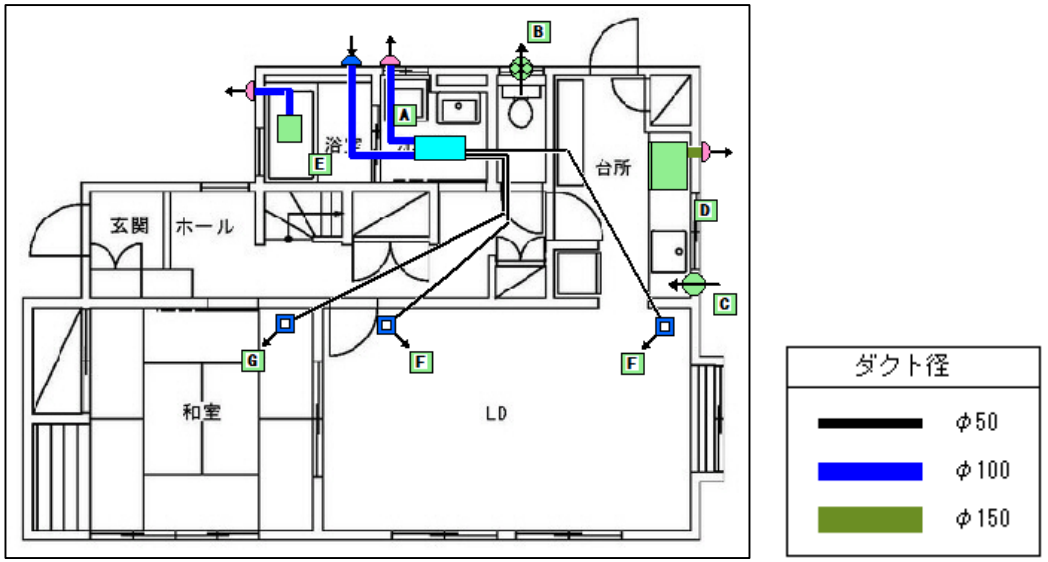
※補助機能で設定を変更していない場合の初期値



●ダクトの系統（給気・排気）別に２色分け
（給気＝青、排気＝赤）

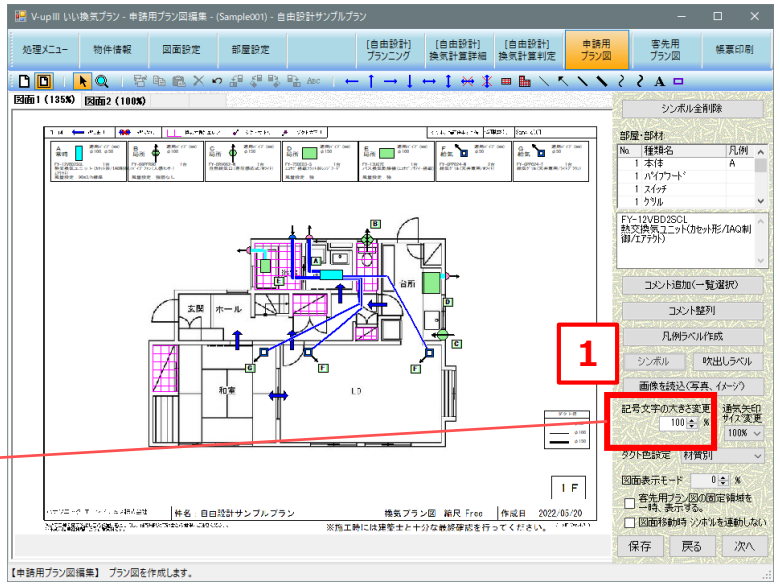


●ダクトの径別に色分け



（２）記号文字の大きさ変更

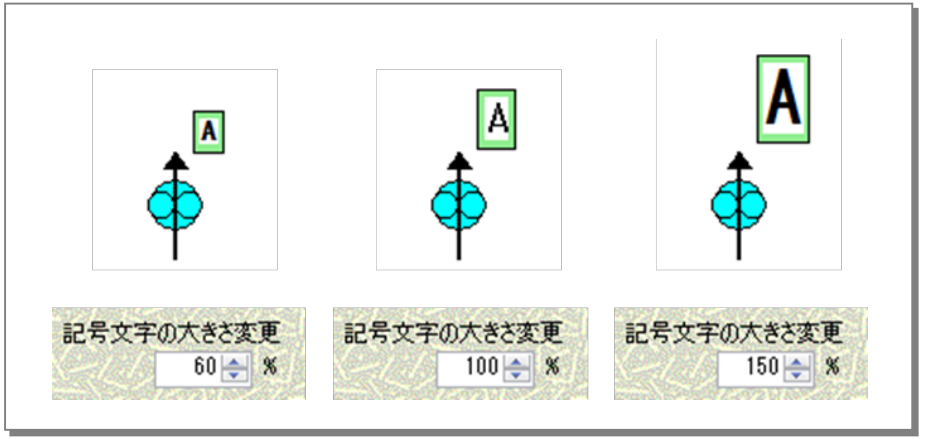
機器シンボルの近くに表示される記号の大きさを変更します。



1.　「記号文字の大きさ変更」の枠に直接数値を入力するか、
スピンボタン（三角の矢印）をクリックして数値を変更します。

※変更範囲は、30%～500%です。

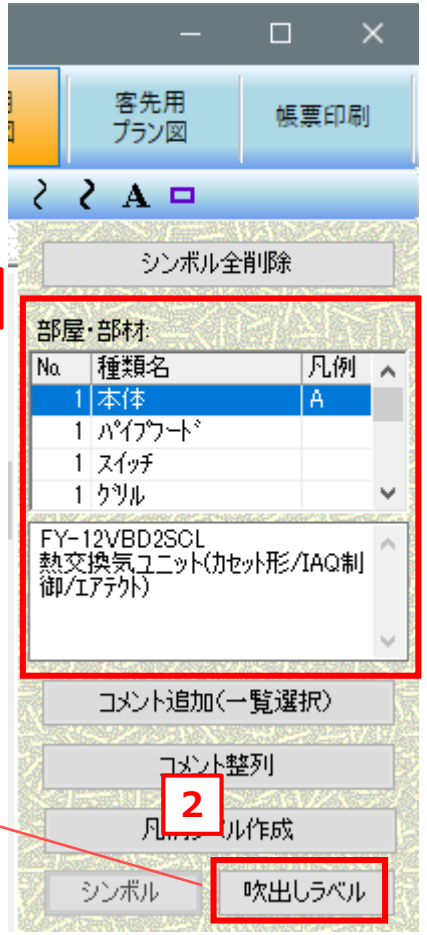
<サイズ比較>



※申請用プラン図で記号文字の大きさを変更した後、
客先用プラン図で凡例ラベルを作成すると、
申請用プラン図での変更が適用されます。

（３）ラベル（吹出しラベル）

吹出しラベルを作成する事ができます。



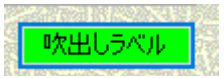
1.　「部屋・部材」欄より、部材の種類名をクリックします。

種類名を選択すると、機器の詳細情報が下段に表示されます。

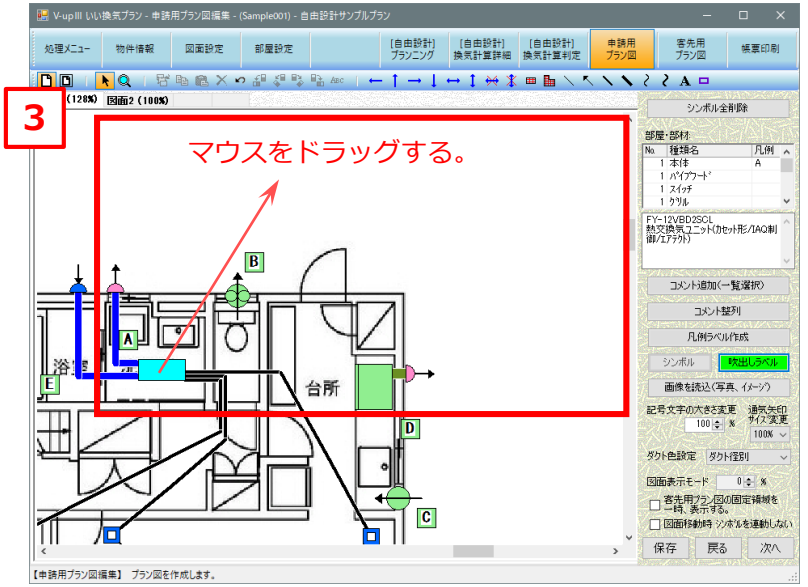
右図）No. 1　本体を選択すると、熱交換気ユニット（FY-12VBD2SCL）と表示。

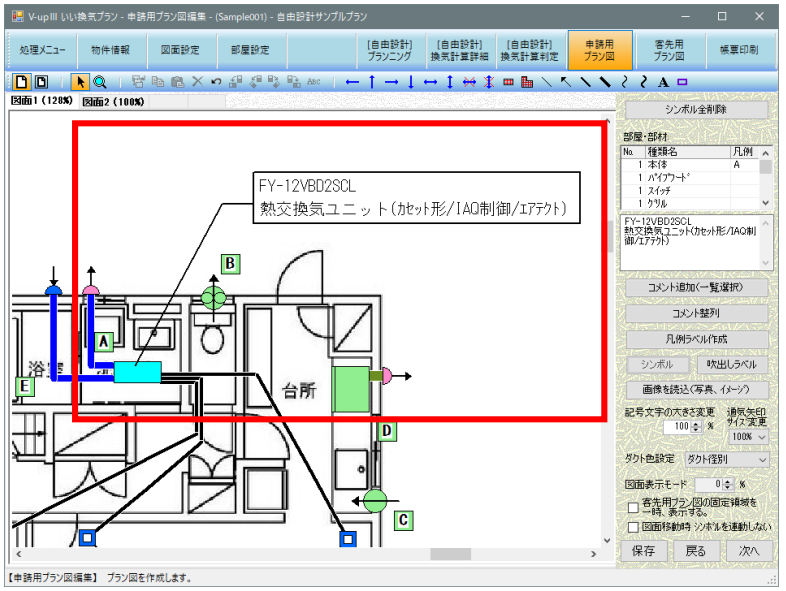
2.　**吹出しラベル**　をクリックします。

ボタンの色が緑色に変わります。



3. 図面上の機器（開始位置）で左クリックしたまま、
吹出しラベルを配置したい位置（終了位置）まで
マウスをドラッグします。
左クリックを放すと吹出しラベルが作成されます。





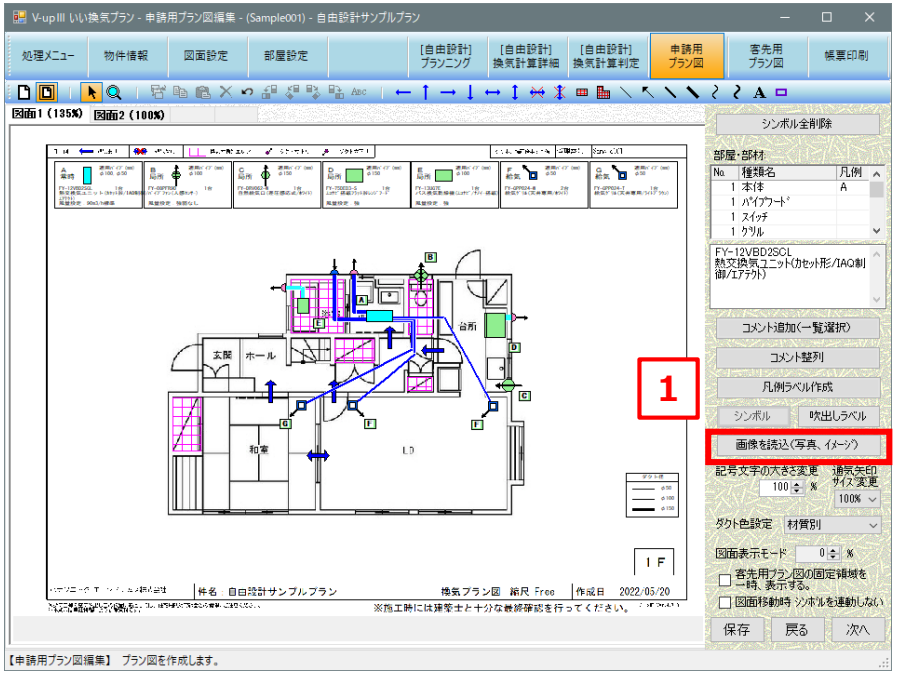
吹出しラベルのテキスト内容の編集方法については、

「**１２－６．コメントを表示する**
（２）テキストを貼り付けて記載する場合
【貼り付けたテキストを編集する】　」を参照ください。

（4）画像を読込（写真、イメージ）

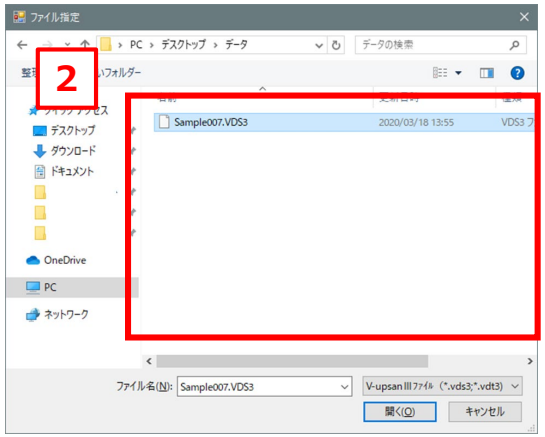
申請用プラン図に、画像を貼り付けます。

※換気プランに使用した機器などの写真は、
「客先用プラン図」において貼り付ける事が出来ます。



1. 画像を読込（写真、ｲﾒｰｼﾞ）　をクリックします。

ファイル選択ウィンドウが表示されます。



2. 貼り付けたい画像ファイルを選択します。

選択可能な画像ファイル

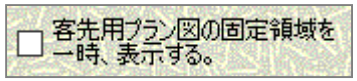
BMP、JPEG、TIF

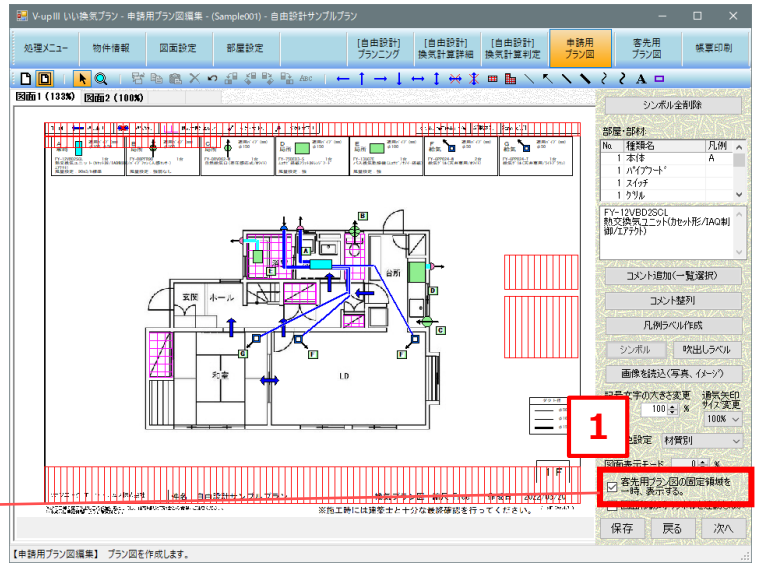
（5）客先用プラン図の固定領域を一時、表示する

客先用プラン図において、ランニングコストや注意書きなどが
表示される領域を一時的に表示します。

1. 「客先用プラン図の固定領域を一時的に表示する」に
チェックを入れます。

※赤枠で表示された部分が、客先用プラン図で注意書き等が
表示される領域となります。
※この範囲を避けて図面等を配置すると、客先用プラン図を作成
しやすくなります。





（6）図面表示モード

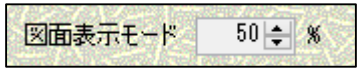
配置したシンボル等が見ずらい場合、平面図を薄く表示します。

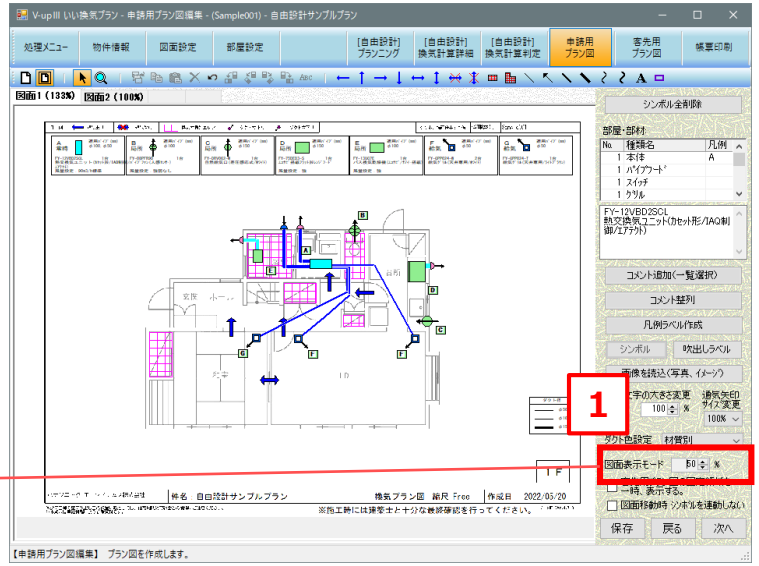
1. 「図面表示モード」のスピンボタン（三角の矢印）をクリックして
数値を変更します。

※変更範囲は、0%、25%、50%、75%、100%

（ 0%＝通常表示、 100%＝透明）

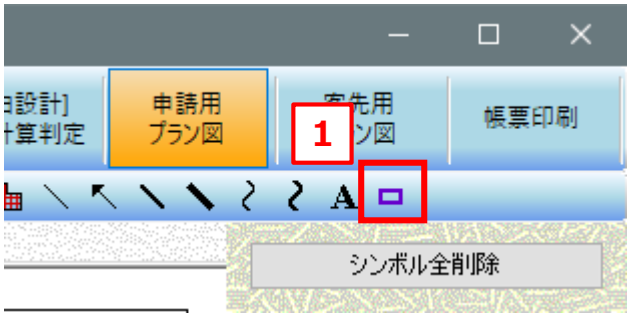
（右図）は、50%設定時





（7）共用エリア枠

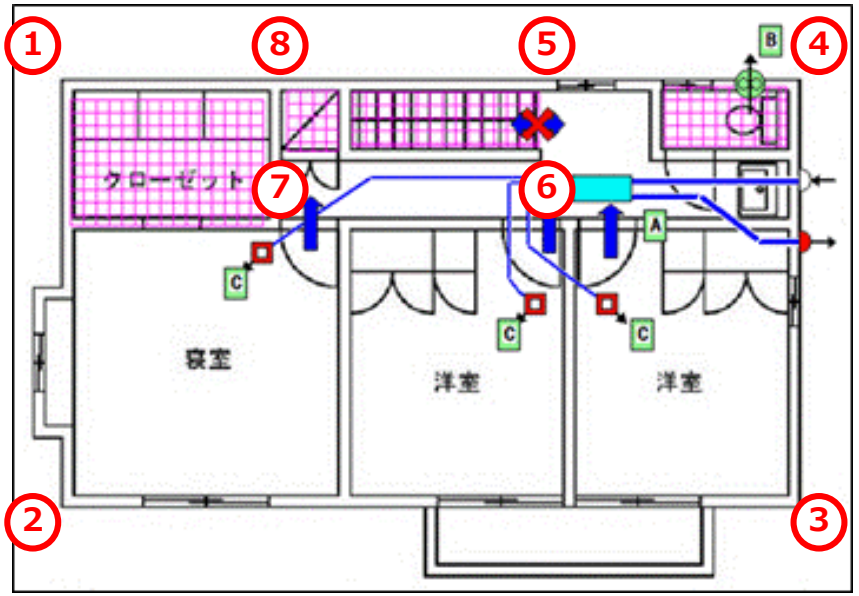
共用換気エリアが複数ある場合、エリア毎に範囲枠を描画することが出来ます。



1. 共用エリア枠のアイコンをクリックします。

2. 共用エリア枠を作図します。

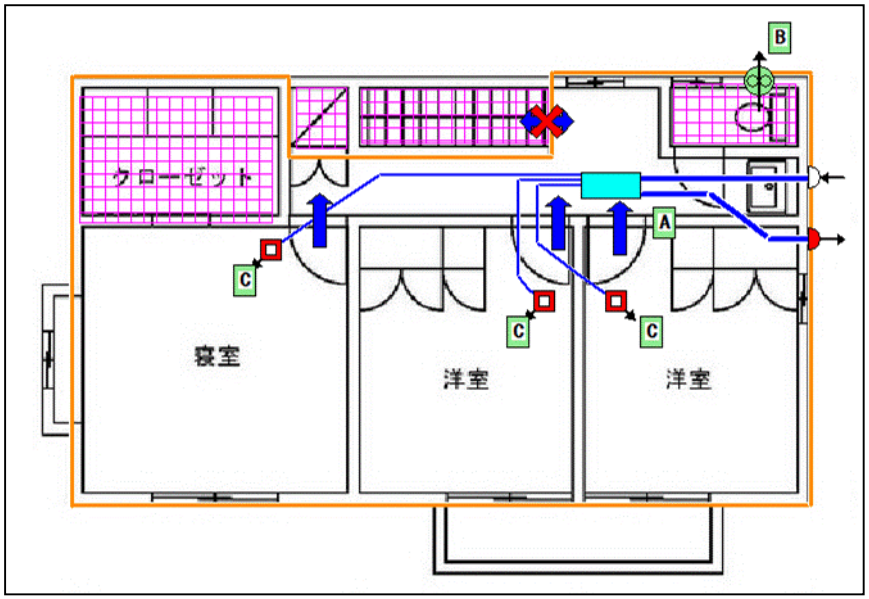
①　　始点で左クリック
②～⑧　曲がる点で左クリック
⑨　　もう一度、①で左クリック
⑩　　右クリックで終了



エリア枠の描画方法については、

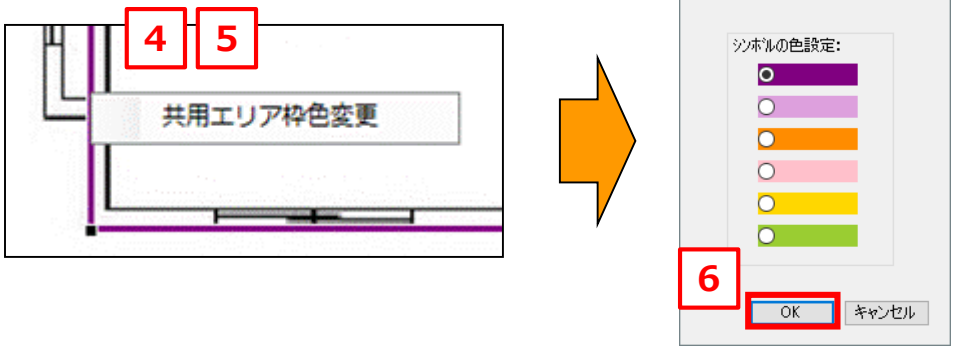
「**１２－４．換気対象外エリアの表示をする　多角形のエリアを作図**」を参照ください。

3. 作図が完成すると、枠線が描画されます。
（右図、橙色の枠線）



4. 色を変更したい「共用エリア枠」の線を右クリックします。

5. 「共用エリア枠色変更」をクリックします。
色選択ウィンドウが表示されます。

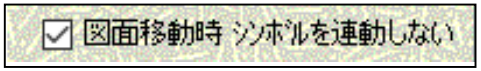


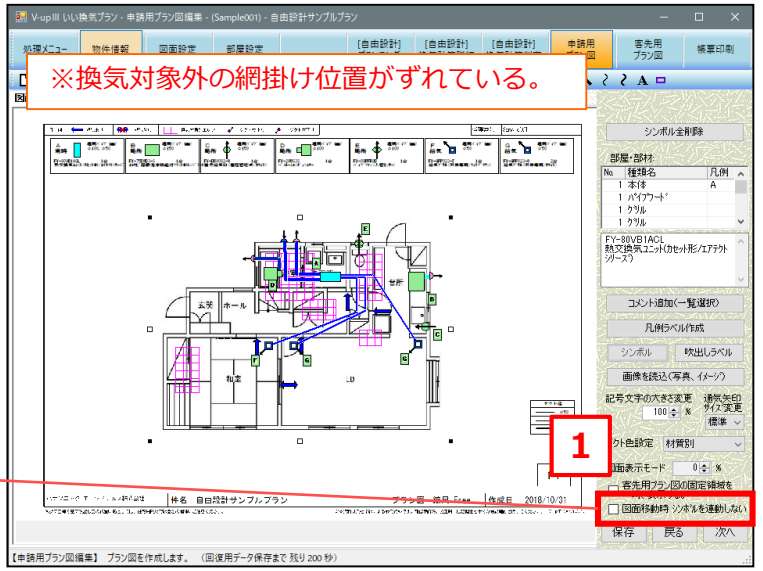
6. 任意の色を選択して、 **OK** をクリックします。

（8）シンボル位置調整

図面差替えを実施した際、申請用／客先用プラン図上で、
配置した換気対象外の網掛けや通気矢印がずれている場合、
位置を調整する事が出来ます。

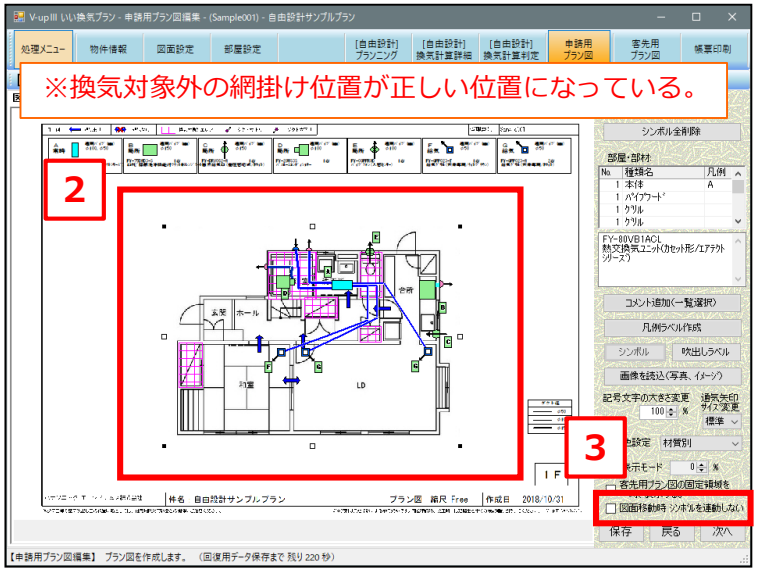
1.　「図面移動時シンボルを連動しない」にチェックを入れます。





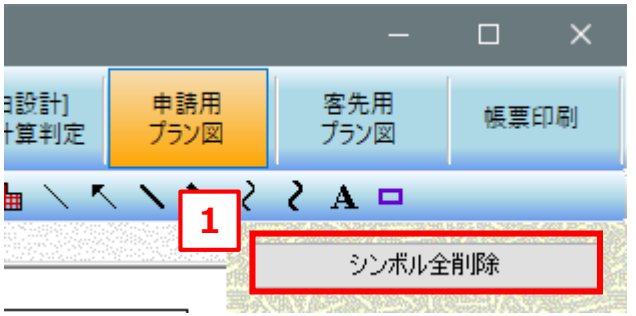
2.　換気対象外などのシンボルが図面を動かしても位置が変わらないので、正しい位置になるように図面の位置を調整します。

3.　位置調整の後「図面移動時シンボルを連動しない」のチェックを外します。



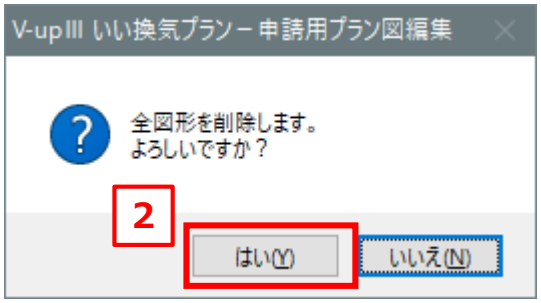
（9）シンボル全削除

申請用プラン図の画面で作成した凡例・シンボル・ラベル等を
すべて削除します。



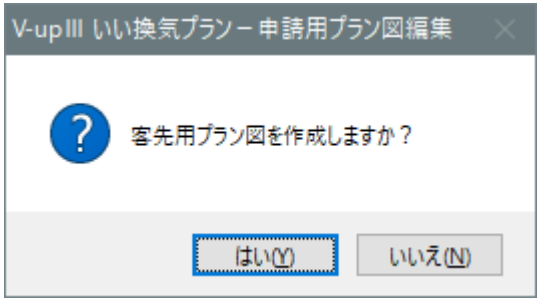
1. **シンボル全削除** をクリックします。

2. 確認メッセージが表示されるので、 **はい** をクリックします。



自由設計では配管図が残りますが、簡易設計では機器シンボルも
すべて削除されます。

つづいて、「**１３．客先用プラン図**」へ進みます。
客先用プラン図の作成が不要の場合は、「**１４．帳票印刷**」へ進みます。



次へ をクリックすると、作成確認メッセージが表示されます。

・客先用プラン図を作成する場合は、 **はい** をクリックします。

・客先用プラン図を作成しない場合は、 **いいえ** をクリックします。

１３．客先用プラン図

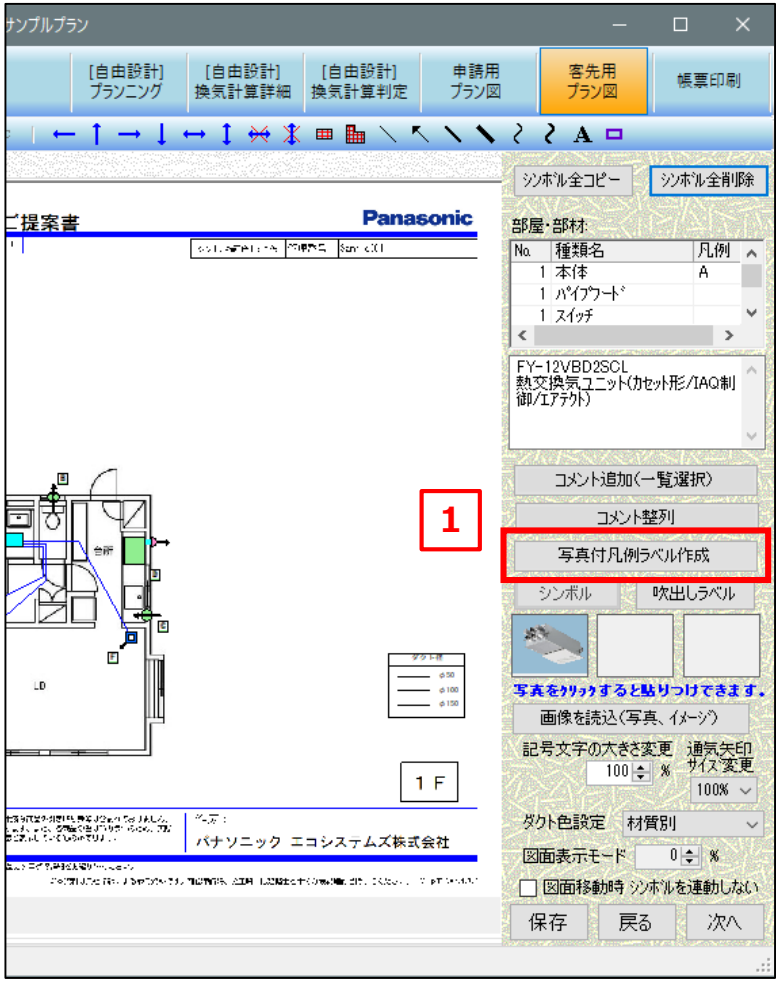
客先用プラン図を作成します。（商品写真付凡例ラベル、イニシャルコスト、ランニングコストなど）

１３－１．写真付凡例ラベルを貼り付ける

1. **写真付凡例ラベル作成**　をクリックします。

写真付凡例ラベル作成ウィンドウが表示されます。

※新規プラン作成時は、自動でウィンドウが表示されます。



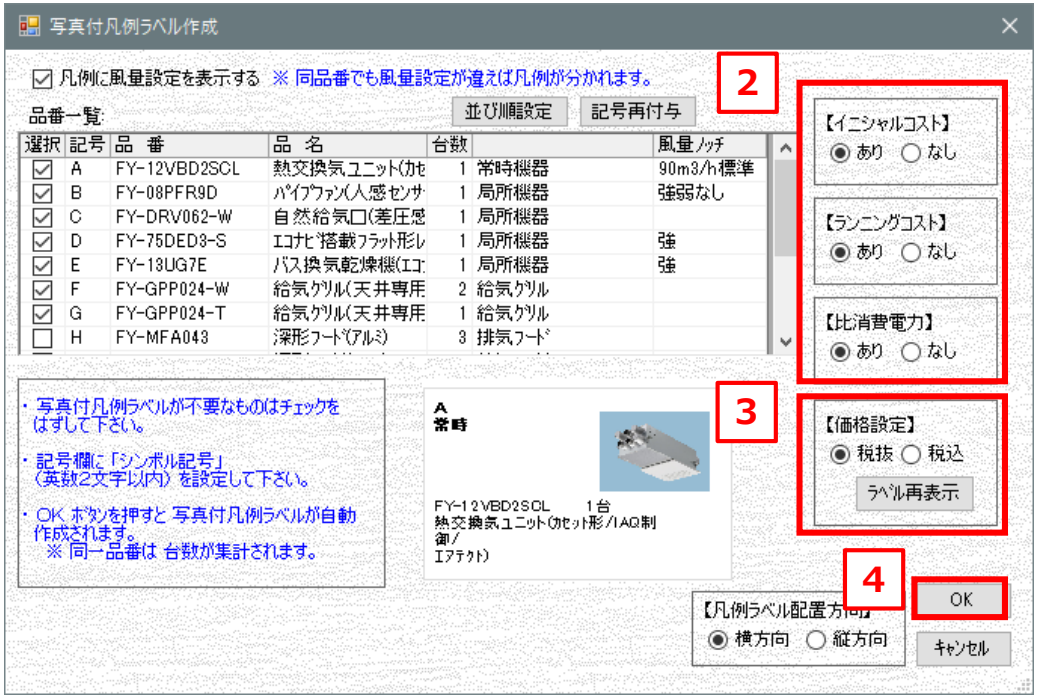
2. イニシャルコスト・ランニングコスト・比消費電力を表示するか選択します。

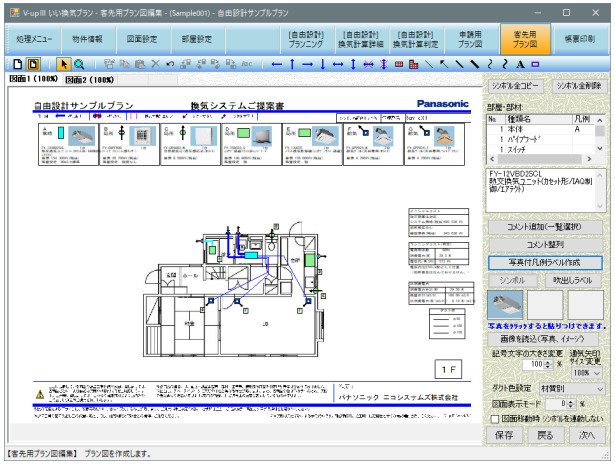
※これらは、図面１にのみ表示されます。

3. イニシャルコストの表示形式（税込／税抜）を選択します。

4. **OK** をクリックします。

写真付凡例ラベルが作成されます。





その他の操作方法については、

「**１２－１．凡例ラベルを貼り付ける**」を参照ください。

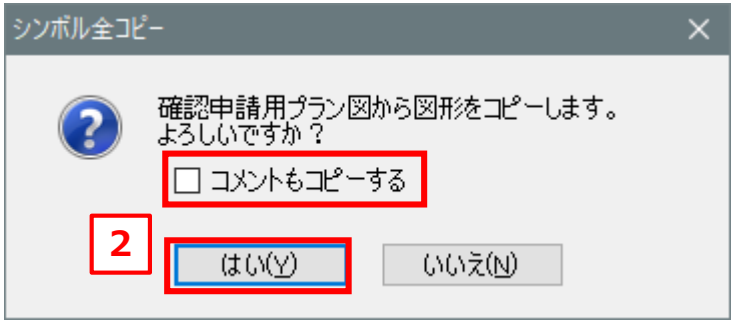
１３－２．申請用プラン図のシンボルをコピーする

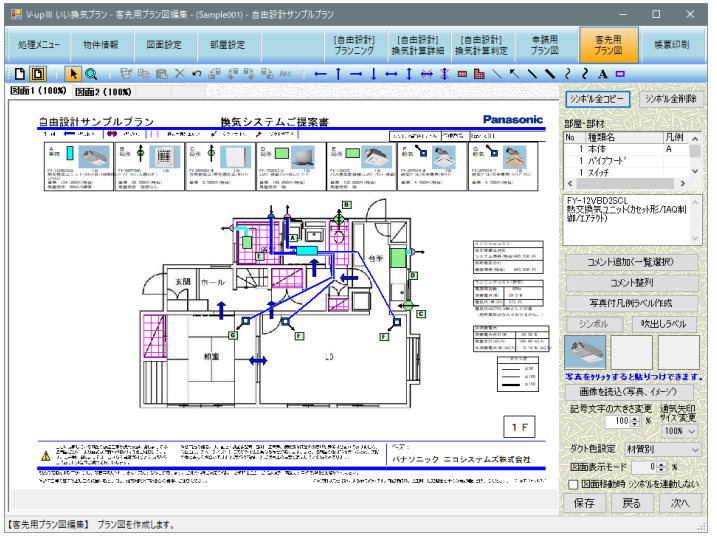
申請用プラン図で貼り付けた換気対象外エリア・通気シンボル・機器シンボル
などをコピーします。

1. シﾝﾎﾞﾙ全コピー をクリックします。

2. 確認メッセージボックスが表示されるので、 はい をクリックします。

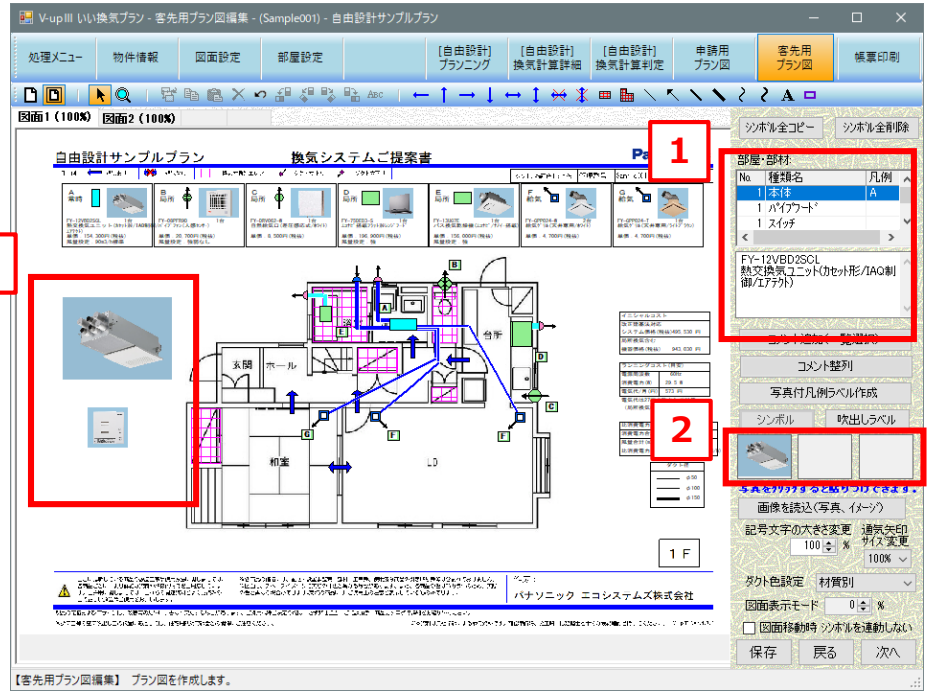
※コメントも含める場合は「コメントもコピーする」にチェックを入れます。





１３－３．その他の機能

（1）商品写真を貼り付ける



1. 「部屋・部材」より、商品写真を貼り付ける機器を選択します。

2. 表示された写真をクリックします。

3. 商品写真の位置調整、サイズ調整をします。

その他の機能については申請用プラン図作成時と同じなので、
「**１２．申請用プラン図**」を参照ください。

つづいて、「**１４．帳票印刷**」へ進みます。

１４．帳票印刷

作成したプランを印刷したり、ファイル出力したりします。

１４－１．印刷＆ファイル出力の仕方

各項目のボタンをクリックして印刷＆Excel出力（プラン図はJPEG出力）をします。

（1）プレビュー

対象の印刷プレビューを表示します。（Excelのプレビュー画面が開きます）

（2）印刷

対象を印刷します。

（3）プレビュー＆印刷

対象の印刷プレビューを表示します。（Excelのプレビュー画面が開きます）

プレビュー表示後、Excelの印刷ボタンをクリックして印刷します。

（４）Excel出力／JPEG出力／物件データ出力

対象をExcelファイルや、JPEG画像ファイルで出力します。また物件データ（VDT3ファイル）を出力します。

データ出力を実行後に、必ず保存をしてください。

保存をおこなうことで、出力したファイルがフォルダへ保存されます。

【出力データ保存先】

・出力直後
　Document¥EFanPlan¥**Work**¥管理番号¥Docフォルダ

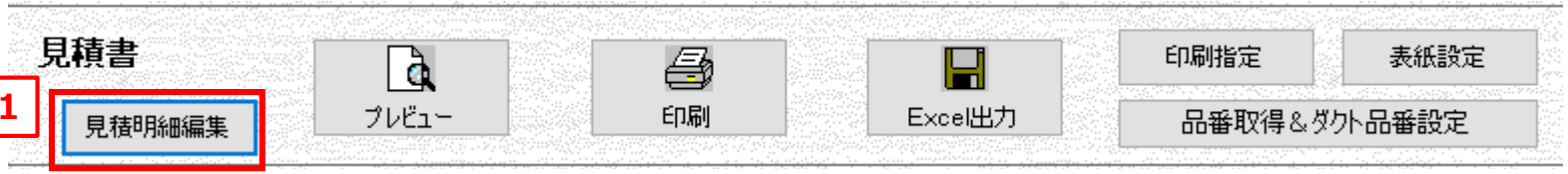
・保存処理後
　Document¥EFanPlan¥**Data**¥管理番号¥Docフォルダ

※「補助機能」からデータ保存先を変更した場合は変更先のフォルダを確認します。

１４－２．見積書に関する機能

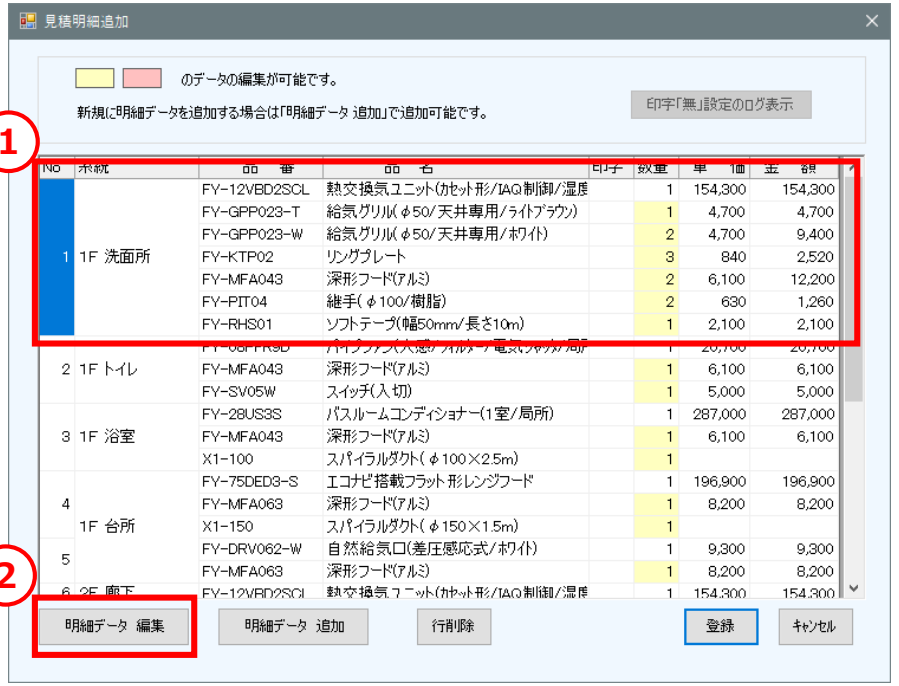
（１）見積明細編集

見積りに記載する機器を追加／削除したり、数量を変更したりします。



1. **見積明細編集** をクリックします。

2. 見積明細追加ウィンドウで見積もりデータを編集します。



【既存の系統に品番を追加・削除する場合】

① 品番を追加する系統を選択します。

【例】　1F 洗面所に品番を追加します。

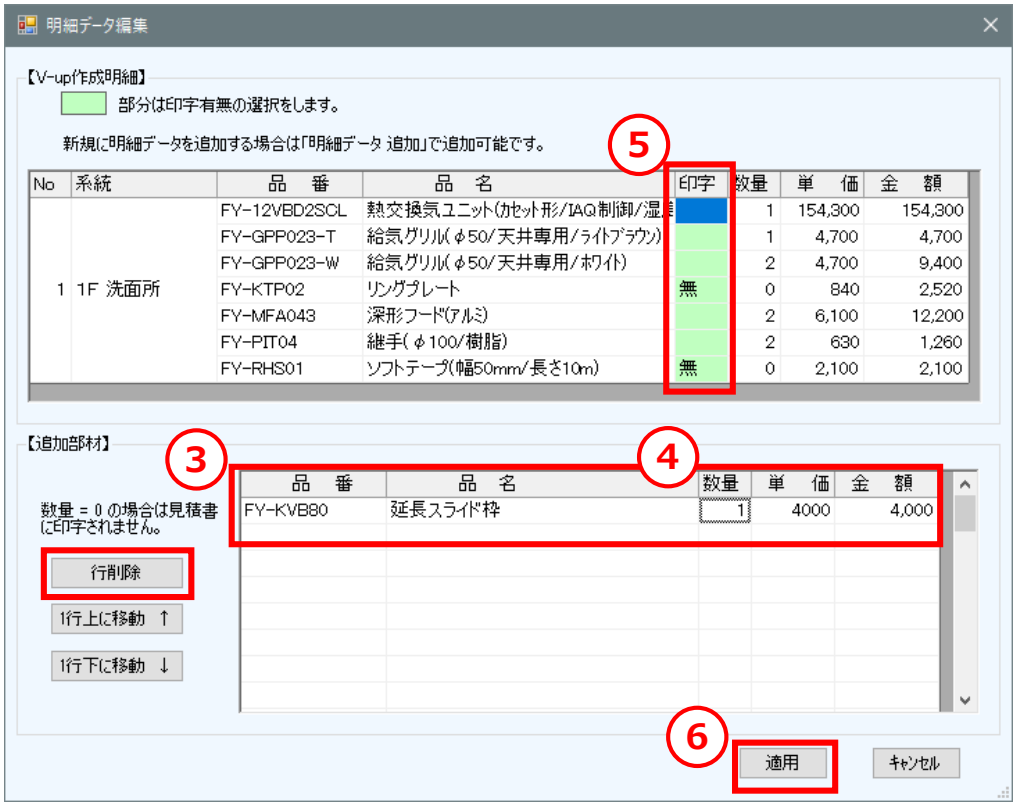
② **明細データ編集** をクリックします。

明細データ編集ウィンドウが表示されます。

※選択した系統の枠内をダブルクリックでも
ウィンドウが表示されます。

③ 【追加部材】の品番欄に追加する品番を入力します。

【例】　“FY-KVB80“を入力



④ 品名、単価が表示されるので、数量を入力します。

※品名、単価が表示されない場合は、
　入力品番が間違っているか、未登録品番となります。

※追加登録した品番を削除する場合は、削除する品番を
　選択した後、 **行削除** をクリックします。

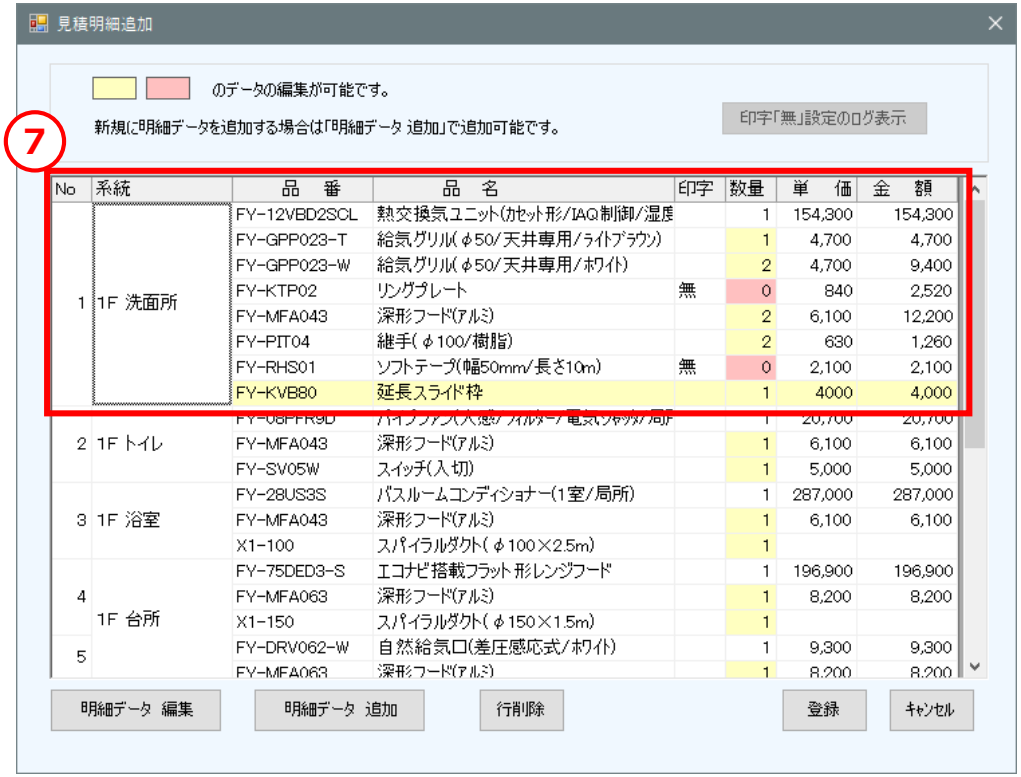
⑤ 見積書から除外したい品番がある場合は、印字欄で
「無」を設定します。

⑥ 品番の追加・削除の設定後、 **適用** をクリックします。

⑦ 設定した内容が反映されているかを確認します。

追加した品番・・・黄色で表示される。

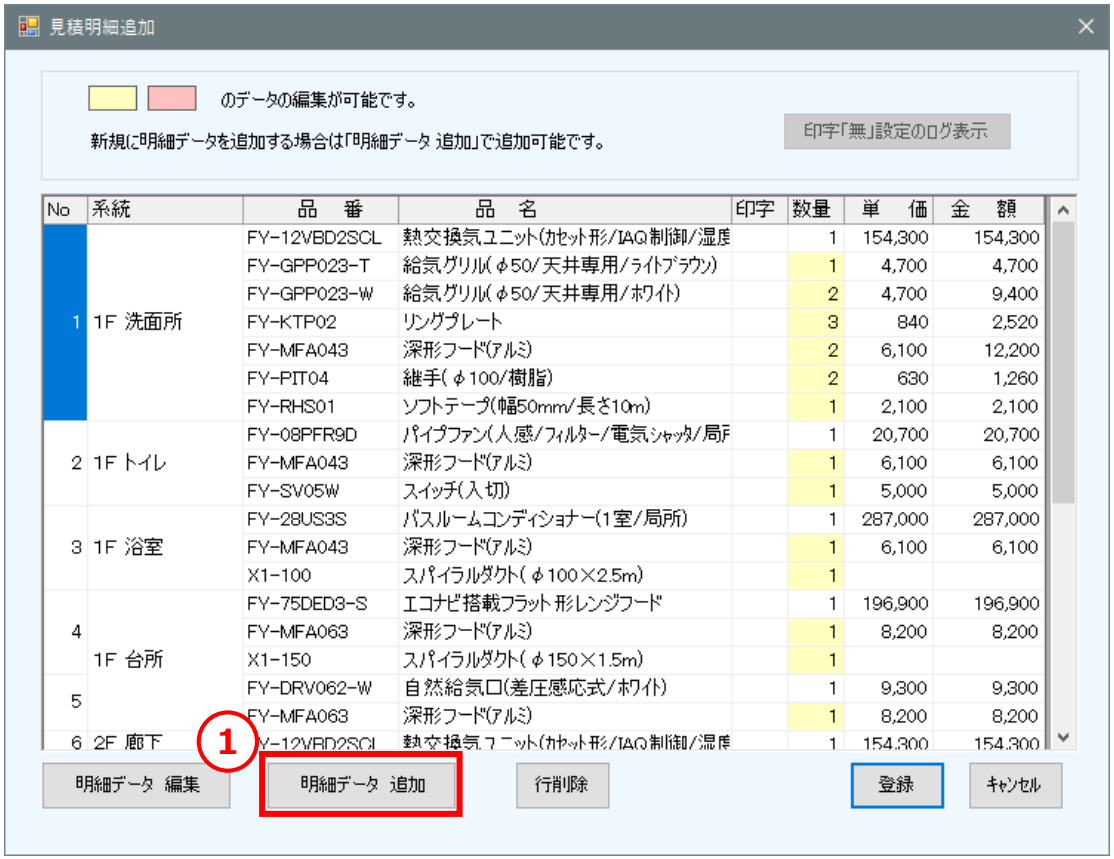
「無」設定・・・印字欄に「無」
数量が桃色で表示される。



【新規の系統に品番を追加する場合】

① **明細データ追加** をクリックします。

明細データ編集ウィンドウが表示されます。



② 階数を選択し、部屋名を選択または入力します。

③ 品番を入力して、 **品番検索** をクリックします。

品番候補一覧が表示されるので、追加したい品番を選択し、 **品番決定** をクリックします。

④ 必要な数量を入力します。

⑤ ２品番目以降は【部材】の品番欄に追加する品番を入力します。

【例】　“FJ-T10T3-W“を入力

⑥ 品名、単価が表示されるので、数量を入力します。

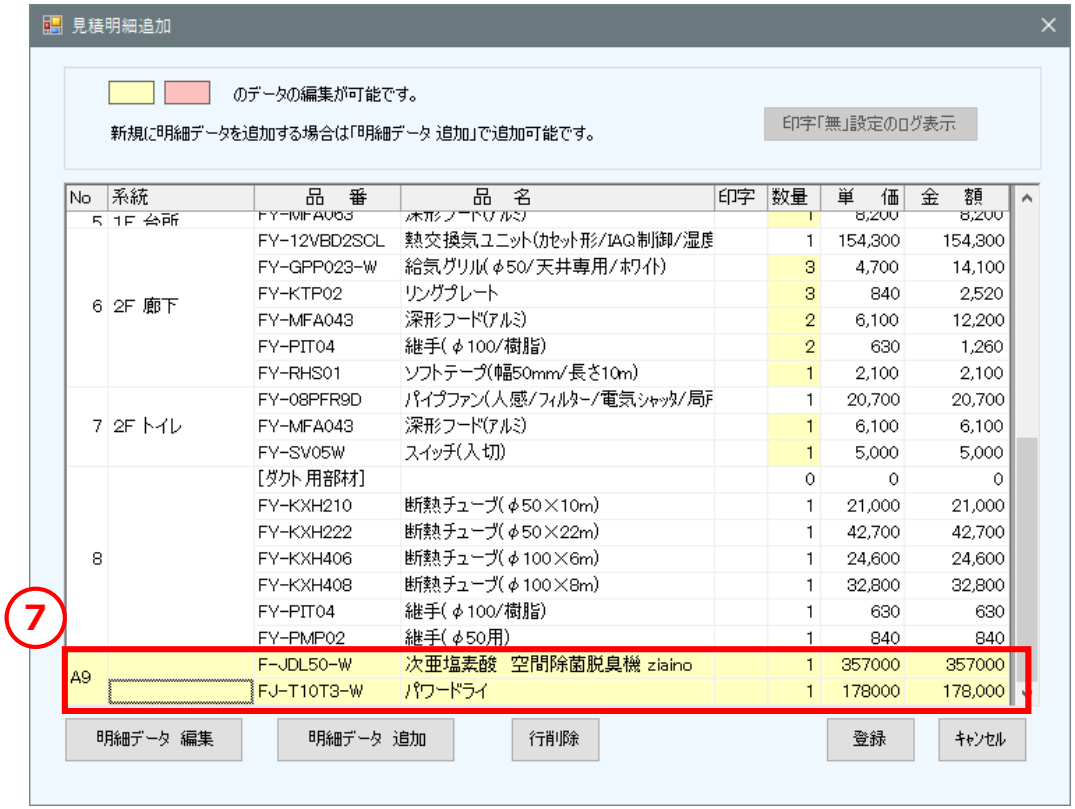
※品名、単価が表示されない場合は、
入力品番が間違っているか、未登録品番となります。

※追加登録した品番を削除する場合は、削除する品番を選択した後、 **行削除** をクリックします。

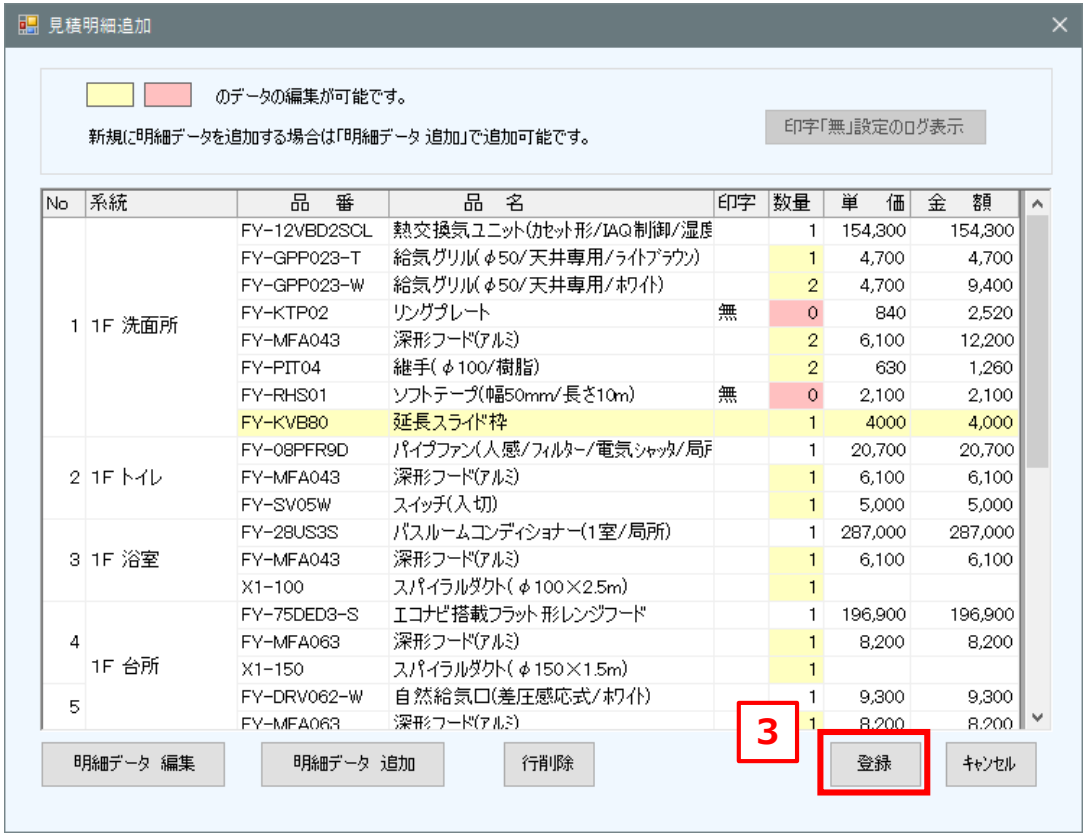
⑦ 品番追加の設定後、 **適用** をクリックします。

⑧ 設定した内容が反映されているかを確認します。

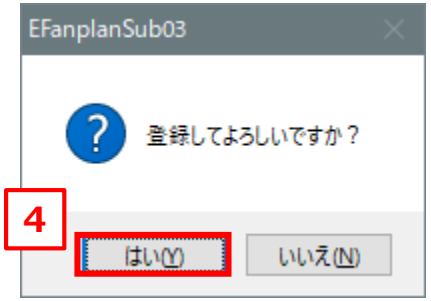
追加した品番・・・黄色で表示される。



3. 見積もり編集後、 **登録** をクリックします。



4. 登録確認メッセージが表示されるので、
はい をクリックします。



【見積明細編集を実施した場合】

品番を追加した場合：

（編集有）と表示されます。

品番を削除した場合（印字「無」設定した場合）：

（ログ有）（編集有）と表示されます。

【印字「無」設定のログを表示する方法】

1. **見積明細編集** をクリックします。

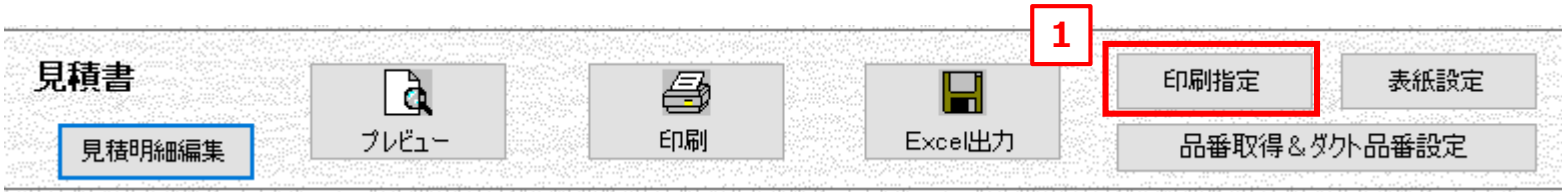
見積明細追加ウィンドウが表示されます。

2. **印字「無」設定のログ表示** をクリックします。

印字「無」設定したログウィンドウが表示されます。

（２）印刷指定（印刷出力指定）

見積書の印刷様式を設定します。



1. **印刷指定** をクリックします。

印刷出力指定ウィンドウが表示されます。

※印刷出力指定ウィンドウは、
［プレビュー］、［印刷］、［Excel出力］ボタンをクリックした時にも表示されます。

ファイルの保存先については、「**１４－１．（４）Excel出力／JPEG出力／物件データ出力**」を参照ください。

2. 各項目の設定をします。

【見積書フォーム】

・標準：系統（部屋名）毎にまとめられます。
・仕分け（FY/VB/その他）：品番毎にまとめられます。
・仕分け（部屋別）：部屋名別にまとめられます。

【発行年月日の印字】

見積書の発行年月日を印字するか選択します。

【提出先名の印字】　**※詳細次ページ**

見積書の提出先名を印字するか選択します。
※提出先名を複数指定すると、指定した数の分だけ
　見積書を発行します。

【件名の印字】

物件名を印字するか選択します。

【見積価格表示】

見積表示価格（税込／税抜）を選択します。

【税率表示】　**※詳細次ページ**

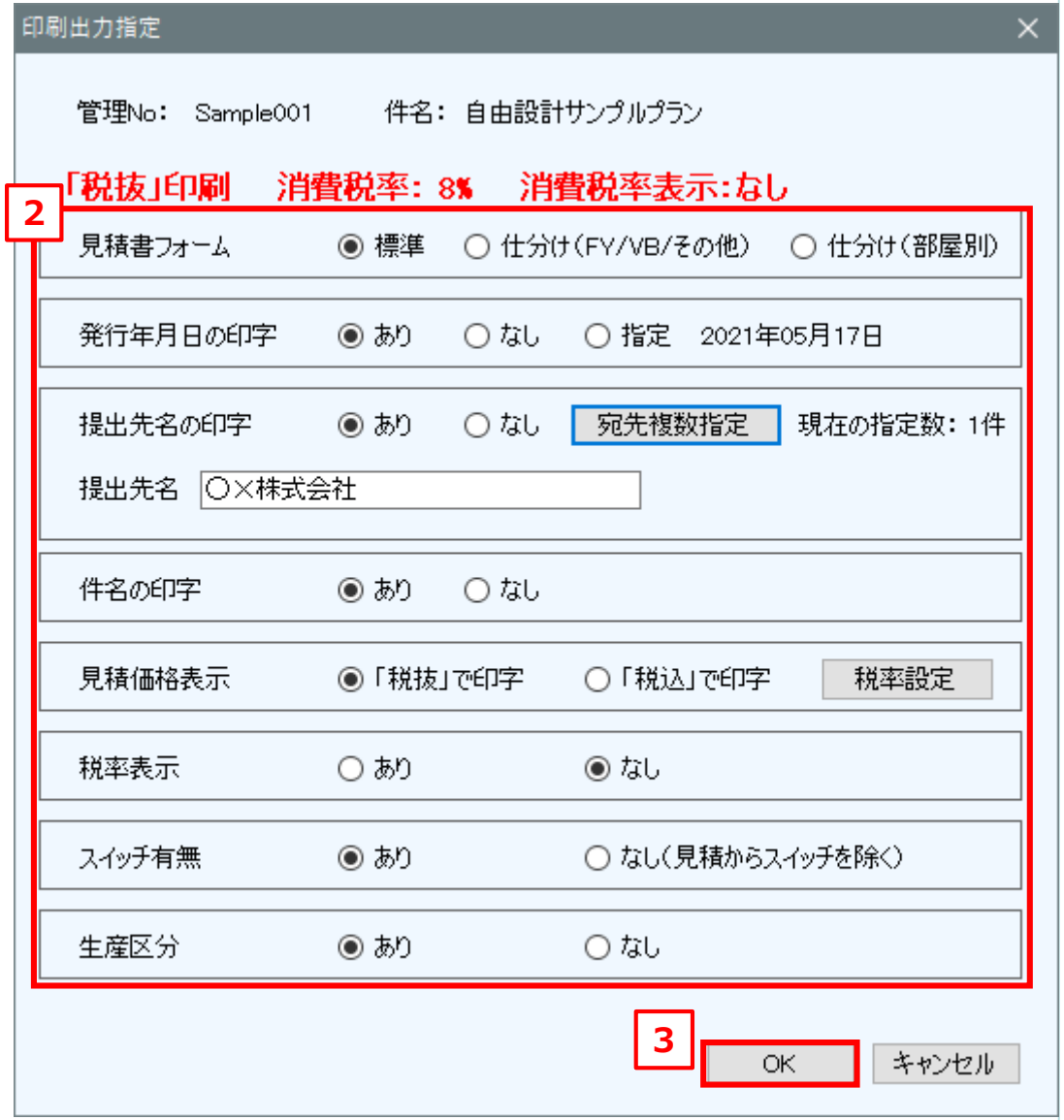
税率を印字するか選択します。

【スイッチ有無】

見積書にスイッチを含めるか選択します。

【生産区分】

「受注生産」、「生産終了」等を印字するか選択します。



3. **OK** をクリックします。

【提出先名の印字】

a. 提出先名を入力します。（１件目）

b. ２件目以降は、 **宛先複数指定** をクリックします。
見積提出先指定ウィンドウが表示されます。

c. ２件目以降の提出先会社名を入力し、チェックを入れます。

d. **OK** ボタンをクリックします。

【税率表示】

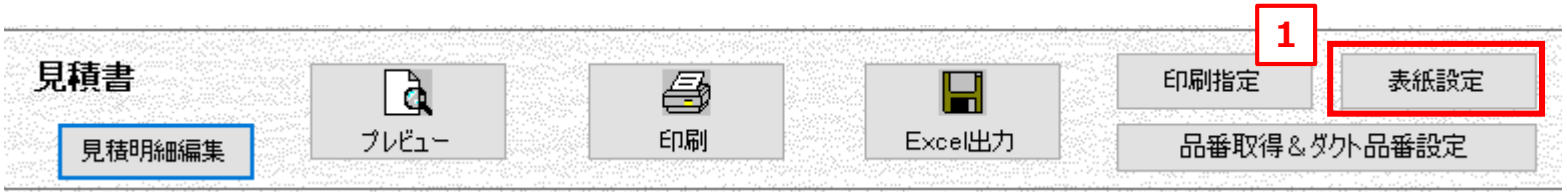
e. **税率設定** をクリックします。
消費税率の設定ウィンドウが表示されます。

f. 消費税率（%）を設定します。

g. **OK** ボタンをクリックします。

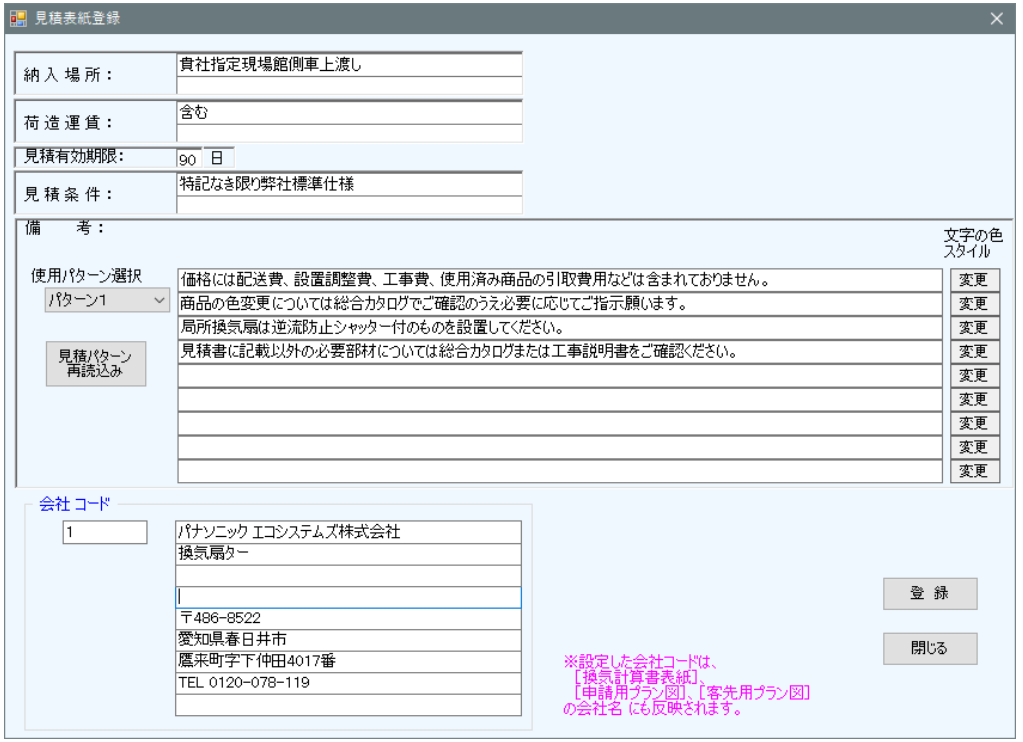
（３）表紙指定

見積書の表紙設定をします。



1. **表紙指定** をクリックします。

見積表紙登録ウィンドウが表示されます。



<u>見積表紙の設定は、「補助機能」の［見積表紙登録］からも変更することができます。</u>

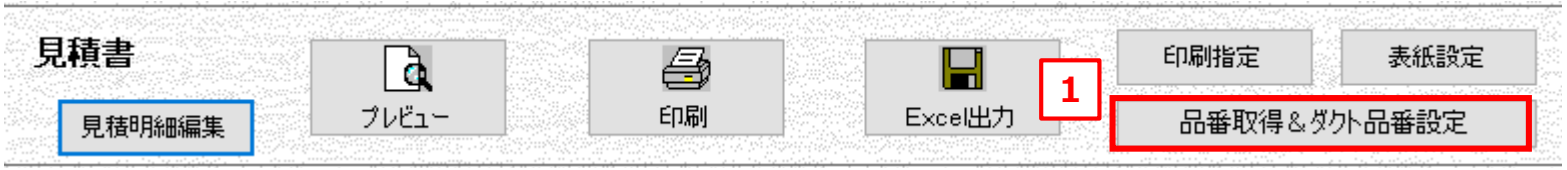
操作方法については、
「**第２章 補助機能 ２．見積表紙登録**」を参照ください。

（４）品番取得＆ダクト品番設定

見積もるダクトの種類と長さおよびダクト接続継手の設定をします。

以下の場合には、本機能は使用できません。

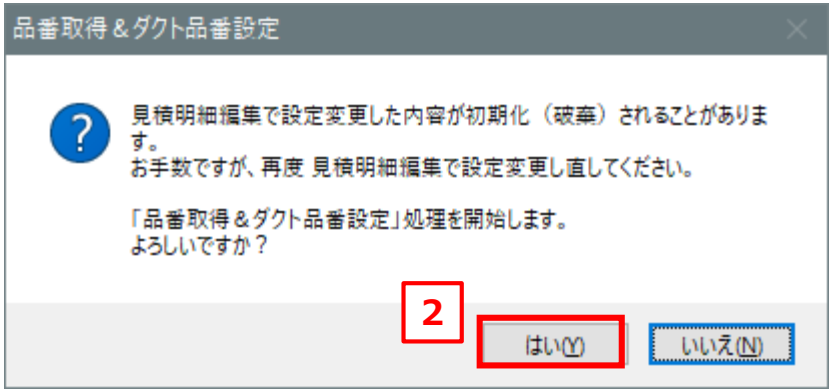
- **「簡易設計」において、ダクトを使用する機器を設定していない場合**
- **「簡易設計」において、使用するダクトを「現地手配品」としている場合**



1. **品番取得＆ダクト品番設定** をクリックします。

2. 確認メッセージが表示されるので、**はい** をクリックします。

※見積明細編集をしていない場合は、メッセージは表示されません。



【変更した内容の破棄／保持について】

- 印字「無」設定・・・設定は破棄されます
- 追加した品番・・・設定は保持されます

ダクト品番の組合せの操作については、

「**第３章 プラン作成 １０－２．ダクト品番の組合せを設定する**」を参照ください。

１４－３．換気計算書に関する機能

換気計算書を印刷したり、Excel出力したりします。

1. 各ボタンをクリックすると、図面選択ウィンドウが表示されます。

【簡易設計の場合】

2. 各項目の設定をします。

【計算表紙】　**※詳細は後述**

印刷するか選択します。

【確認申請資料】　**※詳細は後述**

印刷するか選択します。

【天井裏等の措置】

印刷するか選択します。

【PQ計算書（常時換気）】

印刷するか選択します。

3. **OK** をクリックします。

【自由設計の場合】

2. 各項目の設定をします。

【計算表紙】　**※詳細は後述**

印刷するか選択します。

【確認申請資料】　**※詳細は後述**

印刷するか選択します。

【天井裏等の措置】

印刷するか選択します。

【局所判定書】　**※詳細は後述**

印刷するか選択します。

※局所換気 詳細計算をした場合のみ選択可能。

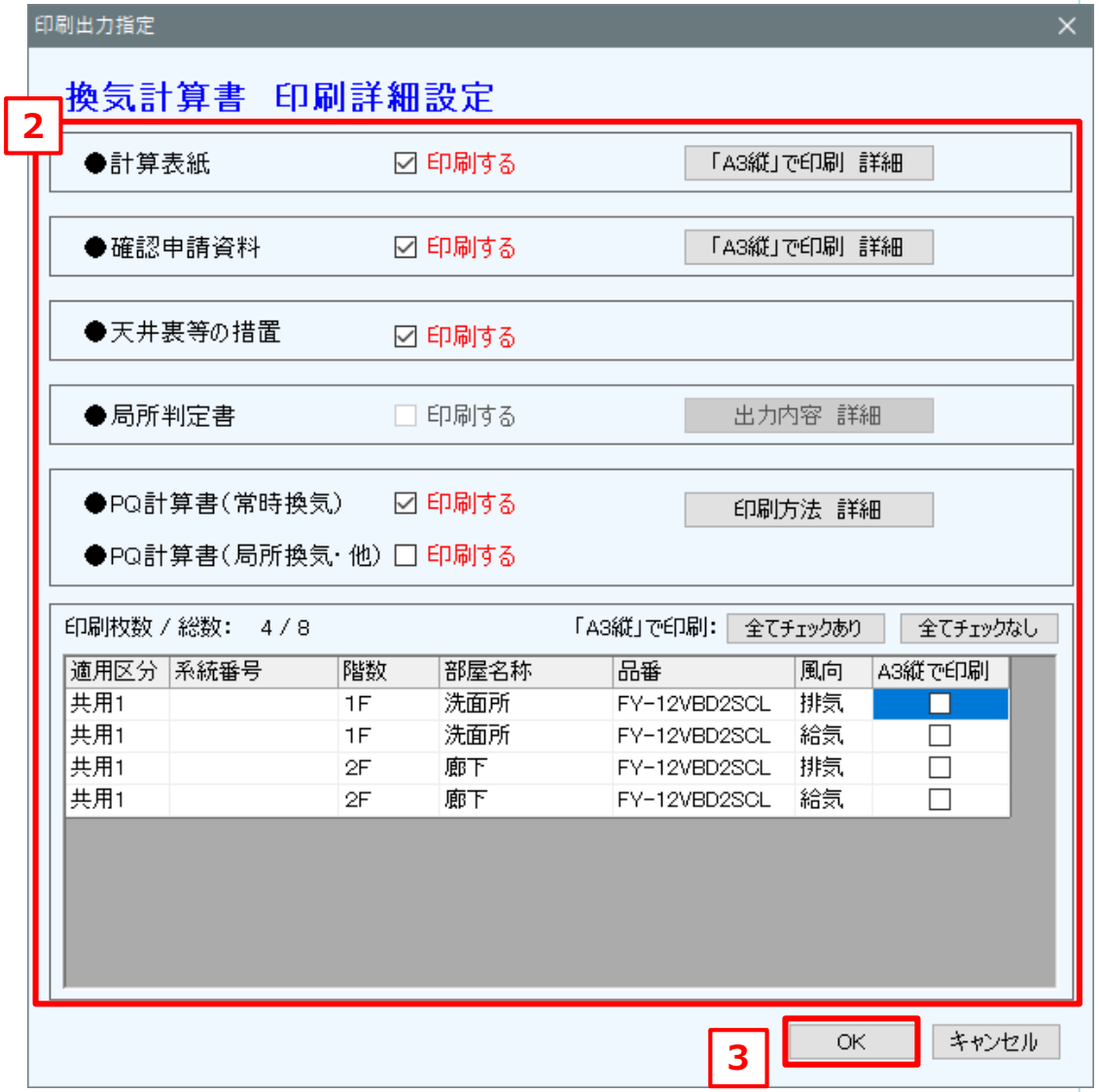
【PQ計算書（常時換気）】　**※詳細は後述**

印刷するか選択します。

【PQ計算書（局所換気・他）】　**※詳細は後述**

印刷するか選択します。

3. **OK** をクリックします。



ファイルの保存先については、「**１４－１．（4）Excel出力／JPEG出力／物件データ出力**」を参照ください。

【計算表紙】と【確認申請資料】

通常A4縦で印刷される帳票をA3縦で印刷する事が出来ます。

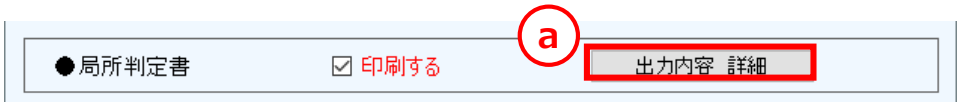
a. 「A3縦」で印刷 詳細 をクリックします。
詳細設定ウィンドウが表示されます。

b. A3縦で印刷する帳票にチェックを入れます。

c. OK ボタンをクリックします。

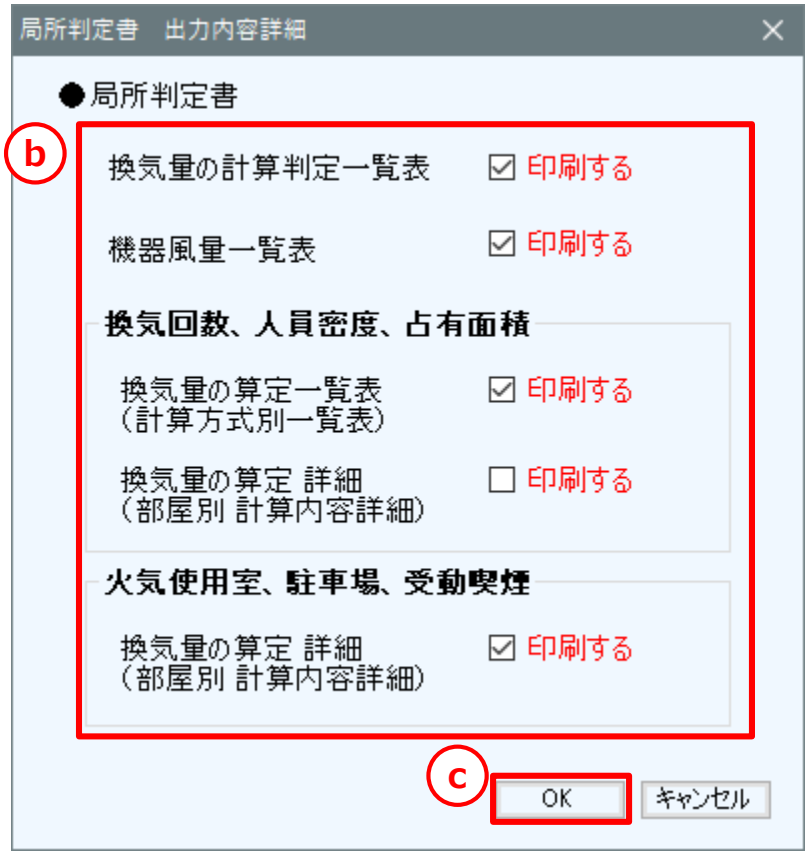
【局所判定】

局所判定書の出力設定をします。



a. **出力内容 詳細** をクリックします。

詳細設定ウィンドウが表示されます。

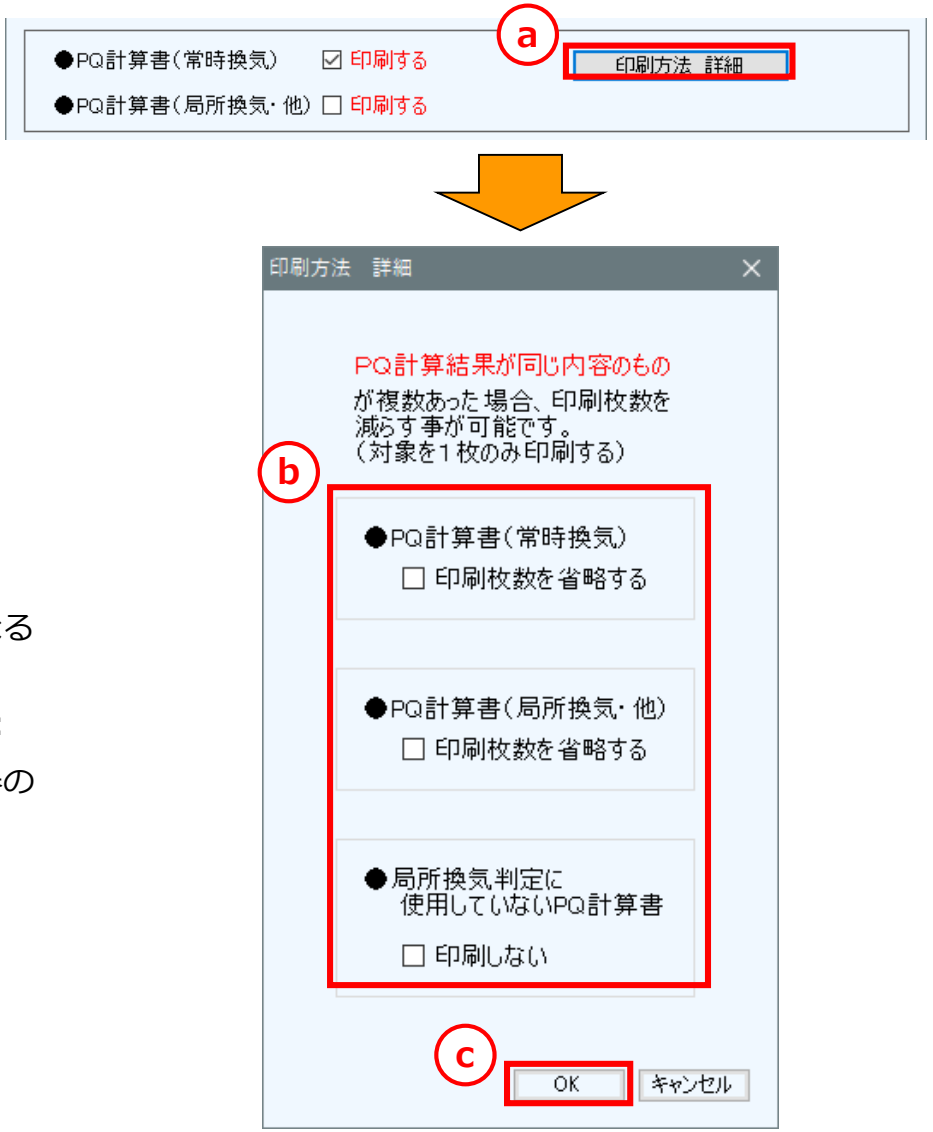


b. 必要な帳票にチェックを入れます。

c. **OK** ボタンをクリックします。

【PQ計算書（常時換気）】と【PQ計算書（局所換気・他）】

PQ計算書の印刷方法を設定します。



a. **印刷方法 詳細** をクリックします。

詳細設定ウィンドウが表示されます。

b. 必要な項目にチェックを入れます。

○印刷枚数を省略する（常時／局所）：

機器品番、ダクト長さ等が同じで計算結果が同じとなるPQ計算書が複数ある場合、１枚のみ印刷します。

○局所換気判定に使用していないPQ計算書を印刷しない：

局所換気判定がある場合、判定に使用していない機器のPQ計算書を印刷しないようにします。

c. **OK** ボタンをクリックします。

局所のPQ計算書を印刷するか選択します。

d. ［印刷する］にチェックを入れます。

PQ計算書一覧に局所PQ計算書が追加されます。

通常A4縦で印刷される帳票をA3縦で印刷する事が出来ます。

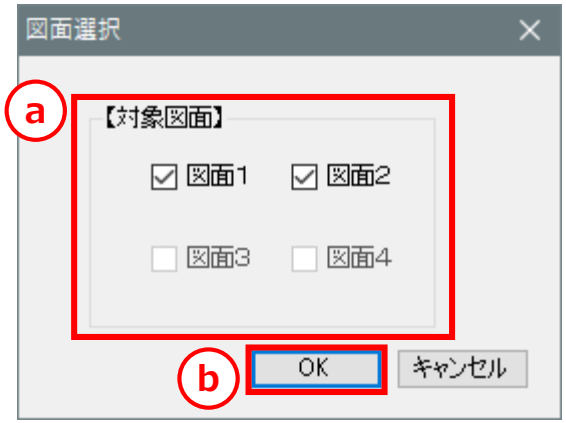
e. A3縦で印刷する帳票にチェックを入れます。

１４－４．プラン図（申請用／客先用）に関する機能

申請用プラン図／客先用プラン図を印刷したり、JPEGファイル出力したりします。

（１）プレビュー／印刷／JPEG出力

各ボタンをクリックすると、図面選択ウィンドウが表示されます。



a. 印刷しない図面のチェックを外します。

b. OK をクリックします。
チェックが入っている図面のみ印刷されます。

（２）プラン図をA4横で印刷

この項目にチェックを入れるとプラン図の印刷サイズがＡ４横になります。
※通常はＡ３横サイズで印刷されます。

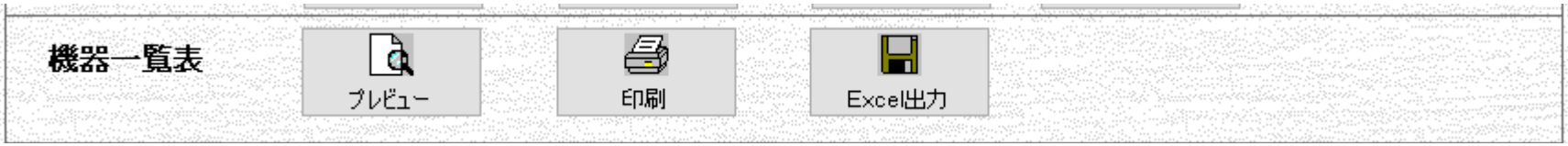
（３）客先用プラン図を削除する

作成済みの客先用プラン図を削除します。
※削除後に再度必要な場合は、客先用プラン図を作成し直してください。

ファイルの保存先については、「**１４－１．（４）Excel出力／JPEG出力／物件データ出力**」を参照ください。

１４－５．機器一覧表の印刷

作成したプランで使用している機器の一覧表を印刷したり、ファイル出力したりします。



※「一括Excel出力」の機器表とは別物です。

V-upⅢ Ver.45.0

機　器　一　覧　表(FY品番)

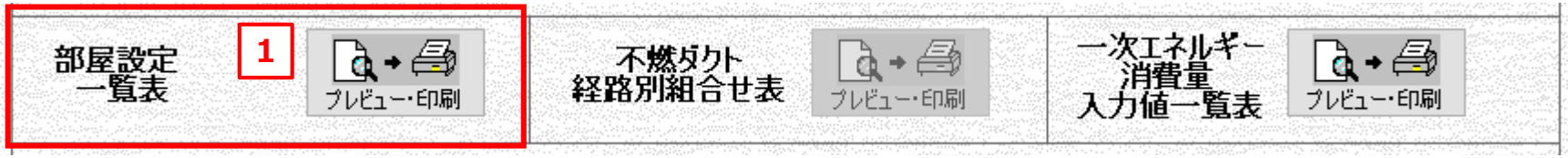
管理No:Sample001　　2021月04月12日
件　名:自由設計サンプルプラン　　60Hz

品　番	品　名	台数	単価(円)	金額(円)
FY-08PFR9D	パイプファン(人感/フィルター/電気シャッタ/局所)	2	20,700	41,400
FY-12VBD2SCL	熱交換気ユニット(カセット形/IAQ制御/湿度センサ	2	154,300	308,600
FY-28US3S	バスルームコンディショナー(1室/局所)	1	287,000	287,000
FY-75DED3-S	エコナビ搭載フラット形レンジフード	1	196,900	196,900
FY-DRV062-W	自然給気口(差圧感応式/ホワイト)	1	9,300	9,300
FY-GPP023-T	給気グリル(φ50/天井専用/ライトブラウン)	1	4,700	4,700
FY-GPP023-W	給気グリル(φ50/天井専用/ホワイト)	5	4,700	23,500
FY-KTP02	リングプレート	6	840	5,040
FY-KXH210	断熱チューブ φ50	1	21,000	21,000
FY-KXH222	断熱チューブ φ50	1	42,700	42,700
FY-KXH406	断熱チューブ φ100	1	24,600	24,600
FY-KXH408	断熱チューブ φ100	1	32,800	32,800
FY-MFA043	深形フード(アルミ)	7	6,100	42,700
FY-MFA063	深形フード(アルミ)	2	8,200	16,400
FY-PIT04	継手(φ100/樹脂)	5	630	3,150
FY-PMP02	継手(φ50用)	1	840	840
FY-RHS01	ソフトテープ(幅50mm/長さ10m)	2	2,100	4,200
FY-SV05W	スイッチ(入切)	2	5,000	10,000
	合　計			1,074,830

ファイルの保存先については、「**１４－１．（4）Excel出力／JPEG出力／物件データ出力**」を参照ください。

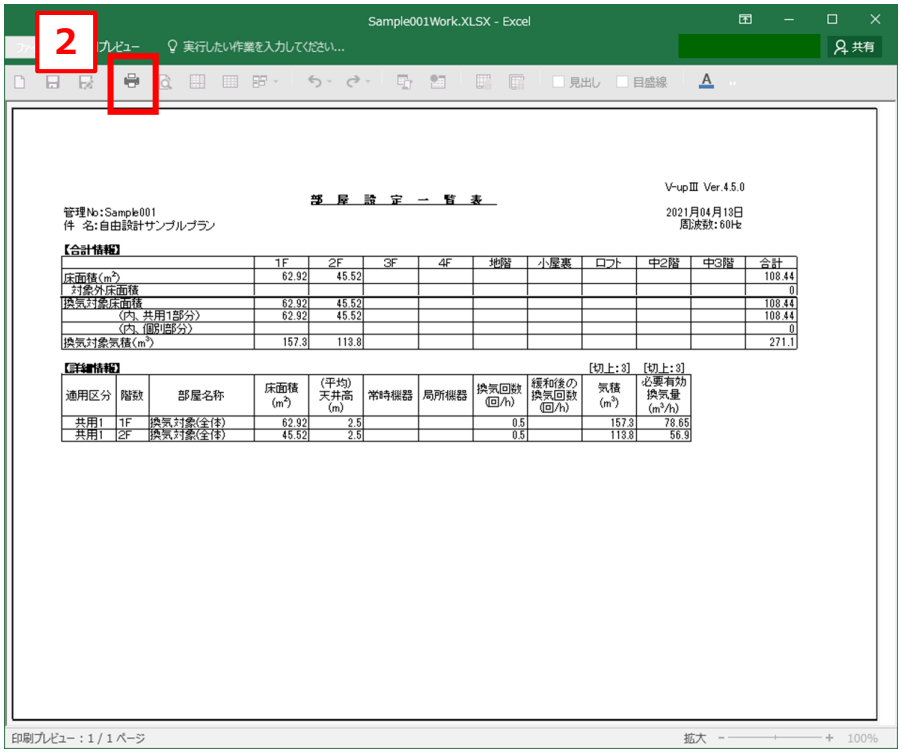
１４－６．部屋設定一覧表の印刷

「部屋設定」画面で入力した部屋設定内容を一覧表にして印刷します。



1. **プレビュー・印刷** をクリックします。

2. 印刷プレビューが開くので、［印刷］アイコンをクリックして印刷します。



部屋設定一覧表は、「部屋設定」画面でも印刷できます。

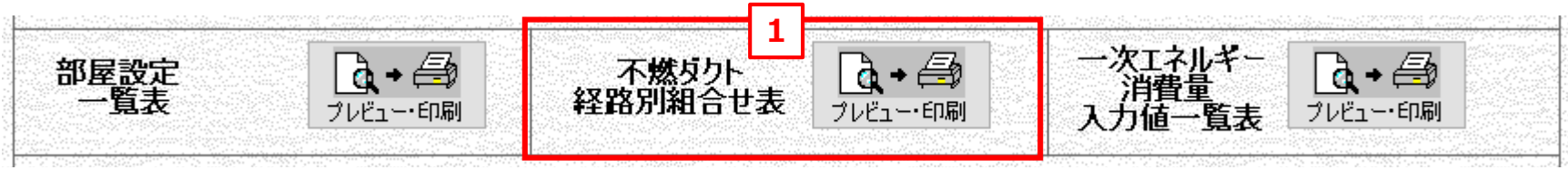
操作方法については、
「**第３章 プラン作成 ６．部屋設定**」を参照ください。

Excel出力する場合は、「一括Excel出力」を使用してください。

操作方法については、「**１４－９．一括印刷・Excel出力に関する機能**」を参照ください。

１４－７．不燃ダクト経路別組合せ表の印刷

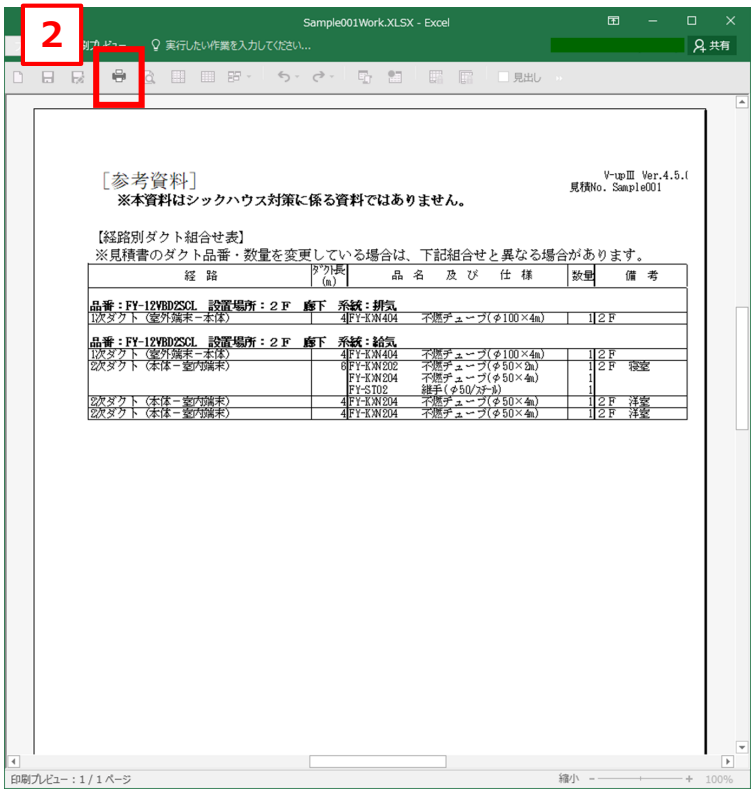
切断できないダクト（不燃チューブ、消音ダクト）を使用した場合に、経路別の品番組合せ表を出力します。



1. **プレビュー・印刷** をクリックします。

※不燃チューブ等を使用していない場合はボタンは押せません。

2. 印刷プレビューが開くので、［印刷］アイコンをクリックして印刷します。



Excel出力する場合は、「一括Excel出力」を使用してください。

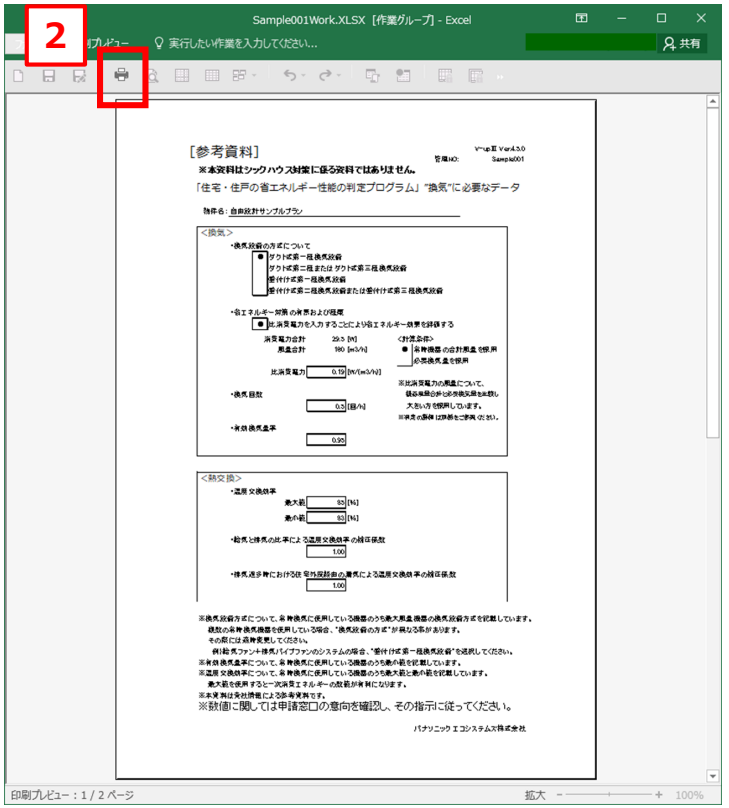
操作方法については、「**１４－９．一括印刷・Excel出力に関する機能**」を参照ください。

１４－８．一次エネルギー消費量入力値一覧表の印刷

作成したプランの一次エネルギー消費量入力値一覧表を印刷します。

1. **プレビュー・印刷** をクリックします。

2. 印刷プレビューが開くので、［印刷］アイコンをクリックして印刷します。

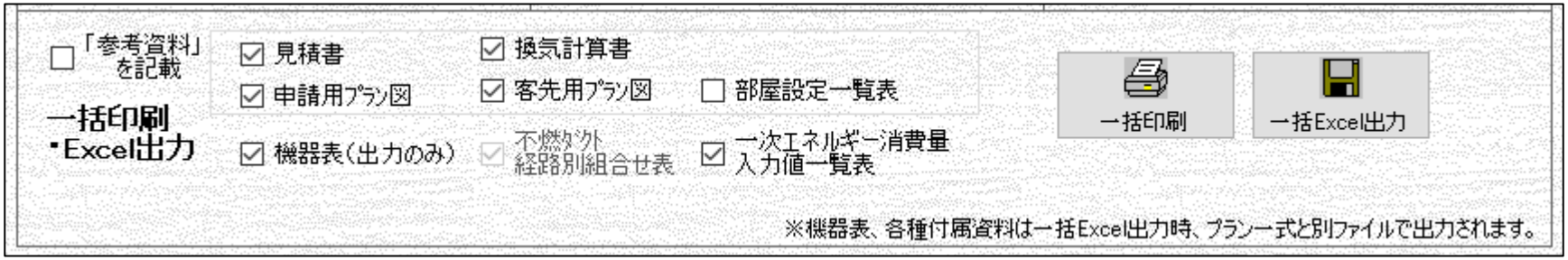


Excel出力する場合は、「一括Excel出力」を使用してください。

操作方法については、「**１４－９．一括印刷・Excel出力に関する機能**」を参照ください。

１４－９．一括印刷・Excel出力に関する機能

作成したプランをまとめて印刷したり、ファイル出力したりします。



1. 一括出力する資料を選択します。

※機器表（出力のみ）は、「１４－５．機器一覧表の印刷」の機器表とは別物です。

2. 選択後、 **一括印刷** または、 **一括Excel出力** をクリックします。

データ出力を実行後に、必ず保存をしてください。

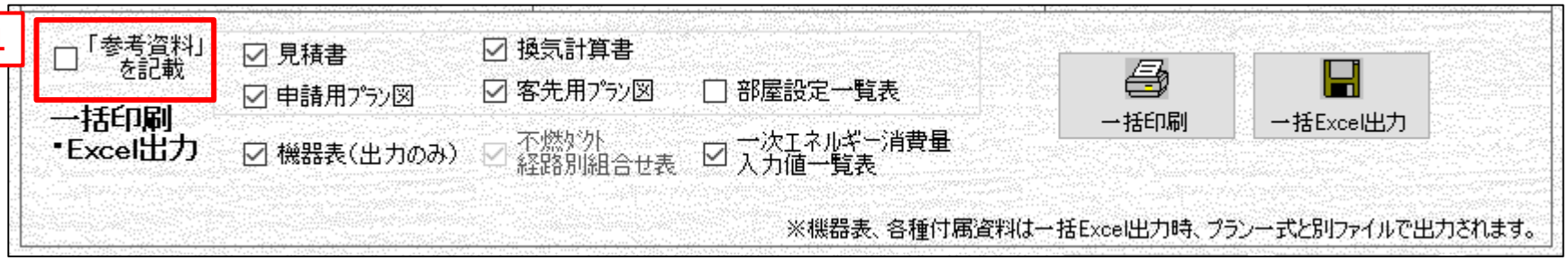
保存をおこなうことで、出力したファイルがフォルダへ保存されます。

ファイルの保存先については、「１４－１．（4）Excel出力／JPEG出力／物件データ出力」を参照ください。

１４－１０．その他の機能

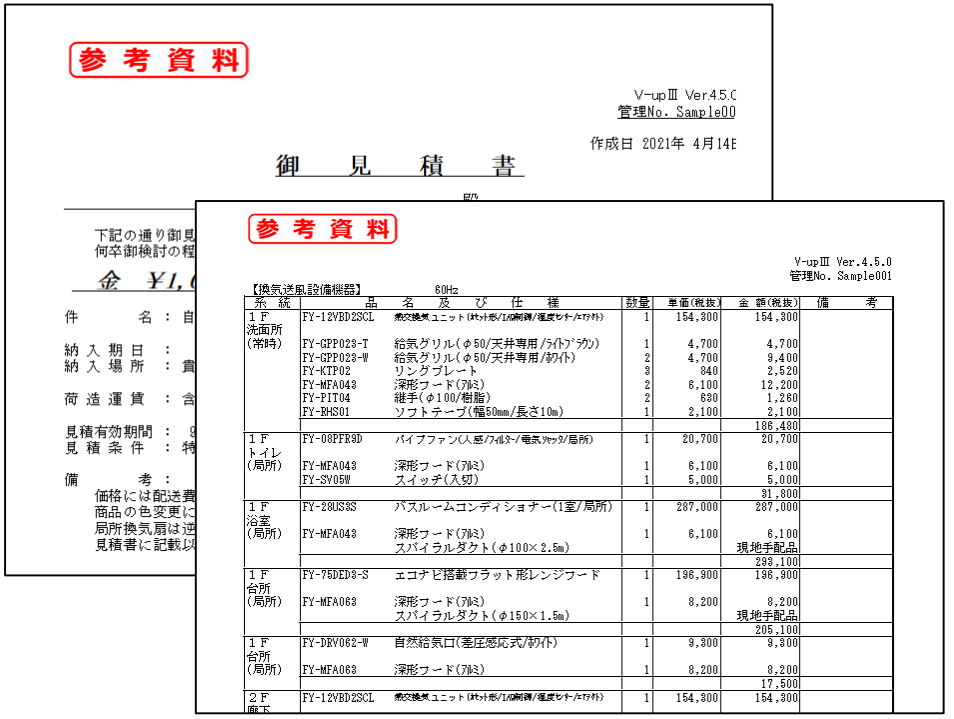
（１）参考資料を記載する

見積書の左上に「参考資料」を記載します。



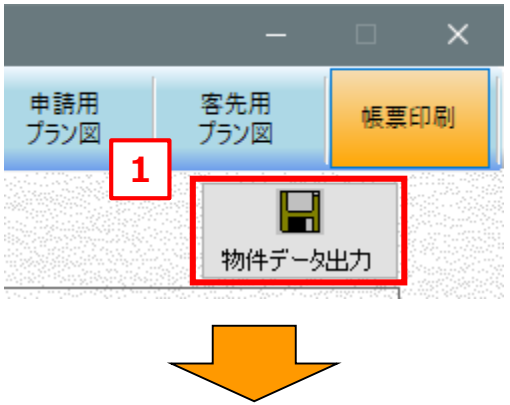
1. 「参考資料」を記載にチェックを入れます。

2. チェック後、見積書を印刷、Excel出力すると見積書の左上に「参考資料」が記載されます。



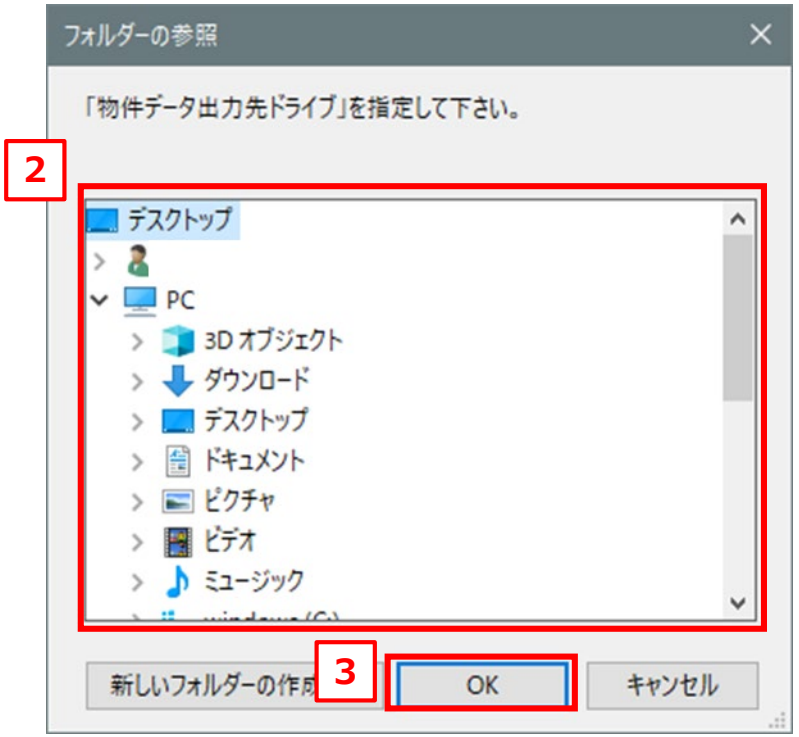
（２）物件データ出力

作成済みのプランデータをEメール等で渡すことができるファイル形式で出力します。



1. 「帳票印刷」画面の右上の、 **物件データ出力** をクリックします。

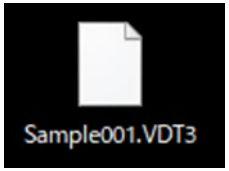
2. 物件データの保存先を指定します。

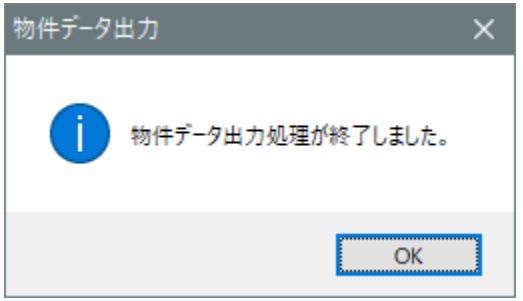


3. 保存先を指定した後、 OK をクリックします。

4. 確認メッセージが表示されるので、 **はい** をクリックします。

5. 物件データが、拡張子「.VDT3」で出力されます。





本機能で出力した物件データファイルには、パスワードがかかりません。

パスワードをかける必要がある場合は、
「**第２章 補助機能 ９－１．物件データ出力**」を参照ください。

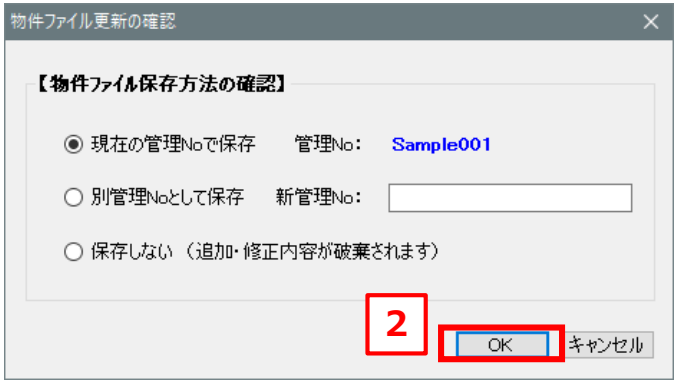
１４－１１．プラン完了

1. 処理選択へ をクリックします。

2. 物件ファイル更新の確認ウィンドウが表示されます。

任意の項目を選んで、 OK をクリックします。

- ⦿ 現在の管理Noで保存：上書き保存します。
- ⦿ 別管理Noとして保存：現在の管理Noとは別の管理Noで保存します。
- ⦿ 保存しない　　：変更を保存せずに終了します。



3. V-upⅢの初期画面に戻ります。

以上で、**プラン作成完了**です。

付録

1．V-upⅢ　同梱品一覧

（1）V-upⅢ　操作マニュアル

今ご覧になっている本マニュアルです。V-upⅢの操作方法について説明しています。

（2）V-upⅢ　入門

V-upⅢを初めてお使いになる方向けの導入マニュアルです。

自由設計編と簡易設計編とPQ計算のみ編がございます。

（3）サンプルプラン

V-upⅢで作成することのできるプランの一例です。

自由設計版と簡易設計版の２プランがございます。

なお、『V-upⅢ　入門』は、サンプルプランをもとに説明しています。

- ●管理番号：Sample001　・・・自由設計のサンプルプラン
- ●管理番号：Sample002　・・・簡易設計のサンプルプラン

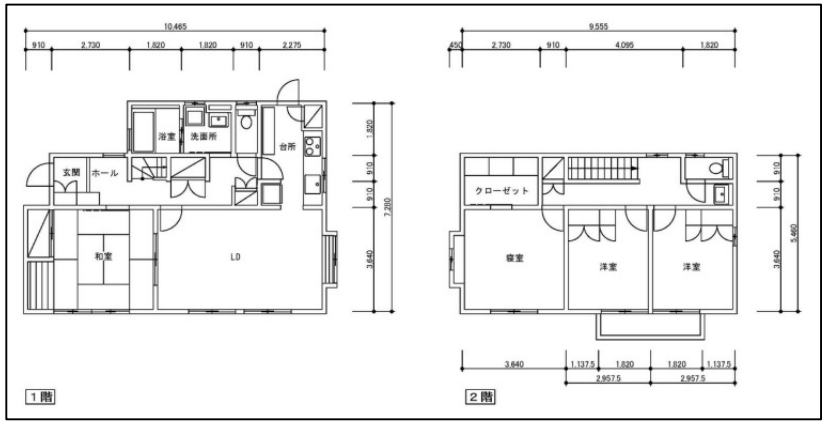
※サンプルプランのデータは

の **物件データ入出力** より取り込みます。

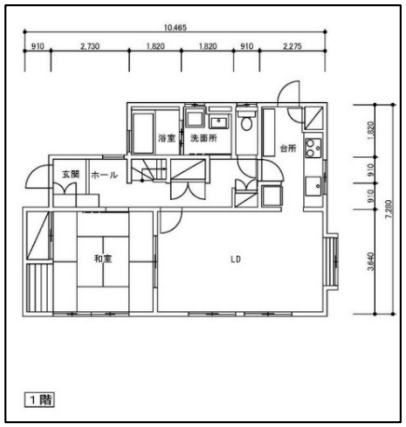
（４）サンプル図面

『V-upⅢ　入門』にて使用している平面図です。

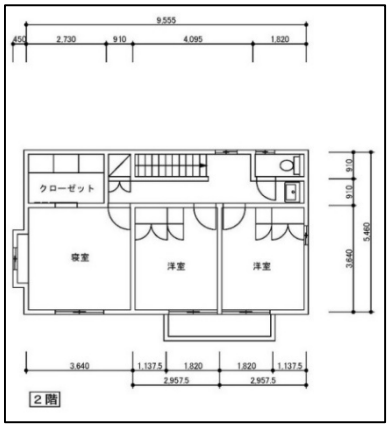
戸建住宅（１階・２階・全館）と集合住宅の４枚があります。



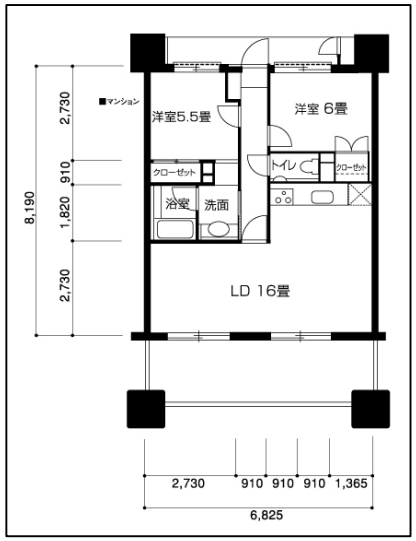
KODATE_1-2F.jpg



KODATE_1F.jpg



KODATE_2F.jpg



SYUGOU.jpg

2．部屋パターン

部屋設定において、プリセットされている部屋パターン一覧です。
※画像は簡易設計での表示です。自由設計の場合、「機器種類（用途）」「機器の色」の項目は非表示です。

2－1．標準集合住宅（面積：全体）

集合住宅（一戸分）を想定した間取りです。

階数	部屋名称	床面積 ㎡	天井高 m	適用区分	常時機器	局所機器	機器種類（用途）	換気回数	気積 m3	必要有効換気量 m3/h	表示図面	機器の色
1F	換気対象(全体)	0	2.5	全体	□	□		0.5	0	0	図面1	白色
1F	LDK	0	2.5		☑	□	居室(給気)	0.5	0	0	図面1	白色
1F	洋室1	0	2.5		☑	□	居室(給気)	0.5	0	0	図面1	白色
1F	洋室2	0	2.5		☑	□	居室(給気)	0.5	0	0	図面1	白色
1F	ﾄｲﾚ	0	2.5		☑	□	ﾄｲﾚ(排気)	0.5	0	0	図面1	白色
1F	洗面所	0	2.5		☑	□	洗面所(排気)	0.5	0	0	図面1	白色
1F	浴室	0	2.5		□	☑	浴室(排気)	0.5	0	0	図面1	白色

2－2．標準戸建住宅（面積：全体）

戸建住宅を想定した間取りです。床面積は換気対象全体をまとめて入力します。

階数	部屋名称	床面積 ㎡	天井高 m	適用区分	常時機器	局所機器	機器種類（用途）	換気回数	気積 m3	必要有効換気量 m3/h	表示図面	機器の色
1F	換気対象(全体)	67.88	2.5	全体	□	□		0.5	169.7	84.85	図面1	白色
1F	LD	0	2.5		☑	□	居室(給気)	0.5	0	0	図面1	白色
1F	台所	0	2.5		☑	☑	居室(給気)	0.5	0	0	図面1	白色
1F	和室	0	2.5		☑	□	居室(給気)	0.5	0	0	図面1	ﾍﾞｰｼﾞｭ色
1F	ﾄｲﾚ	0	2.5		☑	□	ﾄｲﾚ(排気)	0.5	0	0	図面1	白色
1F	洗面所	0	2.5		☑	□	洗面所(排気)	0.5	0	0	図面1	白色
1F	玄関･ﾎｰﾙ	0	2.5		☑	□	廊下(排気)	0.5	0	0	図面1	白色
1F	浴室	0	2.5		□	☑	浴室(排気)	0.5	0	0	図面1	白色
2F	換気対象(全体)	52.14	2.5	全体	□	□		0.5	130.35	65.18	図面2	白色
2F	洋室1	0	2.5		☑	□	居室(給気)	0.5	0	0	図面2	白色
2F	洋室2	0	2.5		☑	□	居室(給気)	0.5	0	0	図面2	白色
2F	寝室	13.24	2.5	個別	☑	□	居室(給気)	0.5	33.1	16.55	図面2	白色
2F	ﾄｲﾚ	0	2.5		☑	□	ﾄｲﾚ(排気)	0.5	0	0	図面2	白色
2F	廊下･階段	0	2.5		☑	□	廊下(排気)	0.5	0	0	図面2	白色

2－3．標準戸建住宅（面積：個別）

戸建住宅を想定した間取りです。床面積は部屋別に入力します。

階数	部屋名称	床面積 ㎡	天井高 m	適用区分	常時機器	局所機器	機器種類（用途）	換気回数	気積 m3	必要有効換気量 m3/h	表示図面	機器の色
1F	LD	21.53	2.5		☑	☐	居室(給気)	0.5	53.83	26.92	図面1	白色
1F	台所	8.28	2.5		☑	☑	居室(給気)	0.5	20.7	10.35	図面1	白色
1F	和室	16.56	2.5		☑	☐	居室(給気)	0.5	41.4	20.7	図面1	ﾍﾞｰｼﾞｭ色
1F	トイレ	1.65	2.5		☑	☐	トイレ(排気)	0.5	4.13	2.07	図面1	白色
1F	洗面所	3.31	2.5		☑	☐	洗面所(排気)	0.5	8.28	4.14	図面1	白色
1F	玄関・ホール	13.24	2.5		☑	☐	廊下(排気)	0.5	33.1	16.55	図面1	白色
1F	浴室	0	2.5		☐	☑	浴室(排気)	0.5	0	0	図面1	白色
2F	洋室1	10.76	2.5		☑	☐	居室(給気)	0.5	26.9	13.45	図面2	白色
2F	洋室2	10.76	2.5		☑	☐	居室(給気)	0.5	26.9	13.45	図面2	白色
2F	寝室	13.24	2.5	個別	☑	☐	居室(給気)	0.5	33.1	16.55	図面2	白色
2F	トイレ	1.65	2.5		☑	☐	トイレ(排気)	0.5	4.13	2.07	図面2	白色
2F	廊下・階段	10.76	2.5		☑	☐	廊下(排気)	0.5	26.9	13.45	図面2	白色

2－4．標準戸建住宅（Q－hiファン用）

戸建住宅を想定した間取りです。Q－hiファンの設置を想定した設定になっています。

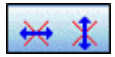
階数	部屋名称	床面積 ㎡	天井高 m	適用区分	常時機器	局所機器	機器種類（用途）	換気回数	気積 m3	必要有効換気量 m3/h	表示図面	機器の色
1F	LDK	0	2.5	個別	☑	☐	居室(給気)	0.5	0	0	図面1	白色
1F	和室	0	2.5	個別	☑	☐	居室(給気)	0.5	0	0	図面1	ﾍﾞｰｼﾞｭ色
1F	トイレ	0	2.5		☐	☑	トイレ(排気)	0.5	0	0	図面1	白色
1F	洗面所	0	2.5		☐	☑	洗面所(排気)	0.5	0	0	図面1	白色
1F	浴室	0	2.5		☐	☑	浴室(排気)	0.5	0	0	図面1	白色
2F	主寝室	0	2.5	個別	☑	☐	居室(給気)	0.5	0	0	図面2	白色
2F	洋室1	0	2.5	個別	☑	☐	居室(給気)	0.5	0	0	図面2	白色
2F	洋室2	0	2.5	個別	☑	☐	居室(給気)	0.5	0	0	図面2	白色

3．アイコン・キーボードの機能一覧

プラン図を作成するにあたっての、アイコンおよびキーボードの機能一覧です。

アイコン・キーボード	機能
	図面を実際の大きさで表示
	図面全体を表示
	シンボルを選択／ズームの解除
	アイコンを選択後、図面上でクリック 左クリック：拡大表示　　右クリック：縮小表示
	動作を一つ戻す
	機器シンボルを、90度回転
	機器シンボルを、45度回転
R（L）キー	機器シンボルを、右（左）へ90度回転
Ctrlキー＋R（L）キー	機器シンボルを、右（左）へ45度回転
W、Z、A、S　キー	機器シンボルを、上、下、左、右へ移動
8、2、4、6　（テンキー）	機器シンボルを、上、下、左、右へ移動
、Deleteキー	機器シンボルを削除
	シンボルを配置した順に選択

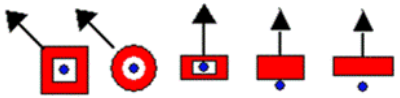
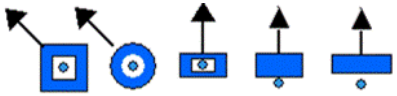
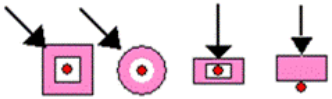
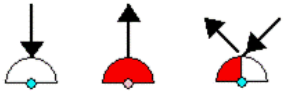
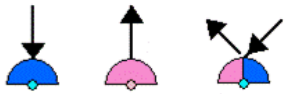
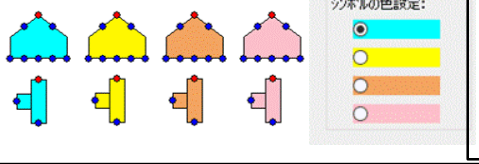
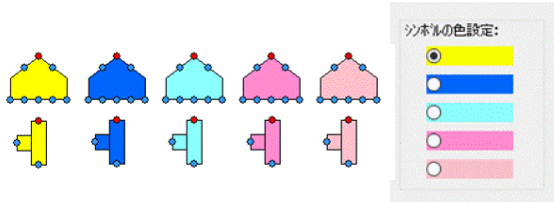
プラン図を作成するにあたっての、アイコンおよびキーボードの機能一覧の続きです。

アイコン・キーボード	機能	備考
	コピーと貼付け	申請用プラン図／客先用プラン図
	通気有りのシンボルを配置	申請用プラン図／客先用プラン図
	通気無しのシンボルを配置	申請用プラン図／客先用プラン図
	換気対象外エリアに網掛けを作成 （範囲をドラッグして選択する）	申請用プラン図／客先用プラン図
	換気対象外エリアに網掛けを作成 （頂点をつなぐように左クリックしていき、囲み終えたら右クリックで完了する）	申請用プラン図／客先用プラン図 ※削除は、辺ごとにおこなうため注意が必要
	直線・矢印を作図 （始点から終点までをドラッグする）	申請用プラン図／客先用プラン図
	折線を作図 （端点を左クリックしていき、右クリックで完了する）	申請用プラン図／客先用プラン図
	文字を入力する	申請用プラン図／客先用プラン図
	文字の編集をする	申請用プラン図／客先用プラン図
	共用エリアの枠を作成	申請用プラン図／客先用プラン図

4．申請用／客先用プラン図　シンボルの表示色変更について（Ver.3.2.0より）

Ver.3.2.0より、申請用／客先用プラン図のシンボルの表示色を変更しました。

【シンボルの新旧表示色比較表】

＜Ｖｅｒ.３.１.２以前＞	＜Ｖｅｒ.３.２.０より＞	＜Ｖｅｒ.３.１.２以前＞	＜Ｖｅｒ.３.２.０より＞
●室内端末（給気） 		●給気清浄フィルター ユニット	
●室内端末（排気） 		●ダクト フレキチューブ（FY/VB）	
●室外端末 給気　排気　給排気（2層管） 		断熱チューブ（FY/VB） 抗菌・消臭断熱チューブ（VB）	
		高断熱チューブ（VB）	
		不燃チューブ（FY/VB） 不燃チューブ・径小タイプ（VB）	
		消音ダクト（FY/VB）	
●分岐部材各種 ※サンプル（7分岐チャンバー、T管） 	※サンプル（7分岐チャンバー、T管） 	塩化ビニール管	
		スパイラルダクト 亜鉛メッキ鋼管 硬質ダクト	
		フレキシブルダクト	

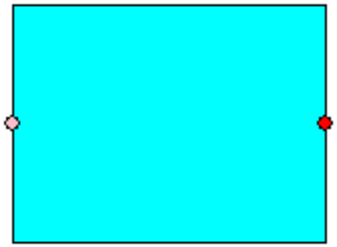
Ver.4.2.0に追加された機能について

V-upⅢ（Ver.4.2.0）から追加された機能について説明します。

3．プランニング　－　矩形ダクトに対応

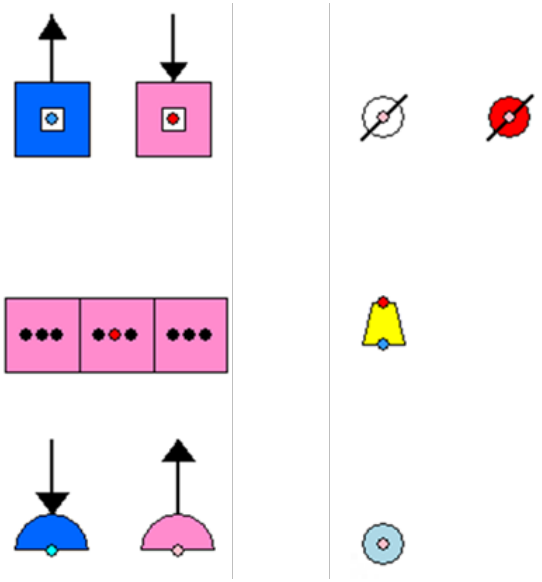
矩形ダクトを使用したプランが作成可能となりました。

※基本操作については、V-upⅢ操作マニュアルをご参照ください。



○矩形ダクト接続機種

消音形キャビネットファン　11機種
厨房形キャビネットファン　5機種
耐湿形キャビネットファン　5機種



○矩形ダクトに対応した部材

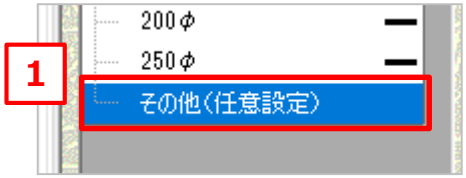
ダクト
室内端末（VHS/HS）
業務用厨房フード
室外端末（屋外フード）
ダンパー
片落管
ダクト継手

※分岐部材の対応については、次回以降に更新予定

3－1．ダクト

1. 「その他(任意設定)」を選択してダクトを描画します。

※描画されるダクトの太さは、300mmで固定となります。



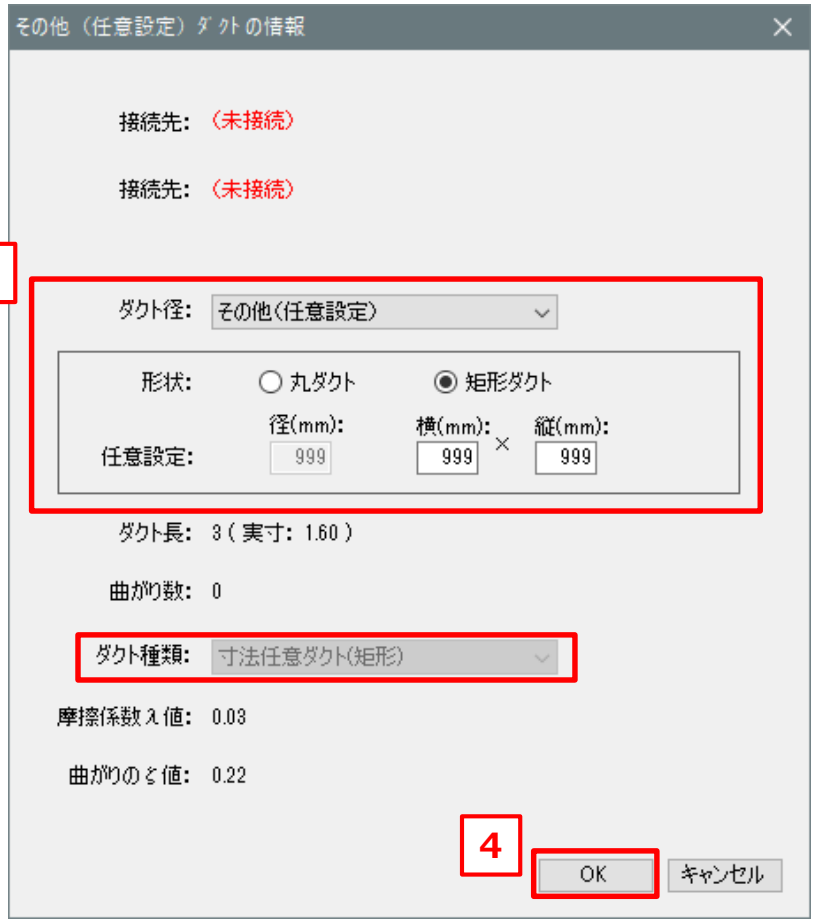
2. ダクトの情報ウィンドウを表示します。

3. ダクトの形状、サイズを設定します。

形状　：丸ダクト、矩形ダクトの選択
サイズ：丸ダクト　＝ ダクト径（mm）
　　矩形ダクト＝ 横・縦サイズ（mm）

※φ250以下の丸ダクトは従来どおり、ダクト径で設定をして使用してください。
※「その他(任意設定)」の場合、ダクト種類は設定不可となります。

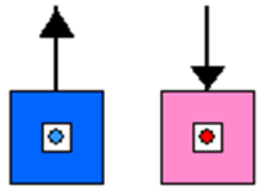
4. 【OK】ボタンを押します。



3－2．室内端末（VHS/HS）

1. 室内端末（VHS/HS）を配置して矩形ダクトを接続します。

2. 室内端末（VHS/HS）の情報ウィンドウを表示します。



① 接続されたダクトのサイズが表示されます。

② VHS/HSのサイズを設定します。初期値は品番選択時のサイズになっています。

③ チャンバーボックスのサイズを設定します。

自動設定：VHS/HSのサイズと接続ダクトサイズの大きい数値に＋50mmします。

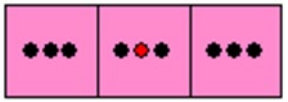
手動設定：任意にサイズを設定します。

3. 【OK】ボタンを押します。

3－3．業務用厨房フード

1. 業務用厨房フードを配置して矩形ダクトを接続します。

2. 業務用厨房フードの情報ウィンドウを表示します。



① 接続されたダクトのサイズが表示されます。

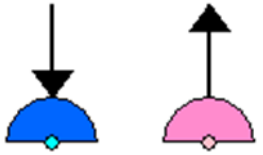
② 業務用厨房フード形状・サイズなどの設定をします。

3. 【OK】ボタンを押します。

3－4．室外端末（屋外フード）

1. 室外端末（屋外フード）を配置して矩形ダクトを接続します。

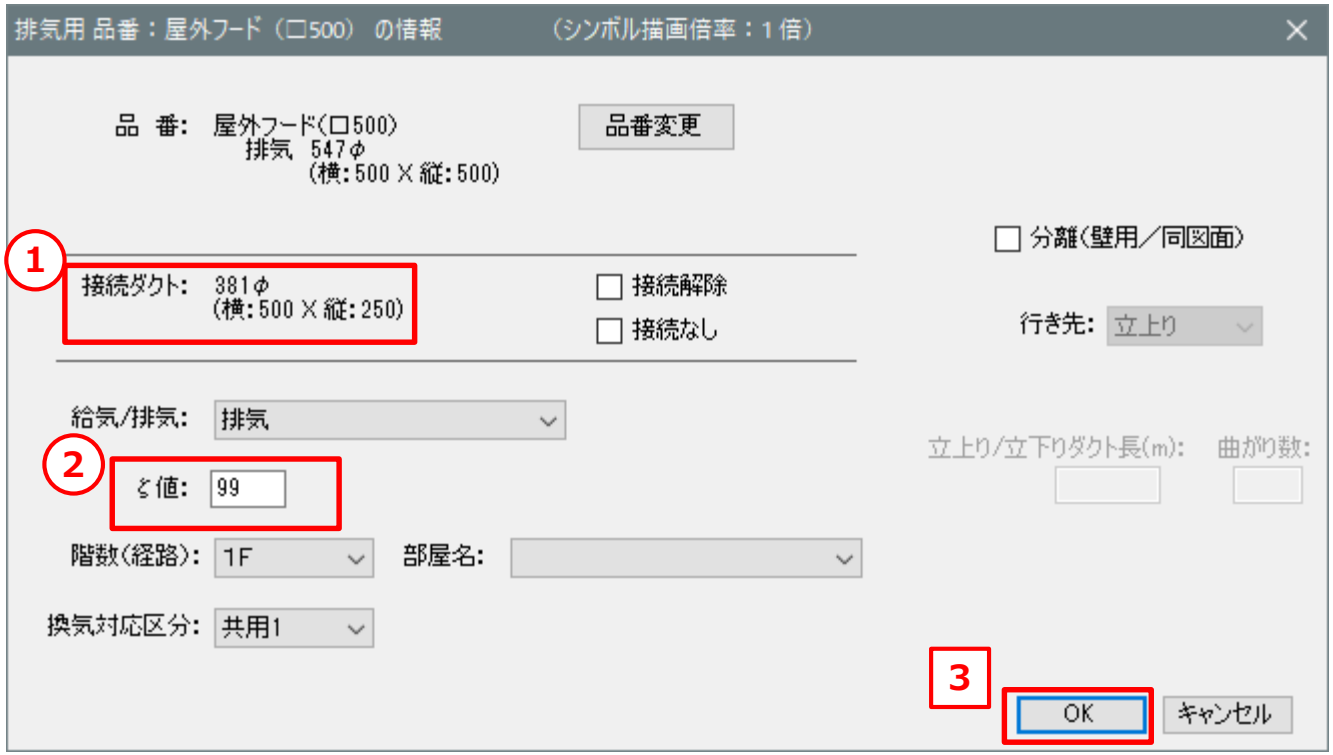
矩形ダクト用の屋外フードを選択するには、下図のとおりに品番絞込み設定をすると右下図の一覧が表示されます。



2. 室外端末（屋外フード）の情報ウィンドウを表示します。

① 接続されたダクトのサイズが表示されます。

② 屋外フードのζ値を入力します。



3. 【OK】ボタンを押します。

3－5．ダンパー

1. ダンパーを配置して矩形ダクトを接続します。

Ver.4.2.0より、ダミー品番を整理しました。
丸ダクト用と矩形ダクト用のダミー品番があるので、接続するダクトによって選択してください。

＜Ver.4.1.8以前＞

品番	品名
CD(φ100)参考値	チャッキダンパー
FD(φ100)参考値	防火ダンパー
FVD(φ100)参考値	風量調整兼用防火ダンパー
MD(φ100)参考値	電動ダンパー
VD(φ100)参考値	風量調整ダンパー
CD(φ150)参考値	チャッキダンパー
FD(φ150)参考値	防火ダンパー
FVD(φ150)参考値	風量調整兼用防火ダンパー
MD(φ150)参考値	電動ダンパー
VD(φ150)参考値	風量調整ダンパー
CD(φ200)参考値	チャッキダンパー
FD(φ200)参考値	防火ダンパー
FVD(φ200)参考値	風量調整兼用防火ダンパー
MD(φ200)参考値	電動ダンパー
VD(φ200)参考値	風量調整ダンパー
CD(φ250)参考値	チャッキダンパー
FD(φ250)参考値	防火ダンパー
FVD(φ250)参考値	風量調整兼用防火ダンパー
MD(φ250)参考値	電動ダンパー
VD(φ250)参考値	風量調整ダンパー
CD(φ300)参考値	チャッキダンパー
FD(φ300)参考値	防火ダンパー
FVD(φ300)参考値	風量調整兼用防火ダンパー
MD(φ300)参考値	電動ダンパー
VD(φ300)参考値	風量調整ダンパー

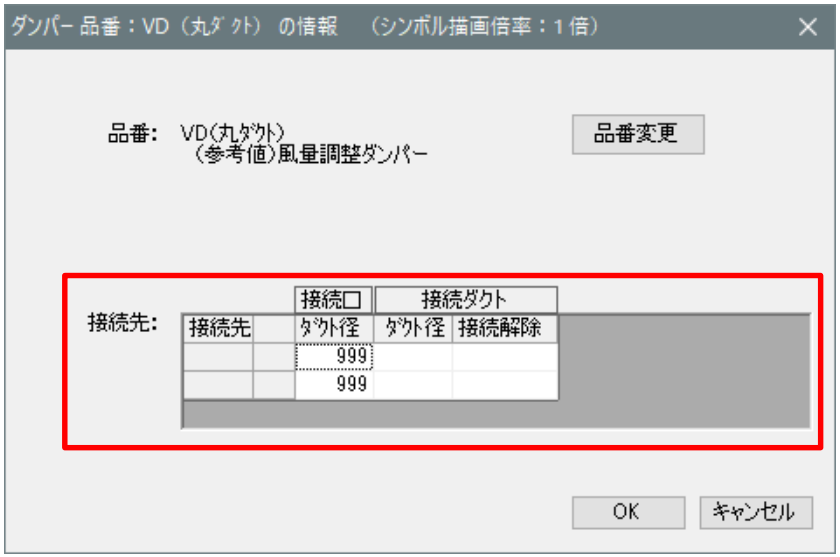
＜Ver.4.2.0＞

品番	品名
MD(矩形ﾀﾞｸﾄ)	(参考値)電動ダンパー
VD(矩形ﾀﾞｸﾄ)	(参考値)風量調整ダンパー
FD(矩形ﾀﾞｸﾄ)	(参考値)防火ダンパー
FVD(矩形ﾀﾞｸﾄ)	(参考値)風量調整兼用防火ダンパー
CD(矩形ﾀﾞｸﾄ)	(参考値)チャッキダンパー
FD(丸ﾀﾞｸﾄ)	(参考値)防火ダンパー
FVD(丸ﾀﾞｸﾄ)	(参考値)風量調整兼用防火ダンパー
MD(丸ﾀﾞｸﾄ)	(参考値)電動ダンパー
VD(丸ﾀﾞｸﾄ)	(参考値)風量調整ダンパー
CD(丸ﾀﾞｸﾄ)	(参考値)チャッキダンパー

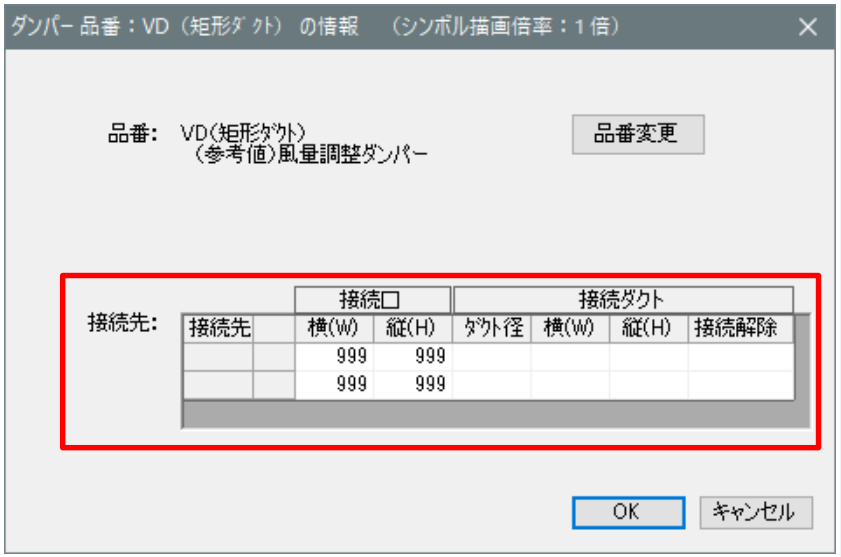
2. ダンパーの情報ウィンドウを表示します。

丸ダクト用と矩形ダクト用で接続先の内容が変わります。

<丸ダクト>

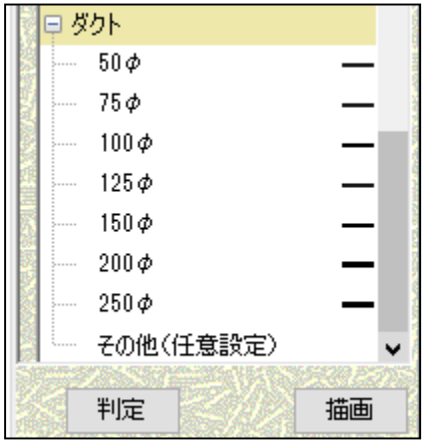


<矩形ダクト>



3. ダンパーにダクトを接続すると、接続されたダクトサイズによって、シンボルの大きさが変化します。

φ50～φ200のダクトを接続した場合は、シンボルの大きさは変わりません。
φ250、その他(任意設定)のダクトを接続した場合は、接続したダクトサイズと同じ大きさに変化します。



<φ100のダクトを接続した場合>

<その他(任意設定)のダクトを接続した場合>

3－6．片落管

1. 片落管を配置して矩形ダクトを接続します。

Ver.4.2.0より、ダミー品番を整理しました。
丸ダクト用と矩形ダクト用のダミー品番があるので、接続するダクトによって選択してください。

<Ver.4.1.8以前>

品番決定

生産区分	品番	
	片落管100-150	(参考値)
	片落管100-200	(参考値)
	片落管100-250	(参考値)
	片落管150-200	(参考値)
	片落管150-250	(参考値)
	片落管150-300	(参考値)
	片落管200-250	(参考値)
	片落管200-300	(参考値)
	片落管250-300	(参考値)

<Ver.4.2.0>

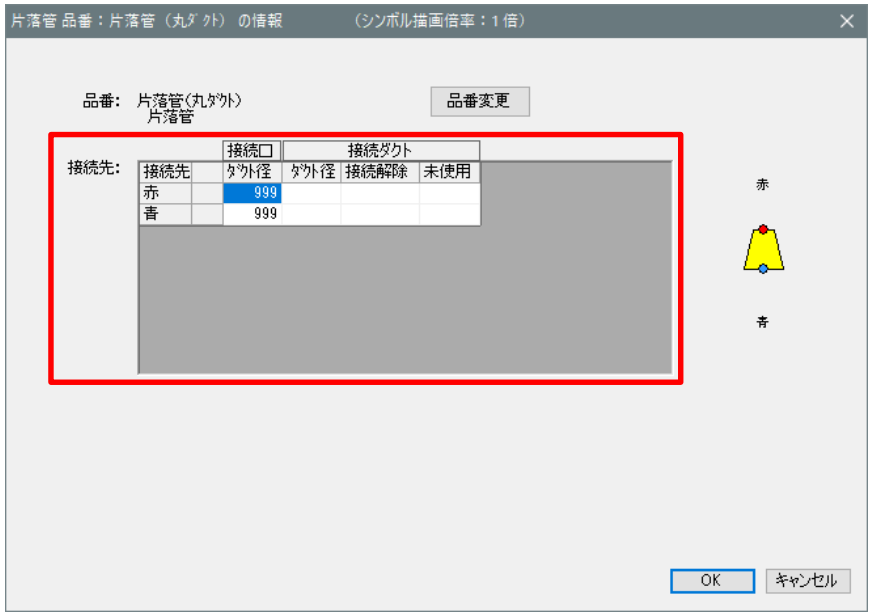
品番決定

生産区分	品番	
	片落管(矩形ﾀﾞｸﾄ)	(参考値)
	片落管(丸ﾀﾞｸﾄ)	(参考値)

2. 片落管の情報ウィンドウを表示します。

丸ダクト用と矩形ダクト用で接続先の内容が変わります。

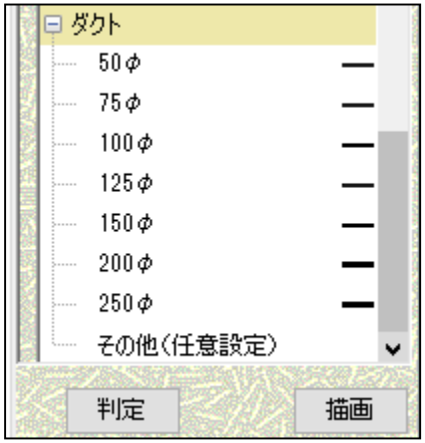
<丸ダクト>



<矩形ダクト>

3. 片落管にダクトを接続すると、接続されたダクトサイズによって、シンボルの大きさが変化します。

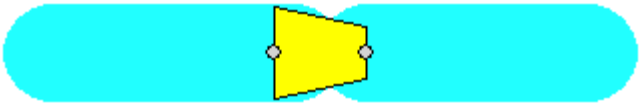
φ50～φ200のダクトを接続した場合は、シンボルの大きさは変わりません。
φ250、その他(任意設定)のダクトを接続した場合は、接続したダクトサイズと同じ大きさに変化します。



＜φ100のダクトを接続した場合＞

左側ダクト（φ150）、右側ダクト（φ100）

＜その他(任意設定)のダクトを接続した場合＞

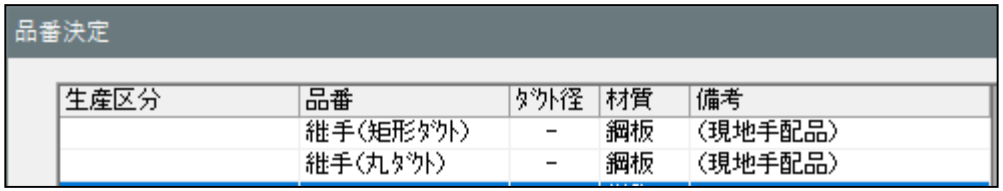


左側ダクト（500×250）、右側ダクト（350×350）

3－7．ダクト継手

1. ダクト継手を配置して矩形ダクトを接続します。

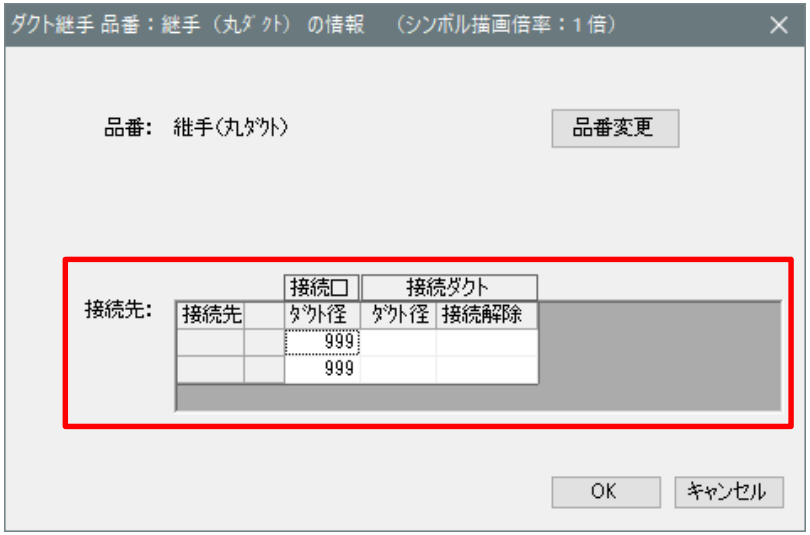
丸ダクト用と矩形ダクト用のダミー品番があるので、
接続するダクトによって選択してください。



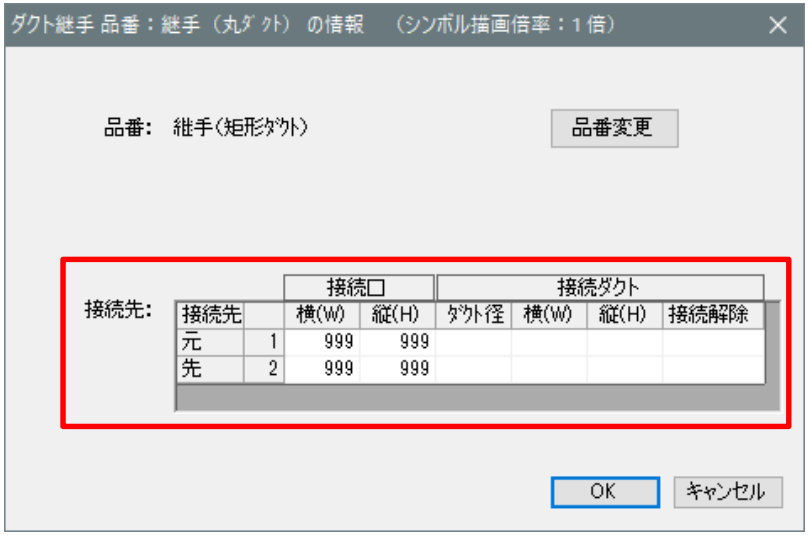
2. ダクト継手の情報ウィンドウを表示します。

丸ダクト用と矩形ダクト用で接続先の内容が変わります。

<丸ダクト>

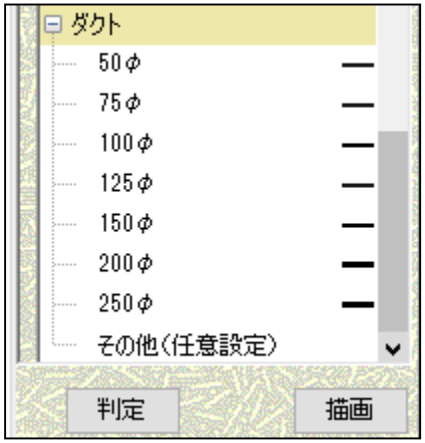


<矩形ダクト>



3. ダクト継手にダクトを接続すると、接続されたダクトサイズによって、シンボルの大きさが変化します。

φ50～φ200のダクトを接続した場合は、シンボルの大きさは変わりません。
φ250、その他(任意設定)のダクトを接続した場合は、接続したダクトサイズと同じ大きさに変化します。



<φ100のダクトを接続した場合>

<その他(任意設定)のダクトを接続した場合>

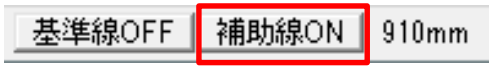
4．プランニング　－　基準線に補助線表示機能を追加

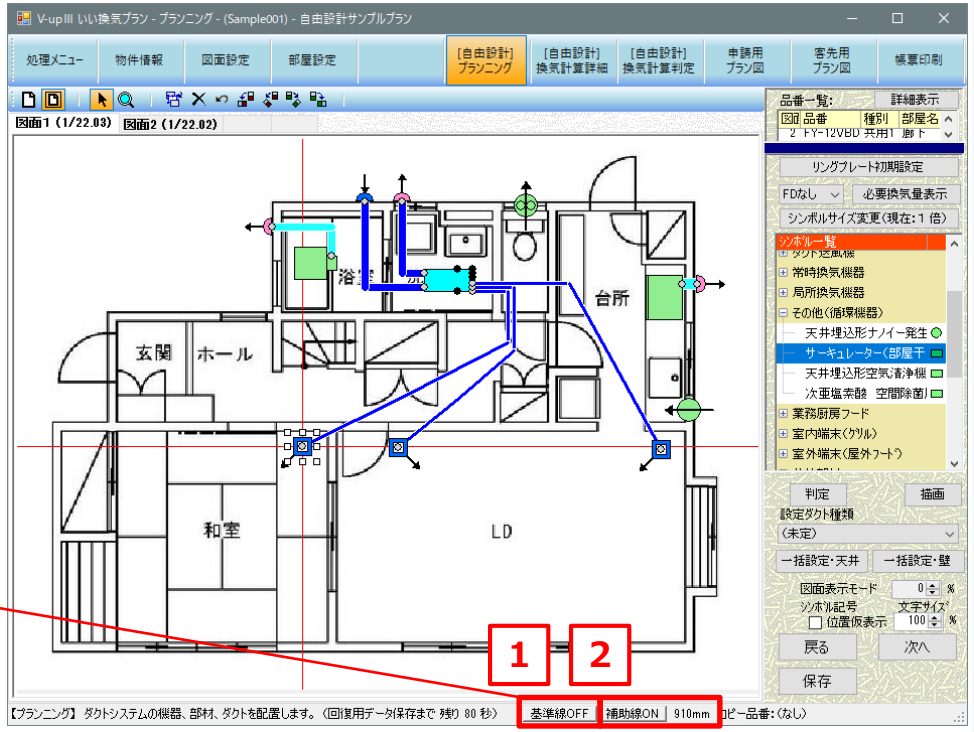
基準線を表示した後に補助線（黒色破線）を追加表示する事ができるようになりました。

1. 【基準線描画ON】にします。

※操作については、
V-upⅢ操作マニュアルをご参照ください。

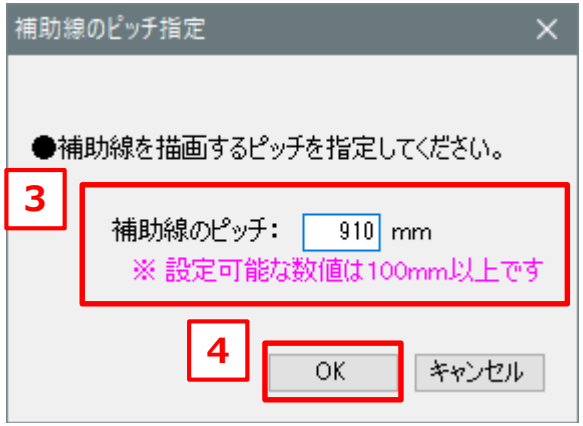
2. 【補助線ON】ボタンを押します。





3. 補助線のピッチ設定ウィンドウが表示されるので、
補助線の間隔を設定します。

※初期値は、910mmです。

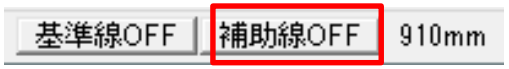


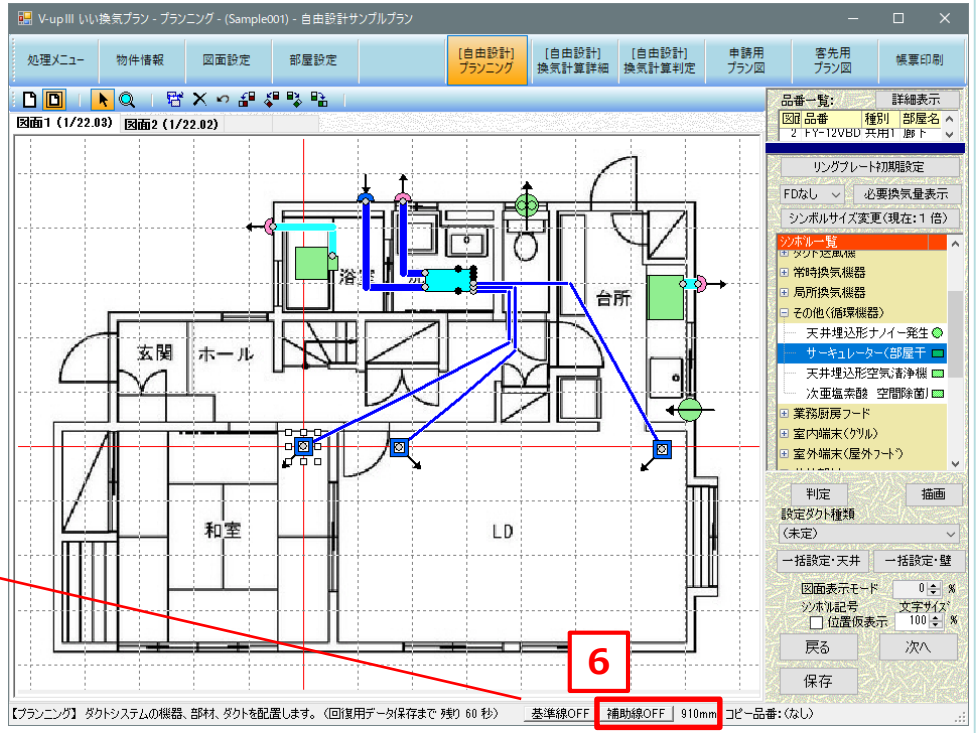
4. 【OK】ボタンを押します。

5. 黒色の破線で補助線が描画されます。

6. 補助線を消す場合は、【補助線OFF】ボタンを押します。

※補助線の間隔を変更する場合も、
一度消してから再度表示させます。



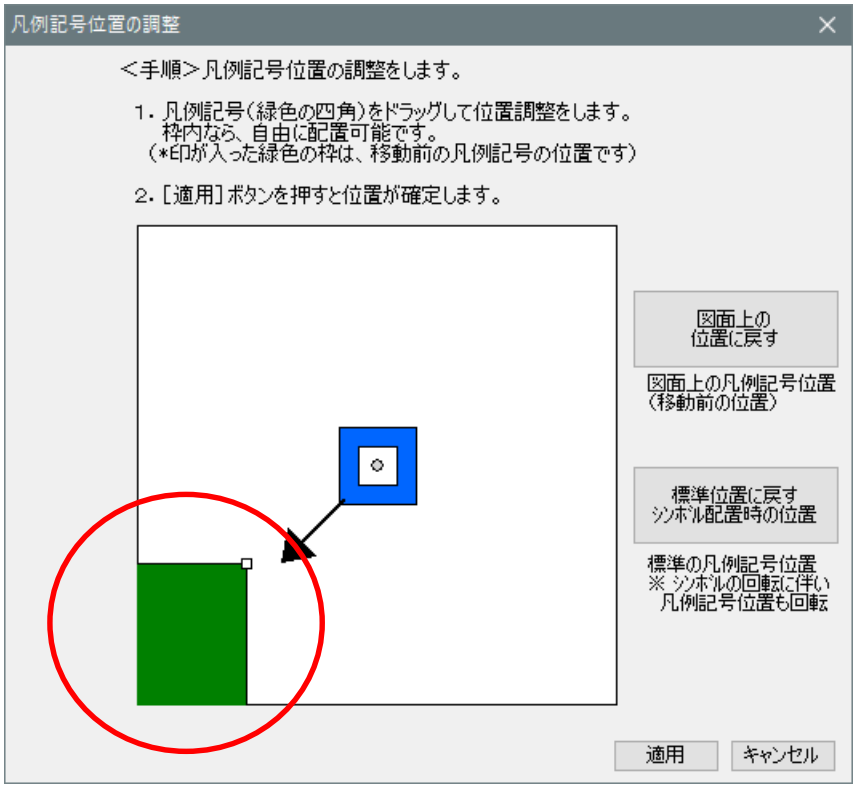


5．プランニング　－　凡例記号の位置調整ウィンドウの改善

シンボル横の凡例記号のサイズを変更した際、凡例記号位置調整ウィンドウを開くと描画範囲外になってしまい位置調整しづらいのを改善しました。

＜Ver.4.1.8以前＞

凡例が大きくて描画範囲外になってしまう。



＜Ver.4.2.0＞

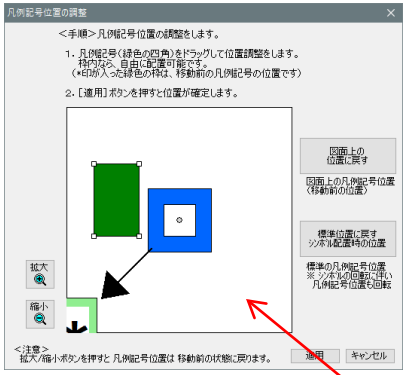
描画範囲が自動調整されて、位置調整がしやすい。

※凡例記号の位置調整の基本操作については、V-upⅢ操作マニュアルをご参照ください。

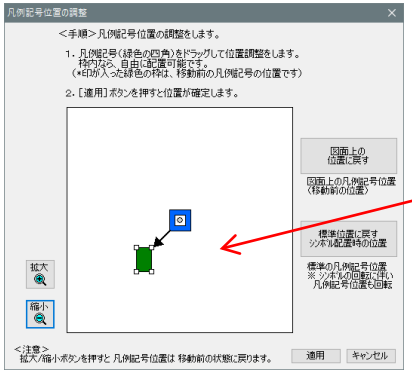
※その他、追加機能について

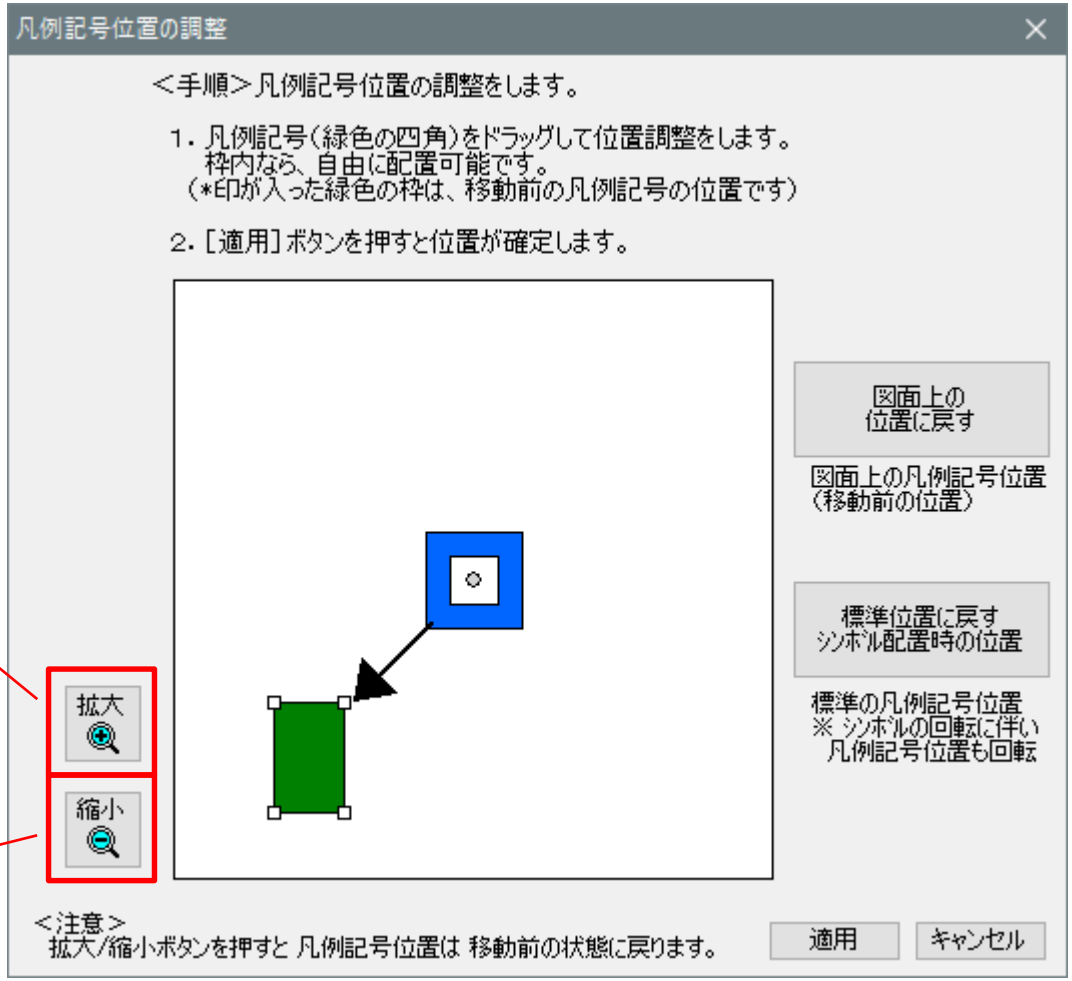
※凡例記号の位置調整する描画範囲を、拡大／縮小ができるようにボタンを追加しました。

<拡大した場合>



<縮小した場合>

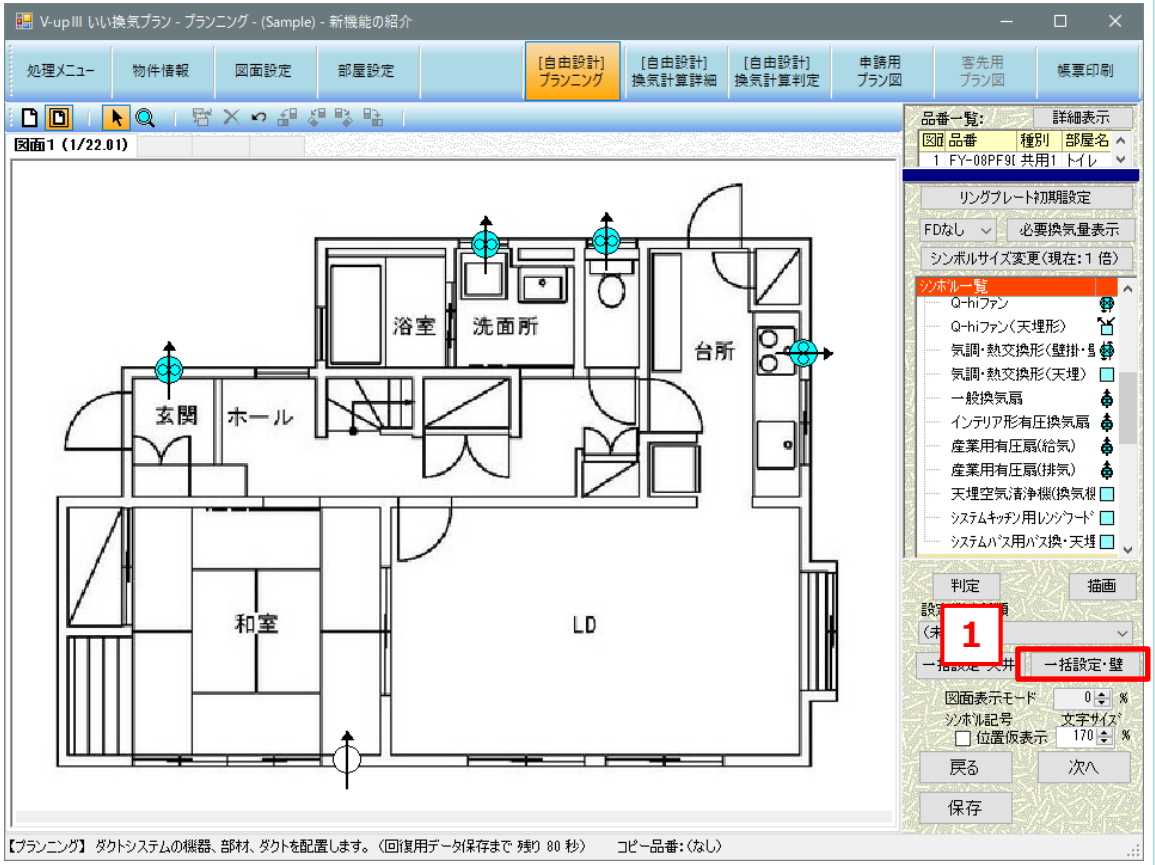




6．プランニング　－　【一括設定・壁】で、産業用有圧換気扇などの設定を修正する機能追加

今まで、産業用有圧換気扇などは１品番ずつ情報ウィンドウを開いて設定を変更する必要がありましたが、
【一括設定・壁】ボタンで一覧表示させて変更する機能を追加しました。

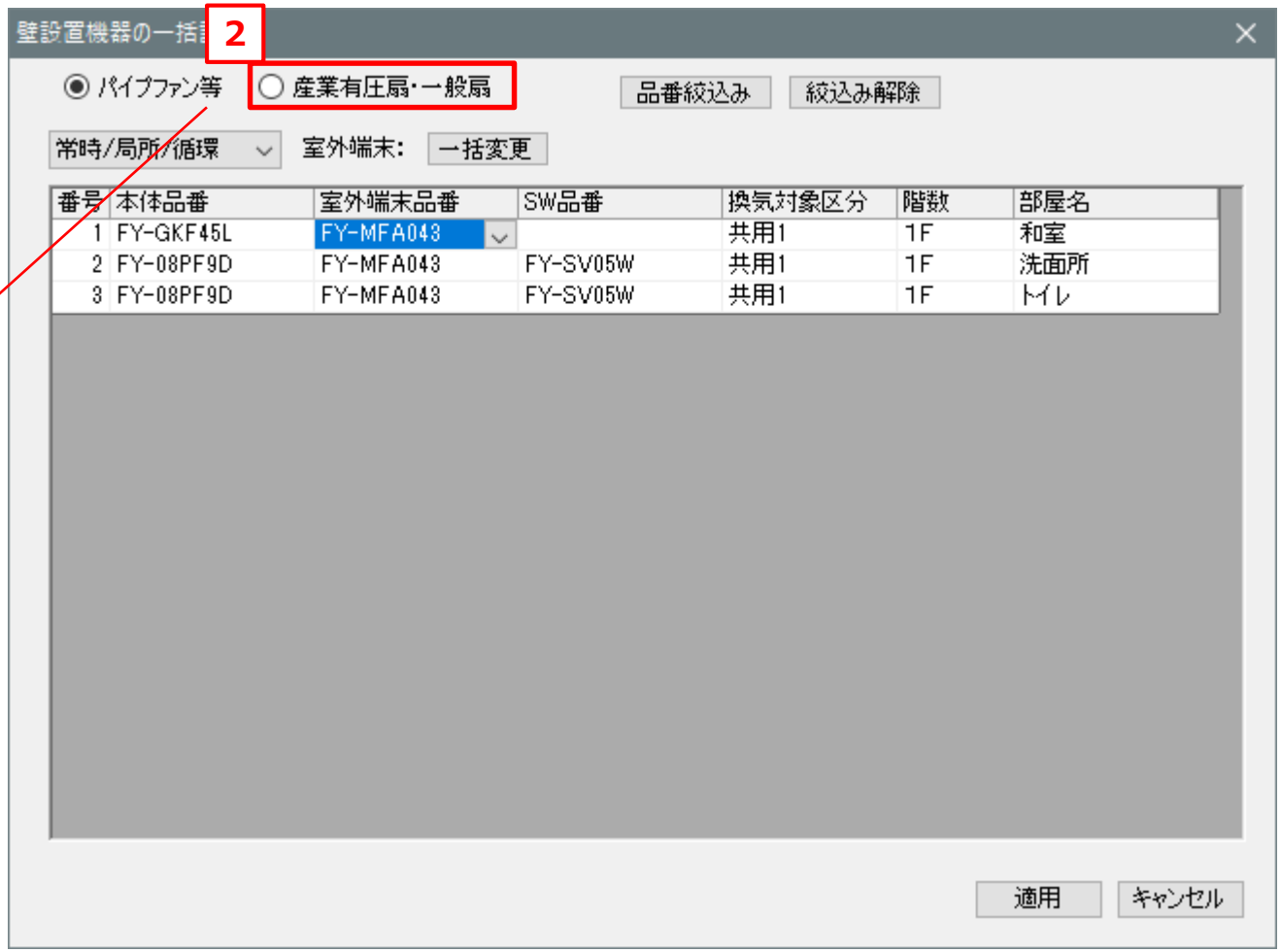
1.　【一括設定・壁】ボタンを押します。



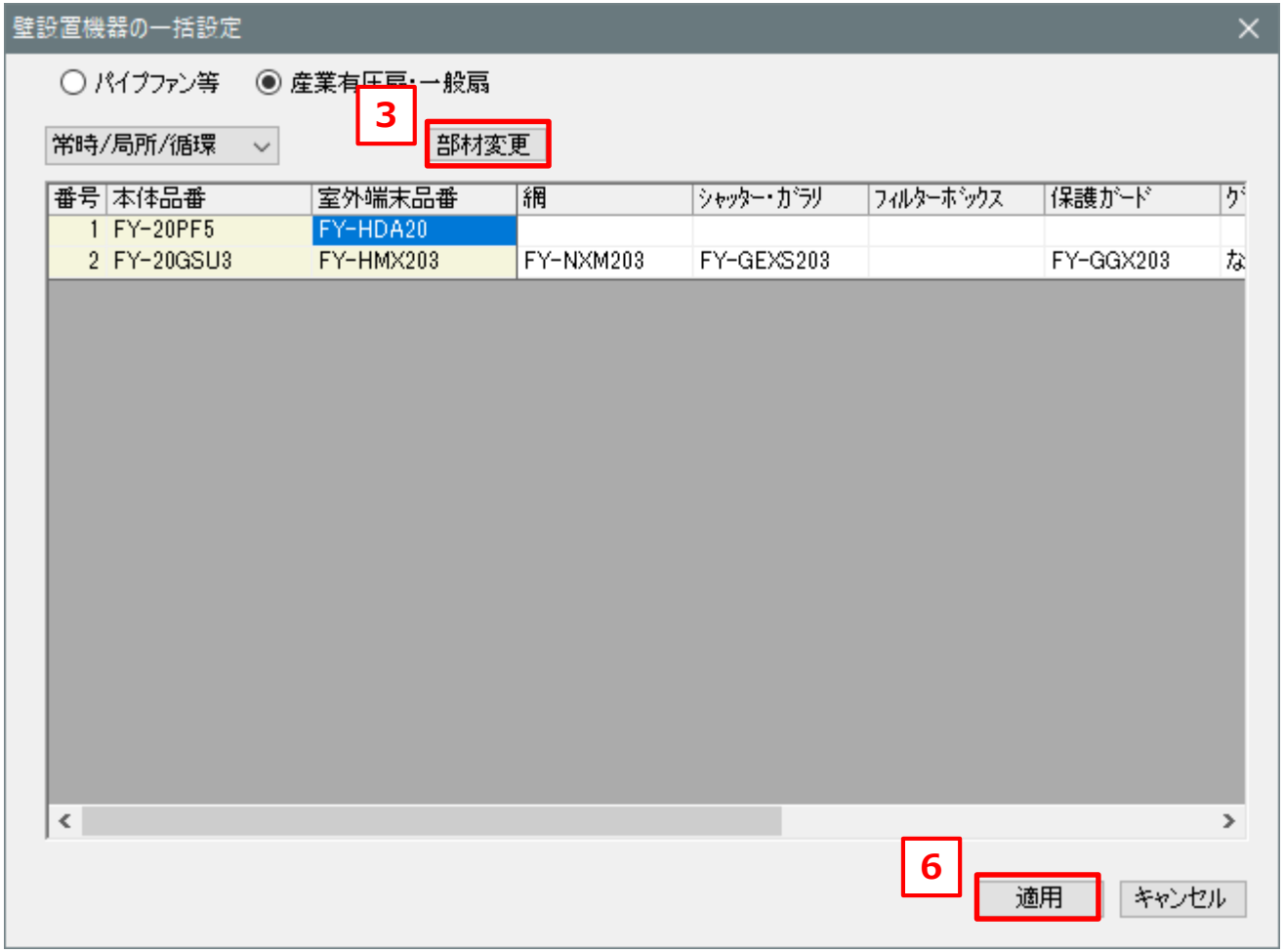
2. 壁設置機器の一括設定ウィンドウが表示されるので、「産業有圧扇・一般扇」を選択します。

※産業用有圧扇などの機器が１台も設置されていない場合は選択できません。

※一台も品番がないと、
グレーになっていて選択できない。

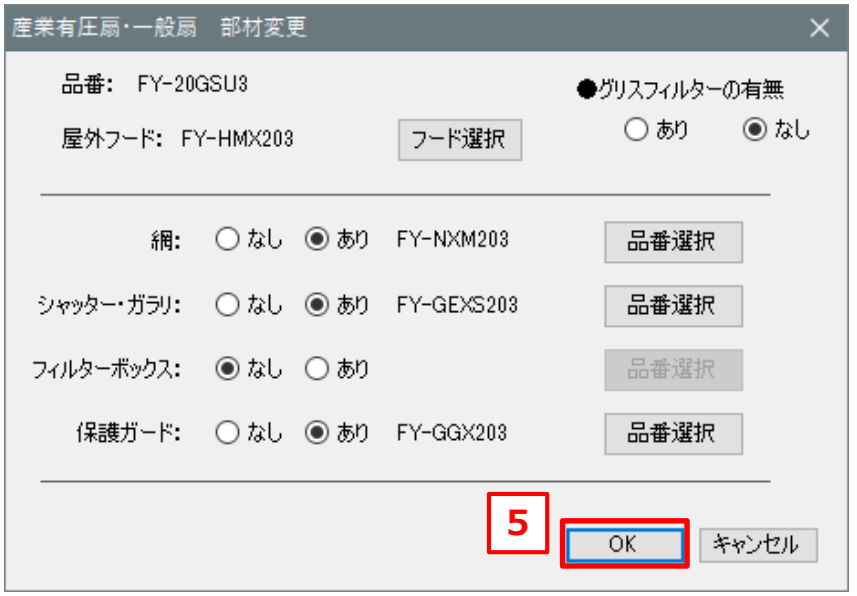


3. 部材を変更したい本体品番を選択して、【部材変更】ボタンを押します。



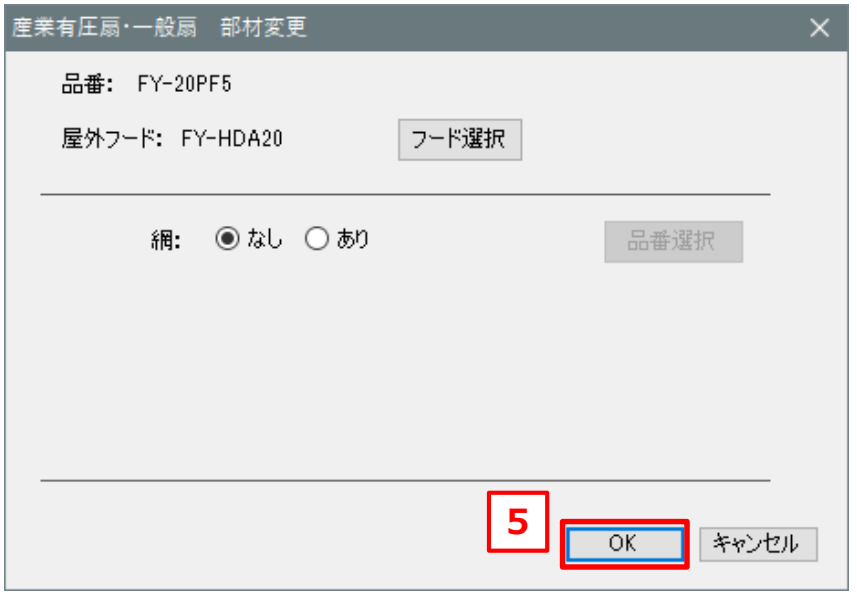
4. 部材変更ウィンドウが表示されるので、設定を変更します。

※品番によって表示される内容は変わります。
（上画像：産業用有圧換気扇、下画像：一般扇）



5. 【OK】ボタンを押します。

6. 全ての設定が終わったら、壁設置機器の一括設定ウィンドウの【適用】ボタンを押します。



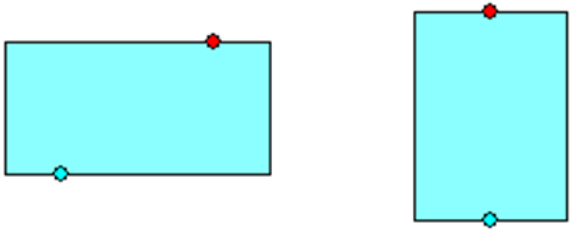
Ver.4.3.0に追加された機能について

V-upⅢ（Ver.4.3.0）から追加された機能について説明します。

3．［自由設計］プランニング

3－1．消音ボックスのシンボル追加

［自由設計］プランニングに、消音ボックスのシンボルを追加しました。



1. シンボル一覧の「接続部材」区分の「消音ボックス」を選択します。

「プランニング」画面の操作方法については、
操作マニュアル「**第３章 プラン作成 ８．［自由設計］プランニング**」を参照ください。

2. シンボルの情報表示ウィンドウについて

消音ボックスのシンボルはダクトの接続方向が決まっています。

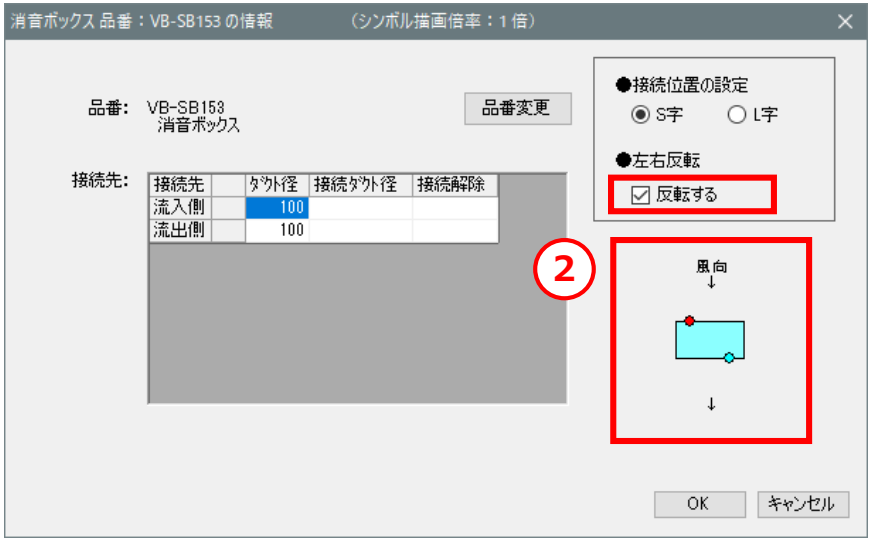
ダクト接続点（赤色）：吸込側（入口）

ダクト接続点（水色）：吐出側（出口）

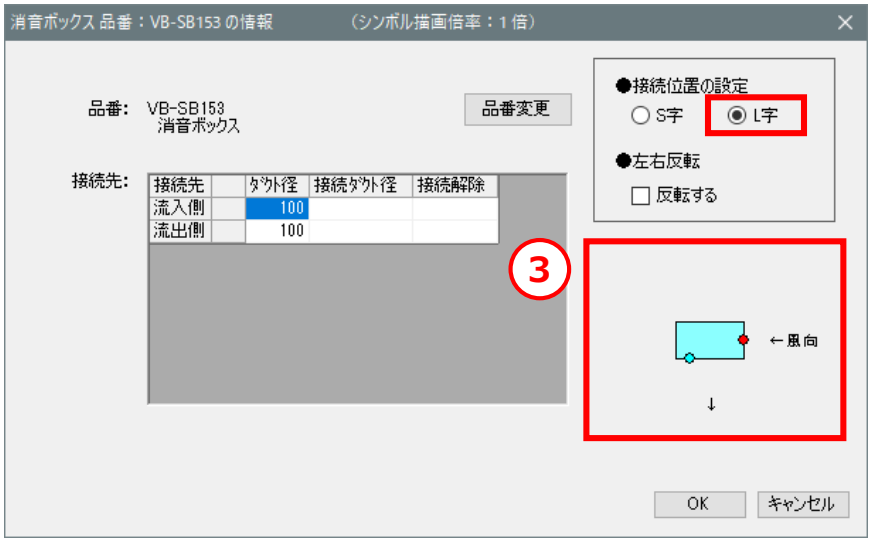
その為、情報ウィンドウの設定でダクト接続点位置を切り替えます。

① S字状接続

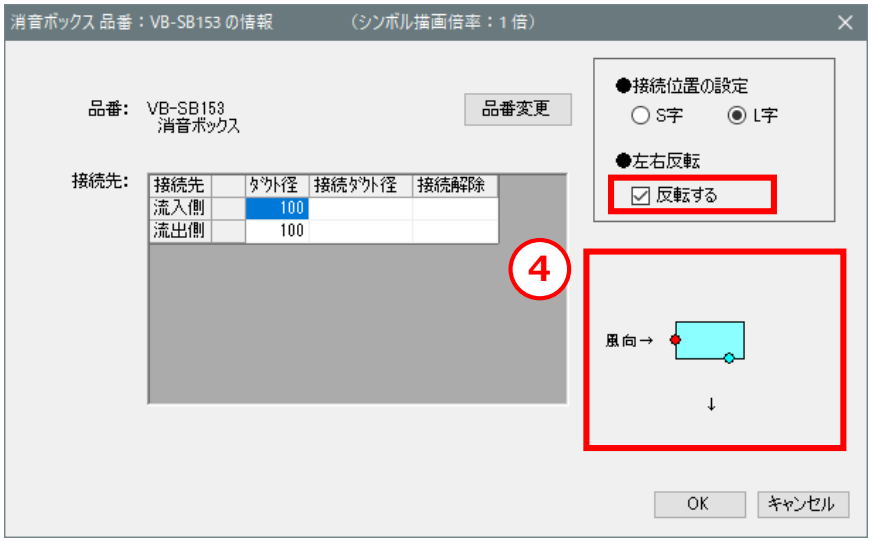
② S字状接続（左右反転）



③ L字状接続



④ L字状接続（左右反転）



⑤ VB-SB810のみ、接続位置固定

3－2．ダクト種類を追加

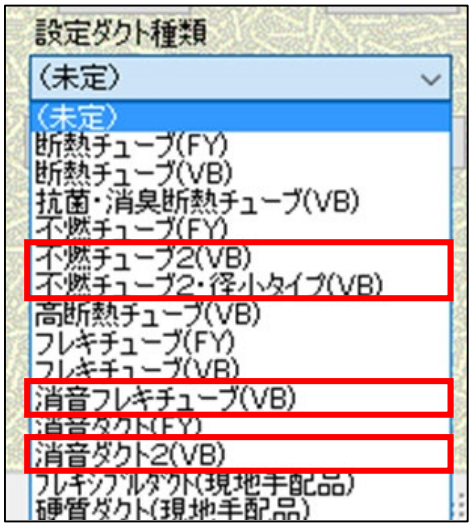
ベンテック製ダクトのモデルチェンジ、及び新製品発売に伴い、ダクト種類を追加・削除しました。

1. 追加したダクト種類

・不燃チューブ２(VB)
・不燃チューブ２・径小タイプ(VB)
・消音ダクト２(VB)

2. 削除したダクト種類

・不燃チューブ(VB)
・不燃チューブ・径小タイプ(VB)
・消音ダクト(VB)



※作成済みプランで、上記削除したダクト種類を使用している場合、
帳票印刷：問題なく印刷できます。
［自由設計］プランニング：右図メッセージが出ますが、「無視して次へ」に
チェックを入れて［ＯＫ］ボタンをクリックします。
※削除したダクト種類で、新規に作図する事はできません。

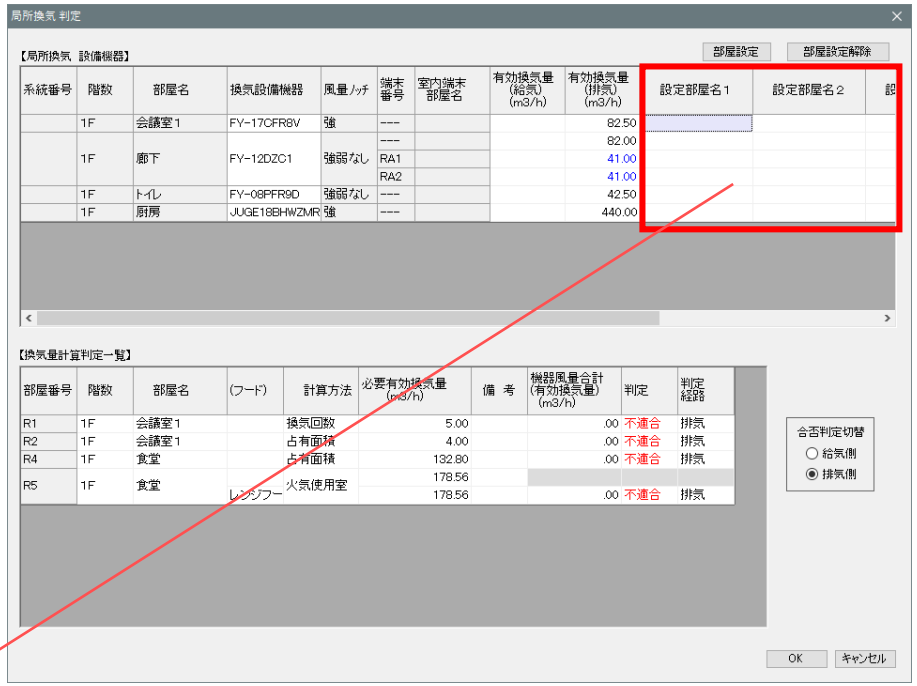
「プランニング」画面の操作方法については、
操作マニュアル「**第３章 プラン作成 ８．［自由設計］プランニング**」を参照ください。

4．換気計算判定－局所判定

１機種を最大５種類までの判定条件に割り振り出来るように機能拡張
（例：レンジフード１品番を、火気使用と無窓居室の判定に割り振る）

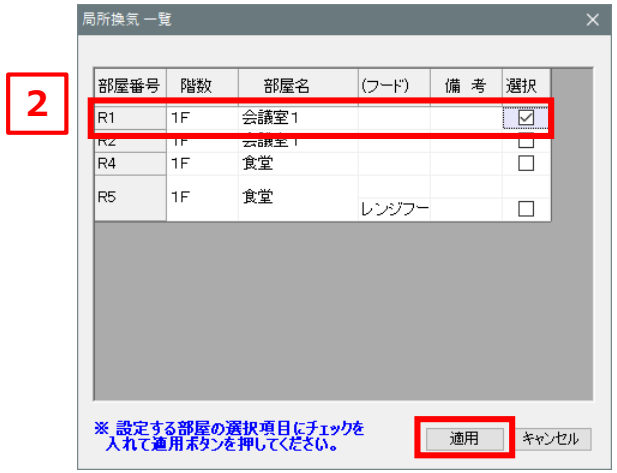
1. 「設定部屋名」欄を１枠から５枠に増やしました。
部屋設定名２～５に追加設定する事で、複数判定が可能となります。

操作手順は、次ページ以降で説明します。



2. 「設定部屋名１」に判定する部屋を設定し、 **適用** を クリックします。

例）部屋番号「R1」の「会議室1」を選択します。

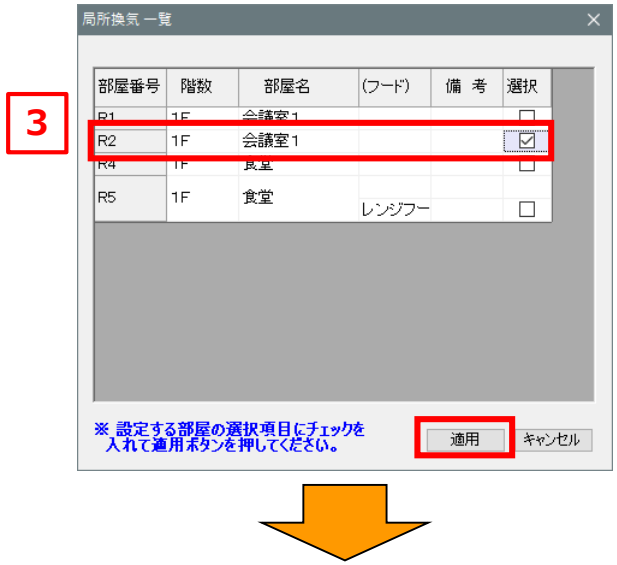


① 「設定部屋名１」に「(R1)会議室１」が設定されました。

② 「会議室１」に機器風量が代入されて判定されました。

3. 「設定部屋名２」に判定する部屋を設定し、 **適用** をクリックします。

例）部屋番号「R2」の「会議室1」を選択します。



③ 「設定部屋名２」に「(R2)会議室１」が設定されました。

④ 「(R2)会議室１」に機器風量が代入されて判定されました。

以上の手順で、会議室１に設置した１機種のみを使用して、「(R1)会議室１」と「(R2)会議室２」の２つの判定をしました。

4. 局所換気の判定が全て「適合」となっているのを確認します。

下図の例では、

「(R1)会議室１」と「(R2)会議室２」の２つの判定を、会議室１に設置した１機種で、

「(R4)食堂」と「(R5)食堂」の２つの判定を、厨房に設置した１機種で、それぞれ判定をしています。

Ver.4.4.0に追加された機能について

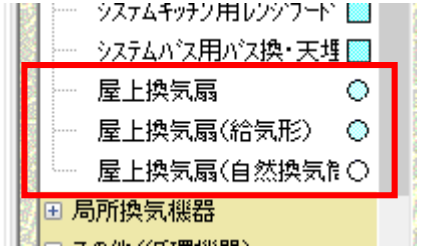
V-upⅢ（Ver.4.4.0）から追加された機能について説明します。

2．［自由設計］プランニングに機能追加

2－1．屋上換気扇のシンボルを追加

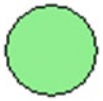
1. 屋上換気扇のシンボル（常時換気、局所換気）を追加しました。

＜選択メニュー＞



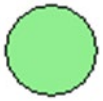
＜常時換気（排気・給気）＞

＜局所換気（排気・給気）＞

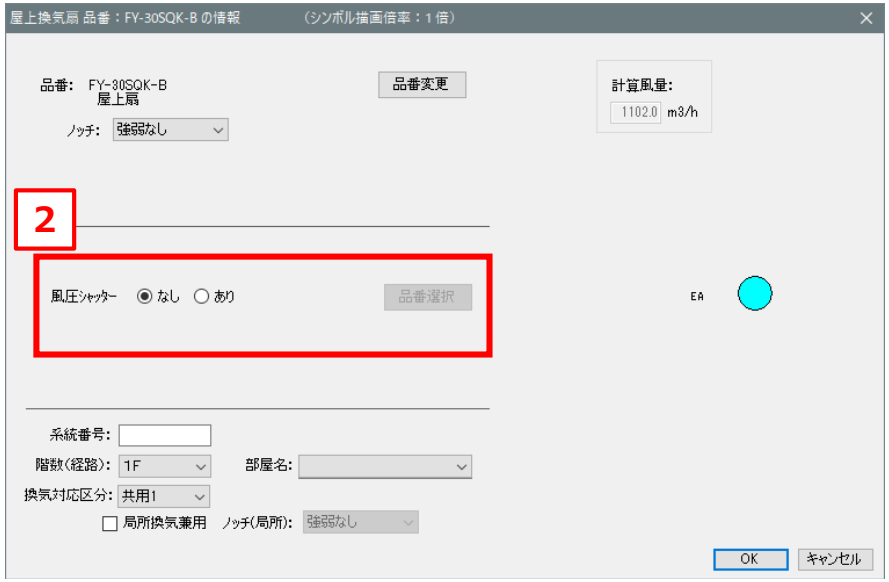


＜常時換気（自然換気筒）＞

＜局所換気（自然換気筒）＞



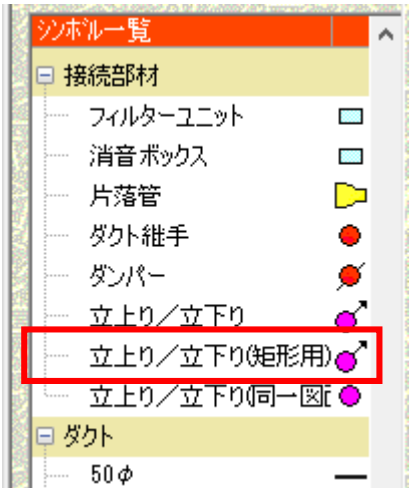
2. シンボルの情報表示ウィンドウで、風圧シャッターの有無を設定できます。



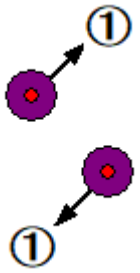
2－2．立上り／立下り（矩形用）のシンボルを追加

1. 立上り／立下り（矩形用）のシンボルを追加しました。
矩形ダクトを使用する場合は、このシンボルを使用してください。

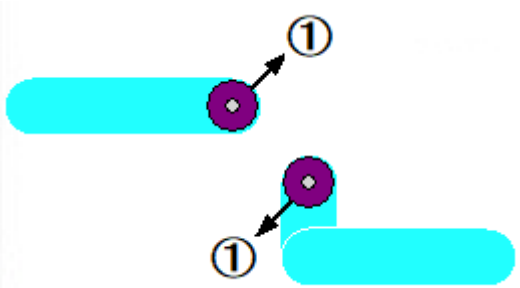
＜選択メニュー＞



＜シンボル＞



＜シンボル（ダクト接続時）＞



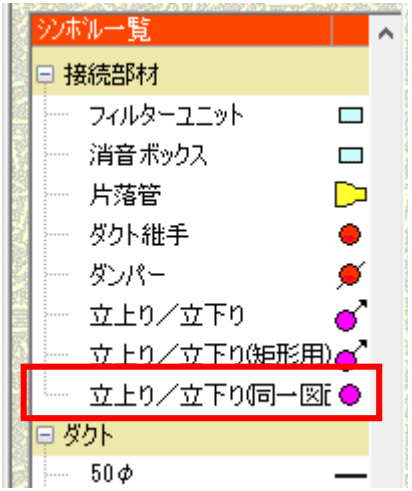
2. 「立上り／立下り（矩形用）」シンボルの使用方法は、
現行の「立上り／立下り」シンボルと同様です。
※接続ダクトやダクト種類が、矩形ダクトの表示になっています。

2－3．立上り／立下り（同一図面）のシンボルを追加

1. 立上り／立下り（同一図面）のシンボルを追加しました。

平面図の紙面に直角方向にダクト配管する場合（天井高が違う場合等）に、このシンボルを使用してください。

<選択メニュー>



<シンボル>

<シンボル（ダクト接続時）>

2. 「立上り／立下り（同一図面）」シンボルのダクト接続方法は、ダクト継手やダンパーのシンボルと同様です。

<ダクト未接続>　<ダクト接続１本目>　<ダクト接続２本目>

接続点：ベージュ　接続点：水色　接続点：灰色

3. シンボルの情報ウィンドウで、立上り部のダクト長さ、曲がり数などを変更できます。

① 接続されているダクトの情報が表示されます。

② 任意のダクト長さ、曲がり数を入力します。

③ シンボルの表示色を変更します。

④ 入力終了後、 **OK** をクリックします。

2－4．シンボル記号位置仮表示で表示させる種類を任意選択できる機能を追加

シンボル記号位置仮表示で表示させる種類を任意選択できる機能を追加しました。

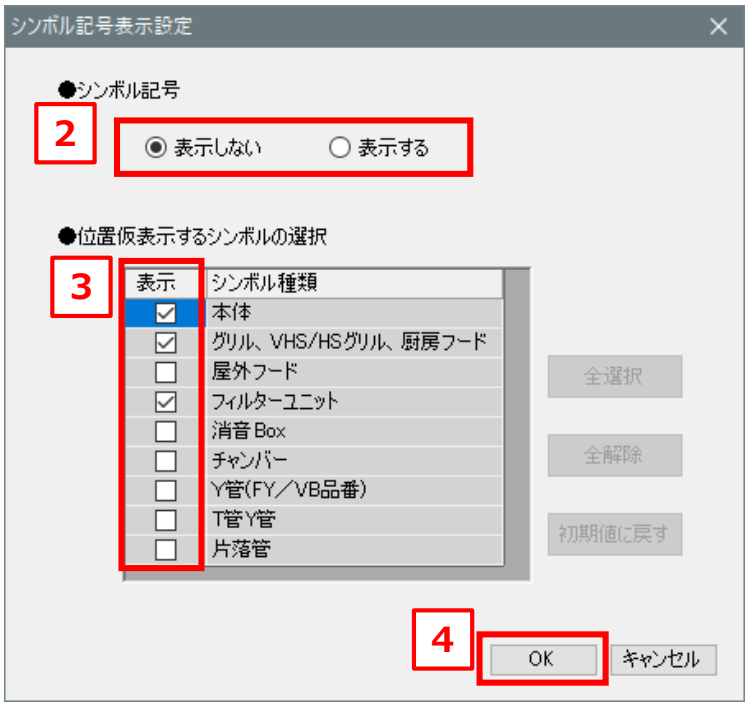
1. プランニング画面右下の **表示設定** をクリックします。

シンボル記号表示設定ウィンドウが表示されます。

2. 凡例位置を表示する／表示しないを切り替えます。

3. 表示するシンボルの種類を選択します。

4. 選択後、 **OK** をクリックします。



プランの作成方法については、

「**第３章 プラン作成 ８．［自由設計］　プランニング**」を参照ください。

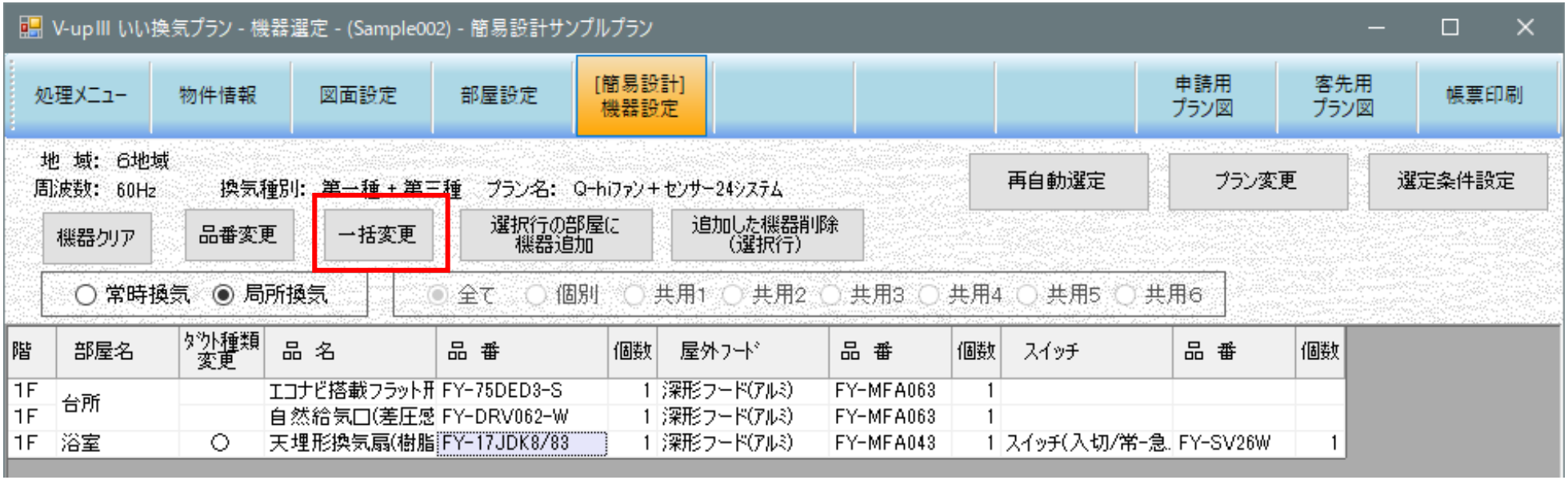
Ver.4.4.9に追加された機能について

V-upⅢ（Ver.4.4.9）から追加された機能について説明します。

2．［簡易設計］機器設定

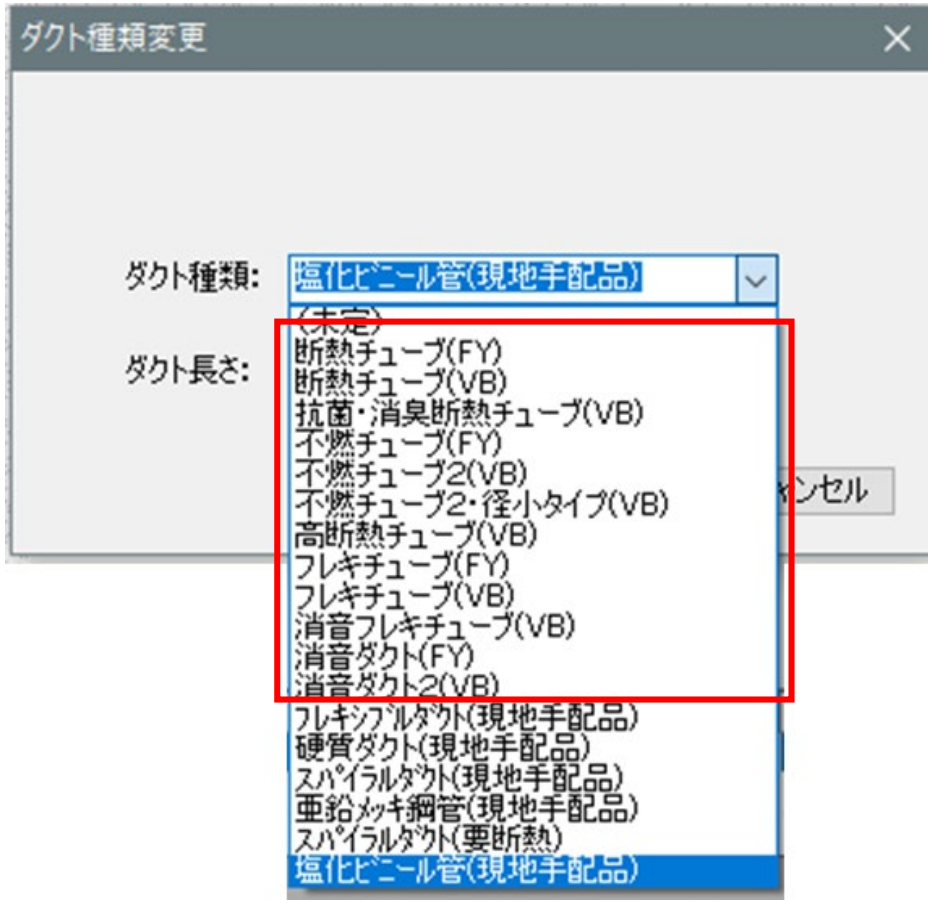
2－1．局所機器側でも、［一括変更］ボタンが使用できるように機能追加

局所換気側でも、［一括変更］ボタンが使用できるように機能を追加しました。



2－2．局所機器のダクト種類選択に、FY/VB品番も選択できるように機能追加

局所換気側のダクト種類選択リストに、断熱チューブなどFY/VB品番を追加しました。

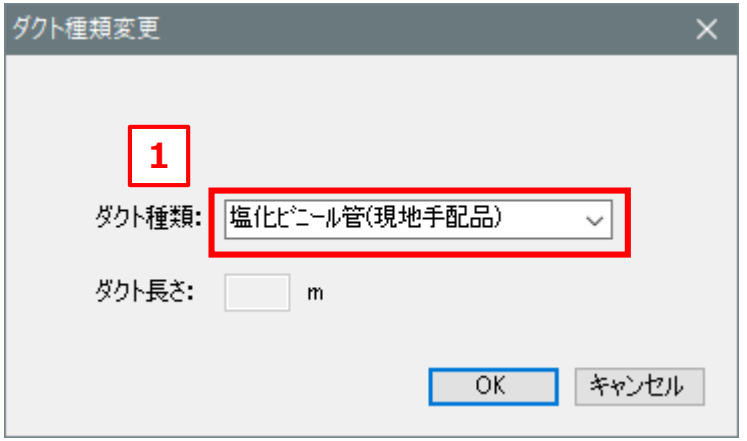


2－3．ダクトの長さを入力するテキストボックスを追加

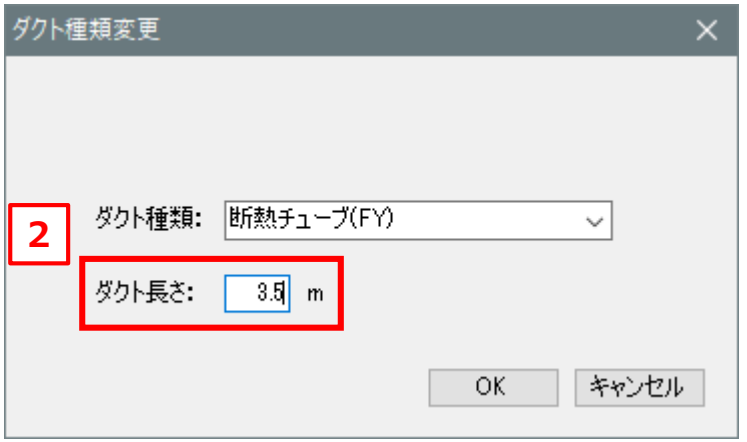
局所換気機器のダクト種類変更ウィンドウに、ダクト長さを入力するテキストボックスを追加しました。

1. ダクト種類を、FY/VB品番の種類に変更します。

※例では、断熱チューブ(FY)を選択

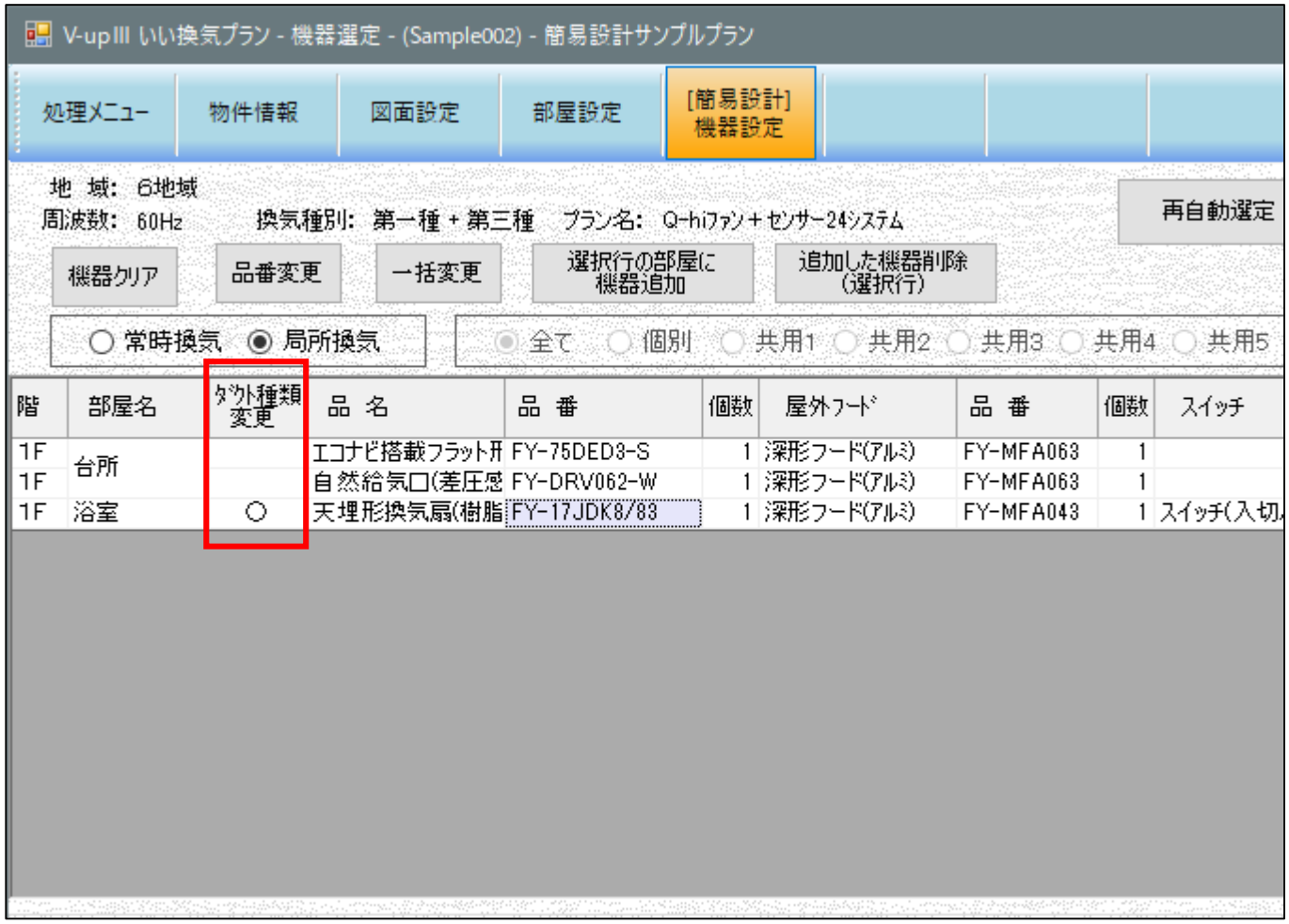


2. ダクト長さが入力可能になるので、ダクト長さを入力します。



2－4．ダクト種類選択している”○”を表示する列を追加

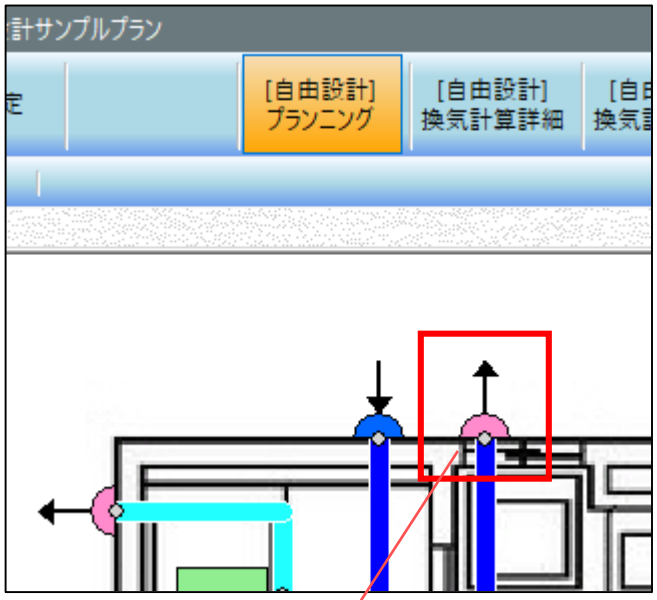
常時換気側と同様に、局所換気側もダクト種類を選択している場合、“○”を表示する列を追加しました。



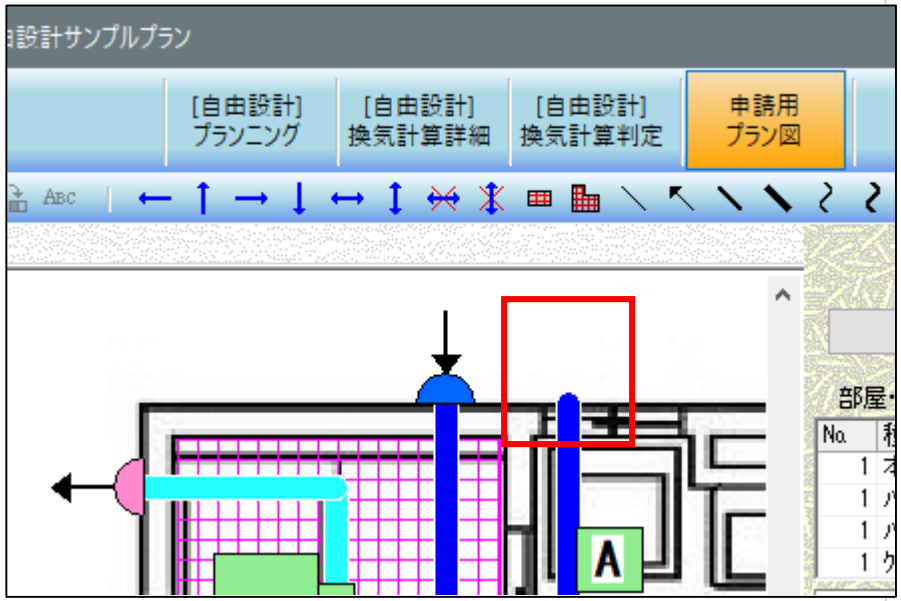
3．申請用／客先用プラン図

屋外フードのシンボル（管出口、管入口）をプラン図で描画しない機能を追加しました。

●プランニング画面では表示されている。



●申請用プラン図では表示されない。



4．その他

図面削除等を実行して必ず各画面内容を確認する必要がある時、各画面名称文字を赤色表示するように改善しました。

●プラン作成途中の状態（部屋設定以降の画面が灰色［未作業］になっている。）

●図面削除前の状態（全ての画面が黒色［作業済］になっている。）

●図面削除後の状態（換気計算詳細以降の画面が赤色［要確認］になっている。）

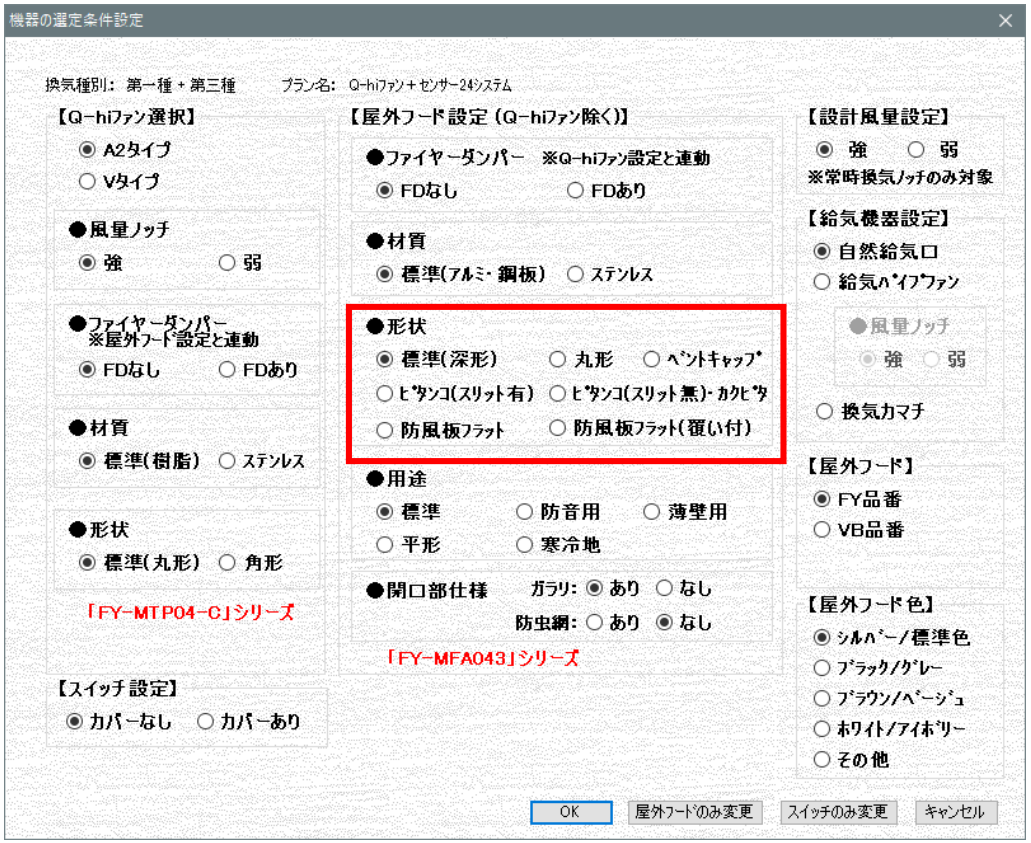
Ver.4.5.0に追加された機能について

V-upⅢ（Ver.4.5.0）から追加された機能について説明します。

3．［簡易設計］機器設定

3－1．屋外フードの種類選択項目に、“防風板ﾌﾗｯﾄ（覆い付）”を追加

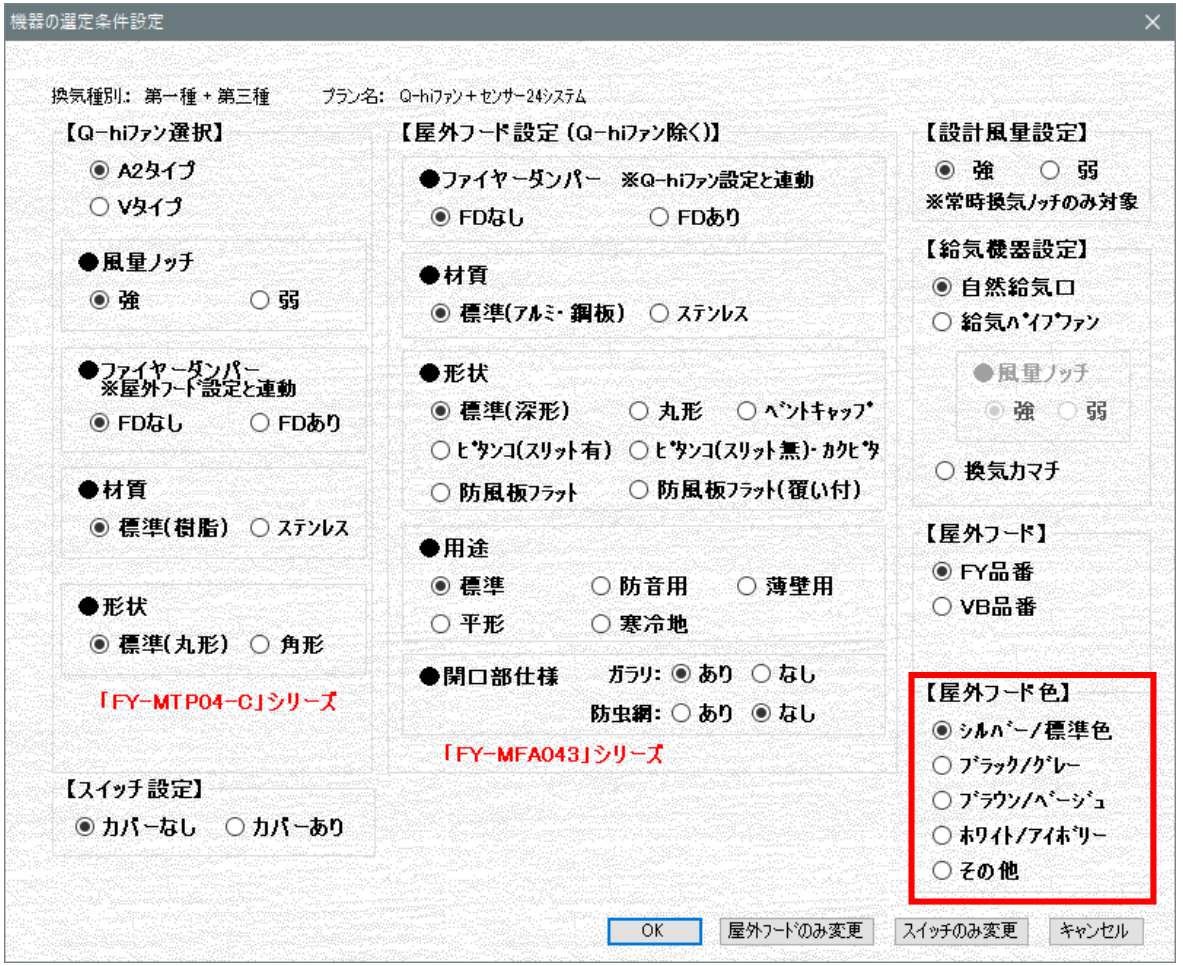
屋外フードの種類選択項目に、“防風板ﾌﾗｯﾄ（覆い付）”を追加しました。



3－2．屋外フードの一括変更に、色指定する機能を追加

屋外フードの一括変更に、色を指定する機能を追加しました。

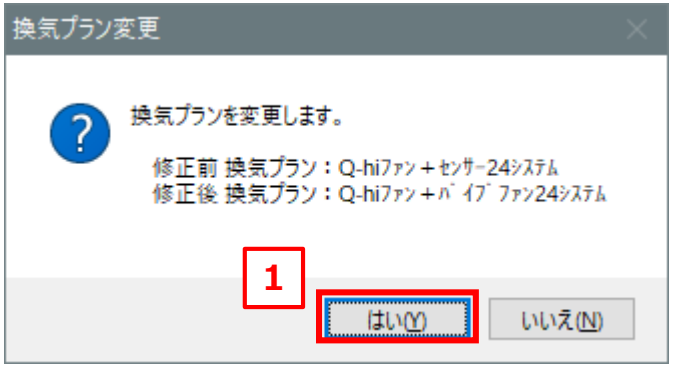
※指定した色の品番が無い場合は、標準色が選択されます。



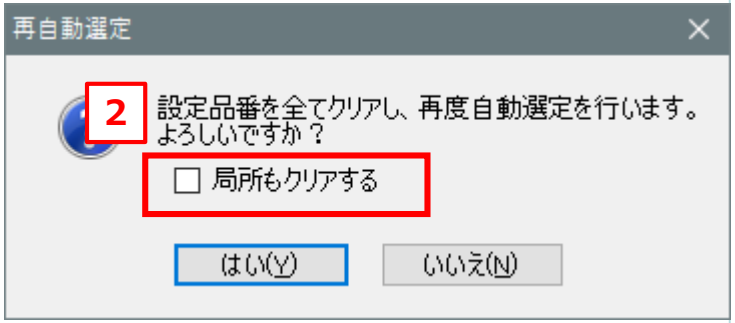
3－3．プラン変更時、局所機器として選択してある品番を残す機能を追加

プラン変更時、局所機器として選択してある品番を残す機能を追加しました。

1. プラン変更時の確認メッセージが表示されるので、 **はい** を クリックします。



2. 局所機器もクリアするかのチェックボックスが表示されるので、 クリアする場合はチェックを入れてから、 **はい** をクリックします。



4．［自由設計］プランニング

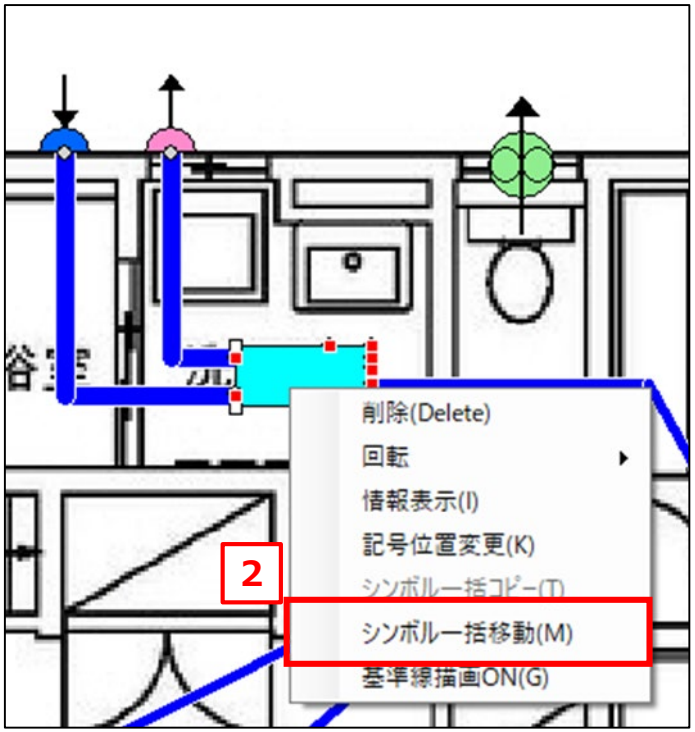
4－1．「シンボル一括移動（M）」を右クリックメニューに追加

本体に接続されたダクトや部材を一括で移動させる、「シンボル一括移動（M）」を右クリックメニューに追加しました。

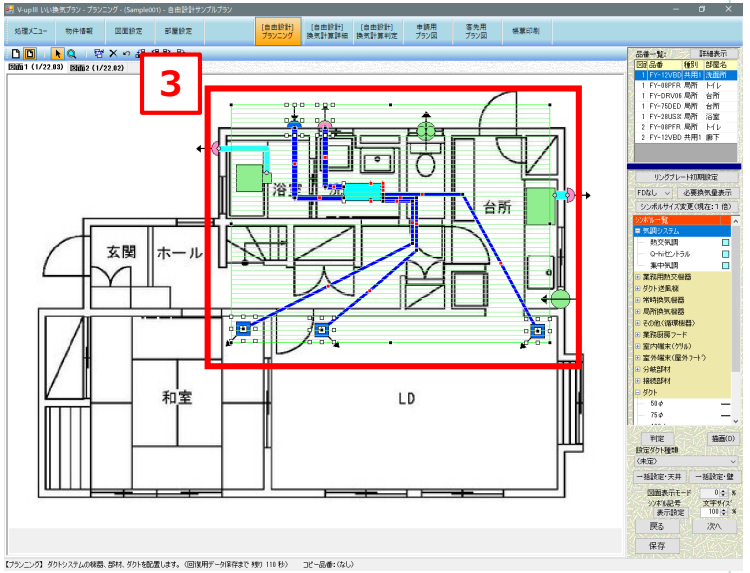
1. 移動させたい機器シンボルを選択し、右クリックします。

2. メニューから、“シンボル一括移動（M）”を選択します。

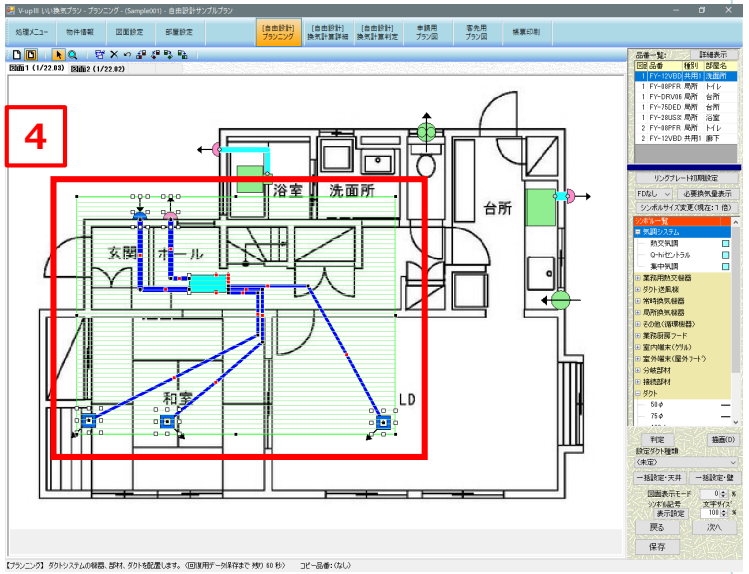
ショートカットキー＝M



3. 機器シンボルに接続されたダクト、部材のシンボルが緑枠で囲われます。

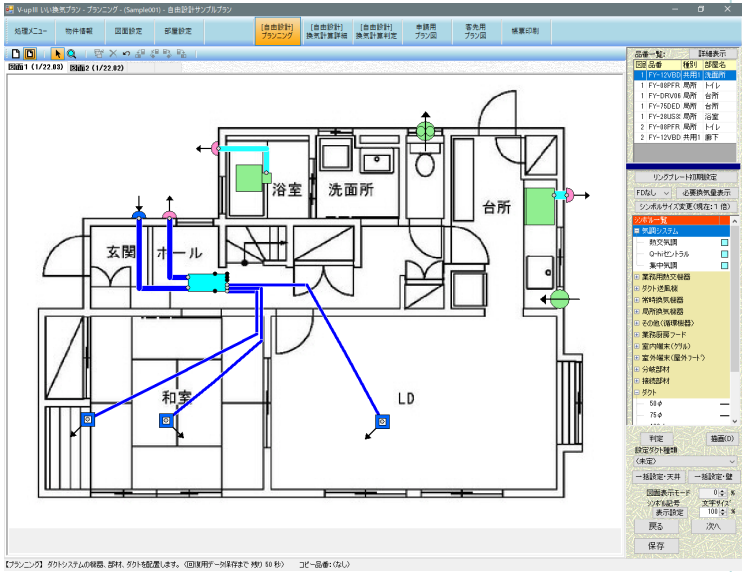


4. 緑枠をドラックして位置を移動させます。



5. 位置を決めた後、図面のどこかをクリックして確定させます。

※緑枠が消えます。

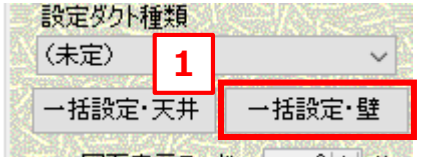


<u>プランニング画面から移動する場合は、必ず一括移動を終了してください。</u>

4－2．“一括設定・壁”ウィンドウ内で、自然給気口の品番一括変更機能を追加

［一括設定・壁］ウィンドウ内で、自然給気口の品番を一括変更する機能を追加しました。

1. 一括設定･壁 をクリックして、壁設置機器の一覧設定ウィンドウを表示します。



2. 表示ウィンドウ内の 一括変更 をクリックします。

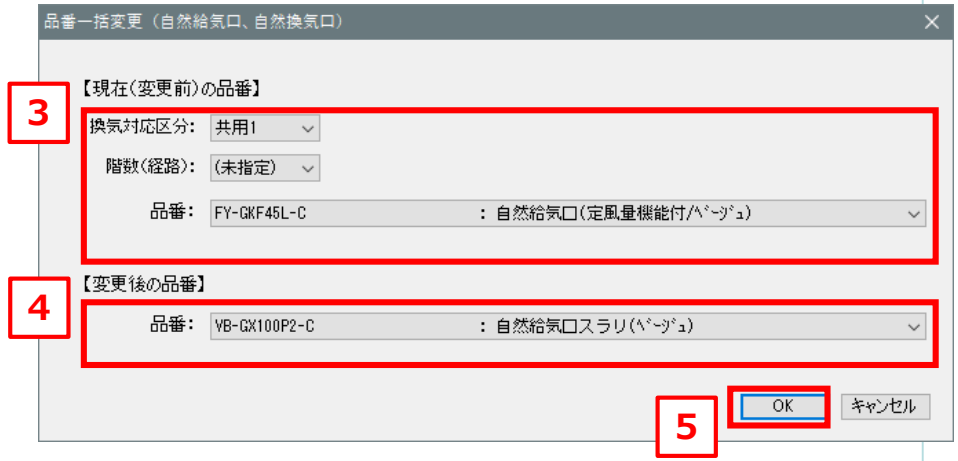
品番一括変更ウィンドウが表示されます。

番号	本体品番	室外端末品番	SW品番	換気対応区分	階数	部屋名
1	FY-08PFR9D	FY-MFA043	FY-SV05W	局所	1F	トイレ
2	FY-DRV062-W	FY-MFA063		局所	1F	台所
3	FY-GKF45L-W	FY-MFA043		共用1	1F	LDK
4	FY-GKF45L-W	FY-MFA043		共用1	1F	LDK
5	FY-GKF45L-C	FY-MFA043		共用1	1F	和室
6	FY-08PFR9D	FY-MFA043	FY-SV05W	局所	2F	トイレ
7	FY-GKF45L-W	FY-MFA043		共用1	2F	洋室1
8	FY-GKF45L-W	FY-MFA043		共用1	2F	洋室2

3. 変更したい品番（現在の品番）を選択します。

換気対応区分や階数（経路）で変更する対象を絞り込みできます。

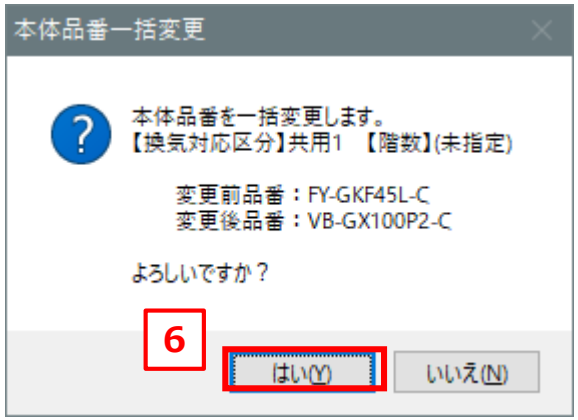
※絞り込みした場合、他に同じ品番があっても変更されません。



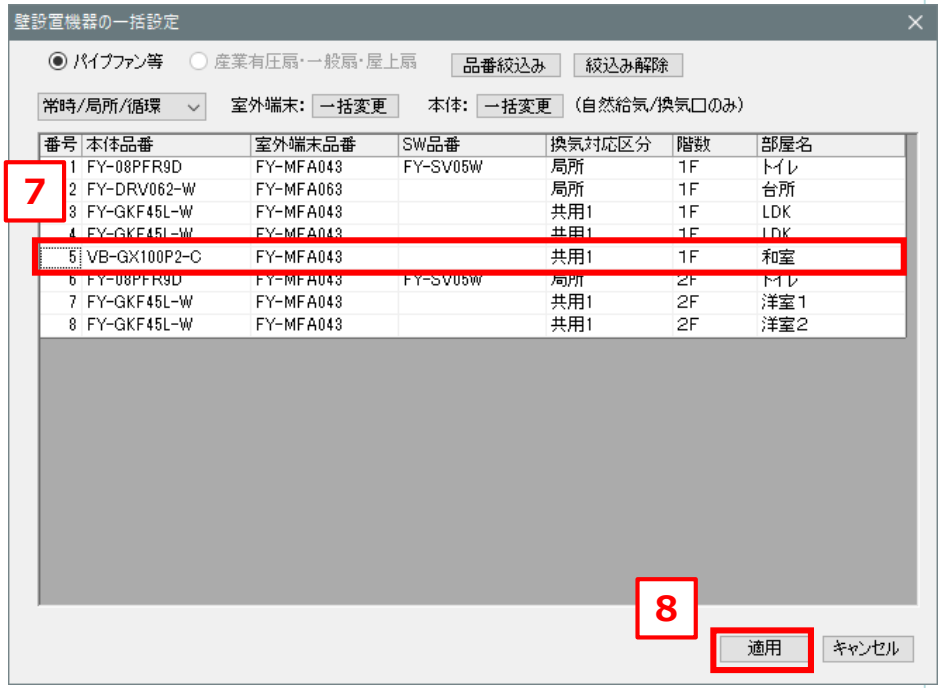
4. 変更後の品番を選択します。

5. OK をクリックします。

6. 確認メッセージが表示されるので、 はい をクリックします。



7. 品番が変更されているか確認します。



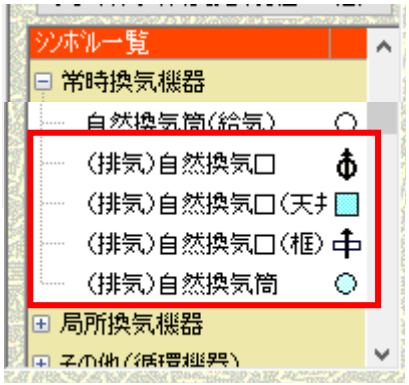
8. **適用** をクリックして変更内容を確定させます。

4－3．自然換気口（排気）のシンボルを追加（第２種換気に対応）

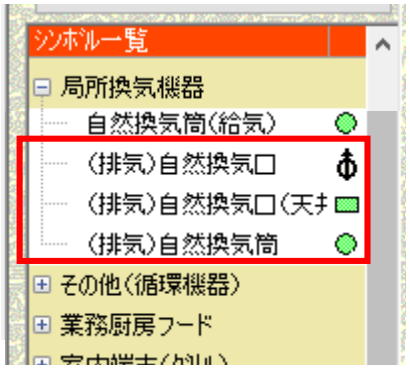
自然換気口（排気）のシンボルを追加しました。

第２種換気をプランする際、このシンボルを使用してください。

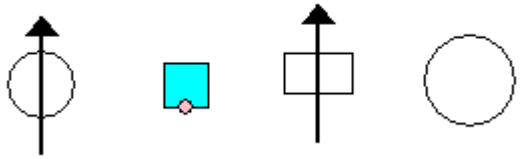
＜選択メニュー（常時）＞



＜選択メニュー（局所）＞

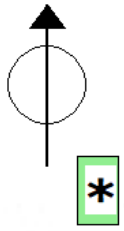


＜シンボル＞

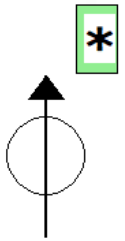


※自然給気口と同じシンボル形状ですが、凡例記号が表示される位置が異なります。

＜自然給気口＞



＜自然換気口（排気）＞



Ver.4.6.0に追加された機能について

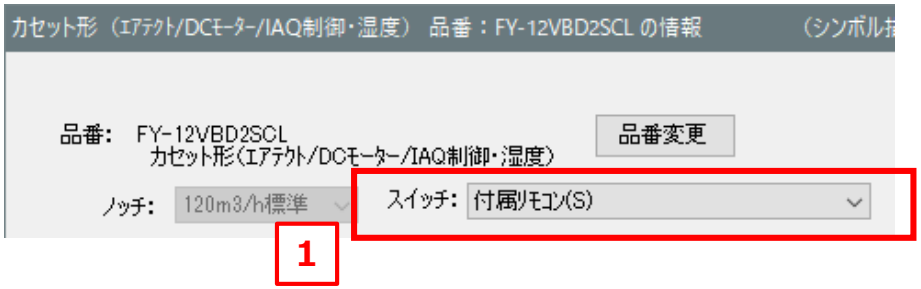
V-upⅢ（Ver.4.6.0）から追加された機能について説明します。

1．［自由設計］プランニング　熱交カセットDCタイプの付属コントローラのダミー品番を登録

・熱交カセットDCタイプの付属コントローラのスイッチ写真をプラン図凡例に表示する為にダミー品番を登録しました。

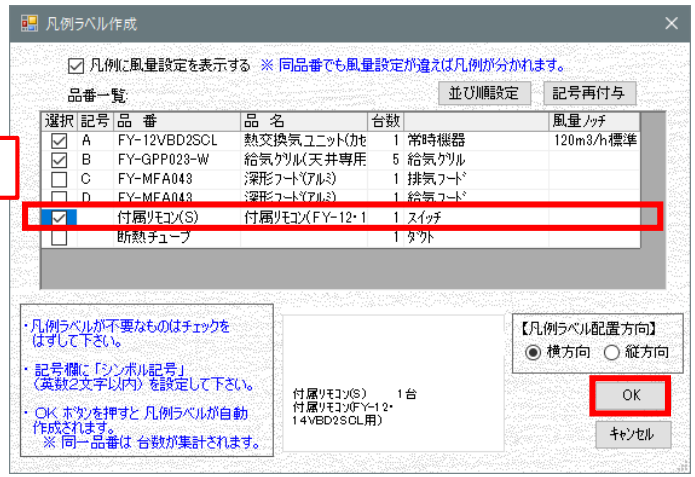
1. プランニング画面
熱交カセットＤＣタイプの情報表示ウィンドウを開きます。

スイッチ欄が表示されているので、「付属リモコン」を選択します。



2. 申請用／客先用プラン図画面
凡例ラベル作成ウィンドウで、付属リモコンが選択可能となっているので選択します。

OK ボタンを押すと、凡例が表示されます。



Ver.4.7.0に追加された機能について

V-upⅢ（Ver.4.7.0）から追加された機能について説明します。

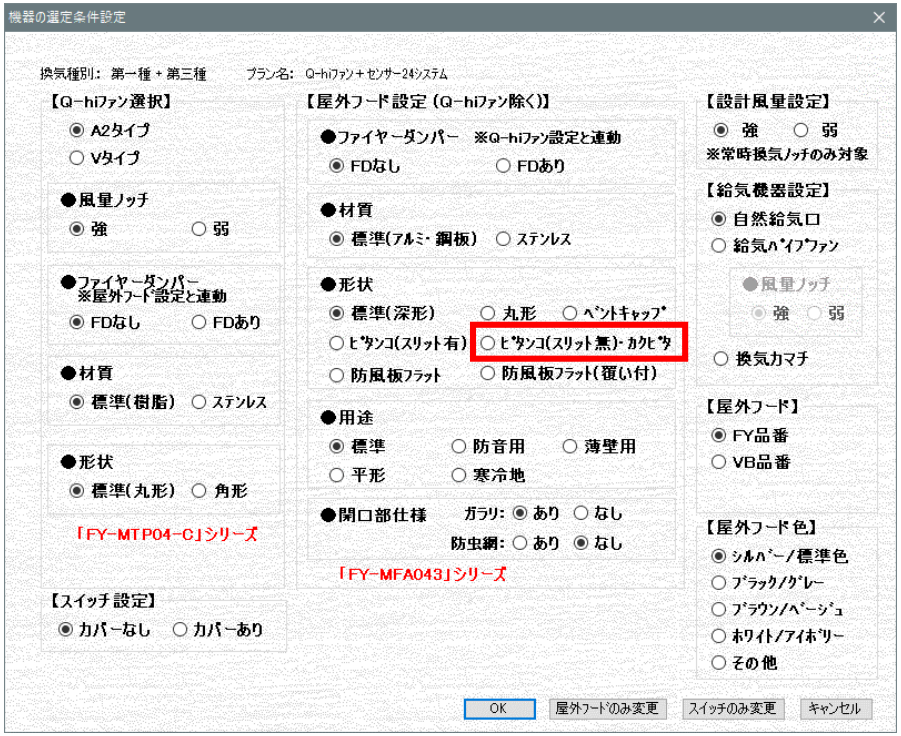
1．［簡易設計］機器設定

屋外フードの形状選択肢に、「カクピタ」を追加しました。

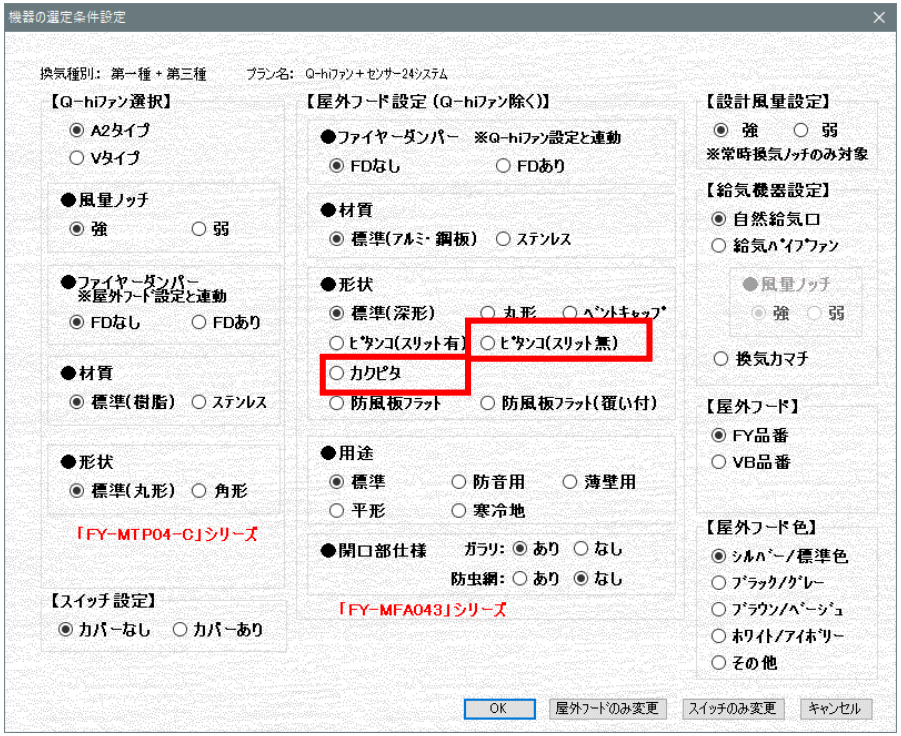
Ver.4.6.3　以前は、　ピタンコ(スリット無)・カクピタ　の１択

Ver.4.7.0　以降は、　ピタンコ(スリット無)　と　カクピタ　の２択

＜Ver.4.6.3　以前＞



＜Ver.4.7.0　以降＞



2．［自由設計］換気計算詳細

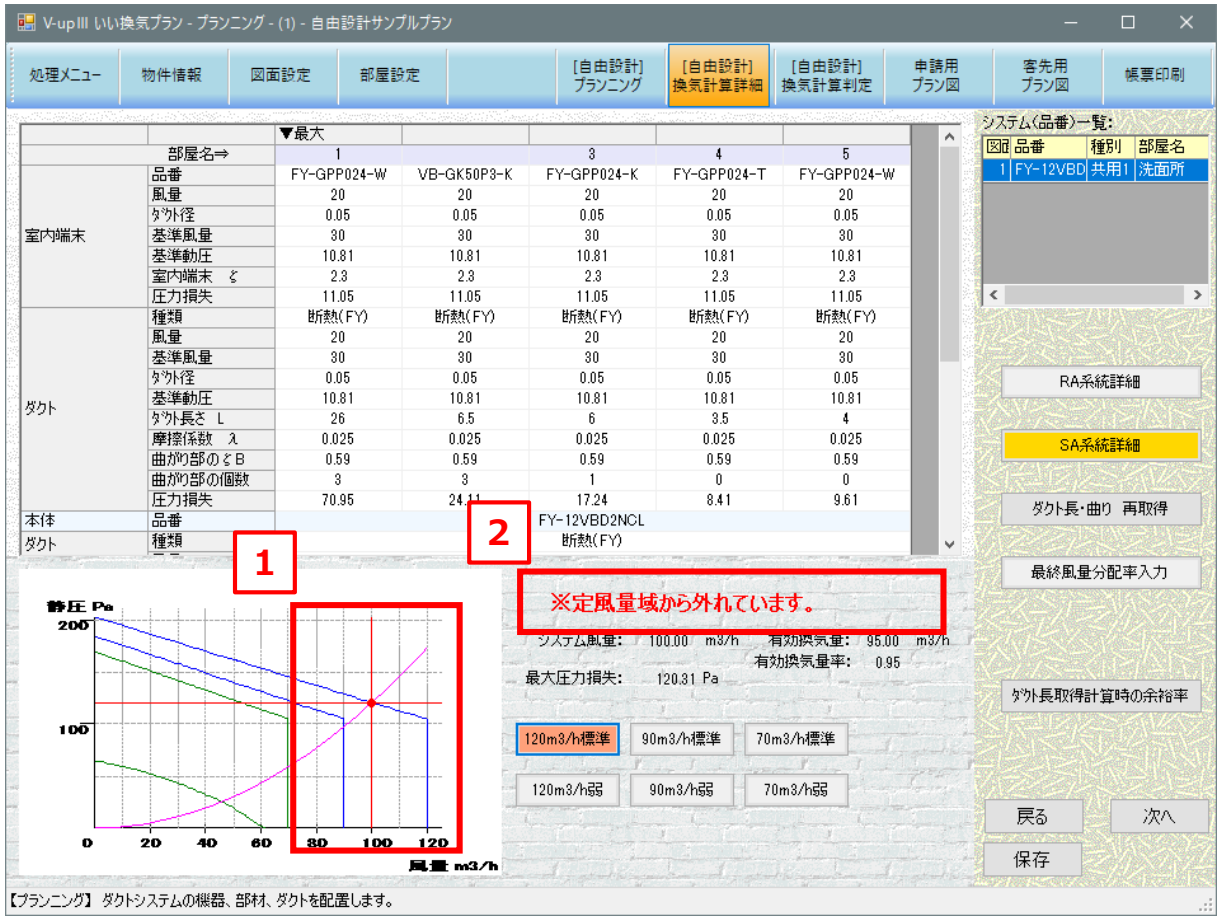
風量一定制御域から外れた場合に、画面上に注意文が表示されるように改善しました。

1. 風量一定制御域から外れた場合

（図）120m3/h設定ですが、100m3/hしか出ていない。

2. 注意文が表示されます。

※注意喚起の為、プラン作成等に影響はありません。



3．［自由設計］換気計算判定

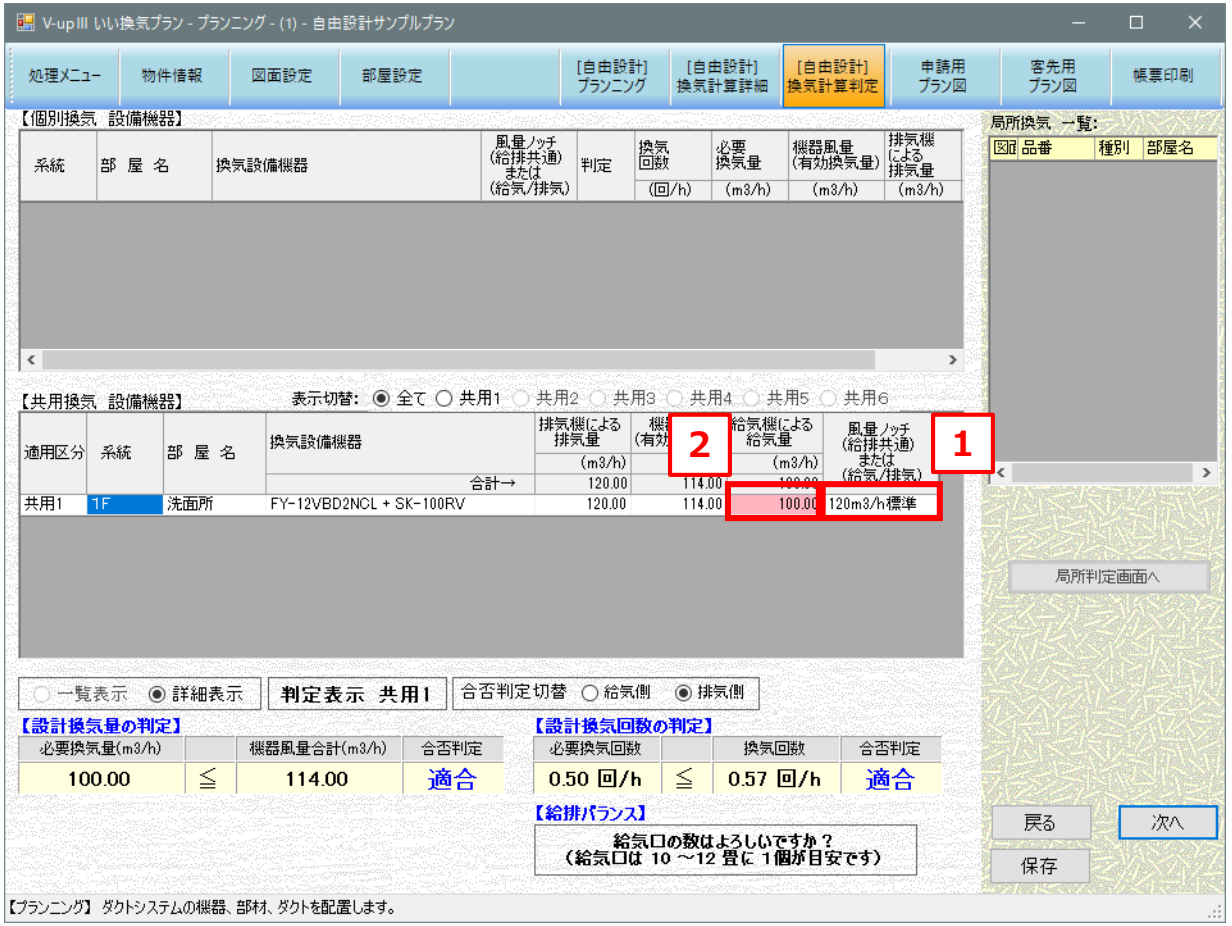
風量一定制御域から外れた場合に、風量の背景色がピンクになるように改善しました。

1. 風量一定制御域から外れた場合

（図）120m3/h設定ですが、100m3/hしか出ていない。

2. 該当風量の背景色がピンクになる。

※注意喚起の為、プラン作成等に影響はありません。



Ver.4.9.0に追加された機能について

V-upⅢ（Ver.4.9.0）から追加された機能について説明します。

1．［簡易設計］自動選定機能の更新（壁掛け熱交）

第一種換気　Q-hiファン（熱交換形）システムプラン内に、気調システム（壁掛け熱交）の選択肢を追加しました。

1. 第一種換気 **Q-hiファン（熱交換形）システム** を選択します。

2. **OK** をクリックします。

機器の選択条件設定ウィンドウが開きます。

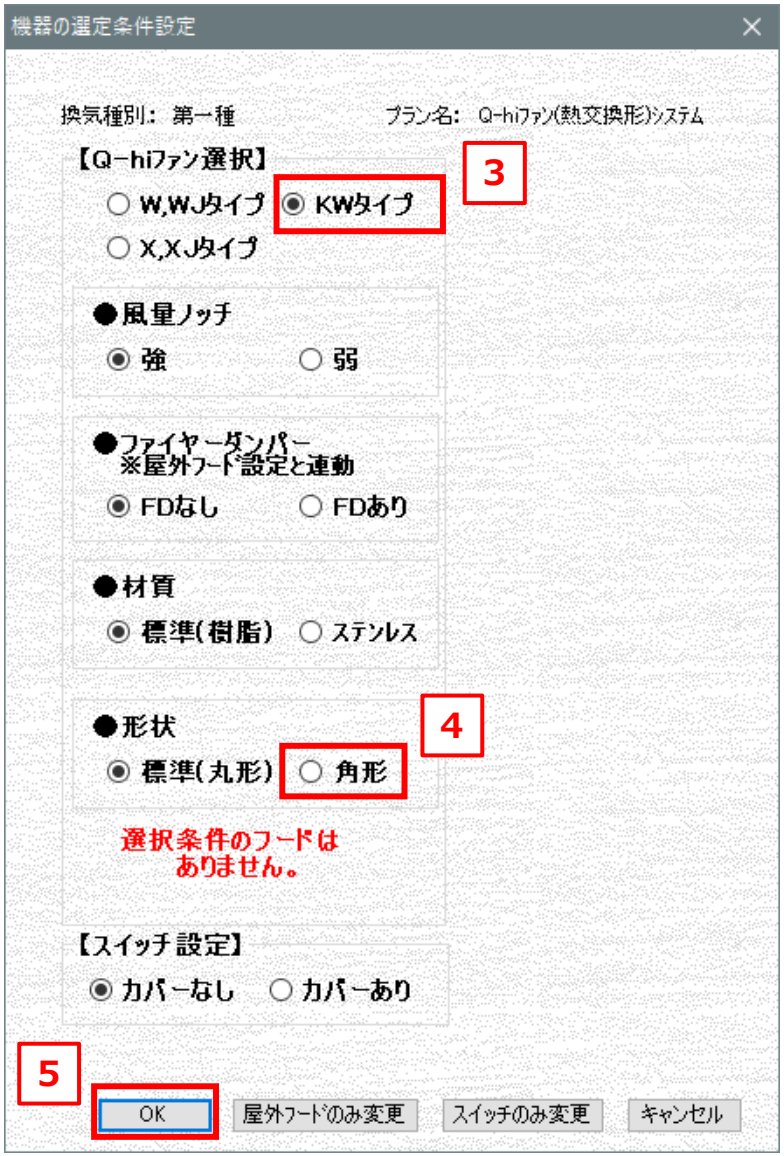
3. 【Q-hiファン選択】項目で、「◎KWタイプ」を選択します。

4. 【屋外フードの形状】項目で、「◎角形」を選択します。

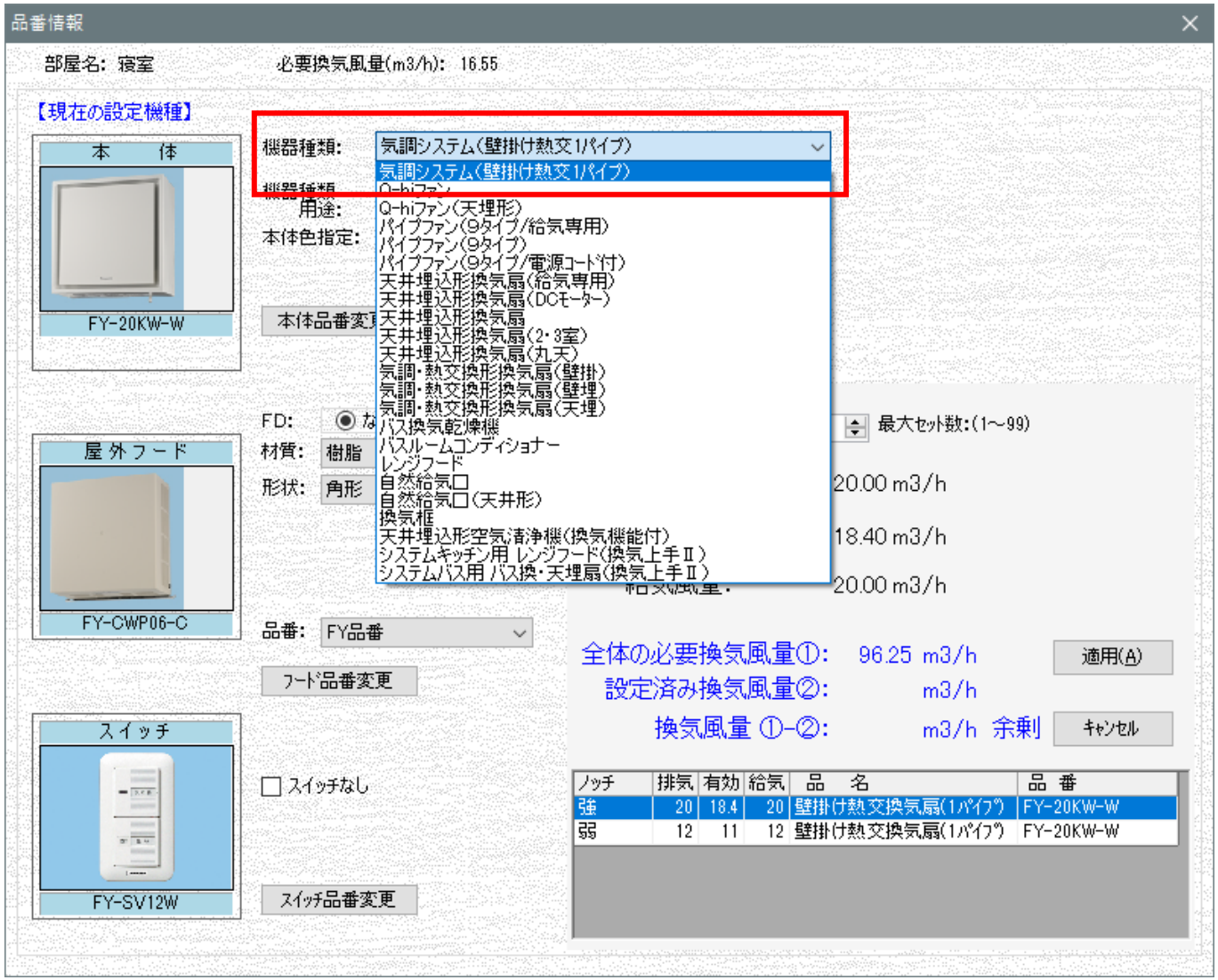
※気調システム（壁掛け熱交）の屋外フードに丸形はありません。

5. OK をクリックします。

機器が自動選定されます。



※手動で品番変更をする場合は、「機器種類」項目で、「気調システム（壁掛け熱交1パイプ）」を選択してください。

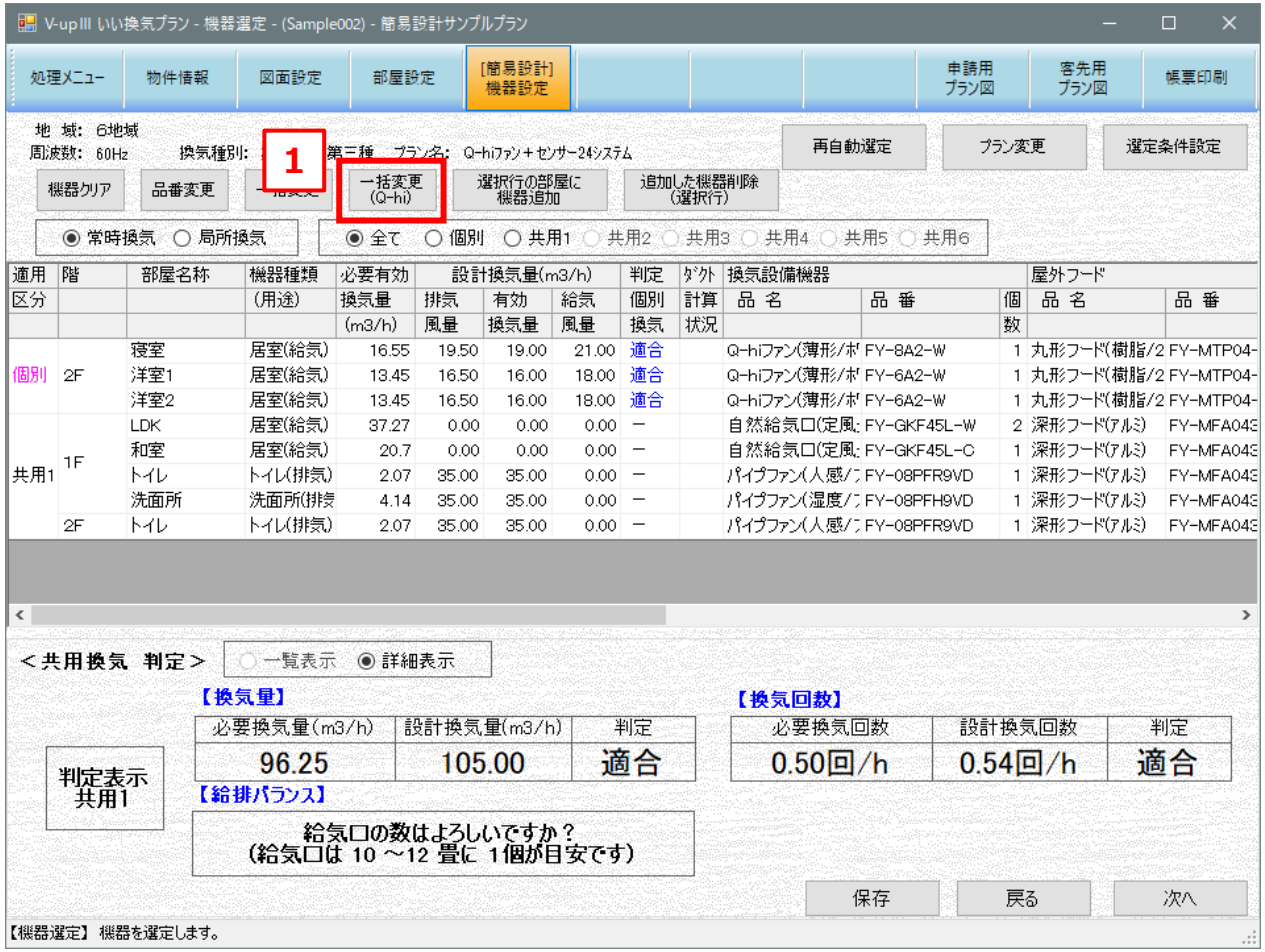


2．［簡易設計］Q-hiファン系の一括品番変更機能の追加

「機器選定」画面に、Q-hiファン系の品番一括変更機能を追加しました。

1. **一括変更(Q-hi)** をクリックします。

品番一括変更ウィンドウが開きます。



2. 現在（変更前）の品番を選択します。

3. 変更後の品番を選択します。

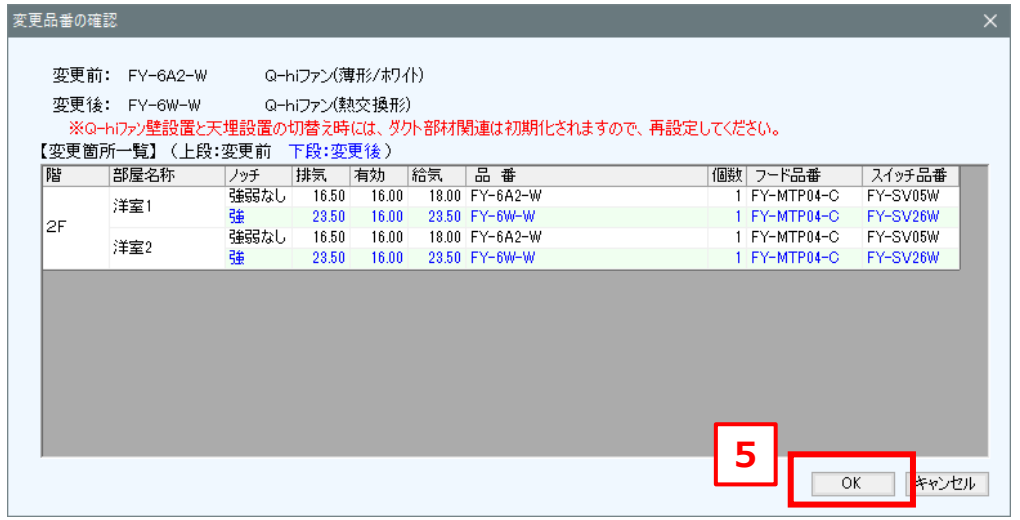
4. OK をクリックします。

変更品番の確認ウィンドウが開きます。

5. 変更内容を確認したら、 OK をクリックします。

機器品番が変更されます。

※Q-hiファン（天井形）の部材選定の内容は初期化されます。
再度設定しなおしてください。



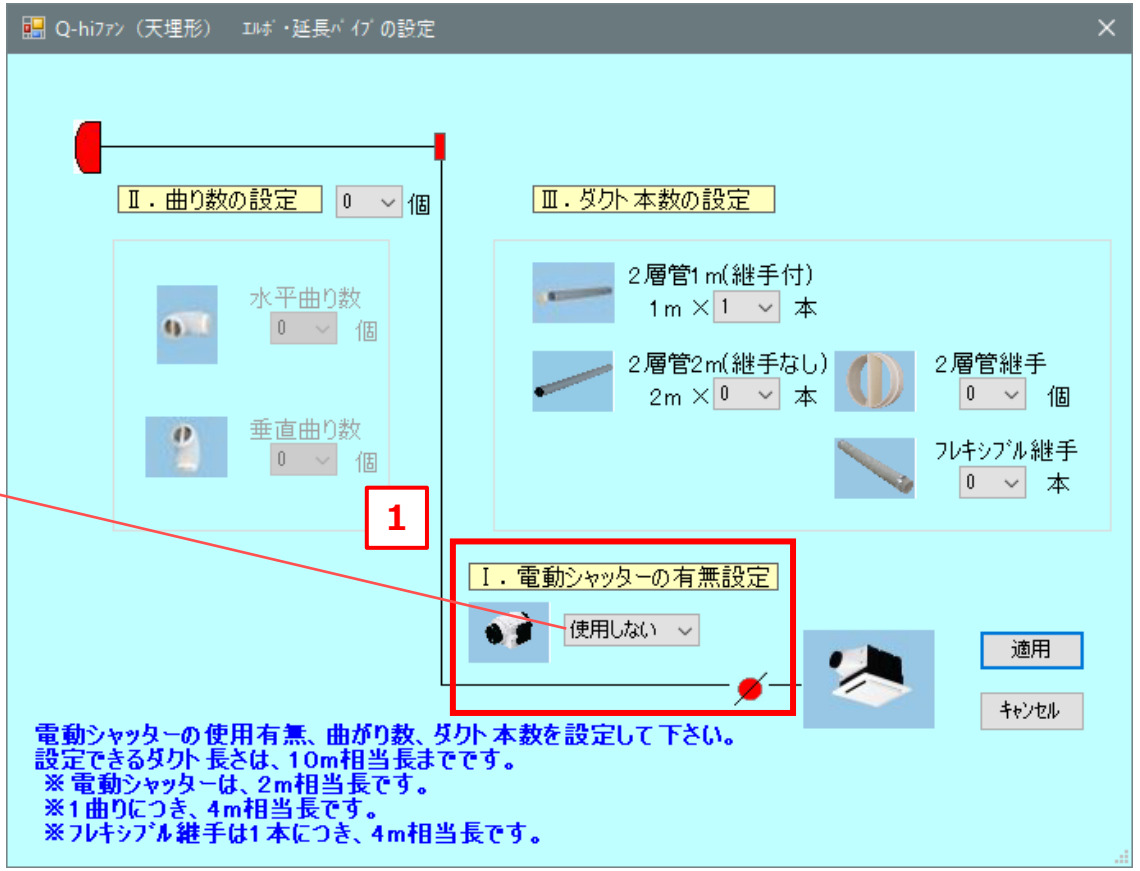
3．［簡易設計、自由設計］Q-hiファン（天井形）の部材選定の更新

Q-hiファン（天井形）の部材に電動シャッターを追加しました。

【簡易設計】

1. 電動シャッターを使用する／しないを選択します。

※電動シャッターは、ダクト２m相当長です。



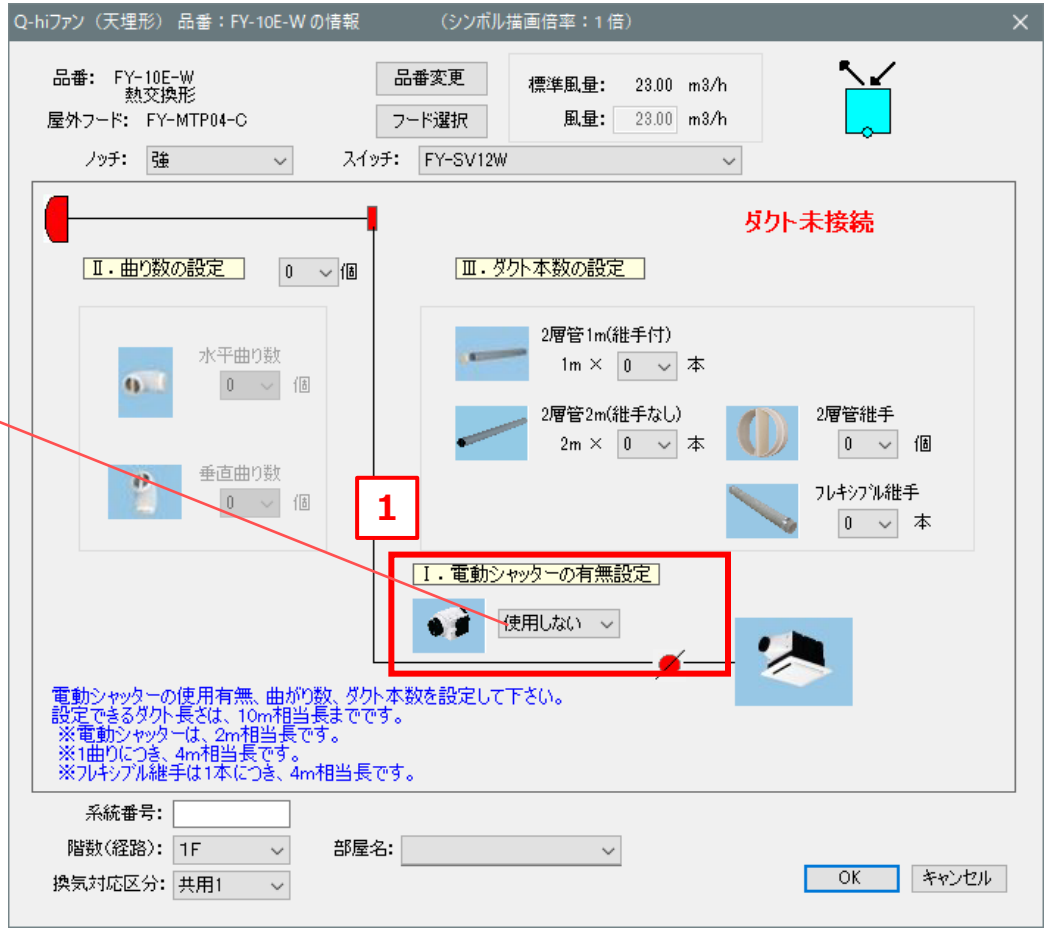
部材選定の操作方法については、操作マニュアル

「**第３章 プラン作成 ７－８．［簡易設計］機器設定　その他の設定**」を参照ください。

【自由設計】

1. 電動シャッターを使用する／しないを選択します。

※電動シャッターは、ダクト２ｍ相当長です。



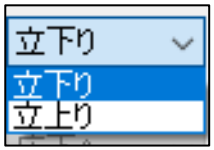
部材選定の操作方法については、操作マニュアル

「**第３章 プラン作成 ８－１１．［自由設計］　プランニング　品番情報ウィンドウの設定をする（１５）**」を参照ください。

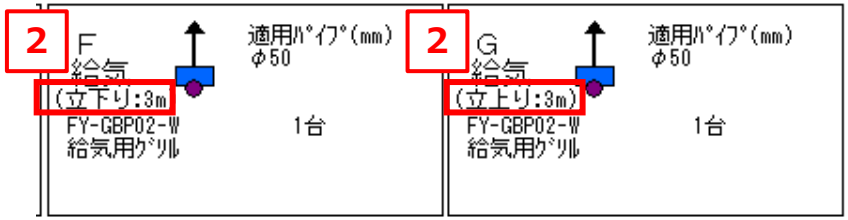
4．［自由設計］プランニング　グリルの分離（壁用/同図面）の行き先を、”立下り”と”立上り”の選択式に拡張

グリルの分離機能「分離（壁用／同図面）」の行き先表示を、”立下り”と”立上り”が選択できるように改善しました。

1. 分離（壁／同図面）の行き先を選択します。



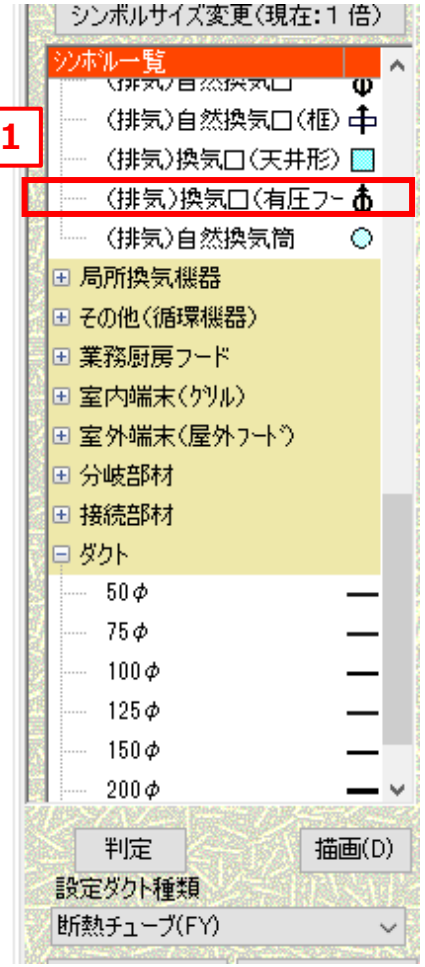
2. 申請用／客先用プラン図の凡例に、選択した行き先が記載されます。



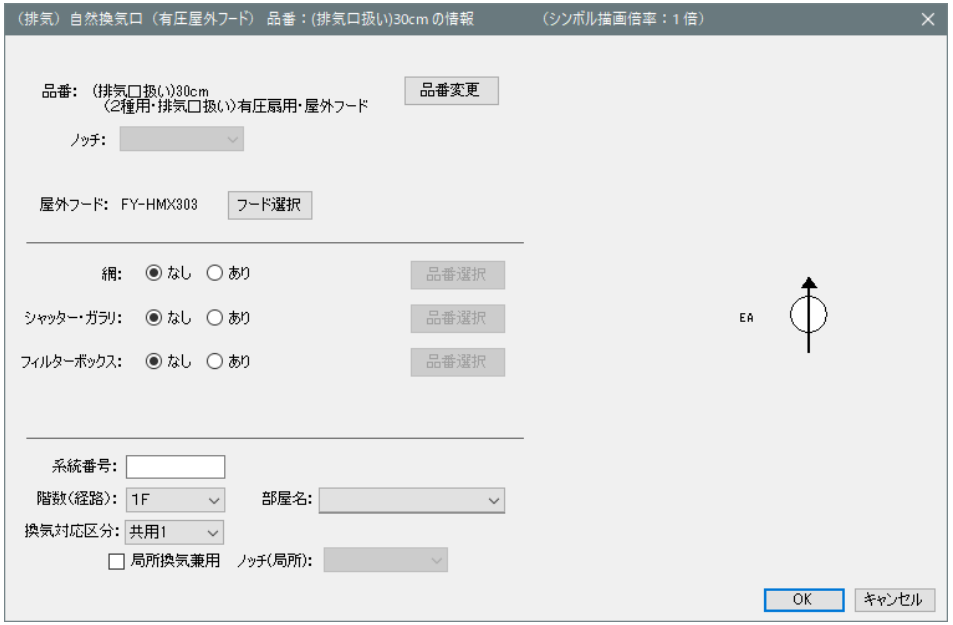
5．［自由設計］プランニング　（排気）自然換気口（有圧フード）のシンボルを追加

主に非住宅物件の第２種換気用に、「（排気）自然換気口（有圧フード）」のシンボルを追加しました。

1. シンボル一覧の「常時換気機器」、「局所換気機器」に
「（排気）換気口（有圧フード）」を追加しました。



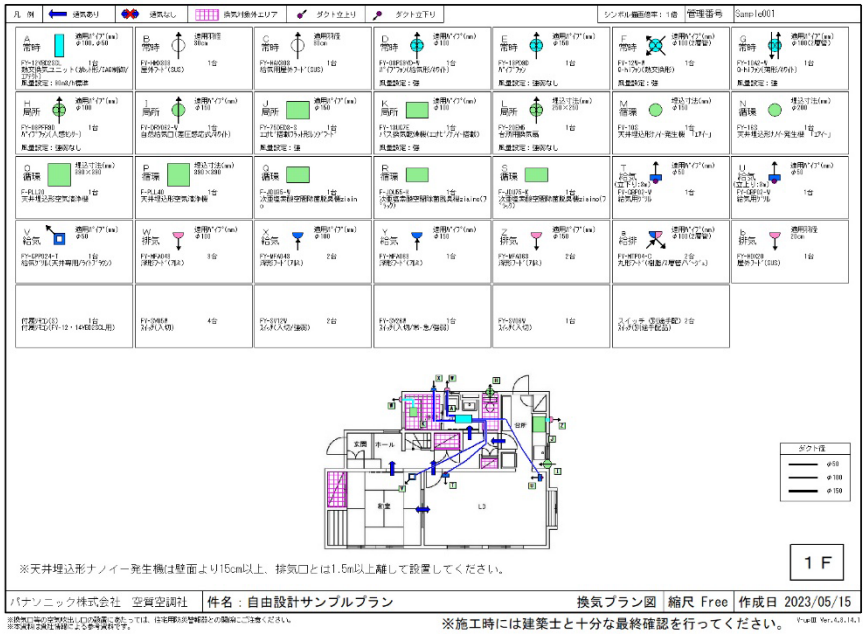
※情報ウィンドウ等の操作は、「自然給気口（有圧フード）」と同様です。



6．［自由設計］申請用／客先用プラン図　凡例を別紙に表示する機能を追加

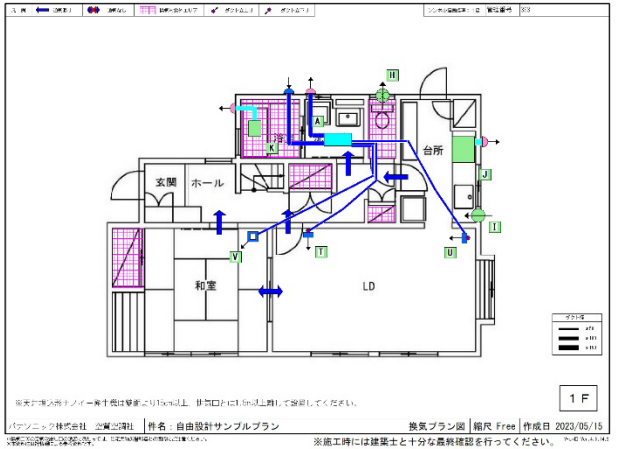
非住宅物件のプラン等で、機器種類数が多く凡例が多数表示される事で図面が小さくしか表示できない場合、凡例を別紙に表示する事で図面を大きく表示できるようにする機能を追加しました。

＜Ver.4.8.0以前のプラン図＞

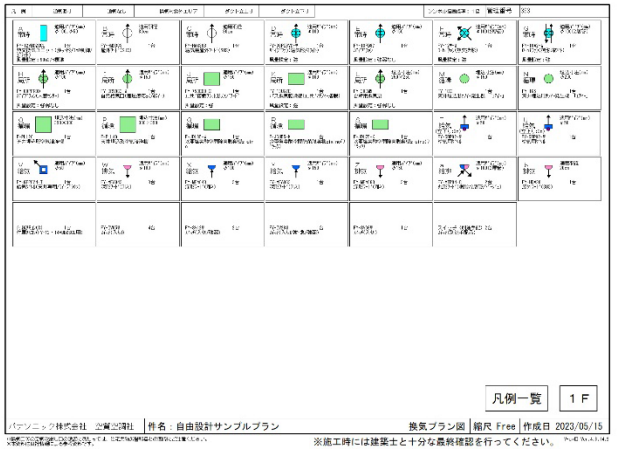


＜Ver.4.9.0のプラン図（２枚）＞

１枚目：図面

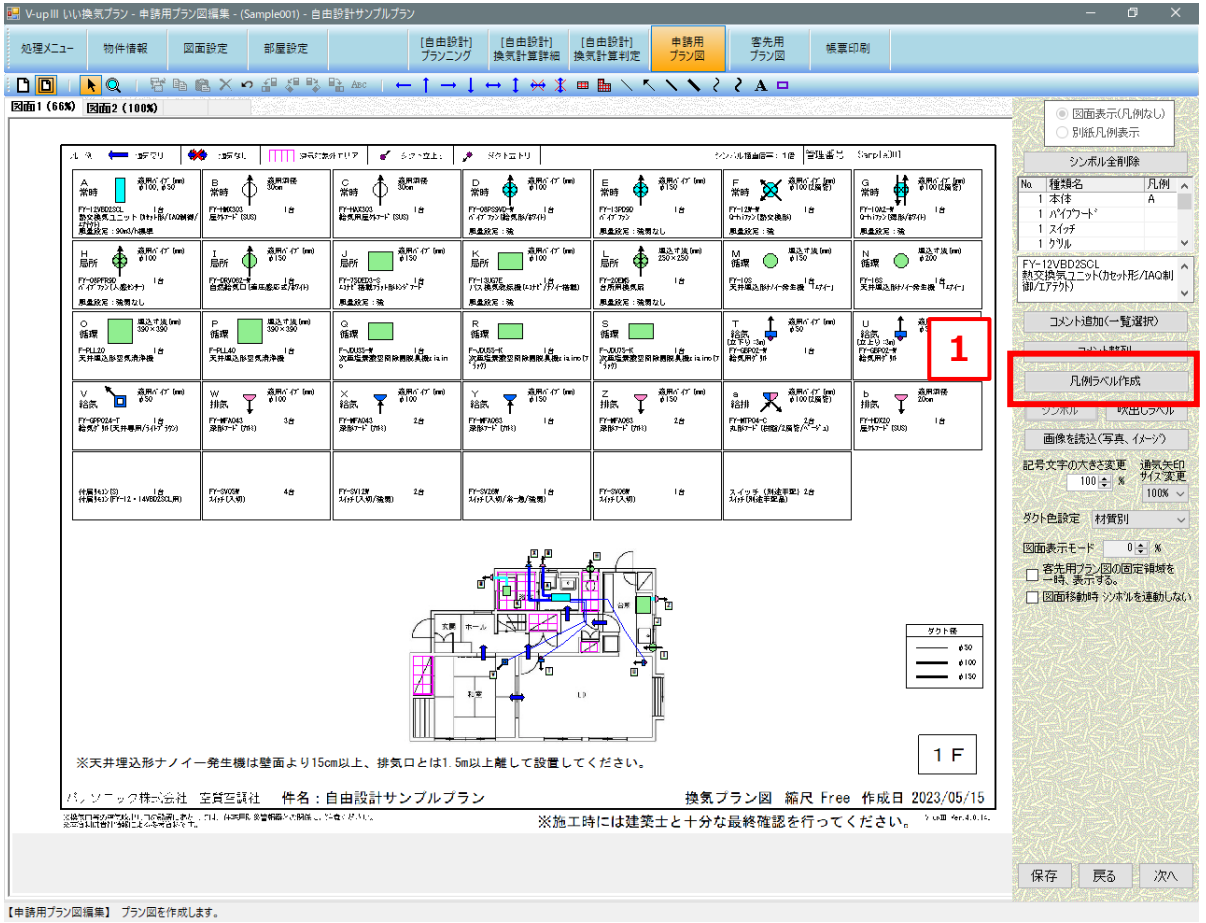


２枚目：凡例一覧



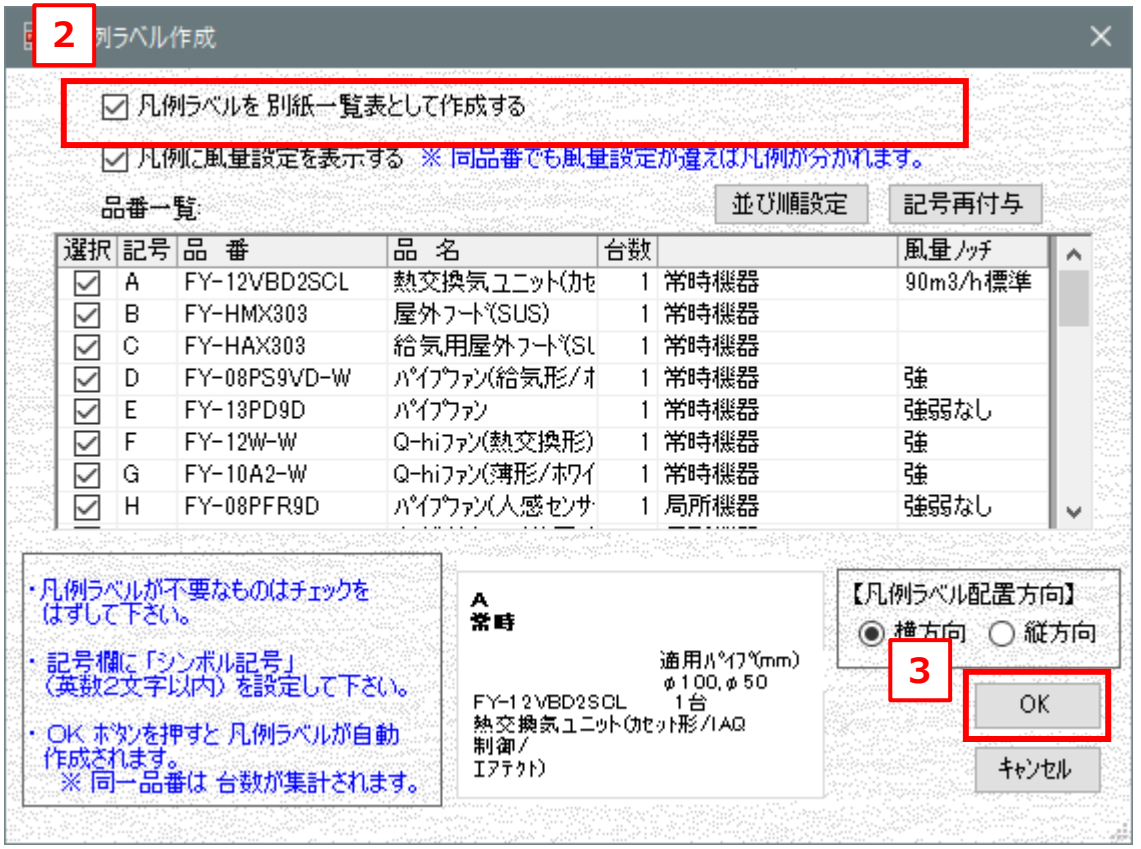
1. **凡例ラベル作成** をクリックします。

凡例ラベル作成ウィンドウが開きます。



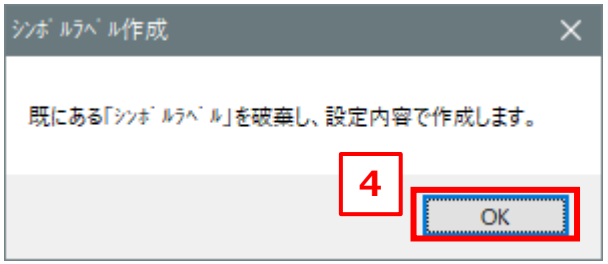
2. 「凡例ラベルを別紙一覧表として作成する」にチェックを入れます。

3. **OK** をクリックします。



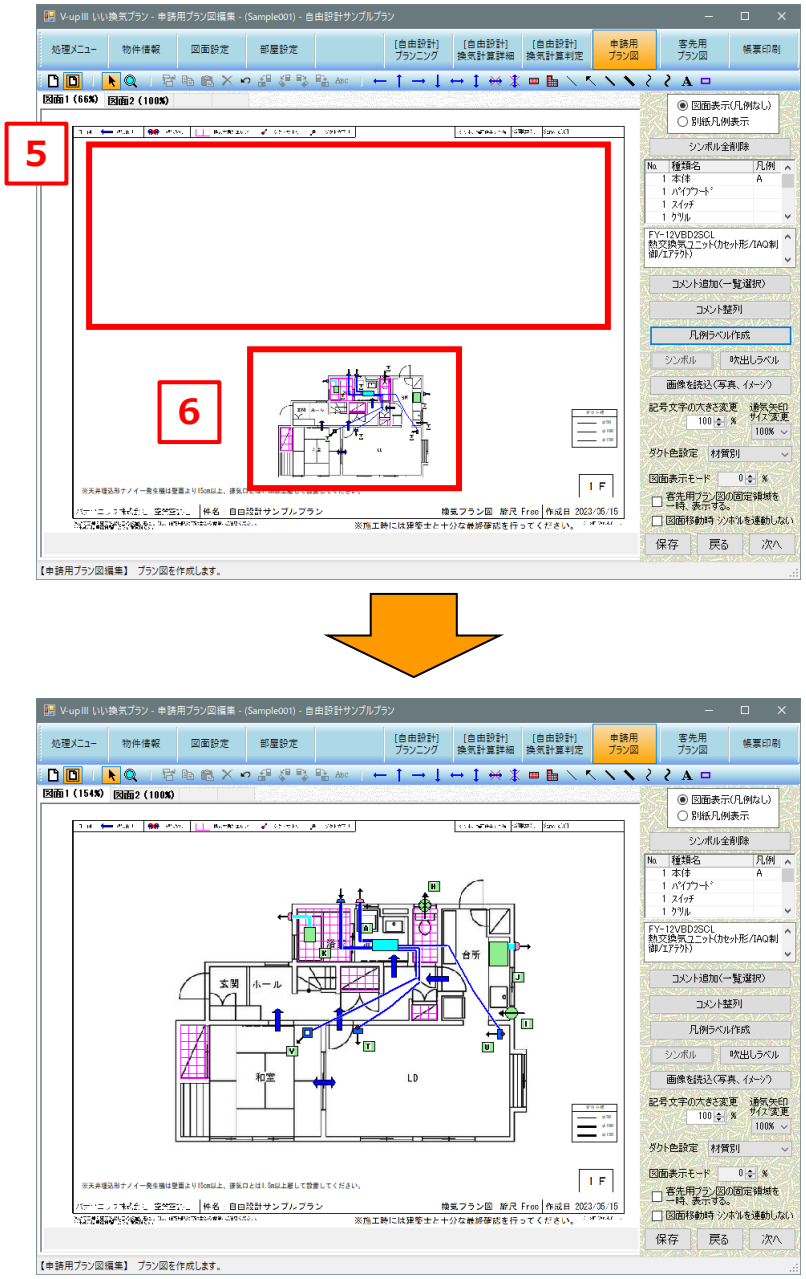
4. 凡例ラベル作成し直しの確認メッセージが表示されるので、

OK をクリックします。



5. 凡例ラベルが消えているのを確認します。

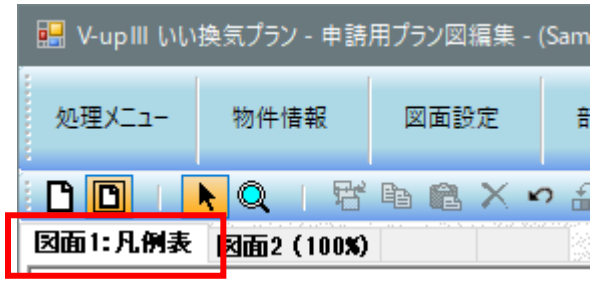
6. 図面を任意の大きさに拡大します。



図面のサイズ変更の操作方法については、操作マニュアル
「**第３章 プラン作成 １２－２．平面図の大きさを変更する**」
を参照ください。

7. 別紙凡例一覧を表示するには、画面右上の「◎別紙凡例表示」を選択します。

※画面が凡例一覧に変わります。
※左上のタブの名称が変化します。（下図）



※別紙凡例一覧をもとに戻す場合、手順２のチェックを外して凡例ラベルを作成し直してください。

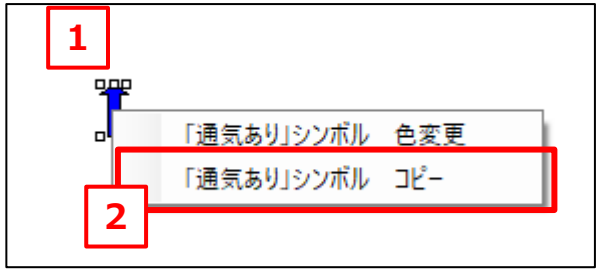
Ver.4.9.11に追加された機能について

V-upⅢ（Ver.4.9.11）から追加された機能について説明します。

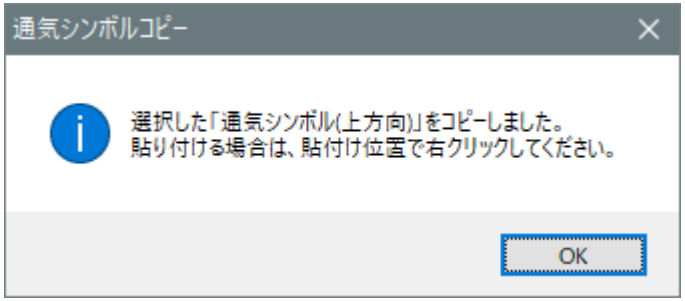
1．通気矢印コピー＆ペースト機能を追加

申請用／客先用プラン図に、通気矢印コピー＆ペースト機能を追加しました。

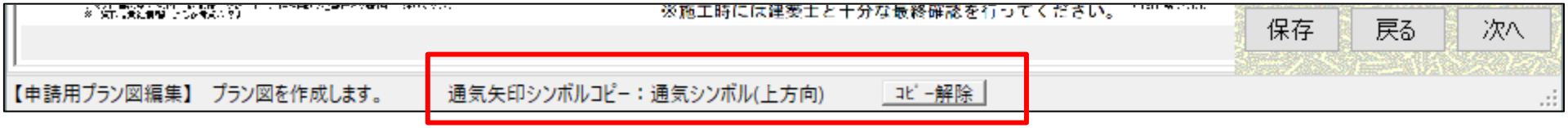
1. コピーしたい通気矢印シンボルを右クリックします。
2. 表示メニューから「通気ありシンボル　コピー」を選択します。



※コピーができると、コピー完了メッセージが表示されます。

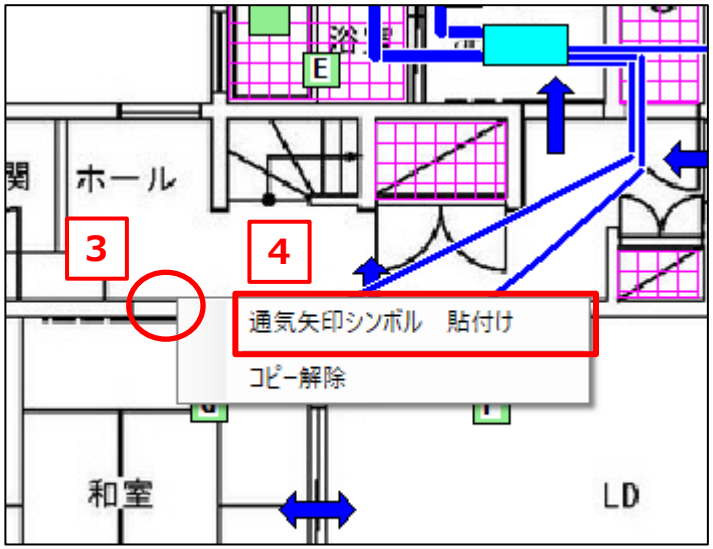


※コピーができると、ウィンドウ下部にコピーしたシンボル名称などが表示されます。



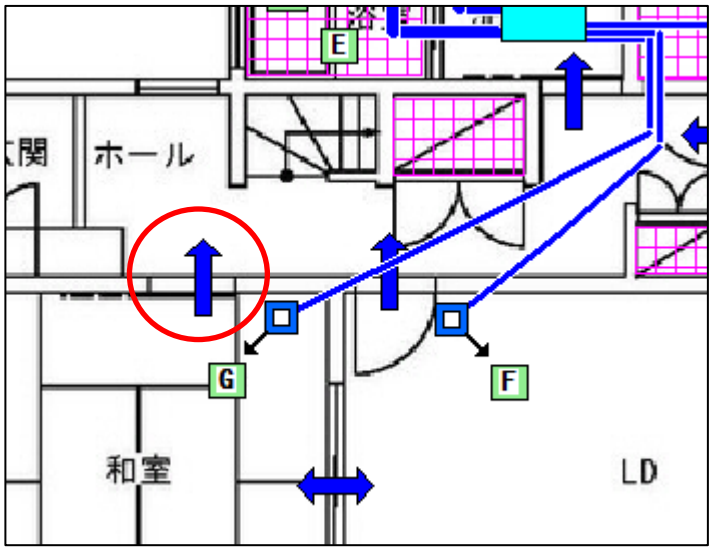
3. シンボルを貼付け（ペースト）したい位置で、
右クリックをします。

※通気矢印シンボルを配置する位置。
（サンプルは、和室入口で右クリック。赤丸の位置。）



4. 表示メニューから「通気矢印シンボル　貼付け」を選選択します。

通気矢印シンボルが貼付け（ペースト）されます。

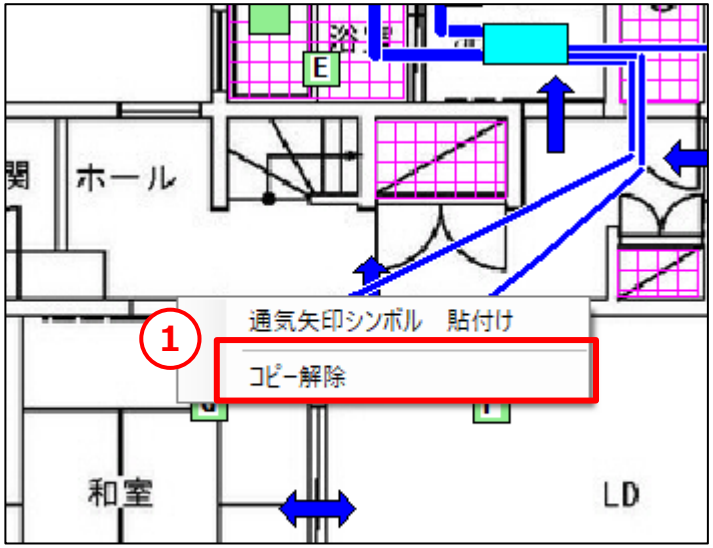


5. コピーしたい数だけ、手順３、４を繰り返します。

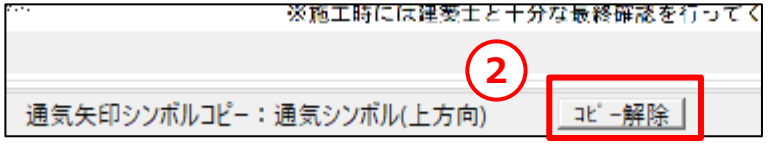
シンボルのコピー解除機能

シンボルのコピー解除方法は２種類あります。

① シンボルコピー機能を使用した後、
図面上で右クリックをするとメニューの下部に
「コピー解除」の項目が表示されるのでクリックします。



② ウィンドウ下部に表示されている「コピー解除」ボタン
をクリックします。



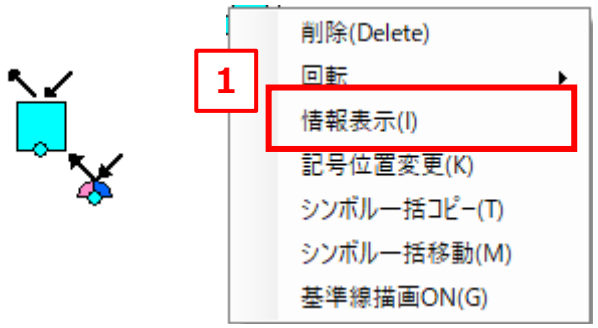
Ver.4.11.0に追加された機能について

V-upⅢ（Ver.4.11.0）から追加された機能について説明します。

1．［自由設計］プランニング　Q-hiファン（天埋形）シンボルに常時局所兼用設定の機能追加

Q-hiファン（天埋形）シンボルに、常時局所兼用設定の機能を追加しました。

1. Q-hiファン（天埋形）のシンボルを選択して右クリックメニューから情報表示を選択します。



2. 表示されたウィンドウの左下に、局所換気兼用チェックボックスを追加しました。

2．［簡易設計、自由設計］申請用／客先用プラン図　凡例の並び順の任意設定する機能を追加

凡例の並び順の任意設定する機能を追加しました。

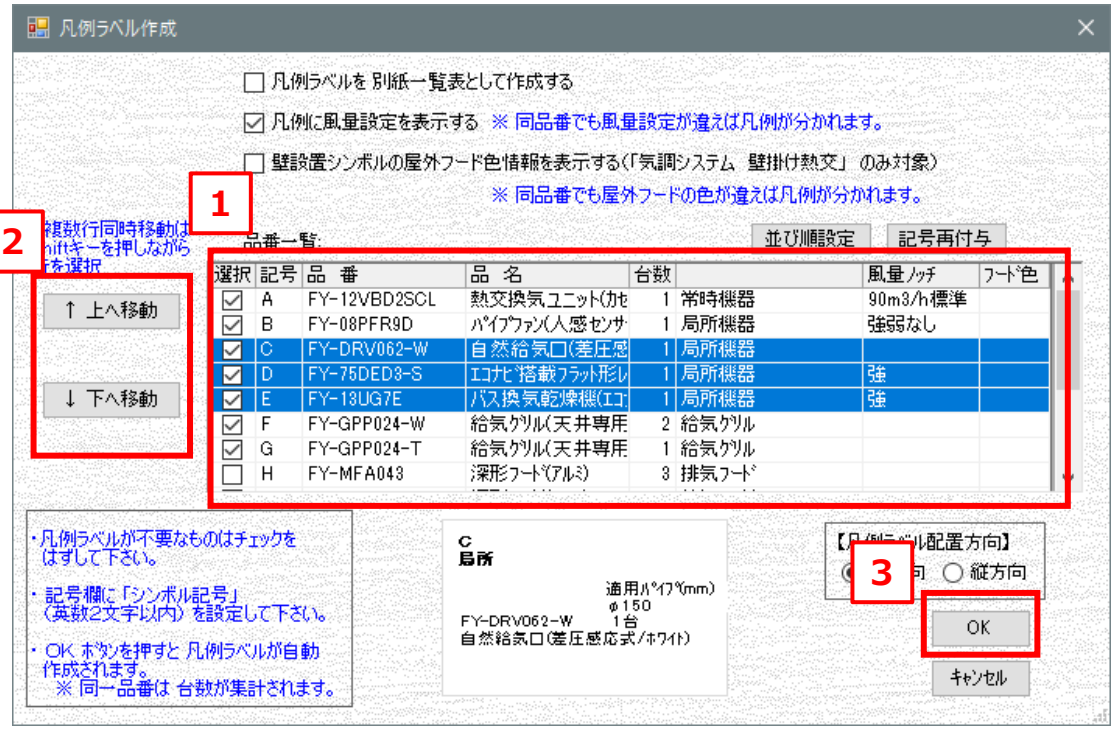
1. 移動したい品番行を選択します。（複数選択可）

2. 選択した状態で上下移動ボタンをクリックします。

↑ 上へ移動　：選択した行を１つ上へ移動する

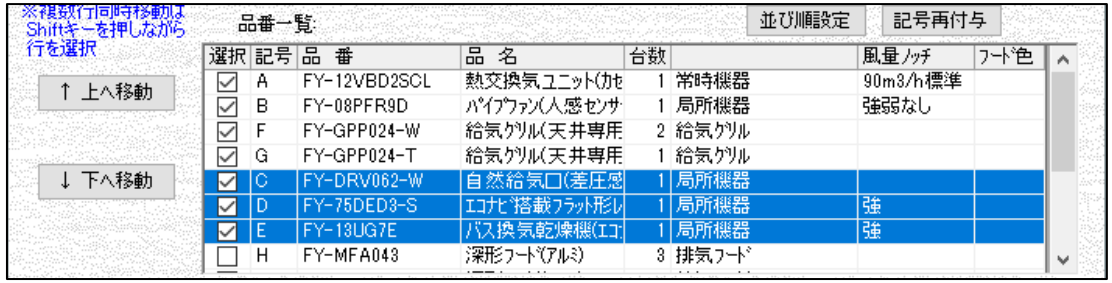
↓ 下へ移動　：選択した行を１つ下へ移動する

※右図では、下へ移動を２回



3. **OK** をクリックします。

変更した順番で凡例ラベルが表示されます。



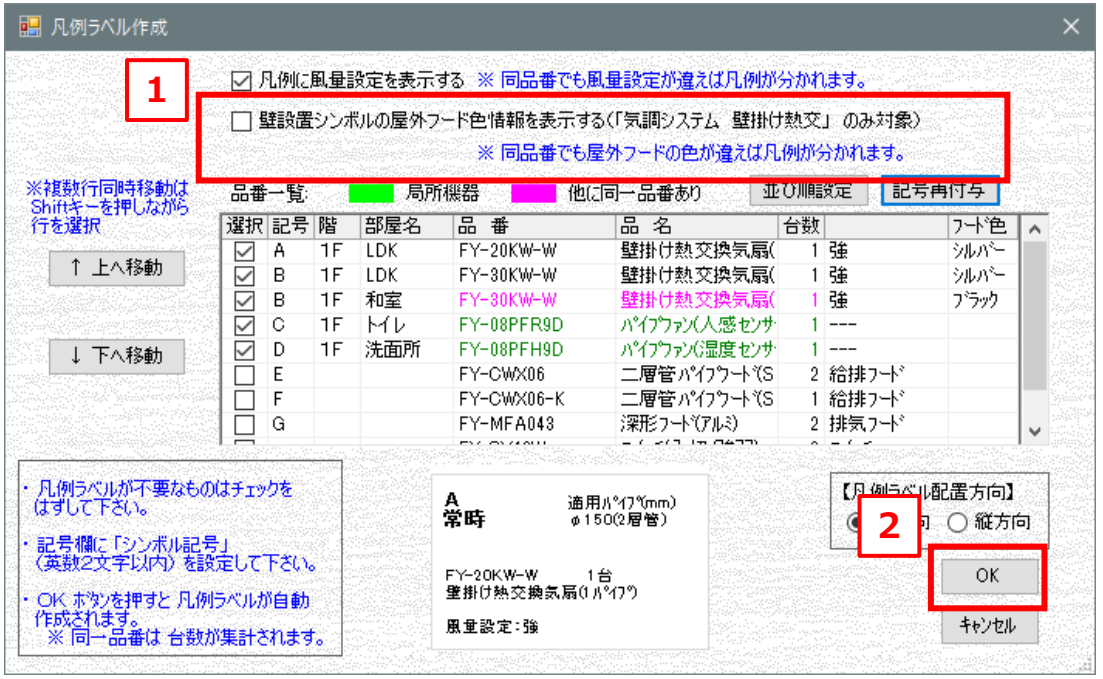
3．［簡易設計、自由設計］申請用／客先用プラン図　屋外フードの色別に凡例を分ける機能を追加（IAQ-Vのみ）

壁掛け熱交（IAQ-V）のみに対して、屋外フードの色別に凡例を分ける機能を追加しました。

1. 壁設置シンボル（IAQ-Vのみ）の屋外フード色情報を表示するにチェックを入れます。

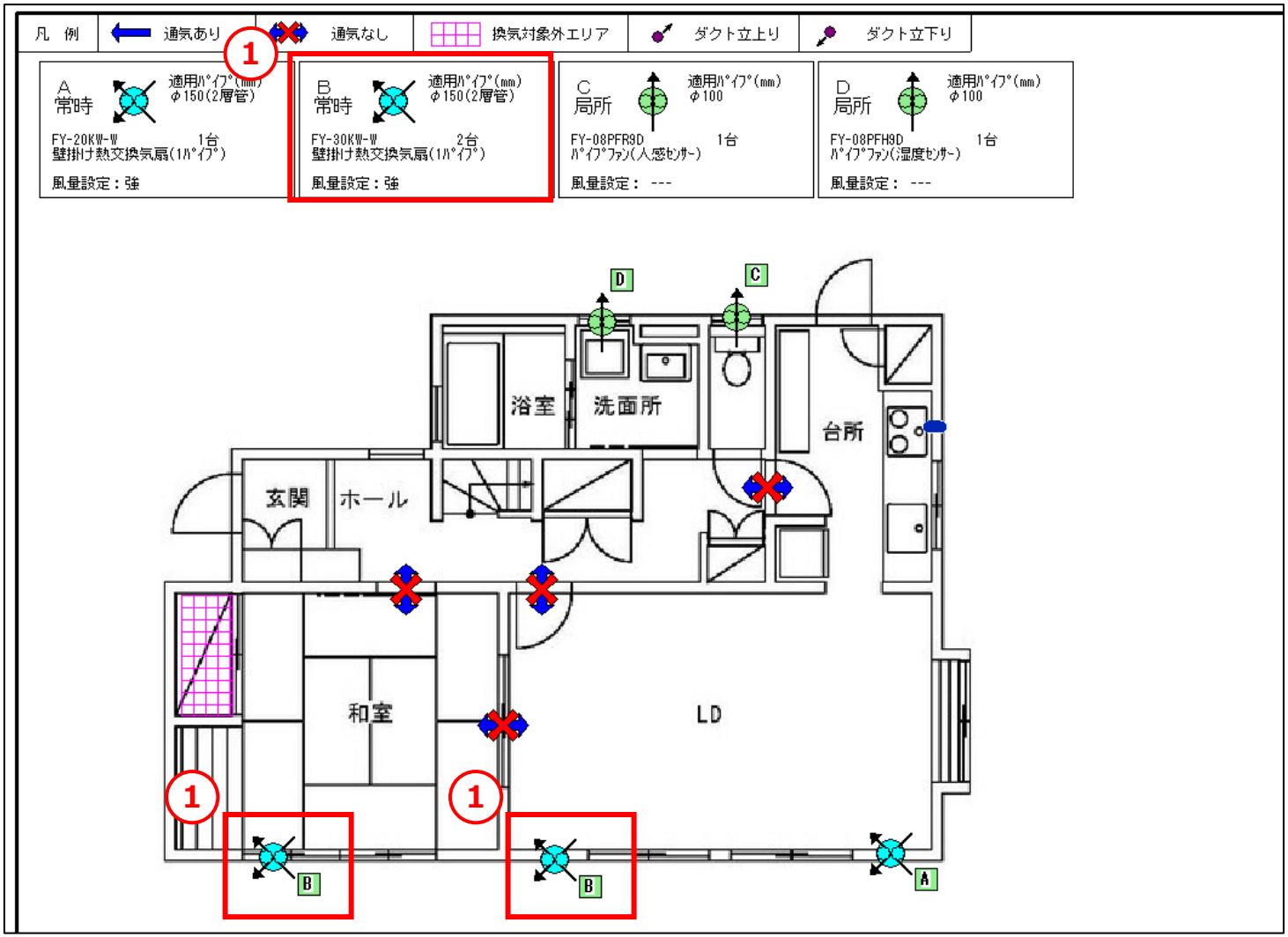
2. **OK** をクリックします。

※結果は、次ページのサンプル画像をご参照ください。



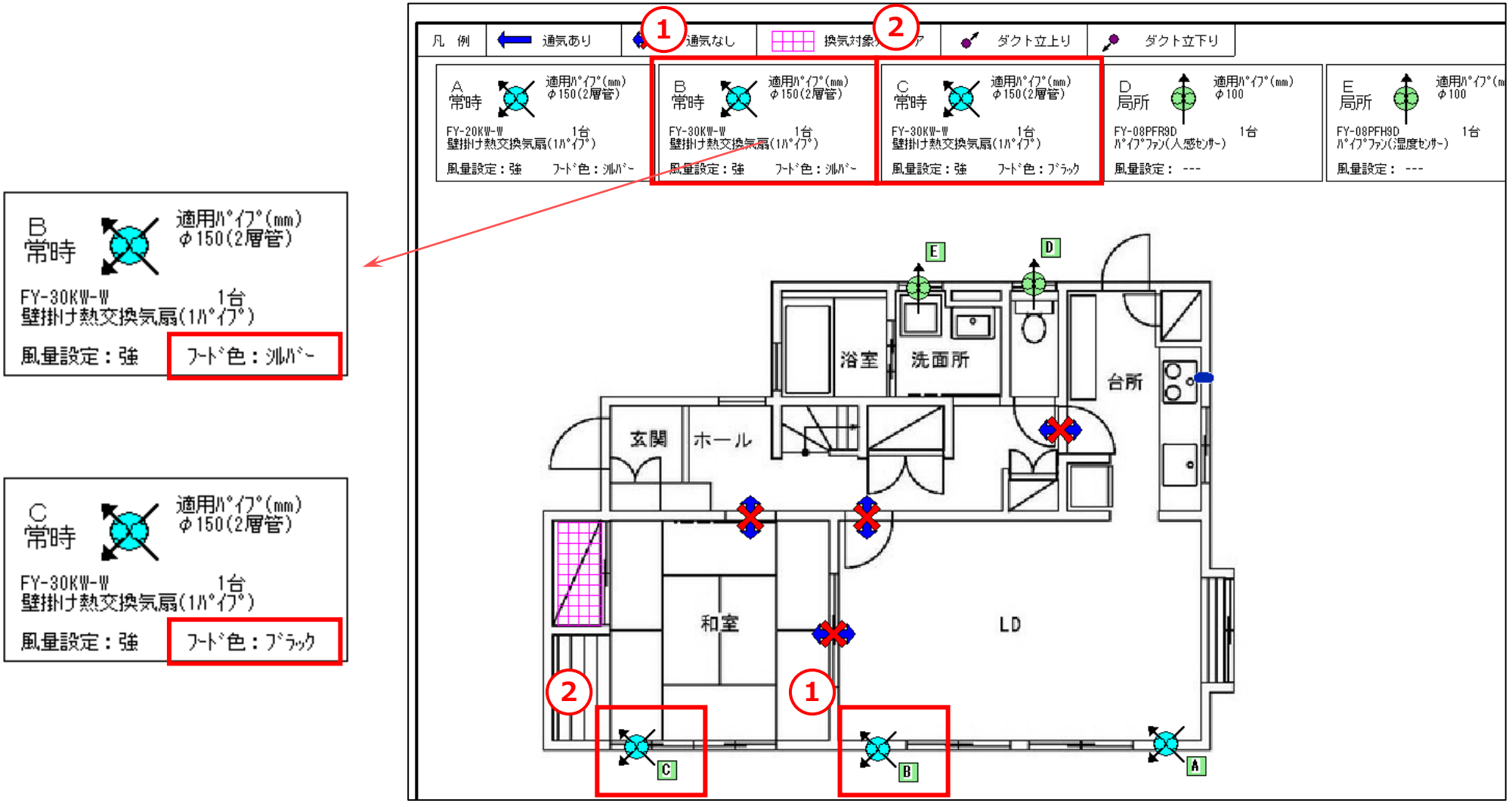
凡例ラベルの作成の操作方法については、操作マニュアル
「**第３章 プラン作成 １２－１．凡例ラベルを貼り付ける**」を参照ください。

【チェックなし（従来どおり）】



【チェックあり（屋外フードの色別）】

本体品番が同じ場合でも、屋外フードの色が違うので別々の凡例として表示される。



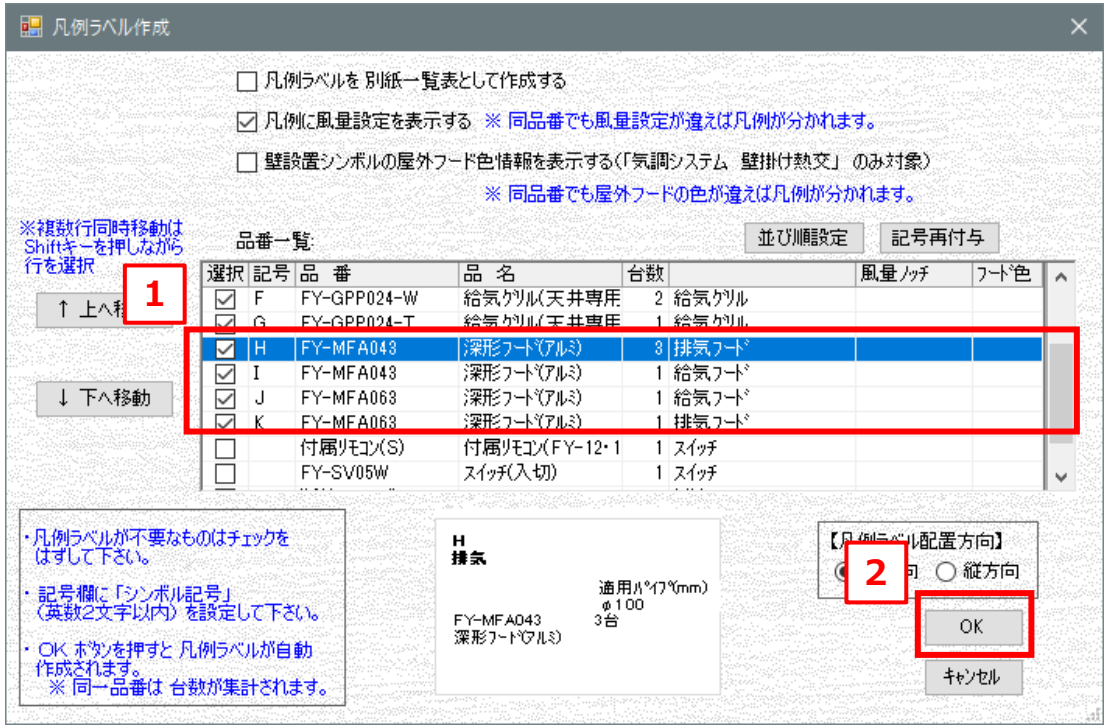
4．［簡易設計、自由設計］申請用／客先用プラン図　壁設置機器の屋外フードの凡例記号を追加表示する機能追加

壁設置の機器に対する屋外フードの凡例記号を追加表示する機能を追加しました。

1. 凡例ラベルを表示する為に、屋外フードにチェックをいれます。

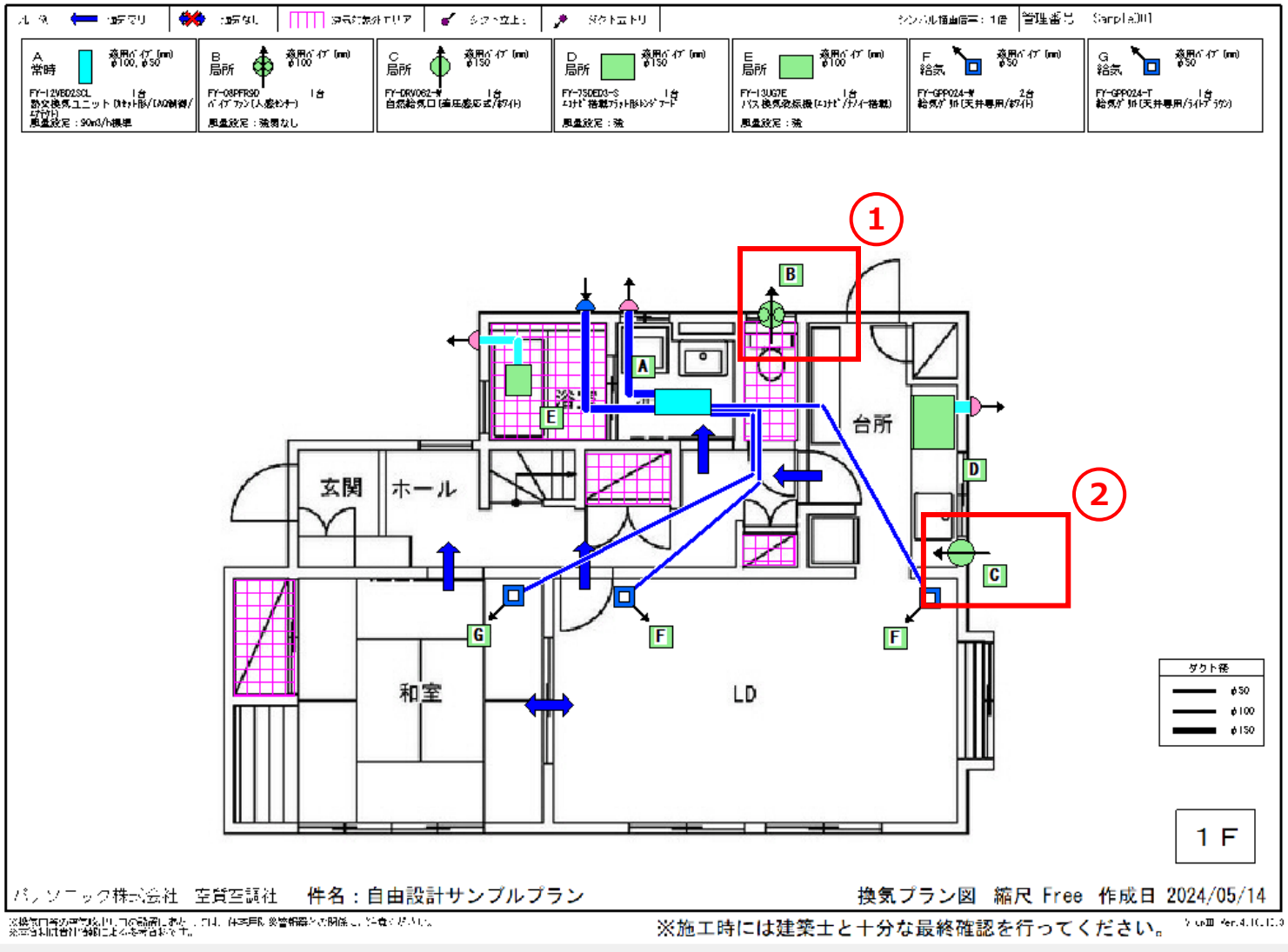
2. **OK** をクリックします。

※結果は、次ページのサンプル画像をご参照ください。



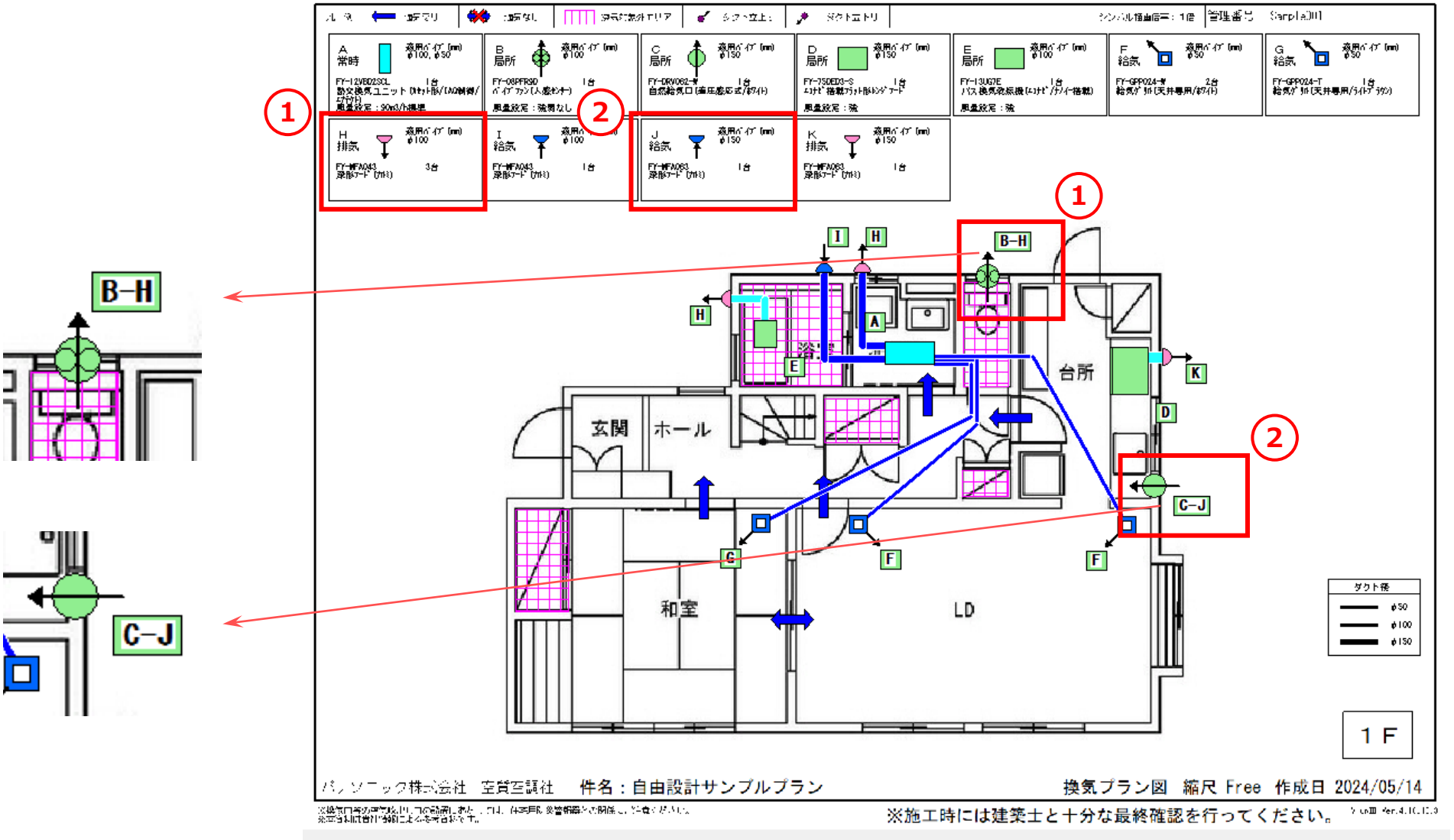
凡例ラベルの作成の操作方法については、操作マニュアル
「**第３章 プラン作成 １２－１．凡例ラベルを貼り付ける**」を参照ください。

【屋外フードの凡例なし（従来どおり）】



【屋外フードの凡例表示あり】

壁設置機器のシンボルに、機器の凡例記号（B、C）と、屋外フードの凡例記号（H、J）の２つが表示されている。



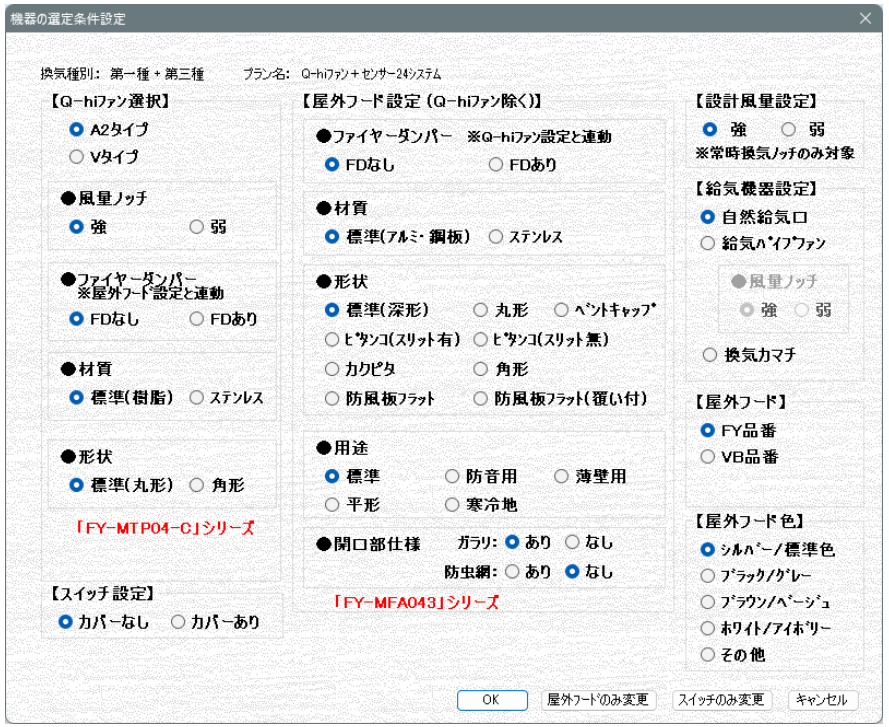
Ver.4.12.0に追加された機能について

V-upⅢ（Ver.4.12.0）から追加された機能について説明します。

1．［簡易設計］機器設定　選定条件設定ウィンドウのリニューアル

「機器設定」画面　選定条件設定ウィンドウをリニューアルしました。

Ver.4.11.0以前（従来）



Ver.4.12.0以降（更新）

1. 常時機器（上段）、局所機器（下段）で別々に設定可能

Q-hiファン（IAQ-V含む）用、　給気用、　排気用　で別々に設定可能

2. 設定項目が増えた為、全項目を同時に変更できるように、「設定を連動する」機能を追加

※Q-hiファンの形状は連動しません。

2. 申請用／客先用プラン図　循環機器のシンボル色を変更（薄紫色）

循環機器のシンボル色を、黄緑色　⇒　薄紫色　に変更しました。

Ver.4.11.0以前（従来）

air-e（エアイー）

air-c（エアシー）

エアー搬送ファン

ziaino（ジアイーノ）

Ver.4.12.0以降（更新）

air-e（エアイー）

air-c（エアシー）

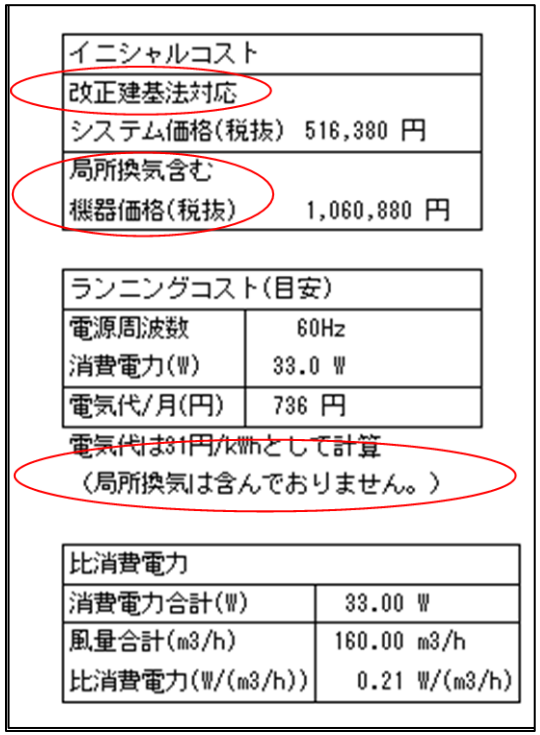
エアー搬送ファン

ziaino（ジアイーノ）

3. 客先用プラン図　イニシャルコスト、ランニングコストの注記コメント変更

客先用プラン図に表示される、イニシャルコスト、ランニングコストの注記コメントを変更しました。

Ver.4.11.0以前（従来）



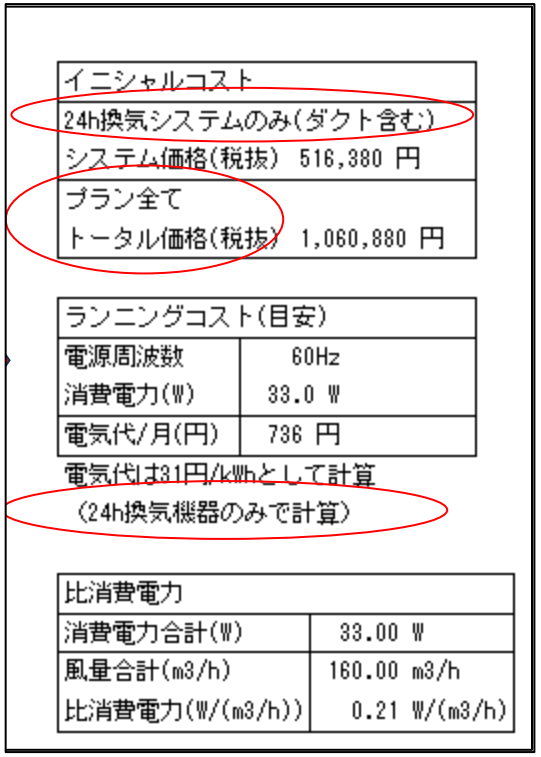
イニシャルコスト	
改正建基法対応	
システム価格(税抜)	516,380 円
局所換気含む	
機器価格(税抜)	1,060,880 円

ランニングコスト(目安)	
電源周波数	60Hz
消費電力(W)	33.0 W
電気代/月(円)	736 円

電気代は31円/kWhとして計算
（局所換気は含んでおりません。）

比消費電力	
消費電力合計(W)	33.00 W
風量合計(m3/h)	160.00 m3/h
比消費電力(W/(m3/h))	0.21 W/(m3/h)

Ver.4.12.0以降（更新）



イニシャルコスト	
24h換気システムのみ(ダクト含む)	
システム価格(税抜)	516,380 円
プラン全て	
トータル価格(税抜)	1,060,880 円

ランニングコスト(目安)	
電源周波数	60Hz
消費電力(W)	33.0 W
電気代/月(円)	736 円

電気代は31円/kWhとして計算
（24h換気機器のみで計算）

比消費電力	
消費電力合計(W)	33.00 W
風量合計(m3/h)	160.00 m3/h
比消費電力(W/(m3/h))	0.21 W/(m3/h)

Ver.4.13.0に追加された機能について

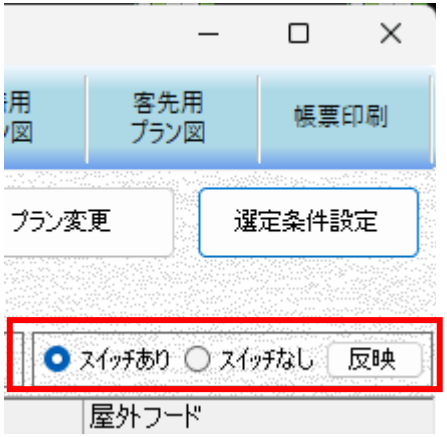
V-upⅢ（Ver.4.13.0）から追加された機能について説明します。

1．［簡易設計］機器設定　スイッチの設定機能をリニューアル

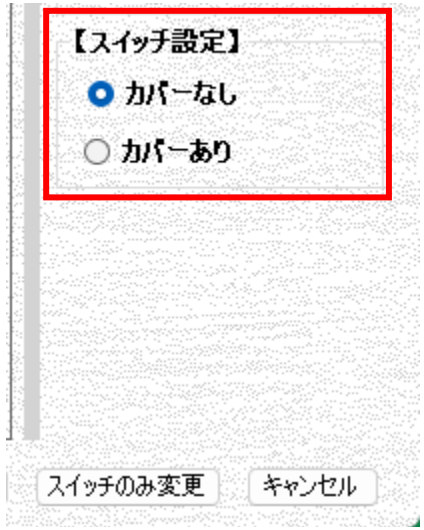
「機器設定」画面上のスイッチ設定と、選定条件設定ウィンドウのスイッチ設定をリニューアルしました。

Ver.4.12.0以前（従来）

【機器設定画面】

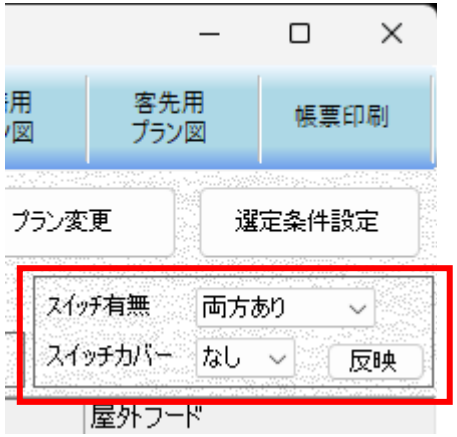


【選定条件設定ウィンドウ】

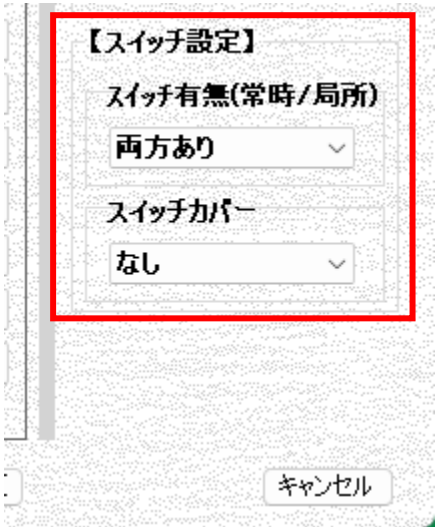


Ver.4.13.0以降（更新）

【機器設定画面】



【選定条件設定ウィンドウ】

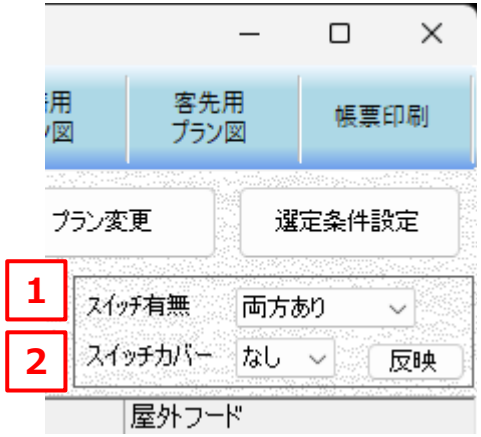


1. スイッチ有無（常時／局所）

スイッチを見積りする方法を、下記４つから選択します。

・両方あり　　：　常時機器、局所機器ともにスイッチあり
・両方なし　　：　常時機器、局所機器ともにスイッチなし
・常時のみあり　：　常時機器のみスイッチあり（局所機器はスイッチなし）
・局所のみあり　：　局所機器のみスイッチあり（常時機器はスイッチなし）

【機器設定画面】

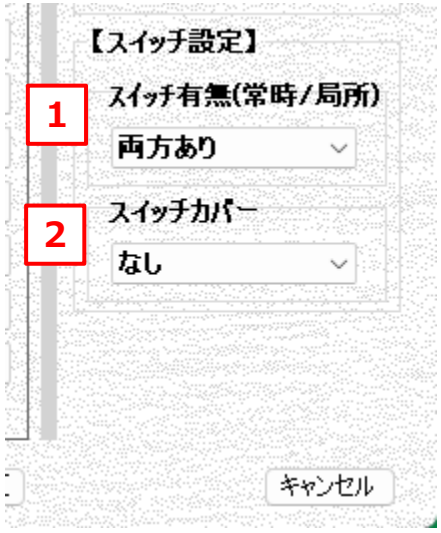


2. スイッチカバー

従来どおり、スイッチカバーあり／なし　を選択できます。

・なし　：　スイッチカバーなしのスイッチが選択されます
・あり　：　スイッチカバーありのスイッチが選択されます

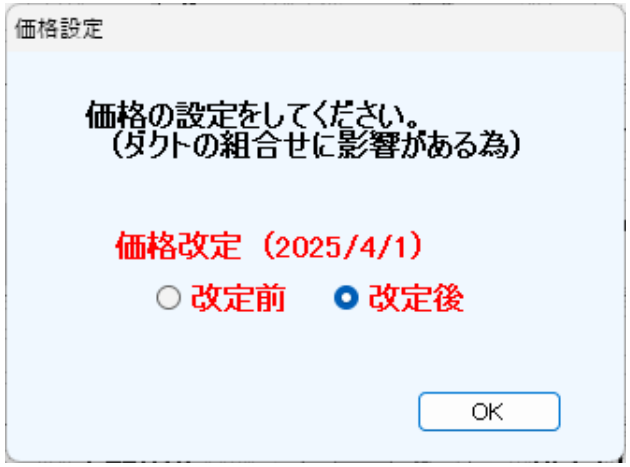
【選定条件設定ウィンドウ】



2. 帳票印刷－見積書　ダクト組合せ前に価格改定設定ウィンドウを表示するように改善

「ダクト品番組合せの確認・設定」ウィンドウが表示される前に、「価格改定設定」ウィンドウを表示する機能を追加しました。

価格改定がある場合に、価格改定前の価格か改定後の価格かを選択するウィンドウが表示されます。
（このウィンドウで設定した内容は、見積書発行時にも反映されます。）

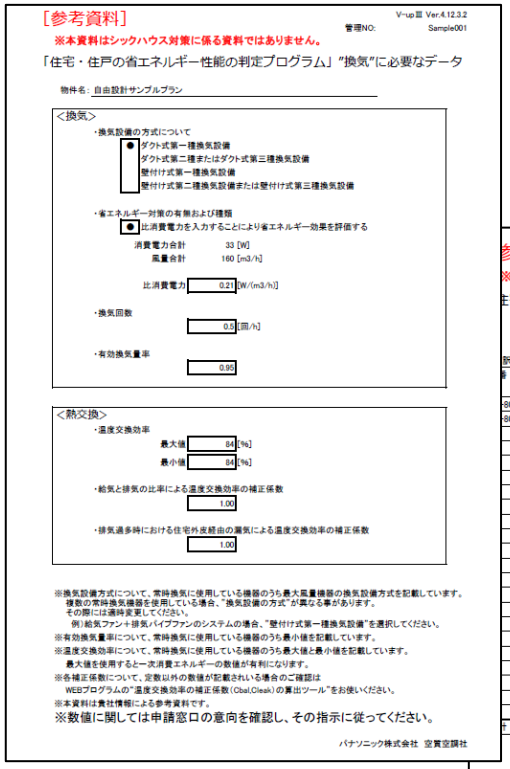


OKボタンを押した後に
従来のウィンドウが出ます。

3. 帳票印刷－付属資料（一次エネルギー消費量入力値一覧表）　住宅の仕様基準（省エネ基準）資料追加

住宅の仕様基準(省エネ基準)に対応した帳票を追加しました。出力時選択機能を追加しました。

（従来）性能基準に基づく資料（２枚）



［参考資料］

V-upⅢ Ver.4.12.3.2

管理NO: Sample001

※本資料はシックハウス対策に係る資料ではありません。

「住宅・住戸の省エネルギー性能の判定プログラム」"換気"に必要なデータ

物件名：自由設計サンプルプラン

＜換気＞

・換気設備の方式について

● ダクト式第一種換気設備
ダクト式第二種またはダクト式第三種換気設備
壁付け式第一種換気設備
壁付け式第二種換気設備または壁付け式第三種換気設備

・省エネルギー対策の有無および種類

● 比消費電力を入力することにより省エネルギー効果を評価する

消費電力合計　33 [W]
風量合計　160 [m3/h]

比消費電力　0.21 [W/(m3/h)]

・換気回数　0.5 [回/h]

・有効換気量率　0.95

＜熱交換＞

・温度交換効率
最大値　84 [%]
最小値　84 [%]

・給気と排気の比率による温度交換効率の補正係数　1.00

・排気過多時における住宅外皮経由の漏気による温度交換効率の補正係数　1.00

※換気設備方式について、常時換気に使用している機器のうち最大風量機器の換気設備方式を記載しています。
複数の常時換気機器を使用している場合、"換気設備の方式"が異なる事があります。
その際には適時変更してください。
例）給気ファン＋排気パイプファンのシステムの場合、"壁付け式第一種換気設備"を選択してください。
※有効換気量率について、常時換気に使用している機器のうち最小値を記載しています。
※温度交換効率について、常時換気に使用している機器のうち最大値と最小値を記載しています。
最大値を使用すると一次消費エネルギーの数値が有利になります。
※各補正係数について、定数以外の数値が記載されいる場合のご確認は
WEBプログラムの"温度交換効率の補正係数(Cbal,Cleak)の算出ツール"をお使いください。
※本資料は貴社情報による参考資料です。
※数値に関しては申請窓口の意向を確認し、その指示に従ってください。

パナソニック株式会社　空質空調社

［参考資料］

V-upⅢ Ver.4.12.3.2

管理NO: Sample001

※本資料はシックハウス対策に係る資料ではありません。

住宅・住戸の省エネルギー性能の判定プログラム」"換気"に必要なデータ（内訳）

物件名：自由設計サンプルプラン

（内訳）　60Hz

品番	台数	消費電力 [W]	風量 [m3/h]	比消費電力 [W/(m3/h)]	有効換気量率	温度交換効率 [%]	備考 (給気口数、風量ノッチ)
-80VBD3N-W	1	16.5	80	0.21	0.95	84	3口　80m3/h標準
-80VBD3N-W	1	16.5	80	0.21	0.95	84	3口　80m3/h標準
		33	160	－	－	－	

※機器の風量について、「同時給排機器＝給気風量　給気機器＝給気風量　排気機器＝排気風量」としています。
※消費電力について
・気調システムの機器
「標準システム装着時の消費電力」としています。
・DCモーター（風量一定制御）の機器
「ダクト径φ100＝10m相当長時　ダクト径φ150、多室換気扇＝20m相当時の消費電力」としています。
・ACモーター及び、DCモーター（風量一定制御以外）の機器
「0Pa時の消費電力」としています。
※温度交換効率について、仕様書に冷房時と暖房時の値が併記されている場合は暖房時の温度交換効率を記載しています。
※本資料は貴社情報による参考資料です。
※数値に関しては申請窓口の意向を確認し、その指示に従ってください。

パナソニック株式会社　空質空調社

［参考資料］

V-upⅢ Ver.4.12.3.2

管理NO: Sample001

※本資料はシックハウス対策に係る資料ではありません。

仕様基準(住宅)に基づき一次エネルギー消費性能を評価する場合に必要となるデータ

●平成28年国土交通省告示第266号（抜粋）
単位住戸に採用する全般換気設備の比消費電力（熱交換換気設備を採用する場合にあっては、比消費電力を有効換気量率で除した値）が、換気回数が0.5回以下の場合において、0.3（単位 1時間につき1立方メートル当たりのワット）以下であること

物件名：　自由設計サンプルプラン

換気方式 ：　ダクト式第一種換気設備

（内訳）　60Hz

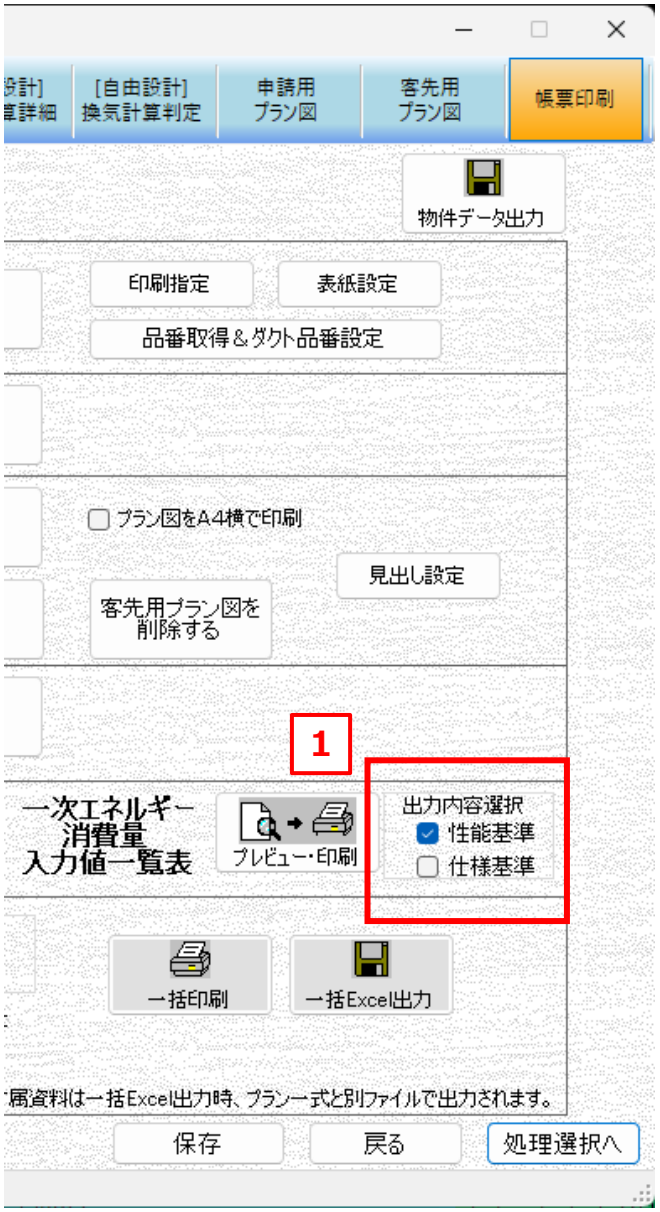
品番	台数	① 消費電力 [W]	② 風量 [m3/h]	③=①÷② 比消費電力 [W/(m3/h)]	④ 有効換気量率	⑤=③÷④ 仕様基準の比消費電力 [W/(m3/h)]	備考 (給気口数、風量ノッチ)
FY-80VBD3N-W	1	16.5	80	0.21	0.95	0.23	3口　80m3/h標準
FY-80VBD3N-W	1	16.5	80	0.21	0.95	0.23	3口　80m3/h標準

※比消費電力は、小数点3桁目切り上げとしています。
※機器の風量について、「同時給排機器＝給気風量　給気機器＝給気風量　排気機器＝排気風量」としています。
※消費電力について
・気調システムの機器
「標準システム装着時の消費電力」としています。
・DCモーター（風量一定制御）の機器
「ダクト径φ100＝10m相当長時　ダクト径φ150、多室換気扇＝20m相当時の消費電力」としています。
・ACモーター及び、DCモーター（風量一定制御以外）の機器
「0Pa時の消費電力」としています。
※本資料は貴社情報による参考資料です。
※数値に関しては申請窓口の意向を確認し、その指示に従ってください。

パナソニック株式会社　空質空調社

各項目にチェックを入れる事で出力されます。

・性能基準　：　従来の資料（２枚）となります。
・仕様基準　：　今回追加された資料（１枚）となります。



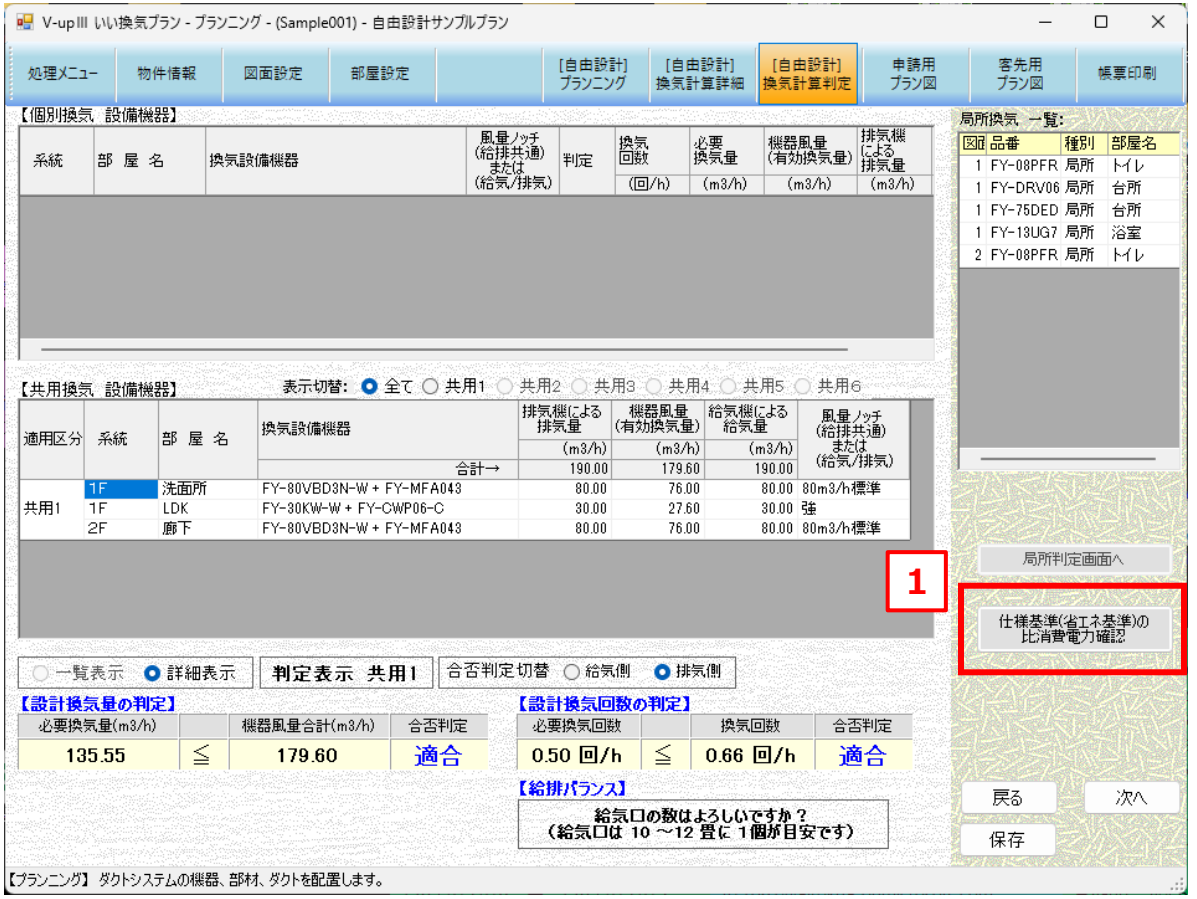
Ver.4.14.0に追加された機能について

V-upⅢ（Ver.4.14.0）から追加された機能について説明します。

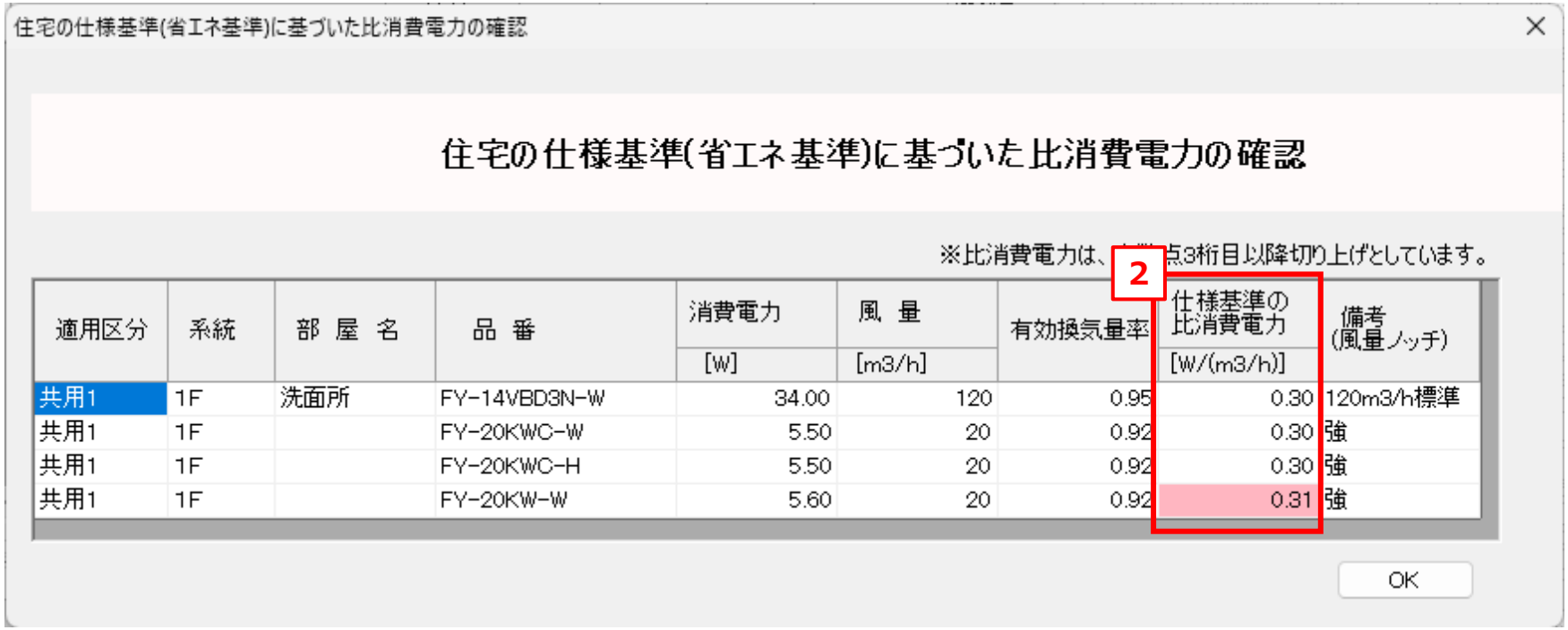
1．［自由設計］換気計算判定　仕様基準（省エネ基準）の比消費電力を確認する機能を追加

「換気計算判定」画面に、仕様基準（省エネ基準）の比消費電力を確認ボタンを追加しました。

1. ボタンを押すとサブウィンドウが開きます。



【比消費電力の確認画面】



2. 機器毎の比消費電力が基準である　0.3 W/(m3/h)　を超えている場合、ピンク色で表示されます。

2. ［簡易設計］機器設定　機器の選定条件設定に新製品に対応する為の設定追加

「機器設定」画面　機器の選定条件設定ウィンドウに、新製品（FY-20KWC-W/-H）に対応する為の設定を追加しました。

1. KWタイプを選択した時、機種の選択肢を追加しました。

KWを選択：現行品番が自動選定されます。
KWCを選択：新製品が自動選定されます。

※新製品は省エネ仕様基準適合品の為、
　基本的に現行品番と混在して使用する事は
　無い前提です。
　混在させる場合は、手動選定してください。